

令和7年度
大田区高齢者等実態調査
報告書

令和8年3月

大田区



©大田区

目次

第1章 本調査の概要	1
1. 本調査の目的及び調査の構成等	2
(1) 本調査の目的及び調査対象・実施状況	2
(2) 調査期間	2
(3) 調査対象者数及び回答状況	2
2. 本報告書の見方について	3
(1) 本調査の質問形式	3
(2) 図表の見方	3
(3) 標本誤差について	3
(4) 日常生活圏域について	4
第2章 本調査の結果に基づく次期計画策定に向けた課題	7
1. 生きがい、役割	8
(1) 社会参加に関する課題	8
(2) 介護予防・フレイル予防に関する課題	10
(3) 認知症施策推進に関する課題	12
2. 自分らしい暮らし	14
(1) 自立支援・重度化防止の取組に関する課題	14
(2) 在宅で生活を継続するための課題	16
①在宅生活の継続	16
②家族介護者等の負担	18
(3) 介護サービス事業所の提供体制に関する課題	20
①人材の確保等	20
②生産性の向上	22
3. つながり、安心	24
(1) 見守り・孤立に関する課題	24
(2) 住まい・災害時に関する課題	26
(3) 尊厳の確保に関する課題	28
第3章 各調査の結果	31
1. 高齢者一般調査	32
(1) 調査票への回答記入者	34
(2) 回答者の属性	35
(3) 住まいの状況	38
(4) 現在の生活に関する状況	40
(5) 運動器の機能や外出の状況	47
(6) 栄養状態や口腔機能等に関する状況	54
(7) 毎日の生活の状況	58
(8) 心身の健康に関する状況	75
(9) 認知症に関する状況	86
(10) 今後の生活に対する希望や支援ニーズ	96
(11) 区の取組に対する認知度や意見	101
2. 要介護認定者調査	112
(1) 調査票への回答記入者	112
(2) 回答者の属性	113
(3) 生活環境に関する状況	115
(4) 日常生活に関する状況	118

(5) 心身の健康に関する状況.....	128
(6) 認知症に関する状況.....	136
(7) 今後の生活に対する希望やニーズ.....	143
(8) 区の実組に対する認知度や意見.....	146
(9) 介護保険サービスの利用状況.....	153
(10) 家族等の介護者の状況.....	156
3. 第2号被保険者調査.....	165
(1) 回答者の属性.....	165
(2) 住まいの状況.....	167
(3) 心身の健康に関する状況.....	169
(4) 現在の生活に関する状況.....	176
(5) 地域の活動への参加状況やたすけあいについて.....	181
(6) 認知症に関する状況.....	194
(7) 今後の生活に対する希望や支援ニーズ.....	202
4. 未把握高齢者世帯等調査.....	214
(1) 回答者の属性.....	214
(2) 回答者の心身の健康状態.....	216
(3) 地域とのつながりについて.....	217
(4) 現在の生活に関する状況.....	218
(5) 区の実組に対する認知度や意見.....	225
5. 介護サービス事業者等調査.....	231
◆ 調査対象としたサービスについて.....	231
(1) 回答事業所の属性について.....	232
(2) 事業所の現状について.....	234
(3) 今後の事業継続に向けた考えや課題等について.....	238
(4) 人材の確保・育成・定着に関する取組状況について.....	243
(5) サービスの質の向上や業務効率化に関する取組について.....	264
(6) ハラスメントに関する取組について.....	270
(7) 認知症に関する取組等について.....	275
(8) 科学的介護や看取り等に関する取組について.....	278
(9) 困難事例等について.....	281
(10) 大田区の実組について.....	287
(11) ケアマネジメントの質の向上に向けた取組について.....	294
(12) 地域の介護サービスの提供状況について.....	297
(13) 他機関との連携について.....	298
(14) 認知機能の評価に関する取組の状況について.....	302
(15) 管轄内の高齢者の移動手段について.....	305
第4章 資料編.....	306
1. 高齢者一般調査 調査票.....	307
2. 要介護認定者調査 調査票.....	313
3. 第2号被保険者調査 調査票.....	319
4. 未把握高齢者世帯等調査 調査票.....	325
5. 介護サービス事業者等調査 調査票.....	327

第1章 本調査の概要

1. 本調査の目的及び調査の構成等

(1) 本調査の目的及び調査対象・実施状況

区内の高齢者における介護予防・フレイル予防に向けた取組、介護サービス等の利用に関する意向及び介護サービス事業所等における自立支援に向けた取組等について把握し、次期「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画～」策定に向けた基礎資料とするため、以下のアンケート調査を実施した。

調査の種類	調査数	対象	調査方法
①高齢者一般調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を含む)	5,600	在宅で生活する高齢者のうち、介護認定を受けていない方(要支援者、総合事業対象者を含む) 【対象 65～90歳】	・郵送 ・電子申請
②要介護認定者調査 (在宅介護実態調査を含む)	3,200	在宅で生活する要介護1～5の認定者及びその介護者 【対象 65～90歳】	・郵送 ・電子申請
③第2号被保険者調査	1,300	要介護・要支援認定を受けていない被保険者 【対象 55～64歳】	・郵送 ・電子申請
④未把握高齢者世帯等調査	800	要介護・要支援認定を受けていない等、区の事業を利用していない一人暮らしの方、高齢者のみ世帯の方 【対象 75歳以上】	・郵送 ・訪問 (郵送調査未回答者のみ地域包括支援センター職員による訪問調査を実施)
⑤介護サービス事業者等調査	600	・区内介護サービス事業所 ・地域包括支援センター	・電子申請

(2) 調査期間

令和7年11月7日(金)から令和7年12月1日(月)まで

(3) 調査対象者数及び回答状況

調査の種類	回収件数			有効回答件数	有効回答率
	回答方法	件数	合計		
①高齢者一般調査	郵送	3,332件	3,860件	3,860件	68.9%
	電子申請	528件			
②要介護認定者調査	郵送	1,648件	1,868件	1,686件※	52.7%
	電子申請	220件			
③第2号被保険者調査	郵送	384件	703件	703件	54.1%
	電子申請	319件			
④未把握高齢者世帯等調査	郵送	631件	686件	686件	85.8%
	訪問	55件			
⑤介護サービス事業者等調査	電子申請	385件	385件	385件	64.2%

※回答者のうち施設入所者や病院入院者等を本調査の対象外(無効回答)とした。

2. 本報告書の見方について

(1) 本調査の質問形式

本調査に用いた調査票に記載された質問には、以下のような4つの形式がある。

- ①単数回答形式：各設問に設けられた選択肢について、「1つだけ」選ぶもの
- ②複数回答形式：あてはまるものを「すべて」、または「3つまで」選ぶもの
- ③数値記入形式：人数等について、具体的な数値を記入するもの
- ④自由記入形式：質問に対する回答や意見等について、自由に記入するもの

なお、単数回答及び複数回答形式の一部において、質問文に記載されている選択可能な項目数を超えて回答した場合には、「無効回答」として取り扱っている。

(2) 図表の見方

○図表には引用した調査の設問番号を付している。「一」は高齢者一般、「認」は要介護認定者、「2」は第2号被保険者、「未」は未把握高齢者世帯等、「事」は介護サービス事業者等の各調査を示す。

○図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

○表やグラフに表示されている割合は、小数点第2位を四捨五入した数値である。そのため、単数回答形式の設問であっても、図表に表示されている割合の合計が100.0%にならない場合がある。

○クロス集計について、分析の柱となる項目(属性)の「無回答」は掲載を省略している。「全体」は集計対象の全数を表示しているが、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しないことがある。

○クロス集計表において、割合の高い上位2か所に対して網掛けを行っている。

○本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があり、その箇所には原則「*」を付している。

○前回調査があり比較可能な設問・選択肢については、傾向分析のため表示している。図表において、前回調査に相当する選択肢がない場合には「-」で表記している。

○前回調査と比較して3ポイント(ただし、介護サービス事業所等調査は10ポイント)以上の増減があった項目(複数ある場合には最大のもの)を記載している。

(3) 標本誤差について

各調査は、対象となる母集団(調査属性を備えた対象者全体)の中から無作為に選ばれた一部の人(標本)について調査を行う「標本調査」である。調査結果の比率から母集団の傾向を推測する際は、統計上の誤差(標本誤差)を考慮する必要がある。各調査の標本誤差は次の早見表のとおり。

・標本誤差の算出式(ただし、信頼度を95%とする。)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\left(\begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{有効回答数} \\ P = \text{回答比率} \end{array} \right)$

■各調査における標本誤差早見表

	母集団概数	有効回答数	10%選択	20%選択	30%選択	40%選択	50%選択
①高齢者一般調査	138,000	3,860	0.93%	1.24%	1.43%	1.52%	1.56%
②要介護認定者調査	25,000	1,686	1.38%	1.84%	2.11%	2.26%	2.30%
③第2号被保険者調査	97,000	703	2.21%	2.95%	3.38%	3.61%	3.68%
④未把握高齢者世帯等調査	15,000	686	2.19%	2.92%	3.35%	3.58%	3.66%
⑤介護サービス事業者等調査	800	385	2.16%	2.88%	3.30%	3.53%	3.60%

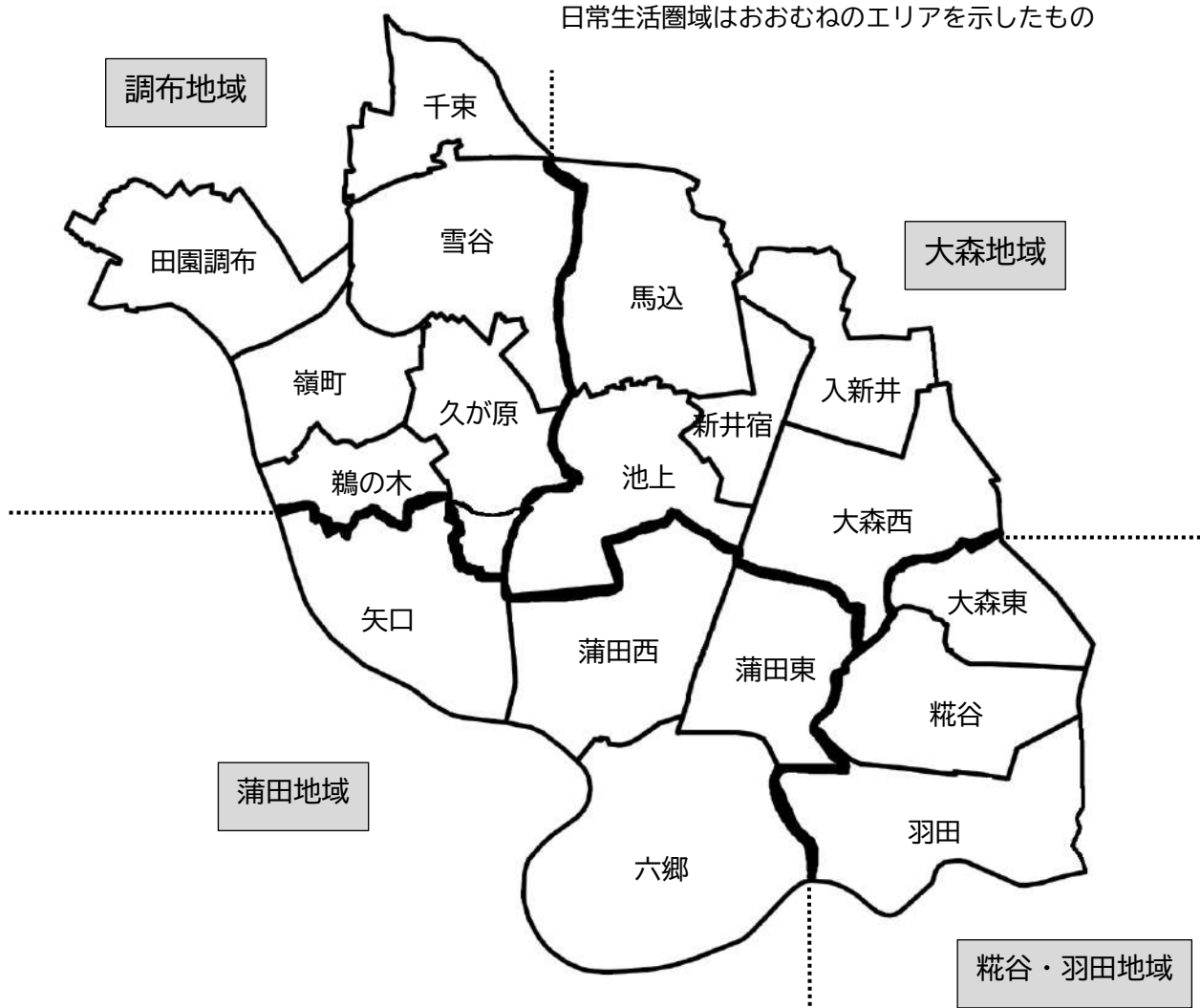
(4) 日常生活圏域について

「日常生活圏域」とは、介護保険制度に基づき、地理的条件・人口・交通事情やその他の社会的条件を勘案し、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される区域として設定されたものである。大田区では、以下のとおり特別出張所の所管区域と同じ18の日常生活圏域を設けている。本調査においては、調査結果の分析にあたり、一部の設問において日常生活圏域ごとの集計を行い、その結果を掲載している。

日常生活圏域名	区域（特別出張所の所管区域と同一）
大森西	大森本町一丁目（一部）、大森本町二丁目、平和の森公園、ふるさとの浜辺公園、大森東一～三丁目、大森西一～七丁目、大森中一～三丁目（各丁目の一部を除く）
入新井	大森北一～六丁目、大森本町一丁目（一部を除く）、山王一～二丁目、平和島一～六丁目、昭和島一～二丁目、京浜島一～三丁目、東海一～六丁目、城南島一～七丁目、令和島一～二丁目
馬込	南馬込一～六丁目（六丁目の一部を除く）、西馬込一～二丁目、中馬込一～三丁目、北馬込一～二丁目、東馬込一～二丁目
池上	中央五～八丁目、南馬込六丁目（一部）、池上一～八丁目（三丁目の一部を除く）
新井宿	山王三～四丁目、中央一～四丁目
嶺町	田園調布南、田園調布本町、北嶺町（一部を除く）、東嶺町、西嶺町、南雪谷二・四丁目（一部）
田園調布	田園調布一～五丁目、雪谷大塚町（一部を除く）
鵜の木	鵜の木一～三丁目、南久が原一～二丁目、千鳥一～二丁目（各丁目の一部を除く）、千鳥三丁目（一部）
久が原	久が原一～六丁目、南雪谷五丁目（一部）、北嶺町（一部）、千鳥一丁目（一部）、池上三丁目（一部）、仲池上一～二丁目（各丁目の一部）、東雪谷五丁目（一部）
雪谷	南雪谷一～五丁目（二・四・五丁目の一部を除く）、雪谷大塚町（一部）、北嶺町（一部）、上池台一～五丁目（一丁目の一部を除く）、東雪谷一～五丁目（五丁目の一部を除く）、仲池上一～二丁目（各丁目の一部を除く）、南千束一～三丁目（各丁目の一部）、石川町二丁目（一部）
千束	上池台一丁目（一部）、南千束一～三丁目（各丁目の一部を除く）、北千束一～三丁目、石川町一～二丁目（二丁目の一部を除く）
六郷	南六郷一～三丁目、東六郷一～三丁目、仲六郷一～四丁目、西六郷一～四丁目、南蒲田二丁目（一部）
矢口	千鳥一～二丁目（一部）、千鳥三丁目（一部を除く）、矢口一～三丁目、下丸子一～四丁目
蒲田西	西蒲田一～八丁目、新蒲田一～三丁目、多摩川一～二丁目、東矢口一～三丁目
蒲田東	東蒲田一～二丁目、蒲田一～五丁目、蒲田本町一～二丁目、南蒲田一～三丁目（二丁目の一部を除く）、西糞谷一丁目（一部）
大森東	大森中一～三丁目（各丁目の一部）、大森東四～五丁目、大森南一丁目（一部）、大森南二丁目（一部を除く）、大森南三～五丁目
糞谷	北糞谷一～二丁目、東糞谷一～六丁目、西糞谷一～四丁目（一丁目の一部を除く）、大森南一丁目（一部を除く）、大森南二丁目（一部）
羽田	羽田一～六丁目、羽田旭町、本羽田一～三丁目、萩中一～三丁目、羽田空港一～三丁目

図表 大田区の基本圏域及び日常生活圏域（イメージ図）

※基本圏域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）及び日常生活圏域はおおむねのエリアを示したもの



【参考：認知症高齢者の日常生活自立度】

- ◆「認知症高齢者の日常生活自立度」とは、認知症症状のある高齢者が、日常生活においてどの程度自立した生活ができているかを判定する指標として、厚生労働省により定められたものである。
- ◆判定基準や見られる症状・行動の例については、以下のようにまとめられている。
- ◆本文や図表中では、「認知症自立度」等、語句を短縮・簡略化している場合がある。

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
IIa	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
IIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	上記IIIaに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	上記IIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

出典：厚生労働省資料

第2章 本調査の結果に基づく次期 計画策定に向けた課題

1. 生きがい、役割

(1) 社会参加に関する課題

社会参加や社会的役割をもつことが高齢者の生きがいや介護予防につながるとされており、役割のある社会参加や就労を通じた生きがいづくりが注目されている。本調査では、地域活動への不参加層や参加頻度の低い層で、主観的健康観や生きがいの水準が相対的に低い傾向がみられるなど、社会参加の有無・程度による差も明らかとなった。多様な就労・地域活動の場の整備や、高齢者が社会参加を望むような支援をする体制整備の強化が求められている。

[調査結果]

1-1-1 地域活動への参加頻度別の健康観等

・高齢者一般調査で「不参加（0点）」層と「参加頻度多（7点以上）」層を比較すると、主観的健康観（とてもよい・まあよい）が66.8%と87.0%、主観的幸福感（8～10点）が39.1%と64.4%、「生きがいあり」が38.8%と76.7%、「地域とのつながりを感じている」が42.1%と66.1%、「役割を期待されていると感じている」が16.7%と47.9%と差がみられる。第2号被保険者調査も同様の傾向がみられる。

1-1-2 就労状況と健康観等

・主観的健康観（とてもよい・まあよい）について、「常勤就労者」が87.9%となった一方、「引退者」は74.4%、「求職中」は80.3%となった。主観的幸福感（8～10点）については、「常勤就労者」が55.9%となった一方、「引退者」は49.6%、「求職中」は36.4%と差がみられる。

1-1-3 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスの認知度

・「いきいき高齢者入浴事業」、「老人いこいの家（ゆうゆうくらぶ）」について「知っている」がそれぞれ45.4%、41.4%と4割台になった一方、「シニアステーション事業」について「知っている」は14.1%にとどまり、認知度に差がみられる。また、65歳から84歳の男性の上記3つの認知度は、65歳から84歳の女性より低い割合となった。

[地域課題]

課題1：不参加層の社会参加

・地域活動の不参加層では、主観的健康観、主観的幸福感等が低い傾向にある。生きがいや地域とのつながり等を感じられるように情報提供やきっかけづくり、社会参加の機会拡大を図る必要がある。

課題2：高齢者の就労

・就労者の主観的健康観や主観的幸福感が高い傾向にある。区内の高齢者の就労支援事業について普及啓発し、高齢者の多様な就労希望に沿ったマッチングを進める必要がある。

課題3：高齢者向け事業・サービスの認知度

・就労や地域活動への参加状況によって主観的健康観や主観的幸福感に差が生じているが、社会参加へつながる事業・サービス等の認知度は低い傾向にあった。高齢者の社会参加を促すため、事業・サービスについて普及啓発していく必要がある。

1-1-1 地域活動への参加頻度別の健康観等（一問4、5、17、18、19、2問4、5、9、10、19、23）単位：％

	高齢者一般						第2号被保険者					
	主観的 健康観	主観的 幸福感	趣味あ り	生きが いあり	地域と のつな がり感 じる	役割を 期待さ れている	主観的 健康観	主観的 幸福感	趣味あ り	生きが いあり	地域と のつな がり感 じる	ボラン ティア 参加意 向あり
全体令和7年度	77.0	50.4	66.5	54.2	52.2	28.8	83.5	47.7	71.4	52.1	39.0	50.2
全体令和4年度	77.3	47.2	65.8	55.3	53.1	-	86.5	46.8	71.2	59.7	42.1	-
不参加（0点）	66.8	39.1	48.8	38.8	42.1	16.7	78.5	37.6	65.0	46.4	27.9	45.6
参加頻度少（1～3点）	75.4	54.3	75.2	56.2	57.7	35.0	81.4	50.0	84.3	54.3	58.6	60.0
参加頻度中（4～6点）	83.0	52.7	68.2	56.6	52.3	27.4	86.4	50.3	65.1	51.8	38.7	47.1
参加頻度多（7点以上）	87.0	64.4	89.0	76.7	66.1	47.9	87.9	59.6	90.3	62.1	50.0	60.5

※①ボランティア、②スポーツ、③趣味、④学習・教養、⑤介護予防の通いの場、⑥シニアクラブ、⑦自治会・町会、⑧仕事の8項目に関して、「週4回以上」5点、「週2～3回」4点、「週1回」3点、「月1～3回」2点、「年に数回」1点の合計で、不参加（0点）、参加頻度少（1～3点）、参加頻度中（4～6点）、参加頻度多（7点以上）と分類

※主観的健康観：健康状態について「とてもよい」「まあよい」の合計

※主観的幸福感：0点（とても不幸）～10点（とても幸せ）の11段階のうち8～10点の合計

※地域とのつながりを感じる：「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計

※役割を期待されている：「そう思う」「ややそう思う」の合計

※ボランティア参加意向あり：「無償でも参加したい」「有償ならば参加したい（興味がある）」の合計

1-1-2 就労状況と健康観等（一問4、5、17、18、19）

単位：％

	人数	主観的 健康観	主観的 幸福感	趣味あり	生きが いあり	地域と のつな がり感 じる	役割を期 待されて いる
高齢者一般	3,860	77.0	50.4	66.5	54.2	52.2	28.8
職に就いたことがない	276	73.6	48.6	63.8	49.6	56.1	27.5
引退した	1,790	74.4	49.6	67.3	51.9	53.1	28.7
常勤（フルタイム）	388	87.9	55.9	65.7	54.9	46.2	21.4
非常勤（パート・アルバイト等）	685	85.5	50.4	65.7	58.0	53.4	29.6
自営業	385	82.3	59.0	71.9	63.9	59.7	40.8
求職中	66	80.3	36.4	57.6	47.0	47.0	28.8

1-1-3 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスの認知度（一問35①）

単位：％

	人数	いきいき高齢 者入浴事業	シニアステ ーション事業	老人いこいの 家（ゆうゆう くらぶ）	大田区 いき いきごと ステーション	シルバー人材 センター
高齢者一般令和7年度	3,860	45.4	14.1	41.4	17.7	59.3
高齢者一般令和4年度	4,027	40.3	10.4	-	18.7	72.6
65～74歳：男性	836	30.9	11.0	24.3	15.6	55.4
75～84歳：男性	748	43.2	11.0	36.0	14.6	52.4
85歳以上：男性	158	46.8	11.4	41.8	17.7	48.7
65～74歳：女性	954	47.1	17.6	48.8	21.6	70.2
75～84歳：女性	938	57.1	17.2	52.6	19.0	61.0
85歳以上：女性	226	49.1	11.1	45.1	15.0	51.3

(2) 介護予防・フレイル予防に関する課題

団塊ジュニア世代が高齢者となる 2040 年ごろには、要介護状態となるリスクの高い後期高齢者がさらに増加することが見込まれている。本調査では、運動機能、栄養状態、認知機能、うつ傾向等の複数の指標において、運動や社会参加等の取組を実践している層ではリスク該当率が低い傾向であることが確認された。介護予防・フレイル予防を日常生活に定着させるための取組を推進していくことが求められる。

[調査結果]

1-2-1 年齢階層・性別の各種リスク該当率

・多くのリスク判定項目において、リスク該当率は年齢とともに上昇している。年齢別でみると 85 歳以上男性では、「認知機能の低下」が 55.1%、「転倒リスクあり」が 41.1%と高くなっており、85 歳以上女性では、「認知機能の低下」が 54.0%、「咀嚼機能の低下」が 40.7%となっている。

1-2-2 今実践していること別の各種リスク該当率

・バランス能力を高める運動、趣味、仕事、地域活動やボランティア参加等を実践している層は各種リスク該当率が低い傾向にある。日常的な実践行動や地域活動とリスク水準に関連が認められる。

1-2-3 フレイルの認知度

・「フレイル」という言葉の認知度について、「どのような意味か知っている」と回答した女性が 3～4 割程度である一方、男性は 2～3 割程度にとどまり、特に 85 歳以上男性で低い結果となった。

[地域課題]

課題 1：年齢上昇によるリスク該当率の増加

・リスク該当率は年齢上昇とともに高まる傾向にあり、身体面だけでなく認知・心理面の予防対策の必要性がうかがえる。後期高齢者になる前段階からの継続的な介護予防・フレイル予防に取り組んでいく必要がある。

課題 2：取り組みやすい介護予防事業

・運動や社会参加を実践していない層でリスク該当率が高い傾向にある。運動や社会参加を実践していない高齢者に対しても取り組みやすく、効果的な介護予防事業を推進する必要がある。

課題 3：フレイルの認知度

・年齢別においても男性のフレイルに対する認知度は女性より低い傾向となっている。特に高齢の男性がフレイル予防の重要性を理解し、介護予防・フレイル予防事業に参加してもらうことが課題である。

1-2-1 年齢階層・性別の各種リスク該当率（一問10、11、12、19）

単位：％

	人数	運動器の機能低下	転倒リスクあり	低栄養状態の疑い	咀嚼機能の低下	うつ傾向あり	認知機能の低下	閉じこもり傾向あり	IADLの低下
高齢者一般令和7年度	3,860	11.8	30.5	8.7	28.4	41.8	42.3	12.5	2.8
高齢者一般令和4年度	3,919	11.9	27.8	9.1	23.8	42.9	40.8	17.5	-
65～74歳:男性	836	6.0	26.6	3.6	24.9	38.9	39.6	10.5	2.5
75～84歳:男性	748	10.6	31.0	4.5	32.5	39.6	43.0	15.8	3.7
85歳以上:男性	158	19.6	41.1	6.3	40.5	41.1	55.1	23.4	10.8
65～74歳:女性	954	5.9	26.9	12.7	21.3	44.9	36.7	6.9	0.9
75～84歳:女性	938	17.1	34.1	12.0	30.6	42.9	44.8	13.5	2.0
85歳以上:女性	226	35.0	35.4	11.5	40.7	42.5	54.0	21.2	6.6

1-2-2 今実践していること別の各種リスク該当率（一問10、11、12、19）

単位：％

	人数	運動器の機能低下	転倒リスクあり	低栄養状態の疑い	咀嚼機能の低下	うつ傾向あり	認知機能の低下	閉じこもり傾向あり	IADLの低下
高齢者一般	3,860	11.8	30.5	8.7	28.4	41.8	42.3	12.5	2.8
足腰の筋力を鍛える	1,928	7.9	28.0	9.3	22.6	38.1	39.1	8.2	2.0
バランス能力を高める運動	1,226	6.6	25.9	8.8	20.8	35.6	36.3	6.1	1.6
適正な体重を維持	1,834	7.2	27.0	7.9	23.0	37.1	38.2	8.3	1.6
バランスの良い食生活	2,056	8.4	26.8	8.7	23.4	37.3	38.6	8.9	1.8
定期的に健康診査を受ける	2,373	9.7	29.2	7.9	24.4	39.3	40.7	9.9	2.0
歯と口の清潔、かむ力を維持	2,247	8.3	27.4	8.6	21.2	37.0	39.1	8.8	1.7
近所づきあい	1,200	9.9	28.8	7.7	25.0	36.9	40.3	9.4	2.0
趣味を持つ	1,855	7.5	28.0	8.2	22.3	35.5	38.5	7.8	1.6
仕事をする	1,261	6.4	28.9	7.1	23.8	39.3	41.2	6.3	1.6
地域活動やボランティア参加	439	6.2	29.4	5.0	23.9	37.8	42.6	5.5	1.4
認知症予防に脳トレ	1,119	9.9	28.2	7.7	23.3	37.4	37.7	8.3	2.1
特になし	100	11.0	27.0	15.0	20.0	30.0	38.0	15.0	6.0

※本表については、該当率の低い項目を網掛けしている。

1-2-3 フレイルの認知度（一問21）

単位：％

	人数	どのような意味か知っている	言葉を聞いたことがある程度で、どのような意味かは知らない	知らない	無回答
高齢者一般	3,860	37.2	22.1	34.8	6.0
65～74歳:男性	836	30.3	19.5	48.4	1.8
75～84歳:男性	748	30.7	19.0	41.2	9.1
85歳以上:男性	158	22.2	27.8	41.1	8.9
65～74歳:女性	954	45.9	23.8	27.3	3.0
75～84歳:女性	938	43.0	24.2	24.1	8.7
85歳以上:女性	226	33.2	22.6	34.5	9.7

(3) 認知症施策推進に関する課題

認知症施策の推進においては、早期発見や医療的対応のみならず、本人の生きがいや役割を尊重しながら、地域で安心して暮らし続けられる環境づくりが重要である。本調査では、認知症になった人のイメージや「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」の実現度評価が可視化されたとともに、認知症に関する相談窓口、認知機能検診の認知度が低いことが確認された。区民一人ひとりが認知症について正しく理解することに加え、各種取組を普及啓発していくことが求められる。

[調査結果]

1-3-1 認知症になった人について感じるイメージ

・「認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができています」が1割未満、「住み慣れた地域で生活を続けられる」が2割程度となった一方、「住み慣れた地域での生活継続が困難になる」が1～2割程度、「徐々に自立した生活が困難になる」が3～5割程度となった。

1-3-2 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」の実現度

・「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」として実現できていることについて「認知症の人が地域や社会で人と関わっていること」が1割程度、「認知症の人が地域で役割を果たしていること」が1割未満となった。

1-3-3 認知症に関する相談窓口の認知度

・「認知症に関する相談窓口」について、「知らない」が66.2%と、認知症に関する相談窓口を知らない人の割合が6割半ばとなった。

1-3-4 認知症施策の認知度

・高齢者一般調査、要介護認定者調査、第2号被保険者調査において、「認知機能検診」を知っていると回答した割合は1割程度となった。

[地域課題]

課題1：認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」の理解

・認知症になると従来通りの生活が困難になるというイメージを持つ人が4～7割程度おり、区民の認知症に対する理解を深めていく必要がある。

課題2：認知症症状のある人の社会参加

・認知症症状のある人の社会参加が実現できていると感じている割合は少なく、地域活動への参加や就労など様々な方法により、社会参加が果たされる環境の整備に取り組む必要がある。

課題3：認知症に関する相談窓口の認知度不足

・認知症に関する相談窓口を知っている人の割合は28.3%と、令和4年度から3.9ポイント上昇したが、依然として2割後半となった。本人や家族を必要な支援へつなげることができるよう相談窓口のさらなる周知啓発が必要である。

課題4：認知機能検診の認知度不足

・認知機能検診の認知度が1割程度となっている。早期に医療につながるために早期受診が重要であることから、さらなる周知、受診勧奨が必要である。

1-3-1 認知症になった人について感じるイメージ(一問 24、認問 24、2問 30)

単位：％

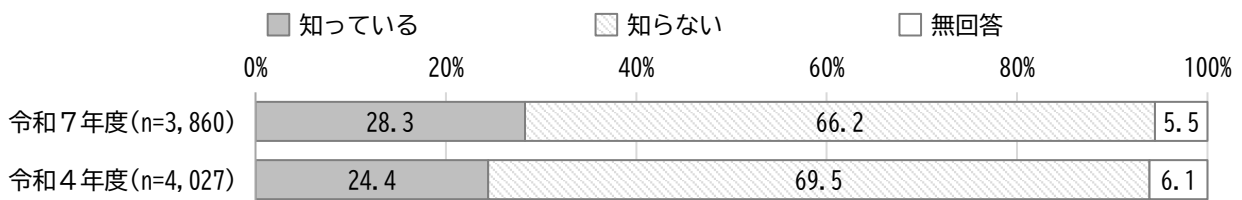
	人数	認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができています	認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる	認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる	認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる	わからない	無回答
高齢者一般	3,860	4.7	23.1	15.3	30.1	14.8	12.0
要介護認定者	1,686	7.1	22.2	12.6	28.2	17.7	12.2
第2号被保険者	703	1.3	18.6	21.3	48.4	7.4	3.0
自立+I	560	6.6	20.7	13.4	28.6	17.3	13.4
認知症Ⅱ	806	7.8	21.2	12.2	27.4	18.4	13.0
認知症Ⅲ以上	314	6.4	27.7	12.4	29.0	16.2	8.3

1-3-2 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」の実現度(一問 25、認問 25、2問 31) 単位：％

	人数	区民が「新しい認知症観」を理解していること	日常生活において認知症の人の思いが尊重され、本人が望む生活が継続できること	認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること	認知症の人が就労、ボランティア、趣味の活動など地域や社会で人と関わっていること	認知症の人が地域で役割を果たしていること	認知症の人が自分らしく暮らせること	わからない	無回答
高齢者一般	3,860	13.5	25.9	28.3	11.2	5.3	29.5	46.0	7.3
要介護認定者	1,686	8.8	21.7	25.0	6.8	3.9	25.6	47.4	9.1
第2号被保険者	703	11.9	18.5	21.8	12.4	6.0	22.3	58.3	1.7
自立+I	560	7.7	21.4	20.9	6.4	3.9	23.2	48.9	10.7
認知症Ⅱ	806	10.5	21.0	26.3	6.8	4.7	26.4	47.8	8.9
認知症Ⅲ以上	314	6.4	24.2	29.0	7.3	1.6	28.0	43.6	6.7

1-3-3 認知症に関する相談窓口の認知度(一問 22)

単位：％



1-3-4 認知症施策の認知度(一問 27、認問 27、2問 33)

単位：％

	人数	大田区認知症サポートガイド～認知症ケアパス	認知症サポーター養成講座	高齢者見守りアイコンシールと見守りシール	認知症カフェ(オレンジカフェ)	高齢者見守りメール	認知機能検診	若年性認知症支援相談窓口	知っているものはない	無回答
高齢者一般令和7年度	3,860	6.3	7.0	9.4	7.8	6.6	14.5	3.3	60.6	7.7
高齢者一般令和4年度	4,027	5.0	4.6	6.9	3.5	4.6	9.1	2.4	68.7	9.8
要介護認定者	1,686	3.7	4.5	9.4	7.8	4.9	9.1	1.7	64.9	9.8
第2号被保険者	703	3.3	7.7	5.1	5.7	5.3	7.0	2.4	78.9	0.9
自立+I	560	2.5	3.9	7.1	6.6	5.5	8.8	1.6	64.6	12.0
認知症Ⅱ	806	4.0	4.2	9.2	7.9	5.0	9.6	1.6	64.6	10.5
認知症Ⅲ以上	314	5.1	6.4	14.3	9.6	3.8	8.9	2.2	65.6	4.1

2. 自分らしい暮らし

(1) 自立支援・重度化防止の取組に関する課題

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するためには、要介護状態となっても生活機能の維持・改善を図る自立支援・重度化防止の取組が不可欠である。本調査では、要介護度の維持・改善に向けた実践状況、趣味や生きがいと主観的健康観・幸福感との関わり、介護サービス事業所の取組状況について把握した。要介護認定者への取組だけではなく、介護サービス事業者に対しても自立支援・重度化防止の取組が進められるよう支援していく必要がある。

[調査結果]

2-1-1 今実践していること別の主観的健康観等

- ・要介護認定者が要介護度の維持・改善に向けて今実践していること別にみると、「趣味を持つ」「仕事をする」「地域活動やボランティア参加」などを選択した人が、主観的健康観・幸福感が高く、生きがいも高い傾向がみられた。

2-1-2 要介護認定者の趣味、生きがい、主観的健康観・幸福感

- ・要介護度が高くなるにつれて、趣味・生きがいが「ない」と回答する割合が高くなっており、主観的健康観・幸福感の低下もみられる。

2-1-3 居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの質の向上に関する取組

- ・「事業所外の研修や勉強会にケアマネジャーを参加させている」が78.3%、「サービス担当者会議などを通じ、多様な視点から利用者の最新の状況を把握し、プランに反映している」が60.8%となっている。

[地域課題]

課題1：自立支援型ケアマネジメントの普及

- ・介護が必要になっても「趣味」「仕事」「地域活動」「ボランティア参加」を実践している人の方が、主観的幸福感が高く、自分らしい生活が維持できている傾向があることから、自立意識を行動に移せるような自立支援型のケアマネジメントの普及が必要とみられる。

課題2：重度化防止を見据えた社会参加や生きがい創出

- ・主観的健康観も要介護度が高くなるほど減少しており、主観的健康観と生活意欲の低下が要介護度の重度化と連動していることがうかがえる。状態悪化前からの社会参加機会の確保や、自立支援を身体機能訓練に限定せず、生きがい創出と統合する視点が重要とみられる。

課題3：介護事業所におけるケアマネジメントの質の向上

- ・要介護認定者の自立支援・重度化防止のためには、要介護認定者本人だけではなく、介護サービスを提供する側の取組も重要となる。居宅介護支援事業所では、外部研修等の取組を進めている一方で、自主的にケアプランを確認・点検する仕組みを構築している事業所は3割後半にとどまっており、ケアプラン点検等を通じて、継続的なケアマネジメントの質の向上に向けた取組が必要である。

2-1-1 今実践していること別の主観的健康観等（一問 20、認問 18）

単位：％

	高齢者一般			要介護認定者		
	主観的健康観	主観的幸福感	生きがいあり	主観的健康観	主観的幸福感	生きがいあり
全体	77.0	50.4	54.2	40.2	25.0	32.9
足腰の筋力を鍛える	82.7	58.1	63.5	44.3	28.9	38.9
バランス能力を高める運動	84.4	62.4	69.1	43.0	29.5	39.1
適正な体重を維持	83.7	58.4	65.0	47.3	29.1	38.8
バランスの良い食生活	83.4	59.8	64.6	46.9	30.4	38.9
定期的に健康診査を受ける	80.6	55.9	60.3	44.4	28.5	35.0
歯と口の清潔、かむ力を維持	81.9	57.8	63.5	43.2	30.4	38.6
近所づきあい	80.6	62.2	67.8	45.7	34.8	47.4
趣味を持つ	84.9	61.6	73.0	48.3	39.0	60.4
仕事をする	85.7	57.6	62.9	50.6	31.5	44.9
地域活動やボランティア参加	85.2	64.7	73.6	48.3	35.2	49.4
認知症予防に脳トレ	82.1	60.8	68.2	46.0	32.8	42.1

※主観的健康観：健康状態について「とてもよい」「まあよい」の合計

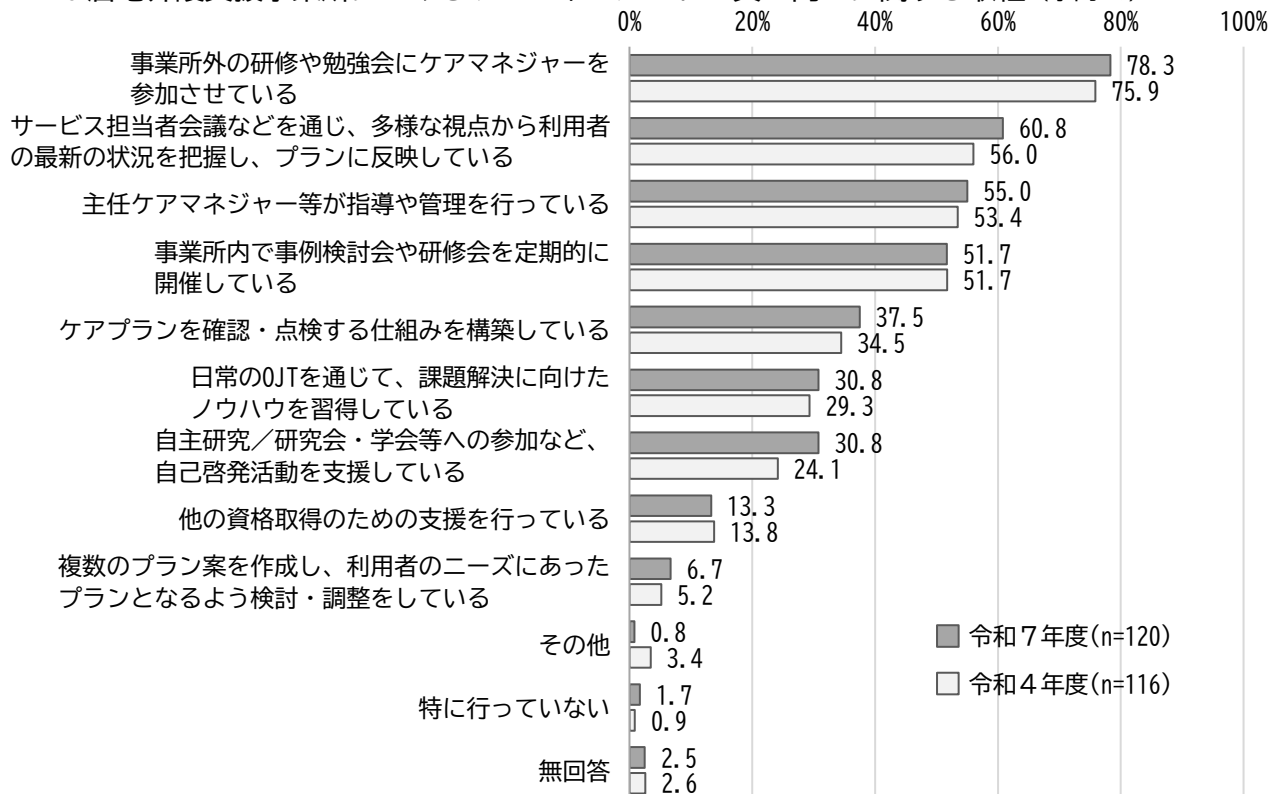
※主観的幸福感：0点（とても不幸）～10点（とても幸せ）の11段階のうち8～10点の合計

2-1-2 要介護認定者の趣味、生きがい、主観的健康観・幸福感（認問4、5、14、15）

単位：％

	人数	趣味		生きがい		主観的健康観		主観的幸福感		
		あり	なし	あり	なし	よい	よくない	0～4点	5～7点	8～10点
要介護認定者	1,686	38.0	57.2	32.9	59.6	40.2	56.6	16.0	54.0	25.0
要介護1	564	44.5	50.0	36.2	55.0	47.7	48.5	14.8	51.8	28.4
要介護2	612	37.7	58.8	33.2	60.8	37.3	59.9	16.2	57.1	21.8
要介護3	244	31.1	61.9	29.5	62.3	36.0	60.6	17.2	55.3	23.4
要介護4	155	29.7	66.5	29.0	64.5	36.1	60.7	15.5	50.3	26.5
要介護5	111	32.4	61.3	27.0	64.0	33.3	63.0	19.8	50.4	26.1

2-1-3 居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの質の向上に関する取組（事問 40）



(2) 在宅で生活を継続するための課題 ①在宅生活の継続

高齢者が住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすためには、医療・介護のみならず、生活支援や住環境の整備を含めた在宅生活への支援の強化が不可欠である。本調査では、多くの高齢者が在宅での生活を望んでおり、在宅生活を継続するために必要とされる支援やサービスのニーズが把握された。一人でも多くの方が、希望する生活を継続するためにさらなる支援の充実が求められる。

[調査結果]

2-2-1-1 施設等への入所・入居の検討状況

・施設等への「入所・入居を検討していない」が75.0%を占めている一方、「入所・入居を検討している/既に入所・入居申し込みをしている」も15.8%と一定数存在している。

2-2-1-2 今後希望する暮らし方

・「自宅で主に介護サービス等を利用したい」が44.3%、「自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい」が20.3%となっており、自宅で暮らしたい意向が64.6%を占めた。

2-2-1-3 在宅医療サービスの利用状況

・要介護認定者全体では、「訪問看護」が42.4%、「訪問リハビリテーション」が33.3%、「訪問診療」が33.1%となっている。特に「自宅で主に介護サービス等を利用したい」層ではこれらの利用率が高かった。また、要介護度が高くなるにつれて「訪問診療」の利用率が高い傾向がみられた。

2-2-1-4 在宅生活の継続に必要と感ずること

・在宅生活継続に必要なものとして「家族の理解・協力」が43.6%、「随時利用可能なデイサービスやショートステイ」が41.9%と高くなっている。

[地域課題]

課題1：希望する暮らし方の実現に向けたサービス基盤の整備

・多くが在宅生活の継続を希望する一方、将来的な施設入所を検討する人も存在する。特に、認知症自立度Ⅲ以上の人では施設の入所希望が高まっており、在宅生活の継続に対する不安が背景にあると考えられる。ソフト・ハードの両面で希望する暮らし方の実現に向けたサービス基盤の整備が求められる。

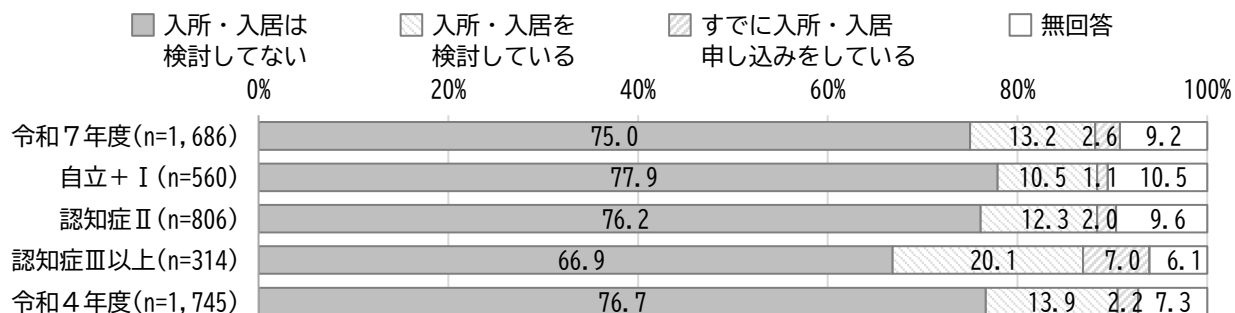
課題2：在宅生活継続のための医療と介護の連携

・要介護度が中重度になっても自宅で過ごしたいという希望が多い中、入退院時における病院との連携や日常の療養支援における訪問診療・介護との連携、自宅等での看取り体制の構築など、医療と介護の連携がより一層必要となっている。

課題3：家族依存型の支援構造

・在宅生活の継続に家族支援への期待が大きいですが、単身・高齢夫婦世帯の増加により家族介護力の低下が見込まれており、家族介護を前提とした構造から、地域全体で支える体制へ転換する必要がある。

2-2-1-1 施設等への入所・入居の検討状況 (認問 29)



2-2-1-2 今後希望する暮らし方 (認問 28)

単位：%

	人数	自宅で主に介護サービス等を利用したい	自宅で主に家族や親族に介護をもらいたい	子どもや親族等の家で介護をしてもらいたい	公営住宅(シルバーピア等)での生活	公的な施設(特別養護老人ホーム等)での生活	民間の施設(有料老人ホーム等)での生活	その他	わからない	無回答
認定者令和7年度	1,686	44.3	20.3	1.9	2.4	8.5	2.3	0.7	9.3	10.3
認定者令和4年度	1,745	40.1	17.0	0.3	0.9	5.9	4.2	0.7	13.4	17.6
要介護1	564	46.3	17.4	2.1	1.4	6.6	2.8	1.1	10.5	11.9
要介護2	612	42.5	22.4	1.8	3.6	9.0	2.0	0.2	9.2	9.5
要介護3	244	43.9	14.8	2.5	2.0	13.1	3.3	1.2	8.2	11.1
要介護4	155	47.1	21.3	1.3	1.9	6.5	1.9	0.6	9.7	9.7
要介護5	111	41.4	34.2	0.9	2.7	9.0	0.0	0.9	5.4	5.4

2-2-1-3 在宅医療サービスの利用状況 (認問 19、28)

単位：%

	人数	訪問診療(医師の訪問)	訪問看護(看護師の訪問)	訪問歯科診療(歯科医師の訪問)	訪問歯科衛生指導(歯科衛生士の訪問)	訪問栄養指導(栄養士の訪問)	訪問リハビリテーション*	訪問薬剤指導(薬剤師の訪問)	利用していない
要介護認定者	1,686	33.1	42.4	10.0	3.0	0.9	33.3	9.5	29.1
うち自宅で介護サービス等を利用*	747	35.5	49.5	11.1	4.1	1.1	40.2	12.0	23.7
自宅で家族等に介護されたい*	342	13.2	17.8	7.3	12.0	4.4	21.1	4.4	12.3
要介護1	564	17.6	33.0	3.7	0.9	1.2	21.6	5.5	38.5
要介護2	612	28.3	38.2	7.2	2.6	1.0	32.4	9.2	31.9
要介護3	244	41.0	51.6	13.5	4.5	0.4	43.0	9.4	21.7
要介護4	155	64.5	56.1	25.8	8.4	0.6	51.6	17.4	12.9
要介護5	111	77.5	73.9	27.9	5.4	0.9	50.5	20.7	5.4

2-2-1-4 在宅生活の継続に必要と感じること (認問 30)

単位：%

	人数	医師による24時間対応の往診	ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア	随時利用可能なデイサービスやショートステイ	配食や買い物、ごみ出し等の生活支援サービス	認知症に対応可能な医療・介護サービス	バリアフリーに対応した住まいの構造や設備	介護や医療費に対する経済的負担の軽減	困ったときにいつでも相談できる身近な場	声かけや見守り等の地域の支え	家族の理解・協力
要介護認定者	1,686	27.9	30.7	41.9	23.4	26.4	15.8	37.6	32.4	13.0	43.6
自立+ I	560	26.3	32.9	33.6	28.4	20.7	16.4	37.0	33.4	13.4	42.1
認知症Ⅱ	806	25.3	26.8	43.4	20.2	24.9	14.4	35.0	31.3	12.9	45.3
認知症Ⅲ以上	314	37.3	36.9	53.2	22.9	40.1	17.8	45.5	33.4	12.7	41.7

(2) 在宅で生活を継続するための課題 ②家族介護者等の負担

高齢者の在宅生活を支える上で、家族介護者の負担軽減と就労継続支援は重要な課題である。本調査では、主な介護者が担う身体介護の内容や不安、仕事と介護の両立状況が明らかとなった。特に夜間の排泄や認知症対応など心身の負担が大きい介護への不安や、就労継続に対する不透明感がみられ、家族介護者の負担の軽減とともに、現役世代に対しての介護離職を防ぐための支援が必要である。

[調査結果]

2-2-2-1 主な介護者の年齢

・主な介護者は60歳以上が56.3%、うち80歳以上も16.5%を占めており、主な介護者が高齢化していることがうかがえる。

2-2-2-2 主な介護者が行っている身体介護と不安を感じる身体介護

・主な介護者が行っている身体介護は、「外出の付き添い、送迎等」62.3%、「服薬」45.7%、「衣服の着脱」31.1%となっている。これに対し、主な介護者が不安を感じる割合は、「認知症状への対応」27.1%、「外出の付き添い、送迎等」24.8%、「夜間の排泄」24.7%が高い傾向となっている。

2-2-2-3 主な介護者の仕事と介護の両立継続の可能性

・「問題なく続けていける/問題はあるが続けていける」は73.2%となっている一方、「続けていくのは、やや難しい/続けていくのは、かなり難しい」は17.7%となっている。

[地域課題]

課題1：高齢介護者の心身の負担

・介護者自身が高齢である構造に変化がなく、身体的・心理的負担が重層化している。主な介護者が実際に行っている身体介護に対して、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」は不安を感じる割合が上回っており、高齢介護者の心身の負担を軽減する必要がある。

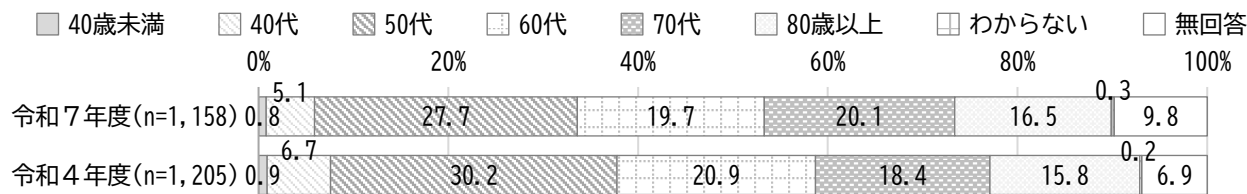
課題2：認知症症状の重度化に伴う介護者の負担

・認知症症状が重くなるにつれて、介護者が排泄等の心身の負担が大きい身体介護に対して不安を感じている傾向がある。また、仕事と介護の両立の継続性についても、認知症自立度Ⅰ以下の人の介護者と認知症自立度Ⅲ以上の人の介護者とでは、継続が困難と回答する割合が約1割高くなっており、認知症症状がある人の介護者の負担を軽減する必要がある。

課題3：潜在的な介護離職リスク

・就労している介護者の中には、仕事と介護の両立継続への不安を抱える層が一定数おり、潜在的に介護離職のリスクが存在している。潜在的な介護離職リスクへの対応は、事業者側の職場環境の整備だけではなく、働きながら介護を行っている介護者の不安や負担が軽減されるよう、介護保険制度の普及啓発や相談支援が必要である。

2-2-2-1 主な介護者の年齢（認問 44）



2-2-2-2 主な介護者が行っている身体介護と不安を感じる身体介護（認問 45、46）

単位：％

		人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助*	入浴・洗身	身だしなみ*	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状態への対応	医療面での対応*
行っている介護	要介護認定者	1,158	19.3	14.9	19.4	24.3	24.4	31.1	21.2	62.3	45.7	24.1	13.4
	自立+I	349	14.3	11.5	14.3	21.2	14.9	25.5	18.3	61.0	24.1	5.4	10.0
	認知症II	547	13.5	11.0	15.0	23.9	20.7	25.6	18.6	62.5	47.9	26.9	13.5
	認知症III以上	257	38.9	28.0	36.2	28.4	45.5	51.0	30.7	63.4	70.8	44.0	17.9
不安を感じる介護	要介護認定者	1,158	19.3	24.7	5.8	18.5	3.5	4.7	9.2	24.8	7.9	27.1	5.5
	自立+I	349	12.0	18.3	6.0	19.5	0.9	5.4	9.5	28.4	4.9	14.9	4.9
	認知症II	547	20.3	25.0	4.6	17.6	4.4	3.7	9.3	23.4	8.2	29.6	5.3
	認知症III以上	257	27.2	32.3	8.2	19.1	5.1	5.8	8.6	23.0	11.7	38.5	7.0

2-2-2-3 主な介護者の仕事と介護の両立継続の可能性（認問 50）

単位：％

	人数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要介護認定者	507	16.0	57.2	11.0	6.7	6.3	2.8
自立+I	141	20.6	59.6	8.5	4.3	7.1	0.0
認知症II	255	16.1	52.9	11.4	7.5	7.5	4.7
認知症III以上	109	10.1	63.3	13.8	8.3	2.8	1.8

(3) 介護サービス事業所の提供体制に関する課題 ①人材の確保等

高齢化の進展と要介護認定者の増加に伴い、介護サービス需要は今後も拡大が見込まれる。一方で、介護人材の不足や高齢化、職場環境の整備は全国的な課題であり、区内事業所においても安定的なサービス提供体制の確保が重要となっている。本調査では、人材の確保・育成・定着に関する課題、事業所の具体的な取組が明らかとなった。持続可能な介護サービスの提供体制を構築するためには、量の確保のみならず、質の向上と定着支援を含めた総合的な人材戦略が求められる。

[調査結果]

2-3-1-1 サービス提供のための人材確保状況

・「不足している/やや不足している」との回答は 66.0%を占め、特に訪問系、施設系（入所型）で不足を感じる割合が高くなっている。

2-3-1-2 人材の確保・育成・定着に関する課題

・「求人を出しても応募者が少ない」が 73.8%、「応募はあるが適当人材の採用につながらない」が 43.6%、「人材紹介会社等の手数料が高額となっている」が 40.0%となっている。

2-3-1-3 人材定着のために実際に行っている取組

・人材定着のため「希望休や有給休暇を取得しやすい職場環境の整備」が 68.1%、「職場内のコミュニケーションの円滑化」が 64.7%、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が 64.2%で実施されている。

[地域課題]

課題1：将来的な介護サービスの供給不足

・多くの事業所が介護人材不足を抱え、特に訪問系サービスで不足感が強くなっている。高齢化による需要の増加に対し、生産年齢人口の減少などから労働市場全体が縮小しており、将来的に介護サービスの供給不足が生じる可能性を見据えた対応が必要である。

課題2：生産年齢人口減少に伴う介護人材不足

・人材確保に関する課題として「求人を出しても応募が少ない」、「応募はあるが適当人材の採用につながらない」が高い割合を示している。多くの事業所で人材の育成・定着に関する課題に比べ、人材の確保に関して課題意識を持っているが、生産年齢人口のさらなる減少が見込まれる中、人材の育成・定着を含めた対策が必要となっている。

課題3：定着のための職場環境整備

・人材を確保できている事業所と不足している事業所の取組は、「職場内のコミュニケーションの円滑化」「定期的な面談の実施」で差が大きくなっている。職員定着のためには、職場の良好な人間関係の維持向上が重要な課題とみられる。

2-3-1-1 サービス提供のための人材確保状況 (事問 12)

単位：%

サービス系型別	事業所数	確保できている	やや不足している	不足している	無回答	職員規模別	事業所数	確保できている	やや不足している	不足している	無回答
事業所	385	33.5	43.1	22.9	0.5	事業所	385	33.5	43.1	22.9	0.5
訪問系	83	27.7	36.1	34.9	1.2	5人以下	33	54.5	24.2	21.2	0.0
施設系(入所型)	18	11.1	44.4	44.4	0.0	6～30人	111	34.2	43.2	22.5	0.0
施設系(通所型)	97	37.1	46.4	16.5	0.0	31～50人	40	35.0	40.0	22.5	2.5
居住系	44	27.3	59.1	13.6	0.0	51～100人	25	24.0	56.0	20.0	0.0
居宅介護支援	120	37.5	40.0	21.7	0.8	101～300人	38	42.1	52.6	2.6	2.6
地域包括支援センター	23	47.8	39.1	13.0	0.0	301人以上	112	22.3	44.6	33.0	0.0

2-3-1-2 人材の確保・育成・定着に関する課題 (事問 17)

単位：%

	事業所数	求人を出しても応募者が少ない	応募はあるが適当人材の採用につながらない	有資格者が少なく、募集の対象となる人が少ない	長期間、安定的に働いてくれる人が少ない	同業他社との競争が厳しい	介護以外の業種との競争が厳しい	退職する人が多く採用が追い付かない	人件費の問題から職員を増やすことができない	人材確保・育成の効果的でない	人材の確保・育成にかけられる費用が捻出できない	人材の確保・育成に取組む時間が捻出できない	人材紹介会社等の手数料が高額となっている*	その他	特になし	無回答
事業所	385	73.8	43.6	16.4	28.8	32.2	18.2	10.6	27.8	9.1	16.6	23.6	40.0	2.1	4.9	2.9
確保できている	129	51.2	43.4	8.5	17.1	19.4	10.1	1.6	27.1	7.0	8.5	14.0	29.5	1.6	14.0	4.7
やや不足している	166	80.7	44.6	20.5	31.3	34.9	19.3	12.7	30.1	10.2	18.1	25.9	39.8	3.0	0.6	3.0
不足している	88	94.3	42.0	20.5	42.0	46.6	27.3	20.5	25.0	10.2	25.0	33.0	56.8	1.1	0.0	0.0

2-3-1-3 人材定着のために実際に行っている取組 (事問 16)

単位：%

	事業所数	賃金・労働時間等の労働条件の改善	評価に基づく配置や処遇への反映	能力や仕事ぶりの評価に基づく配置	仕事内容と必要な能力等の明示	求職者とのミスマッチ解消のための説明機会の設定	新人の指導担当・メンター等の設置	研修等の能力開発の充実	労働時間や業務内容の希望を反映	希望休や有給休暇を取得しやすい職場環境の整備	ICTやAIを用いたソフト組み	子育て中の職員が働きやすい環境づくり
事業所	385	64.2	55.3	41.8	20.5	33.8	47.8	55.8	68.1	19.2	49.1	
確保できている	129	61.2	54.3	39.5	16.3	32.6	42.6	49.6	68.2	14.0	49.6	
やや不足している	166	69.3	60.8	45.8	21.7	36.1	49.4	60.2	69.9	24.1	50.0	
不足している	88	58.0	47.7	38.6	25.0	30.7	51.1	58.0	64.8	18.2	47.7	
確保一不足の差	—	3.2	6.6	0.9	-8.7	1.9	-8.5	-8.4	3.4	-4.2	1.9	

	事業所数	休職や復職がしやすい環境づくり	家族等を介して働く職員が働きやすい環境づくり	悩み・不満等の相談窓口の設置	定期的な面談の実施	非正規職員から正規職員への転換機会の設定	勤続年数に応じた報奨制度の設定	介護職キャリア段位など評価制度	職場内のコミュニケーションの円滑化	その他	特になし	無回答
事業所	46.5	48.8	46.8	57.7	51.4	35.3	28.1	64.7	1.0	3.6	4.2	
確保できている	45.7	48.8	39.5	58.1	48.1	31.8	24.8	66.7	1.6	7.0	4.7	
やや不足している	45.2	50.0	51.2	60.2	54.2	37.3	31.9	65.7	0.6	0.6	4.8	
不足している	51.1	47.7	47.7	53.4	51.1	36.4	26.1	61.4	1.1	4.5	2.3	
確保一不足の差	-5.4	1.1	-8.2	4.7	-3.0	-4.6	-1.3	5.3	0.5	2.5	2.4	

(3) 介護サービス事業所の提供体制に関する課題 ②生産性の向上

介護需要の増加が見込まれる一方で、人材不足や物価高騰などにより事業所の経営環境は厳しさを増している。限られた人員で質の高いサービスを安定的に提供するためには、業務の効率化や働きやすい職場環境づくりなど、生産性向上に向けた取組が不可欠である。しかし、業務改善や ICT 活用は十分に進んでいるとはいえ、さらなる生産性の向上の取組が求められている。

[調査結果]

2-3-2-1 令和6年度事業収支の状況

・「黒字」が29.8%、「収支均衡」が24.6%、「赤字」が28.7%となっている。特に小規模事業所で「赤字」の割合が高い傾向がみられる。

2-3-2-2 サービスの質の向上や業務効率の改善に向けて行っている取組

・「事業所内での研修・講習会の実施」が81.2%、「自己評価の実施とその活用」が63.5%、「外部の研修や勉強会への参加」が63.0%の事業所で実施されている。一方で、「ICT 機器や介護ロボットの導入」は25.4%にとどまっている。

2-3-2-3 ICT 機器や介護ロボット等の導入に関する課題

・「導入・運用に関するコスト負担が大きい」が57.8%、「操作の習熟に時間や手間がかかる」が53.3%、「機器の導入に対し、現場の抵抗感がある」が33.3%となっている。

[地域課題]

課題1：職員規模に応じた生産性の向上

・令和6年度の事業収益を職員規模別にみると、大規模事業所と比較して小規模事業所では赤字の割合が多くみられた。小規模事業所では、ICT 機器や介護ロボット等の導入による生産性向上は費用対効果が低い場合があるため、職員規模に応じた生産性向上の取組の支援が必要である。

課題2：経営基盤の安定化に向けた業務効率の改善

・サービスの質の向上や業務効率の改善に向けて行っている取組について、黒字事業所と赤字事業所の差をみると、「ICT 機器や介護ロボットの導入」、「業務プロセスの見直し・改善」で大きくなっており、事業所の規模や事業内容を踏まえて、これらの取組を進めることが経営の安定化につながるとみられる。

課題3：デジタル化推進の二極化

・ICT 機器や介護ロボット導入は、コスト・スキル面の制約により事業所間で格差が生じている。デジタル活用が進む事業所と停滞する事業所の二極化が、サービス提供体制の格差を拡大させる懸念がある。

2-3-2-1 令和6年度事業収支の状況（事問3）

単位：％

サービス系型別	事業所数	黒字	収支均衡	赤字	わからない	職員規模別	事業所数	黒字	収支均衡	赤字	わからない
事業所	362	29.8	24.6	28.7	16.0	事業所	362	29.8	24.6	28.7	16.0
訪問系	83	34.9	24.1	28.9	10.8	5人以下	33	12.1	30.3	45.5	9.1
施設系（入所型）	18	61.1	16.7	22.2	0.0	6～30人	111	27.9	25.2	36.0	10.8
施設系（通所型）	97	30.9	22.7	27.8	17.5	31～50人	40	45.0	22.5	20.0	12.5
居住系	44	29.5	18.2	9.1	43.2	51～100人	25	24.0	24.0	32.0	20.0
居宅介護支援	120	20.8	30.0	37.5	10.8	101～300人	38	31.6	31.6	21.1	15.8
						301人以上	112	32.1	21.4	22.3	24.1

2-3-2-2 サービスの質の向上や業務効率の改善に向けて行っている取組（事問20）

単位：％

	事業所数	自己評価の実施とその活用	利用者による評価の実施とその活用	第三者評価の実施とその活用	業務プロセスの見直し・改善	苦情・相談内容の蓄積・活用	苦情・相談対応に関するマニュアルの作成	事業所内での研修・講習会の実施	外部の研修や勉強会への参加
事業所	362	63.5	32.6	34.3	58.3	55.8	56.1	81.2	63.0
黒字	108	58.3	32.4	37.0	59.3	57.4	60.2	79.6	52.8
収支均衡	89	56.2	31.5	24.7	55.1	58.4	58.4	75.3	61.8
赤字	104	55.8	20.2	26.0	46.2	49.0	56.7	76.0	60.6
わからない	58	67.2	34.5	44.8	56.9	41.4	32.8	72.4	51.7
黒字－赤字の差	－	2.5	12.2	11.0	13.1	8.4	3.5	3.6	-7.8

	OJTやメンター等による指導・育成	サービス提供マニュアルの作成	従業員の資格取得への支援	事業者間の交流	ICT機器や介護ロボットの導入	事業者連絡会への出席	専門家、コンサルタントの活用	その他	特に行っていない
事業者	43.1	45.3	58.8	33.7	25.4	44.5	5.8	0.6	0.3
黒字	38.0	43.5	54.6	27.8	35.2	41.7	5.6	0.0	0.0
収支均衡	47.2	43.8	61.8	37.1	25.8	41.6	5.6	1.1	0.0
赤字	29.8	43.3	53.8	32.7	19.2	43.3	4.8	0.0	1.0
わからない	44.8	39.7	48.3	20.7	15.5	25.9	3.4	1.7	0.0
黒字－赤字の差	8.2	0.2	0.8	-4.9	16.0	-1.6	0.8	0.0	-1.0

2-3-2-3 ICT機器や介護ロボット等の導入に関する課題（事問23）

単位：％

	事業所数	導入・運用に関するコスト負担が大きい	機器の使用に必要な環境を整えることが難しい	使い勝手が悪い、扱いづらい	操作の習熟に時間や手間がかかる	機器の導入に対し、現場の抵抗感がある	職員から機器の準備が面倒との不満が出る	既存の業務のやり方を変えることが面倒
ICT機器等導入事業所	90	57.8	32.2	21.1	53.3	33.3	20.0	24.4
黒字	38	57.9	39.5	21.1	57.9	34.2	21.1	28.9
収支均衡	23	60.9	21.7	21.7	43.5	30.4	8.7	13.0
赤字	20	55.0	35.0	20.0	55.0	30.0	30.0	30.0
わからない	9	55.6	22.2	22.2	55.6	44.4	22.2	22.2

3. つながり、安心

(1) 見守り・孤立に関する課題

単身高齢者の増加や地域関係の希薄化により、地域で孤立した高齢者や身寄りのない高齢者など、他者との接点・交流が保ちにくい高齢者が増加している。本調査では、独居・孤独への不安、地域とのつながりの実感、地域包括支援センターの認知度などにおいて、回答者が単身高齢者か否かによって違いがあることが確認された。高齢者の孤立を防止し、安心して暮らし続けるために、様々な主体の協力を得ながら、地域の連携強化を図っていくことが課題である。

[調査結果]

3-1-1 日常生活での心配ごと「独居・孤独への不安」

・高齢者一般調査では、日常生活での心配ごととして、「独居・孤独への不安」が10.0%となった一方、単身者では24.5%となり、単身者の方が「独居・孤独への不安」を感じる割合が高く、他調査でも同様の傾向がみられた。

3-1-2 地域とのつながりの必要性和実感

・高齢者一般調査、要介護認定者調査、第2号被保険者調査において、「地域とのつながりの必要性を感じている」が8割台となった一方、「地域とのつながりを実際に感じている」は4～5割程度と大きく下回っている。特に第2号被保険者の単身者では、「地域とのつながりを実際に感じている」の割合が低くなっており地域から孤立している様子がうかがえる。

3-1-3 地域包括支援センターの認知度

・高齢者一般調査では、「地域包括支援センター」について、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」が37.0%となった一方、「名前を聞いたことがある程度でどのようなことをしているかは知らない」「名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた」「知らない・名前も聞いたことはない」のいずれかを回答した割合は58.2%と過半数を占める。

[地域課題]

課題1：単身高齢者の不安

・単身高齢者は、独居・孤独への不安を抱える割合で高い傾向がみられる。地域の見守り活動や社会参加を通じて高齢者の孤立を防止することが重要である。

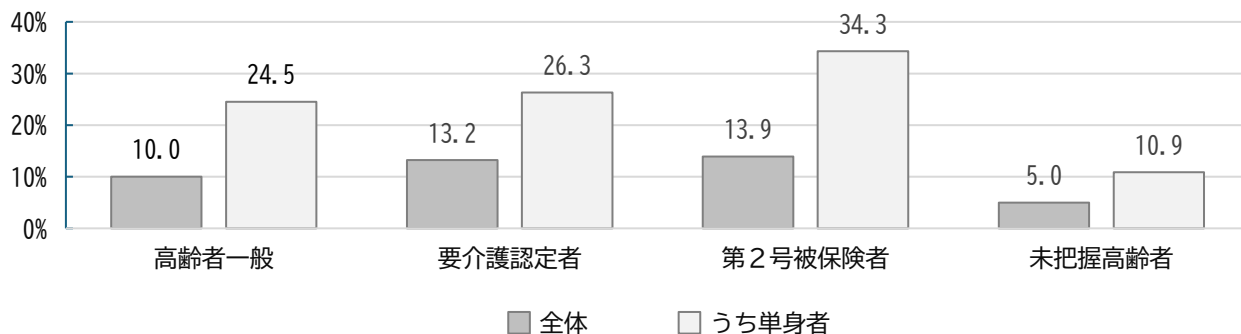
課題2：地域とのつながりの必要性和実感の差

・8割台の人が地域とのつながりの必要性を感じている一方で、地域とのつながりを実際に感じている割合が低い傾向がみられ、特に単身者で顕著である。日頃から地域を担当する地域包括支援センターや民生委員、自治会・町会など様々な主体とつながる関係づくりが課題である。

課題3：地域包括支援センターの認知度不足

・地域包括支援センターの認知度は、令和4年度の29.4%から7.6ポイント増加しているが、地域包括支援センターが高齢者にとって身近な相談窓口であることをより一層知ってもらう必要がある。

3-1-1 日常生活での心配ごと「独居・孤独への不安」(一問7、認問13、2問12、未問12)



3-1-2 地域とのつながりの必要性和実感(一問16、17、認問9、10、2問18、19)

単位：%

	人数	地域とのつながりの必要性		地域とのつながりの実感	
		必要	必要ない	感じる	感じない
高齢者一般	3,860	82.3	14.7	52.2	45.0
うち単身者	986	79.8	16.6	48.0	48.0
要介護認定者	1,686	82.5	14.9	55.6	42.5
うち単身者	494	85.4	13.4	61.6	37.8
第2号被保険者	703	82.8	16.2	39.0	60.3
うち単身者	140	78.5	21.4	20.8	79.3

3-1-3 地域包括支援センターの認知度(一問34、認問32)

単位：%

	人数	存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている	名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない	名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた	知らない・名前も聞いたことはない	無回答
高齢者一般令和7年度	3,860	37.0	33.2	6.7	18.3	4.8
うち単身者	986	39.7	31.0	5.4	17.8	6.1
高齢者一般令和4年度	4,027	29.4	34.3	6.3	24.3	5.7
要介護認定者令和7年度	1,686	51.5	23.4	3.7	10.6	10.8
うち単身者	494	49.8	24.7	3.4	10.9	11.1
要介護認定者令和4年度	1,745	45.9	27.8	5.1	12.1	9.1

(2) 住まい・災害時に関する課題

高齢者が地域で安心して暮らし続けるためには、住まい確保への支援や、災害時に備える体制の強化などが必要不可欠である。本調査では、住み続けることへの不安や、災害時の備えの状況が明らかとなった。高齢者の特性に配慮した安全で利便性の高い住宅の供給や、防災に関する知識の普及啓発を実施して防災意識の醸成が必要である。

[調査結果]

3-2-1 今後も住み続けることに対する心配、不安

・高齢者一般調査、要介護認定者調査、第2号被保険者調査において、「住宅がバリアフリーになっていない」が2割台、「建物が老朽化し、耐震性に不安」も2割台となった。

3-2-2 災害が起きた際の備え

・高齢者一般調査では、災害が起きた際の備えについて、「知らない、わからない」が12.5%となった一方、要介護認定者調査では、「知らない、わからない」は31.9%と、高齢者一般調査よりも高い結果となった。

3-2-3 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスの認知度

・高齢者一般調査では、「避難行動要支援者名簿」について「知っている」が10.0%、「マイ・タイムライン」について「知っている」は6.7%となった。

[地域課題]

課題1：住み続けることへの住環境・身体機能面の不安

・今後も住み続けることに対する心配や不安なこととして、「住宅がバリアフリーになっていない」ことや「建物が老朽化し、耐震性に不安」という回答が多くなっている。高齢者が可能な限り自らの生活ニーズに合った住まいで生活できるような支援や情報提供が必要である。

課題2：災害への備えの不足

・要介護認定者は、災害が起きた際の備えについて、「知らない、わからない」という回答割合が高い。災害時の備えについての理解が深まるよう普及啓発を継続し、発災時にはどのような避難行動をとればよいか本人や家族、地域の関係者等で共有ができるよう支援する必要がある。

課題3：防災関連事業の認知度不足

・令和4年度と比べると、避難行動要支援者名簿を知っている人の割合は2.5ポイント、マイ・タイムラインを知っている人の割合は3.4ポイント増加しているが、知っている人の割合は1割程度と低い結果となった。防災に関する取組をさらに普及啓発していく必要がある。

3-2-1 今後も住み続けることに対する心配、不安（一問3、認問3、2問3）

単位：％

	人数	住宅がバリアフリーになっていない	居室が狭い	空調がない、設置できない	建物が老朽化し、耐震性に不安	ローン、家賃が高く経済面で不安	修繕等の必要経費の確保が難しい	その他	特に心配や不安を感じることはない	無回答
高齢者一般	3,860	25.4	7.2	0.9	21.4	7.3	17.3	5.3	42.5	3.0
うち単身者	986	21.4	6.4	1.3	21.9	9.8	13.4	6.2	43.0	3.2
要介護認定者	1,686	28.9	10.0	1.2	24.4	7.5	18.9	4.7	39.0	5.3
うち単身者	494	26.5	6.1	1.6	23.1	6.9	16.0	6.5	41.9	4.9
第2号被保険者	703	26.7	12.5	1.0	20.6	19.2	19.8	6.7	32.1	1.6
うち単身者	140	23.6	15.0	1.4	22.1	26.4	13.6	8.6	30.0	0.7

3-2-2 災害が起きた際の備え（一問9、認問11）

単位：％

	人数	理解している	大体理解している	知らない、わからない	無回答
高齢者一般	3,860	18.4	66.9	12.5	2.2
うち単身者	986	17.3	62.4	18.0	2.3
要介護認定者	1,686	13.4	52.6	31.9	2.2
うち単身者	494	15.2	51.0	32.6	1.2
要介護1	564	13.5	54.3	29.3	3.0
要介護2	612	13.9	52.3	32.2	1.6
要介護3	244	13.5	49.6	34.8	2.0
要介護4	155	11.6	48.4	38.1	1.9
要介護5	111	12.6	57.7	27.9	1.8

3-2-3 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスの認知度（一問35、認問33） 単位：％

	人数	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっととテレフォン	避難行動要支援者名簿の登録	マイ・タイムライン	おいじたく（終活）の推進	成年後見制度
高齢者一般令和7年度	3,860	46.3	12.7	10.0	6.7	11.7	35.1
うち単身者	986	56.1	14.2	8.6	6.6	12.5	30.8
高齢者一般令和4年度	4,027	43.6	10.9	7.5	3.3	6.1	48.3
要介護認定者令和7年度	1,686	55.6	9.5	10.7	4.0	7.4	25.0
うち単身者	494	61.1	10.9	10.5	3.8	7.9	26.3
要介護認定者令和4年度	1,745	60.1	7.8	11.3	2.7	4.5	41.7

(3) 尊厳の確保に関する課題

高齢者が地域で自分らしく暮らし続けるためには、生命・身体の安全のみならず、意思決定の尊重や権利擁護を含む「尊厳の確保」が重要である。本調査では、ACP（アドバンス・ケア・プランニング、人生会議）の実施状況や権利擁護支援、虐待相談の実態が明らかとなった。早期の意思共有と包括的な権利擁護体制の強化が課題である。

[調査結果]

3-3-1 人生の最終段階で受たい医療やケアについて話し合ったこと

・高齢者一般調査では、人生の最終段階で受たい医療やケアについて「話し合ったことがある」とする回答が 24.2%の一方、「話し合ったことはないが話し合いたい」「話し合いたいが適切な相手がない」「話し合いたいと思わない」のいずれかを回答した割合が 70.0%を占める。高齢者一般調査のうち単身者では、「話し合いたいが適切な相手がない」が 17.1%と高くなっている。

3-3-2 成年後見制度と老いじたくの認知度と利用意向

・高齢者一般調査では、「成年後見制度」について「知っている」が 35.1%となった一方、「利用したい」は 6.2%と大きな差がみられる。また、「老いじたく（終活）の推進」について「知っている」が 11.7%、「利用したい」が 12.1%となった。

3-3-3 利用者やその家族から相談を受けたことのある相談事例

・利用者や家族からの相談事例として「ごみ屋敷、セルフネグレクト」が 54.0%、「世帯の生活困窮」が 53.0%と高くなっている。また、「虐待・家庭内暴力（DV）」に関する内容も 39.2%を占める。

[地域課題]

課題 1：ACP の普及不足と意思の尊重

・高齢者一般調査では、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合いたいと考える人が 5 割程度いるが、話し合いが十分進んでいない。家族や医療・介護関係者などと ACP について話し合い、本人の意思を十分に反映できるような取組が求められる。

課題 2：関連事業や制度の認知度・利用意向

・成年後見制度、老いじたく（終活）の認知度や利用意向を向上させるため、成年後見制度の普及啓発や、老いじたく推進事業の拡充を図り、利用を促進していく必要がある。

課題 3：虐待相談

・利用者や家族から相談を受けたことのある相談事例として「虐待・家庭内暴力（DV）」に関する内容が約 4 割を占める。高齢者の虐待防止及び早期発見のため、高齢者虐待防止についての正しい知識を広めるとともに、高齢者とその家族を支援していくことが課題である。

3-3-1 人生の最終段階で受たい医療やケアについて話し合ったこと（一問 33、認問 31） 単位：%

	人数	話し合ったことがある	話し合ったことはないが話し合いたい	話し合いたいが適切な相手がない	話し合いたいが思わない	無回答
高齢者一般	3,860	24.2	53.2	7.9	8.9	5.8
うち単身者	986	17.3	47.4	17.1	11.4	6.8
65～74歳:男性	836	18.9	51.9	12.0	13.4	3.8
75～84歳:男性	748	20.6	50.1	10.6	12.8	5.9
85歳以上:男性	158	22.8	51.9	5.1	10.8	9.5
65～74歳:女性	954	26.0	58.1	6.2	6.0	3.8
75～84歳:女性	938	28.8	52.7	4.9	5.0	8.6
85歳以上:女性	226	29.6	50.4	6.2	6.2	7.5
要介護認定者	1,686	34.7	41.0	5.2	12.6	6.5
うち単身者	494	37.0	35.6	8.7	13.6	5.1
要介護1	564	32.1	43.4	5.9	11.9	6.7
要介護2	612	32.7	40.0	5.2	14.9	7.2
要介護3	244	38.1	38.9	4.1	12.3	6.6
要介護4	155	37.4	39.4	5.8	12.3	5.2
要介護5	111	47.7	40.5	2.7	5.4	3.6

3-3-2 成年後見制度と老いじたくの認知度と利用意向（一問 35、認問 33） 単位：%

	人数	①知っている		②利用したい	
		成年後見制度	老いじたく（終活）の推進	成年後見制度	老いじたく（終活）の推進
高齢者一般	3,860	35.1	11.7	6.2	12.1
うち単身者	986	30.8	12.5	7.1	13.3
65～74歳:男性	836	27.4	7.8	6.0	10.6
75～84歳:男性	748	29.7	8.4	8.7	16.0
85歳以上:男性	158	26.6	11.4	4.4	13.3
65～74歳:女性	954	44.5	12.6	6.3	11.7
75～84歳:女性	938	38.6	15.7	4.6	10.6
85歳以上:女性	226	32.3	16.4	7.1	11.9
要介護認定者	1,686	25.0	7.4	5.2	9.0
うち単身者	494	26.3	7.9	5.5	9.3
要介護1	564	25.2	8.3	5.5	10.8
要介護2	612	23.7	5.6	3.9	7.0
要介護3	244	25.4	10.2	9.0	11.1
要介護4	155	29.7	10.3	3.2	6.5
要介護5	111	23.4	1.8	5.4	9.9

3-3-3 利用者やその家族から相談を受けたことのある相談事例（事問 32） 単位：%

	事業所数	高齢者（利用者及び家族）のひきこもり	利用者の子ども引きこもり（8050問題）	世帯の生活困窮	介助や支援が必要な家族が複数いる	ヤングケアラー（利用者の孫の世代）	利用者や家族がアルコール依存症	利用者及び家族の非行・犯罪	虐待・家庭内暴力（DV）	ごみ屋敷、セルフネグレクト	詐欺や勧誘等の消費者トラブル
事業所	385	34.0	27.8	53.0	39.5	15.1	37.4	12.5	39.2	54.0	30.9
訪問系	83	22.9	16.9	53.0	38.6	13.3	34.9	8.4	27.7	63.9	30.1
施設系（入所型）	18	0.0	5.6	50.0	16.7	0.0	22.2	0.0	55.6	50.0	0.0
施設系（通所型）	97	27.8	14.4	34.0	19.6	8.2	21.6	3.1	25.8	28.9	17.5
居住系	44	11.4	0.0	18.2	13.6	4.5	6.8	0.0	20.5	20.5	6.8
居宅介護支援	120	48.3	46.7	72.5	57.5	19.2	53.3	18.3	50.8	72.5	45.0
地域包括支援センター	23	95.7	95.7	100.0	100.0	60.9	100.0	69.6	100.0	95.7	87.0

第3章 各調査の結果

1. 高齢者一般調査

◆各種リスクの判定方法

この報告書においては、以下の判定方法により各種リスク該当者とした。

①運動器機能リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 10(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」	左記設問・選択肢で3つ以上が該当
問 10(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」	
問 10(3)	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」	
問 10(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」	
問 10(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」	

②転倒リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 10(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」	左記設問・選択肢で該当

③低栄養リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 11(1)	身長・体重	BMI (体重(kg) ÷ {身長(m) X 身長(m)}) < 18.5	左記設問・選択肢が該当

④咀嚼機能リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 11(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢が該当

⑤閉じこもりリスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 10(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」	左記設問・選択肢が該当

⑥認知症リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 12(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」	左記設問・選択肢が該当

⑦うつリスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 19(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢でいずれか1つ以上が該当
問 19(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」	

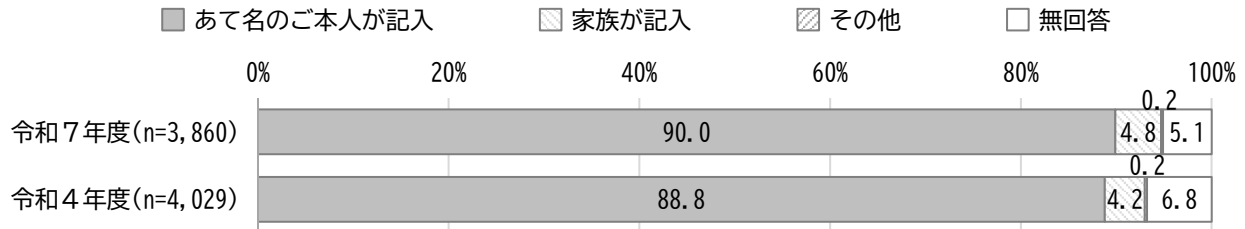
⑧IADL リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問 12(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	左記設問・選択肢で3つ以下が該当
問 12(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	
問 12(4)	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	
問 12(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	
問 12(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	

(1) 調査票への回答記入者

この調査票を記入されたのはどなたですか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「あて名のご本人が記入」が90.0%で最も高く、次いで、「家族が記入」が4.8%、「その他」が0.2%となっている。



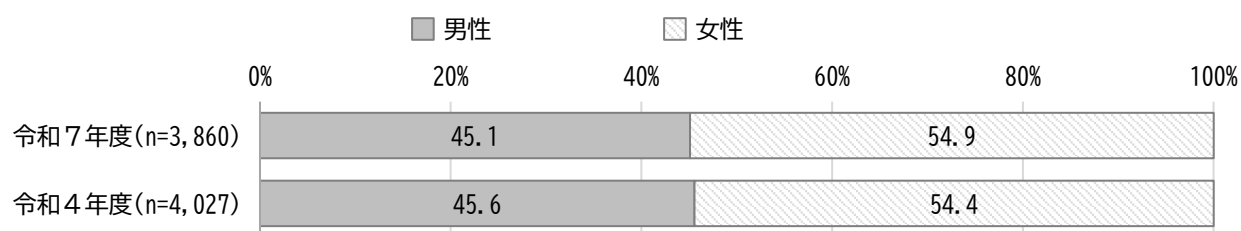
単位：%

	人数	あて名のご本人 が記入	家族が記入	その他	無回答
全体	3,860	90.0	4.8	0.2	5.1
65～74歳:男性	836	92.6	4.5	0.0	2.9
75～84歳:男性	748	86.4	7.4	0.3	6.0
85歳以上:男性	158	82.3	8.9	0.6	8.2
65～74歳:女性	954	94.7	1.5	0.1	3.8
75～84歳:女性	938	90.3	3.6	0.2	5.9
85歳以上:女性	226	76.5	12.8	0.0	10.6
1人暮らし	986	92.0	2.4	0.0	5.6
夫婦2人暮らし	1,572	89.6	5.7	0.3	4.5
息子・娘との2世帯	566	89.6	7.1	0.2	3.2
その他	669	90.9	4.3	0.0	4.8
大森西	295	87.1	4.7	0.3	7.8
入新井	196	92.3	3.1	0.0	4.6
馬込	272	91.5	5.1	0.4	2.9
池上	260	88.1	5.0	0.0	6.9
新井宿	123	89.4	1.6	0.0	8.9
嶺町	136	94.1	2.9	0.0	2.9
田園調布	119	95.8	1.7	0.0	2.5
鵜の木	131	91.6	4.6	0.0	3.8
久が原	165	94.5	2.4	0.0	3.0
雪谷	296	90.9	4.4	0.0	4.7
千束	139	92.8	3.6	0.0	3.6
六郷	394	89.6	4.8	0.0	5.6
矢口	240	90.0	5.4	0.4	4.2
蒲田西	320	88.8	5.6	0.3	5.3
蒲田東	243	90.5	4.9	0.0	4.5
大森東	112	91.1	4.5	0.0	4.5
糀谷	212	86.3	5.7	0.5	7.5
羽田	207	83.6	10.6	0.5	5.3

(2) 回答者の属性

①回答者の性別

令和7年度(n=3,860)では、「男性」が45.1%、「女性」が54.9%であった。

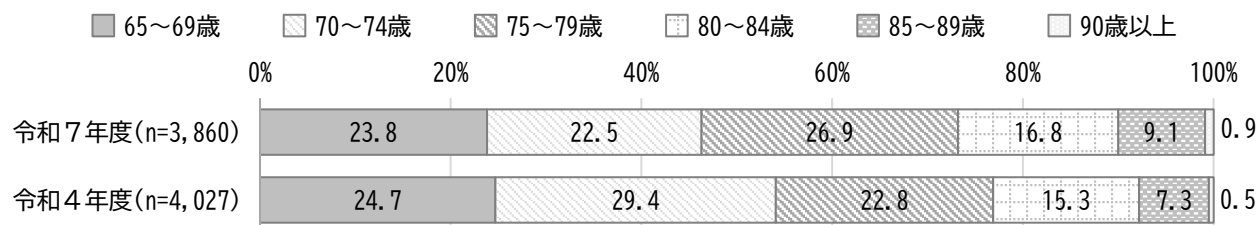


単位：%

	人数	男性	女性
全体	3,860	45.1	54.9
1人暮らし	986	39.7	60.3
夫婦2人暮らし	1,572	53.2	46.8
息子・娘との2世帯	566	39.0	61.0
その他	669	39.2	60.8

②回答者の年齢

令和7年度(n=3,860)では、「75～79歳」が26.9%で最も高く、次いで、「65～69歳」が23.8%、「70～74歳」が22.5%となっている。

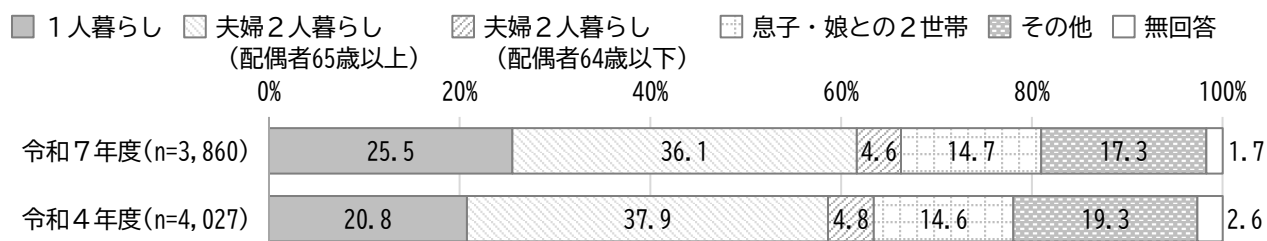


単位：%

	人数	65～74歳	75～84歳	85歳以上
全体	3,860	46.4	43.7	9.9
1人暮らし	986	41.0	46.1	12.9
夫婦2人暮らし	1,572	48.7	44.3	7.1
息子・娘との2世帯	566	42.2	44.5	13.3
その他	669	52.3	38.9	8.8

問1 あなたのご家族や生活状況について(1) 家族構成を教えてください。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が36.1%で最も高く、次いで、「1人暮らし」が25.5%、「その他」が17.3%となっている。「1人暮らし」の割合は、令和4年度の20.8%から4.7ポイント上昇している。その他(17.3%)では、「成人した子ども(息子・娘)と同居」や「高齢の親(実親・配偶者の親)と同居」との回答が多く見られた。

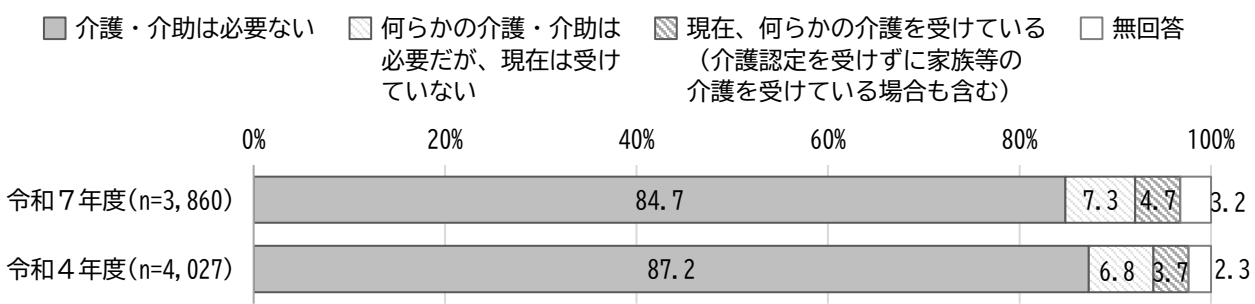


単位：%

	人数	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体	3,860	25.5	36.1	4.6	14.7	17.3	1.7
65～74歳:男性	836	22.8	33.3	12.1	11.0	18.9	1.9
75～84歳:男性	748	22.1	48.0	3.3	13.8	11.4	1.5
85歳以上:男性	158	22.2	41.8	5.1	16.5	12.0	2.5
65～74歳:女性	954	22.3	37.7	2.7	15.4	20.1	1.7
75～84歳:女性	938	30.9	31.8	1.5	15.9	18.7	1.3
85歳以上:女性	226	40.7	15.0	1.3	21.7	17.7	3.5
1人暮らし	986	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦2人暮らし	1,572	0.0	88.7	11.3	0.0	0.0	0.0
息子・娘との2世帯	566	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	669	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
大森西	295	31.5	31.5	2.7	13.6	18.0	2.7
入新井	196	23.0	37.8	4.6	16.3	17.9	0.5
馬込	272	30.5	36.0	5.1	12.5	14.3	1.5
池上	260	26.9	33.8	5.0	16.2	16.9	1.2
新井宿	123	24.4	39.8	4.9	12.2	17.1	1.6
嶺町	136	25.0	36.8	5.9	13.2	19.1	0.0
田園調布	119	11.8	41.2	3.4	23.5	19.3	0.8
鶯の木	131	23.7	38.9	6.1	17.6	12.2	1.5
久が原	165	23.0	34.5	6.1	18.2	15.2	3.0
雪谷	296	19.6	37.8	3.7	17.6	18.2	3.0
千束	139	20.9	46.0	2.2	13.7	15.8	1.4
六郷	394	26.6	36.3	4.8	12.4	18.0	1.8
矢口	240	26.7	41.7	5.0	11.3	14.6	0.8
蒲田西	320	25.6	34.7	4.7	15.0	18.4	1.6
蒲田東	243	31.3	29.6	5.3	14.8	17.7	1.2
大森東	112	25.9	28.6	7.1	12.5	25.0	0.9
糀谷	212	22.6	40.6	3.8	12.7	17.9	2.4
羽田	207	27.5	31.9	3.9	15.5	17.9	3.4

問1 (2) 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「介護・介助は必要ない」が84.7%で最も高く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.3%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」が4.7%となっている。



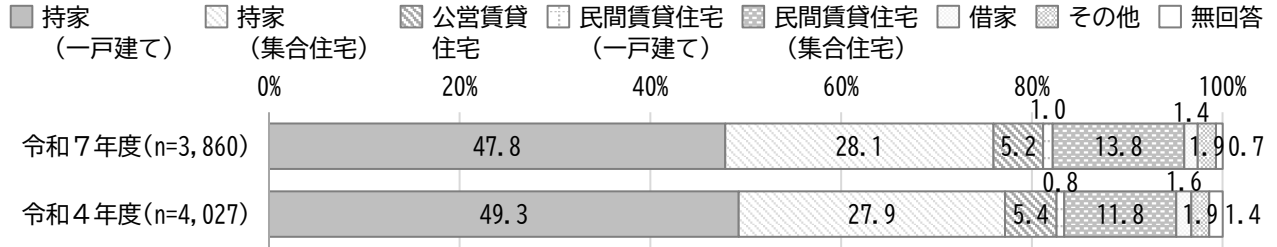
単位：%

	人数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)	無回答
全体	3,860	84.7	7.3	4.7	3.2
65～74歳:男性	836	92.7	2.6	3.1	1.6
75～84歳:男性	748	82.8	9.1	4.0	4.1
85歳以上:男性	158	66.5	19.0	8.2	6.3
65～74歳:女性	954	92.0	3.4	2.5	2.1
75～84歳:女性	938	80.6	8.2	6.9	4.3
85歳以上:女性	226	61.1	23.5	11.1	4.4
1人暮らし	986	83.5	8.4	3.9	4.3
夫婦2人暮らし	1,572	86.6	6.8	4.4	2.2
息子・娘との2世帯	566	83.9	7.2	5.8	3.0
その他	669	85.4	6.9	6.0	1.8

(3) 住まいの状況

問2 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「持家(一戸建て)」が47.8%で最も高く、次いで、「持家(集合住宅)」が28.1%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が13.8%となっている。

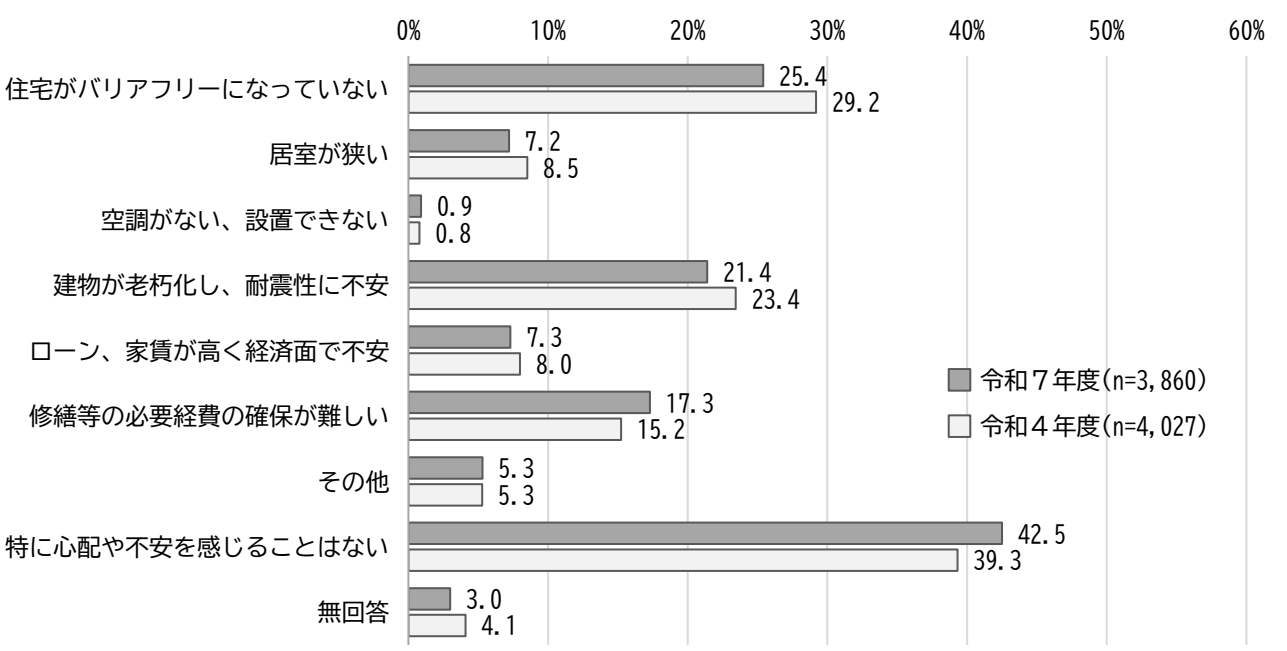


単位: %

	人数	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
全体	3,860	47.8	28.1	5.2	1.0	13.8	1.4	1.9	0.7
65~74歳:男性	836	47.0	27.5	1.7	1.2	18.5	1.4	1.7	1.0
75~84歳:男性	748	47.5	29.1	5.6	1.9	12.4	1.1	1.9	0.5
85歳以上:男性	158	58.2	21.5	7.6	1.3	7.0	0.6	2.5	1.3
65~74歳:女性	954	45.8	31.0	4.0	0.9	15.2	1.3	1.4	0.4
75~84歳:女性	938	48.0	27.2	8.0	0.5	11.2	1.7	2.7	0.7
85歳以上:女性	226	53.1	23.5	9.3	0.0	10.2	1.8	1.3	0.9
1人暮らし	986	29.6	26.4	8.6	1.7	28.9	1.8	2.2	0.7
夫婦2人暮らし	1,572	49.5	33.7	5.1	0.5	8.6	1.1	1.3	0.3
息子・娘との2世帯	566	61.8	23.9	2.7	1.1	8.1	1.1	0.7	0.7
その他	669	58.6	22.3	2.8	1.3	9.3	1.6	3.7	0.3

問3 現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありますか。
(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「特に心配や不安を感じることはない」が42.5%で最も高く、次いで、「住宅がバリアフリーになっていない」が25.4%、「建物が老朽化し、耐震性に不安」が21.4%となっている。「住宅がバリアフリーになっていない」の割合は、令和4年度の29.2%から3.8ポイント低下している。



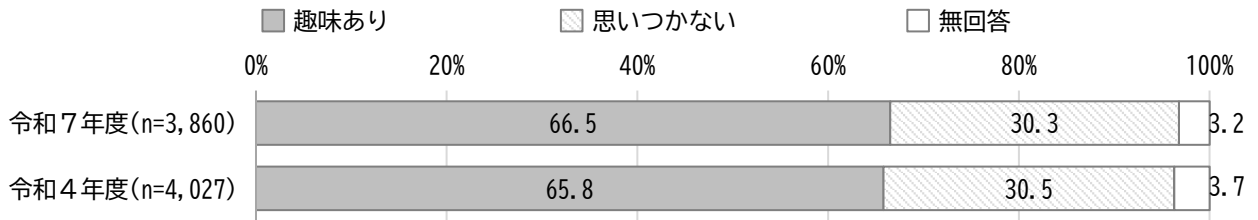
単位：%

	人数	住宅がバリアフリーになっていない	居室が狭い	空調がない、設置できない	建物が老朽化し、耐震性に不安	ローン、家賃が高く経済面で不安	修繕等の必要経費の確保が難しい	その他	特に心配や不安を感じることはない	無回答
全体	3,860	25.4	7.2	0.9	21.4	7.3	17.3	5.3	42.5	3.0
65～74歳:男性	836	27.9	8.1	0.8	22.4	11.4	19.6	6.0	38.4	1.6
75～84歳:男性	748	23.7	7.1	0.9	21.7	4.4	18.9	4.0	47.6	2.9
85歳以上:男性	158	22.8	6.3	1.3	19.6	3.2	18.4	5.1	45.6	2.5
65～74歳:女性	954	26.8	8.0	0.7	21.6	8.8	16.9	6.2	39.1	2.8
75～84歳:女性	938	24.0	6.2	1.2	20.3	6.2	15.2	5.2	45.0	4.3
85歳以上:女性	226	23.0	6.2	0.9	21.7	3.1	13.7	4.4	43.4	4.9
1人暮らし	986	21.4	6.4	1.3	21.9	9.8	13.4	6.2	43.0	3.2
夫婦2人暮らし	1,572	28.6	6.4	0.5	20.8	6.3	18.1	4.8	43.2	2.1
息子・娘との2世帯	566	26.1	10.1	1.1	18.4	7.8	17.7	3.0	43.3	3.0
その他	669	23.5	8.2	1.0	23.9	5.8	21.4	7.5	40.5	3.6

(4) 現在の生活に関する状況

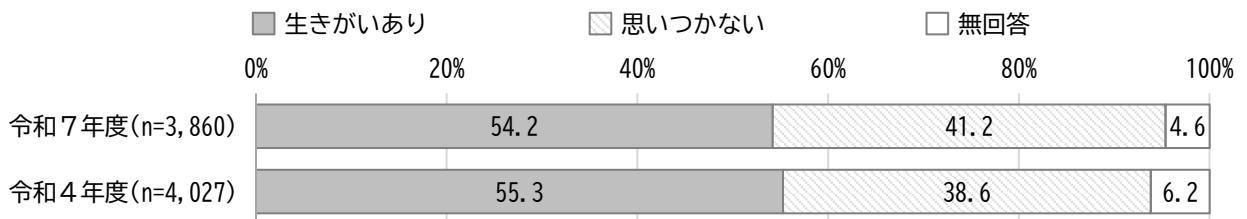
問4 趣味はありますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「趣味あり」が66.5%、「思いつかない」が30.3%であった。



問5 生きがいがありますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「生きがいあり」が54.2%、「思いつかない」が41.2%であった。



単位：%

	人数	趣味あり	思いつかない	無回答	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	3,860	66.5	30.3	3.2	54.2	41.2	4.6
65～74歳:男性	836	68.2	31.1	0.7	52.4	45.5	2.2
75～84歳:男性	748	61.2	35.3	3.5	48.8	47.2	4.0
85歳以上:男性	158	62.7	32.9	4.4	52.5	41.1	6.3
65～74歳:女性	954	71.0	27.4	1.7	59.2	37.3	3.5
75～84歳:女性	938	66.4	28.4	5.2	55.4	38.0	6.6
85歳以上:女性	226	62.4	28.8	8.8	54.0	35.0	11.1
1人暮らし	986	65.3	31.0	3.7	48.0	46.7	5.4
夫婦2人暮らし	1,572	67.2	30.2	2.7	57.6	38.2	4.1
息子・娘との2世帯	566	67.8	29.5	2.7	59.4	37.8	2.8
その他	669	67.6	29.6	2.8	52.6	43.0	4.3
大森西	295	60.3	36.9	2.7	48.5	46.8	4.7
入新井	196	70.9	26.5	2.6	61.2	33.2	5.6
馬込	272	71.3	25.4	3.3	54.0	40.1	5.9
池上	260	67.7	28.8	3.5	54.2	41.5	4.2
新井宿	123	68.3	26.0	5.7	56.9	37.4	5.7
嶺町	136	75.7	22.8	1.5	64.7	31.6	3.7
田園調布	119	84.0	16.0	0.0	76.5	19.3	4.2
鶯の木	131	77.9	19.8	2.3	66.4	28.2	5.3
久が原	165	72.7	23.6	3.6	61.8	30.9	7.3
雪谷	296	69.9	26.7	3.4	57.4	38.5	4.1
千束	139	70.5	27.3	2.2	61.9	36.0	2.2
六郷	394	67.3	28.7	4.1	48.5	45.9	5.6
矢口	240	61.3	34.6	4.2	49.2	45.8	5.0
蒲田西	320	61.3	34.7	4.1	51.6	44.4	4.1
蒲田東	243	64.2	34.2	1.6	54.3	43.2	2.5
大森東	112	60.7	36.6	2.7	44.6	50.9	4.5
糀谷	212	55.2	40.1	4.7	43.4	51.9	4.7
羽田	207	57.0	40.1	2.9	48.3	48.3	3.4

■趣味がある場合の具体的なことから

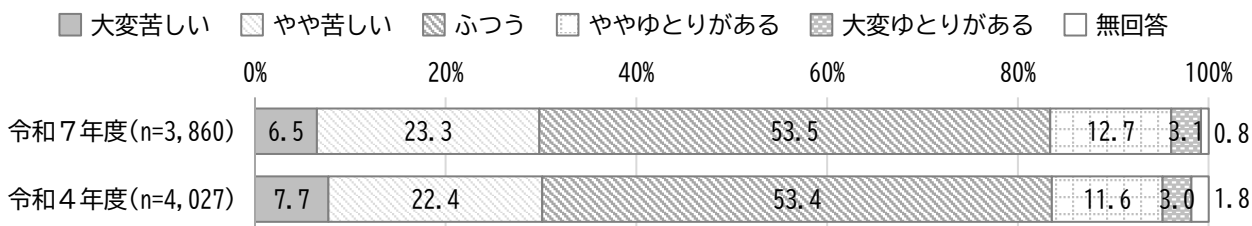
趣味	件数
スポーツ・レジャー	807
読書・勉強	251
外出・旅行	244
ものづくり・手芸	224
美術・芸術・文化	199
音楽	197
ゲーム	159
テレビ・映画	145
料理	28
社会活動・ボランティア	18
仕事・就労	18
PC・タブレット	14
動物・ペット	12
友人・交流	12
その他	114

■生きがいがある場合の具体的なことから

生きがい	件数
家族・子ども・孫	618
仕事・就労	237
趣味全般	217
健康・自立・生活	131
友人・交流	125
日常の楽しみ	126
スポーツ・レジャー	103
外出・旅行	88
社会活動・ボランティア	72
動物・ペット	52
勉強・読書	41
飲食	26
推し活	19
料理	12
その他	47

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「ふつう」が53.5%で最も高く、次いで、「やや苦しい」が23.3%、「ややゆとりがある」が12.7%となっている。

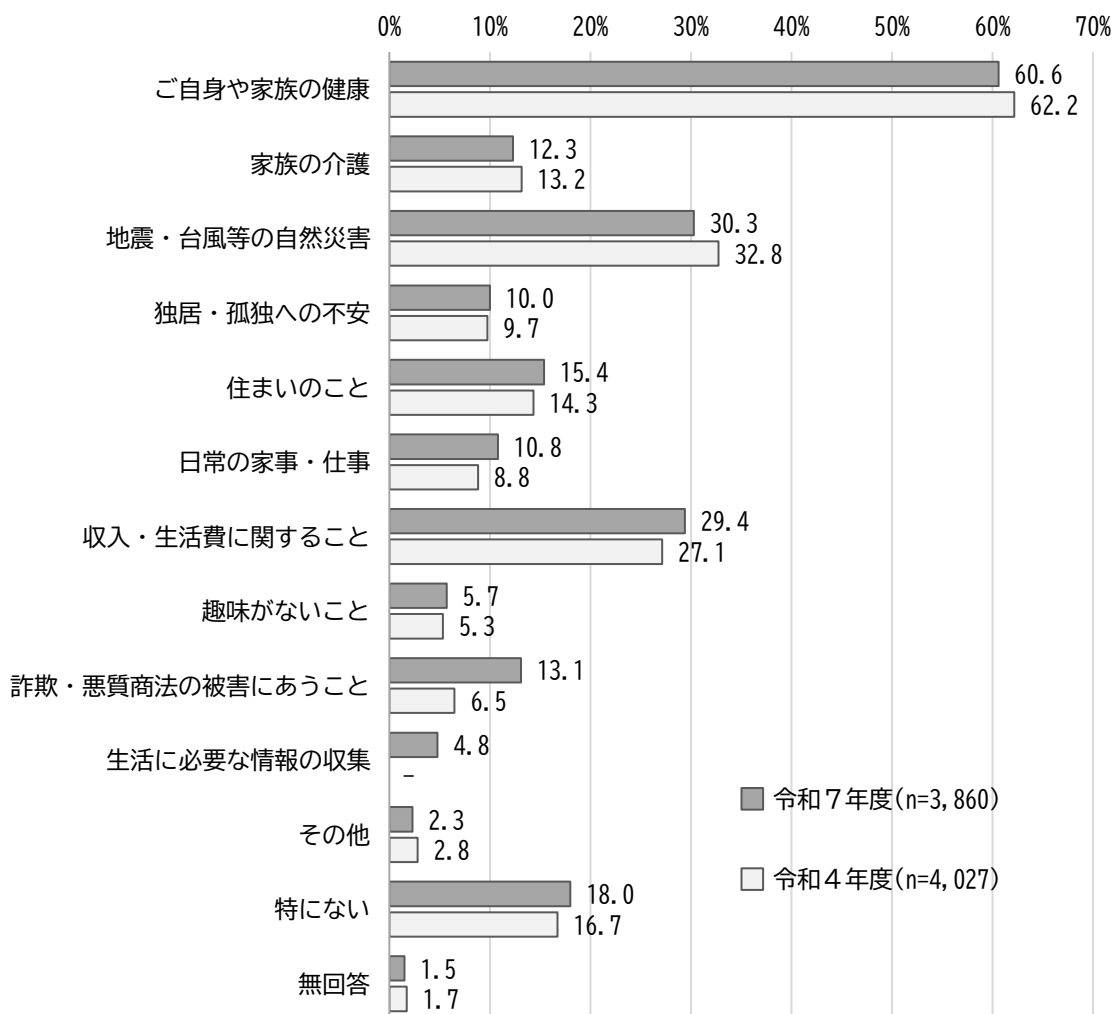


単位: %

	人数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	3,860	6.5	23.3	53.5	12.7	3.1	0.8
65～74歳:男性	836	7.3	27.6	47.7	13.3	3.6	0.5
75～84歳:男性	748	7.0	21.5	56.6	11.4	2.5	1.1
85歳以上:男性	158	4.4	24.1	53.2	11.4	5.1	1.9
65～74歳:女性	954	5.7	23.0	54.4	14.0	2.3	0.6
75～84歳:女性	938	6.7	21.6	55.2	12.6	3.1	0.7
85歳以上:女性	226	6.6	20.8	54.4	11.5	4.9	1.8
1人暮らし	986	10.2	26.3	50.3	9.0	3.2	0.9
夫婦2人暮らし	1,572	4.8	20.0	55.7	15.5	3.4	0.5
息子・娘との2世帯	566	5.1	24.9	52.8	14.3	2.7	0.2
その他	669	6.4	25.6	54.1	10.5	2.5	0.9

問7 日常生活での心配ごとはありませんか。(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「ご自身や家族の健康」が60.6%で最も高く、次いで、「地震・台風等の自然災害」が30.3%、「収入・生活費に関すること」が29.4%となっている。「詐欺・悪質商法の被害にあうこと」の割合(13.1%)は、令和4年度の6.5%から6.6ポイント上昇している。

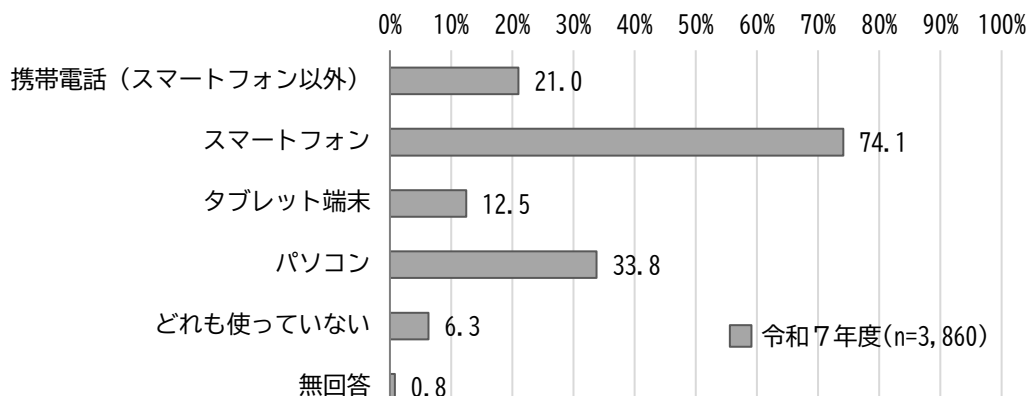


単位：%

	人数	ご自身や家族の健康	家族の介護	地震・台風等の自然災害	独居・孤独への不安	住まいのこと	日常の家事・仕事	収入・生活費に関すること	趣味がないこと	詐欺・悪質商法の被害にあうこと	生活に必要な情報の収集	その他	特にない	無回答
全体	3,860	60.6	12.3	30.3	10.0	15.4	10.8	29.4	5.7	13.1	4.8	2.3	18.0	1.5
65～74歳:男性	836	63.0	12.3	28.2	11.0	20.5	9.7	38.8	6.3	10.9	3.2	3.5	14.7	0.8
75～84歳:男性	748	60.0	10.0	21.9	8.8	13.5	9.8	27.5	8.0	9.6	4.4	2.3	20.5	1.3
85歳以上:男性	158	64.6	16.5	24.7	12.0	8.2	7.6	21.5	5.1	16.5	7.6	1.9	15.8	3.8
65～74歳:女性	954	62.1	13.2	35.0	10.4	17.0	9.9	30.7	4.2	13.4	6.0	2.1	17.6	0.7
75～84歳:女性	938	57.8	13.1	33.2	8.3	12.7	11.9	24.1	4.2	15.0	4.6	1.6	19.5	2.5
85歳以上:女性	226	56.6	10.2	38.1	13.7	12.8	19.5	22.1	8.8	20.8	6.2	2.2	18.1	1.3
1人暮らし	986	48.0	1.9	28.1	24.5	17.6	10.9	30.5	5.2	14.0	5.9	2.5	19.6	1.7
夫婦2人暮らし	1,572	67.2	16.3	28.9	5.8	12.6	9.7	26.7	6.2	12.3	4.5	1.7	17.7	1.2
息子・娘との2世帯	566	62.9	13.8	34.5	3.5	14.3	9.7	29.3	5.7	14.0	5.1	2.3	16.4	0.7
その他	669	62.8	17.3	33.0	3.9	19.6	13.5	33.9	4.5	12.4	3.7	3.6	17.2	1.3

問8 以下の通信・通話機器を使っていますか。(複数回答)

本設問(n=3,860)では、「スマートフォン」が74.1%で最も高く、次いで、「パソコン」が33.8%、「携帯電話(スマートフォン以外)」が21.0%となっている。



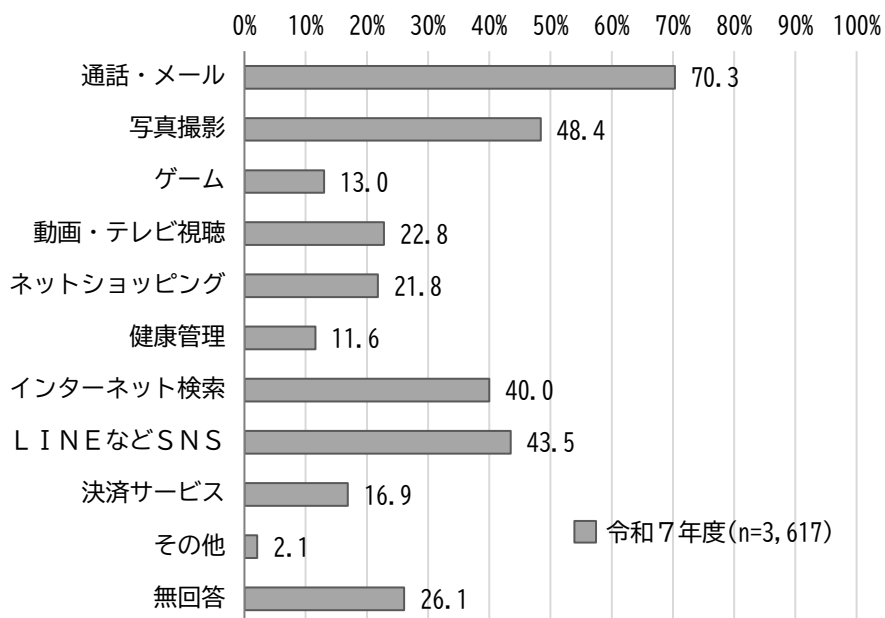
単位：%

	人数	携帯電話 (スマートフォン以外)	スマート フォン	タブレット 端末	パソコン	どれも使っ ていない	無回答
全体	3,860	21.0	74.1	12.5	33.8	6.3	0.8
65～74歳:男性	836	12.8	88.0	21.9	55.4	2.6	0.6
75～84歳:男性	748	25.0	67.6	11.1	41.4	9.4	0.5
85歳以上:男性	158	32.9	48.1	6.3	31.6	15.8	1.9
65～74歳:女性	954	12.1	86.6	14.4	34.2	1.9	0.4
75～84歳:女性	938	28.3	65.7	6.4	14.7	7.5	1.0
85歳以上:女性	226	38.1	44.7	4.0	7.1	16.8	2.7
1人暮らし	986	23.4	69.2	9.6	24.1	8.6	1.1
夫婦2人暮らし	1,572	19.1	78.1	14.1	40.8	4.1	0.6
息子・娘との2世帯	566	22.6	73.0	12.7	33.9	6.9	0.2
その他	669	20.2	75.6	13.3	33.5	6.9	0.3

【問8において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方にかがいます。】

問8-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。(複数回答)

本設問(n=3,617)では、「通話・メール」が70.3%で最も高く、次いで、「写真撮影」が48.4%、「LINEなどSNS」が43.5%となっている。



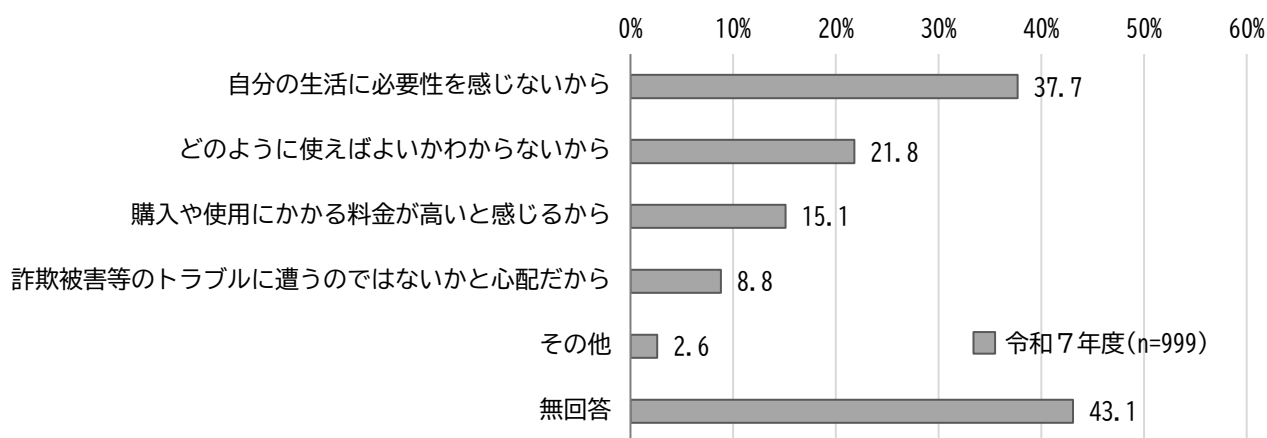
単位：%

	人数	通話・メール	写真撮影	ゲーム	動画・テレビ視聴	ネットショッピング	健康管理	インターネット検索	LINEなどSNS	決済サービス	その他	無回答
全体	3,617	70.3	48.4	13.0	22.8	21.8	11.6	40.0	43.5	16.9	2.1	26.1
65～74歳:男性	814	70.1	48.6	14.7	32.9	34.3	14.5	52.8	48.5	30.0	2.7	26.8
75～84歳:男性	678	70.9	39.1	9.0	15.5	17.7	12.2	38.3	33.3	15.0	2.7	24.2
85歳以上:男性	133	72.9	37.6	4.5	12.0	7.5	7.5	28.6	22.6	5.3	3.0	18.8
65～74歳:女性	936	69.0	56.3	20.1	31.6	31.0	13.0	48.7	54.4	21.3	1.3	29.5
75～84歳:女性	868	71.3	50.1	10.0	14.2	9.1	8.3	27.0	40.8	6.2	2.0	24.8
85歳以上:女性	188	68.6	40.4	4.3	8.0	5.9	8.0	16.0	31.4	3.2	1.1	25.0
1人暮らし	901	71.9	45.4	11.8	20.3	17.9	10.5	34.5	38.7	15.2	2.3	23.3
夫婦2人暮らし	1,508	70.8	50.3	13.3	23.0	23.5	12.9	43.8	46.3	18.4	2.0	26.3
息子・娘との2世帯	527	70.8	50.5	15.6	26.2	25.4	12.7	41.2	47.1	18.2	1.9	26.0
その他	623	67.6	47.0	12.5	24.1	21.5	9.5	40.0	42.9	15.7	1.9	28.7

【問8において、「2. スマートフォン」以外を選択した方にうかがいます。】

問8-2 スマートフォンを使用していない理由は何ですか。(複数回答)

本設問(n=999)では、「自分の生活に必要性を感じないから」が37.7%で最も高く、次いで、「どのように使えばよいかわからないから」が21.8%、「購入や使用にかかる料金が高いと感じるから」が15.1%となっている。

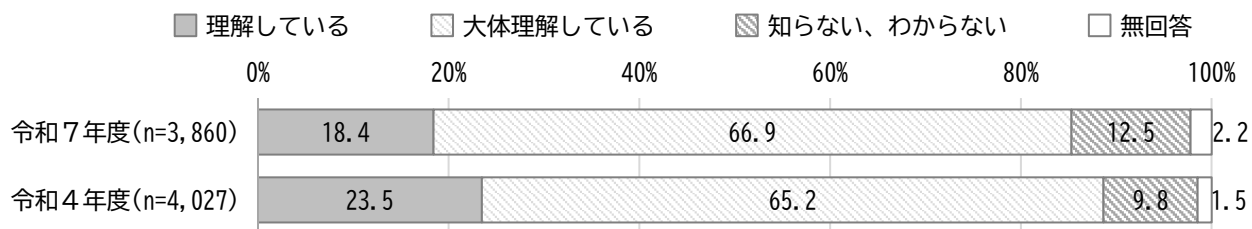


単位：%

	人数	自分の生活に 必要性を感じ ないから	どのように 使えばよいか わからないから	詐欺被害等の トラブルに遭う のではないかと 心配だから	購入や使用に かかる料金が 高いと感じる から	その他	無回答
全体	999	37.7	21.8	8.8	15.1	2.6	43.1
65～74歳:男性	100	36.0	15.0	4.0	22.0	4.0	45.0
75～84歳:男性	242	43.8	26.0	9.9	21.1	4.1	35.1
85歳以上:男性	82	48.8	34.1	4.9	13.4	2.4	26.8
65～74歳:女性	128	32.0	12.5	9.4	14.8	3.1	56.3
75～84歳:女性	322	35.4	22.7	10.6	9.9	1.2	46.9
85歳以上:女性	125	32.0	18.4	8.0	12.8	1.6	44.8
1人暮らし	304	35.9	22.0	9.9	18.1	3.3	40.5
夫婦2人暮らし	345	39.4	22.0	8.1	14.5	2.3	42.6
息子・娘との2世帯	153	41.8	19.0	8.5	10.5	2.0	45.8
その他	163	38.0	24.5	9.8	16.6	3.1	41.7

問9 災害（台風の水害等含む）が起きた際に、どのような備えが必要か、また自らがどのように動くべきか（避難するべきか、自宅で待機すべきか）、避難先について理解していますか。
（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「大体理解している」が66.9%で最も高く、次いで、「理解している」が18.4%、「知らない、わからない」が12.5%となっている。「理解している/大体理解している」(85.3%)は、令和4年度(88.7%)から3.4ポイント低下している。



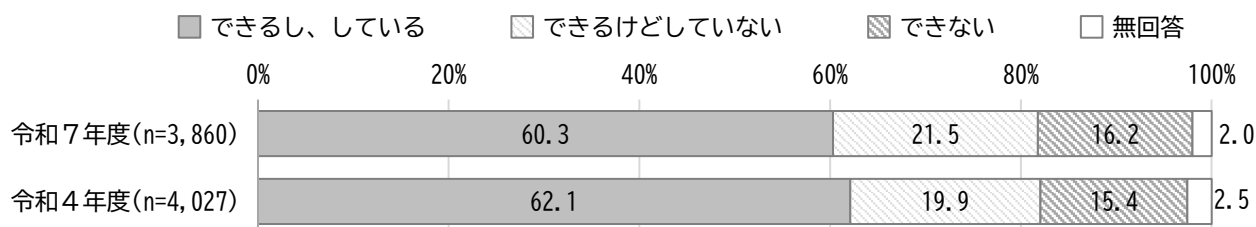
単位：%

	人数	理解している	大体理解している	知らない、わからない	無回答
全体	3,860	18.4	66.9	12.5	2.2
65～74歳:男性	836	19.3	63.6	15.1	2.0
75～84歳:男性	748	22.3	62.8	13.5	1.3
85歳以上:男性	158	20.9	60.1	16.5	2.5
65～74歳:女性	954	13.9	73.5	10.1	2.5
75～84歳:女性	938	18.4	69.4	10.0	2.1
85歳以上:女性	226	19.9	58.4	18.1	3.5
1人暮らし	986	17.3	62.4	18.0	2.3
夫婦2人暮らし	1,572	18.9	69.2	10.2	1.7
息子・娘との2世帯	566	19.3	66.4	11.5	2.8
その他	669	18.1	69.2	11.1	1.6

(5) 運動器の機能や外出の状況

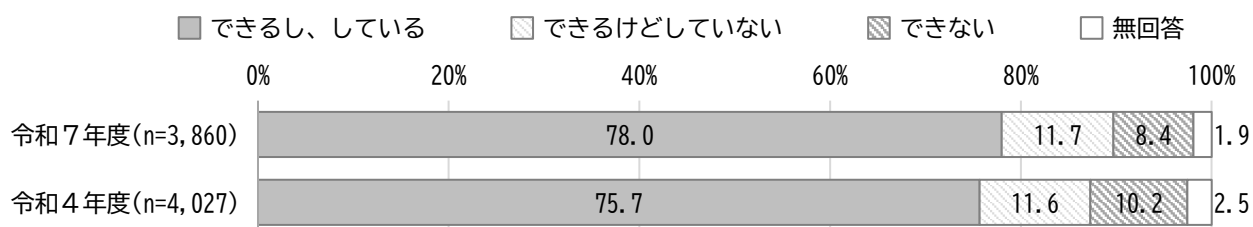
問 10 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が60.3%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が21.5%、「できない」が16.2%となっている。



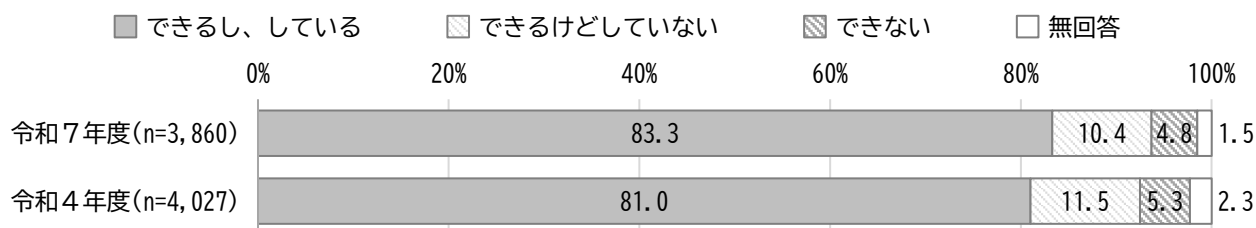
問 10 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が78.0%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が8.4%となっている。



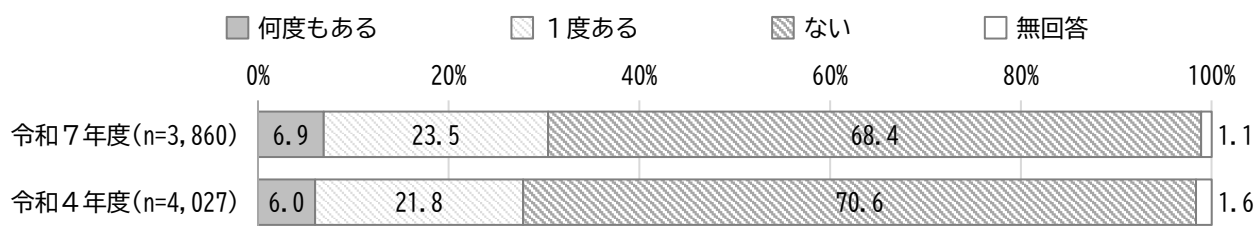
問 10 (3) 15分位続けて歩いていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が83.3%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が4.8%となっている。



問 10 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「ない」が68.4%で最も高く、次いで、「1度ある」が23.5%、「何度もある」が6.9%となっている。

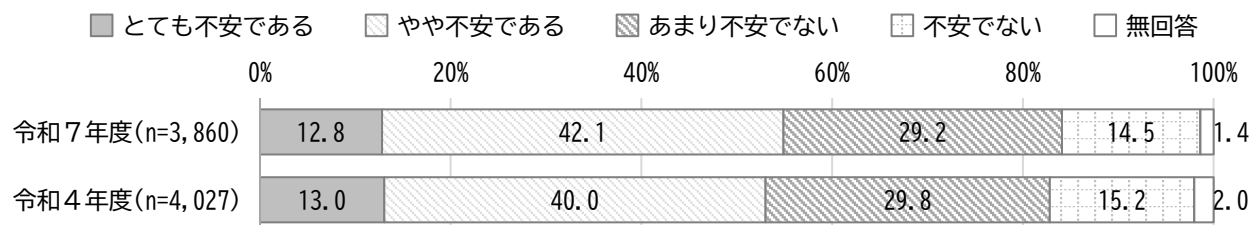


単位：％

	人数	転倒リスク	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	3,860	30.4	6.9	23.5	68.4	1.1
65～74歳:男性	836	26.6	6.7	19.9	72.8	0.6
75～84歳:男性	748	31.0	6.8	24.2	67.1	1.9
85歳以上:男性	158	41.1	9.5	31.6	56.3	2.5
65～74歳:女性	954	26.9	5.2	21.7	72.9	0.2
75～84歳:女性	938	34.2	7.4	26.8	64.2	1.7
85歳以上:女性	226	35.4	11.5	23.9	63.7	0.9
1人暮らし	986	33.4	8.0	25.4	65.8	0.8
夫婦2人暮らし	1,572	28.4	5.8	22.6	70.6	1.0
息子・娘との2世帯	566	29.9	5.7	24.2	69.3	0.9
その他	669	31.9	9.0	22.9	66.8	1.3
大森西	295	31.6	8.5	23.1	67.1	1.4
入新井	196	28.6	7.7	20.9	70.4	1.0
馬込	272	29.1	5.9	23.2	70.2	0.7
池上	260	31.9	5.0	26.9	68.1	0.0
新井宿	123	32.6	4.1	28.5	66.7	0.8
嶺町	136	32.3	5.1	27.2	66.2	1.5
田園調布	119	32.8	8.4	24.4	66.4	0.8
鵜の木	131	27.5	4.6	22.9	71.0	1.5
久が原	165	30.9	7.9	23.0	68.5	0.6
雪谷	296	29.7	7.4	22.3	68.6	1.7
千束	139	33.1	10.1	23.0	66.2	0.7
六郷	394	29.7	5.8	23.9	69.3	1.0
矢口	240	30.4	4.6	25.8	69.2	0.4
蒲田西	320	28.8	7.2	21.6	69.7	1.6
蒲田東	243	29.7	5.8	23.9	69.1	1.2
大森東	112	27.7	10.7	17.0	71.4	0.9
糎谷	212	32.5	8.0	24.5	65.6	1.9
羽田	207	32.3	10.1	22.2	65.7	1.9

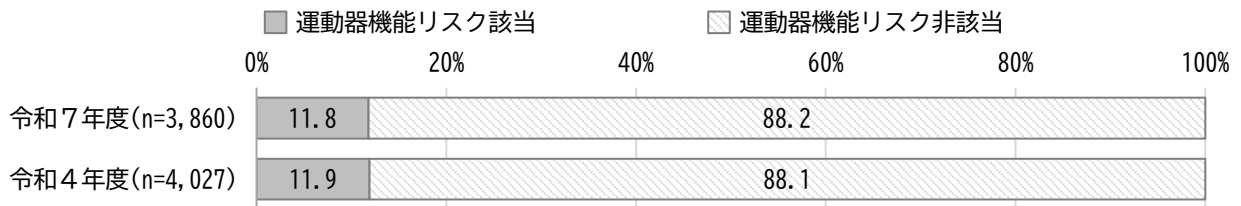
問10(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「やや不安である」が42.1%で最も高く、次いで、「あまり不安でない」が29.2%、「不安でない」が14.5%となっている。



■運動器機能リスク

「階段を手すりや壁をつたわずに昇れない」「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない」「15分位続けて歩けない」「過去1年間に転んだ経験が1度以上ある」「転倒に対してとても不安である/やや不安である」が3つ以上の運動器機能リスク該当者は、11.8%であった。

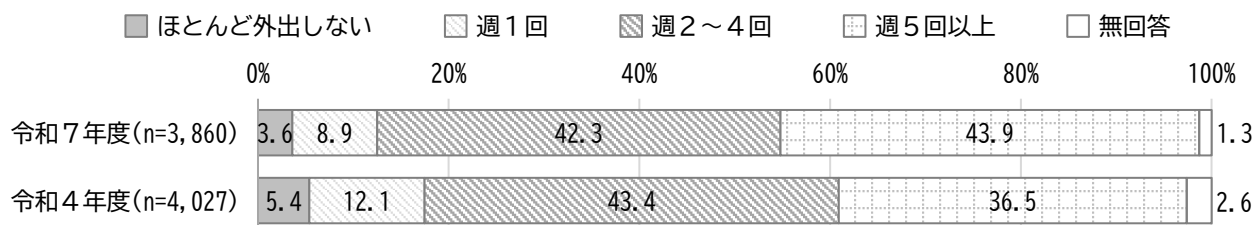


単位：%

	人数	運動器機能リスク	階段を手すりや壁をつたわずに昇れない	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない	15分位続けて歩けない	過去1年間に転んだ経験が1度以上ある	転倒に対してとても不安である/やや不安である
全体	3,860	11.8	16.2	8.4	4.8	30.4	54.9
65～74歳:男性	836	6.0	6.6	4.5	2.9	26.6	42.1
75～84歳:男性	748	10.6	13.5	7.2	4.8	31.0	47.0
85歳以上:男性	158	19.6	23.4	13.3	15.8	41.1	58.2
65～74歳:女性	954	5.9	10.0	4.4	2.3	26.9	55.3
75～84歳:女性	938	17.1	23.8	11.7	5.1	34.2	67.7
85歳以上:女性	226	35.0	51.3	26.5	13.7	35.4	72.6
1人暮らし	986	14.0	17.1	10.2	6.8	33.4	57.1
夫婦2人暮らし	1,572	9.9	15.0	6.6	3.8	28.4	53.7
息子・娘との2世帯	566	13.6	18.7	11.0	4.6	29.9	57.6
その他	669	11.4	15.5	7.6	4.5	31.9	52.8
大森西	295	11.5	15.9	10.2	6.1	31.6	48.8
入新井	196	11.2	16.3	6.6	3.1	28.6	59.2
馬込	272	12.5	16.9	9.6	5.1	29.1	52.9
池上	260	16.2	23.1	11.9	3.8	31.9	58.1
新井宿	123	9.8	14.6	6.5	5.7	32.6	50.5
嶺町	136	8.8	15.4	5.9	1.5	32.3	54.4
田園調布	119	4.2	5.0	1.7	0.8	32.8	53.8
鵜の木	131	12.2	16.0	9.2	4.6	27.5	51.2
久が原	165	9.7	15.2	6.7	3.0	30.9	57.6
雪谷	296	9.8	15.2	6.8	3.4	29.7	54.7
千束	139	12.9	13.7	7.2	2.2	33.1	55.4
六郷	394	10.7	14.7	8.6	5.8	29.7	51.8
矢口	240	12.5	17.5	7.9	5.8	30.4	61.7
蒲田西	320	8.4	9.7	5.9	4.1	28.8	54.7
蒲田東	243	12.8	18.1	11.1	5.3	29.7	55.9
大森東	112	12.5	15.2	5.4	8.9	27.7	45.5
糀谷	212	16.5	22.6	11.3	7.5	32.5	61.4
羽田	207	17.4	22.7	12.1	7.2	32.3	58.5

問 10 (6) 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「週5回以上」が43.9%で最も高く、次いで、「週2～4回」が42.3%、「週1回」が8.9%となっている。「週5回以上」の割合は、令和4年度の36.5%から7.4ポイント上昇している。「ほとんど外出しない/週1回」の閉じこもりリスク該当者(12.5%)は、令和4年度の17.5%から5.0ポイント低下している。

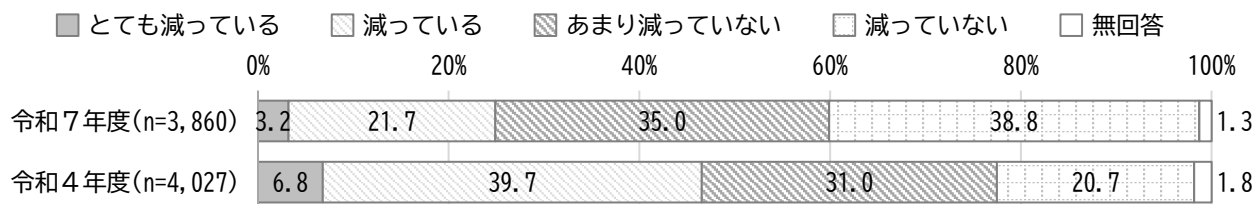


単位: %

	人数	閉じこもり リスク	ほとんど外 出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	3,860	12.5	3.6	8.9	42.3	43.9	1.3
65～74歳:男性	836	10.5	3.0	7.5	32.8	56.1	0.6
75～84歳:男性	748	15.8	4.7	11.1	41.7	40.9	1.6
85歳以上:男性	158	23.4	7.6	15.8	43.0	31.6	1.9
65～74歳:女性	954	7.0	1.5	5.5	39.3	53.0	0.7
75～84歳:女性	938	13.5	3.9	9.6	50.7	33.6	2.1
85歳以上:女性	226	21.3	7.1	14.2	56.6	21.2	0.9
1人暮らし	986	11.0	3.4	7.6	45.7	41.9	1.3
夫婦2人暮らし	1,572	13.4	3.2	10.2	40.5	45.1	1.0
息子・娘との2世帯	566	14.5	3.9	10.6	43.3	41.3	0.9
その他	669	11.1	4.5	6.6	40.5	46.8	1.6
大森西	295	11.5	4.4	7.1	38.3	47.8	2.4
入新井	196	11.8	2.6	9.2	33.2	54.1	1.0
馬込	272	12.8	1.8	11.0	43.0	43.4	0.7
池上	260	14.6	3.1	11.5	46.2	38.8	0.4
新井宿	123	17.1	6.5	10.6	35.8	47.2	0.0
嶺町	136	9.6	2.2	7.4	38.2	50.7	1.5
田園調布	119	6.7	1.7	5.0	45.4	46.2	1.7
鶴の木	131	14.5	4.6	9.9	42.7	39.7	3.1
久が原	165	12.1	4.8	7.3	44.2	41.8	1.8
雪谷	296	11.5	1.7	9.8	44.3	43.2	1.0
千束	139	10.1	2.9	7.2	44.6	45.3	0.0
六郷	394	11.2	4.3	6.9	43.1	44.9	0.8
矢口	240	9.2	2.9	6.3	50.8	39.2	0.8
蒲田西	320	12.2	4.4	7.8	40.9	45.0	1.9
蒲田東	243	9.0	1.6	7.4	45.7	44.4	0.8
大森東	112	23.2	7.1	16.1	30.4	44.6	1.8
糀谷	212	17.5	5.7	11.8	46.7	34.0	1.9
羽田	207	16.9	4.8	12.1	38.2	43.0	1.9

問 10 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「減っていない」が38.8%で最も高く、次いで、「あまり減っていない」が35.0%、「減っている」が21.7%となっている。「減っていない」の割合は、令和4年度の20.7%から18.1ポイント上昇している。



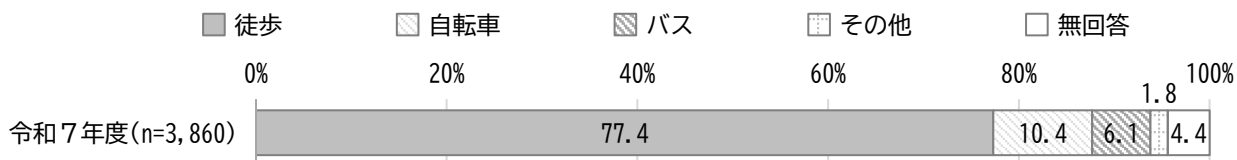
単位：%

	人数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	3,860	3.2	21.7	35.0	38.8	1.3
65～74歳:男性	836	3.2	16.3	31.8	48.1	0.6
75～84歳:男性	748	3.1	21.5	35.2	38.9	1.3
85歳以上:男性	158	4.4	31.0	38.0	22.2	4.4
65～74歳:女性	954	1.4	16.8	35.2	46.1	0.5
75～84歳:女性	938	3.6	25.5	37.1	31.6	2.2
85歳以上:女性	226	8.0	40.7	34.1	15.5	1.8
1人暮らし	986	3.0	21.9	36.8	37.1	1.1
夫婦2人暮らし	1,572	2.9	20.2	35.4	40.3	1.1
息子・娘との2世帯	566	3.2	25.3	35.7	34.8	1.1
その他	669	3.9	21.8	30.6	42.2	1.5
大森西	295	3.7	21.0	30.2	43.1	2.0
入新井	196	1.0	23.0	34.2	41.3	0.5
馬込	272	3.7	23.5	33.5	38.6	0.7
池上	260	2.3	21.5	38.8	36.5	0.8
新井宿	123	3.3	20.3	35.8	39.0	1.6
嶺町	136	1.5	15.4	36.0	44.9	2.2
田園調布	119	1.7	16.8	36.1	44.5	0.8
鶴の木	131	4.6	21.4	38.2	33.6	2.3
久が原	165	3.0	21.2	35.2	39.4	1.2
雪谷	296	2.7	23.6	32.4	39.9	1.4
千束	139	2.9	20.9	38.1	37.4	0.7
六郷	394	3.0	21.8	32.2	41.6	1.3
矢口	240	2.9	22.9	40.0	33.8	0.4
蒲田西	320	5.0	17.5	37.2	38.4	1.9
蒲田東	243	3.3	20.6	37.0	38.3	0.8
大森東	112	3.6	17.9	36.6	40.2	1.8
糀谷	212	4.7	26.9	33.0	33.0	2.4
羽田	207	2.4	28.0	31.9	35.7	1.9

問 10（8）最寄りの駅またはバス停までの①移動手段と②所要時間を教えてください。
（単数回答）

① 移動手段

本設問(n=3,860)では、「徒歩」が77.4%で最も高く、次いで、「自転車」が10.4%、「バス」が6.1%となっている。

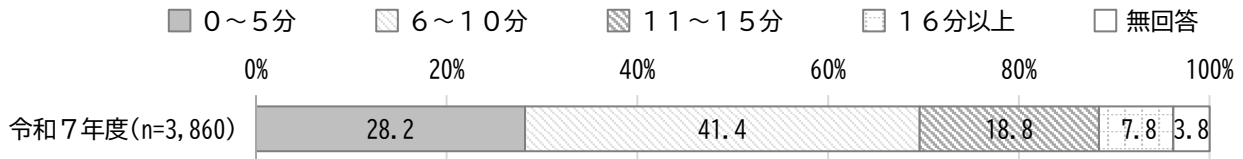


単位：%

	人数	徒歩	自転車	バス	その他	無回答
全体	3,860	77.4	10.4	6.1	1.8	4.4
65～74歳:男性	836	85.2	8.1	2.5	1.8	2.4
75～84歳:男性	748	77.4	11.1	5.2	2.1	4.1
85歳以上:男性	158	71.5	13.9	5.7	1.9	7.0
65～74歳:女性	954	77.5	13.4	5.0	0.9	3.1
75～84歳:女性	938	73.0	10.0	9.4	1.3	6.3
85歳以上:女性	226	69.9	3.5	12.8	6.2	7.5
1人暮らし	986	73.9	11.5	7.3	1.6	5.7
夫婦2人暮らし	1,572	79.8	9.5	5.2	1.8	3.7
息子・娘との2世帯	566	77.2	12.2	6.2	1.2	3.2
その他	669	79.1	9.3	5.4	2.2	4.0
大森西	295	72.2	16.3	5.1	0.7	5.8
入新井	196	84.7	7.1	5.1	1.5	1.5
馬込	272	77.6	4.8	11.4	2.2	4.0
池上	260	78.5	7.3	9.6	1.5	3.1
新井宿	123	65.0	8.1	19.5	2.4	4.9
嶺町	136	87.5	5.1	1.5	2.9	2.9
田園調布	119	80.7	5.9	5.9	2.5	5.0
鶉の木	131	88.5	5.3	0.0	1.5	4.6
久が原	165	80.0	9.1	4.8	0.6	5.5
雪谷	296	83.8	4.1	5.7	1.4	5.1
千束	139	90.6	7.9	0.0	1.4	0.0
六郷	394	71.8	15.2	7.6	1.5	3.8
矢口	240	77.5	15.4	1.7	2.5	2.9
蒲田西	320	77.5	12.5	2.8	1.3	5.9
蒲田東	243	81.5	9.5	2.9	1.6	4.5
大森東	112	59.8	21.4	12.5	2.7	3.6
糀谷	212	63.7	14.6	10.4	2.4	9.0
羽田	207	76.3	12.1	4.3	3.4	3.9

② 所要時間

本設問(n=3,860)では、「6～10分」が41.4%で最も高く、次いで、「0～5分」が28.2%、「11～15分」が18.8%となっている。



単位：%

	人数	0～5分	6～10分	11～15分	16分以上	無回答
全体	3,860	28.2	41.4	18.8	7.8	3.8
65～74歳:男性	836	30.3	43.3	18.4	6.0	2.0
75～84歳:男性	748	25.7	43.2	20.9	6.8	3.5
85歳以上:男性	158	24.1	39.9	17.7	8.2	10.1
65～74歳:女性	954	29.7	44.0	17.4	7.0	1.9
75～84歳:女性	938	28.6	36.9	19.9	9.5	5.1
85歳以上:女性	226	24.3	36.7	15.9	13.7	9.3
1人暮らし	986	29.7	36.4	19.5	10.6	3.8
夫婦2人暮らし	1,572	26.3	43.4	20.0	6.4	3.9
息子・娘との2世帯	566	31.1	42.6	16.6	6.0	3.7
その他	669	28.6	42.8	17.3	8.1	3.3
大森西	295	27.5	40.7	18.0	9.8	4.1
入新井	196	26.5	45.4	19.4	5.6	3.1
馬込	272	28.7	39.7	20.6	7.7	3.3
池上	260	27.7	44.6	17.7	6.5	3.5
新井宿	123	26.0	34.1	23.6	13.0	3.3
嶺町	136	31.6	54.4	7.4	4.4	2.2
田園調布	119	26.9	40.3	19.3	7.6	5.9
鶯の木	131	49.6	38.2	8.4	0.8	3.1
久が原	165	31.5	43.0	17.6	4.8	3.0
雪谷	296	34.5	40.5	16.6	4.1	4.4
千束	139	36.7	46.0	12.9	2.9	1.4
六郷	394	24.1	38.8	22.1	12.2	2.8
矢口	240	25.0	39.6	25.4	6.7	3.3
蒲田西	320	21.6	44.7	20.6	9.4	3.8
蒲田東	243	24.3	43.2	21.0	8.6	2.9
大森東	112	34.8	25.9	17.0	16.1	6.3
糀谷	212	24.5	33.5	23.1	11.3	7.5
羽田	207	26.6	47.8	15.5	4.8	5.3

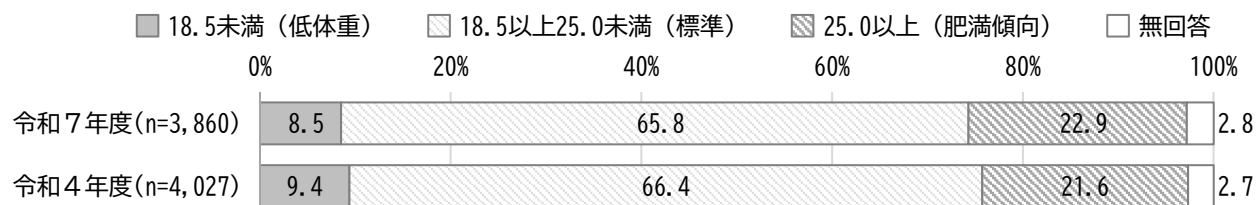
(6) 栄養状態や口腔機能等に関する状況

問 11 (1) BMI (数値記入)

※BMIの計算式：体重(kg) ÷身長(m) ÷身長(m)

なお、身長・体重に関する回答のうち、現実的でないと思われる数値は除いて集計

回答者の身長・体重についての回答に基づき、BMIを算出したところ、令和7年度(n=3,860)では、「18.5未満(低体重)」が8.5%、「18.5以上25.0未満(標準)」が65.8%、「25.0以上(肥満傾向)」が22.9%となっている。

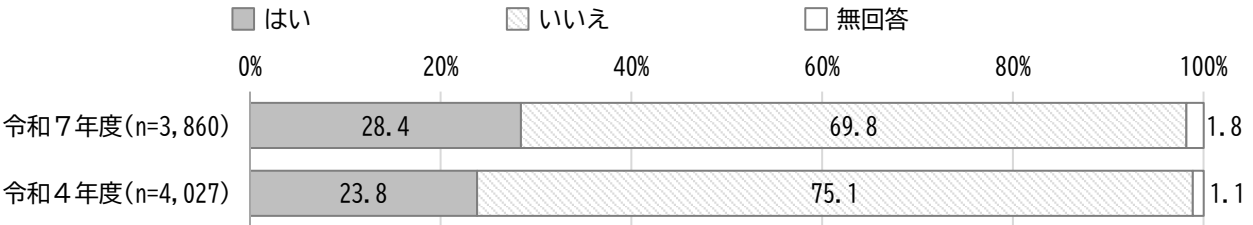


単位：%

	人数	18.5未満 (低体重)	18.5以上25.0未 満 (標準)	25.0以上 (肥満傾向)	無回答
全体	3,860	8.5	65.8	22.9	2.8
65～74歳:男性	836	3.6	63.8	31.5	1.2
75～84歳:男性	748	4.5	68.2	24.7	2.5
85歳以上:男性	158	6.3	70.9	20.3	2.5
65～74歳:女性	954	12.4	65.1	20.0	2.5
75～84歳:女性	938	12.0	65.6	18.4	3.9
85歳以上:女性	226	11.1	65.0	17.3	6.6
1人暮らし	986	9.8	65.6	21.3	3.2
夫婦2人暮らし	1,572	7.8	66.9	23.9	1.5
息子・娘との2世帯	566	8.0	64.7	23.9	3.5
その他	669	9.3	65.3	21.5	3.9
大森西	295	7.5	65.4	23.7	3.4
入新井	196	7.1	65.3	25.0	2.6
馬込	272	9.2	65.8	21.0	4.0
池上	260	8.5	66.9	22.7	1.9
新井宿	123	10.6	72.4	15.4	1.6
嶺町	136	11.0	61.8	24.3	2.9
田園調布	119	8.4	70.6	20.2	0.8
鶉の木	131	9.2	71.8	16.8	2.3
久が原	165	10.3	64.8	22.4	2.4
雪谷	296	11.1	63.5	22.0	3.4
千束	139	5.8	74.8	18.0	1.4
六郷	394	9.1	63.5	24.6	2.8
矢口	240	9.2	67.5	22.1	1.3
蒲田西	320	8.1	63.4	25.0	3.4
蒲田東	243	6.2	64.2	25.9	3.7
大森東	112	12.5	61.6	24.1	1.8
糀谷	212	8.0	60.4	27.4	4.2
羽田	207	4.3	70.5	21.7	3.4

問 11 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「はい」が28.4%、「いいえ」が69.8%であった。「いいえ」の割合は、令和4年度の75.1%から5.3ポイント低下している。半年前に比べて固いものが食べにくくなった咀嚼機能リスク該当者は、令和4年度の23.8%から4.6ポイント上昇している。



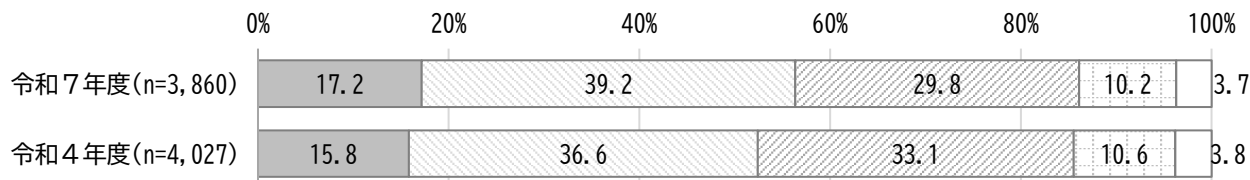
単位: %

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	3,860	28.4	69.8	1.8
65～74 歳:男性	836	24.9	73.8	1.3
75～84 歳:男性	748	32.5	65.5	2.0
85 歳以上:男性	158	40.5	55.7	3.8
65～74 歳:女性	954	21.3	77.6	1.2
75～84 歳:女性	938	30.6	66.8	2.6
85 歳以上:女性	226	40.7	58.0	1.3
1人暮らし	986	31.1	66.6	2.2
夫婦2人暮らし	1,572	27.5	71.3	1.2
息子・娘との2世帯	566	29.2	69.4	1.4
その他	669	25.6	72.0	2.4
大森西	295	29.8	67.5	2.7
入新井	196	25.5	72.4	2.0
馬込	272	27.9	71.0	1.1
池上	260	28.8	70.4	0.8
新井宿	123	26.8	72.4	0.8
嶺町	136	21.3	75.7	2.9
田園調布	119	17.6	80.7	1.7
鶉の木	131	22.9	75.6	1.5
久が原	165	20.6	79.4	0.0
雪谷	296	25.7	71.6	2.7
千束	139	25.2	74.1	0.7
六郷	394	31.0	67.5	1.5
矢口	240	27.1	72.5	0.4
蒲田西	320	30.9	67.8	1.3
蒲田東	243	30.5	68.7	0.8
大森東	112	33.9	61.6	4.5
糀谷	212	36.8	57.1	6.1
羽田	207	35.7	62.3	1.9

問 11 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.2%で最も高く、次いで、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.2%となっている。「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用/自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(56.4%)は、令和4年度の(52.4%)から4.0ポイント上昇している。

自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
 無回答

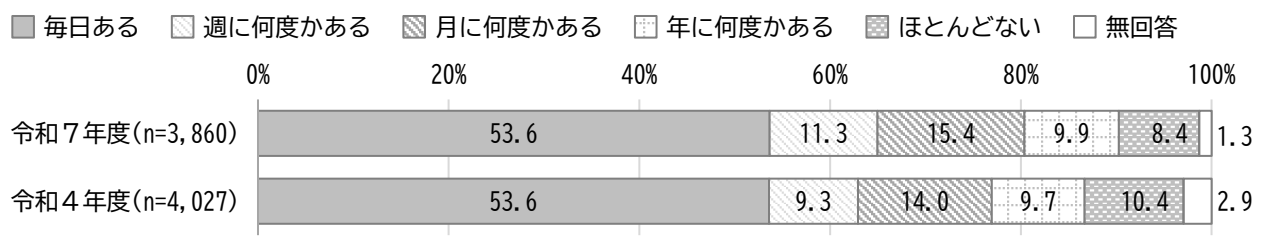


単位：%

	人数	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体	3,860	17.2	39.2	29.8	10.2	3.7
65～74歳:男性	836	16.6	48.8	21.2	11.4	2.0
75～84歳:男性	748	17.8	31.0	36.6	11.0	3.6
85歳以上:男性	158	19.0	24.1	38.6	8.2	10.1
65～74歳:女性	954	13.6	52.7	22.1	10.0	1.6
75～84歳:女性	938	20.5	30.3	35.5	8.8	4.9
85歳以上:女性	226	18.1	21.2	41.2	10.6	8.8
1人暮らし	986	14.9	34.9	32.0	13.1	5.1
夫婦2人暮らし	1,572	19.1	40.3	28.4	9.3	2.9
息子・娘との2世帯	566	15.7	40.5	32.3	9.4	2.1
その他	669	17.9	42.6	27.1	8.5	3.9

問 11 (4) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「毎日ある」が53.6%で最も高く、次いで、「月に何度かある」が15.4%、「週に何度かある」が11.3%となっている。



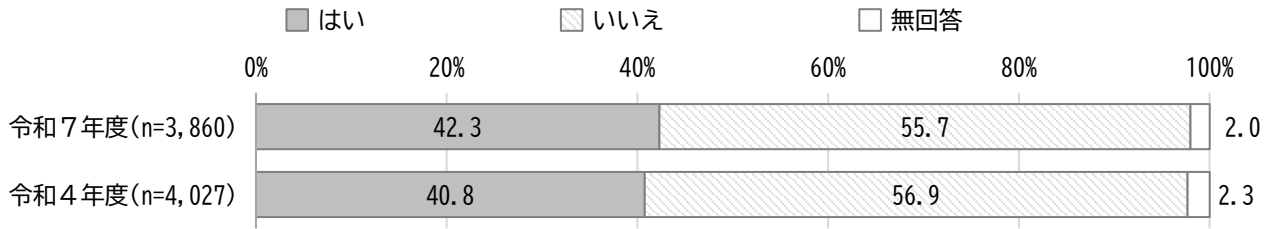
単位：%

	人数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	3,860	53.6	11.3	15.4	9.9	8.4	1.3
65～74歳:男性	836	54.8	12.3	10.8	9.9	10.9	1.3
75～84歳:男性	748	54.8	7.1	14.2	10.4	12.6	0.9
85歳以上:男性	158	44.9	10.1	15.8	15.2	11.4	2.5
65～74歳:女性	954	62.3	11.4	13.7	6.9	4.8	0.8
75～84歳:女性	938	49.0	12.4	20.4	9.8	6.5	1.9
85歳以上:女性	226	34.1	17.7	23.0	17.3	6.2	1.8
1人暮らし	986	3.3	17.8	35.6	22.1	20.2	0.9
夫婦2人暮らし	1,572	74.0	6.9	8.4	5.5	3.8	1.3
息子・娘との2世帯	566	68.2	12.4	8.1	6.0	4.6	0.7
その他	669	67.4	11.1	9.3	5.5	4.8	1.9

(7) 毎日の生活の状況

問 12 (1) 物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「はい」が42.3%、「いいえ」が55.7%となっている。

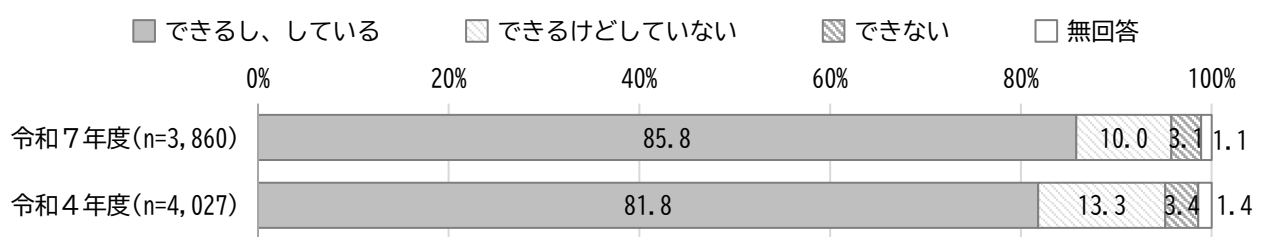


単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	3,860	42.3	55.7	2.0
65～74歳:男性	836	39.6	59.7	0.7
75～84歳:男性	748	43.0	54.9	2.0
85歳以上:男性	158	55.1	41.8	3.2
65～74歳:女性	954	36.7	61.9	1.4
75～84歳:女性	938	44.8	52.0	3.2
85歳以上:女性	226	54.0	42.5	3.5
1人暮らし	986	39.1	57.7	3.1
夫婦2人暮らし	1,572	42.2	56.6	1.3
息子・娘との2世帯	566	46.3	52.5	1.2
その他	669	43.3	54.3	2.4
大森西	295	39.7	58.6	1.7
入新井	196	43.4	55.1	1.5
馬込	272	45.6	52.2	2.2
池上	260	42.7	56.2	1.2
新井宿	123	42.3	56.9	0.8
嶺町	136	35.3	62.5	2.2
田園調布	119	39.5	59.7	0.8
鷯の木	131	36.6	62.6	0.8
久が原	165	37.6	59.4	3.0
雪谷	296	39.5	58.1	2.4
千束	139	53.2	46.0	0.7
六郷	394	38.6	58.9	2.5
矢口	240	42.5	56.7	0.8
蒲田西	320	42.5	55.0	2.5
蒲田東	243	48.6	49.0	2.5
大森東	112	40.2	55.4	4.5
糀谷	212	42.9	53.3	3.8
羽田	207	49.8	49.3	1.0

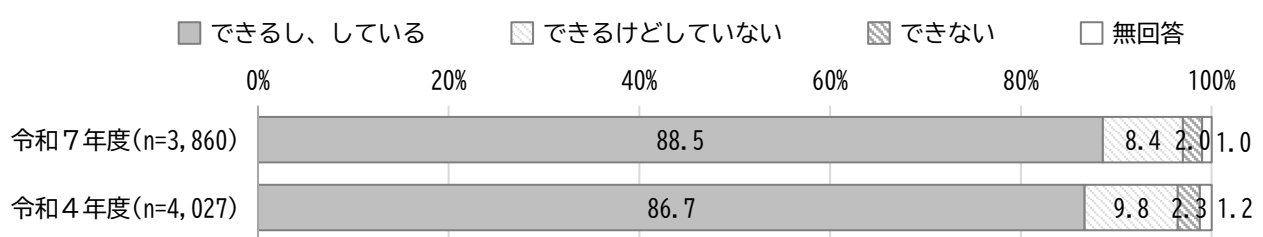
問 12 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が85.8%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が10.0%、「できない」が3.1%となっている。「できるし、している」の割合は、令和4年度の81.8%から4.0ポイント上昇している。



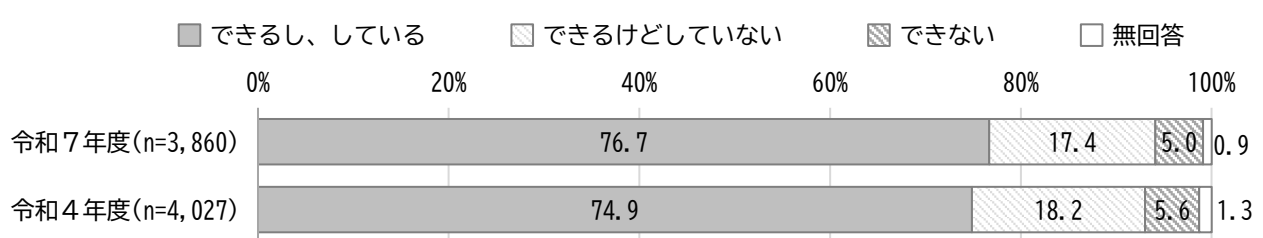
問 12 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が88.5%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が8.4%、「できない」が2.0%となっている。



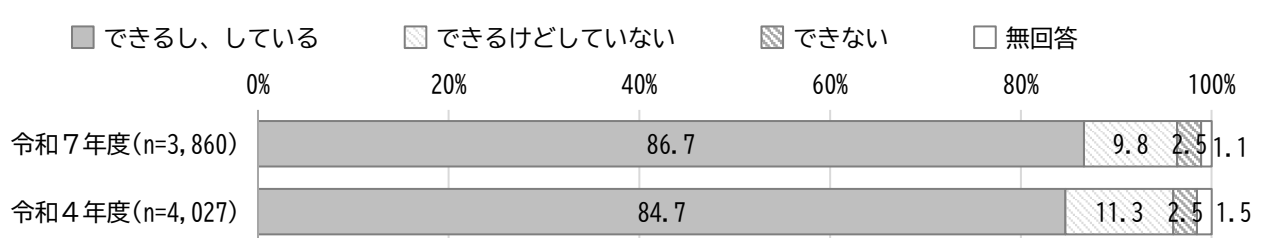
問 12 (4) 自分で食事の用意をしていますか。（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が76.7%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が17.4%、「できない」が5.0%となっている。



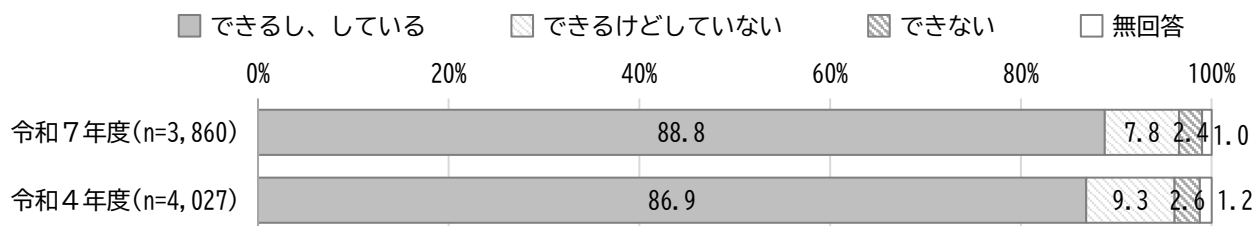
問 12 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が86.7%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が9.8%、「できない」が2.5%となっている。



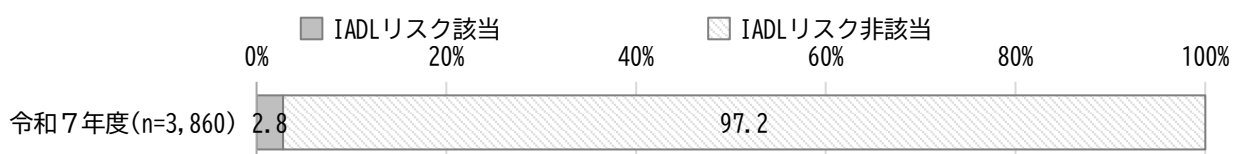
問12(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「できるし、している」が88.8%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が7.8%、「できない」が2.4%となっている。



■ IADL リスク該当者

「1人で外出」「買物」「食事の用意」「請求書の支払」「預貯金の出納」について「できるし、している」か「できるけどしていない」が3つ以下の IADL リスク該当者は、2.8%となっている。



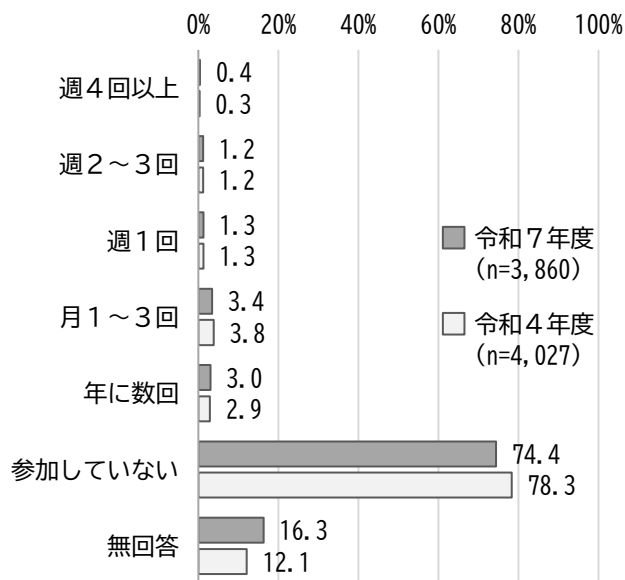
単位：%

	人数	IADL リスク	1人で外出 できない	買物でき ない	食事の用意 できない	請求書の支 払できない	預貯金の出 納できない
全体	3,860	2.8	3.1	2.0	5.0	2.5	2.4
65～74歳:男性	836	2.5	1.1	1.2	7.4	3.3	2.8
75～84歳:男性	748	3.7	2.4	2.1	9.8	2.9	3.3
85歳以上:男性	158	10.8	8.2	5.1	19.0	7.6	10.1
65～74歳:女性	954	0.9	1.5	0.8	0.4	0.6	0.5
75～84歳:女性	938	2.0	3.8	2.1	1.5	1.5	1.5
85歳以上:女性	226	6.6	12.4	7.5	4.0	5.8	4.9
1人暮らし	986	1.6	3.9	1.5	1.8	0.7	0.7
夫婦2人暮らし	1,572	3.4	2.4	2.0	7.1	3.2	3.6
息子・娘との2世帯	566	2.8	3.7	2.8	4.9	2.3	2.7
その他	669	2.7	2.8	2.1	4.3	3.0	2.1
大森西	295	3.4	4.7	1.4	7.1	3.1	3.4
入新井	196	1.0	3.1	1.5	6.1	2.0	2.0
馬込	272	4.8	2.6	2.6	4.8	2.6	2.9
池上	260	0.8	3.1	1.5	3.5	1.9	1.9
新井宿	123	3.3	2.4	3.3	4.1	0.8	0.8
嶺町	136	1.5	2.2	1.5	4.4	1.5	0.7
田園調布	119	1.7	0.0	0.8	7.6	0.8	3.4
鵜の木	131	1.5	2.3	1.5	5.3	2.3	1.5
久が原	165	3.6	3.0	1.2	3.6	1.2	0.6
雪谷	296	2.7	2.0	1.4	6.1	1.7	2.7
千束	139	1.4	0.7	0.7	5.0	2.2	0.7
六郷	394	3.0	3.0	2.5	4.3	2.5	3.6
矢口	240	2.9	2.9	1.3	5.4	2.5	3.8
蒲田西	320	2.5	2.2	2.2	3.8	2.8	1.6
蒲田東	243	1.6	3.7	1.6	4.1	2.1	0.8
大森東	112	3.6	2.7	1.8	5.4	4.5	3.6
糀谷	212	4.7	4.7	4.2	2.8	3.3	3.3
羽田	207	5.3	6.8	4.8	7.2	5.3	3.9

問13(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(単数回答)

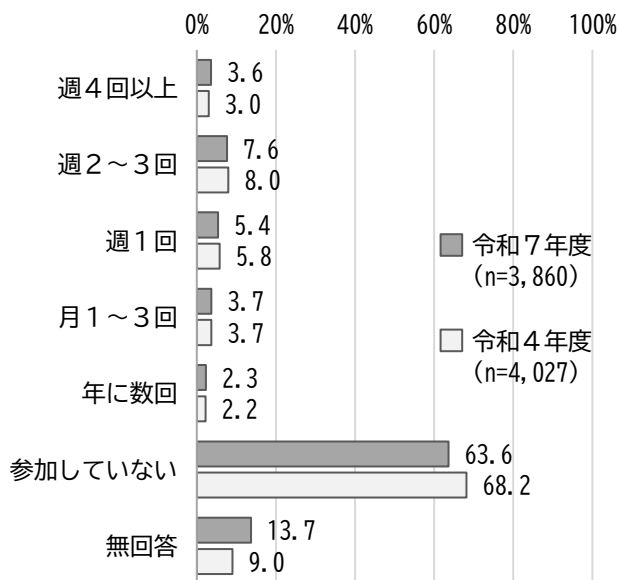
① ボランティアのグループ

令和7年度(n=3,860)では、「月1～3回」が3.4%、「年に数回」が3.0%、「週1回」が1.3%となっている。



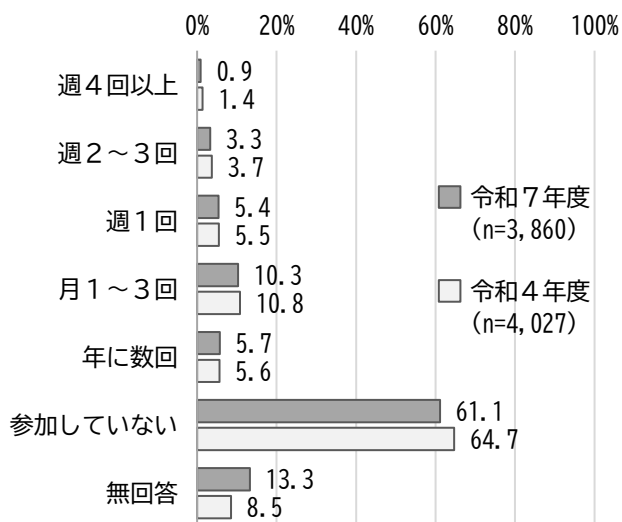
② スポーツ関係のグループやクラブ

令和7年度(n=3,860)では、「週2～3回」が7.6%、「週1回」が5.4%、「月1～3回」が3.7%となっている。



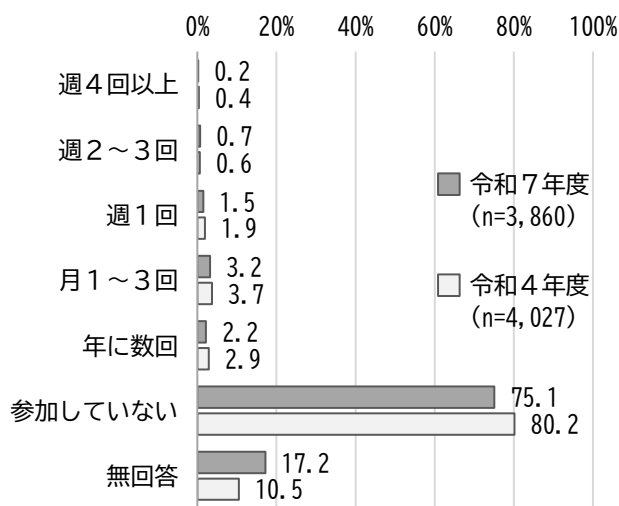
③ 趣味関係のグループ

令和7年度(n=3,860)では、「月1～3回」が10.3%、「年に数回」が5.7%、「週1回」が5.4%となっている。



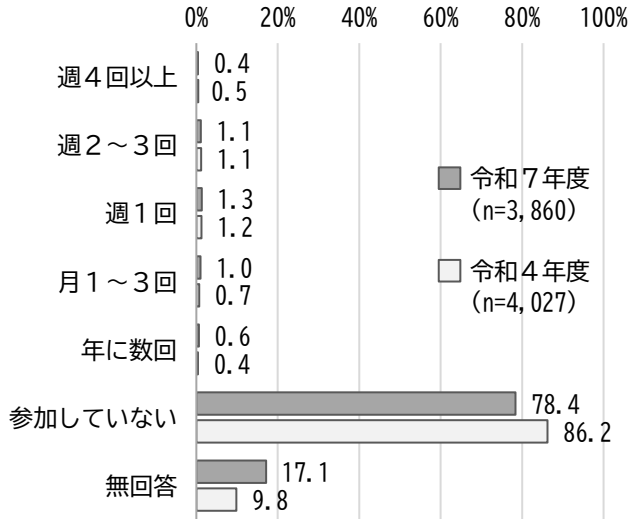
④ 学習・教養サークル

令和7年度(n=3,860)では、「月1～3回」が3.2%、「年に数回」が2.2%、「週1回」が1.5%となっている。



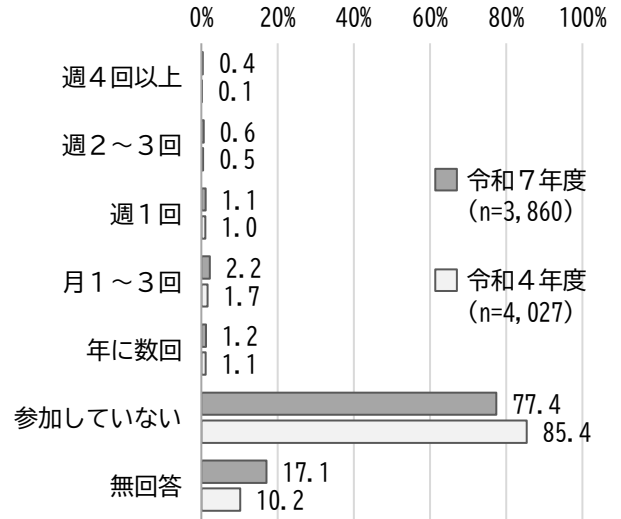
⑤ 介護予防のための通いの場

令和7年度(n=3,860)では、「週1回」が1.3%、「週2～3回」が1.1%、「月1～3回」が1.0%となっている。



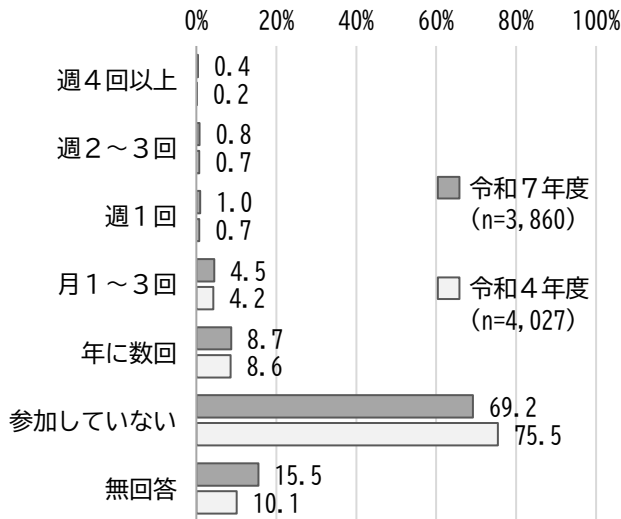
⑥ シニアクラブ

令和7年度(n=3,860)では、「月1～3回」が2.2%、「年に数回」が1.2%、「週1回」が1.1%となっている。



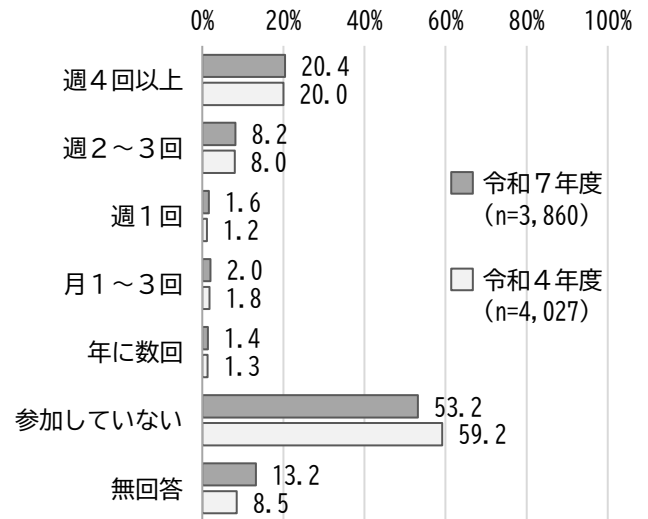
⑦ 自治会・町会

令和7年度(n=3,860)では、「年に数回」が8.7%、「月1～3回」が4.5%、「週1回」が1.0%となっている。



⑧ 収入のある仕事

令和7年度(n=3,860)では、「週4回以上」が20.4%、「週2～3回」が8.2%、「月1～3回」が2.0%となっている。



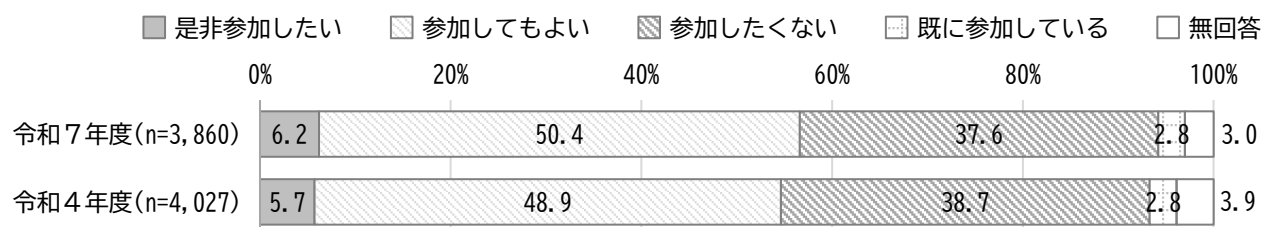
地域の活動①～⑧等への参加状況（年に数回以上参加している割合）

単位：%

	人数	ボランティア	スポーツ関係	趣味関係	学習・教養	通いの場	シニアクラブ	町内会・自治会	仕事
全体	3,860	9.3	22.7	25.6	7.8	4.5	5.5	15.3	33.5
65～74歳:男性	836	7.5	20.7	21.4	6.0	0.7	1.9	12.6	56.3
75～84歳:男性	748	9.4	18.2	22.9	4.9	3.1	4.3	15.8	26.5
85歳以上:男性	158	9.5	13.3	27.2	5.1	7.0	8.9	17.7	9.5
65～74歳:女性	954	10.5	26.7	30.3	9.5	3.2	3.9	16.2	44.9
75～84歳:女性	938	10.3	26.3	26.7	11.0	7.7	9.1	15.5	18.1
85歳以上:女性	226	6.6	19.0	24.3	4.9	13.3	12.8	17.3	5.3
1人暮らし	986	7.7	19.2	24.2	7.3	5.8	6.6	13.6	30.1
夫婦2人暮らし	1,572	9.6	25.6	27.6	8.7	4.4	4.9	14.9	34.4
息子・娘との2世帯	566	11.5	24.2	26.0	8.1	3.4	6.5	15.2	34.8
その他	669	9.6	20.8	23.6	6.3	3.6	4.9	19.3	36.9
大森西	295	7.1	19.7	22.0	3.7	2.0	4.1	16.3	35.3
入新井	196	8.2	24.0	25.5	9.7	3.6	5.1	16.8	35.2
馬込	272	6.3	21.0	27.6	8.1	3.3	3.3	10.3	33.8
池上	260	8.1	21.9	24.2	6.5	3.5	5.0	10.4	32.7
新井宿	123	10.6	15.4	25.2	5.7	7.3	3.3	16.3	26.8
嶺町	136	9.6	30.1	23.5	11.0	4.4	5.1	11.8	33.8
田園調布	119	9.2	37.0	39.5	21.8	2.5	5.0	10.9	51.3
鶴の木	131	13.0	17.6	22.9	7.6	3.1	6.9	11.5	32.1
久が原	165	10.9	30.9	30.3	6.7	7.3	5.5	9.1	32.7
雪谷	296	10.5	26.7	30.4	9.5	7.1	6.1	14.5	31.8
千束	139	9.4	32.4	31.7	11.5	6.5	8.6	12.9	32.4
六郷	394	9.6	21.1	21.8	5.3	4.3	4.1	13.2	33.8
矢口	240	12.5	29.6	34.6	9.6	4.6	5.4	18.3	32.1
蒲田西	320	9.4	20.9	24.4	7.8	4.4	7.5	17.2	32.2
蒲田東	243	11.5	24.7	25.1	6.2	4.9	7.8	19.3	37.0
大森東	112	8.9	12.5	23.2	7.1	2.7	3.6	22.3	33.9
糀谷	212	7.1	13.2	13.7	4.7	5.7	7.1	17.5	27.4
羽田	207	8.7	15.0	22.7	7.7	4.3	6.3	26.1	33.8

問 13 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「参加してもよい」が50.4%で最も高く、次いで、「参加したくない」が37.6%、「是非参加したい」が6.2%となっている。

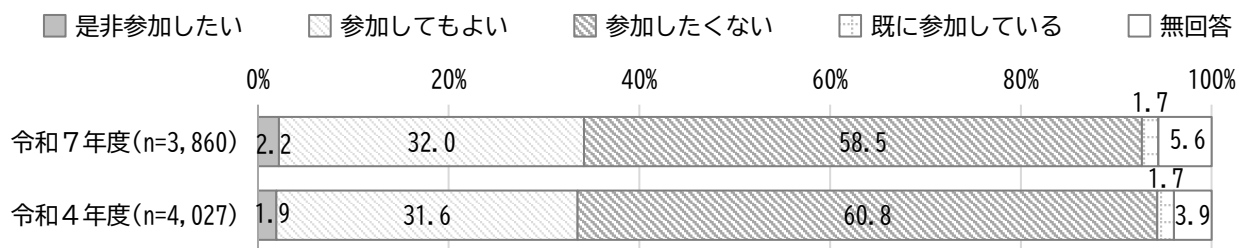


単位：％

	人数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	3,860	6.2	50.4	37.6	2.8	3.0
65～74歳:男性	836	4.8	46.7	45.6	1.8	1.2
75～84歳:男性	748	4.0	45.3	46.3	1.6	2.8
85歳以上:男性	158	3.2	53.8	32.3	5.1	5.7
65～74歳:女性	954	5.9	57.1	32.3	3.0	1.7
75～84歳:女性	938	9.4	51.9	30.5	3.7	4.5
85歳以上:女性	226	9.3	43.8	35.4	4.4	7.1
1人暮らし	986	5.7	51.5	37.3	2.7	2.7
夫婦2人暮らし	1,572	6.0	51.3	37.7	2.7	2.2
息子・娘との2世帯	566	6.5	50.4	37.8	2.8	2.5
その他	669	7.2	47.7	37.7	3.4	4.0
大森西	295	6.4	45.4	43.1	2.0	3.1
入新井	196	4.6	48.5	44.4	0.5	2.0
馬込	272	7.7	53.7	34.2	1.8	2.6
池上	260	6.2	53.5	35.8	1.9	2.7
新井宿	123	1.6	55.3	37.4	0.8	4.9
嶺町	136	7.4	55.9	33.1	1.5	2.2
田園調布	119	10.1	58.0	30.3	1.7	0.0
鶴の木	131	2.3	52.7	38.9	3.1	3.1
久が原	165	6.7	49.7	36.4	4.2	3.0
雪谷	296	5.7	57.8	31.4	3.7	1.4
千束	139	8.6	51.1	35.3	1.4	3.6
六郷	394	6.9	47.2	39.1	4.1	2.8
矢口	240	5.4	51.3	35.0	4.6	3.8
蒲田西	320	4.7	49.1	39.1	3.4	3.8
蒲田東	243	9.1	48.6	33.7	4.9	3.7
大森東	112	7.1	38.4	49.1	4.5	0.9
糀谷	212	6.6	44.3	42.9	0.5	5.7
羽田	207	4.3	50.2	39.1	3.4	2.9

問 13 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「参加したくない」が58.5%で最も高く、次いで、「参加してもよい」が32.0%、「是非参加したい」が2.2%となっている。

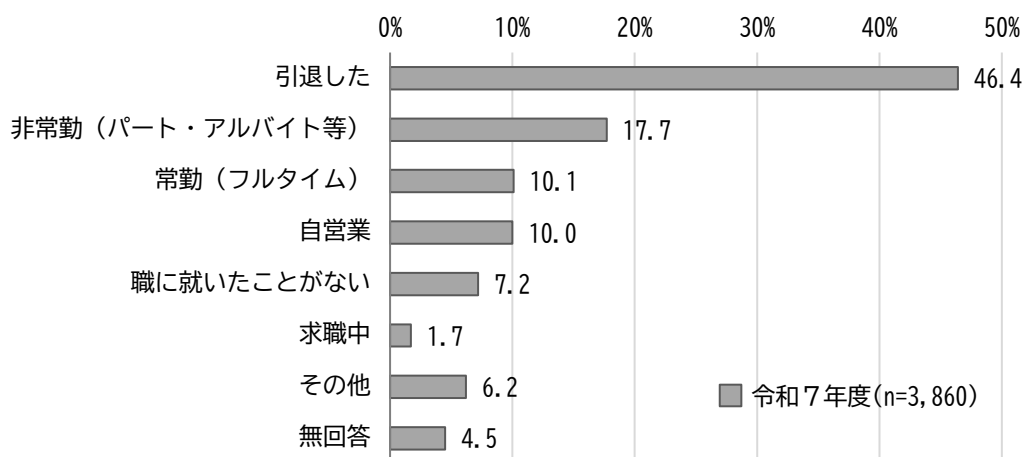


単位：%

	人数	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加して いる	無回答
全体	3,860	2.2	32.0	58.5	1.7	5.6
65～74歳:男性	836	1.7	33.3	62.4	0.7	1.9
75～84歳:男性	748	1.6	30.2	60.8	1.3	6.0
85歳以上:男性	158	1.9	36.1	46.8	3.2	12.0
65～74歳:女性	954	2.2	32.7	60.5	1.5	3.1
75～84歳:女性	938	3.1	32.0	54.2	3.0	7.8
85歳以上:女性	226	1.8	27.4	54.9	1.8	14.2
1人暮らし	986	2.3	32.6	56.4	1.4	7.3
夫婦2人暮らし	1,572	2.5	32.4	58.7	1.6	4.8
息子・娘との2世帯	566	2.1	31.4	59.0	2.5	4.9
その他	669	1.3	31.7	61.0	1.9	4.0
大森西	295	1.0	28.8	62.0	2.0	6.1
入新井	196	3.1	28.1	63.3	1.5	4.1
馬込	272	1.8	36.0	55.9	0.7	5.5
池上	260	1.2	32.3	58.5	1.5	6.5
新井宿	123	0.8	26.8	61.8	0.8	9.8
嶺町	136	3.7	34.6	57.4	0.0	4.4
田園調布	119	4.2	37.8	55.5	0.8	1.7
鵜の木	131	2.3	33.6	59.5	3.1	1.5
久が原	165	1.8	26.1	61.8	1.2	9.1
雪谷	296	3.0	36.5	53.7	2.4	4.4
千束	139	4.3	34.5	56.1	0.0	5.0
六郷	394	1.5	33.0	57.1	2.3	6.1
矢口	240	2.1	33.8	55.8	2.1	6.3
蒲田西	320	0.9	32.5	60.0	1.6	5.0
蒲田東	243	3.7	33.3	53.9	4.5	4.5
大森東	112	1.8	28.6	63.4	2.7	3.6
糎谷	212	3.3	25.9	63.2	0.5	7.1
羽田	207	1.0	30.0	60.4	1.4	7.2

問 14 現在のあなたの就労状態はどれですか。(複数回答)

本設問(n=3,860)では、「引退した」が46.4%で最も高く、次いで、「非常勤(パート・アルバイト等)」が17.7%、「常勤(フルタイム)」が10.1%となっている。

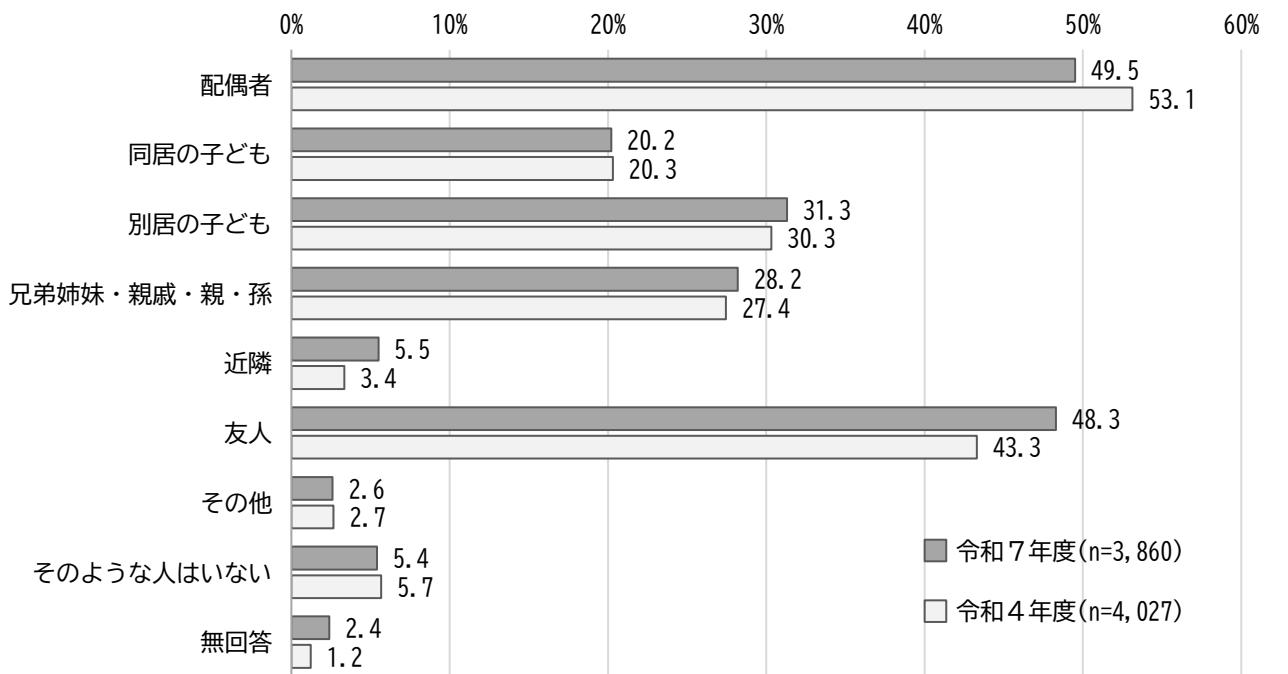


単位：%

	人数	職に就いたことがない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・アルバイト等)	自営業	求職中	その他	無回答
全体	3,860	7.2	46.4	10.1	17.7	10.0	1.7	6.2	4.5
65～74歳:男性	836	1.2	32.2	26.7	20.3	15.0	3.3	5.5	1.3
75～84歳:男性	748	5.6	60.4	6.8	13.0	9.9	1.2	4.1	3.3
85歳以上:男性	158	8.2	68.4	1.3	4.4	7.6	0.0	5.7	7.0
65～74歳:女性	954	6.2	38.6	8.7	30.4	9.0	2.1	5.8	2.1
75～84歳:女性	938	12.3	51.2	2.1	11.9	7.8	1.0	8.8	7.4
85歳以上:女性	226	16.4	50.0	4.0	4.0	6.6	0.0	7.5	15.9
1人暮らし	986	9.0	46.6	9.6	17.3	6.8	2.9	6.5	5.6
夫婦2人暮らし	1,572	5.5	47.6	10.9	16.2	11.5	1.1	6.7	3.7
息子・娘との2世帯	566	8.3	47.2	8.7	20.0	11.1	0.9	4.6	3.9
その他	669	6.9	42.8	9.9	20.6	10.3	2.1	6.7	4.0
大森西	295	7.8	45.4	9.5	20.7	7.8	1.4	7.8	3.1
入新井	196	4.6	50.0	11.2	17.9	10.7	3.1	6.6	0.5
馬込	272	6.6	45.6	10.3	17.3	11.4	3.3	5.1	4.0
池上	260	8.5	44.2	10.4	17.3	9.2	1.9	7.3	5.0
新井宿	123	8.1	52.8	11.4	8.9	13.8	1.6	2.4	4.1
嶺町	136	11.0	41.2	9.6	17.6	11.0	2.2	6.6	4.4
田園調布	119	9.2	37.0	12.6	23.5	11.8	0.0	7.6	1.7
鶴の木	131	1.5	52.7	11.5	18.3	6.1	1.5	5.3	4.6
久が原	165	7.9	46.1	12.1	15.2	7.3	2.4	8.5	4.8
雪谷	296	6.8	48.0	9.5	15.2	11.5	1.4	8.8	6.4
千束	139	8.6	48.9	15.1	12.2	11.5	0.0	7.2	2.2
六郷	394	7.1	45.9	9.6	18.3	10.7	2.5	3.6	4.6
矢口	240	8.8	47.1	5.4	22.9	9.6	0.4	5.0	3.3
蒲田西	320	9.1	46.6	8.8	18.1	9.4	1.9	5.9	5.3
蒲田東	243	6.2	44.0	9.5	20.6	9.1	2.1	7.8	3.7
大森東	112	8.0	42.9	13.4	15.2	9.8	0.9	8.9	5.4
糝谷	212	4.2	47.6	6.6	17.9	10.8	0.5	5.7	8.5
羽田	207	4.8	48.3	12.6	15.9	9.2	1.4	3.9	6.3

問15(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「配偶者」が49.5%で最も高く、次いで、「友人」が48.3%、「別居の子ども」が31.3%となっている。「友人」の割合は、令和4年度の43.3%から5.0ポイント上昇している。

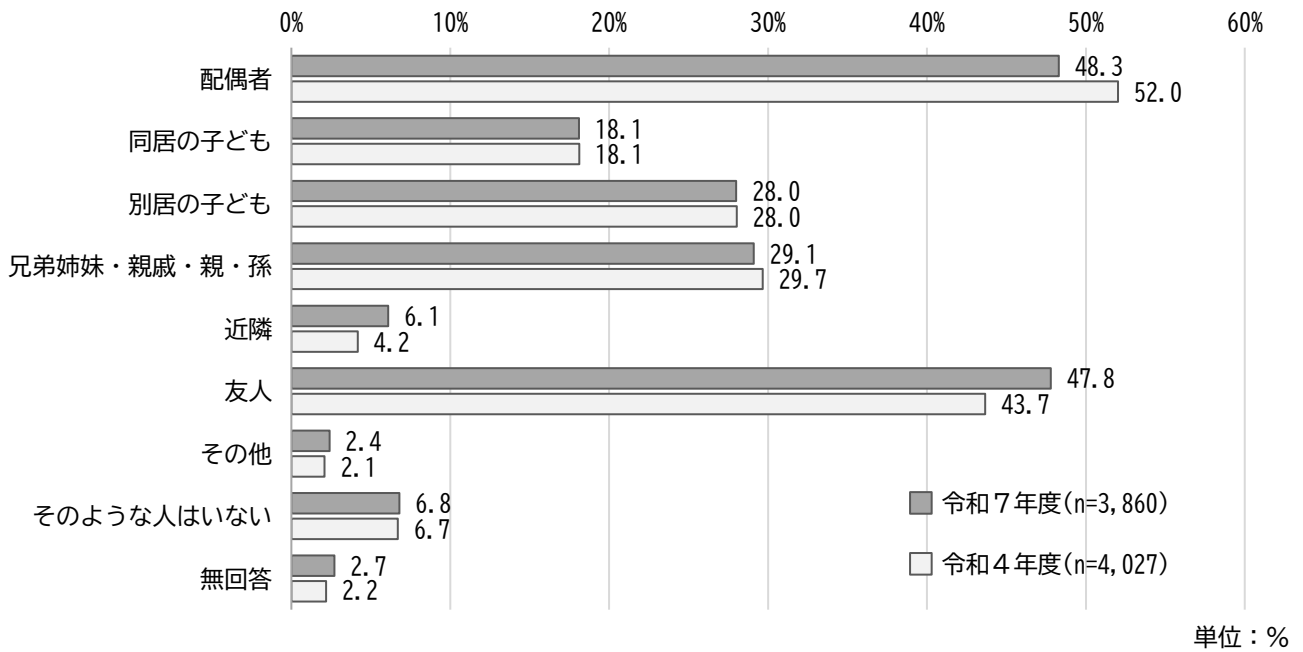


単位：%

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3,860	49.5	20.2	31.3	28.2	5.5	48.3	2.6	5.4	2.4
65～74歳:男性	836	64.1	14.2	18.3	20.7	1.7	40.3	3.6	8.6	1.3
75～84歳:男性	748	60.2	13.1	24.2	17.2	3.6	27.7	1.3	10.4	3.3
85歳以上:男性	158	51.3	18.4	38.0	18.4	2.5	30.4	0.6	5.7	3.8
65～74歳:女性	954	48.7	24.7	40.1	37.0	7.2	66.7	2.7	2.2	0.8
75～84歳:女性	938	36.8	24.8	36.6	34.9	8.8	57.4	2.5	2.1	3.5
85歳以上:女性	226	15.5	28.8	39.8	35.0	7.1	43.4	4.4	3.1	4.9
1人暮らし	986	1.4	0.5	30.9	35.1	8.3	56.5	4.9	13.2	3.4
夫婦2人暮らし	1,572	83.0	3.2	40.3	23.1	4.9	44.5	1.1	2.6	1.8
息子・娘との2世帯	566	46.5	63.4	23.7	25.6	2.5	45.9	1.4	3.2	1.6
その他	669	44.1	51.0	18.2	32.4	5.7	48.9	3.4	2.5	2.2

問 15 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数回答）

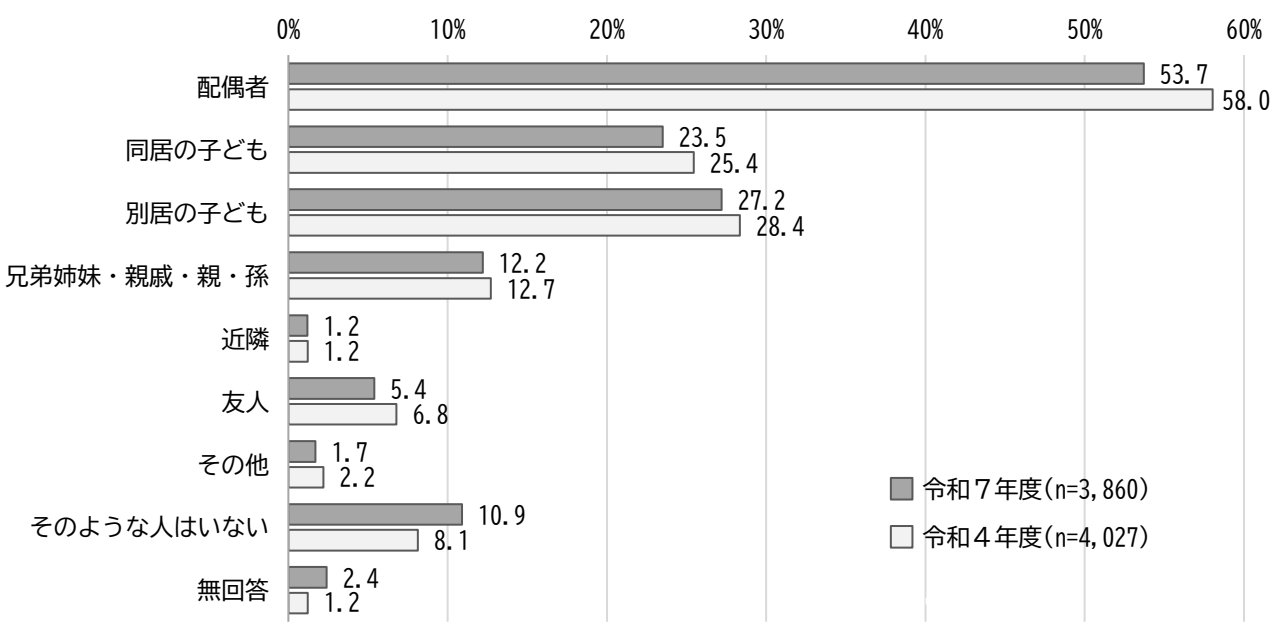
令和7年度(n=3,860)では、「配偶者」が48.3%で最も高く、次いで、「友人」が47.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.1%となっている。「友人」の割合は、令和4年度の43.7%から4.1ポイント上昇している。



	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3,860	48.3	18.1	28.0	29.1	6.1	47.8	2.4	6.8	2.7
65～74歳:男性	836	65.1	16.5	20.6	21.9	2.6	39.1	4.3	8.5	1.1
75～84歳:男性	748	60.4	12.2	20.9	17.6	4.5	28.6	0.9	10.8	4.0
85歳以上:男性	158	51.9	16.5	25.3	16.5	2.5	25.9	1.3	10.8	5.1
65～74歳:女性	954	46.8	22.2	38.5	38.9	8.0	66.2	2.8	2.7	0.7
75～84歳:女性	938	33.0	20.0	30.7	35.9	9.8	57.2	1.9	3.8	3.9
85歳以上:女性	226	13.3	19.0	26.1	32.7	4.0	41.2	1.3	14.2	6.2
1人暮らし	986	1.6	0.8	23.4	33.6	8.1	54.6	3.3	16.5	3.9
夫婦2人暮らし	1,572	79.7	2.8	37.5	24.5	5.5	45.4	1.5	2.7	2.2
息子・娘との2世帯	566	48.2	57.2	22.4	27.2	3.5	47.0	1.9	3.5	2.1
その他	669	43.0	45.4	18.2	35.4	7.3	45.9	3.1	4.8	2.2

問 15 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「配偶者」が53.7%で最も高く、次いで、「別居の子ども」が27.2%、「同居の子ども」が23.5%となっている。「配偶者」の割合は、令和4年度の58.0%から4.3ポイント低下している。

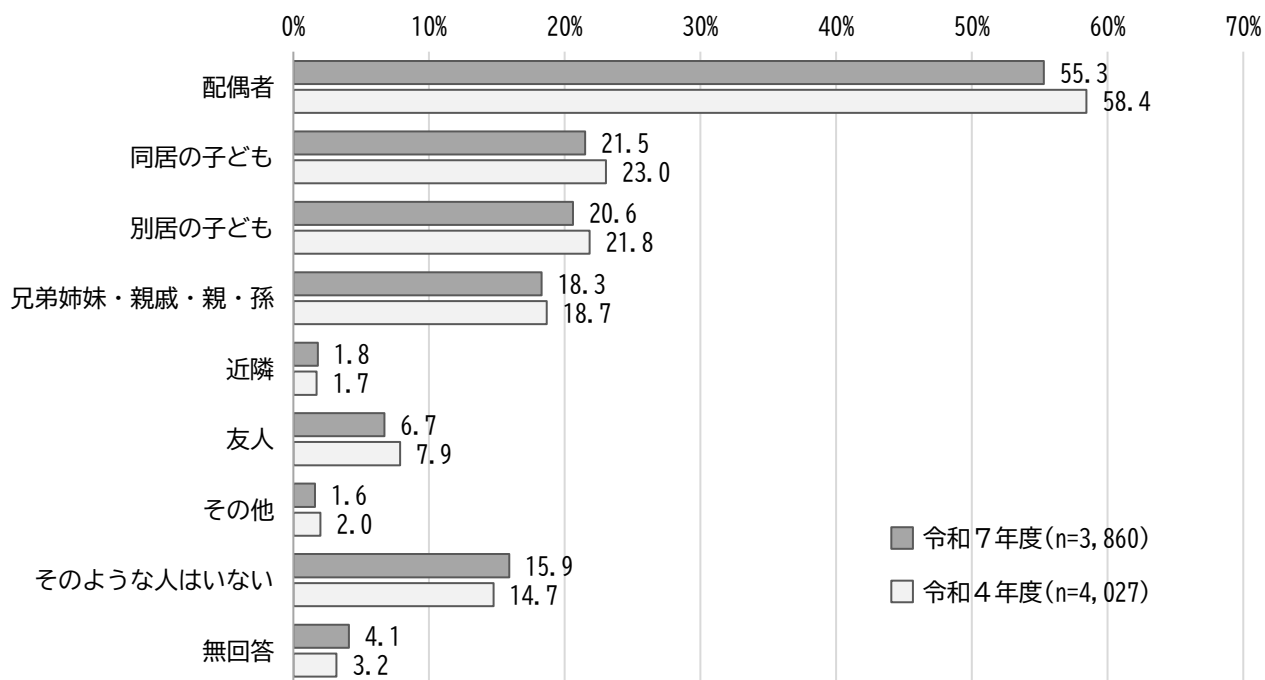


単位：%

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3,860	53.7	23.5	27.2	12.2	1.2	5.4	1.7	10.9	2.4
65～74歳:男性	836	68.7	15.6	14.6	12.2	0.2	3.2	1.0	15.7	1.0
75～84歳:男性	748	64.2	17.2	19.9	8.4	0.9	3.2	1.2	12.4	3.6
85歳以上:男性	158	57.0	23.4	35.4	6.3	0.0	0.6	1.9	8.2	3.2
65～74歳:女性	954	54.2	26.8	29.5	14.8	1.2	7.7	1.0	10.3	0.9
75～84歳:女性	938	39.1	29.5	37.1	13.2	2.3	7.7	2.8	7.2	3.3
85歳以上:女性	226	19.0	34.5	40.7	13.3	2.2	5.3	3.5	7.5	4.9
1人暮らし	986	1.5	0.8	34.3	21.7	3.3	13.5	2.9	33.8	3.4
夫婦2人暮らし	1,572	88.7	3.4	32.3	5.8	0.6	2.3	0.6	3.0	1.9
息子・娘との2世帯	566	53.7	76.1	15.7	8.0	0.2	2.5	0.9	1.8	1.8
その他	669	47.7	58.0	15.2	17.2	0.6	3.7	2.4	4.0	1.3

問 15（4）反対に、看病や世話をしあける人（複数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「配偶者」が55.3%で最も高く、次いで、「同居の子ども」が21.5%、「別居の子ども」が20.6%となっている。「配偶者」の割合は、令和4年度の58.4%より3.1ポイント低下している。

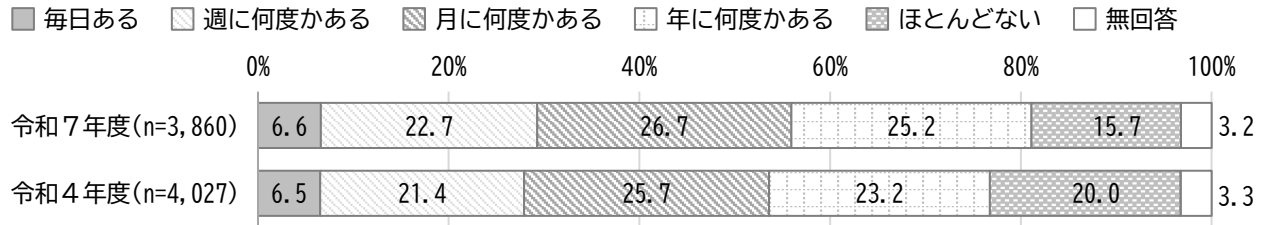


単位：%

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3,860	55.3	21.5	20.6	18.3	1.8	6.7	1.6	15.9	4.1
65～74歳:男性	836	64.6	18.2	14.7	18.7	0.5	4.5	1.9	20.1	1.1
75～84歳:男性	748	65.2	13.6	12.2	10.2	1.7	3.9	0.9	17.4	4.9
85歳以上:男性	158	55.1	16.5	15.2	10.8	0.0	1.3	3.2	20.3	5.7
65～74歳:女性	954	58.3	28.3	30.0	27.0	2.4	9.1	0.9	10.0	1.6
75～84歳:女性	938	44.2	24.6	24.8	18.7	2.6	9.3	1.5	13.3	6.4
85歳以上:女性	226	20.8	22.1	16.4	11.1	3.1	6.6	4.0	27.9	11.9
1人暮らし	986	1.9	0.4	19.9	21.8	3.1	12.5	2.5	44.4	6.9
夫婦2人暮らし	1,572	90.8	2.8	25.1	13.7	1.4	4.9	0.5	4.3	2.4
息子・娘との2世帯	566	55.7	66.6	16.3	15.2	1.6	3.7	1.2	8.8	3.4
その他	669	49.5	57.4	15.7	27.5	1.2	5.5	2.5	7.5	3.3

問 15 (5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「月に何度かある」が26.7%で最も高く、次いで、「年に何度かある」が25.2%、「週に何度かある」が22.7%となっている。「ほとんどない」の割合(15.7%)は、令和4年度の20.0%から4.3ポイント低下している。

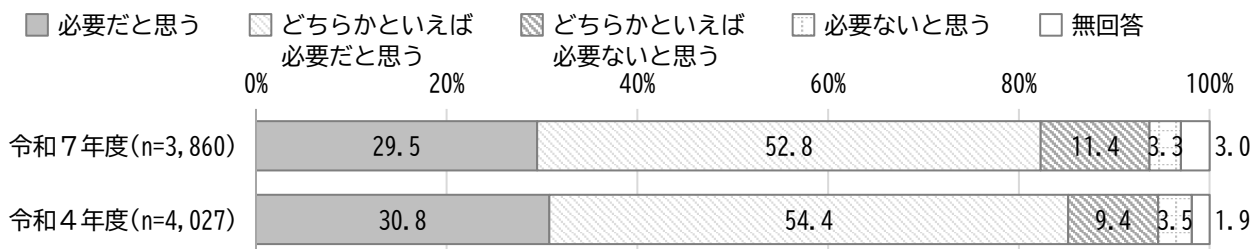


単位：%

	人数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	3,860	6.6	22.7	26.7	25.2	15.7	3.2
65～74歳:男性	836	9.1	16.5	25.4	29.1	18.9	1.1
75～84歳:男性	748	4.3	19.5	24.3	26.9	21.1	3.9
85歳以上:男性	158	6.3	21.5	25.3	23.4	18.4	5.1
65～74歳:女性	954	6.9	25.1	29.8	26.2	10.3	1.8
75～84歳:女性	938	6.1	29.0	25.8	21.5	13.0	4.6
85歳以上:女性	226	5.3	20.4	30.5	16.8	18.6	8.4
1人暮らし	986	5.8	23.7	26.8	22.6	16.4	4.7
夫婦2人暮らし	1,572	7.1	22.7	26.8	25.7	14.9	2.7
息子・娘との2世帯	566	6.0	21.7	26.7	27.4	15.9	2.3
その他	669	6.7	22.4	25.6	26.9	16.4	1.9
大森西	295	8.1	20.3	25.8	25.1	18.3	2.4
入新井	196	5.1	20.9	29.1	26.0	16.8	2.0
馬込	272	7.4	23.5	25.4	26.8	14.3	2.6
池上	260	3.8	26.5	26.5	26.2	13.8	3.1
新井宿	123	6.5	20.3	25.2	30.1	12.2	5.7
嶺町	136	4.4	24.3	26.5	27.2	14.0	3.7
田園調布	119	7.6	25.2	33.6	20.2	10.9	2.5
鶉の木	131	4.6	26.0	29.0	19.8	20.6	0.0
久が原	165	7.3	26.1	30.9	26.1	7.3	2.4
雪谷	296	6.1	20.9	29.1	28.0	12.5	3.4
千束	139	9.4	17.3	33.1	26.6	11.5	2.2
六郷	394	6.6	25.1	20.6	25.9	17.8	4.1
矢口	240	7.9	21.7	30.0	20.4	17.1	2.9
蒲田西	320	4.4	27.8	23.4	24.4	16.9	3.1
蒲田東	243	6.6	18.9	34.2	24.7	13.2	2.5
大森東	112	7.1	19.6	22.3	25.0	23.2	2.7
糞谷	212	6.1	21.7	21.2	24.1	21.7	5.2
羽田	207	10.1	17.4	23.7	24.2	17.9	6.8

問 16 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）の必要性についてどのように感じていますか。（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「どちらかといえば必要だと思う」が52.8%で最も高く、次いで、「必要だと思う」が29.5%、「どちらかといえば必要ないと思う」が11.4%となっている。

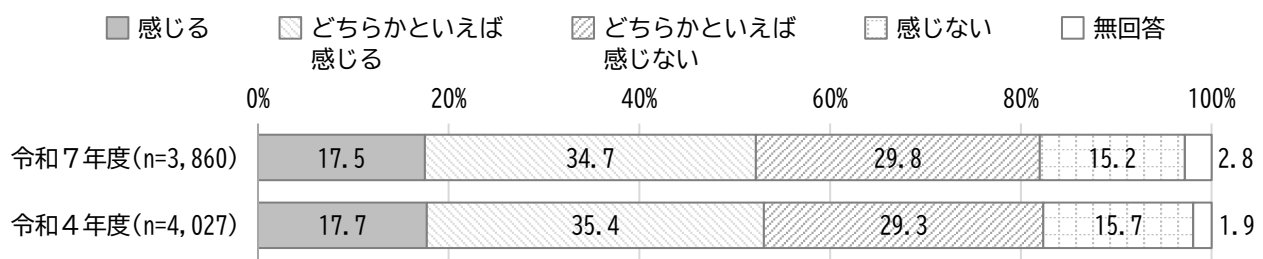


単位：%

	人数	必要だと思う	どちらかとい えば必要だと 思う	どちらかとい えば必要ない と思う	必要ないと思 う	無回答
全体	3,860	29.5	52.8	11.4	3.3	3.0
65～74歳:男性	836	26.7	53.2	13.9	4.8	1.4
75～84歳:男性	748	25.3	52.4	14.2	3.9	4.3
85歳以上:男性	158	44.3	39.2	5.7	6.3	4.4
65～74歳:女性	954	27.6	58.0	10.9	2.1	1.5
75～84歳:女性	938	33.4	51.5	9.6	1.8	3.7
85歳以上:女性	226	35.8	45.6	6.6	5.3	6.6
1人暮らし	986	26.4	53.4	12.4	4.2	3.7
夫婦2人暮らし	1,572	31.1	52.6	10.3	3.2	2.7
息子・娘との2世帯	566	30.2	53.5	11.0	3.2	2.1
その他	669	30.3	52.0	13.2	2.2	2.2
大森西	295	28.8	51.2	13.2	4.4	2.4
入新井	196	19.9	60.7	14.8	4.1	0.5
馬込	272	27.9	54.0	9.9	4.8	3.3
池上	260	30.8	54.6	9.2	1.9	3.5
新井宿	123	28.5	56.9	8.1	3.3	3.3
嶺町	136	30.1	56.6	7.4	3.7	2.2
田園調布	119	30.3	49.6	14.3	4.2	1.7
鶉の木	131	32.8	52.7	10.7	2.3	1.5
久が原	165	29.1	52.1	12.7	3.6	2.4
雪谷	296	29.1	52.0	14.9	0.3	3.7
千束	139	29.5	54.7	9.4	3.6	2.9
六郷	394	29.2	50.8	12.2	4.1	3.8
矢口	240	30.0	55.4	12.5	1.3	0.8
蒲田西	320	30.9	51.3	9.7	4.1	4.1
蒲田東	243	34.2	52.7	8.6	3.3	1.2
大森東	112	32.1	45.5	15.2	5.4	1.8
糀谷	212	30.7	49.5	9.0	4.7	6.1
羽田	207	28.5	51.7	12.6	1.9	5.3

問 17 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。（単数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「どちらかといえば感じる」が34.7%で最も高く、次いで、「どちらかといえば感じない」が29.8%、「感じる」が17.5%となっている。

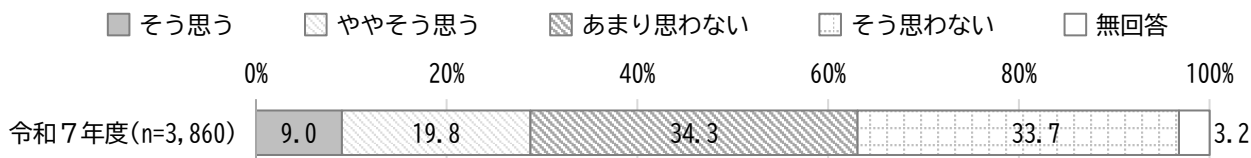


単位：%

	人数	感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	感じない	無回答
全体	3,860	17.5	34.7	29.8	15.2	2.8
65～74歳:男性	836	13.4	30.4	36.5	18.4	1.3
75～84歳:男性	748	15.4	33.4	29.5	17.2	4.4
85歳以上:男性	158	27.2	35.4	15.8	15.2	6.3
65～74歳:女性	954	17.0	35.7	32.5	14.2	0.6
75～84歳:女性	938	20.4	37.8	26.8	11.6	3.4
85歳以上:女性	226	23.5	37.2	16.4	15.5	7.5
1人暮らし	986	14.9	33.1	27.9	20.1	4.1
夫婦2人暮らし	1,572	18.1	35.2	30.7	13.8	2.2
息子・娘との2世帯	566	18.4	32.7	32.9	13.4	2.7
その他	669	19.7	36.8	29.0	12.7	1.8
大森西	295	20.0	32.5	27.5	18.6	1.4
入新井	196	13.8	33.2	32.7	19.4	1.0
馬込	272	14.7	38.2	29.4	15.1	2.6
池上	260	16.5	37.3	27.3	14.6	4.2
新井宿	123	14.6	41.5	26.8	15.4	1.6
嶺町	136	13.2	39.7	30.1	14.0	2.9
田園調布	119	16.8	31.9	30.3	20.2	0.8
鶉の木	131	17.6	32.1	36.6	13.7	0.0
久が原	165	13.9	32.1	36.4	15.2	2.4
雪谷	296	17.9	32.1	31.8	15.5	2.7
千束	139	17.3	30.9	29.5	19.4	2.9
六郷	394	17.0	33.0	31.0	15.2	3.8
矢口	240	15.8	35.4	35.0	11.7	2.1
蒲田西	320	18.4	35.9	25.9	15.9	3.8
蒲田東	243	21.0	34.6	30.5	11.9	2.1
大森東	112	22.3	33.9	26.8	14.3	2.7
糞谷	212	19.8	34.4	27.4	13.2	5.2
羽田	207	22.2	37.2	23.7	11.6	5.3

問 18 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの取りまとめ役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど) (単数回答)

本設問(n=3,860)では、「あまり思わない」が34.3%で最も高く、次いで、「そう思わない」が33.7%、「ややそう思う」が19.8%となっている。



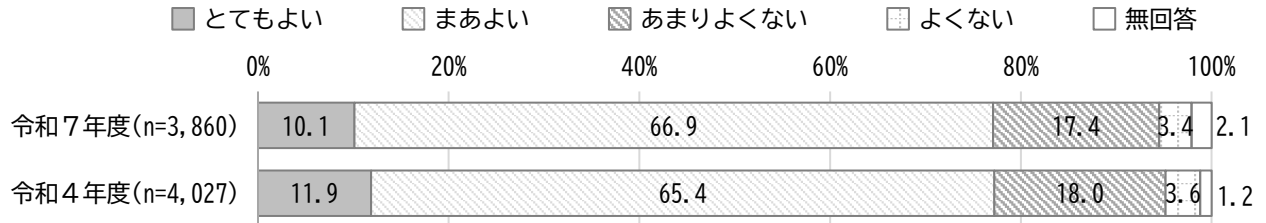
単位：%

	人数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答
全体	3,860	9.0	19.8	34.3	33.7	3.2
65～74歳:男性	836	7.4	15.1	35.4	40.8	1.3
75～84歳:男性	748	10.2	18.9	34.4	32.6	4.0
85歳以上:男性	158	12.0	22.2	33.5	26.6	5.7
65～74歳:女性	954	7.8	21.1	33.9	36.0	1.4
75～84歳:女性	938	9.7	22.8	34.5	28.6	4.4
85歳以上:女性	226	11.1	20.8	31.9	27.0	9.3
1人暮らし	986	8.7	17.0	29.5	40.2	4.6
夫婦2人暮らし	1,572	9.2	19.8	37.7	30.9	2.4
息子・娘との2世帯	566	8.3	21.7	35.0	32.0	3.0
その他	669	10.3	21.7	32.7	32.9	2.4
大森西	295	12.5	15.6	30.5	39.3	2.0
入新井	196	6.6	20.4	38.3	34.2	0.5
馬込	272	9.6	17.3	34.6	34.2	4.4
池上	260	8.5	21.9	35.4	30.0	4.2
新井宿	123	9.8	22.8	31.7	33.3	2.4
嶺町	136	6.6	15.4	36.8	37.5	3.7
田園調布	119	7.6	21.8	34.5	35.3	0.8
鶉の木	131	6.9	22.1	34.4	35.9	0.8
久が原	165	5.5	19.4	38.2	34.5	2.4
雪谷	296	9.5	17.9	37.5	32.1	3.0
千束	139	9.4	18.0	35.3	34.5	2.9
六郷	394	9.1	17.0	36.0	33.5	4.3
矢口	240	6.7	17.5	39.2	35.0	1.7
蒲田西	320	8.4	22.2	30.6	34.1	4.7
蒲田東	243	10.7	24.7	29.6	32.5	2.5
大森東	112	11.6	20.5	32.1	33.0	2.7
糞谷	212	8.5	22.2	29.2	34.4	5.7
羽田	207	11.6	24.2	34.8	24.2	5.3

(8) 心身の健康に関する状況

問 19 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「まあよい」が66.9%で最も高く、次いで、「あまりよくない」が17.4%、「とてもよい」が10.1%となっている。

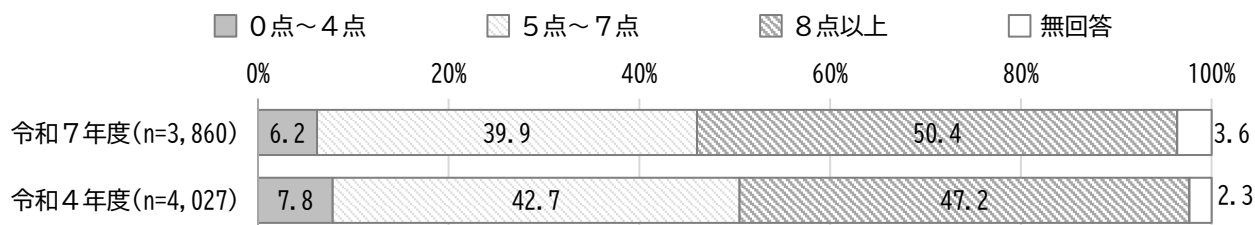


単位：％

	人数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	3,860	10.1	66.9	17.4	3.4	2.1
65～74歳:男性	836	10.8	68.9	16.0	3.1	1.2
75～84歳:男性	748	9.8	63.9	18.0	5.1	3.2
85歳以上:男性	158	6.3	60.8	24.7	4.4	3.8
65～74歳:女性	954	13.1	71.5	12.8	2.0	0.6
75～84歳:女性	938	8.3	66.8	19.0	3.0	2.9
85歳以上:女性	226	6.6	54.0	28.8	6.6	4.0
1人暮らし	986	9.4	62.9	20.7	4.3	2.7
夫婦2人暮らし	1,572	11.5	67.2	16.3	3.1	2.0
息子・娘との2世帯	566	9.2	71.2	15.2	2.8	1.6
その他	669	9.1	69.2	17.0	3.4	1.2
大森西	295	9.5	62.0	22.0	4.7	1.7
入新井	196	10.2	72.4	14.8	2.0	0.5
馬込	272	11.8	63.6	18.0	4.4	2.2
池上	260	9.6	66.2	18.8	2.7	2.7
新井宿	123	8.9	70.7	16.3	3.3	0.8
嶺町	136	14.0	69.9	11.8	2.2	2.2
田園調布	119	10.1	76.5	10.9	0.8	1.7
鶴の木	131	12.2	67.2	16.0	4.6	-
久が原	165	13.9	69.7	12.1	1.8	2.4
雪谷	296	8.8	71.6	14.5	2.7	2.4
千束	139	10.1	74.8	12.2	2.2	0.7
六郷	394	8.9	65.5	20.3	3.0	2.3
矢口	240	8.8	67.1	19.2	3.8	1.3
蒲田西	320	9.7	70.3	13.8	4.4	1.9
蒲田東	243	10.3	67.9	16.5	4.1	1.2
大森東	112	9.8	63.4	19.6	4.5	2.7
糀谷	212	8.5	56.6	24.5	3.8	6.6
羽田	207	11.6	57.5	22.7	4.8	3.4

問 19 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)
 ※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご回答ください。

令和7年度(n=3,860)では、「8点以上」が50.4%で最も高く、次いで、「5点～7点」が39.9%、「0点～4点」が6.2%となっている。「8点以上」の割合は、令和4年度の47.2%から3.2ポイント上昇している。



単位：%

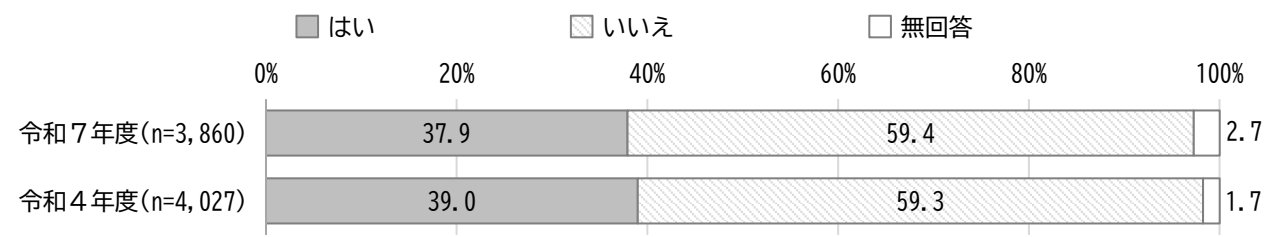
	人数	0点～4点	5点～7点	8点以上	無回答
全体	3,860	6.2	39.9	50.4	3.6
65～74歳:男性	836	8.4	41.3	49.0	1.3
75～84歳:男性	748	7.1	44.3	43.4	5.1
85歳以上:男性	158	6.3	37.9	50.0	5.7
65～74歳:女性	954	4.5	38.3	55.1	2.2
75～84歳:女性	938	5.1	38.3	52.0	4.6
85歳以上:女性	226	5.8	33.6	53.5	7.1
1人暮らし	986	10.8	45.8	38.9	4.6
夫婦2人暮らし	1,572	3.8	37.1	56.0	3.1
息子・娘との2世帯	566	3.9	38.7	55.0	2.5
その他	669	6.7	38.5	51.3	3.3
大森西	295	5.8	40.7	50.5	3.1
入新井	196	5.1	42.3	51.0	1.5
馬込	272	5.5	39.7	48.5	6.3
池上	260	6.2	45.4	43.8	4.6
新井宿	123	7.3	37.4	52.8	2.4
嶺町	136	5.1	36.8	55.1	2.9
田園調布	119	0.8	23.5	73.9	1.7
鶉の木	131	6.9	38.9	52.7	1.5
久が原	165	3.6	39.4	52.1	4.8
雪谷	296	3.7	38.2	55.1	3.0
千束	139	3.6	36.0	59.0	1.4
六郷	394	6.1	43.1	46.4	4.3
矢口	240	9.6	37.9	50.0	2.5
蒲田西	320	8.8	39.7	48.1	3.4
蒲田東	243	7.0	43.2	46.9	2.9
大森東	112	5.4	41.1	50.9	2.7
糀谷	212	7.5	42.9	42.5	7.1
羽田	207	8.7	36.2	51.2	3.9

単位：%

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	3,860	0.3	0.1	0.9	2.4	2.5	15.3	8.6	16.0	24.6	12.8	13.0	3.6
令和4年度	4,027	0.2	1.1	0.6	2.2	3.6	16.7	9.9	16.1	23.3	12.0	11.9	2.3

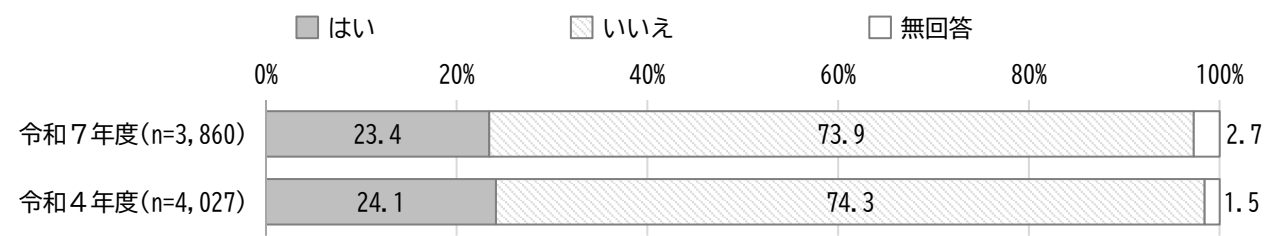
問19(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「はい」が37.9%、「いいえ」が59.4%であった。



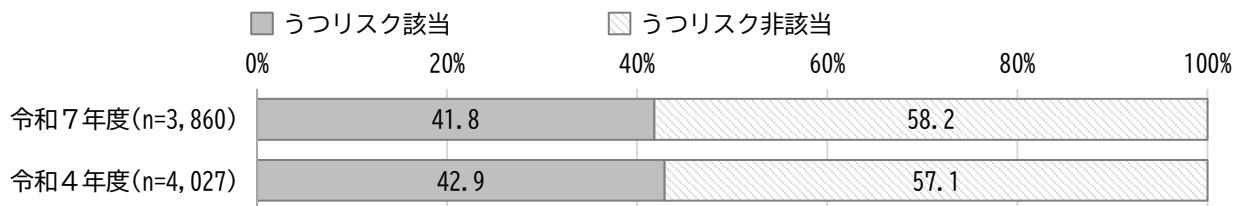
問19(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「はい」が23.4%、「いいえ」が73.9%であった。



■うつリスク該当者

「ゆううつな気持ちになることがある」「楽しめない感じがある」のいずれか1つ以上に該当するうつリスク該当者は、41.8%であった。

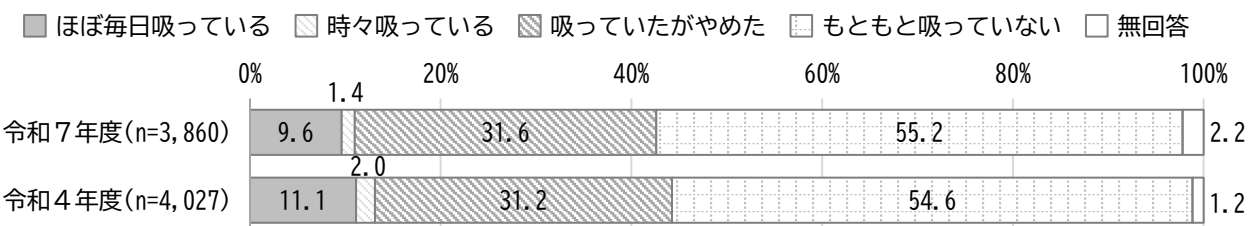


単位：%

	人数	うつリスク	ゆううつな気持ちになることがある	ない	無回答	楽しめない感じがある	ない	無回答
全体	3,860	41.8	37.9	59.4	2.7	23.4	73.9	2.7
65～74歳:男性	836	38.9	35.0	63.6	1.3	23.3	75.6	1.1
75～84歳:男性	748	39.6	34.1	62.0	3.9	25.0	70.5	4.5
85歳以上:男性	158	41.1	35.4	60.8	3.8	25.3	69.6	5.1
65～74歳:女性	954	44.9	42.0	57.1	0.8	22.1	77.0	0.8
75～84歳:女性	938	42.9	39.2	56.5	4.3	22.2	74.4	3.4
85歳以上:女性	226	42.5	39.4	55.3	5.3	27.9	65.9	6.2
1人暮らし	986	41.5	37.0	59.3	3.7	26.8	69.8	3.4
夫婦2人暮らし	1,572	39.9	36.3	61.3	2.5	21.5	76.2	2.3
息子・娘との2世帯	566	44.9	42.0	56.0	1.9	21.4	76.0	2.7
その他	669	44.1	40.1	58.0	1.9	24.4	73.8	1.8
大森西	295	44.7	41.4	56.3	2.4	23.1	74.2	2.7
入新井	196	40.3	37.2	62.8	0.0	23.5	76.5	0.0
馬込	272	39.3	36.0	61.4	2.6	25.0	73.2	1.8
池上	260	46.5	40.4	57.3	2.3	25.0	72.3	2.7
新井宿	123	38.2	35.0	61.8	3.3	21.1	74.8	4.1
嶺町	136	37.5	31.6	66.2	2.2	18.4	77.2	4.4
田園調布	119	31.9	30.3	67.2	2.5	15.1	84.0	0.8
鶉の木	131	47.3	44.3	55.7	0.0	23.7	76.3	0.0
久が原	165	36.4	35.2	62.4	2.4	18.2	79.4	2.4
雪谷	296	37.8	35.1	62.5	2.4	19.9	77.0	3.0
千束	139	41.7	36.0	59.7	4.3	23.0	75.5	1.4
六郷	394	40.4	37.3	58.6	4.1	21.3	74.9	3.8
矢口	240	49.2	43.8	55.8	0.4	31.3	67.5	1.3
蒲田西	320	43.1	39.7	57.5	2.8	23.1	73.4	3.4
蒲田東	243	44.0	39.9	58.4	1.6	28.0	70.0	2.1
大森東	112	39.3	35.7	58.9	5.4	22.3	75.0	2.7
糞谷	212	45.8	41.5	52.4	6.1	25.0	68.4	6.6
羽田	207	39.6	32.9	62.3	4.8	27.5	69.1	3.4

問 19 (5) タバコは吸っていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「もともと吸っていない」が55.2%で最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が31.6%、「ほぼ毎日吸っている」が9.6%となっている。

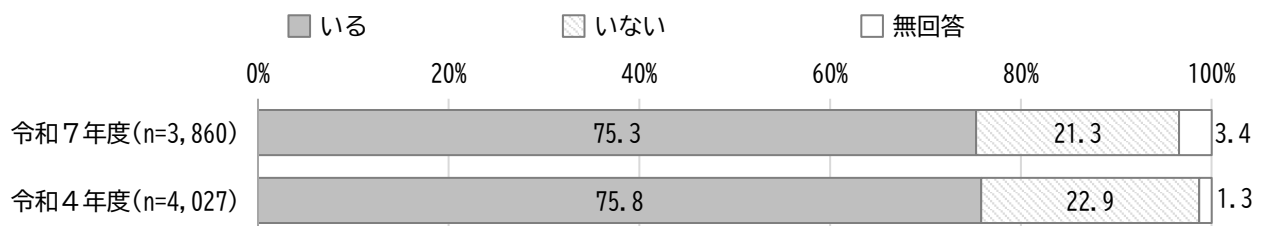


単位：%

	人数	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体	3,860	9.6	1.4	31.6	55.2	2.2
65～74歳:男性	836	19.5	2.8	50.0	26.7	1.1
75～84歳:男性	748	11.2	2.0	54.5	28.6	3.6
85歳以上:男性	158	4.4	1.9	52.5	37.3	3.8
65～74歳:女性	954	8.4	0.5	19.0	71.5	0.6
75～84歳:女性	938	3.5	1.0	11.9	81.0	2.6
85歳以上:女性	226	2.2	0.0	7.5	85.4	4.9

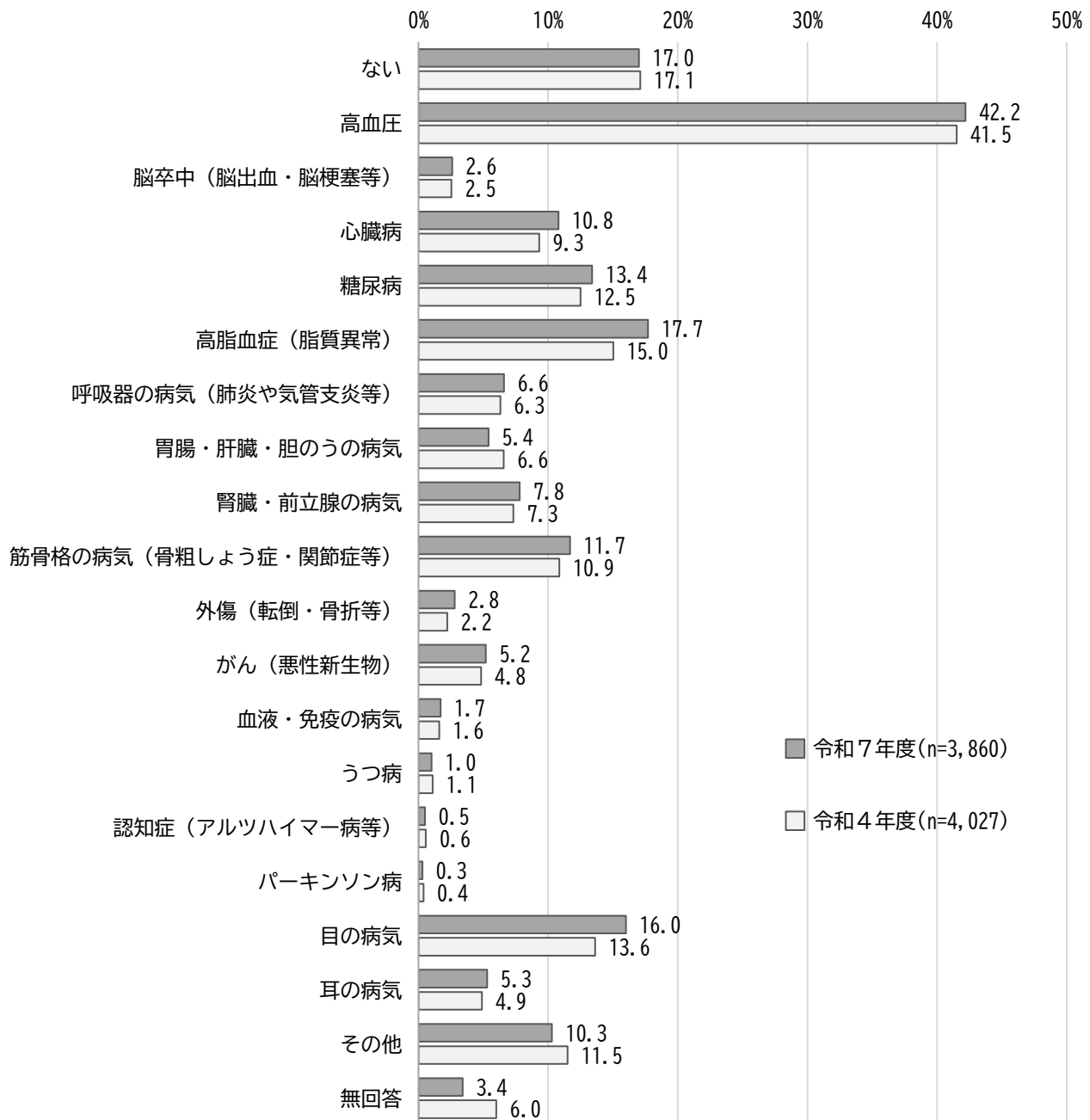
問 19 (6) 日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「いる」が75.3%、「いない」が21.3%であった。



問 19 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「高血圧」が42.2%で最も高く、次いで、「高脂血症(脂質異常)」が17.7%、「ない」が17.0%となっている。



単位：％

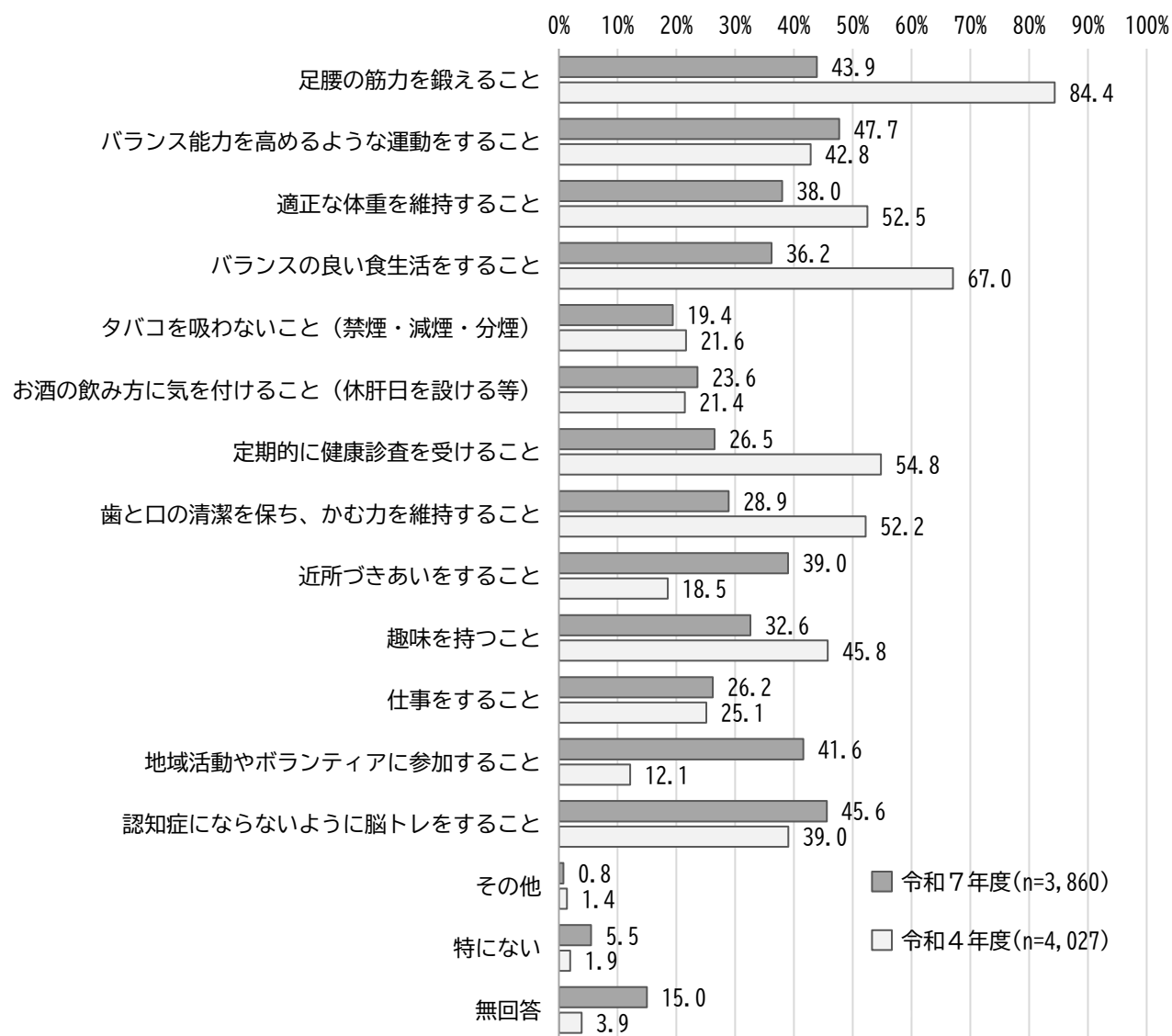
	人数	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）
全体	3,860	17.0	42.2	2.6	10.8	13.4	17.7	6.6	5.4	7.8	11.7
65～74歳:男性	836	18.3	44.5	3.8	12.1	16.9	18.4	6.5	5.3	10.4	3.5
75～84歳:男性	748	15.9	46.9	4.0	15.9	19.4	11.4	8.8	5.9	16.4	4.1
85歳以上:男性	158	7.6	47.5	7.6	25.9	16.5	12.0	10.8	6.3	30.4	6.3
65～74歳:女性	954	22.3	31.9	0.8	4.2	8.0	22.2	4.7	4.6	1.9	15.0
75～84歳:女性	938	14.3	44.8	1.8	9.1	11.1	19.5	6.8	5.8	1.9	18.8
85歳以上:女性	226	11.9	46.9	1.3	12.8	11.1	13.3	4.0	5.3	2.7	27.4

	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	2.8	5.2	1.7	1.0	0.5	0.3	16.0	5.3	10.3	3.4
65～74歳:男性	1.1	5.4	1.4	1.2	0.1	0.2	11.2	4.1	10.2	2.4
75～84歳:男性	2.3	6.0	1.6	1.1	0.4	0.5	19.0	5.3	5.9	4.1
85歳以上:男性	1.9	7.6	2.5	0.6	2.5	0.0	17.1	11.4	8.2	5.1
65～74歳:女性	1.9	4.5	1.8	1.4	0.1	0.4	14.4	4.3	13.5	2.6
75～84歳:女性	4.9	4.7	1.9	0.3	0.9	0.3	18.8	5.8	11.2	3.7
85歳以上:女性	7.1	4.9	1.3	2.2	0.9	0.0	18.6	7.1	9.3	5.8

問 20 いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、①これから取り組んだ方がよいことはなんでしょうか。また、②今実践していることはありますか。(複数回答)

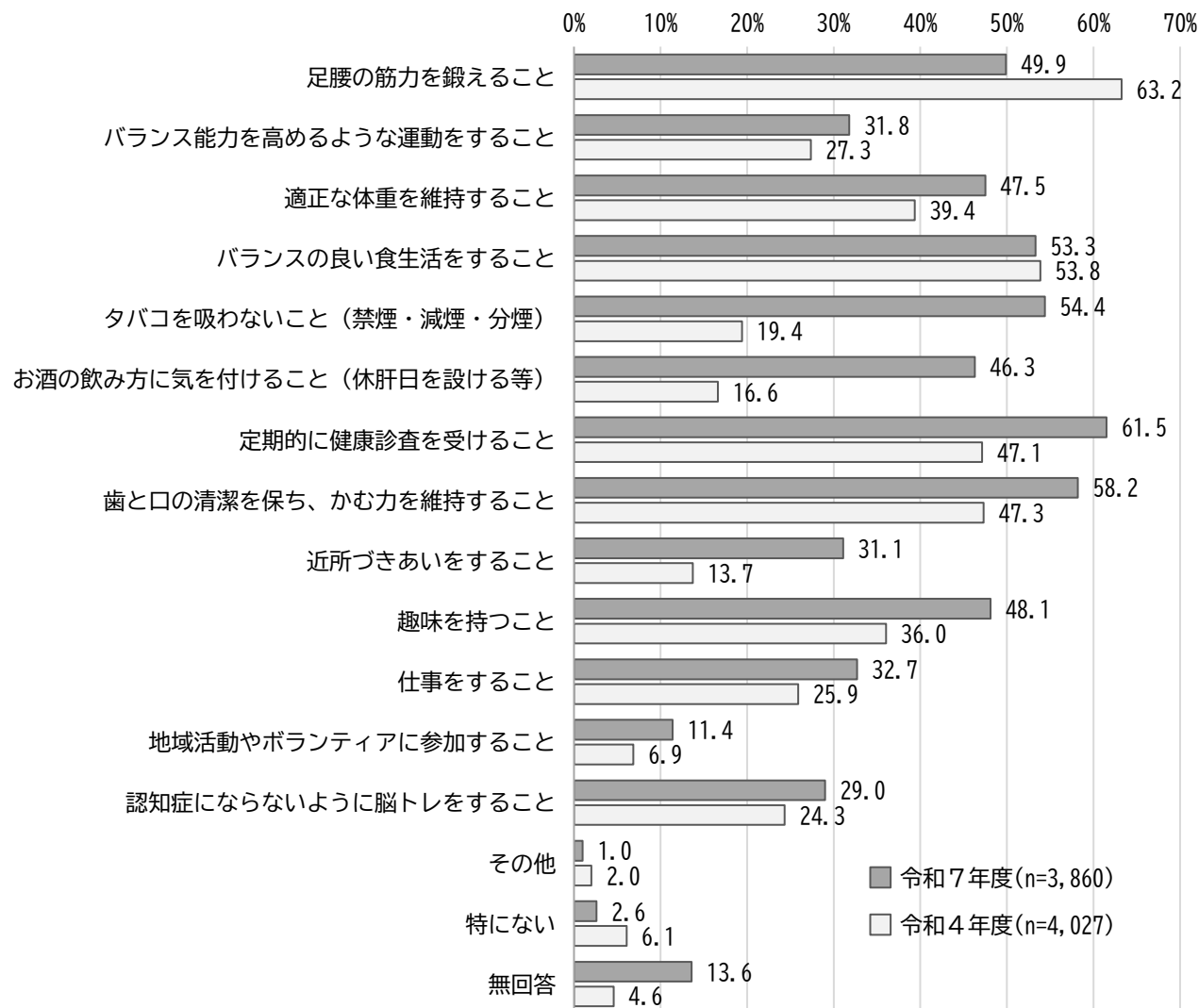
① これから取り組んだ方がよいこと

令和7年度(n=3,860)では、「バランス能力を高めるような運動をすること」が47.7%で最も高く、次いで、「認知症にならないように脳トレをすること」が45.6%、「足腰の筋力を鍛えること」が43.9%となっている。「地域活動やボランティアに参加すること」(41.6%)の割合は、令和4年度の12.1%から29.5ポイント上昇している。



② 今実践していること

令和7年度(n=3,860)では、「定期的に健康診査を受けること」が61.5%で最も高く、次いで、「歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること」が58.2%、「タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)」が54.4%となっている。「タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)」の割合は、令和4年度の19.4%から35.0ポイント上昇している。



①これから取り組んだ方がよいこと

単位：％

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をすること	タバコを吸わないこと (禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること (休肝日を設ける等)	定期的健康診断を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所つきあいをすること	趣味を持つこと	仕事をする事	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないように脳トレをすること	その他	特にな	無回答
全体	3,860	43.9	47.7	38.0	36.2	19.4	23.6	26.5	28.9	39.0	32.6	26.2	41.6	45.6	0.8	5.5	15.0
65～74歳:男性	836	48.0	52.3	44.4	45.0	26.9	32.8	27.9	34.6	48.2	34.3	28.0	49.9	50.5	1.1	4.2	10.4
75～84歳:男性	748	44.5	47.7	34.5	34.4	16.0	27.0	23.0	29.0	40.4	32.2	29.0	41.6	44.9	0.7	8.3	15.1
85歳以上:男性	158	36.7	33.5	30.4	25.9	15.8	19.0	25.9	29.1	32.3	30.4	24.1	32.3	38.0	0.6	12.0	19.6
65～74歳:女性	954	45.4	50.3	39.3	37.4	19.6	22.7	29.8	27.6	38.2	31.9	26.7	45.0	49.7	0.6	4.1	11.1
75～84歳:女性	938	39.8	43.6	35.5	30.5	16.5	16.4	24.2	24.7	32.4	32.5	23.1	35.0	41.3	0.6	4.6	20.7
85歳以上:女性	226	42.9	46.0	35.4	35.4	15.9	14.6	28.3	30.1	35.8	33.2	22.1	30.1	35.4	1.8	6.2	21.2
1人暮らし	986	41.9	44.7	36.1	39.7	19.9	21.2	27.4	28.9	37.5	32.3	25.8	38.9	43.1	1.2	6.7	17.8
夫婦2人暮らし	1,572	44.3	48.2	37.8	34.3	19.1	25.7	25.3	28.8	40.6	32.6	26.6	44.1	46.2	0.8	5.4	13.4
息子・娘との2世帯	566	44.9	51.6	39.2	35.0	19.6	25.4	28.8	29.7	39.9	36.4	28.8	41.0	47.7	0.5	4.6	14.1
その他	669	45.7	48.9	40.7	37.8	19.0	20.9	26.2	29.0	37.5	30.6	23.9	39.8	46.5	0.6	4.6	14.8

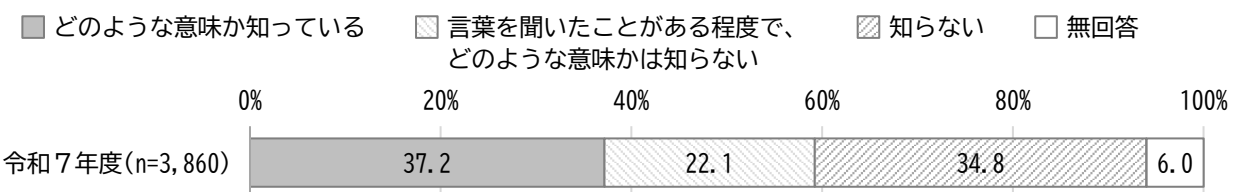
②今実践していること

単位：％

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をすること	タバコを吸わないこと (禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること (休肝日を設ける等)	定期的健康診断を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所つきあいをすること	趣味を持つこと	仕事をする事	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないように脳トレをすること	その他	特にな	無回答
全体	3,860	49.9	31.8	47.5	53.3	54.4	46.3	61.5	58.2	31.1	48.1	32.7	11.4	29.0	1.0	2.6	13.6
65～74歳:男性	836	49.9	29.3	49.4	49.9	59.3	49.9	67.1	56.3	20.7	51.8	49.9	10.2	25.0	1.7	2.5	9.7
75～84歳:男性	748	44.3	27.9	46.5	49.6	59.5	46.4	60.2	52.9	27.5	43.2	25.9	10.2	25.5	0.7	1.9	16.7
85歳以上:男性	158	48.7	25.9	41.1	44.9	55.1	48.1	53.2	44.9	31.6	37.3	12.7	7.6	23.4	0.6	3.2	20.3
65～74歳:女性	954	54.3	36.8	51.4	59.2	60.5	53.0	64.9	67.0	36.7	56.5	42.0	12.6	30.7	1.0	2.3	9.6
75～84歳:女性	938	52.2	33.6	46.1	55.3	43.0	39.2	57.4	59.0	36.0	44.2	21.3	13.2	33.7	0.7	3.3	15.0
85歳以上:女性	226	42.0	28.8	38.1	50.0	40.3	32.7	53.5	51.8	36.7	38.1	12.8	9.7	32.3	0.4	3.1	23.5
1人暮らし	986	47.5	30.1	44.2	43.9	46.9	39.9	54.2	51.5	27.0	42.3	28.0	9.1	25.3	1.0	3.1	17.0
夫婦2人暮らし	1,572	51.6	33.1	50.6	58.2	58.6	49.3	65.8	61.6	32.1	51.4	34.0	11.4	29.3	1.0	2.5	11.4
息子・娘との2世帯	566	51.6	32.3	48.4	57.8	57.6	49.1	63.6	61.3	32.5	48.8	33.2	12.7	33.0	1.1	1.2	12.0
その他	669	49.2	30.3	45.3	52.6	54.4	47.8	62.0	58.6	33.3	49.2	36.3	13.8	30.6	0.9	3.0	13.9

問 21 「フレイル」という言葉を知っていますか。(単数回答)

本設問(n=3,860)では、「どのような意味か知っている」が37.2%で最も高く、次いで、「知らない」が34.8%、「言葉を聞いたことがある程度で、どのような意味かは知らない」が22.1%となっている。



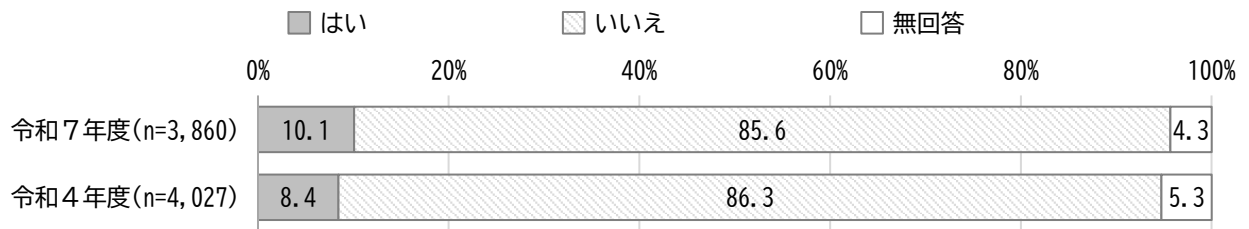
単位：%

	人数	どのような意味か知っている	言葉を聞いたことがある程度で、どのような意味かは知らない	知らない	無回答
全体	3,860	37.2	22.1	34.8	6.0
65～74歳:男性	836	30.3	19.5	48.4	1.8
75～84歳:男性	748	30.7	19.0	41.2	9.1
85歳以上:男性	158	22.2	27.8	41.1	8.9
65～74歳:女性	954	45.9	23.8	27.3	3.0
75～84歳:女性	938	43.0	24.2	24.1	8.7
85歳以上:女性	226	33.2	22.6	34.5	9.7
1人暮らし	986	34.8	21.8	36.1	7.3
夫婦2人暮らし	1,572	41.0	21.0	32.7	5.3
息子・娘との2世帯	566	34.6	22.8	38.2	4.4
その他	669	34.4	25.1	34.5	6.0
大森西	295	27.1	21.7	46.8	4.4
入新井	196	40.8	24.0	30.1	5.1
馬込	272	36.8	24.3	31.3	7.7
池上	260	38.5	22.3	36.2	3.1
新井宿	123	33.3	20.3	40.7	5.7
嶺町	136	47.1	18.4	30.1	4.4
田園調布	119	48.7	20.2	26.1	5.0
鷺の木	131	41.2	25.2	29.0	4.6
久が原	165	43.6	18.8	33.3	4.2
雪谷	296	48.0	23.0	24.7	4.4
千束	139	51.8	12.2	28.1	7.9
六郷	394	31.7	21.8	37.3	9.1
矢口	240	36.3	25.8	33.3	4.6
蒲田西	320	39.4	23.8	30.3	6.6
蒲田東	243	34.2	21.0	38.7	6.2
大森東	112	34.8	22.3	35.7	7.1
糎谷	212	21.7	25.5	44.8	8.0
羽田	207	31.4	20.3	41.5	6.8

(9) 認知症に関する状況

問 22 (1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「はい」が10.1%、「いいえ」が85.6%であった。

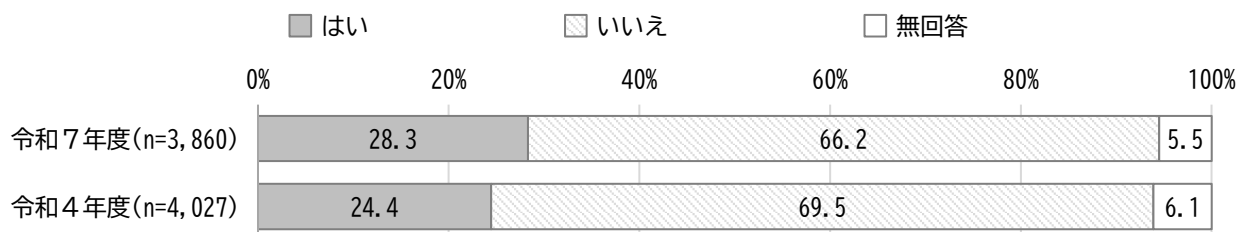


単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	3,860	10.1	85.6	4.3
65～74歳:男性	836	11.7	87.0	1.3
75～84歳:男性	748	9.1	85.0	5.9
85歳以上:男性	158	12.7	77.8	9.5
65～74歳:女性	954	9.3	88.4	2.3
75～84歳:女性	938	9.8	84.2	6.0
85歳以上:女性	226	9.3	82.7	8.0

問 22 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「はい」が28.3%、「いいえ」が66.2%であった。「はい」の割合は、令和4年度の24.4%から3.9ポイント上昇している。

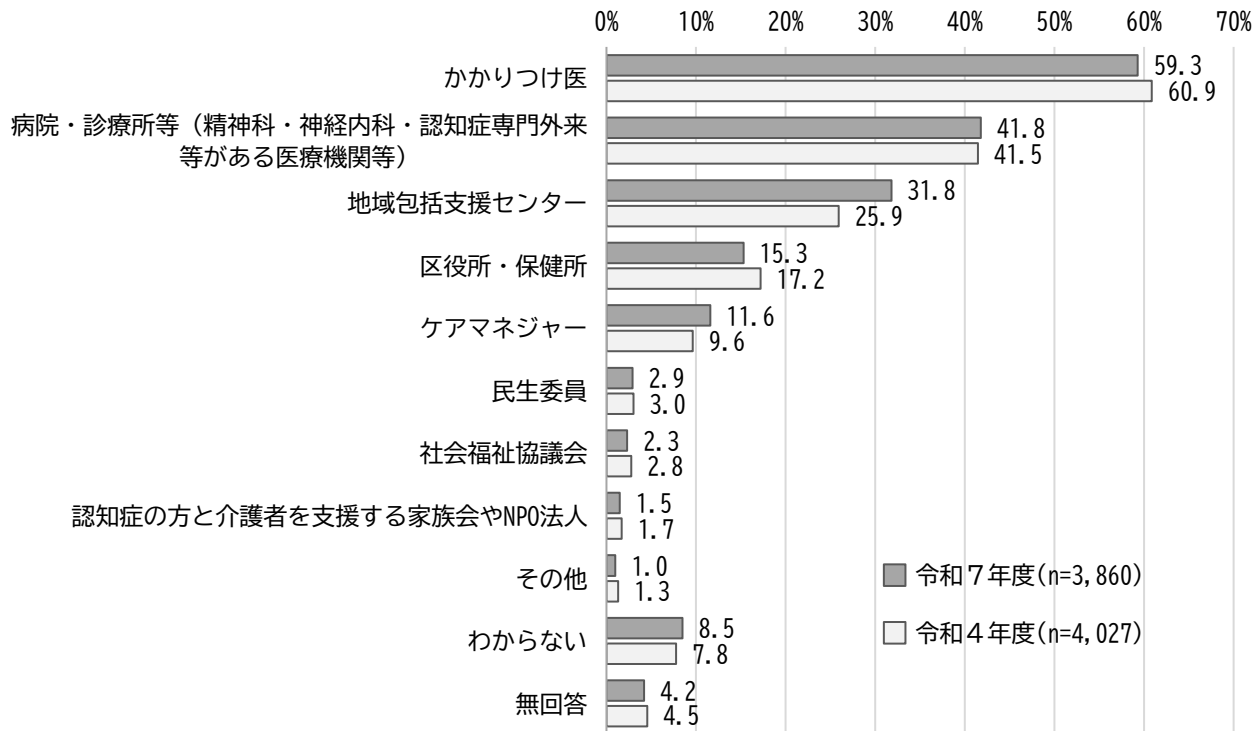


単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	3,860	28.3	66.2	5.5
65～74歳:男性	836	23.7	74.3	2.0
75～84歳:男性	748	21.3	71.5	7.2
85歳以上:男性	158	25.9	64.6	9.5
65～74歳:女性	954	37.6	59.2	3.1
75～84歳:女性	938	30.9	61.2	7.9
85歳以上:女性	226	20.4	69.5	10.2
1人暮らし	986	24.2	69.1	6.7
夫婦2人暮らし	1,572	31.2	64.2	4.6
息子・娘との2世帯	566	28.6	67.5	3.9
その他	669	28.1	65.5	6.4
大森西	295	22.7	73.6	3.7
入新井	196	25.5	69.4	5.1
馬込	272	27.6	66.2	6.3
池上	260	24.6	71.9	3.5
新井宿	123	33.3	59.3	7.3
嶺町	136	30.1	68.4	1.5
田園調布	119	31.1	67.2	1.7
鶉の木	131	22.9	71.8	5.3
久が原	165	34.5	60.6	4.8
雪谷	296	33.8	61.8	4.4
千束	139	28.1	64.7	7.2
六郷	394	26.6	65.0	8.4
矢口	240	30.4	64.2	5.4
蒲田西	320	28.8	65.0	6.3
蒲田東	243	30.9	65.4	3.7
大森東	112	29.5	64.3	6.3
糝谷	212	24.1	66.5	9.4
羽田	207	30.4	63.3	6.3

問 22 (3) 自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに（誰に）相談しようと思いますか。（複数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「かかりつけ医」が59.3%で最も高く、次いで、「病院・診療所等（精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等）」が41.8%、「地域包括支援センター」が31.8%となっている。「地域包括支援センター」の割合は、令和4年度の25.9%から5.9ポイント上昇している。

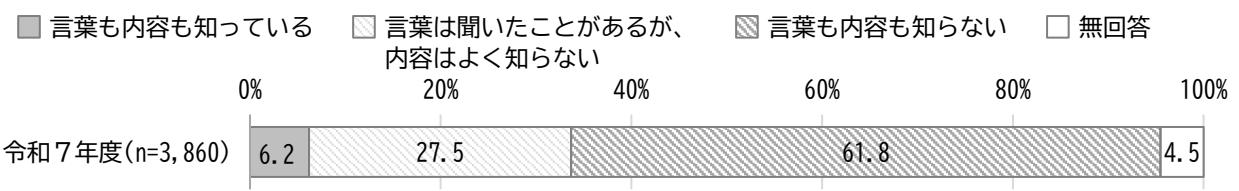


単位：%

	人数	かかりつけ医	病院・診療所等（精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等）	地域包括支援センター	区役所・保健所	ケアマネジャー	民生委員	社会福祉協議会	認知症の方と介護者を支援する家族会やNPO法人	その他	わからない	無回答
全体	3,860	59.3	41.8	31.8	15.3	11.6	2.9	2.3	1.5	1.0	8.5	4.2
65～74歳:男性	836	53.8	45.7	25.7	17.7	10.5	2.2	2.5	0.8	0.8	12.2	1.6
75～84歳:男性	748	58.7	38.8	25.0	13.6	8.3	2.9	2.5	1.7	1.2	9.9	6.1
85歳以上:男性	158	62.7	34.8	21.5	13.9	10.8	2.5	1.9	1.3	0.0	9.5	9.5
65～74歳:女性	954	56.2	47.5	40.6	16.8	12.3	2.7	1.3	1.6	1.3	7.2	2.4
75～84歳:女性	938	65.7	38.3	35.6	14.2	13.3	3.3	2.9	1.8	0.7	5.8	5.7
85歳以上:女性	226	65.5	32.3	31.0	10.6	16.8	4.9	3.5	2.2	0.9	7.1	6.2
1人暮らし	986	56.7	34.0	31.8	13.2	7.9	5.2	2.7	1.0	1.2	11.7	5.3
夫婦2人暮らし	1,572	59.8	45.2	31.2	16.0	12.2	2.0	2.3	1.4	0.4	7.3	3.7
息子・娘との2世帯	566	61.1	42.6	35.3	14.7	12.0	2.1	1.9	2.3	2.1	6.4	3.2
その他	669	59.9	45.4	31.4	17.5	15.5	2.4	2.2	1.9	0.7	8.5	4.3

問 23 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(単数回答)

本設問(n=3,860)では、「言葉も内容も知らない」が61.8%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が27.5%、「言葉も内容も知っている」が6.2%となっている。



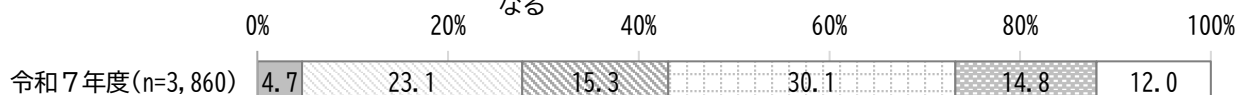
単位：%

	人数	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	言葉も内容も知らない	無回答
全体	3,860	6.2	27.5	61.8	4.5
65～74歳:男性	836	4.3	23.3	71.1	1.3
75～84歳:男性	748	4.1	27.7	61.8	6.4
85歳以上:男性	158	7.0	30.4	53.2	9.5
65～74歳:女性	954	7.7	26.2	63.6	2.5
75～84歳:女性	938	7.9	32.3	53.8	6.0
85歳以上:女性	226	7.1	26.1	58.8	8.0
1人暮らし	986	6.5	27.0	60.8	5.8
夫婦2人暮らし	1,572	5.9	28.4	62.0	3.7
息子・娘との2世帯	566	5.3	28.4	62.7	3.5
その他	669	7.5	25.4	62.9	4.2
大森西	295	6.4	32.9	58.0	2.7
入新井	196	5.6	28.6	62.8	3.1
馬込	272	4.8	28.3	61.4	5.5
池上	260	6.2	28.1	63.5	2.3
新井宿	123	8.1	30.1	56.1	5.7
嶺町	136	7.4	27.2	64.0	1.5
田園調布	119	10.1	27.7	61.3	0.8
鶉の木	131	6.9	24.4	65.6	3.1
久が原	165	9.7	23.6	63.0	3.6
雪谷	296	8.1	25.7	62.5	3.7
千束	139	5.8	23.0	64.0	7.2
六郷	394	3.8	27.4	61.2	7.6
矢口	240	5.0	30.4	61.3	3.3
蒲田西	320	4.4	25.6	63.4	6.6
蒲田東	243	9.1	28.8	59.3	2.9
大森東	112	5.4	23.2	67.0	4.5
糞谷	212	3.8	29.2	59.9	7.1
羽田	207	7.7	25.1	62.3	4.8

問 24 認知症になった人について、あなたがもっとも近いと感じるイメージをご回答ください。(単数回答)

本設問(n=3,860)では、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」が30.1%で最も高く、次いで、「認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる」が23.1%、「認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる」が15.3%となっている。

- 認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている
- ▨ 認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる
- ▩ 認知症になると医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる
- ▧ 認知症になると症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる
- わからない
- 無回答



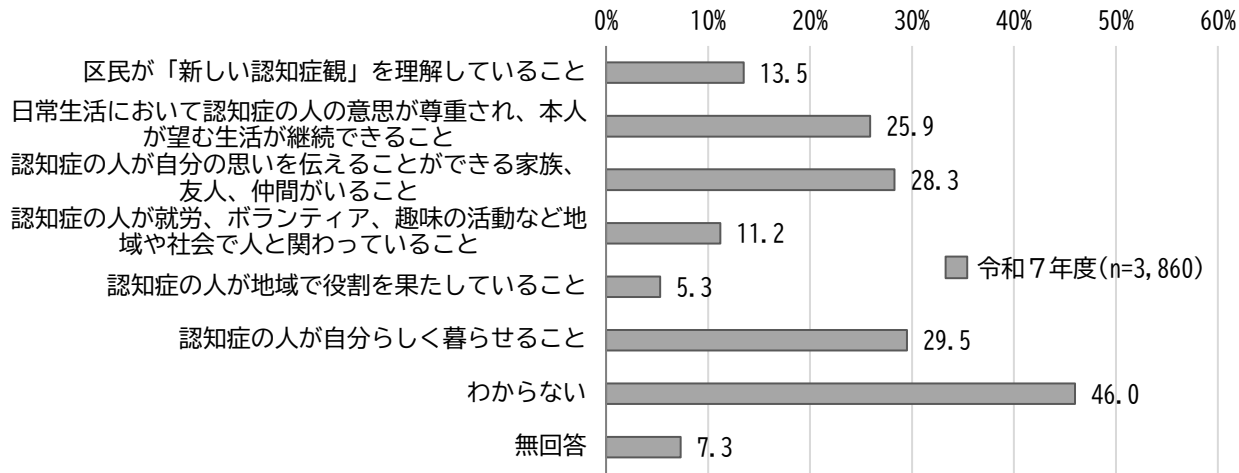
令和7年度(n=3,860)

単位：%

	人数	認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている	認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる	認知症になると医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる	認知症になると症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる	わからない	無回答
全体	3,860	4.7	23.1	15.3	30.1	14.8	12.0
65～74歳:男性	836	2.8	22.0	19.3	36.5	14.8	4.7
75～84歳:男性	748	5.6	17.1	14.2	29.5	21.7	11.9
85歳以上:男性	158	5.7	14.6	10.8	26.6	21.5	20.9
65～74歳:女性	954	2.7	29.0	19.1	32.0	7.9	9.3
75～84歳:女性	938	6.7	25.4	11.3	25.2	14.5	17.0
85歳以上:女性	226	7.5	17.7	8.0	23.9	18.1	24.8
1人暮らし	986	4.1	20.4	13.3	30.3	17.2	14.7
夫婦2人暮らし	1,572	5.3	24.1	17.2	29.9	13.9	9.5
息子・娘との2世帯	566	5.1	23.1	13.8	31.1	13.3	13.6
その他	669	3.6	25.7	15.2	29.6	13.9	12.0
大森西	295	4.1	16.9	14.6	35.6	16.3	12.5
入新井	196	4.6	28.1	12.8	29.1	14.8	10.7
馬込	272	4.0	23.2	16.9	30.5	14.3	11.0
池上	260	6.2	23.1	16.5	28.1	13.5	12.7
新井宿	123	7.3	25.2	15.4	27.6	12.2	12.2
嶺町	136	5.1	26.5	15.4	29.4	12.5	11.0
田園調布	119	8.4	25.2	21.0	30.3	5.0	10.1
鶉の木	131	4.6	23.7	19.1	29.0	14.5	9.2
久が原	165	4.2	23.6	15.8	31.5	15.8	9.1
雪谷	296	5.1	31.1	16.9	27.0	10.5	9.5
千束	139	5.0	18.7	10.8	37.4	15.8	12.2
六郷	394	5.1	18.0	12.9	33.5	15.2	15.2
矢口	240	4.2	25.0	13.8	26.7	19.6	10.8
蒲田西	320	2.2	25.0	13.8	30.0	15.0	14.1
蒲田東	243	3.7	24.7	15.6	29.2	16.5	10.3
大森東	112	4.5	17.9	20.5	33.0	15.2	8.9
糀谷	212	5.2	19.3	14.2	23.6	21.2	16.5
羽田	207	4.3	21.7	15.9	30.4	13.5	14.0

問 25 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」として以下のことは実現できていると思いますか。(複数回答)

本設問(n=3,860)では、「わからない」が46.0%で最も高く、次いで、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が29.5%、「認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること」が28.3%となっている。



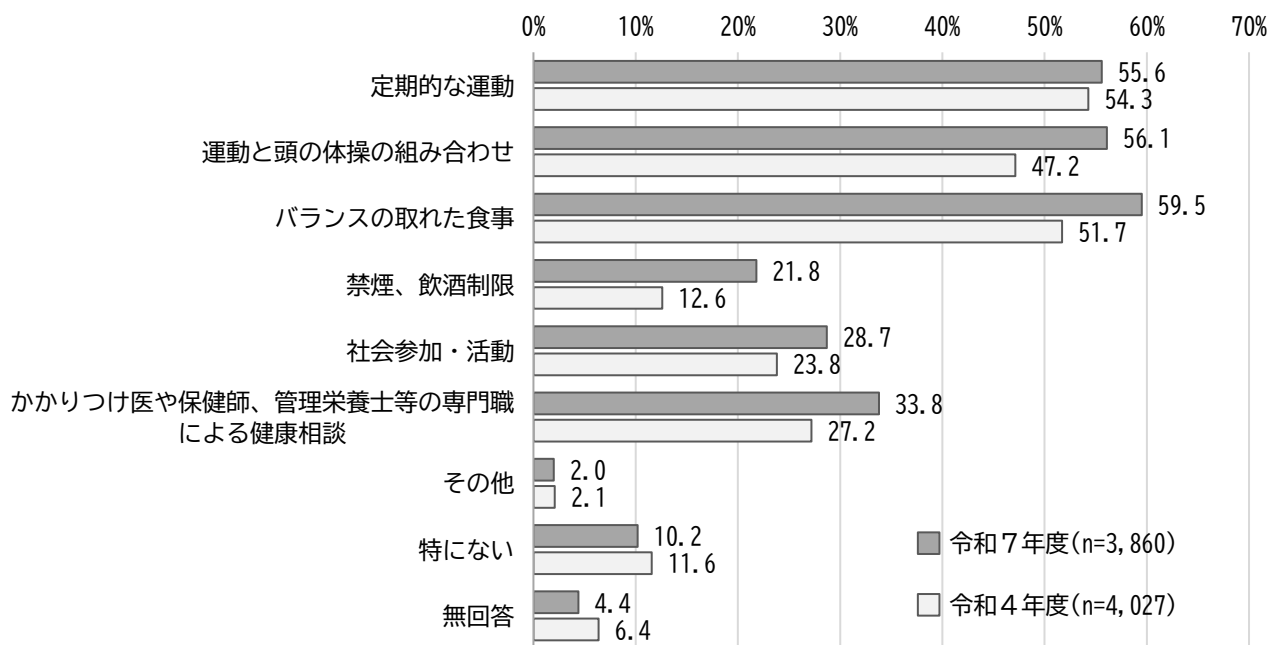
単位：%

	人数	区民が「新しい認知症観」を理解していること	日常生活において望む生活が継続できること*	認知症の人が自分の思いを伝えることができること*	認知症の人が社会で人と関わっていること*	認知症の人が地域で役割を果たしていること	認知症の人が自分らしく暮らせること	わからない	無回答
全体	3,860	13.5	25.9	28.3	11.2	5.3	29.5	46.0	7.3
65～74歳:男性	836	12.0	24.2	25.5	12.4	6.5	24.2	51.8	2.6
75～84歳:男性	748	11.1	23.7	25.4	8.4	4.0	25.8	47.3	9.4
85歳以上:男性	158	11.4	21.5	27.8	6.3	5.7	28.5	42.4	14.6
65～74歳:女性	954	14.5	28.1	30.0	13.2	5.3	31.9	46.9	4.0
75～84歳:女性	938	16.1	28.5	31.3	11.9	6.0	35.0	41.6	10.0
85歳以上:女性	226	14.2	22.1	29.6	8.0	2.7	28.8	36.7	15.5
1人暮らし	986	12.8	24.4	23.4	10.0	4.4	26.7	48.2	8.8
夫婦2人暮らし	1,572	13.8	26.5	30.5	12.0	5.3	29.7	45.2	5.8
息子・娘との2世帯	566	14.0	26.0	32.3	10.1	6.5	30.6	44.3	7.6
その他	669	13.8	26.0	28.0	11.7	5.7	32.0	46.9	6.9
大森西	295	18.3	26.4	32.5	10.8	3.4	31.9	47.1	4.1
入新井	196	10.2	30.6	29.1	9.2	4.6	34.2	46.4	4.6
馬込	272	11.4	18.4	23.9	9.6	5.9	25.7	52.2	9.6
池上	260	11.5	28.8	30.4	11.5	4.2	29.6	44.2	7.7
新井宿	123	16.3	27.6	26.8	8.9	3.3	26.0	41.5	8.1
嶺町	136	15.4	30.9	35.3	14.0	6.6	36.8	36.8	5.9
田園調布	119	16.8	26.1	33.6	17.6	8.4	33.6	45.4	4.2
鶉の木	131	15.3	28.2	30.5	12.2	3.8	25.2	48.9	3.8
久が原	165	10.9	26.1	27.9	8.5	3.0	32.1	41.2	6.7
雪谷	296	15.5	29.7	29.1	11.8	5.4	31.1	47.0	5.4
千束	139	11.5	24.5	23.0	14.4	5.8	23.7	51.8	5.8
六郷	394	12.4	24.4	27.2	10.7	5.6	30.7	44.7	10.9
矢口	240	11.3	24.6	25.8	10.0	5.0	29.6	49.6	6.3
蒲田西	320	12.8	24.1	22.8	10.9	6.3	29.7	46.6	9.7
蒲田東	243	16.5	29.2	33.7	15.2	7.4	30.0	42.8	5.8
大森東	112	10.7	20.5	25.9	8.9	4.5	26.8	50.9	5.4
糞谷	212	15.6	21.7	26.9	13.2	9.9	25.9	45.8	10.4
羽田	207	11.6	26.1	30.0	7.2	2.4	24.6	42.0	10.1

*の選択肢は一部省略があることを示している。

問 26 認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい（現在取り組んでいるものを含む）ことはありますか。（複数回答）

令和7年度(n=3,860)では、「バランスの取れた食事」が59.5%で最も高く、次いで、「運動と頭の体操の組み合わせ」が56.1%、「定期的な運動」が55.6%となっている。「禁煙、飲酒制限」(21.8%)の割合は、令和4年度の12.6%から9.2ポイント上昇している。

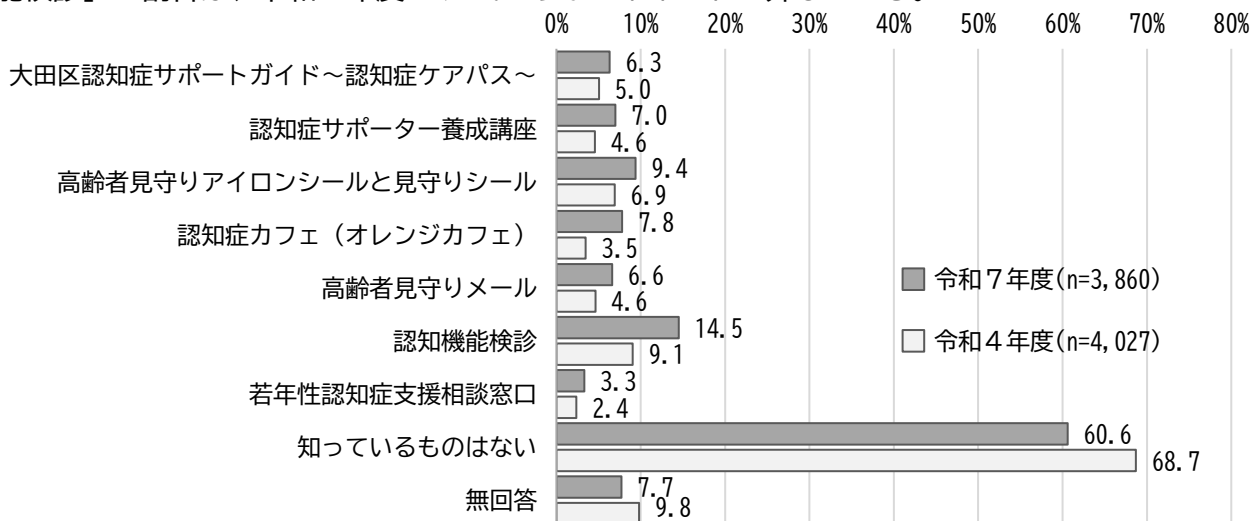


単位：％

	人数	定期的な運動	運動と頭の体操の 組み合わせ	バランスの取れた食事	禁煙、 飲酒制限	社会参加・活動	かかりつけ医や、 保健師、管理栄養士等の 専門職による健康相談	その他	特にない	無回答
全体	3,860	55.6	56.1	59.5	21.8	28.7	33.8	2.0	10.2	4.4
65～74歳:男性	836	59.7	56.9	56.0	28.7	29.9	34.3	2.6	12.3	2.5
75～84歳:男性	748	49.5	49.7	50.9	25.1	22.9	31.6	1.3	14.4	4.8
85歳以上:男性	158	44.3	51.3	49.4	27.2	15.8	39.9	1.3	12.0	6.3
65～74歳:女性	954	62.9	64.7	69.0	22.4	38.1	32.7	2.3	5.7	2.3
75～84歳:女性	938	53.7	54.8	60.6	13.4	26.7	33.3	1.6	8.8	7.0
85歳以上:女性	226	46.0	46.9	62.8	13.7	21.2	42.5	3.5	11.9	5.8
1人暮らし	986	50.1	50.2	55.3	19.6	27.3	32.5	1.7	13.3	4.7
夫婦2人暮らし	1,572	59.2	58.8	61.6	23.0	29.3	34.6	2.0	8.9	3.5
息子・娘との2世帯	566	55.7	59.5	59.7	24.9	29.3	35.9	2.3	8.5	4.8
その他	669	56.2	57.1	61.4	19.7	29.7	32.7	2.2	10.0	4.6
大森西	295	52.9	54.9	55.3	23.7	25.4	35.6	2.4	14.2	2.0
入新井	196	58.2	54.1	60.7	19.9	28.6	32.1	3.1	10.2	2.0
馬込	272	57.7	56.6	64.3	27.9	33.5	32.7	1.5	9.9	2.2
池上	260	57.3	62.7	61.5	22.3	28.5	31.5	2.3	8.8	3.5
新井宿	123	53.7	62.6	64.2	17.1	27.6	26.0	6.5	9.8	2.4
嶺町	136	61.0	61.0	67.6	25.0	30.9	38.2	2.2	2.9	5.1
田園調布	119	59.7	63.0	61.3	25.2	40.3	40.3	4.2	5.9	5.0
鷯の木	131	66.4	62.6	67.9	19.8	33.6	36.6	1.5	8.4	0.8
久が原	165	60.6	52.7	64.8	23.0	34.5	37.6	3.0	10.3	5.5
雪谷	296	61.1	58.8	63.5	24.0	31.4	38.5	2.0	7.8	2.7
千束	139	63.3	59.7	66.2	23.0	29.5	36.7	1.4	9.4	3.6
六郷	394	56.6	54.3	58.4	21.8	24.6	33.0	1.3	10.2	6.1
矢口	240	57.1	52.9	60.4	24.2	29.6	35.4	0.8	12.9	3.8
蒲田西	320	51.3	52.2	56.6	19.1	28.8	29.7	1.6	10.9	5.3
蒲田東	243	51.9	59.7	55.6	20.2	33.3	39.9	1.2	8.2	5.3
大森東	112	50.0	45.5	53.6	21.4	23.2	25.9	0.0	16.1	8.0
糀谷	212	45.8	49.1	51.4	18.9	19.8	29.7	2.8	14.6	6.6
羽田	207	44.4	54.1	47.3	14.0	20.8	29.5	1.9	9.7	8.7

問 27 区が実施している認知症施策を知っていますか。(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「知っているものはない」が60.6%で最も高く、次いで、「認知機能検診」が14.5%、「高齢者見守りアイコンシールと見守りシール」が9.4%となっている。「認知機能検診」の割合は、令和4年度の9.1%から5.4ポイント上昇している。



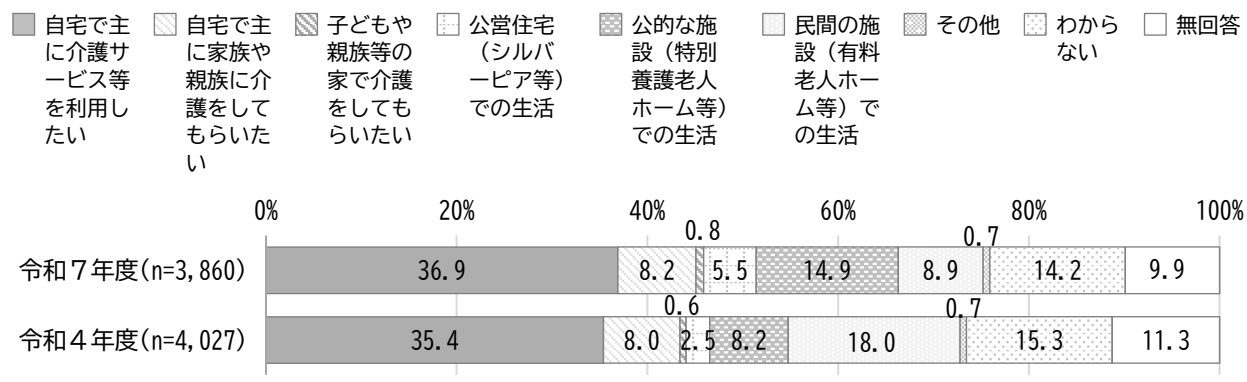
単位：%

	人数	大田区認知症サポートガイド*	認知症サポーター養成講座	認知症サポートアイコンシール*	高齢者見守りアイコンシール	認知症カフェ（オレンジカフェ）	高齢者見守りメール	認知機能検診	若年性認知症支援相談窓口	知っているものはない	無回答
全体	3,860	6.3	7.0	9.4	7.8	6.6	14.5	3.3	60.6	7.7	
65～74歳:男性	836	5.1	4.2	5.7	3.6	4.7	9.8	2.3	74.8	3.9	
75～84歳:男性	748	5.5	3.2	7.5	2.8	4.9	12.2	2.3	67.0	8.0	
85歳以上:男性	158	8.9	3.2	8.2	2.5	4.4	5.7	4.4	66.5	10.8	
65～74歳:女性	954	7.4	13.2	12.7	13.0	9.2	19.5	4.4	54.1	4.5	
75～84歳:女性	938	7.0	7.1	10.6	9.9	7.5	18.0	3.6	50.0	12.7	
85歳以上:女性	226	3.5	6.2	10.6	12.4	6.6	10.6	3.5	55.3	11.5	
1人暮らし	986	5.3	5.7	11.5	7.8	6.6	12.7	2.0	61.4	8.6	
夫婦2人暮らし	1,572	6.6	7.0	8.5	6.9	6.5	15.9	3.1	61.8	6.6	
息子・娘との2世帯	566	7.1	9.7	8.7	11.3	7.2	14.7	3.9	56.2	8.1	
その他	669	6.9	7.2	9.0	6.7	6.7	14.5	5.2	61.7	6.9	
大森西	295	7.5	6.4	8.5	6.1	8.5	12.9	1.7	64.1	6.1	
入新井	196	8.2	5.6	9.2	6.1	5.1	19.9	2.6	57.7	6.1	
馬込	272	6.6	5.9	7.7	8.5	5.9	16.9	3.3	62.5	6.6	
池上	260	9.2	7.3	15.0	6.2	7.3	16.5	3.1	58.5	5.4	
新井宿	123	8.1	3.3	8.1	10.6	6.5	14.6	5.7	55.3	6.5	
嶺町	136	8.8	14.7	8.1	11.0	7.4	17.6	2.9	58.8	5.9	
田園調布	119	9.2	9.2	8.4	10.1	5.0	7.6	2.5	68.1	7.6	
鶉の木	131	5.3	5.3	7.6	9.9	6.1	15.3	3.8	63.4	4.6	
久が原	165	4.8	10.9	10.3	9.7	5.5	17.6	3.6	55.8	10.9	
雪谷	296	5.7	7.4	10.5	9.8	5.7	16.2	4.1	60.5	5.7	
千束	139	3.6	7.9	4.3	18.0	3.6	14.4	2.2	62.6	7.9	
六郷	394	5.6	7.9	11.4	8.1	9.4	14.5	3.6	59.1	8.9	
矢口	240	4.6	5.4	8.8	5.0	5.8	15.8	5.0	59.6	8.8	
蒲田西	320	5.0	7.2	6.9	4.1	5.0	9.4	3.1	64.7	9.1	
蒲田東	243	4.9	7.0	10.7	9.1	9.9	15.2	1.6	61.7	6.2	
大森東	112	5.4	8.0	6.3	3.6	10.7	13.4	2.7	60.7	8.9	
糞谷	212	6.6	5.2	8.5	6.6	2.8	10.4	4.2	62.7	11.3	
羽田	207	5.8	4.3	11.6	5.3	6.8	13.5	3.9	54.6	12.1	

*の選択肢は一部省略があることを示している。

問 28 万が一介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「自宅で主に介護サービス等を利用したい」が36.9%で最も高く、次いで、「公的な施設(特別養護老人ホーム等)での生活」が14.9%、「わからない」が14.2%となっている。「民間の施設(有料老人ホーム等)での生活」の割合(8.9%)は、令和4年度の18.0%から9.1ポイント低下している。



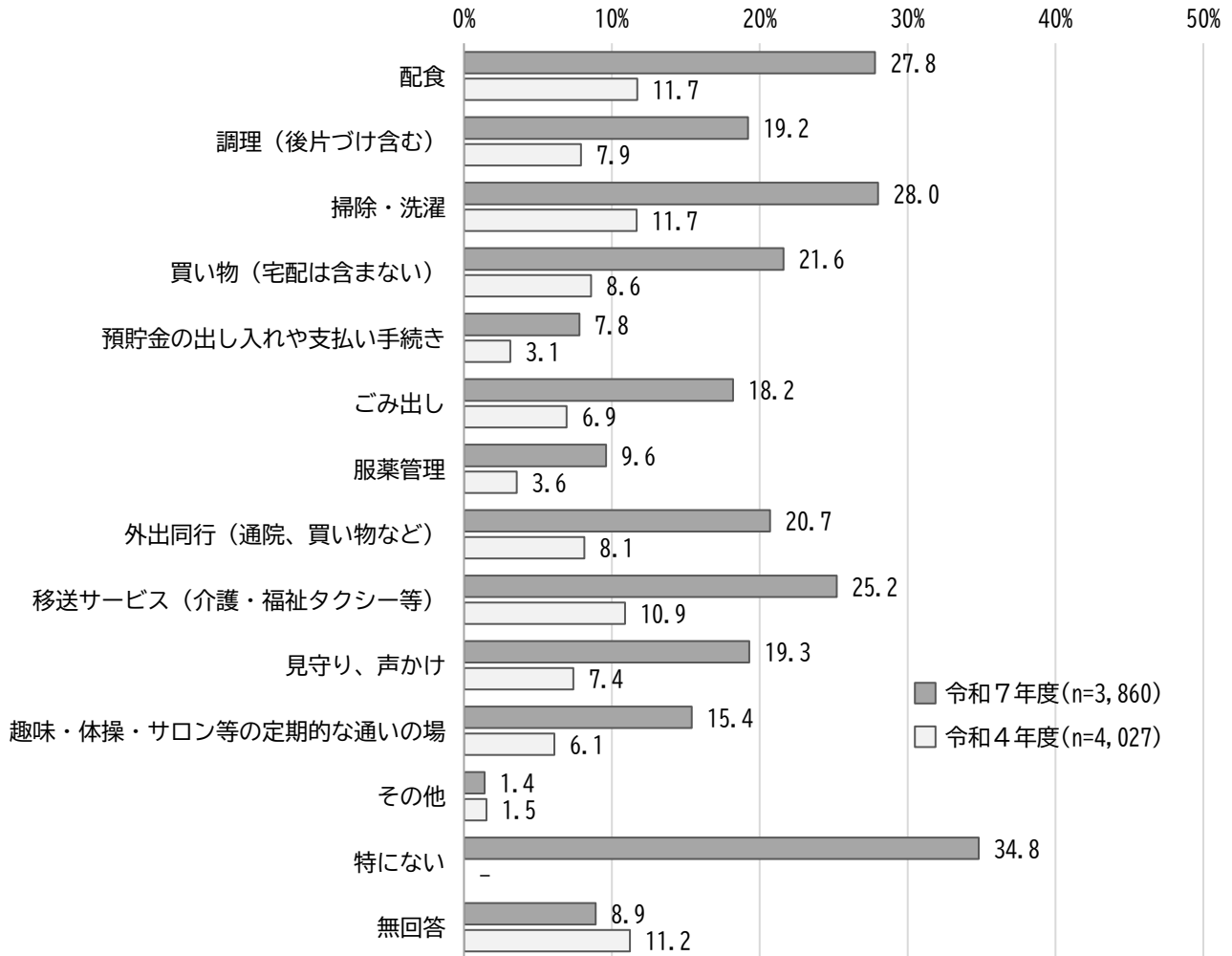
単位：%

	人数	自宅で主に介護サービス等を利用したい	自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい	子どもや親族等の家で介護をしてもらいたい	公営住宅(シルバーピア等)での生活	公的な施設(特別養護老人ホーム等)での生活	民間の施設(有料老人ホーム等)での生活	その他	わからない	無回答
全体	3,860	36.9	8.2	0.8	5.5	14.9	8.9	0.7	14.2	9.9
65～74歳:男性	836	29.9	12.7	0.8	6.2	16.7	8.3	0.5	17.7	7.2
75～84歳:男性	748	36.0	11.2	0.9	4.7	15.8	7.2	0.9	13.2	10.0
85歳以上:男性	158	29.7	13.9	1.3	1.9	19.0	7.6	0.6	12.7	13.3
65～74歳:女性	954	38.7	3.9	0.7	6.6	14.9	12.4	0.7	13.9	8.2
75～84歳:女性	938	42.8	5.4	0.6	5.3	12.3	7.9	0.6	13.4	11.6
85歳以上:女性	226	39.8	7.5	0.9	3.5	13.7	7.1	0.9	9.7	16.8
1人暮らし	986	33.0	2.2	1.3	9.8	14.9	8.2	0.7	18.9	11.0
夫婦2人暮らし	1,572	39.6	10.1	0.5	3.8	14.3	10.5	0.4	11.3	9.4
息子・娘との2世帯	566	37.8	12.4	1.2	3.9	14.8	8.7	0.2	12.4	8.7
その他	669	37.7	9.1	0.1	4.5	16.4	6.9	1.3	14.3	9.6
大森西	295	35.3	8.8	0.7	8.1	16.6	5.1	0.3	16.6	8.5
入新井	196	37.8	12.8	2.0	2.6	11.7	8.7	1.0	12.8	10.7
馬込	272	35.3	8.1	0.7	8.5	12.9	11.8	2.2	11.0	9.6
池上	260	41.5	6.9	0.0	5.8	10.4	5.8	0.8	16.2	12.7
新井宿	123	38.2	9.8	0.8	6.5	12.2	10.6	1.6	14.6	5.7
嶺町	136	30.1	8.8	0.7	5.1	18.4	14.7	1.5	14.0	6.6
田園調布	119	36.1	10.1	0.0	1.7	16.8	18.5	0.0	7.6	9.2
鶉の木	131	46.6	4.6	0.0	3.8	14.5	9.2	0.0	11.5	9.9
久が原	165	37.6	9.1	1.2	4.8	15.2	7.9	0.6	13.9	9.7
雪谷	296	42.6	6.4	0.3	4.7	15.9	8.1	1.0	14.2	6.8
千束	139	37.4	10.1	1.4	2.9	8.6	13.7	0.7	11.5	13.7
六郷	394	34.0	6.3	1.5	5.8	21.3	6.6	0.0	12.9	11.4
矢口	240	35.8	7.5	0.8	3.8	12.9	16.7	0.0	14.2	8.3
蒲田西	320	37.2	8.1	0.6	2.8	16.9	6.9	0.6	16.3	10.6
蒲田東	243	40.3	4.9	0.8	8.2	11.1	7.4	0.4	17.7	9.1
大森東	112	33.0	8.9	0.9	6.3	12.5	7.1	0.0	21.4	9.8
糎谷	212	33.5	9.0	0.9	6.1	14.6	7.1	0.5	15.6	12.7
羽田	207	32.4	12.6	0.5	7.2	18.4	5.8	1.4	11.1	10.6

(10) 今後の生活に対する希望や支援ニーズ

問 29 今後の在宅生活の継続において、必要と感じる支援・サービスを教えてください。
(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「掃除・洗濯」が28.0%、「配食」が27.8%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.2%となっている。「掃除・洗濯」の割合は、令和4年度の11.7%から16.3ポイント上昇している。



単位：％

	人数	配食	調理 (後片づけ含む)	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	預貯金の出し入れや 支払い手続き	ごみ出し	服薬管理	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス(介護・ 福祉タクシー等)	見守り、声かけ	趣味・体操・サロンの場 の定期的な通いの場	その他	特にない	無回答
全体	3,860	27.8	19.2	28.0	21.6	7.8	18.2	9.6	20.7	25.2	19.3	15.4	1.4	34.8	8.9
65～74歳:男性	836	30.3	21.4	28.6	20.7	7.8	18.7	9.3	14.5	22.8	20.0	14.2	1.2	41.6	5.0
75～84歳:男性	748	27.3	18.2	25.9	20.3	8.4	15.5	8.0	18.7	19.9	14.6	9.9	1.6	39.4	9.1
85歳以上:男性	158	34.2	20.3	26.6	20.3	13.9	16.5	10.8	18.4	25.3	16.5	16.5	0.6	29.1	10.8
65～74歳:女性	954	30.0	19.7	31.0	25.1	8.7	21.0	11.8	26.6	31.8	24.7	18.0	0.7	34.6	6.3
75～84歳:女性	938	22.6	17.5	26.2	19.6	6.0	17.7	8.7	22.2	24.3	17.7	18.0	1.7	29.2	13.5
85歳以上:女性	226	27.9	19.5	27.9	23.0	6.2	16.8	9.3	20.8	27.9	17.7	15.5	3.5	22.1	12.8
1人暮らし	986	21.9	12.9	23.9	15.7	6.5	15.5	6.2	16.6	15.9	19.8	12.8	2.0	39.0	8.6
夫婦2人暮らし	1,572	31.5	22.7	31.2	25.1	9.4	20.0	10.6	22.4	27.3	19.6	16.5	1.2	32.1	8.3
息子・娘との2世帯	566	27.6	18.9	24.6	20.1	7.1	17.8	11.7	22.4	29.2	16.6	16.8	1.1	36.0	9.7
その他	669	29.0	21.2	29.7	24.1	7.5	18.8	11.1	22.1	31.8	20.2	16.6	1.0	33.8	8.7
大森西	295	25.1	16.9	25.8	21.0	6.8	17.3	8.8	19.3	23.7	20.0	10.2	2.7	36.3	9.5
入新井	196	28.1	19.9	30.6	21.9	6.6	20.4	8.2	24.5	25.5	16.3	13.8	1.0	36.2	6.6
馬込	272	25.4	19.9	28.3	22.4	7.4	19.1	7.7	20.2	26.1	18.8	12.5	1.1	33.1	10.3
池上	260	30.8	23.5	31.5	23.1	8.1	18.8	9.2	20.0	24.6	21.9	18.1	1.2	34.2	6.9
新井宿	123	27.6	16.3	30.1	18.7	6.5	17.9	5.7	18.7	17.1	19.5	10.6	2.4	39.0	4.9
嶺町	136	33.1	22.8	32.4	27.2	8.1	19.9	13.2	22.1	27.2	23.5	16.9	0.7	27.2	8.8
田園調布	119	30.3	24.4	37.0	19.3	5.9	22.7	4.2	20.2	30.3	13.4	17.6	0.0	34.5	8.4
鵜の木	131	28.2	19.1	31.3	22.9	6.1	19.8	6.1	20.6	29.8	26.0	18.3	2.3	27.5	3.8
久が原	165	23.6	15.2	26.1	24.2	9.1	19.4	11.5	21.2	26.7	17.0	17.0	2.4	36.4	5.5
雪谷	296	32.4	21.3	31.4	21.6	8.8	19.3	11.5	23.0	30.4	21.3	17.6	0.3	35.8	5.7
千束	139	30.9	20.9	28.1	21.6	5.8	20.9	9.4	21.6	23.7	19.4	20.1	3.6	36.7	7.2
六郷	394	27.7	18.8	25.9	24.1	8.9	17.8	11.2	21.6	27.2	21.1	19.8	1.8	34.5	9.1
矢口	240	30.4	20.4	28.3	22.1	7.9	16.3	7.5	18.3	27.5	22.9	15.8	1.3	29.6	10.0
蒲田西	320	25.0	16.9	22.5	19.1	8.1	15.0	11.3	19.7	21.9	17.2	15.6	0.9	37.5	11.3
蒲田東	243	25.9	19.3	29.2	21.0	9.1	19.8	12.8	23.5	21.4	16.5	15.2	0.8	39.1	9.5
大森東	112	25.9	15.2	25.9	17.0	9.8	14.3	11.6	21.4	21.4	16.1	11.6	0.0	41.1	17.0
糀谷	212	22.6	16.0	21.7	17.0	9.4	14.2	9.4	15.1	24.5	15.6	14.2	1.4	35.8	12.3
羽田	207	30.0	20.3	27.1	21.3	6.3	18.8	8.7	21.7	23.2	17.9	10.6	1.4	30.4	11.1

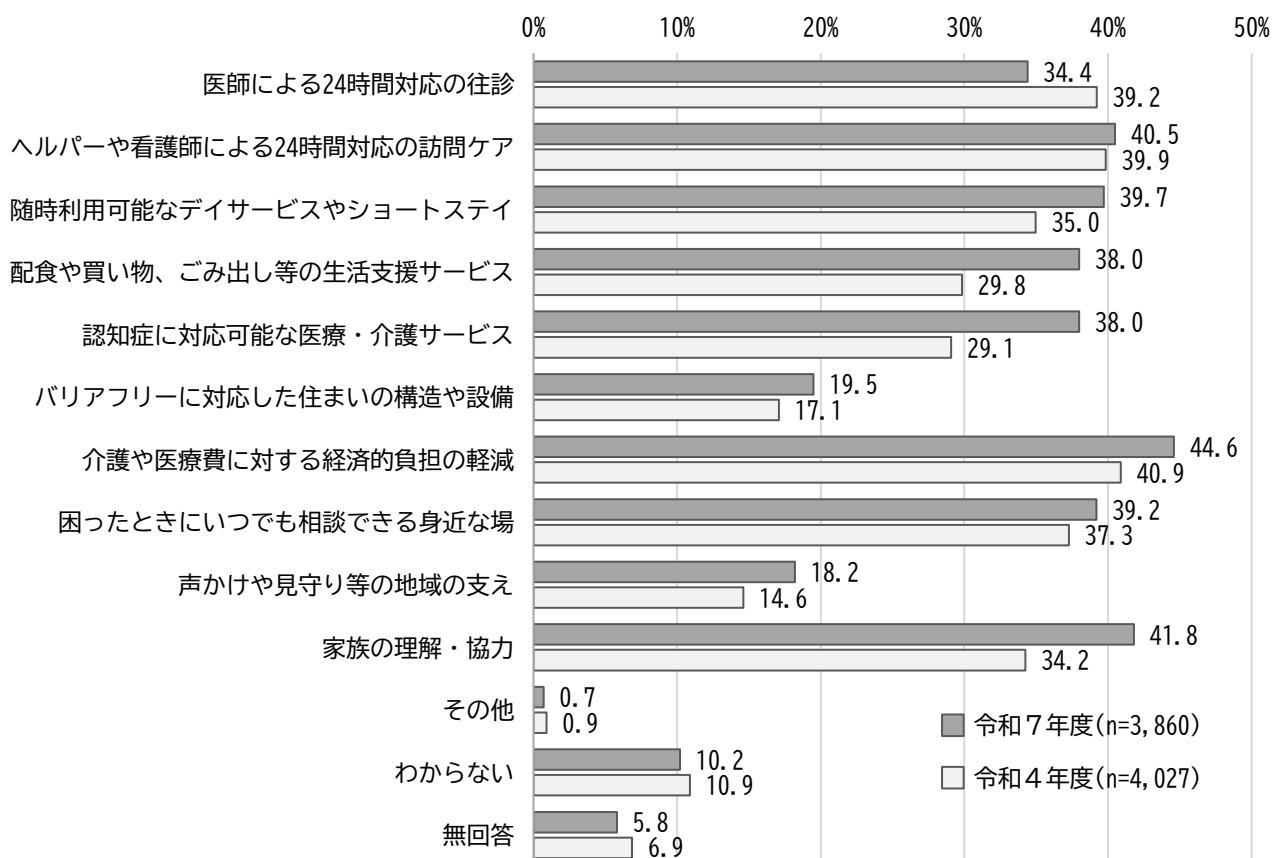
第3章

各調査の結果

1. 高齢者一般調査

問 30 介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるために、必要と感ずることを教えてください。(複数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「介護や医療費に対する経済的負担の軽減」が44.6%で最も高く、次いで、「家族の理解・協力」が41.8%、「ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア」が40.5%となっている。「認知症に対応可能な医療・介護サービス」の割合(38.0%)は、令和4年度の29.1%から8.9ポイント上昇している。

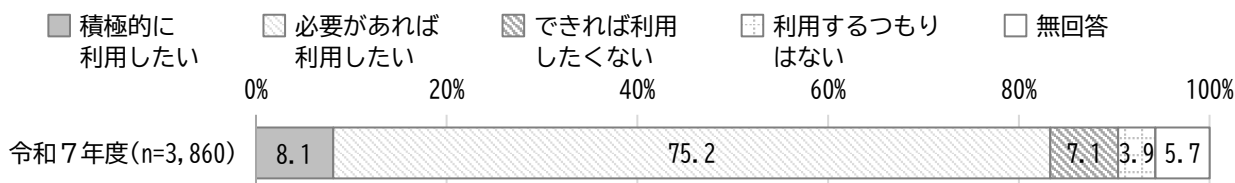


単位：%

	人数	医師による24時間対応の往診	ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア	随時利用可能なデイサービスやショートステイ	配食や買い物、ごみ出し等の生活支援サービス	認知症に対応可能な医療・介護サービス	バリアフリーに対応した住まいの構造や設備	介護や医療費に対する経済的負担の軽減	困ったときにいつでも相談できる身近な場	声かけや見守り等の地域の支え	家族の理解・協力	その他	わからない	無回答
全体	3,860	34.4	40.5	39.7	38.0	38.0	19.5	44.6	39.2	18.2	41.8	0.7	10.2	5.8
65～74歳:男性	836	33.4	41.1	35.6	35.9	40.0	20.8	45.1	34.8	16.0	39.1	0.8	13.9	3.3
75～84歳:男性	748	27.5	36.1	30.9	33.4	33.0	15.5	40.4	32.0	13.0	38.6	0.7	14.7	5.3
85歳以上:男性	158	29.1	34.2	34.8	32.3	33.5	14.6	42.4	38.0	16.5	48.1	0.6	7.0	9.5
65～74歳:女性	954	39.8	48.6	50.1	48.2	46.3	25.1	53.1	46.1	24.0	49.7	0.4	7.0	3.5
75～84歳:女性	938	35.9	37.8	41.4	35.9	34.5	17.5	39.8	41.4	18.7	38.3	0.7	7.8	9.5
85歳以上:女性	226	35.8	33.6	35.8	29.6	28.8	15.5	42.5	42.9	19.0	38.9	1.3	7.1	8.4
1人暮らし	986	28.9	34.9	28.3	35.4	27.9	15.6	37.3	39.6	19.6	20.4	1.5	15.1	7.3
夫婦2人暮らし	1,572	36.3	43.1	42.8	43.5	42.9	21.1	46.4	40.0	18.1	46.6	0.3	8.7	4.3
息子・娘との2世帯	566	36.9	44.0	44.9	32.7	39.8	20.8	48.8	37.8	15.5	53.2	0.4	8.0	5.7
その他	669	36.9	41.6	45.6	35.0	41.0	20.5	48.7	38.9	18.8	52.3	0.9	8.4	5.8

問 31 在宅医療サービスに対する考えを教えてください。(単数回答)

本設問(n=3,860)では、「必要があれば利用したい」が75.2%で最も高く、次いで、「積極的に利用したい」が8.1%、「できれば利用したくない」が7.1%となっている。

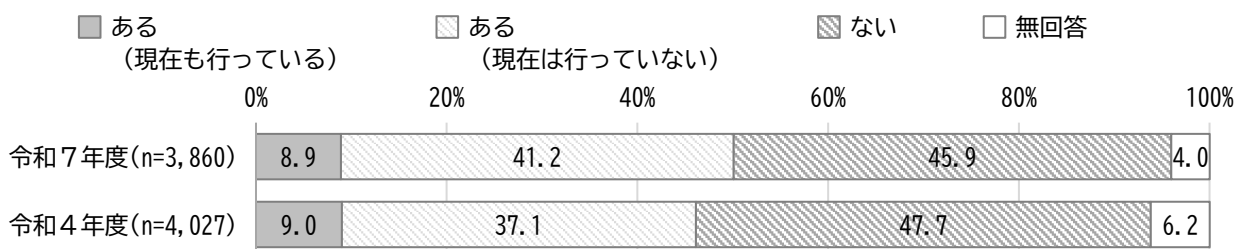


単位：%

	人数	積極的に利用したい	必要があれば利用したい	できれば利用したくない	利用するつもりはない	無回答
全体	3,860	8.1	75.2	7.1	3.9	5.7
65～74歳:男性	836	7.8	75.2	7.9	5.5	3.6
75～84歳:男性	748	8.7	75.0	7.2	4.1	4.9
85歳以上:男性	158	13.3	66.5	5.1	6.3	8.9
65～74歳:女性	954	7.5	79.0	7.2	2.6	3.6
75～84歳:女性	938	7.9	73.5	6.0	3.5	9.2
85歳以上:女性	226	7.1	73.5	8.8	2.7	8.0
1人暮らし	986	6.9	70.1	9.8	6.2	7.0
夫婦2人暮らし	1,572	9.4	76.8	6.1	3.1	4.6
息子・娘との2世帯	566	8.3	77.7	6.2	2.8	4.9
その他	669	7.0	78.0	6.0	3.1	5.8

問 32 これまでにご家族や親戚の方等の介護を行った経験はありますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「ない」が45.9%で最も高く、次いで、「ある(現在は行っていない)」が41.2%、「ある(現在も行っている)」が8.9%となっている。「ある(現在も行っている)/ある(現在は行っていない)」(50.1%)の割合は、令和4年度の46.1%から4.0ポイント上昇している。

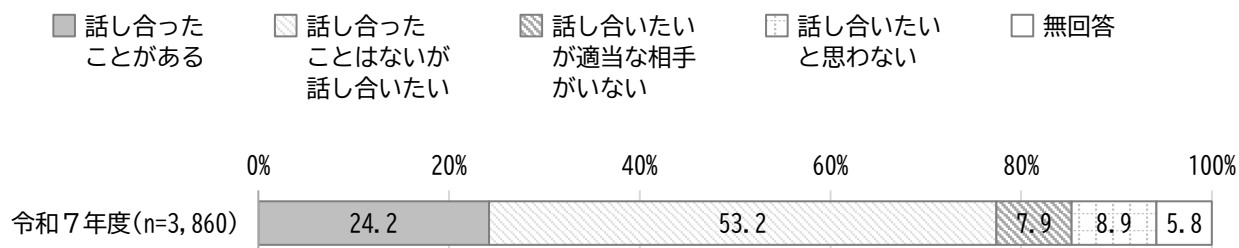


単位：%

	人数	ある(現在も行っている)	ある(現在は行っていない)	ない	無回答
全体	3,860	8.9	41.2	45.9	4.0
65～74歳:男性	836	8.4	39.7	49.3	2.6
75～84歳:男性	748	7.4	32.0	57.1	3.6
85歳以上:男性	158	9.5	22.8	62.0	5.7
65～74歳:女性	954	10.4	50.4	36.8	2.4
75～84歳:女性	938	8.8	44.9	39.8	6.5
85歳以上:女性	226	9.3	36.7	48.7	5.3
1人暮らし	986	4.0	44.7	46.6	4.8
夫婦2人暮らし	1,572	9.1	39.8	48.2	2.9
息子・娘との2世帯	566	10.8	41.7	43.5	4.1
その他	669	14.2	40.2	41.1	4.5

問 33 あなたが人生の最終段階で受けて、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合いたいと思いますか。(単数回答)

本設問(n=3,860)では、「話し合ったことはないが話し合いたい」が53.2%で最も高く、次いで、「話し合ったことがある」が24.2%、「話し合いたいと思わない」が8.9%となっている。



単位：%

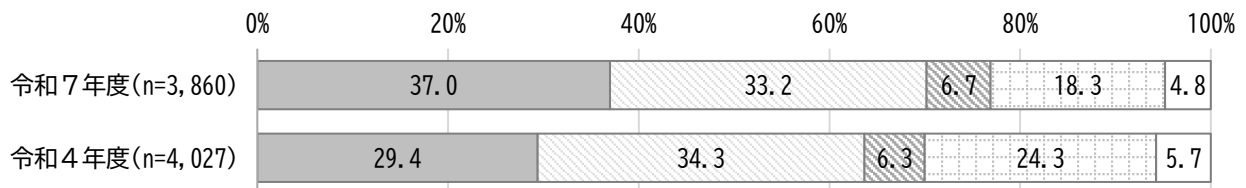
	人数	話し合ったことがある	話し合ったことはないが話し合いたい	話し合いたいที่เหมาะสมな相手がいない	話し合いたいと思わない	無回答
全体	3,860	24.2	53.2	7.9	8.9	5.8
65～74歳:男性	836	18.9	51.9	12.0	13.4	3.8
75～84歳:男性	748	20.6	50.1	10.6	12.8	5.9
85歳以上:男性	158	22.8	51.9	5.1	10.8	9.5
65～74歳:女性	954	26.0	58.1	6.2	6.0	3.8
75～84歳:女性	938	28.8	52.7	4.9	5.0	8.6
85歳以上:女性	226	29.6	50.4	6.2	6.2	7.5
1人暮らし	986	17.3	47.4	17.1	11.4	6.8
夫婦2人暮らし	1,572	27.3	55.7	3.9	8.5	4.5
息子・娘との2世帯	566	28.1	55.5	4.2	7.1	5.1
その他	669	23.9	54.1	7.3	7.8	6.9

(11) 区の実施に対する認知度や意見

問 34 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」が37.0%で最も高く、次いで、「名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない」が33.2%、「知らない・名前も聞いたことはない」が18.3%となっている。「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」の割合は、令和4年度の29.4%から7.6ポイント上昇している。

- 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている
- ▨ 名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない
- ▩ 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた
- 知らない・名前も聞いたことはない
- 無回答



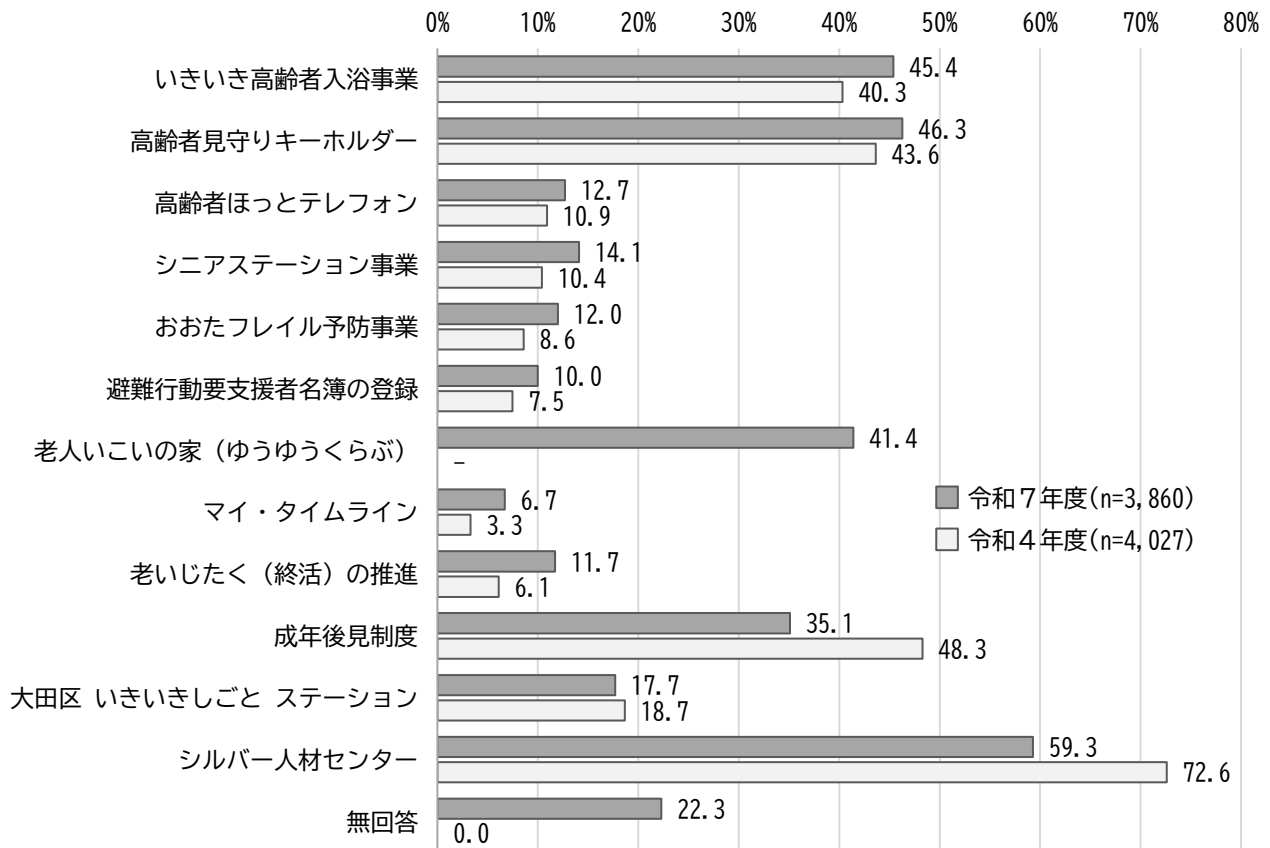
単位：%

	人数	存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている	名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない	名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた	知らない・名前も聞いたことはない	無回答
全体	3,860	37.0	33.2	6.7	18.3	4.8
65～74歳:男性	836	27.6	30.5	9.3	29.3	3.2
75～84歳:男性	748	25.8	38.5	9.4	21.5	4.8
85歳以上:男性	158	24.1	36.7	8.9	23.4	7.0
65～74歳:女性	954	46.9	31.6	5.3	13.5	2.7
75～84歳:女性	938	44.6	32.9	3.4	11.6	7.5
85歳以上:女性	226	44.7	30.5	5.8	11.9	7.1
1人暮らし	986	39.7	31.0	5.4	17.8	6.1
夫婦2人暮らし	1,572	35.2	34.2	7.5	19.1	3.9
息子・娘との2世帯	566	36.7	32.5	7.2	18.9	4.6
その他	669	38.4	34.8	6.6	15.7	4.5
大森西	295	38.0	35.3	7.8	16.3	2.7
入新井	196	38.8	35.2	6.1	17.3	2.6
馬込	272	37.5	27.9	7.7	22.1	4.8
池上	260	35.4	36.2	5.8	20.4	2.3
新井宿	123	45.5	22.8	8.1	19.5	4.1
嶺町	136	40.4	33.1	5.9	16.2	4.4
田園調布	119	41.2	23.5	10.1	21.8	3.4
鶉の木	131	35.9	32.1	6.1	22.1	3.8
久が原	165	44.2	23.6	6.7	20.6	4.8
雪谷	296	38.2	36.1	5.7	16.6	3.4
千束	139	38.1	33.8	5.0	19.4	3.6
六郷	394	33.5	40.9	4.8	16.2	4.6
矢口	240	39.2	30.4	7.5	15.0	7.9
蒲田西	320	32.5	30.6	6.9	24.1	5.9
蒲田東	243	39.9	37.4	6.2	11.5	4.9
大森東	112	41.1	29.5	5.4	15.2	8.9
糞谷	212	27.8	34.4	9.4	20.8	7.5
羽田	207	32.9	34.8	6.8	17.4	8.2

問 35 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービス、②今後利用したいサービスを教えてください。(複数回答)

① 知っているサービス

令和7年度(n=3,860)では、「シルバー人材センター」が59.3%で最も高く、次いで、「高齢者見守りキーホルダー」が46.3%、「いきいき高齢者入浴事業」が45.4%となっている。「老いじたく(終活)の推進」(11.7%)の割合は、令和4年度の6.1%から5.6ポイント上昇している。



単位：％

	人数	いきいき高齢者入浴事業	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっとテレフォン	シニアステーション事業	おおたフレイル予防事業	避難行動要支援者名簿の登録	老人いこいの家 (ゆうゆうくらぶ)	マイ・タイムライン	老いじたく(終活)の推進	成年後見制度	大田区いきいきしごと ステーション	シルバー人材センター	無回答
全体	3,860	45.4	46.3	12.7	14.1	12.0	10.0	41.4	6.7	11.7	35.1	17.7	59.3	22.3
65～74歳:男性	836	30.9	31.0	9.3	11.0	8.6	7.2	24.3	6.1	7.8	27.4	15.6	55.4	31.3
75～84歳:男性	748	43.2	41.7	10.6	11.0	9.8	10.3	36.0	5.7	8.4	29.7	14.6	52.4	25.9
85歳以上:男性	158	46.8	49.4	13.9	11.4	10.8	11.4	41.8	10.8	11.4	26.6	17.7	48.7	23.4
65～74歳:女性	954	47.1	48.1	14.8	17.6	14.9	12.8	48.8	7.0	12.6	44.5	21.6	70.2	17.9
75～84歳:女性	938	57.1	57.4	15.1	17.2	14.4	10.1	52.6	7.1	15.7	38.6	19.0	61.0	15.9
85歳以上:女性	226	49.1	61.9	11.9	11.1	10.2	5.8	45.1	5.3	16.4	32.3	15.0	51.3	21.7
1人暮らし	986	45.5	56.1	14.2	12.6	11.5	8.6	37.3	6.6	12.5	30.8	17.1	53.2	22.6
夫婦2人暮らし	1,572	44.7	41.2	11.4	14.4	12.4	10.0	41.0	7.2	12.0	36.2	17.6	59.6	22.8
息子・娘との2世帯	566	47.7	44.5	12.5	15.5	13.6	10.8	44.0	5.8	10.4	35.3	19.6	66.3	20.5
その他	669	45.4	45.7	13.2	14.3	10.3	11.2	46.3	6.3	10.9	39.6	17.0	62.6	21.5
大森西	295	45.8	52.9	16.6	13.9	12.9	11.2	40.0	6.8	16.6	31.9	19.3	57.3	23.1
入新井	196	40.3	46.4	13.3	14.3	11.7	8.2	42.9	5.6	10.2	41.8	17.3	62.8	18.4
馬込	272	40.1	37.9	11.0	13.2	11.4	9.2	39.0	2.9	7.7	29.4	14.0	58.5	21.0
池上	260	45.8	44.6	10.4	6.9	10.0	8.5	41.9	4.6	8.5	30.4	17.7	60.4	21.5
新井宿	123	49.6	53.7	10.6	10.6	6.5	10.6	41.5	3.3	8.1	33.3	12.2	65.9	17.1
嶺町	136	41.2	36.8	10.3	21.3	12.5	7.4	36.8	6.6	14.0	39.7	18.4	50.7	25.7
田園調布	119	27.7	29.4	8.4	26.9	12.6	10.1	27.7	3.4	6.7	33.6	14.3	56.3	29.4
鶉の木	131	51.9	41.2	9.2	14.5	11.5	8.4	49.6	6.9	11.5	35.1	22.1	59.5	19.8
久が原	165	44.8	45.5	14.5	17.6	13.3	11.5	45.5	7.3	10.3	35.2	13.3	55.8	23.0
雪谷	296	46.3	41.6	13.9	15.9	13.2	10.1	42.2	8.4	15.9	43.2	18.6	64.2	20.6
千束	139	38.1	38.1	8.6	18.0	9.4	3.6	34.5	5.8	12.9	34.5	13.7	49.6	28.8
六郷	394	51.3	52.5	14.2	12.4	9.4	10.7	49.7	7.1	12.7	37.8	19.0	63.7	18.5
矢口	240	39.6	50.0	13.3	9.2	12.9	10.4	29.6	7.9	9.6	37.9	15.8	54.6	24.2
蒲田西	320	46.9	44.4	12.8	16.9	11.3	11.6	33.1	9.4	11.3	34.1	22.2	54.1	28.8
蒲田東	243	47.3	56.0	16.0	11.9	16.9	13.2	46.5	10.3	12.8	37.9	21.4	67.1	19.8
大森東	112	47.3	52.7	13.4	14.3	17.0	11.6	56.3	8.9	15.2	36.6	17.9	58.0	25.9
糞谷	212	49.5	44.8	13.7	13.7	14.2	11.8	50.0	5.2	12.7	24.5	17.0	59.9	20.3
羽田	207	51.7	50.7	9.2	14.5	10.1	7.2	38.6	5.8	9.7	33.3	17.4	60.9	22.2

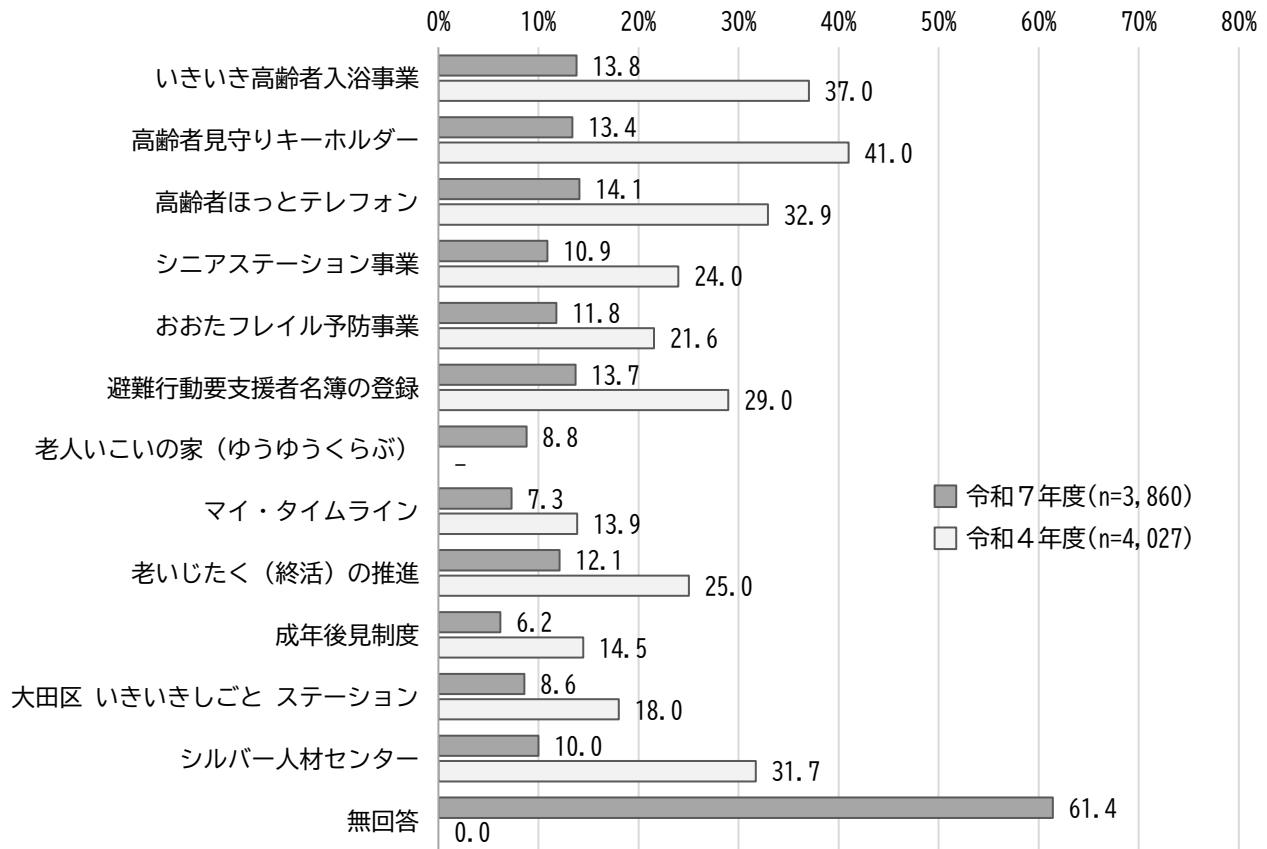
第3章

各調査の結果

1. 高齢者一般調査

② 今後利用したいサービス

令和7年度(n=3,860)では、「高齢者ほっとテレフォン」が14.1%で最も高く、次いで、「いきいき高齢者入浴事業」が13.8%、「避難行動要支援者名簿の登録」が13.7%となっている。

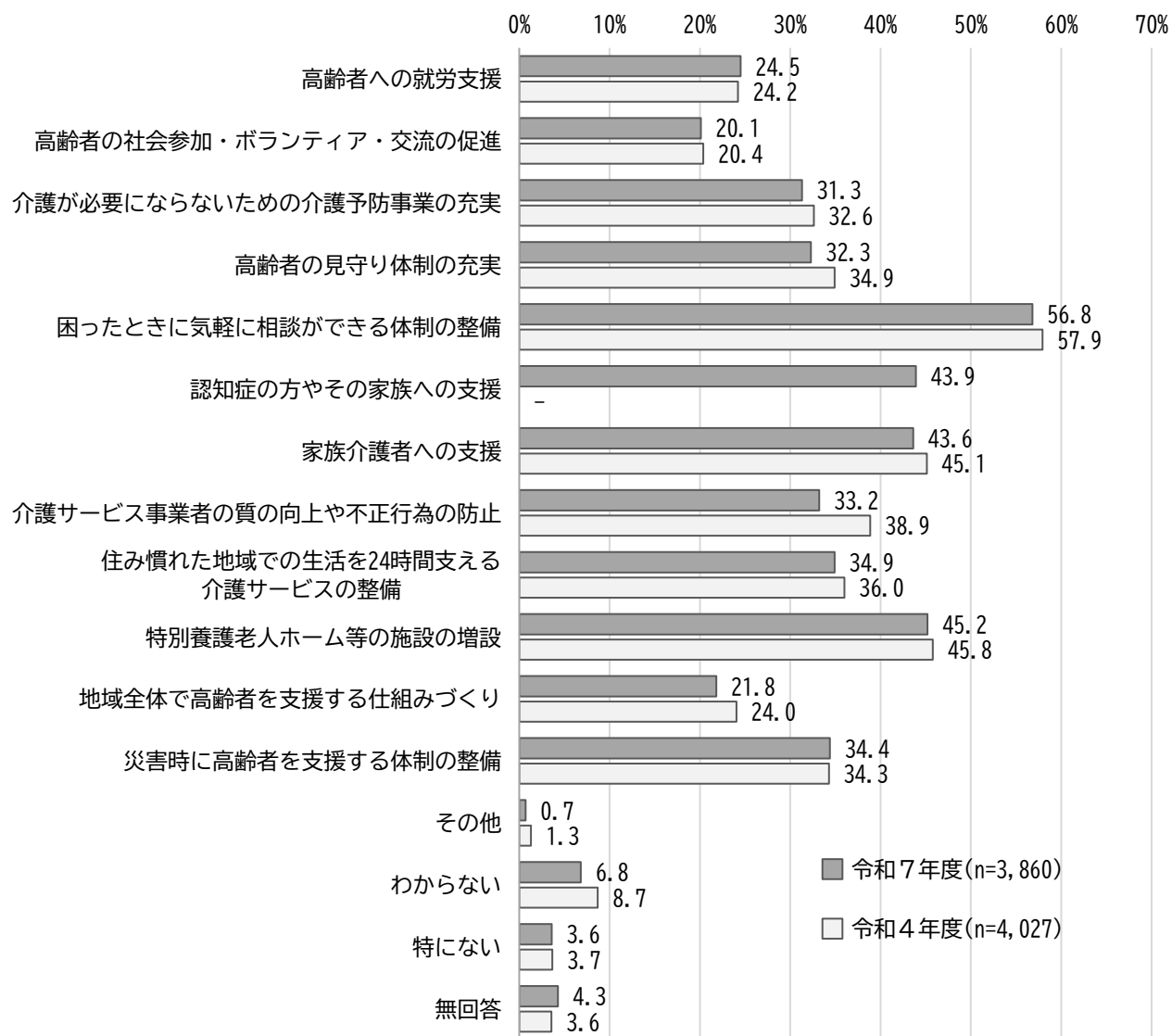


単位：％

	人数	いきいき高齢者入浴事業	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっとテレフォン	シニアステーション事業	おおたフレイル予防事業	避難行動要支援者名簿の登録	老人いこいの家 (ゆゆうくらび)	マイ・タイムライン	老いじたく(終活)の推進	成年後見制度	大田区いきいきじごと ステーション	シルバー人材センター	無回答
全体	3,860	13.8	13.4	14.1	10.9	11.8	13.7	8.8	7.3	12.1	6.2	8.6	10.0	61.4
65～74歳:男性	836	15.1	13.9	13.5	11.7	10.2	12.2	8.6	7.7	10.6	6.0	11.4	15.1	62.7
75～84歳:男性	748	13.9	14.6	15.6	11.4	12.6	13.4	10.3	8.3	16.0	8.7	10.4	10.7	62.6
85歳以上:男性	158	17.7	15.8	13.3	7.6	9.5	13.9	14.6	6.3	13.3	4.4	4.4	4.4	54.4
65～74歳:女性	954	13.0	13.1	13.2	10.3	12.6	13.1	6.5	7.0	11.7	6.3	9.6	10.5	61.2
75～84歳:女性	938	12.8	11.8	13.6	10.1	11.5	13.4	9.2	6.2	10.6	4.6	4.4	6.2	61.5
85歳以上:女性	226	13.7	13.3	17.3	15.0	15.0	23.9	8.8	8.8	11.9	7.1	8.0	6.2	58.4
1人暮らし	986	12.9	12.6	14.9	10.3	11.3	13.7	9.2	7.5	13.3	7.1	8.3	10.5	58.6
夫婦2人暮らし	1,572	15.6	14.8	15.6	12.2	13.1	14.2	9.8	8.3	12.8	7.4	9.5	11.3	60.2
息子・娘との2世帯	566	11.1	11.7	11.8	10.1	10.2	13.8	7.2	7.1	11.3	4.2	7.1	7.8	64.3
その他	669	14.1	12.7	12.1	10.5	11.7	13.2	7.6	5.2	9.9	4.2	8.7	8.2	64.3
大森西	295	15.9	15.3	14.2	11.2	12.2	15.9	13.2	11.9	13.2	8.8	11.2	10.5	63.4
入新井	196	14.3	14.8	14.3	9.2	10.7	10.7	5.6	5.1	11.2	3.1	7.1	7.7	61.7
馬込	272	12.1	12.1	12.5	9.9	13.2	11.4	8.1	6.3	14.0	8.5	9.6	11.8	61.0
池上	260	14.6	16.5	16.9	11.9	11.5	16.2	8.8	6.9	11.9	6.5	10.0	11.5	58.1
新井宿	123	11.4	12.2	12.2	8.9	10.6	9.8	5.7	4.1	9.8	5.7	6.5	9.8	63.4
嶺町	136	10.3	7.4	13.2	9.6	10.3	11.8	6.6	5.1	8.8	3.7	4.4	8.1	63.2
田園調布	119	14.3	8.4	12.6	11.8	10.1	13.4	9.2	5.9	11.8	6.7	12.6	15.1	60.5
鶉の木	131	19.1	14.5	17.6	13.0	13.0	14.5	12.2	6.9	16.0	9.2	9.9	16.8	50.4
久が原	165	8.5	10.3	9.7	6.7	7.9	9.7	9.1	4.8	12.1	4.8	7.3	9.1	68.5
雪谷	296	13.2	9.5	13.5	11.5	11.5	11.8	6.8	5.4	8.8	5.1	6.4	7.1	65.2
千束	139	14.4	18.0	15.8	14.4	16.5	15.1	10.8	7.2	11.5	4.3	11.5	9.4	55.4
六郷	394	14.7	14.5	15.0	12.9	13.2	16.0	8.9	9.9	13.5	8.1	10.2	12.9	59.6
矢口	240	12.5	15.0	15.4	9.2	10.8	13.3	10.8	8.8	14.6	7.1	7.9	8.8	60.8
蒲田西	320	13.1	13.1	14.1	10.9	13.8	13.8	8.1	9.1	15.9	5.3	9.4	9.7	63.4
蒲田東	243	16.5	16.9	18.1	13.2	10.7	15.6	9.9	7.4	14.4	7.4	8.6	6.6	56.4
大森東	112	12.5	8.0	8.9	9.8	12.5	12.5	5.4	6.3	5.4	2.7	7.1	8.0	67.9
糀谷	212	15.6	14.2	11.3	11.3	11.8	13.2	9.9	5.2	8.5	5.2	6.1	10.4	61.8
羽田	207	13.0	13.0	13.5	8.7	9.7	16.4	6.8	6.8	9.2	4.8	5.8	7.2	64.3

問 36 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考える事業・サービスを教えてください。
(単数回答)

令和7年度(n=3,860)では、「困ったときに気軽に相談ができる体制の整備」が56.8%で最も高く、次いで、「特別養護老人ホーム等の施設の増設」が45.2%、「認知症の方やその家族への支援」が43.9%となっている。「介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止」の割合(33.2%)は、令和4年度の38.9%から5.7ポイント低下している。



単位：％

	人数	高齢者への就労支援	高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進	介護が必要にならないための介護予防事業の充実	高齢者の見守り体制の充実	困ったときに気軽に相談ができる体制の整備	認知症の方やその家族への支援	家族介護者への支援	介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止	介護サービス事業者の質の整備	住み慣れた地域での生活を24時間支える介護サービスの整備	特別養護老人ホーム等の施設の増設	地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり	災害時に高齢者を支援する体制の整備	その他	わからない	特にない	無回答
全体	3,860	24.5	20.1	31.3	32.3	56.8	43.9	43.6	33.2	34.9	45.2	21.8	34.4	0.7	6.8	3.6	4.3	
65～74歳:男性	836	36.1	21.3	31.7	31.6	53.6	43.7	44.6	31.9	31.3	42.6	22.0	31.7	1.0	8.0	4.9	2.4	
75～84歳:男性	748	19.7	16.4	25.1	32.9	52.8	42.8	41.7	28.3	29.0	43.9	19.7	28.9	0.4	6.7	4.3	5.5	
85歳以上:男性	158	17.7	16.5	31.0	38.6	55.7	45.6	46.2	25.9	31.0	41.1	22.2	37.3	1.3	7.6	3.2	9.5	
65～74歳:女性	954	28.4	24.2	35.4	31.6	61.3	51.2	48.6	41.1	41.3	50.3	22.7	38.1	0.4	5.3	2.3	2.3	
75～84歳:女性	938	17.1	19.2	31.6	30.7	57.6	38.1	39.4	31.9	37.3	43.8	20.3	34.9	0.7	6.7	3.5	5.8	
85歳以上:女性	226	15.9	16.4	31.4	38.9	60.2	41.6	40.3	31.0	34.1	46.5	30.1	43.8	0.9	8.0	2.7	6.2	
1人暮らし	986	22.1	16.5	27.2	33.8	56.4	28.2	22.3	28.4	29.8	40.4	20.0	31.9	1.3	8.9	4.8	4.8	
夫婦2人暮らし	1,572	24.4	20.9	32.6	33.7	57.3	48.7	49.7	34.9	38.5	45.7	21.5	34.7	0.4	5.8	3.2	3.9	
息子・娘との2世帯	566	26.0	21.0	32.7	29.2	55.1	52.3	54.8	35.2	33.7	46.8	23.7	36.9	0.4	6.4	2.3	3.7	
その他	669	27.2	22.9	33.8	29.7	57.8	48.9	51.7	35.7	35.9	49.9	23.5	35.9	0.7	6.3	3.6	4.3	

問 37 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。(自由記入)

※意見等の一部について要旨を記載

■行政への要望・意見：192件

【情報提供・周知の工夫：57件】

- ・高齢者向けの施策・事業等が分かりやすく解説された冊子があれば良いと思う。高齢者宅に配布して頂けると助かる。
- ・色々なサービスがあるのは分かったけれど、ひとめで分かるものが欲しい。
- ・相談する手続きがわからない。
- ・マンションに住む高齢者の中には、区の施策を知らない方が多く、自分から情報を得たり交流したりするのが難しい人もいる。外出しない方もいるため、支援が必要な人へ分かりやすく説明する機会や場を設け、家から出やすい環境づくりを進めてほしい。また、孤独死を減らす対策も求める。

【行政体制・支援強化：41件】

- ・大田区の高齢者施策は他区と比べ充実していると思うが、高齢者増加に伴い担当部署の人員を増やし、地域ごとの支援体制をより行き届かせる必要がある。
- ・まだ介護は必要ないが、将来は自ら福祉を求められなくなる不安があるため、行政から積極的に働きかけてほしい。人手不足は理解しているが、形式的でなく実効性のある手厚い見守りや福祉・介護体制を望む。
- ・介護ロボットは技術やコスト面で進展しているが普及が進んでいないため、大田区が率先して事業に導入し、将来の介護難民対策として活用を検討してほしい。

【相談窓口の周知・充実：30件】

- ・困った時に「ここに相談すれば案内・支援してくれる」というワンストップ窓口、機関が重要。それは地域包括支援センターであると理解している。
- ・認知症は本人ではわからないことが多いので、初期状態での「相談窓口」の充実をお願いしたい。本人の認識がないまま、重症化が起きると、なにを言っても後の祭りである。
- ・地域包括支援センターが目前にあるのにそこは担当地域ではないと言われた。不便で使いにくい。改良できないか。
- ・高齢の単身世帯や夫婦のみの世帯では、急病時にどこへ連絡すればよいのか分からず助けを求めにくい状況がある。24時間対応の窓口を設け、関係機関と調整してくれる体制を整えてほしい。
- ・今後高齢者や認知症の方が増える中で、交番が不在の場合もあるため、帰宅できず困っている認知症の方に出会った際に、ここへ電話すれば対応してもらえという連絡先があればよいと思う。

【介護人材の育成・処遇改善：18件】

- ・介護施設就労者の処遇改善。
- ・区内の有料老人ホームや特養で職員不足や頻繁な人員交代に不安を感じた経験があり、介護は命を守る仕事であるため、人手不足の解消とともに給与面を充実させ、働きに見合った報酬が支払われる体制を望む。
- ・介護サービス従事者の負担は年々増えており、土日祝日も働いているのに賃金が低いと感じる。待遇改善とともに働く人へのケアも必要だと思う。
- ・さまざまな支援事業があることは理解したが、ヘルパーの確保が心配であり待遇改善が必要だと思う。また、入院時の保証人やキーパーソンを担うサービスも求む。

【医療費等負担：12件】

- ・75歳以上の医療費負担を一律1～3割にすることには反対であり、年金10万円の人と年収1000万円の人が同じ負担になるのは不合理だと思う。
- ・医療費の負担を減らしてほしい。
- ・高齢の年金生活者に対する医療費負担の軽減を更に進めてもらいたい。

【補助金・助成制度の拡充：12件】

- ・いきいき高齢者入浴事業があるならば、区営トレーニングルームの利用補助があってもよいと思う。
- ・医療受診時介護タクシー利用の交通費援助を希望。
- ・年金でまかなえる養護老人ホーム、足りないところは国の助成金が出る様な仕組みがあればいいと思う。
- ・他区で実施している老老世帯への民生委員等の訪問サービスを導入してほしい。また、補聴器の助成金が低いため見直してほしい。

【福祉のまちづくりの推進：8件】

- ・行政任せにせず、住民同士のつながりを深め、高齢者が集まって交流し笑い合える場をつくることで健康を支えてほしい。
- ・社会、地域のセーフティーネットを充実し、老後、安全安心した暮らしが出来る様にして欲しい。

【環境整備・清掃：4件】

- ・道路や階段など公共空間のデザインを工夫し、高齢者が歩きやすい環境を整えてほしい。また、特に歩道への乗り上げ駐車など駐車違反の適切な取り締まりも重要である。
- ・町中に座る場所が少なく外出しづらい高齢者が多いため、休める設備を整えるなど外出しやすい工夫をしてほしい。また、一人暮らしで誰とも話さず一日を終える人も多いため、孤立を防ぐ工夫が必要である。

【災害時の対応・防犯・安全：3件】

- ・町内活動を通じて、災害時の高齢者支援体制が実際には不十分だと感じている。支援者が被災や不在の場合に備え、代替支援ルートや支援者の安否確認などの情報共有体制を整え、実効性のある支援体制を地域全体で再検討する必要がある。

【医療体制・地域医療に関すること：3件】

- ・緊急時に有料でもよいので、食事や寝間着の提供があり、安心して滞在できる場所があるとよい。宿泊施設との提携や医師の往診も望んでいる。夫婦でコロナに感染し高熱を出した際、通院や食料確保が困難で大変だったため、今後に備えた支援を求める。

【感染症対策：2件】

- ・各種ワクチン接種料を無料にして欲しい。

【在宅生活支援に関すること：2件】

- ・年1回の大田区特定健康診査に視力検査と聴力検査を追加し、可能であれば認知症診断も実施してほしい。

■生活課題・困りごとに関すること：91件**【介護者の負担・家族介護：20件】**

- ・両親がともに認知症となり、数年間家族で在宅介護を続けたが、本人たちの希望に反して施設に入所してもらった。自分が両親の年齢に近づくにつれ当時の気持ちが分かるようになったが、さまざまな難しさを感じている。
- ・いわゆる「8050問題」のように、子ども世代が親の介護で働けなくならないような支援を望む。また、老々介護についても独居と同様に見守りを強化してほしい。さらに、同居家族がいることを理由に利用できない介護サービスが多いが、常時介護できない家庭もあるため、希望するサービスをできるだけ利用できるようにしてほしい。
- ・97歳の父と90歳の母はある程度自立しているが、私の支援なしでは難しい状況である。高齢者が健康を維持できるような支援を望む。

【身元保証・独居・孤立：14件】

- ・他地域と比べて大田区の高齢者見守りサービスは遅れていると感じている。周囲の独居高齢者も、いざという時に頼れる人がいないことに不安を抱えているため、弁護士や成年後見人、NPOなどと連携し、区が推奨・保証する体制を整えてほしい。
- ・男性の一人暮らし高齢者への生活自立支援や孤独・孤立防止、孤独死回避の対策を求める。モバイル機器を活用し、健康状態の把握や緊急時の医療連携、室温・火災・災害・詐欺対策などの見守り支援を家族も含めて整備し、そのための設備助成を希望する。また、介護人材不足対策としてロボットやコミュニケーションロボットの導入も提案したい。

【住宅問題：13件】

- ・持ち家でない高齢者は賃貸契約が難しくなるため、一人暮らしでも入居できる都営住宅などの物件を充実させてほしい。
- ・人工透析を受けており、病院近く賃貸住宅に住んでいるが、室内やトイレに段差があり危険で困っている。昨年転倒して骨折し、坐骨神経痛もあり歩行が困難になってきた。娘（67歳）と二人暮らしだが、娘も2か所のパートで働き続けるのが難しくなっており、生活に不安を抱えている。

【介護者の負担・求められる支援：8件】

- ・96歳で要介護5の母を就業しながら介護している。デイサービスを利用できていることで何とか成り立っていたが、自宅玄関から送迎車までに14段の外階段があるため、スタッフの安全確保を理由に一方的に利用を断られた。家族の立場に立った対応を望む。

【デジタル活用・情報環境整備に関すること：8件】

- ・情報がスマホやパソコン中心で、年配者には利用しにくく負担が大きい。スマホでもより簡単に使えるようにしてほしい。
- ・高齢者福祉や介護保険、認知症施策が多く、必要な情報にたどり着くまで時間がかかる。利用者の状況に応じて案内してくれるコンシェルジュ型サービスを、スマホやホームページから利用できるようにしてほしい。地域包括支援センターの相談機能をオンラインで使えるような仕組みを望む。

【経済的な不安：7件】

- ・年金が少ないので毎日がこまっている。
- ・生活保護中

【疾病不安：7件】

- ・まだ70代なので色々な事が自分1人で出来るが、80代になったら今出来ている事が出来なくなるのではと心配。
- ・現在は夫婦で生活しているが、どちらかが体調を崩した場合を考えると不安がある。小田原で一人暮らしをしている91歳・要介護3の姉の様子を月1回見に行き、ヘルパーやケアマネジャーと打ち合わせをしているが大変である。自分が認知症になった場合も心配している。

【移動に関する支援：6件】

- ・階段の昇降が可能で、手頃な価格で購入できる電動車いすの普及と開発支援に取り組んでほしい。
- ・路線バスが通らない地域に小型バスを運行し、駅まで不便な地域の人々の移動を支援してほしい。

【認知症への対応・支援：5件】

- ・アルツハイマー病の患者に対しては、尊厳を守りつつ安全と権利を確保することが重要である。軽症の段階では適切な支援を行い、本人がやりたいことを尊重し、自立を維持できるようにすることを共通の目標とすべきである。

【終末期・尊厳：3件】

- ・将来どうなるか分からないが、できるだけ自立して暮らしたいと考えている。また、必要以上の延命治療（胃ろう等）は望まない。

■介護保険制度・サービスに関すること：85件**【施設・設備の充実：43件】**

- ・介護施設の人手不足が常態化し、利用者・従事者双方に大きな負担が生じているため、対策を強化してほしい。高齢者の増加を踏まえ、大田区には特養の増設を望む。
- ・特養は要介護3以上が対象だが、それ以前から困っている家庭も多いため、入居条件の緩和と施設の増設を進めてほしい。
- ・ユニット型特養の増設を希望している。介護が必要な一人暮らしの人も安心して暮らせるよう、さらなる充実を求める。
- ・民間の介護付有料老人ホームは費用が高いため、より安価な公的介護付有料老人ホームがあると助かる。

【利用者の経済的負担：22件】

- ・後期高齢者医療保険料や介護保険料の負担軽減、可能であれば無償化を望んでいる。物価高の中、少ない年金では生活が厳しいため、特に賃貸住宅に住む高齢者への配慮を求める。
- ・夫の両親を3年間在宅介護し、訪問医療や介護費用の負担の大きさを実感した。母は大田区の特養、父は有料老人ホームに入所したが、川崎市在住のためオムツや医療支援が受けられない。大田区内の施設は費用が高く、資産があっても夫婦で有料老人ホームに入るのは経済的に難しい状況であり、自治体間でも支援が受けられるようにしてほしい。自分自身は長年働いてきたため地域との関わりが浅く、退職後の地域参加の在り方にも課題を感じている。また、長年税金を納めてきても経済的理由で大田区を終の住処に選べないことを寂しく思っている。
- ・できるなら年金生活者でも経済的に不安を感じない生活をしたい。

【介護保険制度・認定：13件】

- ・介護が必要になった際の手続きに時間がかかり、煩雑だった。必要書類が多く、サインや押印も何度も求められ負担に感じた。
- ・介護認定の公平性を保つため慎重になる必要は理解するが、過度に神経質にならず、もう少し機械的に調査を行うことで、関係者の負担を軽減してほしい。

【居宅系サービスの充実・質の向上：7件】

- ・在宅介護は大変であり、24時間の支援サービスが重要だと感じている。階段を車いすで移動出来る介護タクシー業者が少なく困っている。また、介護認定の審査に時間がかかることは理解しているが、認定までの日数が長すぎて不便である。
- ・デイサービス等を利用しやすい環境を整えてほしい。

■地域・社会参加・生きがいに関すること：43件

- ・高齢者たちの交流の場を増やして頂きたい。
- ・高齢者の就業支援を充実させ、自立の促進をしてほしい。
- ・シニアステーションのフレイル予防体操は人気があり抽選制だが、何度申し込んでも落選し参加を諦めている。一方で頻繁に当選している人もいるようなので、より多くの人が参加できるよう枠を広げてほしい。
- ・大田区は運動中心の施策が多く、品川区のようなシルバー大学がないのは残念であり、学びを希望する高齢者向けの機会も設けてほしい。
- ・日常生活の中で話し相手がいることは認知症予防につながるため、老人いこいの家などの施設があるとよい。多少遠くても、歩いて通い友人や仲間と交流できることが楽しみとなり、今後の人生の充実につながると考えている。

■アンケート調査についての意見：30件

- ・アンケートの設問が多く、内容も似た質問が多いため途中で分かりにくくなった。もう少し簡潔にしてほしい。
- ・返信封筒が小さすぎる。
- ・年齢に合わない質問が含まれている。

■その他：126件

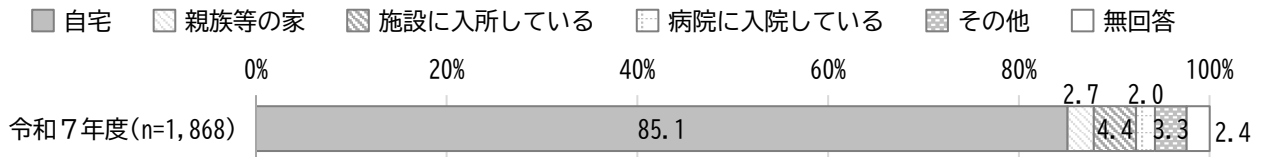
- ・大田区では高齢化が進む中で、福祉や認知症施策に力を入れている区の実績に感謝しており、今後も一層の充実を期待する。
- ・人生経験や性格、健康状態、経済状況などが人それぞれ異なるため、すべての高齢者が満足できる施策を実現するのは難しく、高齢者の気持ちは一様ではない。
- ・東京都のシルバーパスや商店街、緑豊かな散歩コースなどの環境に感謝している。歩いて健康を保ち、高齢者同士が助け合いながら明るく暮らせることを望んでおり、大田区が高齢者や将来の若者にとっても住みやすい町であってほしいと感じている。
- ・88歳の米寿祝いをいただき感謝している。特に小学生からはがきが同封されていたことを嬉しく思い、その心配りに感動した。90歳となった現在の思いを記した。

2. 要介護認定者調査

(1) 調査票への回答記入者

調査対象者の方（あて名のご本人）は、現在どちらにお住まいですか。（単数回答）

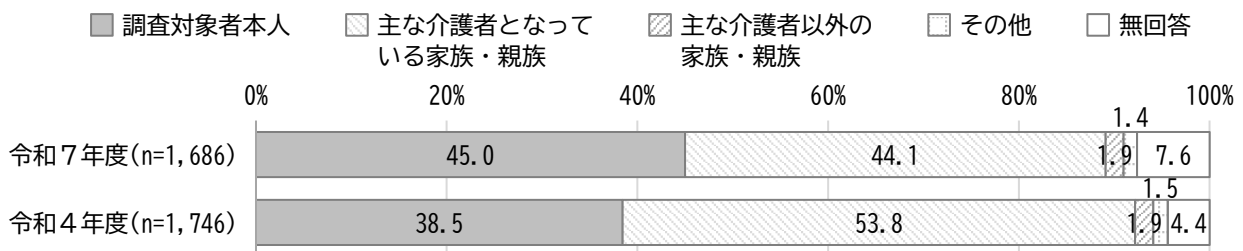
本設問(n=1,868)では、「自宅」が84.4%で最も高く、次いで、「施設に入所している」が4.4%、「その他」が3.3%となっている。



※本設問の回答者(n=1,868)のうち施設入所者や病院入院者等(n=182)を本調査の対象外（無効回答）とした。

この調査票を記入されたのはどなたですか。（単数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「調査対象者本人」が45.0%で最も高く、次いで、「主な介護者となっている家族・親族」が44.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.9%となっている。「主な介護者となっている家族・親族」の割合は、令和4年度の53.8%から9.7ポイント低下している。



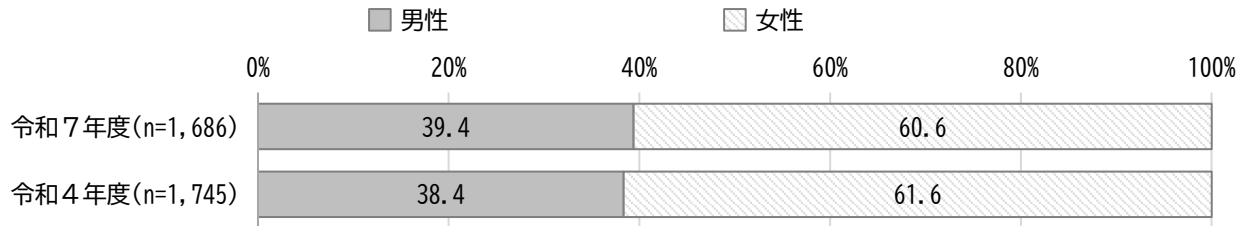
単位：%

	人数	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答
全体	1,686	45.0	44.1	1.9	1.4	7.6
65～74歳:男性	112	55.4	33.9	1.8	3.6	5.4
75～84歳:男性	328	44.8	41.8	1.5	2.7	9.1
85歳以上:男性	224	35.3	55.4	4.0	0.9	4.5
65～74歳:女性	106	58.5	33.0	0.9	0.9	6.6
75～84歳:女性	452	51.5	39.4	1.1	0.9	7.1
85歳以上:女性	464	37.9	49.8	2.2	0.9	9.3
要介護1	564	54.1	31.2	2.7	1.8	10.3
要介護2	612	50.8	40.2	1.1	1.1	6.7
要介護3	244	33.6	58.2	2.5	0.8	4.9
要介護4	155	27.1	63.2	0.6	1.3	7.7
要介護5	111	17.1	73.0	2.7	2.7	4.5

(2) 回答者の属性

① 回答者の性別

令和7年度(n=1,686)では、「男性」が39.4%、「女性」が60.6%であった。

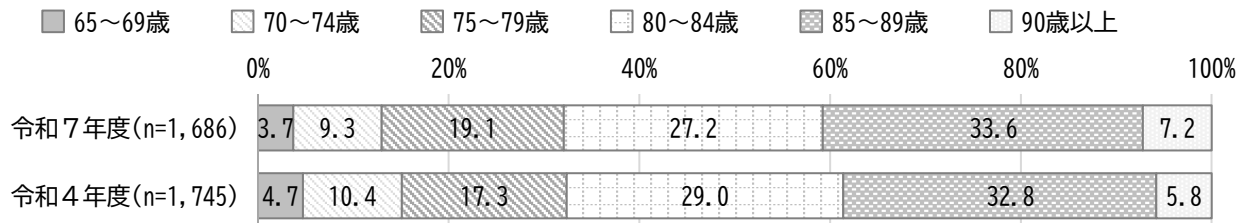


単位：%

	人数	男性	女性
全体	1,686	39.4	60.6
要介護1	564	36.9	63.1
要介護2	612	39.7	60.3
要介護3	244	42.2	57.8
要介護4	155	43.2	56.8
要介護5	111	38.7	61.3
自立+I	560	42.0	58.0
認知症II	806	37.0	63.0
認知症III以上	314	41.1	58.9

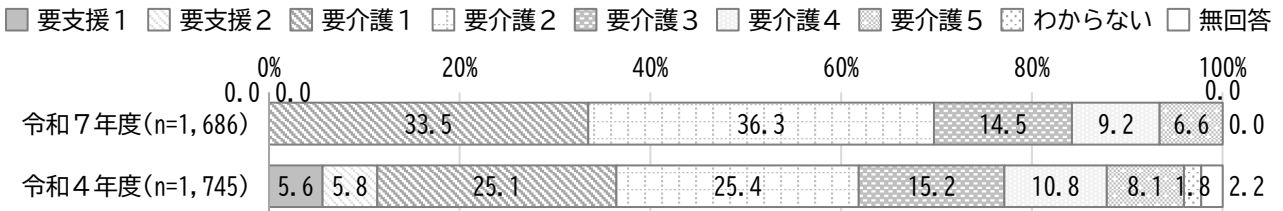
② 回答者の年齢

令和7年度(n=1,686)では、「85～89歳」が33.6%で最も高く、次いで、「80～84歳」が27.2%、「75～79歳」が19.1%となっている。



③ 回答者の要介護度

令和7年度(n=1,686)では、「要介護2」が36.3%で最も高く、次いで、「要介護1」が33.5%、「要介護3」が14.5%となっている。「要介護2」の割合は、令和4年度の25.4%から10.9ポイント上昇している。

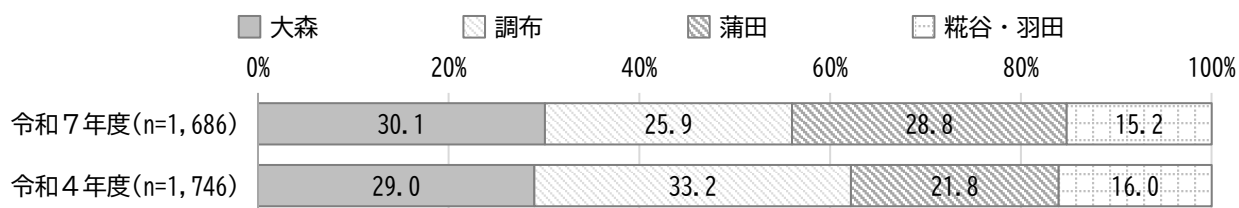


単位：%

	人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	1,686	33.5	36.3	14.5	9.2	6.6
自立+I	560	27.9	45.0	13.8	8.9	4.5
認知症II	806	45.9	33.1	10.7	6.9	3.3
認知症III以上	314	11.8	29.0	25.8	14.6	18.8

④ 回答者の在住する基本圏域

令和7年度(n=1,686)では、「大森」が30.1%で最も高く、次いで、「蒲田」が28.8%、「調布」が25.9%となっている。

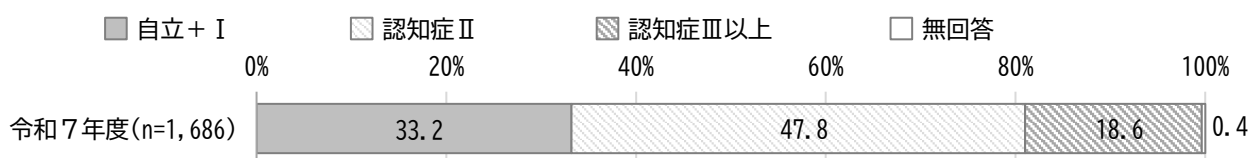


単位：%

	人数	大森	調布	蒲田	糀谷・羽田
全体	1,686	30.1	25.9	28.8	15.2
要介護1	564	31.6	23.2	32.1	13.1
要介護2	612	26.6	29.2	25.7	18.5
要介護3	244	33.2	25.4	28.3	13.1
要介護4	155	38.7	21.3	31.0	9.0
要介護5	111	23.4	27.9	27.0	21.6
自立+I	560	36.3	24.5	26.1	13.2
認知症II	806	25.7	27.7	30.5	16.1
認知症III以上	314	30.6	23.6	29.0	16.9

⑤ 回答者の認知症自立度

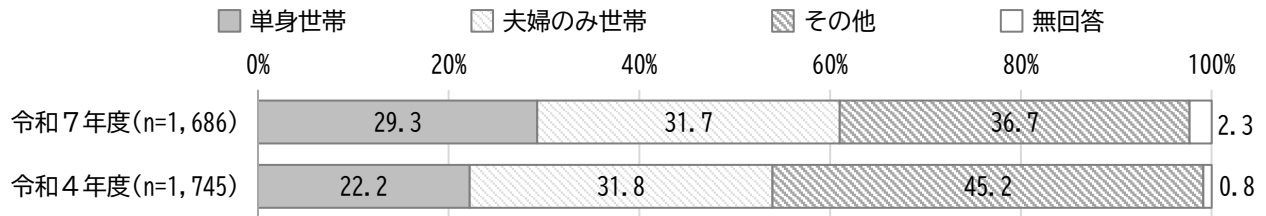
令和7年度(n=1,686)では、「認知症II」が47.8%で最も高く、次いで、「自立+I」が33.2%、「認知症III以上」が18.6%となっている。



(3) 生活環境に関する状況

問1 世帯類型について、ご回答ください。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「その他」が36.7%で最も高く、次いで、「夫婦のみ世帯」が31.7%、「単身世帯」が29.3%となっている。「その他」の割合は、令和4年度の45.2%から8.5ポイント低下している。

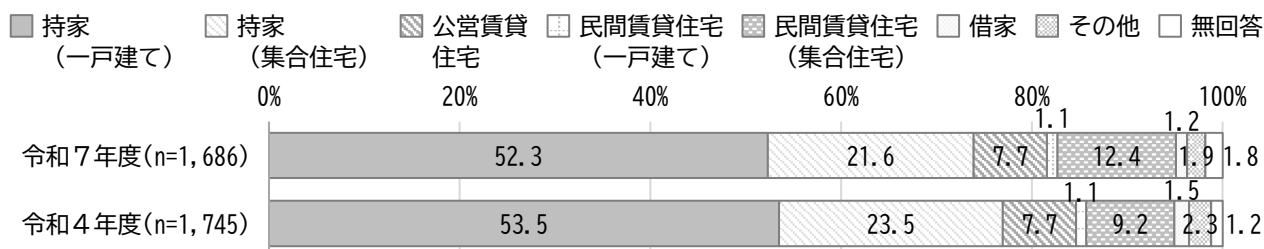


単位：%

	人数	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体	1,686	29.3	31.7	36.7	2.3
65～74歳:男性	112	33.0	34.8	31.3	0.9
75～84歳:男性	328	18.9	48.5	29.9	2.7
85歳以上:男性	224	15.2	46.0	37.9	0.9
65～74歳:女性	106	23.6	34.0	39.6	2.8
75～84歳:女性	452	28.5	31.2	37.6	2.7
85歳以上:女性	464	44.6	12.3	40.5	2.6
要介護1	564	35.6	28.9	31.7	3.7
要介護2	612	32.4	29.2	36.8	1.6
要介護3	244	21.7	36.1	40.6	1.6
要介護4	155	14.2	38.7	44.5	2.6
要介護5	111	18.0	40.5	41.4	0.0

問2 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（単数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「持家（一戸建て）」が52.3%で最も高く、次いで、「持家（集合住宅）」が21.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が12.4%となっている。「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合は、令和4年度の9.2%から3.2ポイント上昇している。

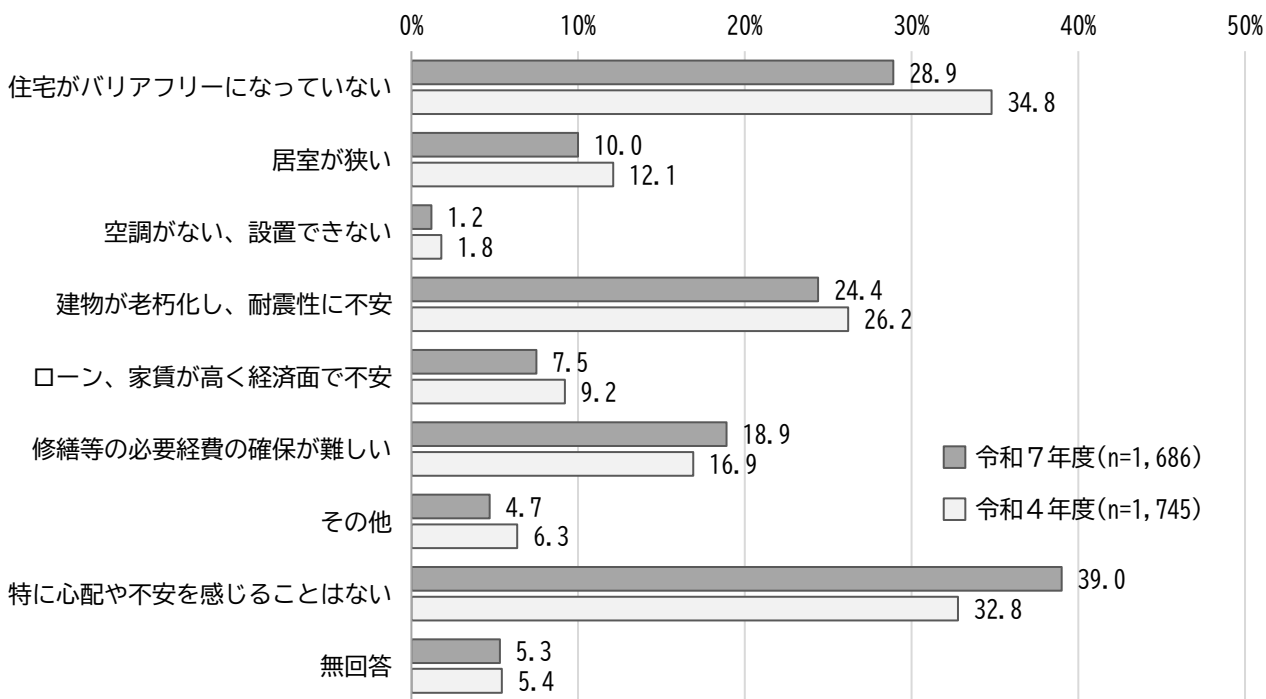


単位：％

	人数	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体	1,686	52.3	21.6	7.7	1.1	12.4	1.2	1.9	1.8
65～74歳:男性	112	36.6	23.2	6.3	3.6	26.8	1.8	0.9	0.9
75～84歳:男性	328	50.6	25.9	5.8	0.9	11.9	1.2	1.2	2.4
85歳以上:男性	224	57.6	20.1	7.6	0.9	8.9	1.3	2.7	0.9
65～74歳:女性	106	46.2	19.8	7.5	1.9	19.8	2.8	0.9	0.9
75～84歳:女性	452	52.9	21.7	8.0	0.7	11.3	1.3	1.8	2.4
85歳以上:女性	464	55.6	19.4	9.1	0.9	10.3	0.6	2.6	1.5
要介護1	564	51.1	23.8	7.3	1.2	11.2	0.7	1.6	3.2
要介護2	612	51.5	20.3	8.3	1.1	14.4	1.3	2.3	0.8
要介護3	244	56.1	20.9	8.6	0.0	9.4	1.6	2.0	1.2
要介護4	155	52.3	21.9	5.2	1.9	12.9	2.6	1.3	1.9
要介護5	111	55.0	19.8	7.2	0.9	13.5	0.9	1.8	0.9

問3 現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありますか。
(複数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「特に心配や不安を感じることはない」が39.0%で最も高く、次いで、「住宅がバリアフリーになっていない」が28.9%、「建物が老朽化し、耐震性に不安」が24.4%となっている。「特に心配や不安を感じることはない」の割合は、令和4年度の32.8%から6.2ポイント上昇している。



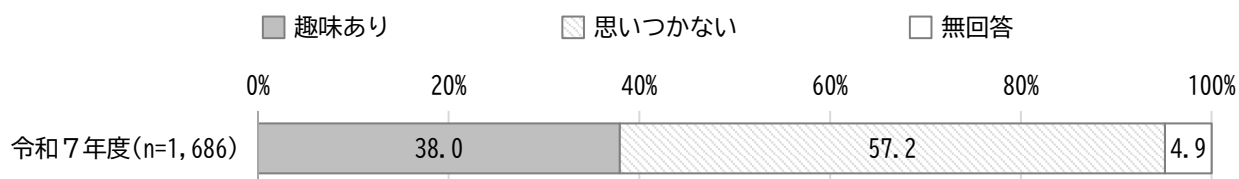
単位：%

	人数	住宅がバリアフリーになっていない	居室が狭い	空調がない、設置できない	建物が老朽化し、耐震性に不安	ローン、家賃が高く経済面で不安	修繕等の必要経費の確保が難しい	その他	特に心配や不安を感じることはない	無回答
全体	1,686	28.9	10.0	1.2	24.4	7.5	18.9	4.7	39.0	5.3
65～74歳:男性	112	27.7	17.0	0.9	21.4	15.2	14.3	2.7	42.9	3.6
75～84歳:男性	328	30.2	11.3	1.2	24.7	6.1	18.3	3.7	38.1	5.5
85歳以上:男性	224	30.8	8.9	1.8	25.0	5.4	21.4	3.1	37.1	6.7
65～74歳:女性	106	32.1	8.5	1.9	23.6	14.2	22.6	11.3	29.2	4.7
75～84歳:女性	452	29.6	9.7	0.7	22.6	7.1	18.6	4.6	39.8	5.5
85歳以上:女性	464	25.9	8.6	1.3	26.7	6.7	18.5	5.2	40.9	4.7
要介護1	564	23.4	6.0	0.9	20.2	6.2	16.3	5.1	44.1	6.6
要介護2	612	32.0	10.8	0.8	24.8	8.3	18.1	4.4	37.3	4.4
要介護3	244	34.4	14.3	2.9	29.5	7.8	23.8	5.3	32.0	3.7
要介護4	155	25.8	10.3	1.3	23.2	6.5	18.7	5.2	42.6	5.2
要介護5	111	31.5	16.2	0.9	34.2	10.8	25.2	1.8	32.4	7.2

(4) 日常生活に関する状況

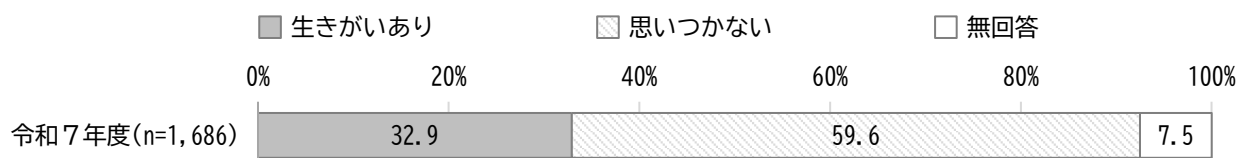
問4 趣味はありますか。(単数回答)

本設問(n=1,686)では、「趣味あり」が38.0%、「思いつかない」が57.2%であった。



問5 生きがいがありますか。(単数回答)

本設問(n=1,686)では、「生きがいあり」が32.9%、「思いつかない」が59.6%であった。



単位：%

	人数	趣味あり	思いつかない	無回答	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	1,686	38.0	57.2	4.9	32.9	59.6	7.5
65～74歳:男性	112	33.0	61.6	5.4	25.0	70.5	4.5
75～84歳:男性	328	40.2	55.2	4.6	30.8	61.6	7.6
85歳以上:男性	224	34.4	62.1	3.6	25.4	66.5	8.0
65～74歳:女性	106	43.4	53.8	2.8	43.4	50.0	6.6
75～84歳:女性	452	39.6	54.4	6.0	37.8	53.8	8.4
85歳以上:女性	464	36.4	58.6	5.0	32.5	60.1	7.3
要介護1	564	44.5	50.0	5.5	36.2	55.0	8.9
要介護2	612	37.7	58.8	3.4	33.2	60.8	6.0
要介護3	244	31.1	61.9	7.0	29.5	62.3	8.2
要介護4	155	29.7	66.5	3.9	29.0	64.5	6.5
要介護5	111	32.4	61.3	6.3	27.0	64.0	9.0

■趣味がある場合の具体的なことから

趣味	件数
音楽	94
勉強・読書	78
スポーツ・レジャー	76
ものづくり・手芸	54
テレビ・映画	52
ゲーム	51
美術・芸術・文化	57
園芸	41
社会活動・ボランティア	15
外出・旅行	12
PC・タブレット	9
飲食	9
動物・ペット	6
コレクション	5
その他	10

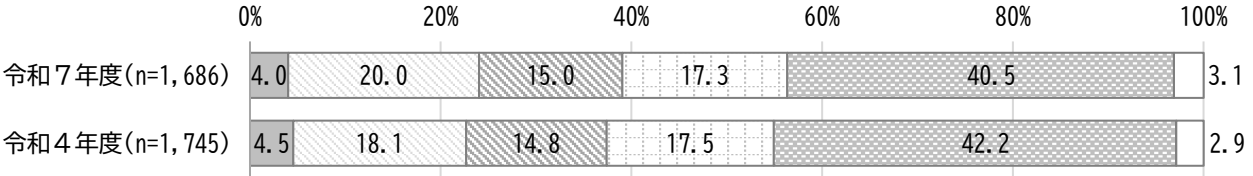
■生きがいがある場合の具体的なことから

生きがい	件数
家族・こども・孫	178
日常の楽しみ	41
飲食	32
社会活動・ボランティア	32
健康・自立・生活	26
デイサービス・デイケア	25
テレビ・映画	13
園芸	12
スポーツ・レジャー	11
音楽	10
外出・旅行	10
動物・ペット	10
ものづくり・手芸	9
仕事・就労	8
その他	53

問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「ほとんどない」が40.5%で最も高く、次いで、「週に何度かある」が20.0%、「年に何度かある」が17.3%となっている。

■ 毎日ある □ 週に何度かある ▨ 月に何度かある ▩ 年に何度かある ▤ ほとんどない □ 無回答

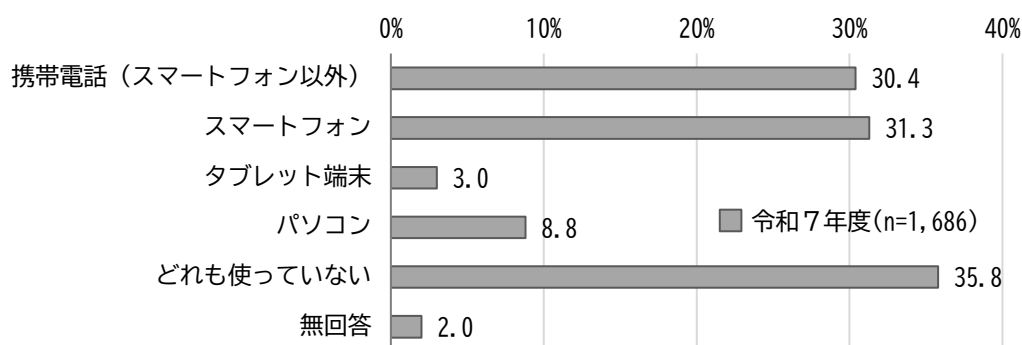


単位：%

	人数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	1,686	4.0	20.0	15.0	17.3	40.5	3.1
65～74歳:男性	112	1.8	11.6	5.4	20.5	60.7	0.0
75～84歳:男性	328	2.1	15.2	13.1	19.8	46.3	3.4
85歳以上:男性	224	2.7	16.1	15.2	16.1	46.9	3.1
65～74歳:女性	106	0.9	20.8	17.0	18.9	38.7	3.8
75～84歳:女性	452	6.0	19.9	17.0	19.5	33.6	4.0
85歳以上:女性	464	5.4	27.4	16.2	12.7	35.6	2.8
要介護1	564	5.7	23.2	16.0	17.2	33.7	4.3
要介護2	612	2.9	20.9	16.7	16.7	40.4	2.5
要介護3	244	2.5	20.1	11.5	16.4	47.1	2.5
要介護4	155	5.8	14.2	11.0	21.9	44.5	2.6
要介護5	111	2.7	7.2	14.4	16.2	55.9	3.6

問7 以下の通信・通話機器を使っていますか。(複数回答)

本設問(n=1,686)では、「どれも使っていない」が35.8%で最も高く、次いで、「スマートフォン」が31.3%、「携帯電話(スマートフォン以外)」が30.4%となっている。



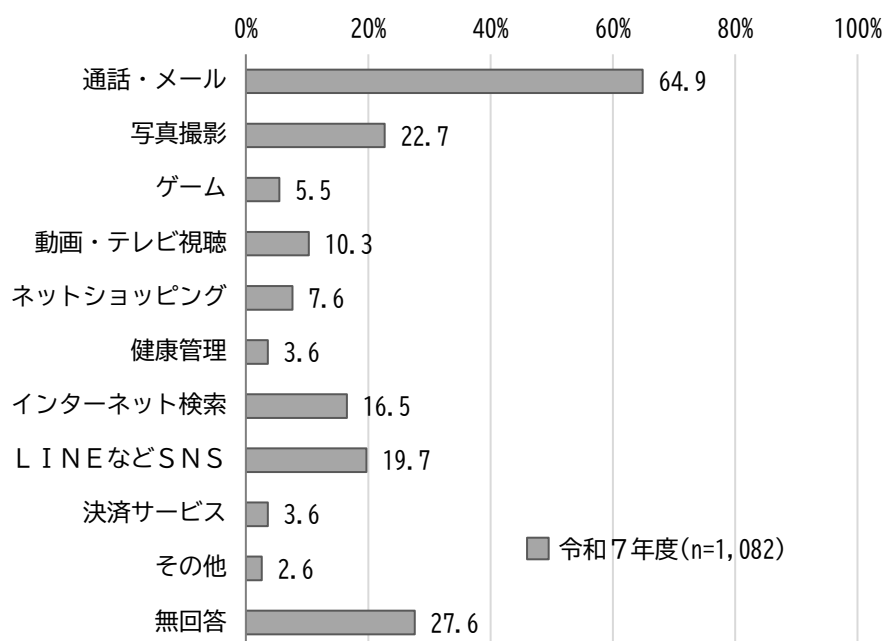
単位：%

	人数	携帯電話 (スマートフォン以外)	スマート フォン	タブレッ ト端 末	パソコン	どれも使っ ていない	無回答
全体	1,686	30.4	31.3	3.0	8.8	35.8	2.0
65～74歳:男性	112	15.2	58.9	5.4	26.8	22.3	0.0
75～84歳:男性	328	29.9	36.0	3.4	15.9	30.2	2.1
85歳以上:男性	224	29.0	19.2	0.9	10.3	50.4	0.4
65～74歳:女性	106	18.9	54.7	10.4	9.4	24.5	1.9
75～84歳:女性	452	35.0	34.3	2.9	5.1	28.3	2.9
85歳以上:女性	464	33.4	19.0	1.7	2.2	45.9	2.4
要介護1	564	35.8	34.6	2.8	8.7	27.1	3.4
要介護2	612	32.4	35.6	3.1	9.2	31.4	1.0
要介護3	244	22.5	24.2	3.7	7.0	50.8	2.0
要介護4	155	22.6	22.6	1.9	10.3	48.4	1.3
要介護5	111	20.7	18.9	3.6	9.0	54.1	1.8

【問7において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方にうかがいます。】

問7-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。(複数回答)

本設問(n=1,082)では、「通話・メール」が64.9%で最も高く、次いで、「写真撮影」が22.7%、「LINEなどSNS」が19.7%となっている。

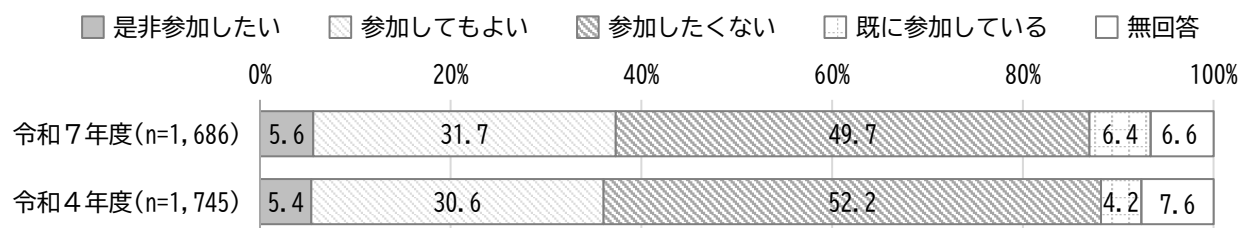


単位：%

	人数	通話・メール	写真撮影	ゲーム	動画・テレビ視聴	ネットショッピング	健康管理	インターネット検索	LINEなどSNS	決済サービス	その他	無回答
全体	1,082	64.9	22.7	5.5	10.3	7.6	3.6	16.5	19.7	3.6	2.6	27.6
65～74歳:男性	87	59.8	24.1	4.6	24.1	19.5	3.4	33.3	31.0	14.9	1.1	31.0
75～84歳:男性	229	59.0	19.7	4.8	6.1	7.9	5.2	18.3	14.8	3.5	3.9	30.6
85歳以上:男性	111	62.2	18.9	2.7	8.1	6.3	1.8	18.0	13.5	0.9	6.3	21.6
65～74歳:女性	80	78.8	43.8	12.5	27.5	23.8	5.0	40.0	45.0	11.3	2.5	13.8
75～84歳:女性	324	64.8	23.5	6.2	8.6	4.3	2.2	12.3	20.1	1.9	1.5	29.6
85歳以上:女性	251	68.9	19.1	4.8	6.8	2.8	4.4	6.0	14.3	0.8	1.6	28.3
要介護1	411	64.0	23.4	5.4	7.1	4.4	4.4	13.6	19.2	1.7	1.9	30.2
要介護2	420	66.9	21.9	5.0	13.1	10.2	3.8	18.6	20.7	5.5	2.1	24.8
要介護3	120	66.7	28.3	7.5	13.3	10.0	3.3	19.2	22.5	3.3	2.5	25.8
要介護4	80	63.8	17.5	5.0	8.8	3.8	1.3	15.0	15.0	3.8	5.0	27.5
要介護5	51	52.9	19.6	7.8	7.8	11.8	0.0	17.6	15.7	3.9	7.8	35.3

問8 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「参加したくない」が49.7%で最も高く、次いで、「参加してもよい」が31.7%、「既に参加している」が6.4%となっている。

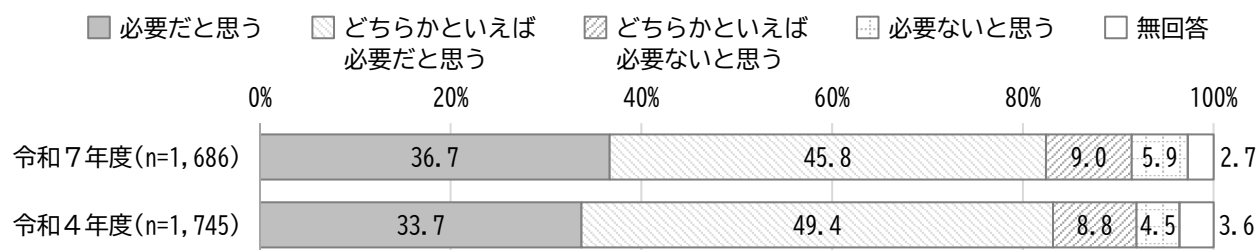


単位：%

	人数	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答
全体	1,686	5.6	31.7	49.7	6.4	6.6
65～74歳:男性	112	1.8	33.9	61.6	1.8	0.9
75～84歳:男性	328	5.8	32.6	49.7	6.1	5.8
85歳以上:男性	224	3.6	28.1	56.7	4.9	6.7
65～74歳:女性	106	6.6	31.1	51.9	3.8	6.6
75～84歳:女性	452	6.9	34.7	44.5	6.6	7.3
85歳以上:女性	464	5.8	29.3	48.1	8.8	8.0
要介護1	564	6.4	36.0	42.0	9.6	6.0
要介護2	612	5.7	31.7	52.6	5.9	4.1
要介護3	244	5.7	26.2	53.3	2.9	11.9
要介護4	155	3.9	30.3	52.3	5.2	8.4
要介護5	111	2.7	23.4	61.3	2.7	9.9
大森	508	5.1	28.5	50.6	7.5	8.3
調布	436	8.0	35.6	44.3	6.7	5.5
蒲田	485	5.4	33.4	48.5	5.4	7.4
糀谷・羽田	257	2.7	28.0	59.5	5.8	3.9

問9 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）の必要性についてどのように感じていますか。（単数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「どちらかといえば必要だと思う」が45.8%で最も高く、次いで、「必要だと思う」が36.7%、「どちらかといえば必要ないと思う」が9.0%となっている。「どちらかといえば必要だと思う」の割合は、令和4年度の49.4%から3.6ポイント低下している。

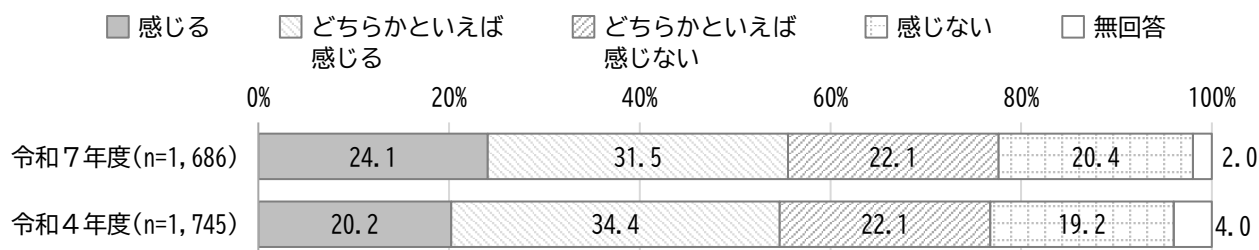


単位：%

	人数	必要だと思う	どちらかとい えば必要だ と思う	どちらかとい えば必要ない と思う	必要ない と思う	無回答
全体	1,686	36.7	45.8	9.0	5.9	2.7
65～74歳:男性	112	33.9	42.0	15.2	8.0	0.9
75～84歳:男性	328	33.5	44.8	11.3	7.3	3.0
85歳以上:男性	224	37.9	45.1	7.6	7.1	2.2
65～74歳:女性	106	29.2	52.8	11.3	1.9	4.7
75～84歳:女性	452	41.2	44.2	6.6	4.4	3.5
85歳以上:女性	464	36.2	47.6	8.2	6.0	1.9
要介護1	564	39.9	45.2	7.3	4.8	2.8
要介護2	612	35.3	47.9	9.2	5.4	2.3
要介護3	244	35.7	39.3	13.5	8.2	3.3
要介護4	155	32.3	49.7	8.4	6.5	3.2
要介護5	111	36.0	45.9	7.2	8.1	2.7
大森	508	37.0	46.5	8.1	6.7	1.8
調布	436	39.9	44.0	9.2	4.6	2.3
蒲田	485	33.8	46.2	10.3	6.2	3.5
糀谷・羽田	257	35.8	46.7	7.8	5.8	3.9

問 10 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。（単数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「どちらかといえば感じる」が31.5%で最も高く、次いで、「感じる」が24.1%、「どちらかといえば感じない」が22.1%となっている。「感じる」の割合は、令和4年度の20.2%から3.9ポイント上昇している。

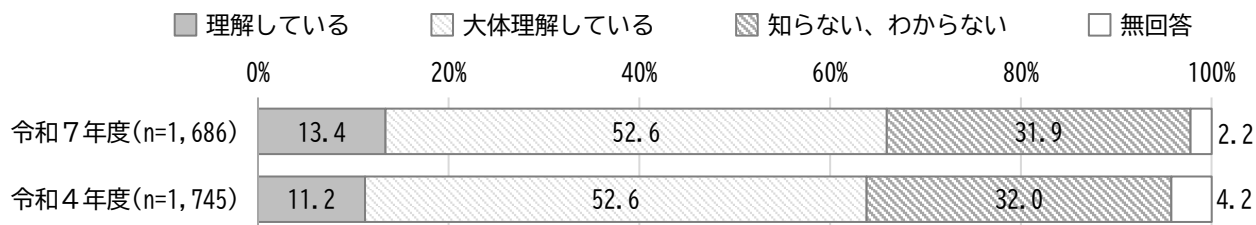


単位：%

	人数	感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	感じない	無回答
全体	1,686	24.1	31.5	22.1	20.4	2.0
65～74歳:男性	112	17.9	26.8	22.3	32.1	0.9
75～84歳:男性	328	21.3	32.6	22.3	21.6	2.1
85歳以上:男性	224	21.9	34.4	22.8	19.2	1.8
65～74歳:女性	106	14.2	30.2	33.0	19.8	2.8
75～84歳:女性	452	28.8	30.5	21.2	16.8	2.7
85歳以上:女性	464	26.3	31.7	19.8	20.9	1.3
要介護1	564	26.1	33.0	21.5	17.4	2.1
要介護2	612	23.9	32.8	21.9	19.8	1.6
要介護3	244	20.9	27.5	24.2	25.0	2.5
要介護4	155	24.5	28.4	20.6	23.9	2.6
要介護5	111	21.6	29.7	23.4	24.3	0.9
大森	508	25.4	31.5	20.1	21.5	1.6
調布	436	23.9	32.8	25.5	16.5	1.4
蒲田	485	24.3	30.7	21.4	21.0	2.5
糀谷・羽田	257	21.4	30.7	21.4	23.7	2.7

問11 災害（台風の水害等含む）が起きた際に、どのような備えが必要か、また自らがどのように動くべきか（避難するべきか、自宅で待機すべきか）避難先について理解していますか。
（単数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「大体理解している」が52.6%で最も高く、次いで、「知らない、わからない」が31.9%、「理解している」が13.4%となっている。

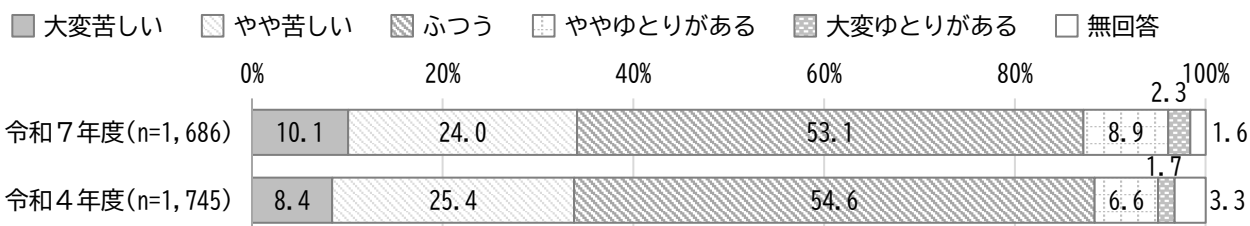


単位：%

	人数	理解している	大体理解している	知らない、わからない	無回答
全体	1,686	13.4	52.6	31.9	2.2
65～74歳:男性	112	8.9	62.5	27.7	0.9
75～84歳:男性	328	15.2	55.2	27.1	2.4
85歳以上:男性	224	13.8	53.6	31.3	1.3
65～74歳:女性	106	15.1	50.0	34.0	0.9
75～84歳:女性	452	16.4	49.6	31.6	2.4
85歳以上:女性	464	9.7	51.3	36.2	2.8
要介護1	564	13.5	54.3	29.3	3.0
要介護2	612	13.9	52.3	32.2	1.6
要介護3	244	13.5	49.6	34.8	2.0
要介護4	155	11.6	48.4	38.1	1.9
要介護5	111	12.6	57.7	27.9	1.8

問12 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「ふつう」が53.1%で最も高く、次いで、「やや苦しい」が24.0%、「大変苦しい」が10.1%となっている。

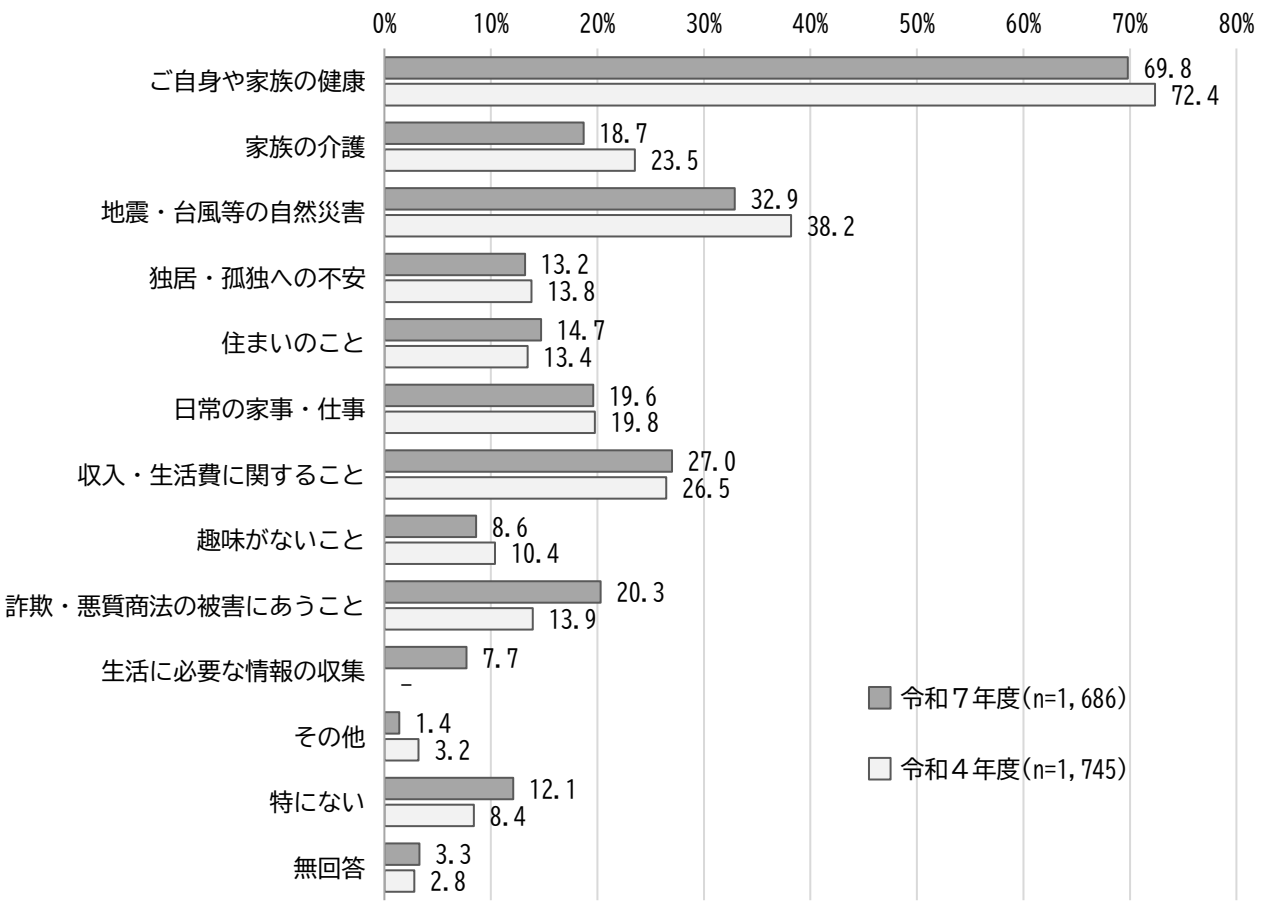


単位：%

	人数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	1,686	10.1	24.0	53.1	8.9	2.3	1.6
65～74歳:男性	112	16.1	24.1	51.8	5.4	1.8	0.9
75～84歳:男性	328	10.7	28.0	49.4	7.0	2.7	2.1
85歳以上:男性	224	7.1	21.9	59.8	8.5	2.2	0.4
65～74歳:女性	106	13.2	28.3	39.6	16.0	1.9	0.9
75～84歳:女性	452	9.3	25.0	52.7	8.6	2.0	2.4
85歳以上:女性	464	9.7	20.0	56.5	9.9	2.6	1.3
要介護1	564	8.7	20.2	56.2	10.8	1.8	2.3
要介護2	612	10.3	24.0	53.4	9.0	2.5	0.8
要介護3	244	13.1	28.7	48.4	5.7	2.5	1.6
要介護4	155	10.3	23.2	54.2	8.4	2.6	1.3
要介護5	111	9.0	33.3	45.0	6.3	3.6	2.7

問13 日常生活での心配ごとはありませんか。(複数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「ご自身や家族の健康」が69.8%で最も高く、次いで、「地震・台風等の自然災害」が32.9%、「収入・生活費に関すること」が27.0%となっている。「詐欺・悪質商法の被害にあうこと」(20.3%)の割合は、令和4年度の13.9%から6.4ポイント上昇している。



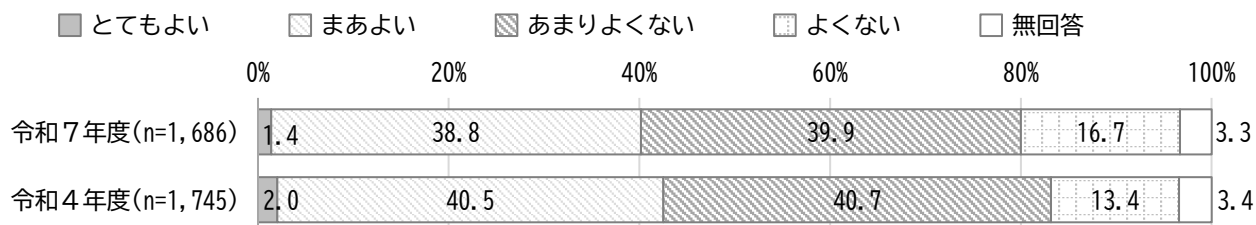
単位：%

	人数	ご自身や家族の健康	家族の介護	地震・台風等の自然災害	独居・孤独への不安	住まいのこと	日常の家事・仕事	収入・生活費に関すること	趣味がないこと	詐欺・悪質商法の被害にあうこと	生活に必要な情報の収集	その他	特にない	無回答
全体	1,686	69.8	18.7	32.9	13.2	14.7	19.6	27.0	8.6	20.3	7.7	1.4	12.1	3.3
65～74歳:男性	112	64.3	15.2	30.4	13.4	18.8	8.9	31.3	9.8	10.7	1.8	2.7	11.6	1.8
75～84歳:男性	328	65.9	21.0	30.8	12.5	14.0	13.7	30.2	11.6	19.8	7.9	1.2	14.9	2.7
85歳以上:男性	224	74.1	25.4	31.3	11.2	15.2	14.7	22.8	8.0	22.3	8.5	1.3	12.5	1.3
65～74歳:女性	106	82.1	18.9	32.1	15.1	17.0	24.5	21.7	5.7	18.9	9.4	1.9	2.8	5.7
75～84歳:女性	452	71.7	19.7	34.7	13.7	14.4	27.7	30.8	9.1	20.1	8.2	1.1	9.7	4.6
85歳以上:女性	464	67.0	13.8	34.3	13.8	13.6	19.6	23.5	6.7	22.4	7.8	1.5	14.4	3.0
要介護1	564	66.5	15.1	32.8	15.8	11.5	19.0	24.5	9.0	22.5	8.9	1.1	13.5	3.2
要介護2	612	70.3	17.2	31.5	13.1	13.2	20.9	27.5	9.6	19.4	7.0	1.5	11.9	3.4
要介護3	244	70.5	24.2	38.5	11.5	21.7	20.9	30.7	9.4	21.3	9.0	2.0	11.9	3.7
要介護4	155	76.1	22.6	31.0	12.3	16.1	16.8	23.9	4.5	19.4	4.5	1.3	9.0	3.2
要介護5	111	73.0	28.8	31.5	6.3	20.7	16.2	34.2	4.5	12.6	7.2	1.8	10.8	1.8

(5) 心身の健康に関する状況

問 14 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「あまりよくない」が39.9%で最も高く、次いで、「まあよい」が38.8%、「よくない」が16.7%となっている。「よくない」の割合は、令和4年度の13.4%から3.3ポイント上昇している。

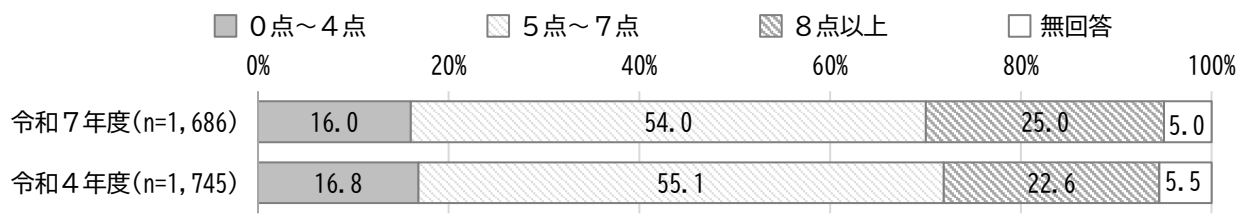


単位：%

	人数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	1,686	1.4	38.8	39.9	16.7	3.3
65～74歳:男性	112	0.9	33.9	41.1	23.2	0.9
75～84歳:男性	328	2.1	36.0	40.9	17.4	3.7
85歳以上:男性	224	1.3	33.9	43.8	20.5	0.4
65～74歳:女性	106	0.0	34.9	40.6	20.8	3.8
75～84歳:女性	452	1.1	37.8	41.8	14.6	4.6
85歳以上:女性	464	1.5	46.3	34.9	13.8	3.4
要介護1	564	2.1	45.6	37.9	10.6	3.7
要介護2	612	1.0	36.3	42.3	17.6	2.8
要介護3	244	0.8	35.2	38.9	21.7	3.3
要介護4	155	0.6	35.5	41.3	19.4	3.2
要介護5	111	1.8	31.5	36.0	27.0	3.6

問15 あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)
 ※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご回答ください。

令和7年度(n=1,686)では、「5点～7点」が54.0%で最も高く、次いで、「8点以上」が25.0%、「0点～4点」が16.0%となっている。



単位：%

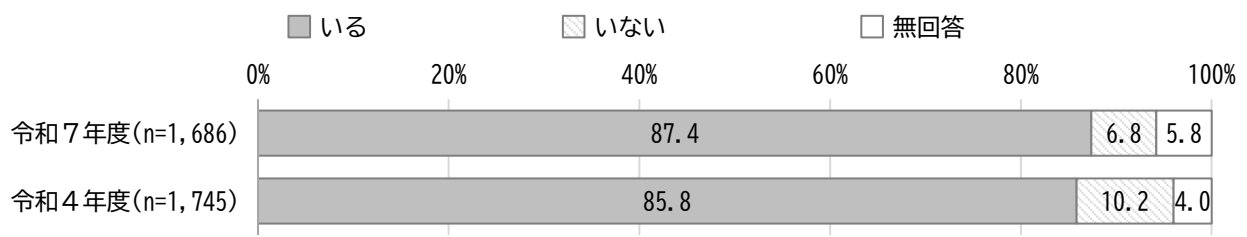
	人数	0点～4点	5点～7点	8点以上	無回答
全体	1,686	16.0	54.0	25.0	5.0
65～74歳:男性	112	28.6	50.9	16.2	4.5
75～84歳:男性	328	18.8	53.4	21.1	6.7
85歳以上:男性	224	14.2	55.8	23.7	6.3
65～74歳:女性	106	25.4	51.9	18.8	3.8
75～84歳:女性	452	13.6	52.9	28.3	5.1
85歳以上:女性	464	11.8	56.1	28.7	3.4
要介護1	564	14.8	51.8	28.4	5.1
要介護2	612	16.2	57.1	21.8	4.7
要介護3	244	17.2	55.3	23.4	4.1
要介護4	155	15.5	50.3	26.5	7.7
要介護5	111	19.8	50.4	26.1	3.6

単位：%

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	1,686	1.5	1.5	2.2	5.2	5.6	30.3	9.7	14.0	12.8	4.4	7.8	5.0
令和4年度	1,745	0.8	1.6	2.2	5.2	7.0	30.9	11.7	12.5	11.9	4.8	5.9	5.5

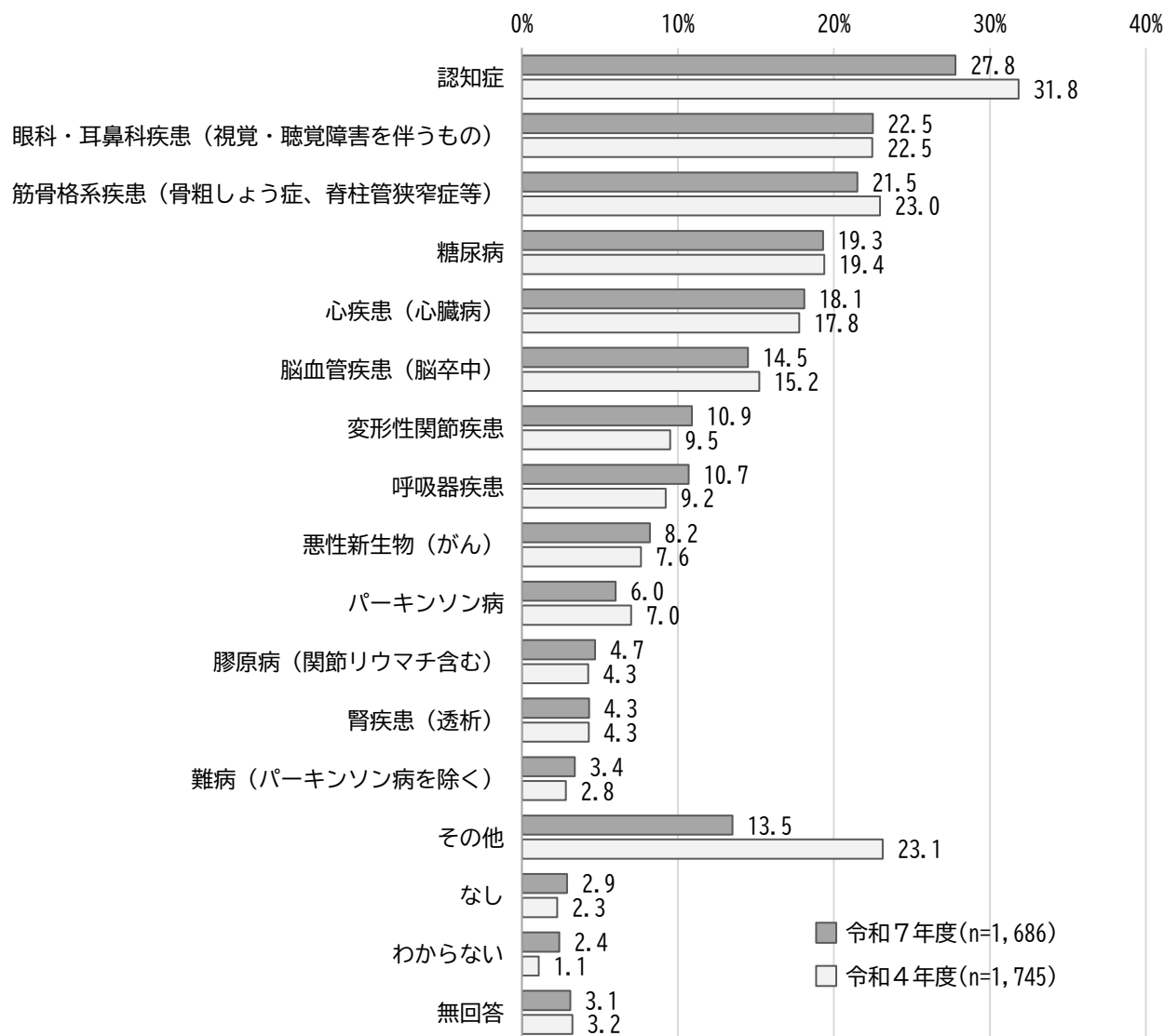
問16 日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「いる」が87.4%、「いない」が6.8%であった。「いない」の割合は、令和4年度の10.2%から3.4ポイント低下している。



問17 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「認知症」が27.8%で最も高く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.5%となっている。「その他」（13.5%）では、「高血圧」との回答が最も多く見られた。また、「その他」の割合は、令和4年度の23.1%から9.6ポイント低下している。



単位：％

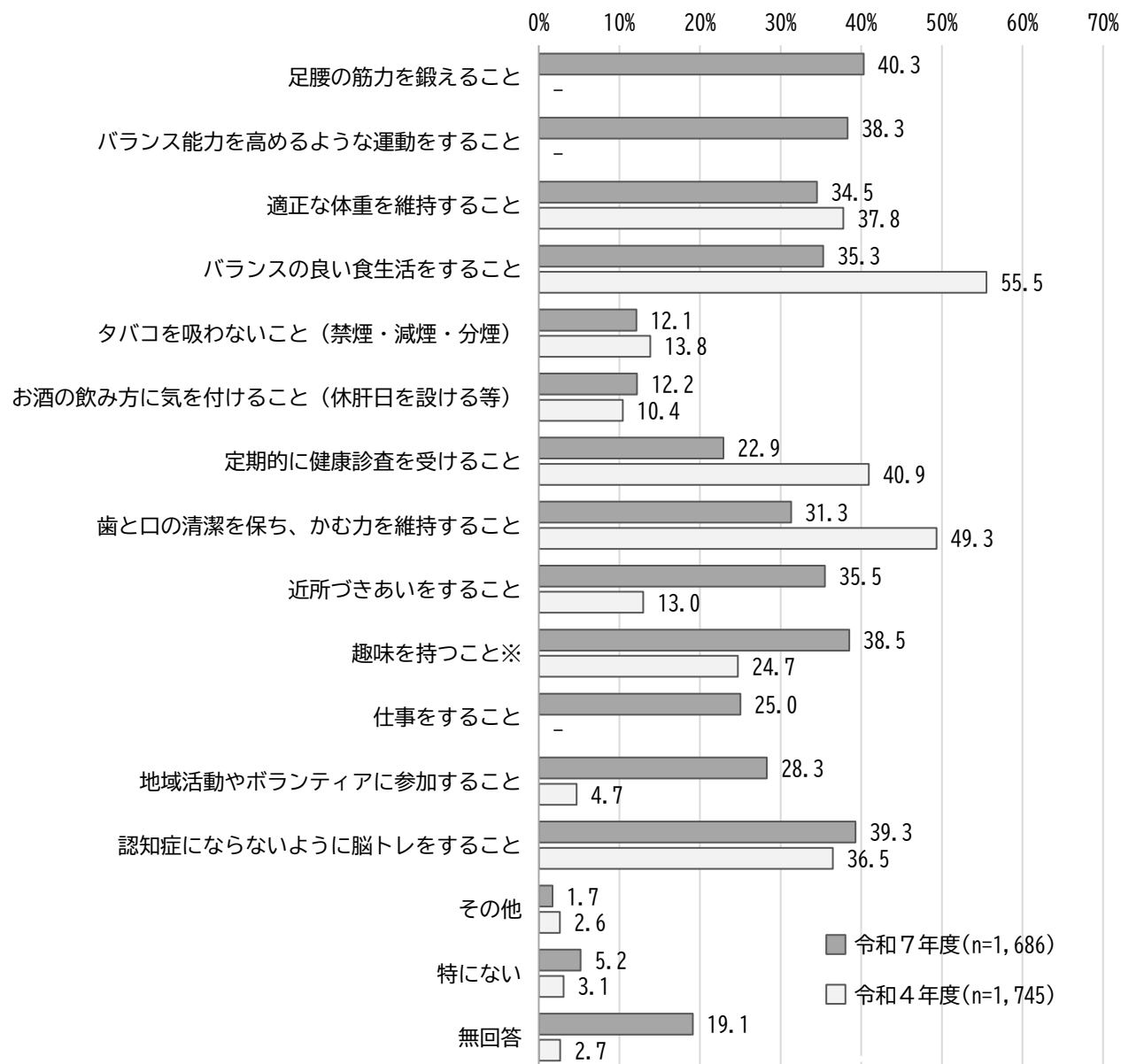
	人数	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患
全体	1,686	14.5	18.1	8.2	10.7	4.3	21.5	4.7	10.9
65～74歳：男性	112	27.7	11.6	15.2	8.0	8.0	8.9	0.9	5.4
75～84歳：男性	328	24.4	19.5	10.4	12.5	4.9	12.8	2.4	5.2
85歳以上：男性	224	14.3	19.2	8.9	14.7	4.5	16.5	1.3	5.8
65～74歳：女性	106	18.9	11.3	9.4	11.3	2.8	23.6	13.2	16.0
75～84歳：女性	452	11.9	15.3	7.7	8.8	4.9	25.4	6.2	13.1
85歳以上：女性	464	5.8	22.4	5.0	9.7	2.6	28.9	5.4	15.3
要介護1	564	10.6	18.4	6.2	9.6	3.4	23.2	4.3	13.5
要介護2	612	13.7	18.1	10.5	10.8	5.1	23.4	6.2	10.1
要介護3	244	16.4	18.9	6.6	11.5	4.9	17.6	4.5	9.8
要介護4	155	20.6	14.8	9.0	11.0	2.6	20.0	3.2	8.4
要介護5	111	25.2	18.9	9.0	13.5	5.4	13.5	0.9	7.2

	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	その他	なし	わからない	無回答
全体	27.8	6.0	3.4	19.3	22.5	13.5	2.9	2.4	3.1
65～74歳：男性	13.4	6.3	6.3	22.3	16.1	16.1	2.7	4.5	0.9
75～84歳：男性	23.5	7.3	5.2	24.4	19.5	11.9	3.0	3.0	3.0
85歳以上：男性	29.5	7.1	2.7	21.4	29.5	13.4	3.6	3.1	1.8
65～74歳：女性	17.0	9.4	8.5	21.7	17.9	18.9	1.9	0.9	2.8
75～84歳：女性	29.6	7.7	3.3	17.7	20.6	12.8	2.0	1.3	3.8
85歳以上：女性	34.3	2.2	0.6	14.9	25.9	13.4	3.7	2.6	3.7
要介護1	29.1	4.6	1.6	17.4	24.8	13.3	3.7	2.8	4.8
要介護2	21.6	5.9	4.2	18.3	23.7	12.6	3.3	2.5	2.5
要介護3	34.4	6.6	2.9	25.8	20.5	11.9	1.2	2.5	2.0
要介護4	31.0	8.4	3.9	23.2	20.0	18.1	1.9	1.9	1.9
要介護5	36.9	9.9	8.1	14.4	12.6	16.2	1.8	0.9	1.8

問 18 要介護度の維持・改善に向けて、①取り組むべきと考えることは何ですか。また、②今実践している内容を教えてください。(複数回答)

① 取り組むべきこと

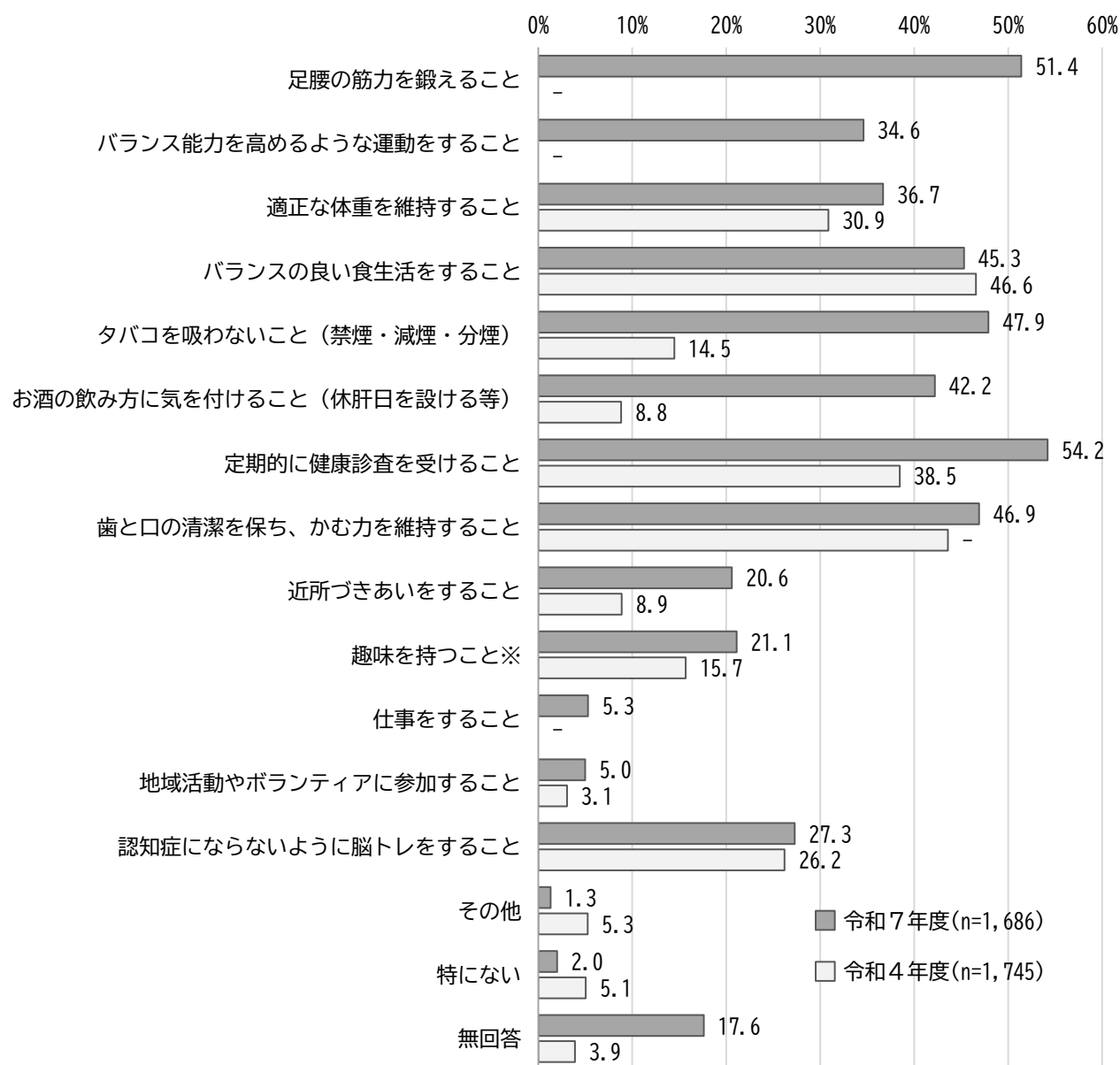
令和7年度(n=1,686)では、「足腰の筋力を鍛えること」が40.3%で最も高く、次いで、「認知症にならないように脳トレをすること」が39.3%、「趣味を持つこと」が38.5%となっている。「地域活動やボランティアに参加すること」(28.3%)の割合は、令和4年度の4.7%から23.6ポイント上昇している。



※令和4年度調査では「趣味や好きなことを探し、続けること」という選択肢だった。令和7年度調査では「趣味を持つこと」としている。

② 今実践している内容

令和7年度(n=1,686)では、「定期的に健康診査を受けること」が54.2%で最も高く、次いで、「足腰の筋力を鍛えること」が51.4%、「タバコを吸わないこと（禁煙・減煙・分煙）」が47.9%となっている。「タバコを吸わないこと（禁煙・減煙・分煙）」の割合は、令和4年度の14.5%から33.4ポイント上昇している。



※令和4年度調査では「趣味や好きなことを探し、続けること」という選択肢だった。令和7年度調査では「趣味を持つこと」としている。

①取り組むべきこと

単位：%

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をすること	タバコを吸わないこと (禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること (休肝日を設ける等)	定期的に健康診査を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所つきあいをすること	趣味を持つこと※	仕事をする事	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないように脳トレをすること	その他	特にない	無回答
全体	1,686	40.3	38.3	34.5	35.3	12.1	12.2	22.9	31.3	35.5	38.5	25.0	28.3	39.3	1.7	5.2	19.1
65～74歳:男性	112	36.6	34.8	29.5	33.0	14.3	21.4	22.3	26.8	45.5	41.1	26.8	32.1	38.4	0.0	7.1	16.1
75～84歳:男性	328	34.8	35.1	30.8	29.9	12.5	14.6	20.1	31.4	38.7	41.5	29.0	32.0	39.0	1.8	7.9	15.9
85歳以上:男性	224	43.8	41.5	35.3	33.0	17.9	16.1	19.6	33.9	33.9	38.4	25.0	28.1	39.7	1.3	4.5	20.1
65～74歳:女性	106	28.3	31.1	34.9	35.8	9.4	9.4	29.2	31.1	34.0	37.7	24.5	25.5	34.9	1.9	5.7	19.8
75～84歳:女性	452	43.1	41.4	35.8	38.1	11.5	9.7	25.7	32.5	35.0	35.8	24.3	29.4	43.4	2.0	3.3	21.2
85歳以上:女性	464	43.3	38.6	36.4	38.1	9.7	9.3	22.4	30.0	32.3	38.6	22.6	24.4	36.6	1.7	5.0	19.4
要介護1	564	42.6	38.8	38.1	38.5	14.7	14.7	24.3	32.1	38.1	38.7	27.5	32.6	40.8	2.1	5.7	17.7
要介護2	612	38.1	37.4	33.5	36.3	11.1	11.8	21.7	30.9	36.1	39.1	23.7	27.1	39.2	1.5	5.2	19.4
要介護3	244	38.5	40.6	28.7	30.3	9.8	8.6	20.9	28.3	33.2	41.4	25.4	26.6	38.5	1.6	7.4	18.4
要介護4	155	42.6	42.6	36.8	29.0	12.9	11.6	24.5	32.3	34.2	38.1	26.5	29.7	41.9	0.0	2.6	18.7
要介護5	111	41.4	29.7	30.6	34.2	8.1	9.9	24.3	35.1	25.2	28.8	17.1	14.4	30.6	2.7	1.8	26.1

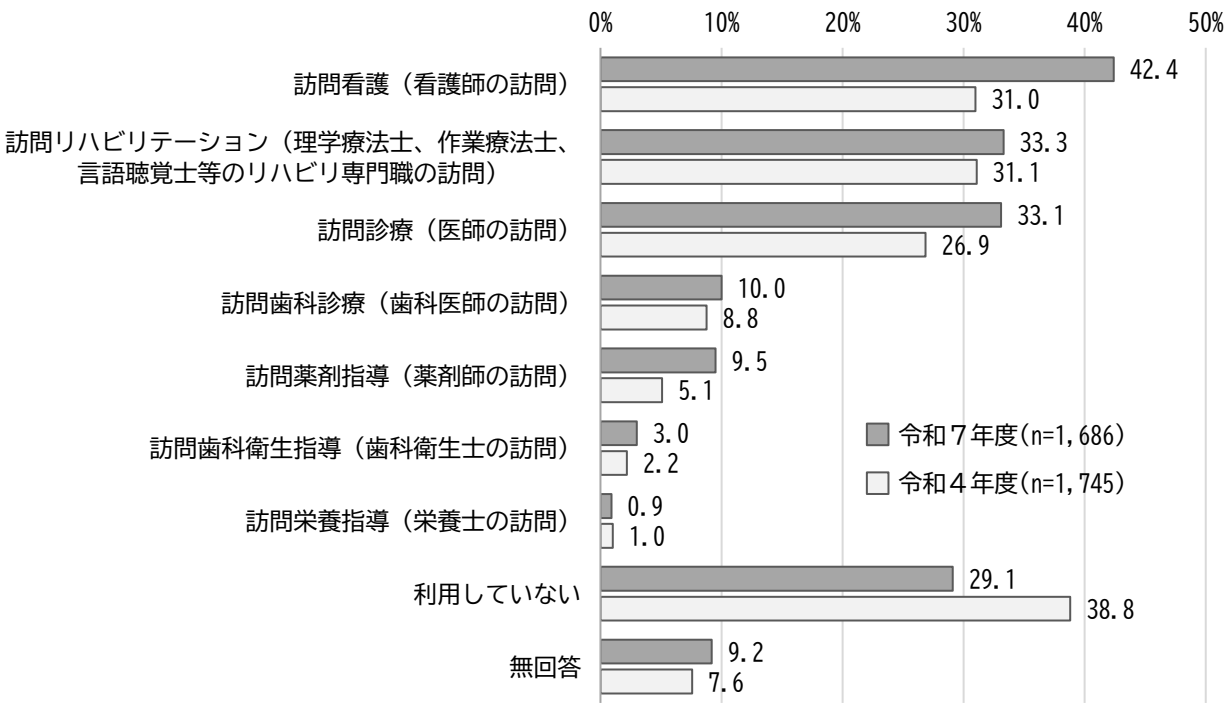
②今実践している内容

単位：%

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をすること	タバコを吸わないこと (禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること (休肝日を設ける等)	定期的に健康診査を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所つきあいをすること	趣味を持つこと※	仕事をする事	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないように脳トレをすること	その他	特にない	無回答
全体	1,686	51.4	34.6	36.7	45.3	47.9	42.2	54.2	46.9	20.6	21.1	5.3	5.0	27.3	1.3	2.0	17.6
65～74歳:男性	112	50.9	33.0	39.3	39.3	49.1	42.0	49.1	48.2	8.9	20.5	5.4	4.5	25.0	0.9	0.9	15.2
75～84歳:男性	328	53.7	37.5	41.2	47.9	59.1	49.1	53.7	44.8	20.7	24.4	5.5	5.2	27.1	1.8	3.0	14.0
85歳以上:男性	224	51.8	33.9	32.6	47.3	49.1	43.8	60.7	45.1	17.9	15.6	5.4	6.7	23.2	0.9	1.3	19.2
65～74歳:女性	106	57.5	44.3	40.6	40.6	41.5	37.7	47.2	46.2	13.2	17.0	8.5	5.7	22.6	1.9	0.9	14.2
75～84歳:女性	452	48.9	31.9	35.6	44.5	45.1	42.7	51.3	47.3	24.3	23.9	5.5	5.1	29.0	0.7	1.5	19.2
85歳以上:女性	464	50.6	33.6	34.9	45.7	43.1	37.1	57.1	48.7	22.8	19.8	4.1	4.1	29.5	1.7	2.4	19.0
要介護1	564	49.6	37.6	36.9	44.9	48.0	43.6	57.1	47.3	25.5	26.6	6.0	7.6	30.5	1.2	2.3	18.4
要介護2	612	54.2	34.6	35.6	45.3	48.2	41.3	54.7	47.4	19.6	20.3	5.7	4.2	26.6	1.6	2.0	15.4
要介護3	244	54.5	32.0	39.8	44.3	49.2	44.7	53.7	45.9	19.3	15.6	2.0	3.7	25.4	1.2	2.0	18.9
要介護4	155	49.7	34.2	40.6	54.8	51.6	43.9	56.8	49.0	16.8	18.7	7.7	2.6	29.7	0.0	1.9	18.1
要介護5	111	39.6	25.2	28.8	36.0	36.9	31.5	34.2	41.4	9.9	13.5	2.7	2.7	16.2	1.8	0.0	21.6

問 19 現在の暮らしにおける、在宅医療サービスの利用の有無を教えてください。（複数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「訪問看護（看護師の訪問）」が42.4%で最も高く、次いで、「訪問リハビリテーション（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリ専門職の訪問）」が33.3%、「訪問診療（医師の訪問）」が33.1%となっている。「訪問看護（看護師の訪問）」の割合は、令和4年度の31.0%から11.4ポイント上昇している。

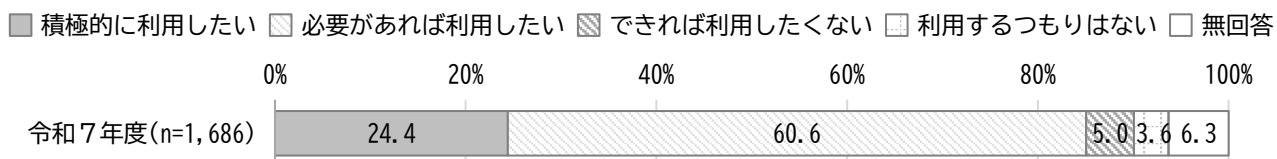


単位：%

	人数	訪問診療（医師の訪問）	訪問看護（看護師の訪問）	訪問歯科診療（歯科医師の訪問）	訪問歯科衛生指導（歯科衛生士の訪問）	訪問栄養指導（栄養士の訪問）	訪問リハビリテーション（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリ専門職の訪問）	訪問薬剤指導（薬剤師の訪問）	利用していない	無回答
全体	1,686	33.1	42.4	10.0	3.0	0.9	33.3	9.5	29.1	9.2
要介護1	564	17.6	33.0	3.7	0.9	1.2	21.6	5.5	38.5	12.9
要介護2	612	28.3	38.2	7.2	2.6	1.0	32.4	9.2	31.9	10.0
要介護3	244	41.0	51.6	13.5	4.5	0.4	43.0	9.4	21.7	4.1
要介護4	155	64.5	56.1	25.8	8.4	0.6	51.6	17.4	12.9	4.5
要介護5	111	77.5	73.9	27.9	5.4	0.9	50.5	20.7	5.4	3.6

問 20 在宅医療サービスに対する考えを教えてください。(単数回答)

本設問(n=1,686)では、「必要があれば利用したい」が60.6%で最も高く、次いで、「積極的に利用したい」が24.4%、「できれば利用したくない」が5.0%となっている。



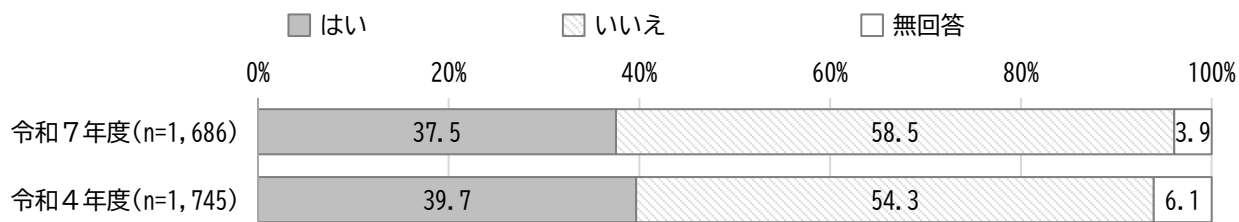
単位：%

	人数	積極的に利用したい	必要があれば利用したい	できれば利用したくない	利用するつもりはない	無回答
全体	1,686	24.4	60.6	5.0	3.6	6.3
要介護1	564	13.1	70.4	5.0	4.6	6.9
要介護2	612	21.7	61.8	5.1	4.2	7.2
要介護3	244	32.8	54.1	6.1	1.2	5.7
要介護4	155	43.2	46.5	3.9	2.6	3.9
要介護5	111	51.4	38.7	4.5	1.8	3.6

(6) 認知症に関する状況

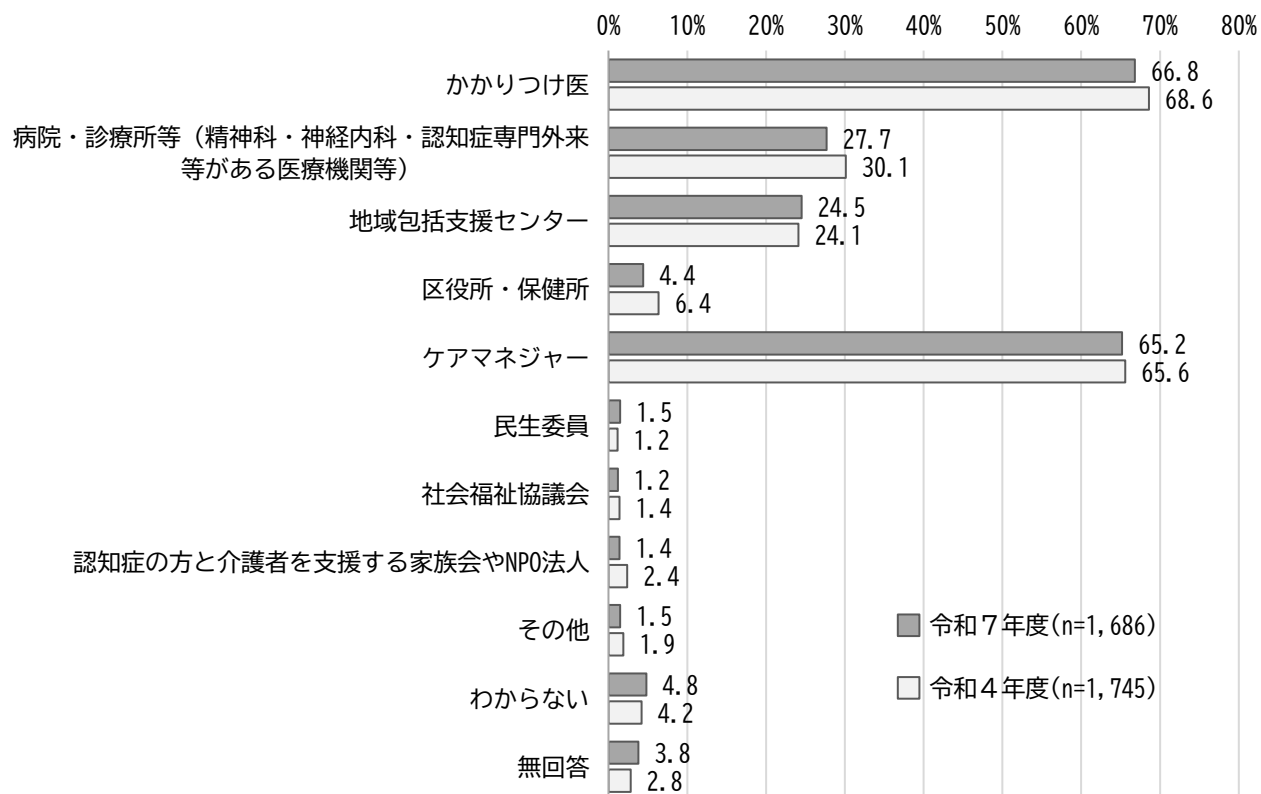
問 21 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「はい」が37.5%、「いいえ」が58.5%であった。「いいえ」の割合は、令和4年度の54.3%から4.2ポイント上昇している。



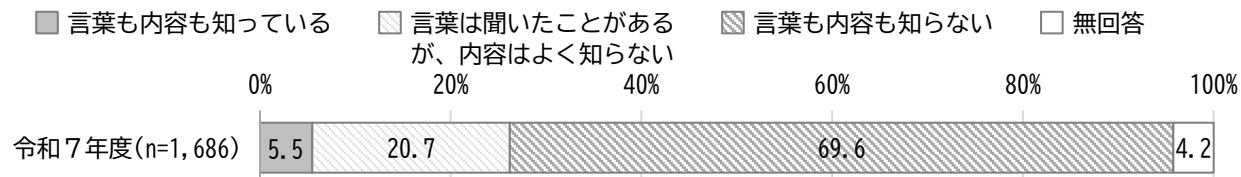
問 22 自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに（誰に）相談しようと思いますか。
（複数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「かかりつけ医」が66.8%で最も高く、次いで、「ケアマネジャー」が65.2%、「病院・診療所等（精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等）」が27.7%となっている。



問 23 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(単数回答)

本設問(n=1,686)では、「言葉も内容も知らない」が69.6%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が20.7%、「言葉も内容も知っている」が5.5%となっている。

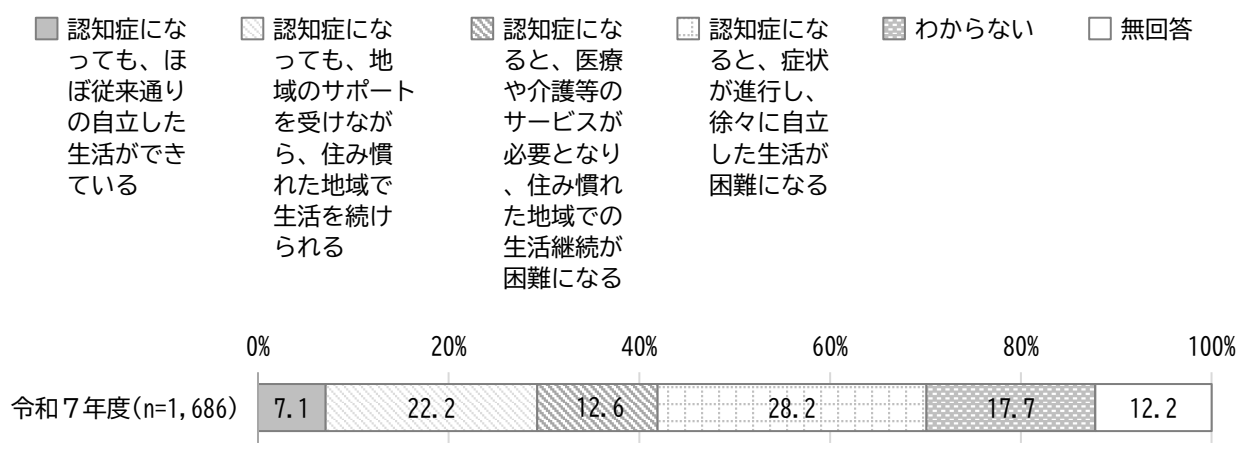


単位：%

	人数	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	言葉も内容も知らない	無回答
全体	1,686	5.5	20.7	69.6	4.2
65～74歳:男性	112	1.8	22.3	75.9	0.0
75～84歳:男性	328	5.2	22.9	68.3	3.7
85歳以上:男性	224	8.0	16.5	70.1	5.4
65～74歳:女性	106	8.5	17.9	67.0	6.6
75～84歳:女性	452	5.8	19.0	70.6	4.6
85歳以上:女性	464	4.3	23.1	68.5	4.1
要介護1	564	6.0	20.9	68.4	4.6
要介護2	612	4.9	21.4	69.0	4.7
要介護3	244	4.9	21.3	71.3	2.5
要介護4	155	5.8	18.1	72.3	3.9
要介護5	111	6.3	18.0	72.1	3.6
自立+I	560	5.4	25.7	64.5	4.5
認知症II	806	6.1	18.6	71.0	4.3
認知症III以上	314	4.1	17.5	74.8	3.5

問 24 認知症になった人について、あなたがもっとも近いと感じるイメージをご回答ください。(単数回答)

本設問(n=1,686)では、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」が28.2%で最も高く、次いで、「認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる」が22.2%、「わからない」が17.7%となっている。

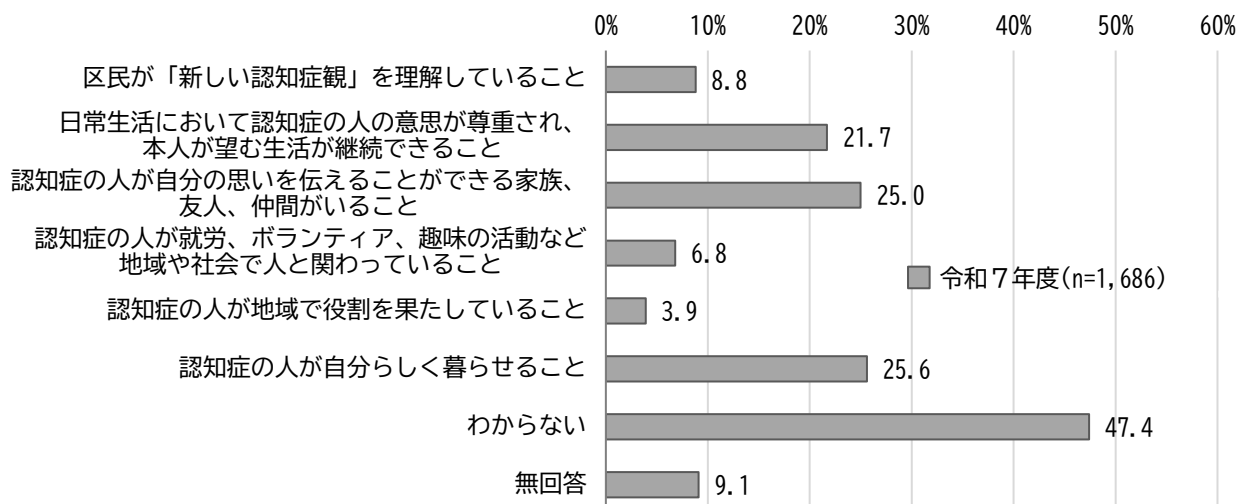


単位：%

	人数	認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができる	認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる	認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる	認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる	わからない	無回答
全体	1,686	7.1	22.2	12.6	28.2	17.7	12.2
65～74歳:男性	112	3.6	17.0	15.2	33.9	24.1	6.3
75～84歳:男性	328	8.5	21.6	11.9	26.2	18.3	13.4
85歳以上:男性	224	15.2	22.3	10.3	24.1	14.3	13.8
65～74歳:女性	106	3.8	22.6	19.8	24.5	16.0	13.2
75～84歳:女性	452	6.2	21.5	11.7	30.3	16.4	13.9
85歳以上:女性	464	4.7	24.6	12.7	28.9	19.0	10.1
要介護1	564	8.9	21.1	13.1	25.2	18.4	13.3
要介護2	612	7.2	19.1	12.1	31.9	17.6	12.1
要介護3	244	4.9	24.6	11.9	29.5	18.4	10.7
要介護4	155	6.5	31.0	14.2	19.4	17.4	11.6
要介護5	111	3.6	27.9	11.7	32.4	12.6	11.7
自立+I	560	6.6	20.7	13.4	28.6	17.3	13.4
認知症II	806	7.8	21.2	12.2	27.4	18.4	13.0
認知症III以上	314	6.4	27.7	12.4	29.0	16.2	8.3

問 25 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」として以下のことは実現できていると思いますか。(複数回答)

本設問(n=1,686)では、「わからない」が47.4%で最も高く、次いで、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が25.6%、「認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること」が25.0%となっている。

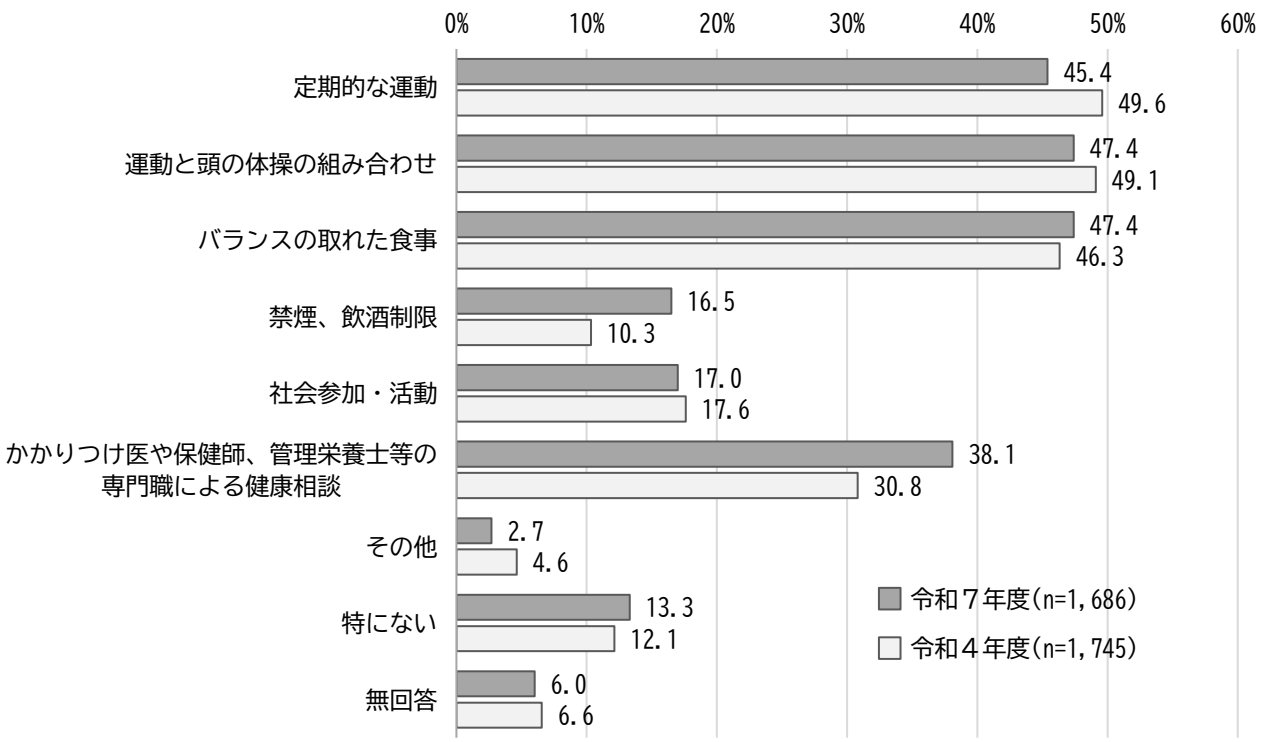


単位：%

	人数	区民が「新しい認知症観」を理解していること	日常生活において認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できること	認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること	認知症の人が就労、ボランティア、趣味の活動など地域や社会で人と関わっていること	認知症の人が地域で役割を果たしていること	認知症の人が自分らしく暮らせること	わからない	無回答
全体	1,686	8.8	21.7	25.0	6.8	3.9	25.6	47.4	9.1
65～74歳:男性	112	8.0	14.3	12.5	4.5	2.7	22.3	61.6	3.6
75～84歳:男性	328	10.7	25.0	26.8	10.1	4.3	29.6	44.8	10.1
85歳以上:男性	224	8.0	21.4	24.6	6.7	3.1	22.3	42.0	12.9
65～74歳:女性	106	9.4	20.8	17.9	6.6	2.8	21.7	53.8	10.4
75～84歳:女性	452	9.7	22.6	26.8	6.4	5.3	26.8	42.9	10.2
85歳以上:女性	464	7.1	20.7	26.7	5.6	3.2	25.0	51.5	6.7
要介護1	564	10.8	21.3	25.7	5.7	5.0	26.2	46.8	10.1
要介護2	612	7.4	20.6	23.7	6.4	2.9	26.1	48.9	8.3
要介護3	244	8.6	21.3	23.8	8.2	4.1	22.5	48.8	7.8
要介護4	155	9.7	27.1	29.7	8.4	3.9	24.5	43.2	11.6
要介護5	111	6.3	23.4	24.3	9.9	3.6	27.9	45.9	8.1
自立+I	560	7.7	21.4	20.9	6.4	3.9	23.2	48.9	10.7
認知症II	806	10.5	21.0	26.3	6.8	4.7	26.4	47.8	8.9
認知症III以上	314	6.4	24.2	29.0	7.3	1.6	28.0	43.6	6.7

問 26 認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい（現在取り組んでいるものを含む）ことはありますか。（複数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「運動と頭の体操の組み合わせ」、「バランスの取れた食事」が47.4%で最も高く、次いで、「定期的な運動」が45.4%となっている。「かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談」(38.1%)の割合は、令和4年度の30.8%から7.3ポイント上昇している。

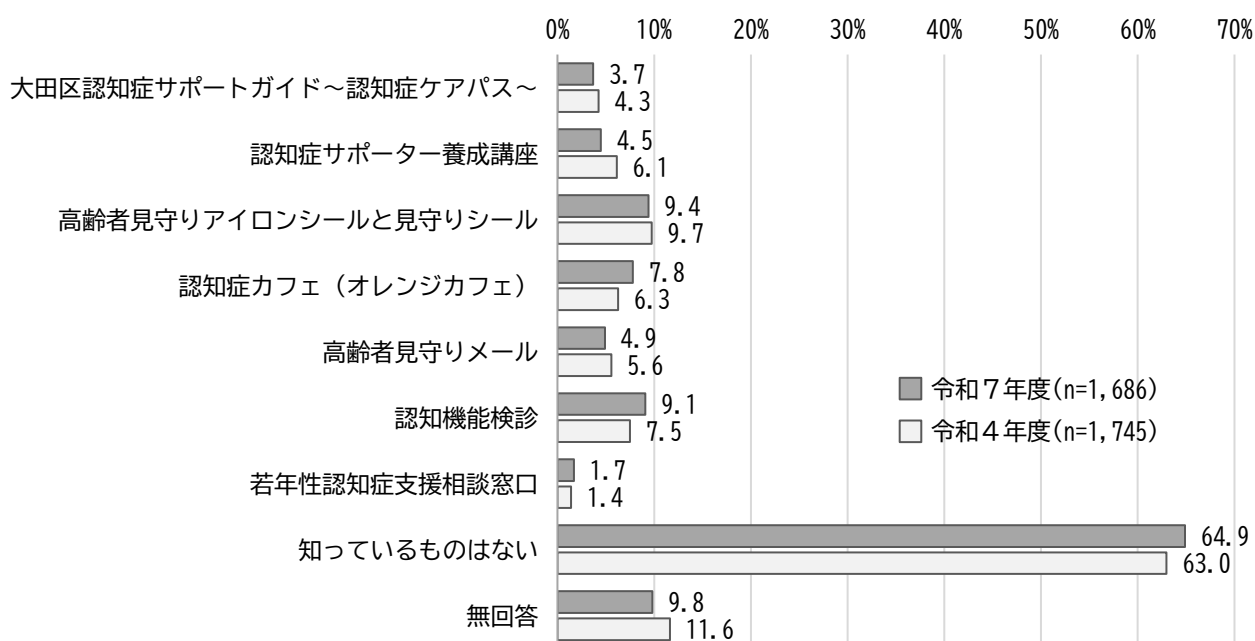


単位：%

	人数	定期的な運動	運動と頭の体操の組み合わせ	バランスの取れた食事	禁煙、飲酒制限	社会参加・活動	かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談	その他	特にない	無回答
全体	1,686	45.4	47.4	47.4	16.5	17.0	38.1	2.7	13.3	6.0
65～74歳:男性	112	43.8	42.0	38.4	25.0	7.1	35.7	2.7	18.8	0.9
75～84歳:男性	328	46.3	50.0	43.3	22.9	21.6	32.3	3.0	14.3	5.8
85歳以上:男性	224	42.4	44.2	47.8	19.6	13.8	39.7	1.8	12.5	8.0
65～74歳:女性	106	46.2	37.7	44.3	11.3	18.9	33.0	0.9	17.0	6.6
75～84歳:女性	452	44.9	46.0	45.4	12.6	14.6	39.4	2.9	11.9	8.0
85歳以上:女性	464	47.0	52.2	55.2	13.6	19.4	42.0	3.0	12.1	4.5
要介護1	564	50.9	48.4	50.5	17.6	18.4	40.8	3.2	12.1	5.5
要介護2	612	44.0	47.1	45.6	16.5	15.0	35.6	2.3	12.1	6.5
要介護3	244	41.8	48.4	44.3	14.3	19.3	41.8	2.0	16.0	5.3
要介護4	155	43.9	46.5	49.0	16.1	16.8	34.2	1.9	16.8	7.1
要介護5	111	36.0	44.1	46.8	17.1	15.3	36.0	4.5	15.3	6.3

問 27 区が実施している認知症施策を知っていますか。(複数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「知っているものはない」が64.9%で最も高く、次いで、「高齢者見守りアイコンシールと見守りシール」が9.4%、「認知機能検診」が9.1%となっている。



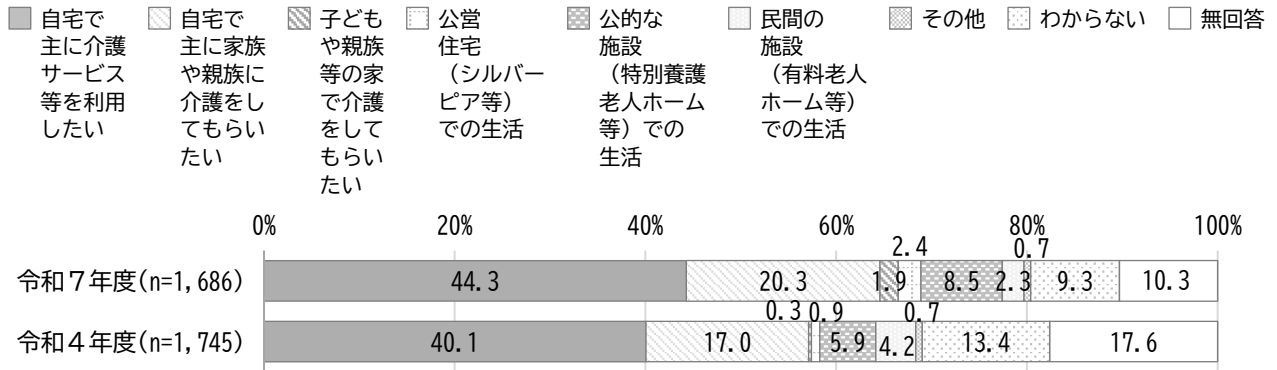
単位: %

	人数	大田区認知症サポートガイド ～認知症ケアパス～	認知症サポーター養成講座	高齢者見守りアイコンシールと 見守りシール	認知症カフェ (オレンジカフェ)	高齢者見守りメール	認知機能検診	若年性認知症支援相談窓口	知っているものはない	無回答
全体	1,686	3.7	4.5	9.4	7.8	4.9	9.1	1.7	64.9	9.8
65～74歳:男性	112	1.8	1.8	8.0	7.1	4.5	6.3	2.7	74.1	2.7
75～84歳:男性	328	6.4	5.8	11.6	8.8	5.2	13.4	1.5	58.5	9.8
85歳以上:男性	224	1.3	1.8	8.0	7.1	2.2	5.8	1.3	65.6	13.8
65～74歳:女性	106	2.8	3.8	7.5	8.5	1.9	7.5	2.8	68.9	9.4
75～84歳:女性	452	4.2	4.4	9.1	5.5	4.4	9.1	0.9	65.5	12.2
85歳以上:女性	464	3.0	5.8	9.7	9.5	7.3	8.8	2.4	65.5	7.3
要介護1	564	3.9	5.0	13.3	9.2	6.0	11.3	2.1	59.0	9.8
要介護2	612	3.4	3.8	6.4	6.0	3.6	7.2	1.1	70.3	10.5
要介護3	244	4.5	5.7	9.4	8.2	7.4	11.5	2.5	60.7	10.7
要介護4	155	2.6	4.5	5.2	8.4	3.2	6.5	0.6	72.9	7.1
要介護5	111	3.6	3.6	12.6	8.1	3.6	7.2	2.7	64.0	8.1
自立+I	560	2.5	3.9	7.1	6.6	5.5	8.8	1.6	64.6	12.0
認知症II	806	4.0	4.2	9.2	7.9	5.0	9.6	1.6	64.6	10.5
認知症III以上	314	5.1	6.4	14.3	9.6	3.8	8.9	2.2	65.6	4.1

(7) 今後の生活に対する希望やニーズ

問 28 今後、どのような暮らし方を希望しますか。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「自宅で主に介護サービス等を利用したい」が44.3%で最も高く、次いで、「自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい」が20.3%、「わからない」が9.3%となっている。「自宅で主に介護サービス等を利用したい」の割合は、令和4年度の40.1%から4.2ポイント上昇している。「自宅で主に介護サービス等を利用したい/自宅で主に家族や親族に介護をもらいたい」の割合(64.6%)は、令和4年度の57.1%から7.5ポイント上昇している。

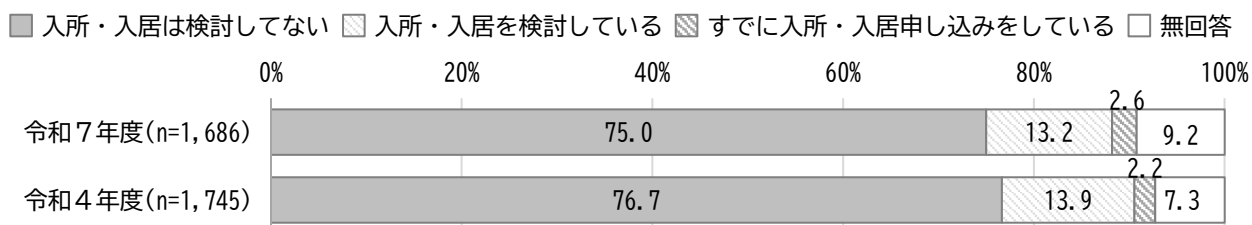


単位：%

	人数	自宅で主に介護サービス等を利用したい	自宅で主に家族や親族に介護をもらいたい	子どもや親族等の家で介護をもらいたい	公営住宅(シルバーピア等)での生活	公的な施設(特別養護老人ホーム等)での生活	民間の施設(有料老人ホーム等)での生活	その他	わからない	無回答
全体	1,686	44.3	20.3	1.9	2.4	8.5	2.3	0.7	9.3	10.3
65～74歳:男性	112	50.9	12.5	0.0	8.0	4.5	0.9	0.0	17.9	5.4
75～84歳:男性	328	43.6	21.3	0.9	1.8	8.5	1.5	0.9	11.0	10.4
85歳以上:男性	224	42.4	22.3	1.3	1.3	9.4	1.8	0.0	8.0	13.4
65～74歳:女性	106	36.8	17.0	3.8	7.5	9.4	1.9	0.0	11.3	12.3
75～84歳:女性	452	48.5	18.1	0.9	1.3	9.1	3.1	1.3	7.5	10.2
85歳以上:女性	464	41.8	23.3	3.9	1.9	8.4	2.8	0.6	7.8	9.5
要介護1	564	46.3	17.4	2.1	1.4	6.6	2.8	1.1	10.5	11.9
要介護2	612	42.5	22.4	1.8	3.6	9.0	2.0	0.2	9.2	9.5
要介護3	244	43.9	14.8	2.5	2.0	13.1	3.3	1.2	8.2	11.1
要介護4	155	47.1	21.3	1.3	1.9	6.5	1.9	0.6	9.7	9.7
要介護5	111	41.4	34.2	0.9	2.7	9.0	0.0	0.9	5.4	5.4

問 29 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(単数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「入所・入居は検討していない」が75.0%で最も高く、次いで、「入所・入居を検討している」が13.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.6%となっている。

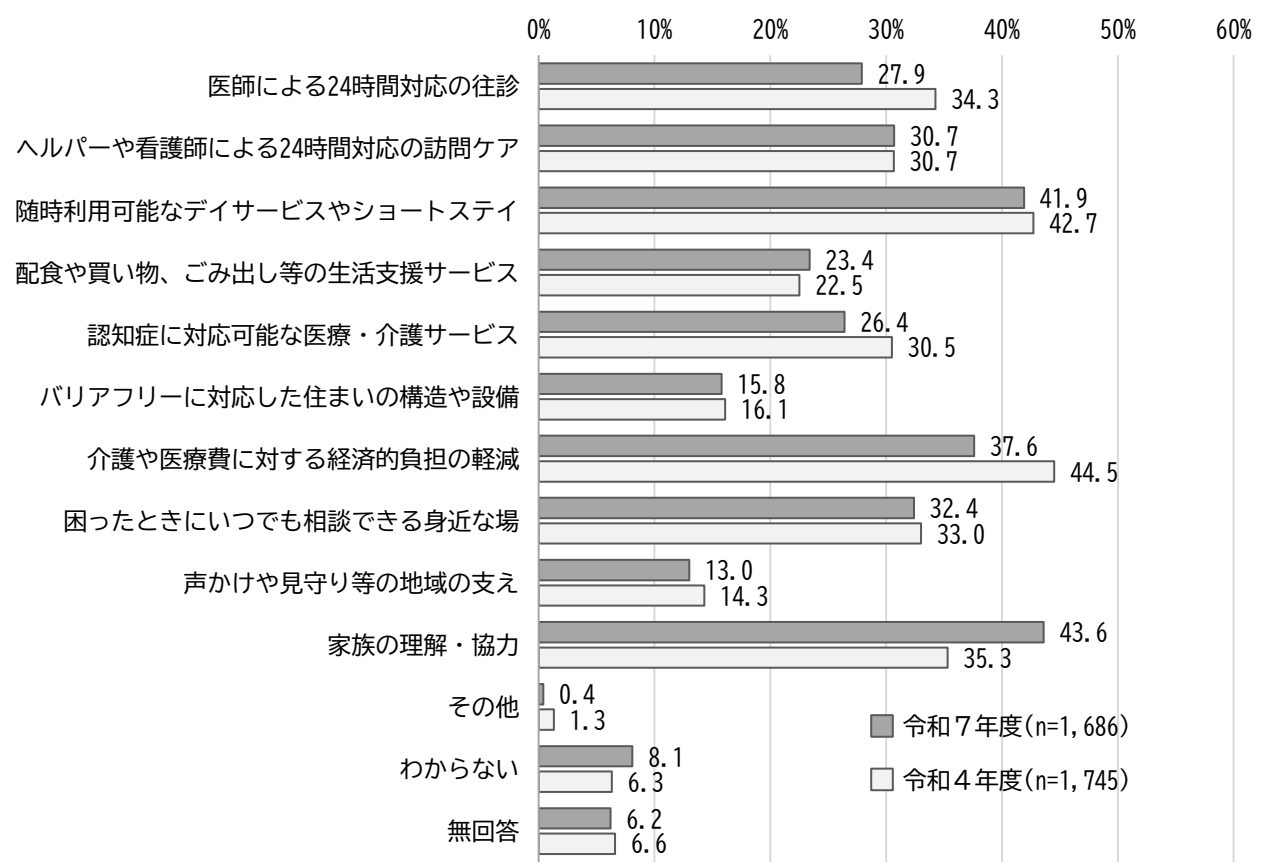


単位：%

	人数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体	1,686	75.0	13.2	2.6	9.2
65～74歳:男性	112	88.4	8.9	1.8	0.9
75～84歳:男性	328	75.0	10.7	4.3	10.1
85歳以上:男性	224	69.2	17.9	0.9	12.1
65～74歳:女性	106	72.6	13.2	2.8	11.3
75～84歳:女性	452	74.3	13.1	2.2	10.4
85歳以上:女性	464	75.9	13.8	2.8	7.5
要介護1	564	77.0	12.1	1.1	9.9
要介護2	612	76.8	11.9	1.1	10.1
要介護3	244	67.2	18.0	8.2	6.6
要介護4	155	70.3	17.4	3.2	9.0
要介護5	111	79.3	9.0	5.4	6.3

問 30 今後、在宅での生活を継続するにあたり、必要と感ずることを教えてください。
(複数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「家族の理解・協力」が43.6%で最も高く、次いで、「随時利用可能なデイサービスやショートステイ」が41.9%、「介護や医療費に対する経済的負担の軽減」が37.6%となっている。「家族の理解・協力」の割合は、令和4年度の35.3%から8.3ポイント上昇している。

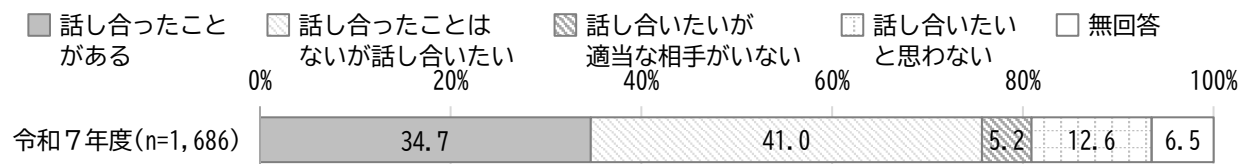


単位：%

	人数	医師による24時間対応の往診	ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア	随時利用可能なデイサービスやショートステイ	配食や買い物、ごみ出し等の生活支援サービス	認知症に対応可能な医療・介護サービス	バリアフリーに対応した住まいの構造や設備	介護や医療費に対する経済的負担の軽減	困ったときにいつでも相談できる身近な場	声かけや見守り等の地域の支え	家族の理解・協力	その他	わからない	無回答
全体	1,686	27.9	30.7	41.9	23.4	26.4	15.8	37.6	32.4	13.0	43.6	0.4	8.1	6.2
65～74歳:男性	112	25.9	33.0	40.2	24.1	15.2	14.3	40.2	26.8	8.0	29.5	2.7	17.0	0.0
75～84歳:男性	328	24.4	27.1	44.2	18.3	22.3	16.5	37.8	32.0	11.0	39.3	0.3	9.1	6.4
85歳以上:男性	224	33.5	28.1	39.7	21.0	24.6	12.9	32.6	32.6	13.4	41.5	0.4	6.3	6.7
65～74歳:女性	106	30.2	33.0	25.5	19.8	12.3	15.1	27.4	36.8	8.5	44.3	0.0	9.4	9.4
75～84歳:女性	452	24.8	33.4	42.5	27.0	28.3	15.7	37.8	33.2	15.5	45.8	0.2	6.6	7.5
85歳以上:女性	464	30.6	30.8	45.0	25.2	34.3	17.2	41.4	32.3	14.2	48.7	0.2	7.1	5.4
要介護1	564	21.8	24.3	39.7	24.6	28.9	14.4	33.5	35.1	17.0	47.9	0.5	9.2	6.7
要介護2	612	23.0	28.3	38.9	24.5	23.5	15.7	36.4	31.0	11.3	38.9	0.3	9.3	6.7
要介護3	244	33.2	33.6	49.2	23.0	27.0	18.4	41.8	30.3	12.3	41.0	0.0	6.6	4.9
要介護4	155	41.3	41.3	51.0	20.0	27.1	17.4	44.5	34.2	9.7	41.9	0.6	5.2	5.2
要介護5	111	55.0	55.9	41.4	16.2	27.0	15.3	45.9	28.8	9.0	55.9	0.9	2.7	5.4

問31 あなたが人生の最終段階で受けて、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合いたいと思いますか。(単数回答)

本設問(n=1,686)では、「話し合ったことはないが話し合いたい」が41.0%で最も高く、次いで、「話し合ったことがある」が34.7%、「話し合いたくない」が12.6%となっている。



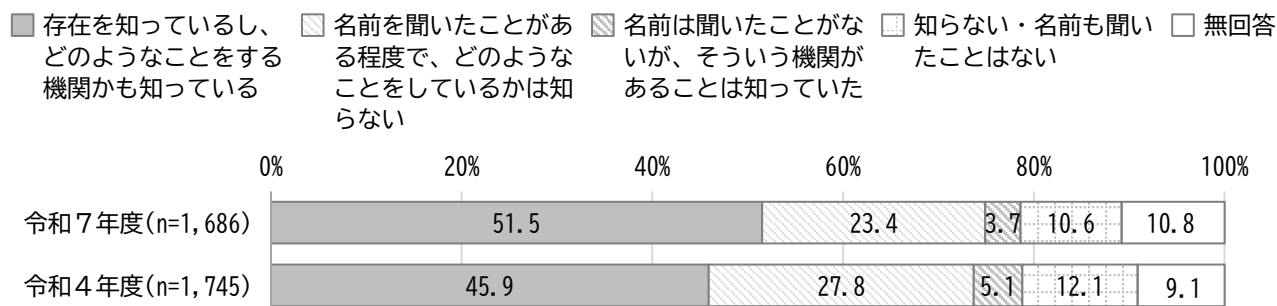
単位：%

	人数	話し合ったことがある	話し合ったことはないが話し合いたい	話し合いたいが適切な相手がない	話し合いたくない	無回答
全体	1,686	34.7	41.0	5.2	12.6	6.5
65～74歳:男性	112	33.9	35.7	10.7	17.9	1.8
75～84歳:男性	328	29.0	43.6	6.1	14.3	7.0
85歳以上:男性	224	35.3	43.3	4.5	10.7	6.3
65～74歳:女性	106	33.0	34.9	13.2	11.3	7.5
75～84歳:女性	452	35.6	42.3	4.0	10.4	7.7
85歳以上:女性	464	38.1	39.4	2.8	13.6	6.0
要介護1	564	32.1	43.4	5.9	11.9	6.7
要介護2	612	32.7	40.0	5.2	14.9	7.2
要介護3	244	38.1	38.9	4.1	12.3	6.6
要介護4	155	37.4	39.4	5.8	12.3	5.2
要介護5	111	47.7	40.5	2.7	5.4	3.6

(8) 区の実施に対する認知度や意見

問32 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(単数回答)

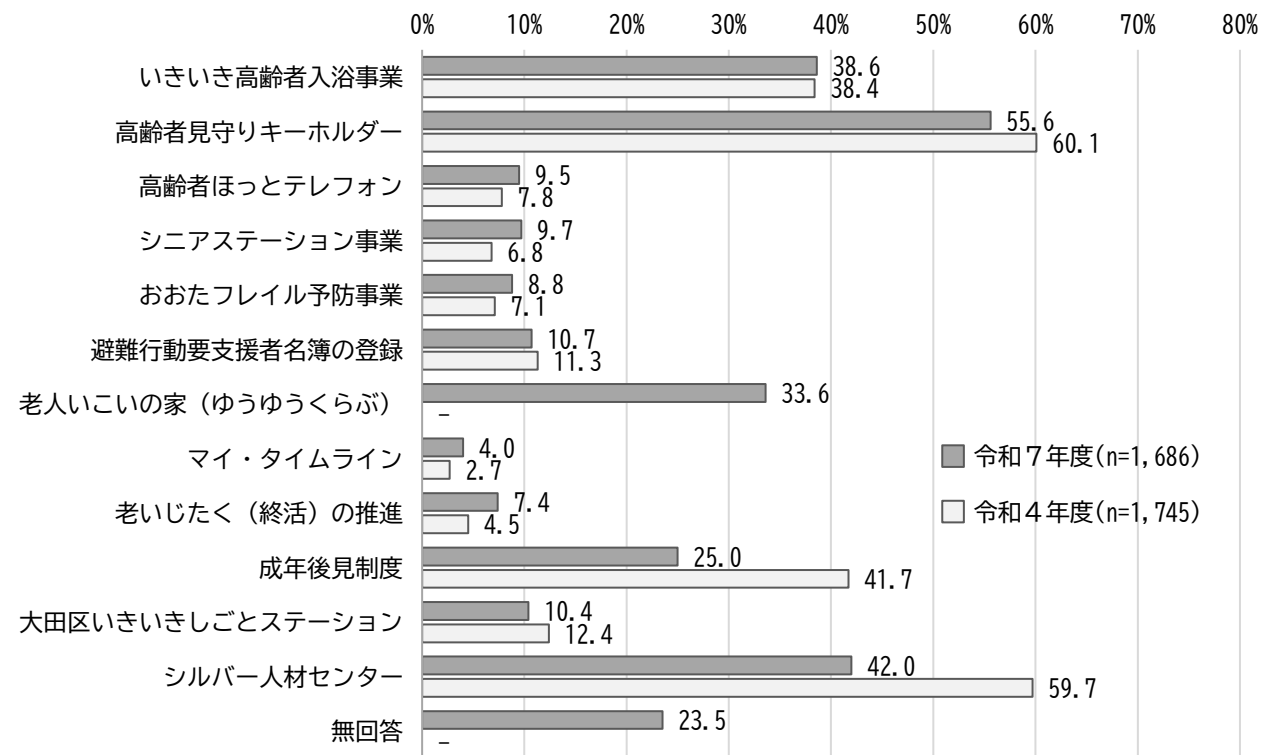
令和7年度(n=1,686)では、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」が51.5%で最も高く、次いで、「名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない」が23.4%、「知らない・名前も聞いたことはない」が10.6%となっている。「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」の割合は、令和4年度の45.9%から5.6ポイント上昇している。



問 33 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービス、②今後利用したいサービスを教えてください。(複数回答)

① 知っているサービス

令和7年度(n=1,686)では、「高齢者見守りキーホルダー」が55.6%で最も高く、次いで、「シルバー人材センター」が42.0%、「いきいき高齢者入浴事業」が38.6%となっている。「シルバー人材センター」の割合は、令和4年度の59.7%から17.7ポイント低下している。

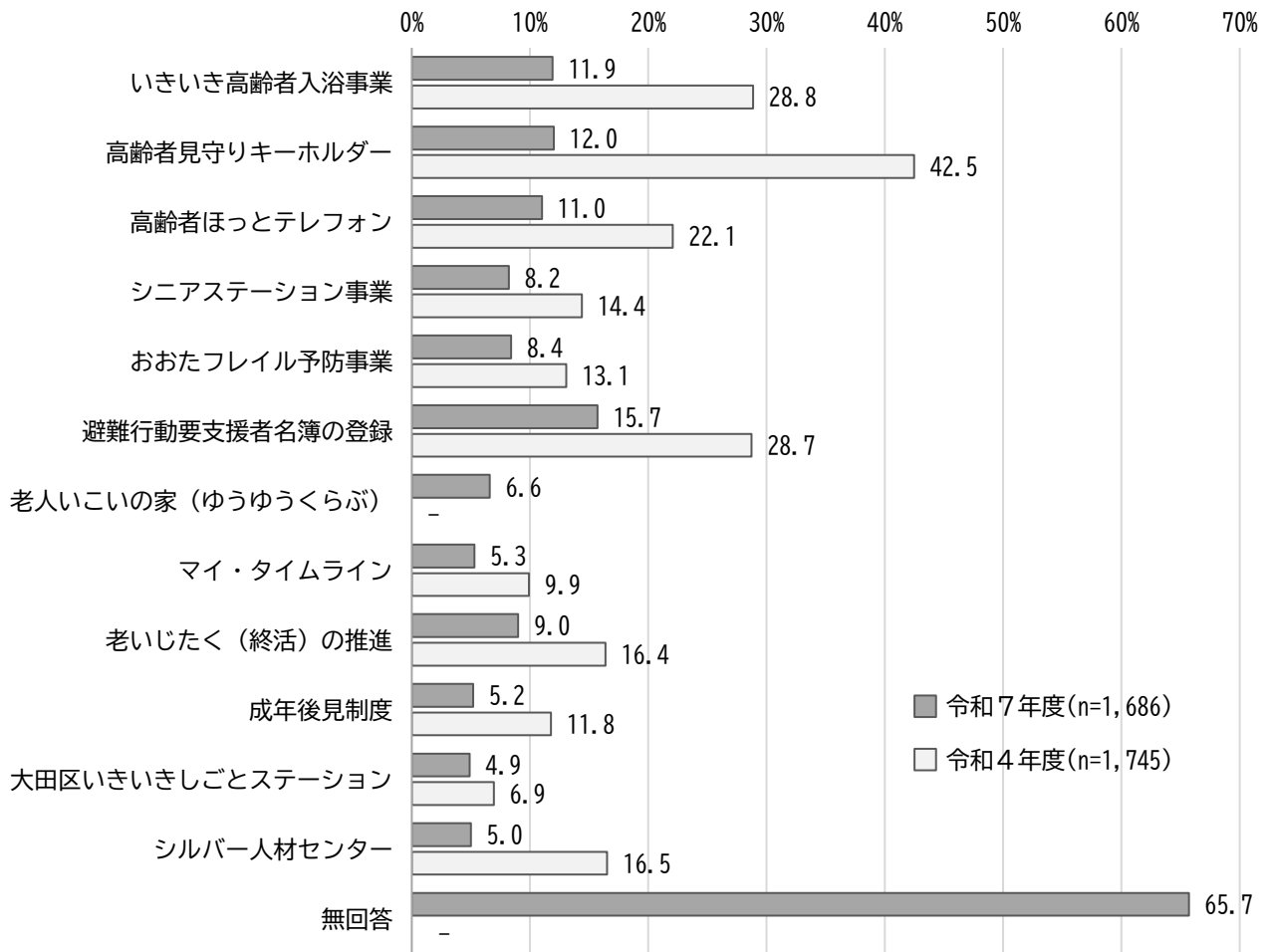


単位：%

	人数	いきいき高齢者入浴事業	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっとテレフォン	シニアステーション事業	おおたフレイル予防事業	避難行動要支援者名簿の登録	老人いこいの家(ゆうゆうくらぶ)	マイ・タイムライン	老いじたく(終活)の推進	成年後見制度	大田区いきいきごとステーション	シルバー人材センター	無回答
全体	1,686	38.6	55.6	9.5	9.7	8.8	10.7	33.6	4.0	7.4	25.0	10.4	42.0	23.5
65～74歳:男性	112	42.9	48.2	8.9	10.7	9.8	14.3	28.6	5.4	8.9	29.5	14.3	50.9	26.8
75～84歳:男性	328	43.3	55.5	11.6	11.0	10.1	13.1	39.3	5.5	10.1	30.2	13.1	48.5	18.6
85歳以上:男性	224	40.2	63.4	8.5	6.7	7.6	10.3	35.3	4.0	6.3	25.4	9.4	41.1	19.2
65～74歳:女性	106	32.1	45.3	10.4	13.2	15.1	13.2	27.4	4.7	8.5	22.6	12.3	41.5	30.2
75～84歳:女性	452	38.5	52.7	8.8	10.2	8.0	9.7	34.7	3.5	6.6	23.2	8.8	40.0	25.9
85歳以上:女性	464	35.1	58.8	9.3	8.8	7.8	8.6	30.4	3.0	6.0	22.2	9.3	37.7	24.4
要介護1	564	40.4	61.0	8.9	9.9	7.8	5.9	34.2	3.5	8.3	25.2	10.5	41.7	21.6
要介護2	612	37.3	53.3	9.5	10.1	9.6	8.7	34.3	3.4	5.6	23.7	10.1	40.2	25.8
要介護3	244	41.8	56.1	12.7	10.2	10.7	17.6	38.5	6.1	10.2	25.4	12.7	45.9	19.3
要介護4	155	32.9	50.3	9.0	8.4	9.7	19.4	33.5	6.5	10.3	29.7	11.0	40.6	27.7
要介護5	111	37.8	46.8	7.2	7.2	4.5	18.9	16.2	1.8	1.8	23.4	6.3	46.8	23.4

⑥ 今後利用したいサービス

令和7年度(n=1,686)では、「避難行動要支援者名簿の登録」が15.7%で最も高く、次いで、「高齢者見守りキーホルダー」が12.0%、「いきいき高齢者入浴事業」が11.9%となっている。「高齢者見守りキーホルダー」の割合は、令和4年度の42.5%から30.5ポイント低下している。

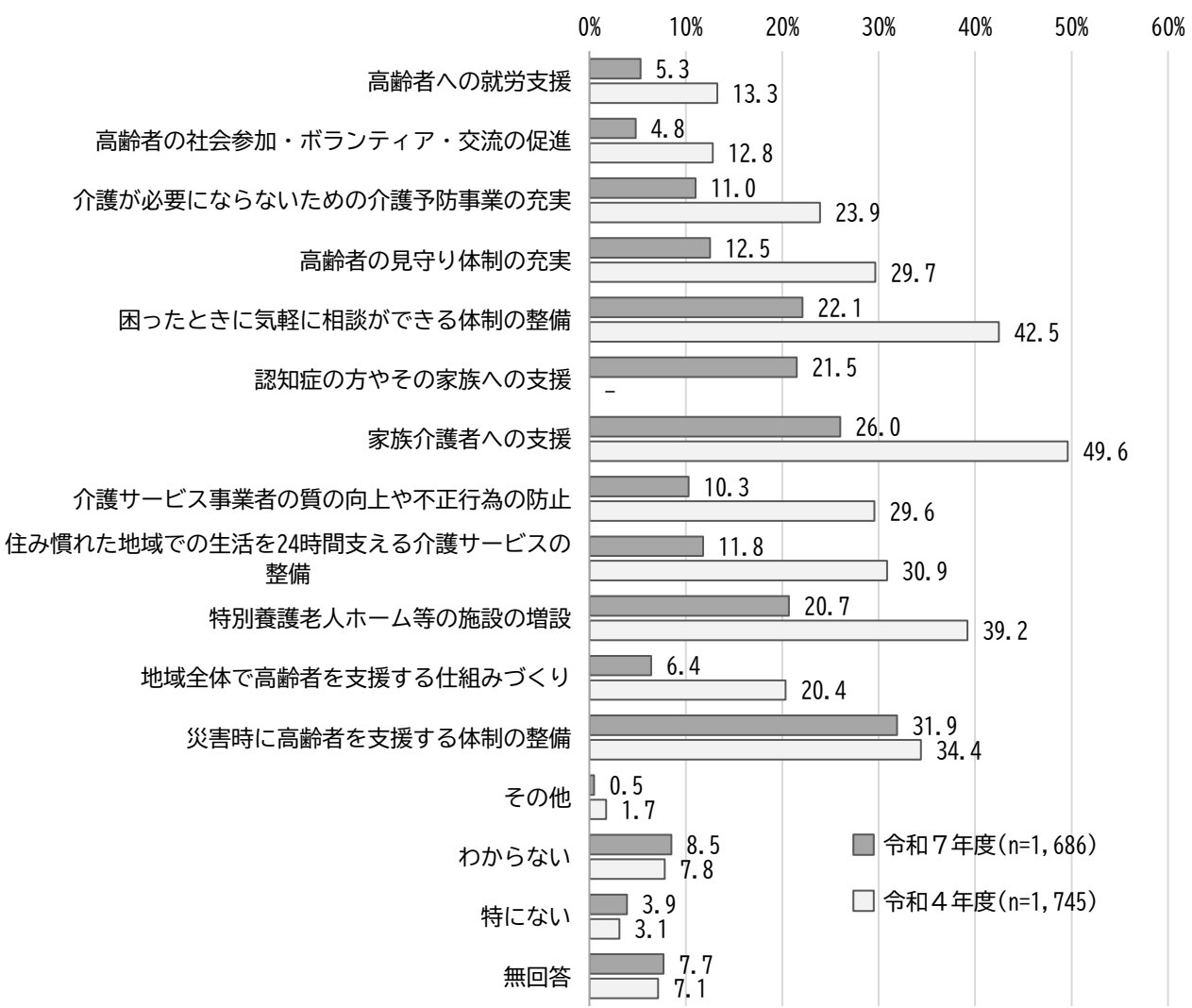


単位：%

	人数	いきいき高齢者入浴事業	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっとテレフォン	シニアステーション事業	おおたフレイル予防事業	避難行動要支援者名簿の登録	老人いこいの家(ゆうゆうくらぶ)	マイ・タイムライン	おいじたく(終活)の推進	成年後見制度	大田区いきいきしごとステーション	シルバー人材センター	無回答
全体	1,686	11.9	12.0	11.0	8.2	8.4	15.7	6.6	5.3	9.0	5.2	4.9	5.0	65.7
65～74歳:男性	112	10.7	9.8	9.8	6.3	6.3	15.2	4.5	2.7	5.4	4.5	2.7	4.5	72.3
75～84歳:男性	328	11.3	12.5	12.5	8.2	7.9	15.2	7.0	5.8	10.4	7.0	5.8	4.6	64.0
85歳以上:男性	224	11.2	12.5	11.6	8.9	7.1	13.4	7.1	4.5	8.0	3.6	3.6	5.4	67.0
65～74歳:女性	106	6.6	9.4	6.6	2.8	4.7	12.3	3.8	2.8	8.5	4.7	3.8	3.8	72.6
75～84歳:女性	452	11.1	11.7	11.1	9.1	8.4	15.0	6.4	6.0	9.1	5.1	5.5	3.8	67.7
85歳以上:女性	464	15.1	12.9	11.0	8.8	10.6	18.5	7.3	6.0	9.5	5.2	5.0	6.7	61.0
要介護1	564	11.0	14.7	13.3	10.3	10.3	16.0	8.2	6.9	10.8	5.5	6.4	6.0	63.7
要介護2	612	11.3	12.9	9.3	5.7	6.4	16.7	5.7	3.1	7.0	3.9	3.3	4.6	65.5
要介護3	244	12.7	9.8	12.7	11.1	9.8	16.8	6.6	8.6	11.1	9.0	6.1	5.3	65.2
要介護4	155	16.8	7.7	7.1	7.1	7.7	11.6	5.8	4.5	6.5	3.2	3.2	1.9	74.2
要介護5	111	11.7	4.5	10.8	7.2	7.2	11.7	4.5	3.6	9.9	5.4	5.4	5.4	65.8

問 34 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考える事業・サービスを教えてください。(複数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「災害時に高齢者を支援する体制の整備」が31.9%で最も高く、次いで、「家族介護者への支援」が26.0%、「困ったときに気軽に相談ができる体制の整備」が22.1%となっている。「家族介護者への支援」の割合は、令和4年度の49.6%から23.6ポイント低下している。



単位：％

	人数	高齢者への就労支援	高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進	高齢者の見守り体制の充実 介護が必要にならないための介護予防事業の充実	高齢者の見守り体制の充実	困ったときに気軽に相談ができる体制の整備	認知症の方やその家族への支援	家族介護者への支援	介護サービス事業者の質の向上 や不正行為の防止	住み慣れた地域での生活を24時間支える介護サービスの整備	特別養護老人ホーム等の施設を増設	地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり	災害時に高齢者を支援する体制の整備	その他	わからない	特にない	無回答
全体	1,686	5.3	4.8	11.0	12.5	22.1	21.5	26.0	10.3	11.8	20.7	6.4	31.9	0.5	8.5	3.9	7.7
65～74歳:男性	112	6.3	5.4	12.5	12.5	25.0	17.9	21.4	14.3	11.6	17.0	6.3	24.1	0.9	12.5	7.1	6.3
75～84歳:男性	328	7.6	5.2	13.4	10.4	25.3	19.5	26.5	8.8	11.0	21.0	5.8	32.6	0.6	9.8	4.3	6.7
85歳以上:男性	224	5.4	5.8	10.3	12.5	21.4	20.1	29.5	10.7	12.1	24.6	6.7	32.1	0.9	6.3	4.0	5.8
65～74歳:女性	106	9.4	4.7	12.3	10.4	30.2	17.9	27.4	14.2	15.1	14.2	9.4	27.4	0.0	12.3	5.7	3.8
75～84歳:女性	452	4.2	4.9	9.1	12.6	20.6	22.3	24.6	11.9	13.3	19.9	7.5	33.0	0.4	6.2	2.0	9.5
85歳以上:女性	464	3.7	3.9	10.8	14.4	19.0	24.4	26.1	7.5	10.1	21.8	5.0	33.0	0.2	9.3	4.1	8.6
要介護1	564	6.9	7.3	14.0	14.7	24.6	21.5	23.2	8.7	12.4	19.0	7.8	29.1	0.2	7.6	5.3	9.0
要介護2	612	3.8	3.4	9.3	10.5	23.2	21.9	24.7	11.4	10.1	19.9	5.7	31.9	0.7	10.3	3.4	8.5
要介護3	244	5.7	4.5	8.2	12.3	19.3	19.7	30.7	9.4	9.8	26.6	5.7	36.5	0.0	7.4	2.9	4.9
要介護4	155	3.9	3.9	10.3	11.0	14.2	21.3	26.5	11.0	13.5	21.3	5.2	34.8	1.9	9.0	3.9	5.2
要介護5	111	7.2	1.8	11.7	15.3	19.8	23.4	36.0	12.6	19.8	19.8	6.3	31.5	0.0	5.4	0.9	5.4

問 35 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。(自由記入)

※意見等の一部について要旨を記載

■介護保険制度・サービスに関すること：50件

【施設・設備の充実：20件】

- ・特別養護老人ホームに入居しやすくしてほしい。(増設と早い段階からの入居)
- ・特養のショートステイの受け入れの幅を広くしてほしい。寝たきりで車いすに乗れず食事介護が必要なものの受け入れが出来る様にしてほしい。
- ・特別養護老人ホームは入居まで時間がかかり、民間の有料ホームは高額で入れないため、年金収入の範囲で入居できる施設を望んでいる。

【介護人材の育成・処遇改善：11件】

- ・サービスを受ける家族の立場として、自治体や事業者で働く人の生活が充実してこそ質の高いサービスが提供されると思うので、まずは従事者の待遇充実を優先してほしい。それが結果的に利用者にも還元されると考えている。

【居宅系サービスの充実・質の向上：10件】

- ・食事付きデイサービスが少なく、一人で食事をとれない高齢者の栄養不足が筋力低下や転倒リスクにつながるため、送迎付き給食事業など予防的支援を望む。また、ひとり暮らしの見守りのため、介護者側で操作できる信頼性の高い24時間常時接続のテレビ電話システムの開発を希望している。
- ・以前ショートステイを利用しようとしたが空きがなく利用できなかった。介護者の体調不良など急に利用が必要な場合にも対応できる体制を整えてほしい。事前予約できるケースだけでなく、緊急時に利用できない現状を改善してほしい。

【利用者の経済的負担：5件】

- ・介護保険利用料が高いので安くしてほしい。
- ・福祉施設や老人ホームなども積極的に利用や検討したいが費用がネックとなりなかなか踏み出せない。もう少し価格を抑えたものも出してもらいたい。

【介護保険サービス・支援に関する要望：4件】

- ・介護保険サービスはとても充実したサービスになっていない。もっと利用者の意見を直接聞く状況を作るべきだ。
- ・要介護3だが複数の骨折やしびれで歩行・外出が困難なため要介護4に見直してほしい。医療・介護費の負担が大きく2割負担を見直してほしいほか、歩行困難者へのタクシー券支給を求める。また、年金生活者と生活保護受給者との負担格差にも不公平を感じている。

■行政への意見・提案：41件

【大田区の施策・運営：17件】

- ・紙おむつの支給事業は助かっている。継続して行って欲しい。
- ・申請をしてから利用できるまでの期間が長い、書類の提出など一か所ですべてできると助かる。
- ・よい施策があっても、すべて申請しないと利用できない。窓口まで相談に行ける人はよいが、周りでアドバイスして、つないでいくことが必要。積極的に関与するにも、プライバシーに配慮して踏み込めないこともある。毎日不安を口にしたりしても、寄り添う人がいれば、生きていけると思う。

【大田区へのご意見その他：9件】

- ・現在様々なサービスを利用しています。手厚いサービスに深く感謝しています。
- ・施策立案者には高齢期の実情を実際に見て理解してほしい。高齢者はそれぞれ長い人生を歩んできており、どのような最期が幸せなのかを考えてほしい。

【情報提供・周知の工夫：8件】

- ・介護にかかる情報を定期的に知らせてほしい。
- ・認知症サポーター養成講座は受講者の年齢層が高いため、若い世代にも周知してほしい。また、認知症の母を美容院に連れて行くのが難しいため、気軽に利用できる場所を望んでいる。(※本回答は調査対象者本人ではなく、認知症のため娘が代筆している。)

【災害時の対応・防犯・安全：4件】

- ・独居の高齢者の情報を区、警察、消防で共有してほしい。
- ・品川区の自宅から実家の母を介護しており、不在時に地震などの災害が起きた場合が心配である。民生委員による声かけなどの支援が受けられるのか知りたい。

【相談窓口の周知・充実：3件】

- ・困ったときに駆け込める場所を地域に設けてほしい。港区のように「困ったら来てよい」と示すシールを店や事務所に掲示し、大田区でも子どもや高齢者が安心して利用できる仕組みを広げてほしい。

■生活課題・困りごとに関すること：30件

【介護者の負担・求められる支援：7件】

- ・要介護5・身体障害1級の親を介護しており、ショートステイが希望通り利用できず自費施設を使っているため費用負担が大きい。介護離職もしており、介護を受ける側の支援は充実しているが、介護する側への支援や経済的サポートがなく、介護後の生活に不安を感じている。

【移動に関する支援：6件】

- ・一人で外出困難な方の外出支援の仕組みが必要。地域活動などに参加したくても一人で行けないので諦めてしまう。外出支援を家族が担うとすると、その度に仕事を休む事は難しいのではないかと。
- ・電動車いすを使用する主人の通院に区のタクシー券を利用しているが、介護タクシーは高額で、一般のタクシーも手配を断られることが多く困っている。自家用車もないため、タクシー会社への協力を呼びかけてほしい。

【経済的な不安：6件】

- ・物価高騰の為、生活支援金の支給を望みます。
- ・訪問ドクターや、訪問看護師は、介護保険ではなく、健康保険扱いで、利用代が高いのにおどろいた。そこをもっと利用しやすい料金にしてほしい。

【その他の生活上の困難や要望：6件】

- ・私は言葉が分からない。区で失語症のケア、見守りを強化してほしい。
- ・特に会話が少ない、いろいろ会話団体を紹介してもらおうが定期的に参加する気持ちが起きない。

【認知症への対応：5件】

- ・認知症の高齢者でも支援を受けながら、報酬がなくてもリハビリとして働ける施設がほしい。デイサービスの脳トレについていけず苦痛なため、読み書き計算が難しくても、洗濯物たたみや食器洗いなどの軽作業で働いている実感が持てる場を望んでいる。
- ・認知症の初期段階の対応が特に大変で、家族への支援が不足していると感じている。本人にできることがあっても実際にはサポートが必要で、仕事を辞めざるを得なかった。初期段階で支える家族は苦しんでおり、分かりやすい相談窓口を増やしてほしい。現在はケアマネの支援に助けられている。

■アンケート調査についての意見：6件

- ・アンケートは設問が50問と多く細かいため、本人や家族にとって時間的・精神的負担が大きく、回答意欲が下がる。設問はもっと簡潔で答えやすく工夫してほしい。
- ・本人の立場で家族が答えるというのは難しい。本人は軽く認知症だったり高齢による現実認識の甘さがあったり、施策のためのアンケートとしては有益な回答とならないのでは。介護者（家族やヘルパーさん）の意見を拾ってはどうか。特にヘルパーさんは多くの事例を知っていると思う。

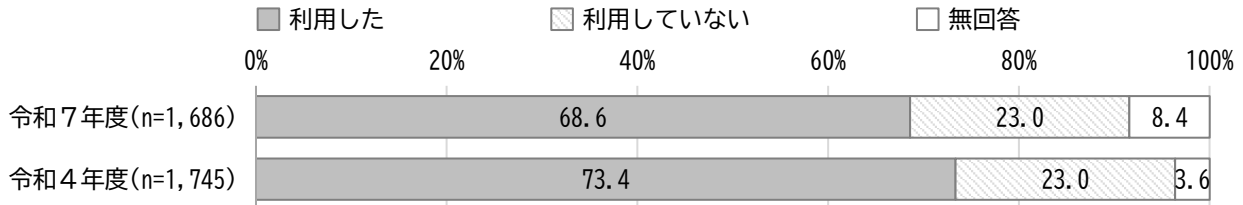
■その他：30件

- ・今の介護に満足している。
- ・週2日デイサービスに行っている。
- ・地域包括支援センターの相談員の方は、本当に優しく親身になって相談に乗っていただき助かっています。

(9) 介護保険サービスの利用状況

問 36 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(単数回答)

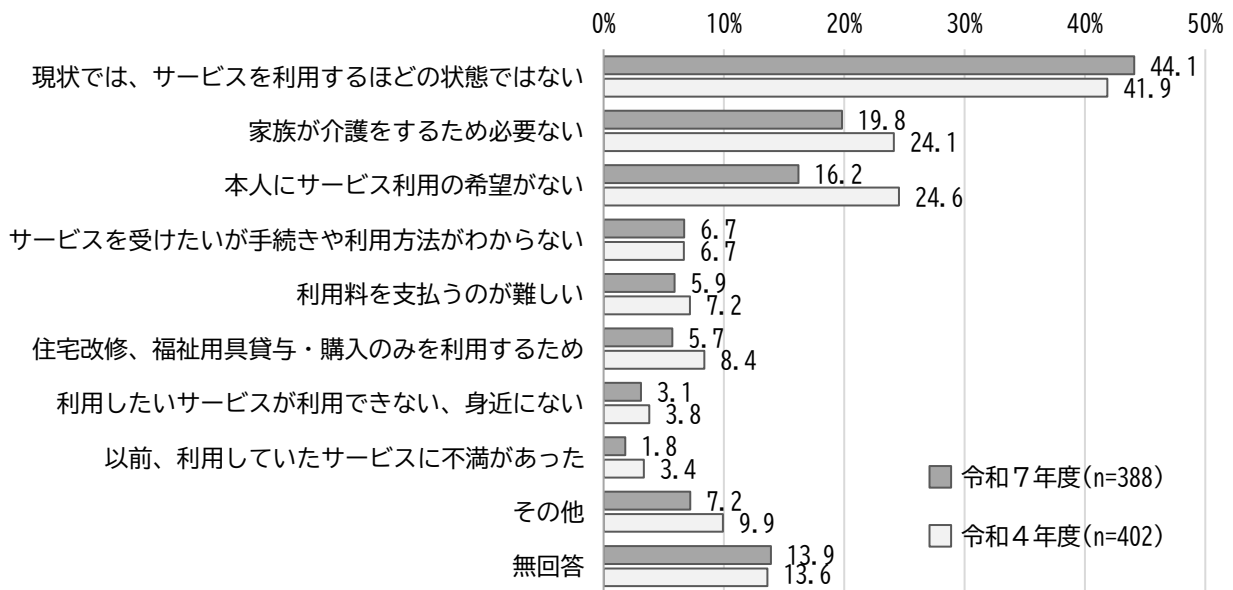
令和7年度(n=1,686)では、「利用した」が68.6%、「利用していない」が23.0%であった。「利用した」の割合は、令和4年度の73.4%から4.8ポイント低下している。



【問36において、「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。】

問 37 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください。(複数回答)

令和7年度(n=388)では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.1%で最も高く、次いで、「家族が介護をするため必要ない」が19.8%、「本人にサービス利用の希望がない」が16.2%となっている。「本人にサービス利用の希望がない」の割合は、令和4年度の24.6%から8.4ポイント低下している。

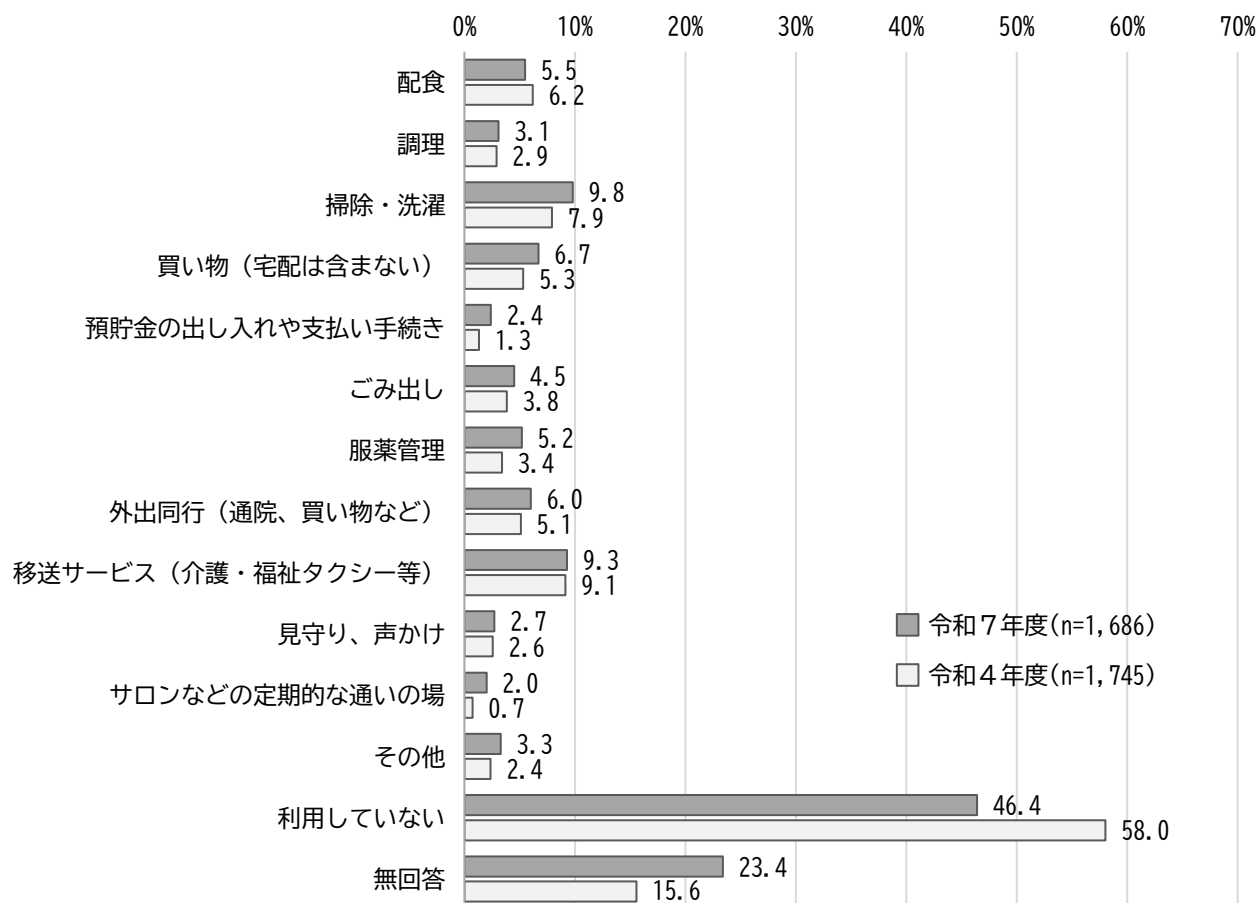


単位：%

	人数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答
全体	388	44.1	16.2	19.8	1.8	5.9	3.1	5.7	6.7	7.2	13.9
要介護1	161	56.5	16.1	14.3	1.2	5.6	0.0	3.1	5.6	6.2	13.0
要介護2	139	36.7	18.7	20.1	2.2	5.8	2.2	7.9	5.8	9.4	16.5
要介護3	49	34.7	14.3	18.4	2.0	6.1	12.2	6.1	10.2	6.1	14.3
要介護4	24	37.5	8.3	33.3	4.2	8.3	8.3	4.2	16.7	8.3	8.3
要介護5	15	20.0	13.3	60.0	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7

問 38 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数回答)

令和7年度(n=1,686)では、「利用していない」が46.4%で最も高く、次いで、「掃除・洗濯」が9.8%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が9.3%となっている。「利用していない」の割合は、令和4年度の58.0%から11.6ポイント低下している。

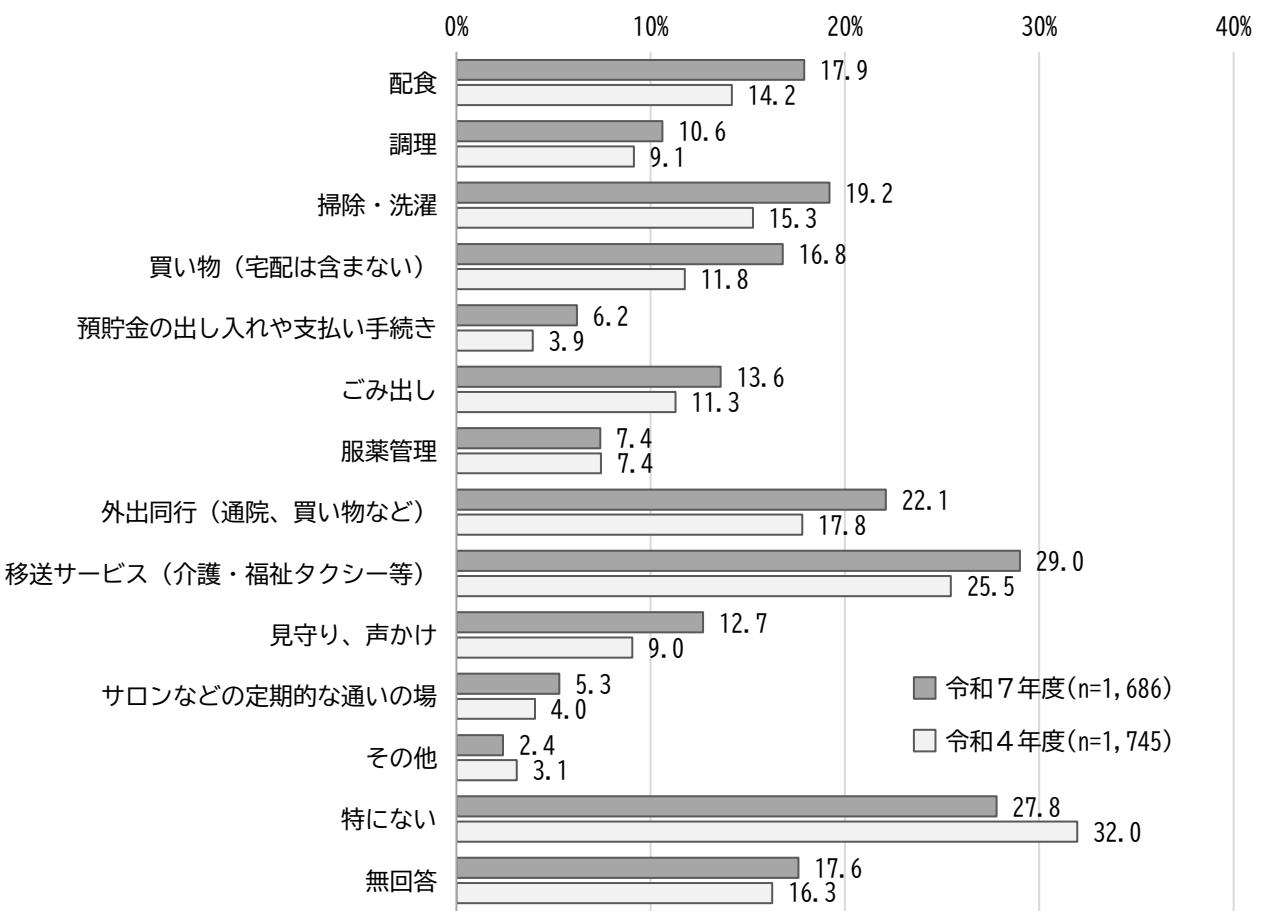


単位：%

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	預貯金のおし入れや支払い手続き	ごみ出し	服薬管理	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	1,686	5.5	3.1	9.8	6.7	2.4	4.5	5.2	6.0	9.3	2.7	2.0	3.3	46.4	23.4
65~74歳:男性	112	2.7	2.7	12.5	12.5	2.7	4.5	3.6	9.8	15.2	1.8	1.8	2.7	48.2	17.9
75~84歳:男性	328	3.7	2.1	7.9	5.8	3.0	4.0	3.7	4.3	6.7	3.4	1.2	3.0	47.9	27.7
85歳以上:男性	224	4.5	1.8	6.7	3.1	1.3	1.3	6.3	4.0	8.9	1.3	2.7	4.0	46.0	26.3
65~74歳:女性	106	7.5	0.0	7.5	4.7	4.7	4.7	4.7	6.6	19.8	1.9	2.8	3.8	43.4	22.6
75~84歳:女性	452	7.3	4.0	11.9	6.6	1.3	4.9	5.8	6.4	10.4	2.9	2.4	3.1	41.2	24.8
85歳以上:女性	464	5.6	4.3	10.3	8.2	2.8	6.0	5.8	6.9	6.5	3.2	1.5	3.2	50.9	19.2
要介護1	564	4.1	3.5	12.8	8.7	2.8	4.3	7.1	6.4	4.6	3.4	2.7	3.9	43.8	24.5
要介護2	612	5.6	3.1	10.6	6.4	1.8	4.9	4.4	6.2	8.5	2.3	2.1	3.1	46.7	23.7
要介護3	244	7.0	2.0	7.0	5.3	2.9	4.5	2.9	6.1	12.7	2.9	0.4	2.5	49.2	23.4
要介護4	155	6.5	4.5	5.8	5.2	2.6	5.2	7.1	7.7	16.1	2.6	1.3	1.9	49.0	21.9
要介護5	111	7.2	0.9	1.8	3.6	1.8	2.7	2.7	0.9	20.7	1.8	1.8	4.5	47.7	18.9

問 39 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.0%で最も高く、次いで、「特にない」が27.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が22.1%となっている。「買い物（宅配は含まない）」（16.8%）の割合は、令和4年度の11.8%から5.0ポイント上昇している。



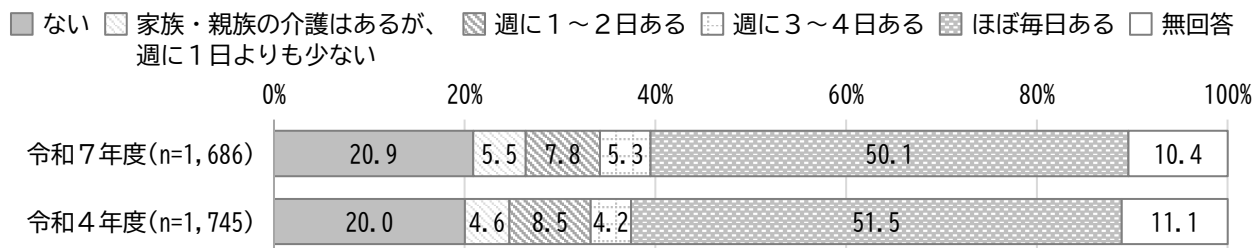
単位：%

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	預貯金の出し入れや支払い手続き	ごみ出し	服薬管理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特にない	無回答
全体	1,686	17.9	10.6	19.2	16.8	6.2	13.6	7.4	22.1	29.0	12.7	5.3	2.4	27.8	17.6
65～74歳:男性	112	15.2	4.5	15.2	16.1	5.4	9.8	4.5	14.3	29.5	7.1	4.5	0.9	34.8	10.7
75～84歳:男性	328	14.9	8.2	18.3	14.6	7.3	13.7	6.7	17.7	28.4	11.0	4.0	2.4	29.3	20.1
85歳以上:男性	224	18.3	8.9	14.7	13.8	3.1	11.6	6.3	16.5	26.3	11.2	5.8	1.3	31.7	18.8
65～74歳:女性	106	16.0	8.5	16.0	15.1	7.5	9.4	8.5	23.6	23.6	9.4	7.5	4.7	28.3	20.8
75～84歳:女性	452	19.9	14.6	23.9	20.8	7.5	15.5	8.2	27.0	33.4	16.4	6.6	1.8	22.1	18.6
85歳以上:女性	464	19.0	11.2	19.2	16.6	5.4	14.7	8.2	24.8	27.6	13.1	4.5	3.4	28.4	15.1
要介護1	564	15.8	9.4	19.7	16.1	7.3	12.9	8.9	22.0	24.5	12.8	6.0	1.4	27.8	20.4
要介護2	612	17.0	10.6	19.8	18.5	5.9	13.2	6.7	23.4	29.4	10.3	6.0	2.8	27.8	16.2
要介護3	244	22.1	13.9	21.7	19.7	5.7	18.4	9.4	23.8	32.4	18.4	3.7	2.5	26.6	16.8
要介護4	155	20.6	12.3	14.8	12.3	7.1	12.3	4.5	20.6	37.4	14.8	3.9	4.5	22.6	17.4
要介護5	111	20.7	7.2	14.4	11.7	1.8	10.8	3.6	14.4	30.6	9.9	3.6	2.7	36.9	12.6

(10) 家族等の介護者の状況

問 40 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（単数回答）

令和7年度(n=1,686)では、「ほぼ毎日ある」が50.1%で最も高く、次いで、「ない」が20.9%、「週に1～2日ある」が7.8%となっている。



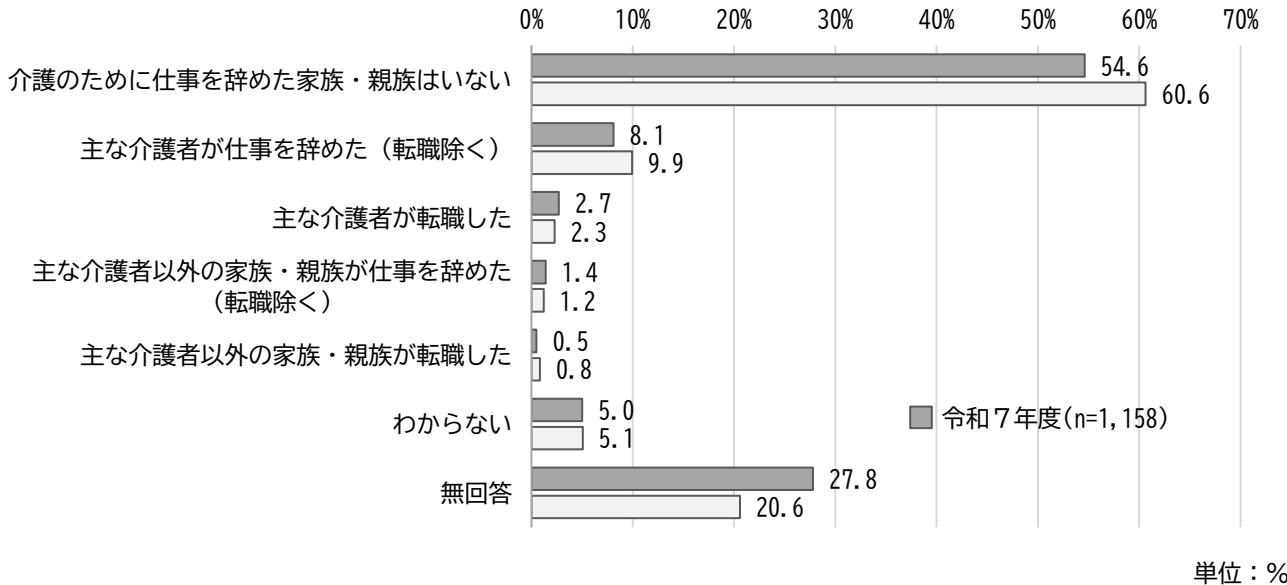
単位：%

	人数	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体	1,686	20.9	5.5	7.8	5.3	50.1	10.4
要介護1	564	28.0	8.2	9.9	7.3	34.4	12.2
要介護2	612	21.4	5.7	8.3	4.2	50.0	10.3
要介護3	244	13.1	3.7	7.0	3.7	61.1	11.5
要介護4	155	14.8	1.3	3.2	6.5	68.4	5.8
要介護5	111	7.2	0.9	1.8	2.7	81.1	6.3
自立+I	560	25.9	5.5	8.8	5.0	43.0	11.8
認知症Ⅱ	806	21.5	6.7	7.4	6.5	47.3	10.7
認知症Ⅲ以上	314	10.8	2.5	7.0	2.5	69.7	7.3

【問40で「1. ない」以外の回答をされた方は「B票」問41～50にご回答ください。なお、これらの質問については主な介護者の方がご回答ください。ただし、主な介護者によるご回答、ご記入が難しい場合は、ご本人（調査対象者の方）がわかる範囲でご回答・ご記入ください。】

問41 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数回答）

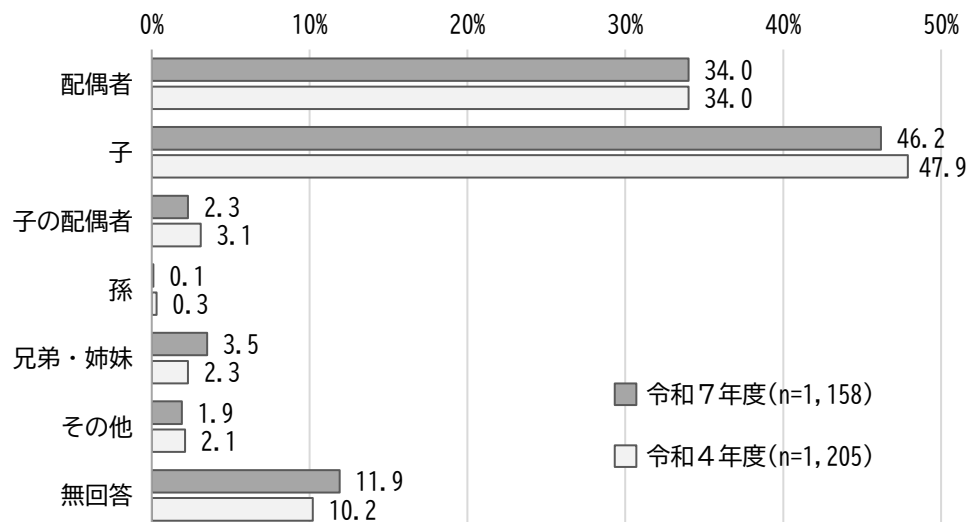
令和7年度(n=1,158)では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が54.6%で最も高く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.1%、「わからない」が5.0%となっている。「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合は、令和4年度の60.6%から6.0ポイント低下している。



	人数	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	1,158	8.1	1.4	2.7	0.5	54.6	5.0	27.8
要介護1	337	5.0	1.2	1.8	0.3	55.2	5.6	30.9
要介護2	418	6.7	1.2	3.6	0.7	57.7	5.0	25.4
要介護3	184	9.2	0.5	2.7	1.1	54.9	4.9	26.6
要介護4	123	13.0	2.4	2.4	0.0	45.5	6.5	30.1
要介護5	96	16.7	3.1	2.1	0.0	50.0	1.0	27.1
自立+I	349	6.6	0.9	2.0	0.3	55.3	6.3	28.9
認知症Ⅱ	547	7.7	1.3	2.4	0.4	53.4	4.9	30.0
認知症Ⅲ以上	257	10.9	1.9	4.3	1.2	56.4	3.5	21.8

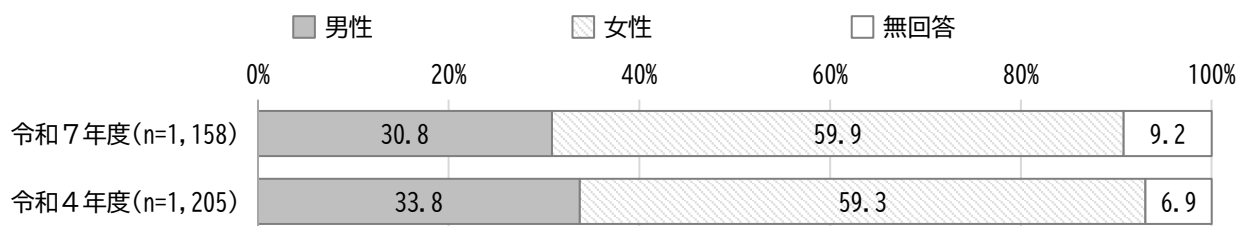
問 42 主な介護者の方は、どなたですか。(単数回答)

令和7年度(n=1,158)では、「子」が46.2%で最も高く、次いで、「配偶者」が34.0%、「兄弟・姉妹」が3.5%となっている。



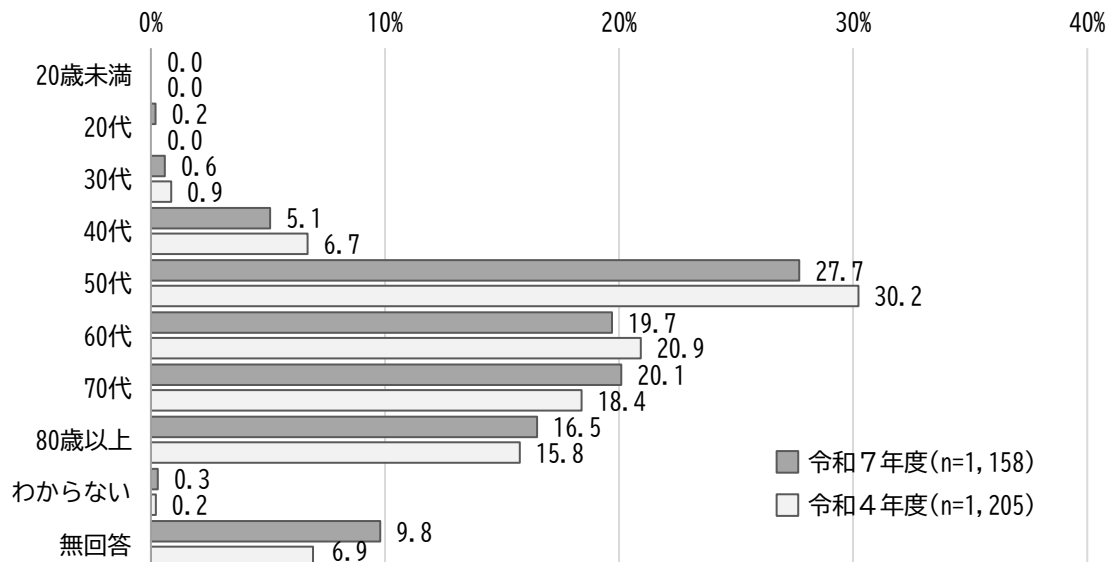
問 43 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(単数回答)

令和7年度(n=1,158)では、「男性」が30.8%、「女性」が59.9%であった。「男性」の割合は、令和4年度の33.8%から3.0ポイント低下している。



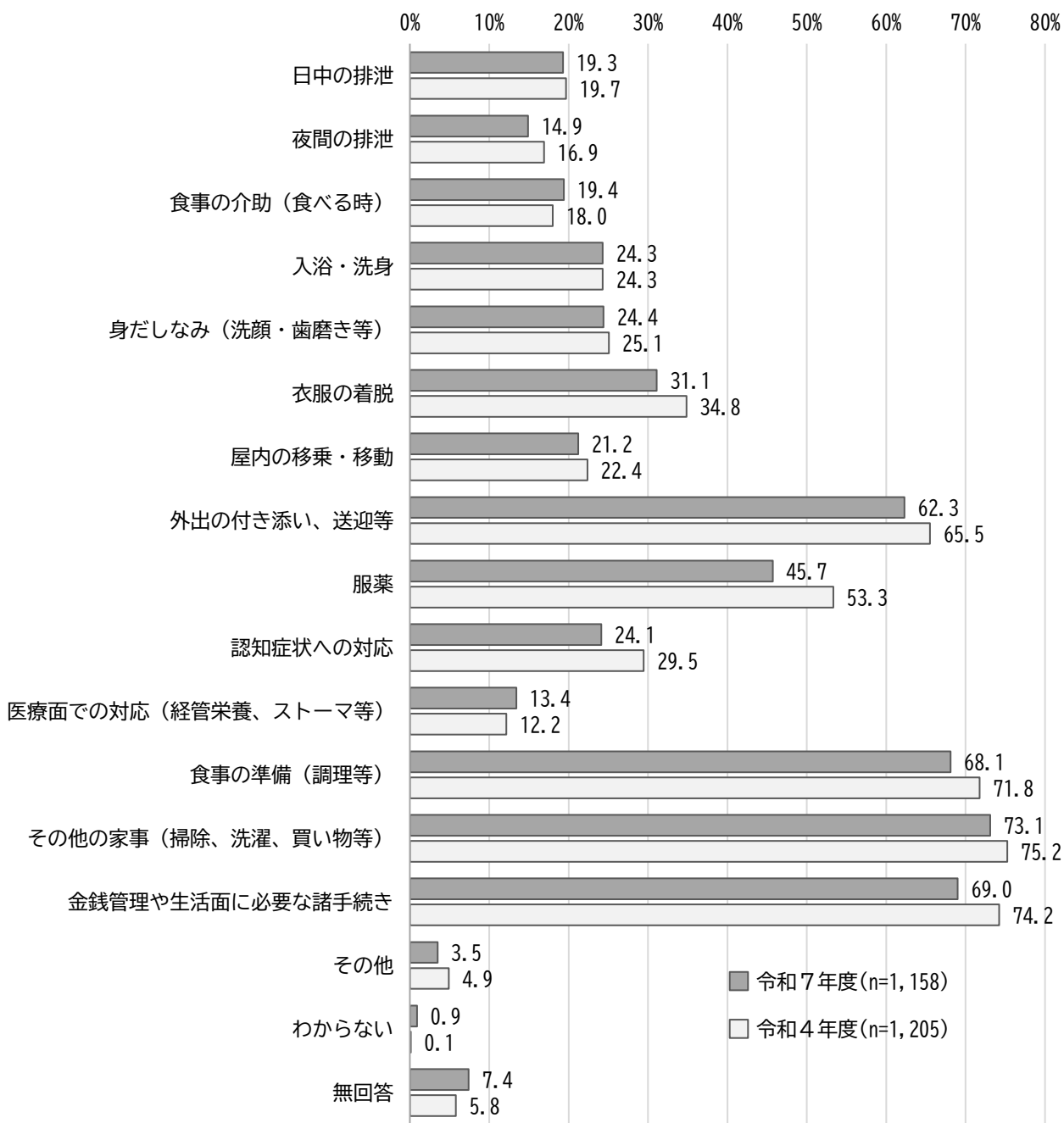
問 44 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(単数回答)

令和7年度(n=1,158)では、「50代」が27.7%で最も高く、次いで、「70代」が20.1%、「60代」が19.7%となっている。



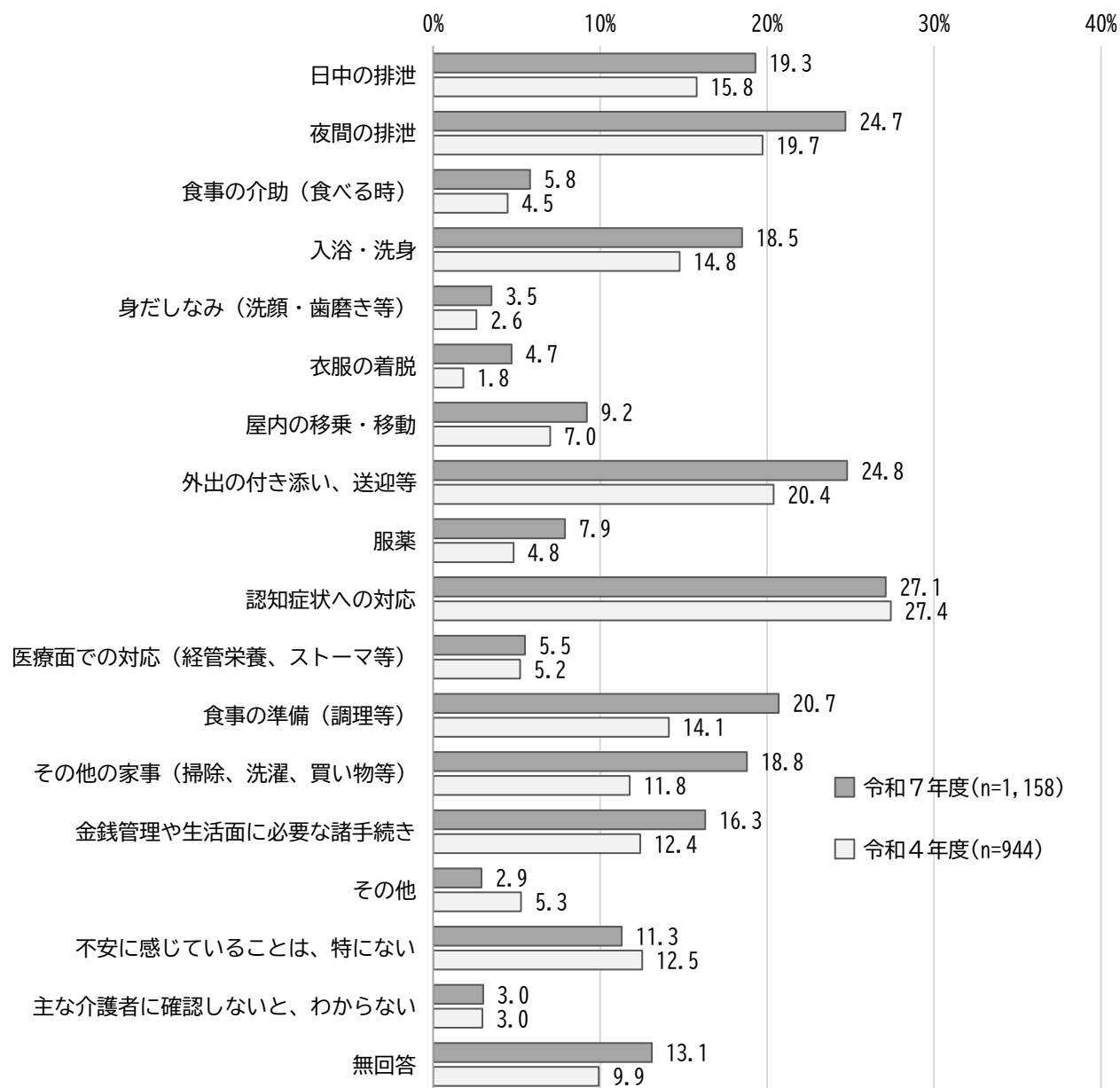
問 45 主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数回答)

令和7年度(n=1,158)では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が73.1%で最も高く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.0%、「食事の準備（調理等）」が68.1%となっている。「服薬」（45.7%）の割合は、令和4年度の53.3%から7.6ポイント低下している。



問 46 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（複数回答、3つまで選択可）

令和7年度(n=1,158)では、「認知症状への対応」が27.1%で最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」が24.8%、「夜間の排泄」が24.7%となっている。「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（18.8%）の割合は、令和4年度の11.8%から7.0ポイント上昇している。



主な介護者の方が行っている介護等

単位：%

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体	1,158	19.3	14.9	19.4	24.3	24.4	31.1	21.2	62.3	45.7	24.1	13.4	68.1	73.1	69.0	3.5	0.9	7.4
要介護1	337	0.9	0.6	5.3	14.2	9.8	11.0	8.0	59.6	34.1	25.8	9.8	57.6	65.0	61.4	2.7	1.2	10.1
要介護2	418	8.6	7.2	12.0	27.3	16.5	24.4	13.9	63.9	37.8	18.9	9.1	67.7	74.2	67.9	4.3	1.0	6.9
要介護3	184	29.3	25.0	26.6	34.2	40.2	47.3	31.0	70.7	56.0	31.5	16.8	74.5	74.5	76.6	3.3	0.0	5.4
要介護4	123	49.6	35.0	41.5	30.9	37.4	54.5	43.9	60.2	63.4	25.2	16.3	83.7	82.9	75.6	5.7	1.6	5.7
要介護5	96	72.9	53.1	59.4	18.8	63.5	69.8	51.0	51.0	78.1	25.0	34.4	75.0	82.3	77.1	0.0	0.0	6.3

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等

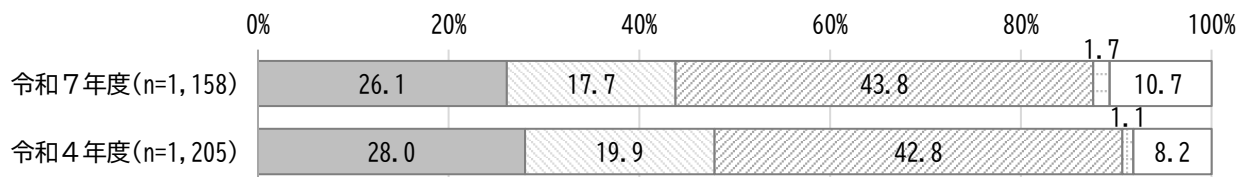
単位：%

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体	1,158	19.3	24.7	5.8	18.5	3.5	4.7	9.2	24.8	7.9	27.1	5.5	20.7	18.8	16.3	2.9	11.3	3.0	13.1
要介護1	337	13.9	19.0	4.2	16.6	2.7	4.2	4.7	29.4	10.7	29.1	5.0	20.5	18.7	19.0	2.7	11.6	3.3	16.6
要介護2	418	19.6	25.6	4.8	20.3	3.1	4.8	10.0	24.9	6.9	23.9	5.5	22.7	21.1	15.8	2.6	11.2	3.6	11.2
要介護3	184	22.3	31.5	7.6	25.0	8.2	5.4	13.0	27.7	8.2	35.3	3.8	19.6	17.4	15.8	1.1	6.5	1.1	12.0
要介護4	123	30.9	30.1	7.3	17.1	1.6	4.1	12.2	20.3	4.9	26.0	6.5	25.2	19.5	15.4	3.3	10.6	1.6	12.2
要介護5	96	16.7	20.8	10.4	6.3	1.0	5.2	9.4	8.3	6.3	19.8	9.4	9.4	11.5	11.5	8.3	20.8	5.2	12.5

問 47 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(単数回答)

令和7年度(n=1,158)では、「働いていない」が43.8%で最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」が26.1%、「パートタイムで働いている」が17.7%となっている。

■ フルタイムで働いている ■ パートタイムで働いている ▨ 働いていない □ 主な介護者に確認しないと、わからない □ 無回答



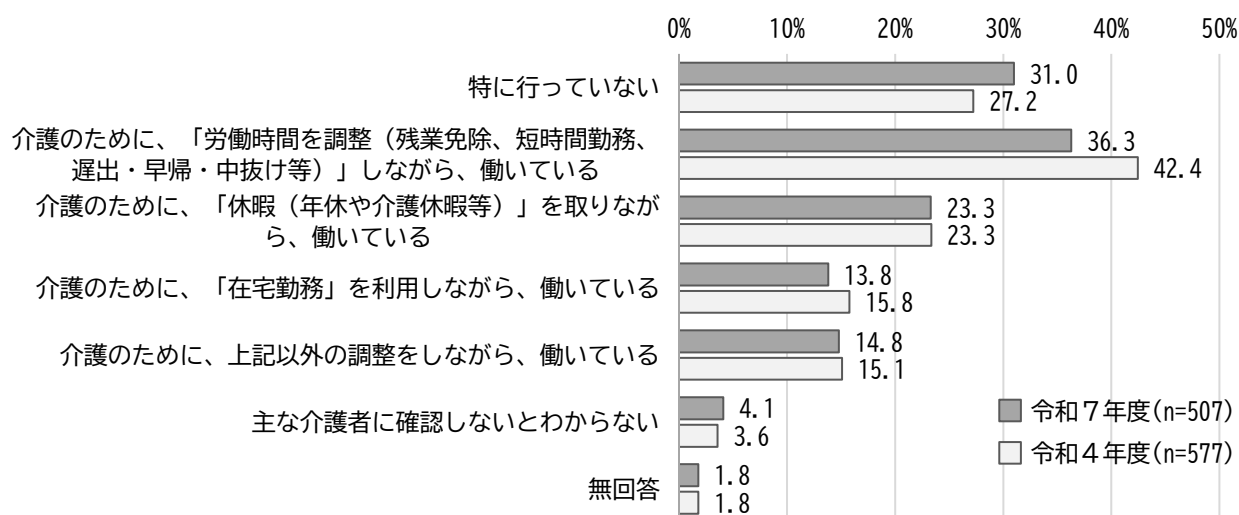
単位：%

	人数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	1,158	26.1	17.7	43.8	1.7	10.7
要介護1	337	29.7	18.7	37.7	1.8	12.2
要介護2	418	26.8	19.6	41.9	1.4	10.3
要介護3	184	19.6	14.7	51.6	3.3	10.9
要介護4	123	26.8	11.4	48.0	1.6	12.2
要介護5	96	21.9	19.8	53.1	0.0	5.2
自立+I	349	24.6	15.8	43.8	2.3	13.5
認知症Ⅱ	547	27.8	18.8	41.1	1.3	11.0
認知症Ⅲ以上	257	24.5	17.9	49.4	1.6	6.6

【問 48～50 は、問 47 において「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と回答した方にうかがいます。】

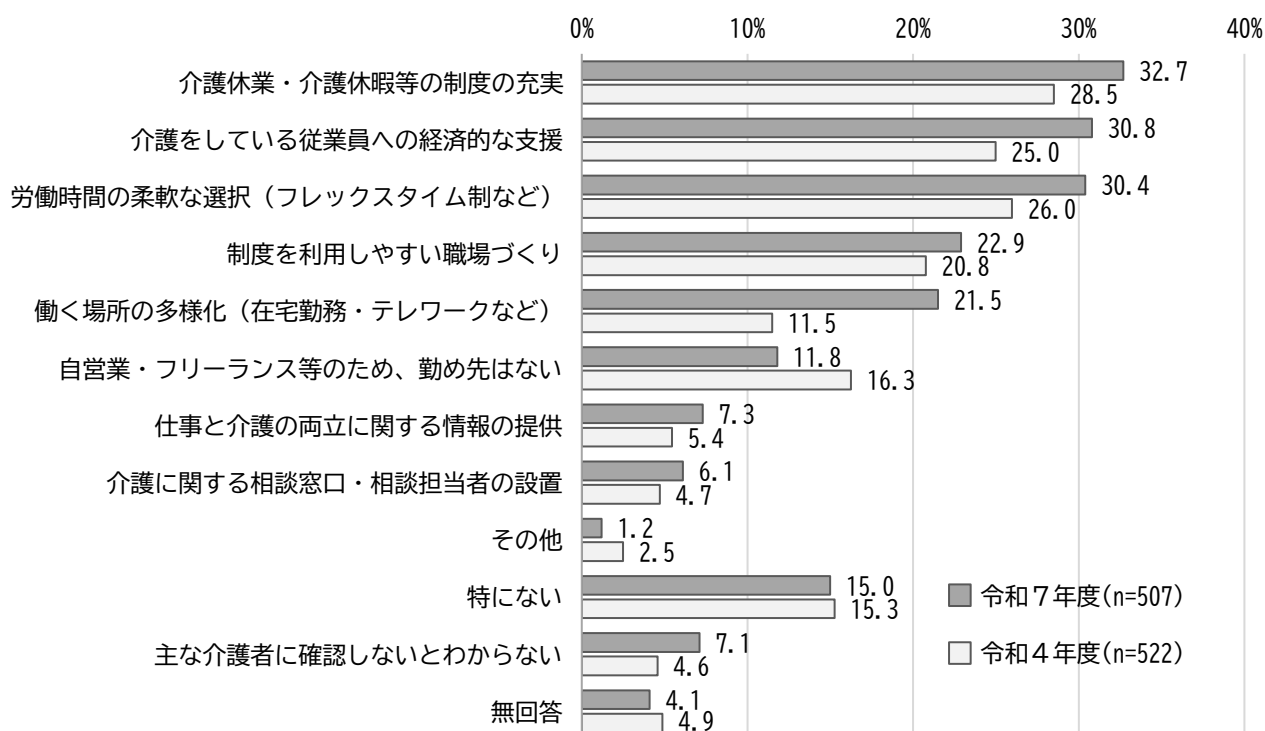
問 48 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答)

令和7年度(n=507)では、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が36.3%で最も高く、次いで、「特に行っていない」が31.0%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が23.3%となっている。「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」の割合は、令和4年度の42.4%から6.1ポイント低下している。



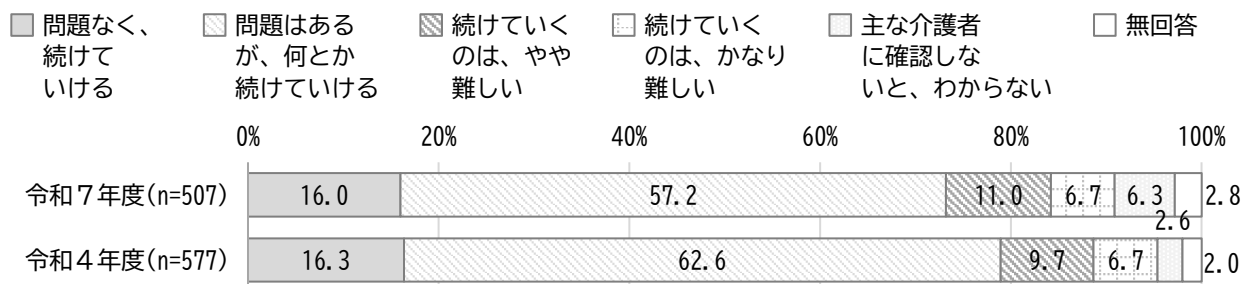
問 49 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(複数回答、3つまで選択可)

令和7年度(n=507)では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.7%で最も高く、次いで、「介護をしている従業員への経済的な支援」が30.8%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が30.4%となっている。「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」(21.5%)の割合は、令和4年度の11.5%から10.0ポイント上昇している。



問 50 主な介護者の方は今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(単数回答)

令和7年度(n=507)では、「問題はあるが、何とか続けていける」が57.2%で最も高く、次いで、「問題なく、続けていける」が16.0%、「続けていくのは、やや難しい」が11.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」の割合は、令和4年度の62.6%から5.4ポイント低下している。



単位：%

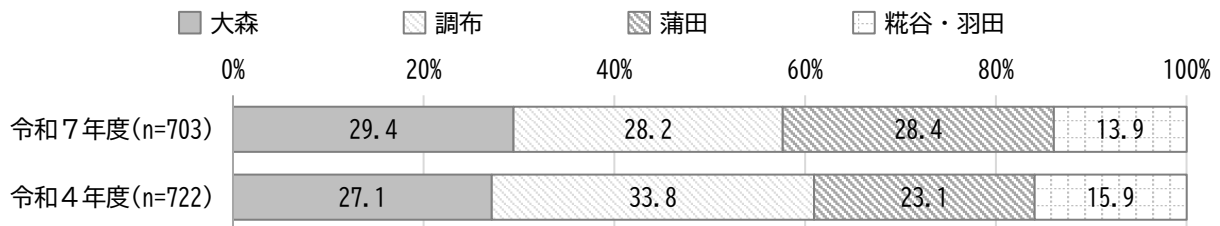
	人数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	507	16.0	57.2	11.0	6.7	6.3	2.8
自立+ I	141	20.6	59.6	8.5	4.3	7.1	0.0
認知症Ⅱ	255	16.1	52.9	11.4	7.5	7.5	4.7
認知症Ⅲ以上	109	10.1	63.3	13.8	8.3	2.8	1.8

3. 第2号被保険者調査

(1) 回答者の属性

① 回答者の在住する基本圏域

令和7年度(n=703)では、「大森」が29.4%で最も高く、次いで、「蒲田」が28.4%、「調布」が28.2%となっている。

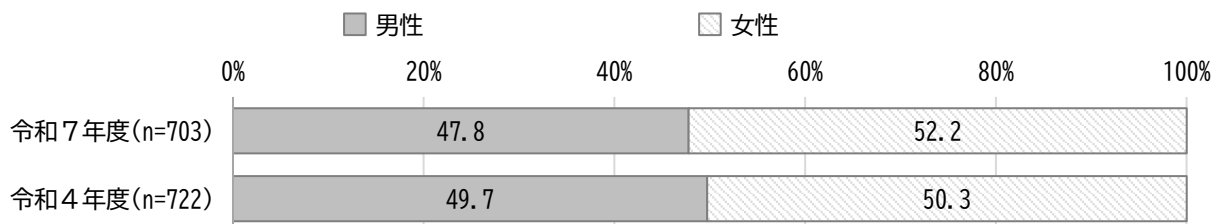


単位：%

	人数	大森	調布	蒲田	糀谷・羽田
全体	703	29.4	28.2	28.4	13.9
男性	336	30.1	24.4	31.3	14.3
女性	367	28.9	31.6	25.9	13.6
1人暮らし	140	37.9	19.3	27.1	15.7
夫婦2人暮らし	209	29.7	30.1	29.2	11.0
子どもと同居	233	24.9	33.9	28.8	12.4
親と同居	67	37.3	22.4	22.4	17.9
その他	47	17.0	25.5	38.3	19.1

② 回答者の性別

令和7年度(n=703)では、「男性」が47.8%、「女性」が52.2%であった。

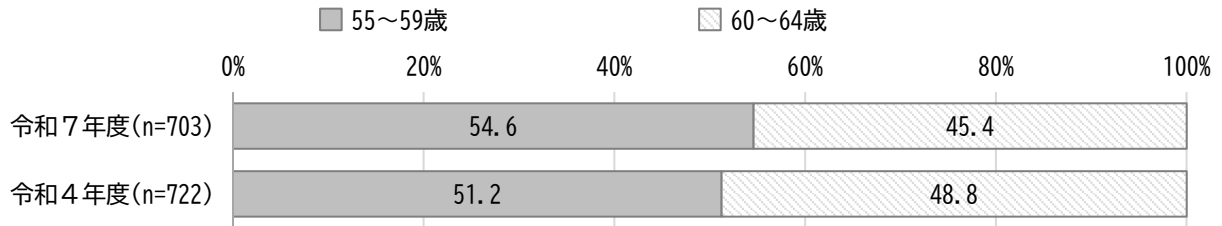


単位：%

	人数	男性	女性
全体	703	47.8	52.2
1人暮らし	140	58.6	41.4
夫婦2人暮らし	209	47.4	52.6
子どもと同居	233	41.2	58.8
親と同居	67	56.7	43.3
その他	47	38.3	61.7

③ 回答者の年齢

令和7年度(n=703)では、「55～59歳」が54.6%、「60～64歳」が45.4%であった。

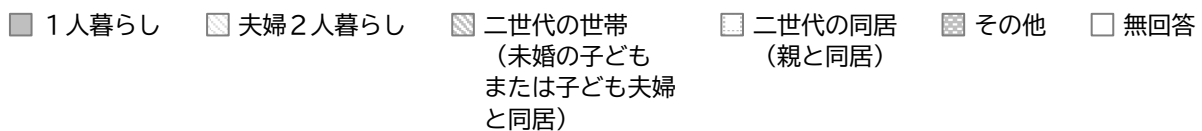


単位：%

	人数	55～59歳	60～64歳
全体	703	54.6	45.4
男性	336	54.2	45.8
女性	367	55.0	45.0
1人暮らし	140	56.4	43.6
夫婦2人暮らし	209	40.7	59.3
子どもと同居	233	61.8	38.2
親と同居	67	64.2	35.8
その他	47	66.0	34.0

問1 家族構成を教えてください。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「二世帯の世帯(未婚の子どもまたは子ども夫婦と同居)」が33.1%で最も高く、次いで、「夫婦2人暮らし」が29.7%、「1人暮らし」が19.9%となっている。



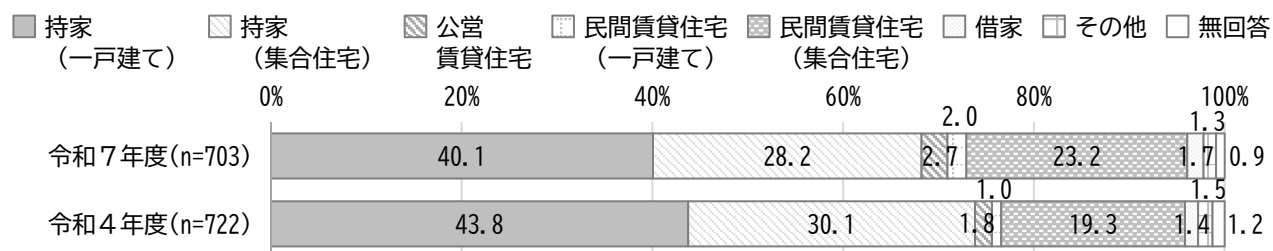
単位：%

	人数	1人暮らし	夫婦2人暮らし	子どもと同居	親と同居	その他	無回答
全体	703	19.9	29.7	33.1	9.5	6.7	1.0
男性	336	24.4	29.5	28.6	11.3	5.4	0.9
女性	367	15.8	30.0	37.3	7.9	7.9	1.1
大森	207	25.6	30.0	28.0	12.1	3.9	0.5
調布	198	13.6	31.8	39.9	7.6	6.1	1.0
蒲田	200	19.0	30.5	33.5	7.5	9.0	0.5
糀谷・羽田	98	22.4	23.5	29.6	12.2	9.2	3.1

(2) 住まいの状況

問2 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「持家(一戸建て)」が40.1%で最も高く、次いで、「持家(集合住宅)」が28.2%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が23.2%となっている。持家の割合(68.3%)は、令和4年度の73.9%から5.6ポイント低下している。

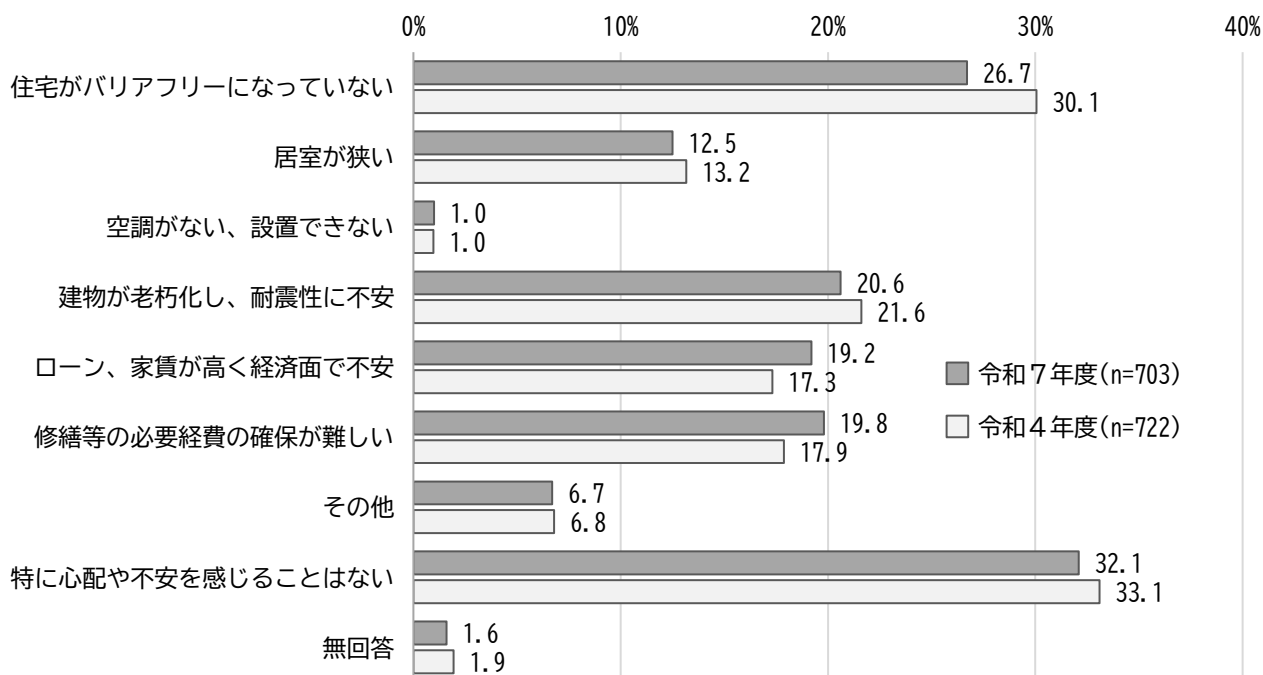


単位: %

	人数	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
全体	703	40.1	28.2	2.7	2.0	23.2	1.7	1.3	0.9
男性	336	37.2	27.7	3.6	2.4	24.4	2.1	1.8	0.9
女性	367	42.8	28.6	1.9	1.6	22.1	1.4	0.8	0.8
1人暮らし	140	12.9	18.6	4.3	0.7	60.0	1.4	2.1	0.0
夫婦2人暮らし	209	37.8	37.3	2.9	1.9	17.7	1.9	0.5	0.0
子どもと同居	233	52.4	29.6	1.7	3.0	11.2	2.1	0.0	0.0
親と同居	67	65.7	20.9	3.0	1.5	7.5	1.5	0.0	0.0
その他	47	40.4	23.4	2.1	2.1	21.3	0.0	10.6	0.0

問3 現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありますか。
(複数回答)

令和7年度(n=703)では、「特に心配や不安を感じることはない」が32.1%で最も高く、次いで、「住宅がバリアフリーになっていない」が26.7%、「建物が老朽化し、耐震性に不安」が20.6%となっている。「住宅がバリアフリーになっていない」の割合は、令和4年度の30.1%から3.4ポイント低下している。



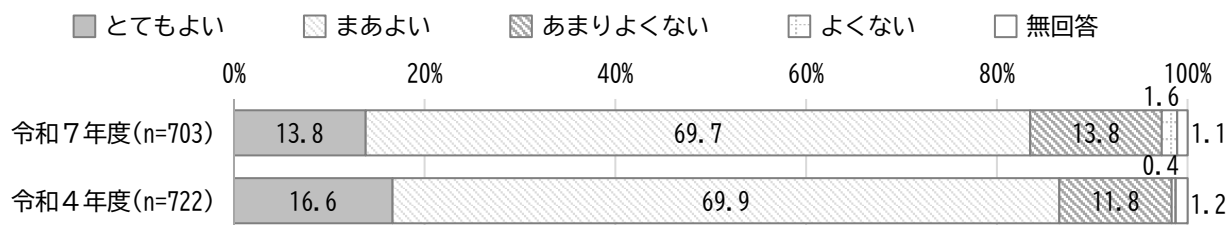
単位：%

	人数	住宅がバリアフリー になっていない	居室が狭い	空調がない、 設置できない	建物が老朽化し、 耐震性に不安	ローン、家賃が高く 経済面で不安	修繕等の必要経費 の確保が難しい	その他	特に心配や不安を 感じることはない	無回答
全体	703	26.7	12.5	1.0	20.6	19.2	19.8	6.7	32.1	1.6
男性	336	20.8	13.1	0.9	19.6	24.1	18.2	4.2	34.5	1.5
女性	367	32.2	12.0	1.1	21.5	14.7	21.3	9.0	30.0	1.6
1人暮らし	140	23.6	15.0	1.4	22.1	26.4	13.6	8.6	30.0	0.7
夫婦2人暮らし	209	23.0	10.5	1.0	16.7	12.4	17.7	11.0	36.8	0.5
子どもと同居	233	33.5	14.2	0.4	20.2	23.2	24.0	1.7	30.9	0.4
親と同居	67	28.4	10.4	1.5	32.8	13.4	20.9	7.5	28.4	1.5
その他	47	21.3	10.6	2.1	21.3	17.0	27.7	6.4	34.0	2.1

(3) 心身の健康に関する状況

問4 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「まあよい」が69.7%で最も高く、次いで、「とてもよい」と「あまりよくない」が13.8%となっている。「とてもよい/まあよい」(83.5%)の割合は、令和4年度の86.5%から3.0ポイント低下している。



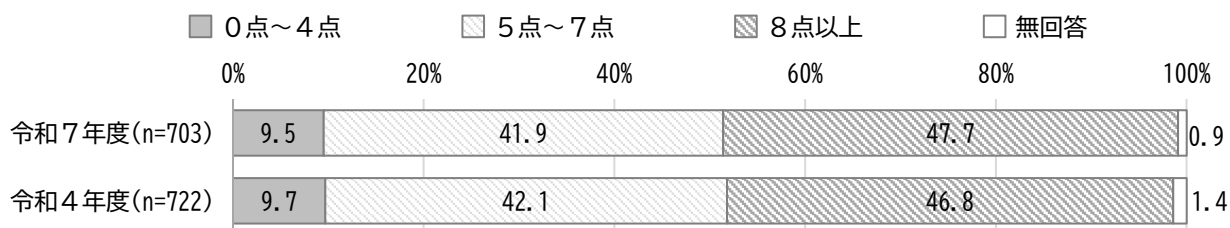
単位: %

	人数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	703	13.8	69.7	13.8	1.6	1.1
男性	336	11.9	68.8	17.6	0.9	0.9
女性	367	15.5	70.6	10.4	2.2	1.4
1人暮らし	140	9.3	74.3	14.3	2.1	0.0
夫婦2人暮らし	209	15.3	70.8	12.0	1.4	0.5
子どもと同居	233	15.9	69.5	13.7	0.4	0.4
親と同居	67	13.4	64.2	19.4	3.0	0.0
その他	47	12.8	68.1	14.9	4.3	0.0

問5 あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご回答ください。

令和7年度(n=703)では、「8点以上」が47.7%で最も高く、次いで、「5点~7点」が41.9%、「0点~4点」が9.5%となっている。



単位：%

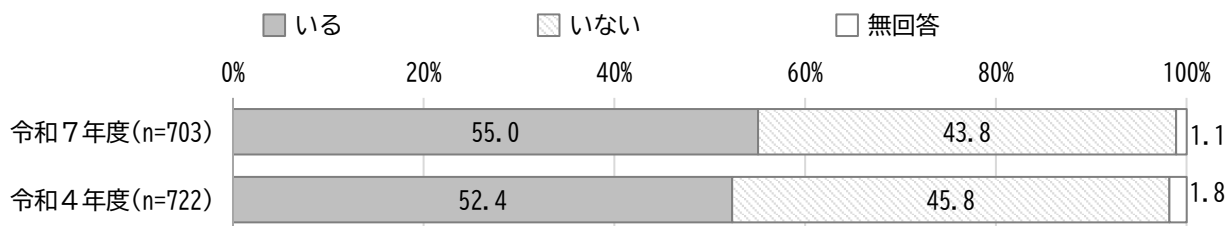
	人数	0点~4点	5点~7点	8点以上	無回答
全体	703	9.5	41.9	47.7	0.9
男性	336	11.7	44.9	42.5	0.9
女性	367	7.6	39.2	52.3	0.8
1人暮らし	140	17.9	55.7	26.4	0.0
夫婦2人暮らし	209	3.9	36.4	59.8	0.0
子どもと同居	233	6.4	36.4	57.1	0.0
親と同居	67	15.0	49.3	35.9	0.0
その他	47	19.2	46.8	34.1	0.0

単位：%

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	703	0.7	1.1	1.7	3.0	3.0	16.6	7.5	17.8	24.5	12.4	10.8	0.9
令和4年度	722	0.4	1.0	1.1	4.6	2.6	15.1	9.7	17.3	23.5	13.0	10.2	1.4

問6 日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「いる」が55.0%、「いない」が43.8%であった。

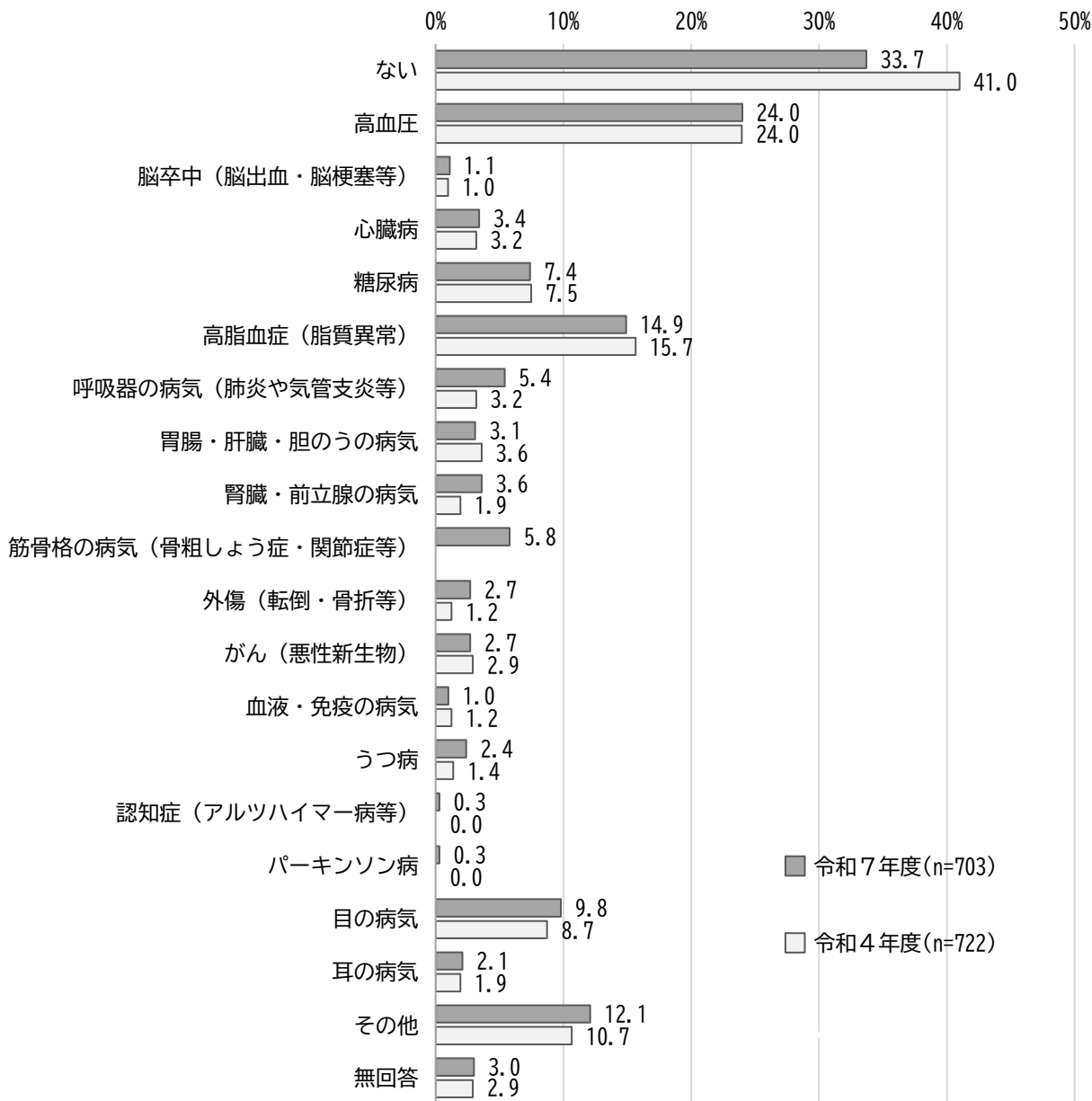


単位：%

	人数	いる	いない	無回答
全体	703	55.0	43.8	1.1
男性	336	50.6	48.2	1.2
女性	367	59.1	39.8	1.1
1人暮らし	140	48.6	51.4	0.0
夫婦2人暮らし	209	55.0	45.0	0.0
子どもと同居	233	56.7	42.9	0.4
親と同居	67	61.2	37.3	1.5
その他	47	66.0	34.0	0.0

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

令和7年度(n=703)では、「ない」が33.7%で最も高く、次いで、「高血圧」が24.0%、「高脂血症(脂質異常)」が14.9%となっている。「ない」の割合は、令和4年度の41.0%から7.3ポイント低下している。



単位：％

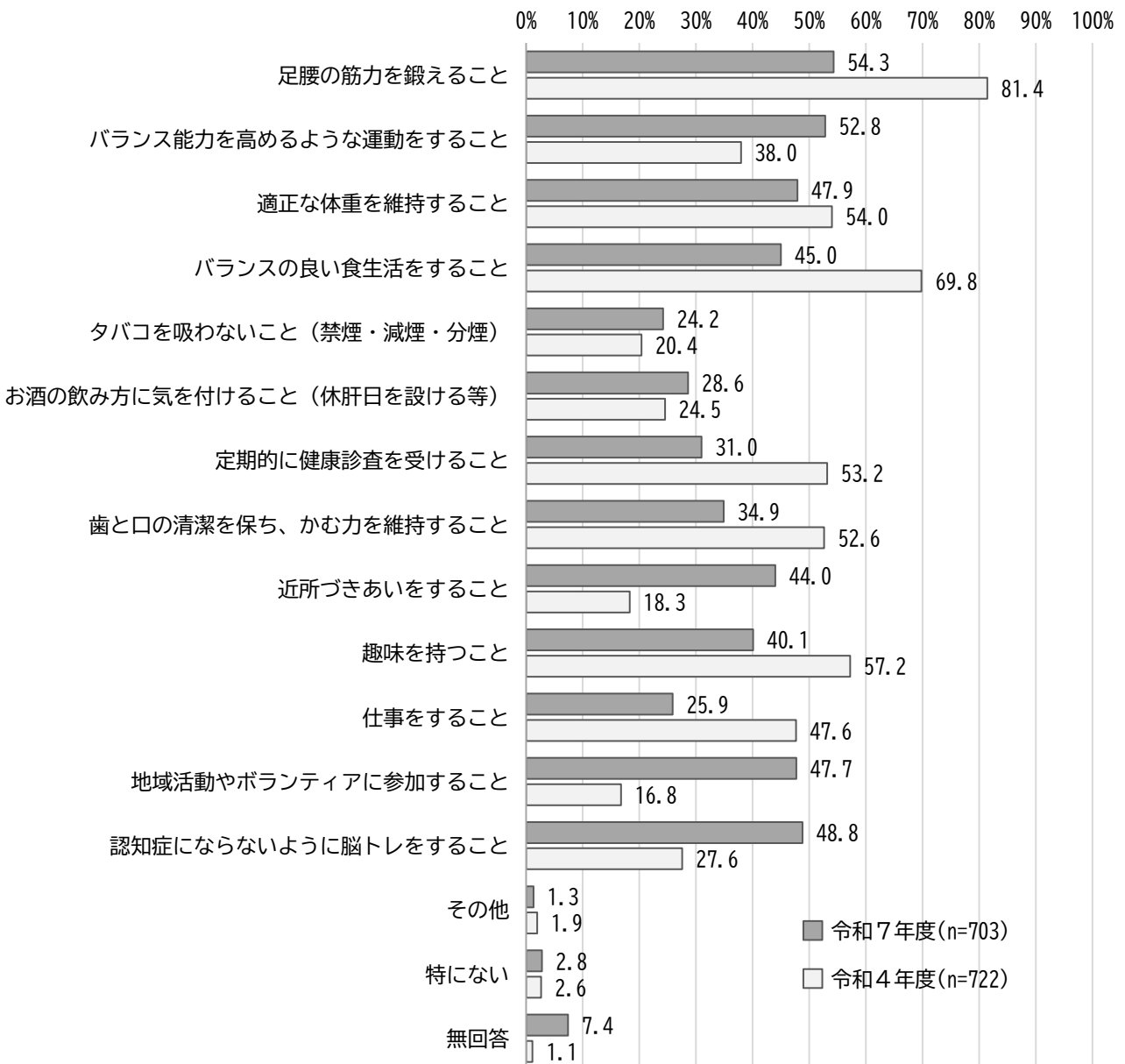
	人数	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）
全体	703	33.7	24.0	1.1	3.4	7.4	14.9	5.4	3.1	3.6	5.8
男性	336	35.7	28.0	1.2	5.1	11.9	16.4	6.0	3.6	6.3	3.3
女性	367	31.9	20.4	1.1	1.9	3.3	13.6	4.9	2.7	1.1	8.2
1人暮らし	140	32.1	27.9	2.1	5.7	12.1	17.9	7.1	4.3	5.7	5.0
夫婦2人暮らし	209	32.5	23.9	1.0	3.3	4.3	15.8	4.8	2.9	2.4	4.8
子どもと同居	233	36.9	23.6	0.4	1.7	6.4	13.3	5.6	2.6	2.6	6.9
親と同居	67	29.9	25.4	1.5	3.0	9.0	14.9	3.0	3.0	6.0	4.5
その他	47	38.3	17.0	2.1	6.4	10.6	12.8	6.4	4.3	4.3	10.6

	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	2.7	2.7	1.0	2.4	0.3	0.3	9.8	2.1	12.1	3.0
男性	2.1	1.2	0.6	3.9	0.3	0.3	7.1	2.7	8.0	3.3
女性	3.3	4.1	1.4	1.1	0.3	0.3	12.3	1.6	15.8	2.7
1人暮らし	2.9	2.9	0.0	4.3	0.0	0.0	12.1	0.0	9.3	1.4
夫婦2人暮らし	2.9	4.3	2.4	1.0	0.0	0.0	11.0	2.4	11.5	2.9
子どもと同居	2.1	1.3	0.9	2.1	0.9	0.9	6.9	2.6	13.3	1.3
親と同居	3.0	1.5	0.0	6.0	0.0	0.0	14.9	4.5	10.4	1.5
その他	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	2.1	21.3	6.4

問8 いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、①これから取り組んだ方がよいことはな
 んだと思いますか。また、②今実践していることはありますか。（複数回答）

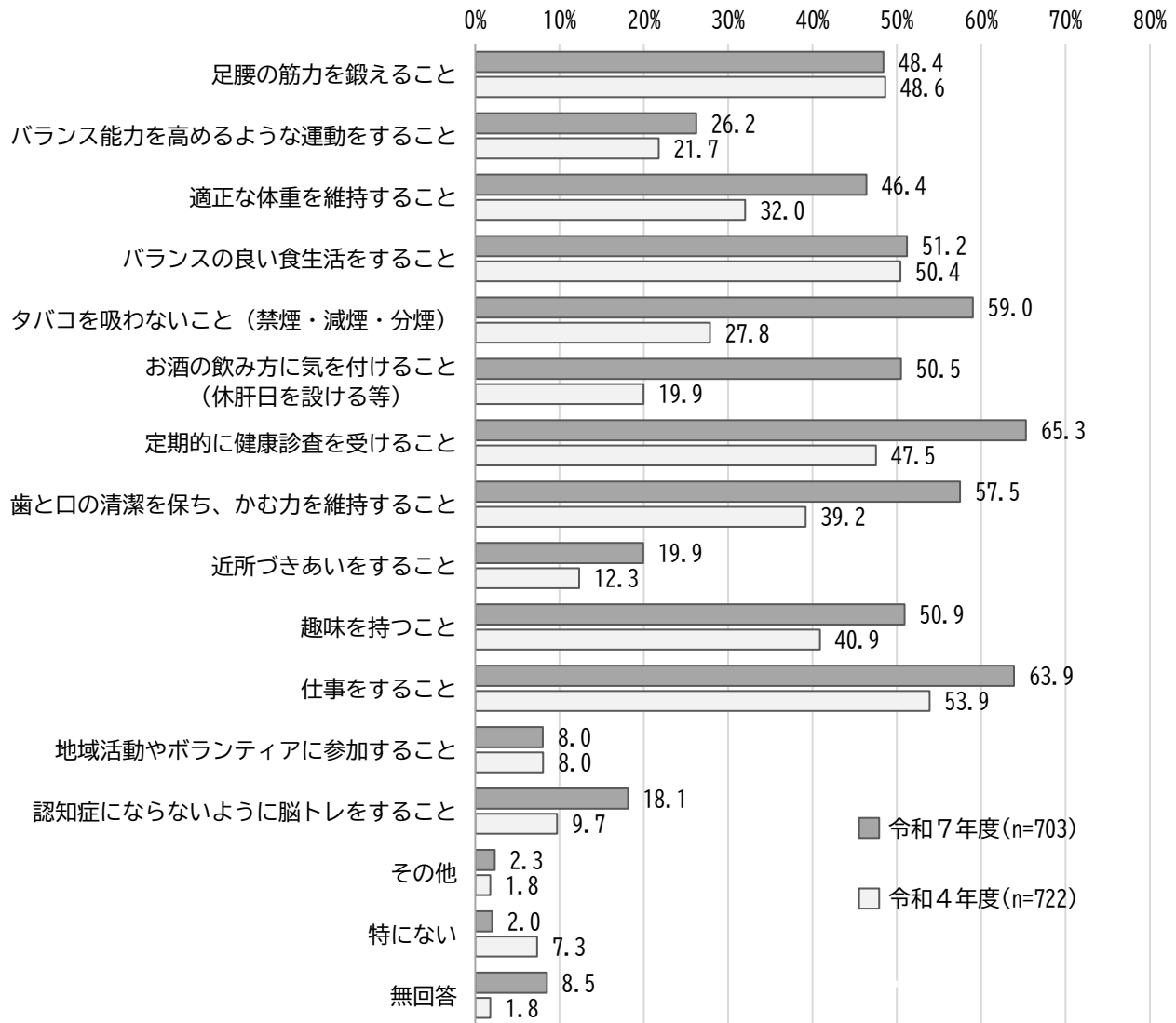
① これから取り組んだ方がよいこと

令和7年度(n=703)では、「足腰の筋力を鍛えること」が54.3%で最も高く、次いで、「バランス能力を高めるような運動をすること」が52.8%、「認知症にならないように脳トレをすること」が48.8%となっている。「地域活動やボランティアに参加すること」（47.7%）の割合は、令和4年度の16.8%から30.9ポイント上昇している。



② 今実践していること

令和7年度(n=703)では、「定期的に健康診査を受けること」が65.3%で最も高く、次いで、「仕事をする事」が63.9%、「タバコを吸わないこと（禁煙・減煙・分煙）」が59.0%となっている。「タバコを吸わないこと（禁煙・減煙・分煙）」の割合は、令和4年度の27.8%から31.2ポイント上昇している。



①取り組んだ方がよいこと

単位：％

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をすること	タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること(休肝日を設ける等)	定期的に健康診査を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所づきあいをすること	趣味を持つこと	仕事をすること	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないうつ病を予防すること	その他	特になし	無回答
全体	703	54.3	52.8	47.9	45.0	24.2	28.6	31.0	34.9	44.0	40.1	25.9	47.7	48.8	1.3	2.8	7.4
男性	336	55.4	48.5	48.5	46.7	28.9	33.9	30.7	37.2	44.6	39.3	26.5	44.0	45.5	0.9	3.6	8.0
女性	367	53.4	56.7	47.4	43.3	19.9	23.7	31.3	32.7	43.3	40.9	25.3	51.0	51.8	1.6	2.2	6.8
1人暮らし	140	57.9	55.7	48.6	53.6	30.7	30.7	32.9	44.3	60.7	40.7	25.0	52.9	53.6	2.1	1.4	7.1
夫婦2人暮らし	209	55.0	51.2	46.4	45.5	23.9	34.4	32.5	36.8	46.4	41.1	29.2	53.1	49.3	1.4	3.3	4.3
子どもと同居	233	51.9	54.5	50.2	42.9	23.6	27.5	30.5	31.3	36.5	40.3	27.0	45.5	50.2	1.3	3.4	6.4
親と同居	67	58.2	52.2	49.3	38.8	17.9	19.4	29.9	32.8	35.8	32.8	19.4	34.3	41.8	0.0	4.5	7.5
その他	47	55.3	51.1	46.8	42.6	21.3	19.1	27.7	23.4	38.3	48.9	21.3	44.7	42.6	0.0	0.0	12.8

②今実践していること

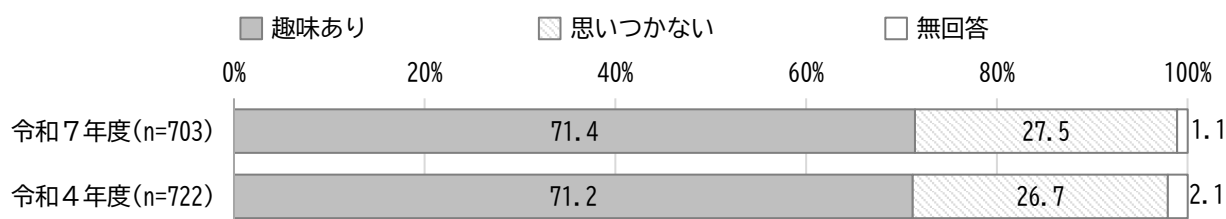
単位：％

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をすること	タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること(休肝日を設ける等)	定期的に健康診査を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所づきあいをすること	趣味を持つこと	仕事をすること	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないうつ病を予防すること	その他	特になし	無回答
全体	703	48.4	26.2	46.4	51.2	59.0	50.5	65.3	57.5	19.9	50.9	63.9	8.0	18.1	2.3	2.0	8.5
男性	336	43.8	23.8	43.8	46.4	52.7	42.3	62.8	48.2	15.5	49.4	62.5	7.7	15.5	0.6	2.1	10.1
女性	367	52.6	28.3	48.8	55.6	64.9	58.0	67.6	65.9	24.0	52.3	65.1	8.2	20.4	3.8	1.9	7.1
1人暮らし	140	41.4	25.0	43.6	38.6	52.1	48.6	65.7	52.9	10.0	53.6	69.3	4.3	17.9	2.1	1.4	9.3
夫婦2人暮らし	209	53.6	29.2	51.2	59.8	67.0	52.6	68.4	61.7	19.6	52.6	63.6	6.7	21.1	1.9	0.5	6.2
子どもと同居	233	50.6	27.5	45.1	51.1	60.9	51.9	65.7	56.2	24.5	50.6	64.8	12.0	15.5	2.6	3.0	7.3
親と同居	67	43.3	17.9	47.8	58.2	47.8	43.3	56.7	55.2	23.9	50.7	53.7	6.0	11.9	1.5	6.0	10.4
その他	47	46.8	23.4	42.6	48.9	57.4	55.3	68.1	68.1	23.4	42.6	66.0	6.4	27.7	4.3	0.0	8.5

(4) 現在の生活に関する状況

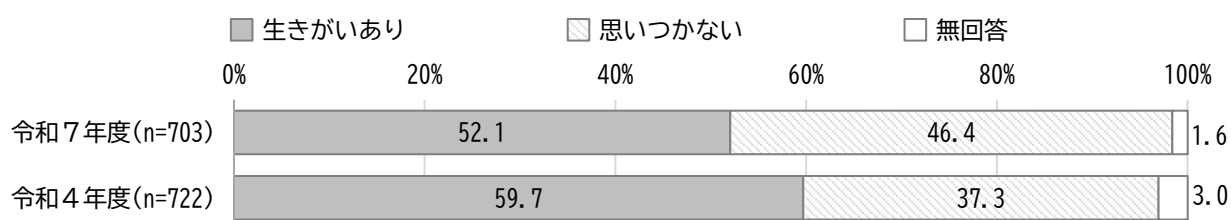
問9 趣味はありますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「趣味あり」が71.4%、「思いつかない」が27.5%であった。



問10 生きがいがありますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「生きがいあり」が52.1%、「思いつかない」が46.4%であった。「思いつかない」の割合は、令和4年度の37.3%から9.1ポイント上昇している。



単位：%

	人数	趣味あり	思いつかない	無回答	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	703	71.4	27.5	1.1	52.1	46.4	1.6
男性	336	69.6	29.5	0.9	49.7	48.8	1.5
女性	367	73.0	25.6	1.4	54.2	44.1	1.6
1人暮らし	140	74.3	25.7	0.0	40.0	59.3	0.7
夫婦2人暮らし	209	73.7	25.8	0.5	53.6	45.5	1.0
子どもと同居	233	71.7	27.9	0.4	60.5	38.6	0.9
親と同居	67	64.2	35.8	0.0	43.3	56.7	0.0
その他	47	70.2	29.8	0.0	57.4	42.6	0.0

■趣味がある場合の具体的なことから

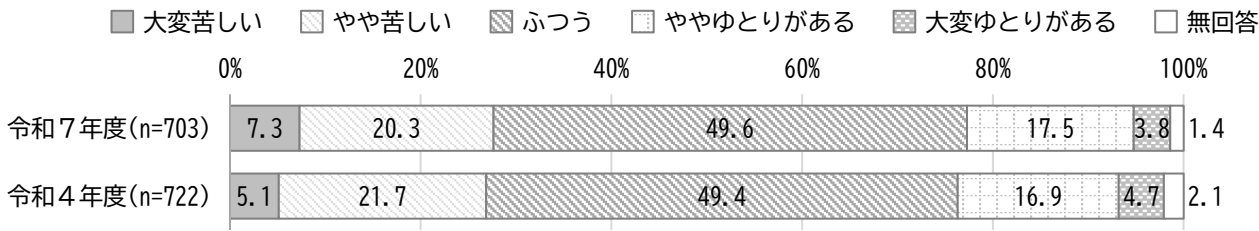
趣味	件数
スポーツ・レジャー	172
音楽	61
外出・旅行	44
勉強・読書	43
テレビ・映画	25
美術・芸術・文化	20
ものづくり・手芸	20
乗り物	16
ゲーム	15
飲食	15
推し活	9
園芸	7
社会活動・ボランティア	7
動物・ペット	5
その他	27

■生きがいがある場合の具体的なことから

生きがい	件数
家族・こども・孫	114
仕事・就労	65
日常の楽しみ	21
外出・旅行	18
動物・ペット	17
推し活	14
趣味全般	14
友人・交流	14
スポーツ・レジャー	13
飲食	11
勉強・読書	7
音楽	6
社会活動・ボランティア	6
健康・自立・生活	4
その他	14

問 11 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「ふつう」が49.6%で最も高く、次いで、「やや苦しい」が20.3%、「ややゆとりがある」が17.5%となっている。

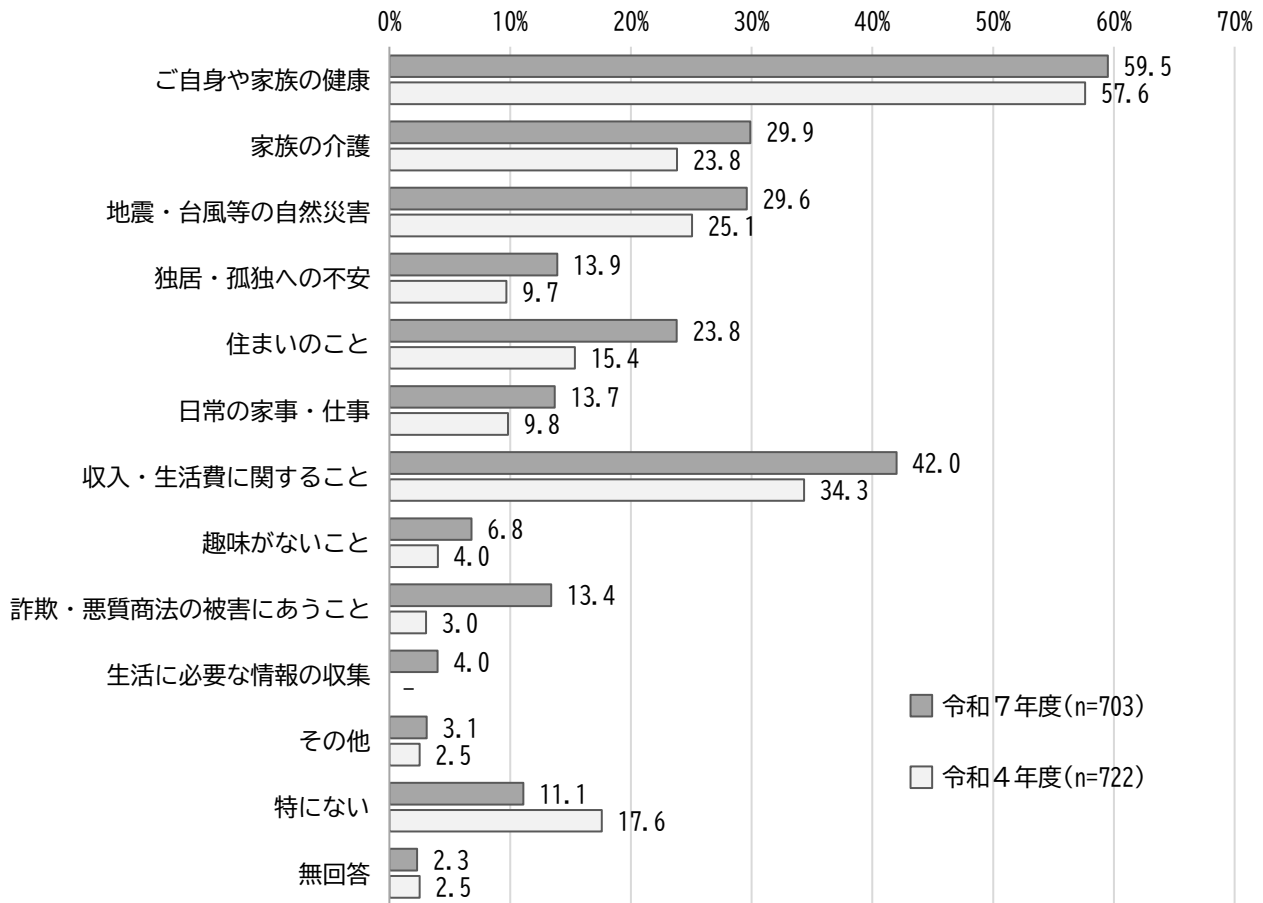


単位：%

	人数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	703	7.3	20.3	49.6	17.5	3.8	1.4
男性	336	8.6	24.4	44.9	16.7	3.6	1.8
女性	367	6.0	16.6	54.0	18.3	4.1	1.1
1人暮らし	140	14.3	30.0	37.1	12.1	5.7	0.7
夫婦2人暮らし	209	1.9	12.9	60.8	21.1	1.9	1.4
子どもと同居	233	6.4	19.7	48.9	18.9	6.0	0.0
親と同居	67	11.9	22.4	53.7	11.9	0.0	0.0
その他	47	8.5	27.7	40.4	21.3	2.1	0.0

問 12 日常生活での心配ごとはありませんか。（複数回答）

令和7年度(n=703)では、「ご自身や家族の健康」が59.5%で最も高く、次いで、「収入・生活費に関すること」が42.0%、「家族の介護」が29.9%となっている。「詐欺・悪質商法の被害にあうこと」（13.4%）の割合は、令和4年度の3.0%から10.4ポイント上昇している。

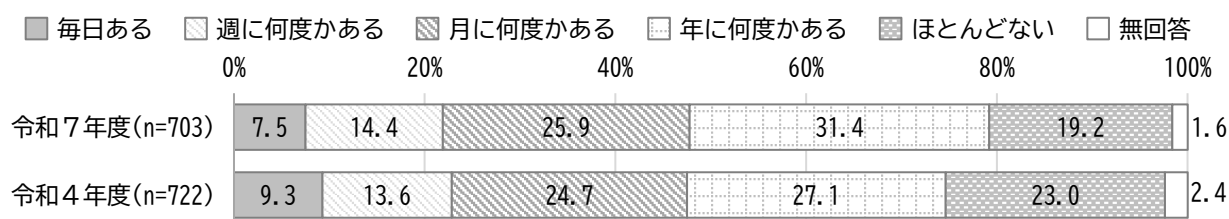


単位：％

	人数	ご自身や家族の健康	家族の介護	地震・台風等の自然災害	独居・孤独への不安	住まいのこと	日常の家事・仕事	収入・生活費に関すること	趣味がないこと	詐欺・悪質商法の被害にあうこと	生活に必要な情報の収集	その他	特になし	無回答
全体	703	59.5	29.9	29.6	13.9	23.8	13.7	42.0	6.8	13.4	4.0	3.1	11.1	2.3
男性	336	60.4	28.6	25.3	11.9	22.6	14.3	44.0	7.4	9.2	3.6	2.4	10.4	3.0
女性	367	58.6	31.1	33.5	15.8	24.8	13.1	40.1	6.3	17.2	4.4	3.8	11.7	1.6
1人暮らし	140	55.7	18.6	27.9	34.3	35.0	22.1	48.6	9.3	13.6	5.7	0.7	11.4	0.7
夫婦2人暮らし	209	60.3	28.2	28.2	11.5	18.7	9.6	33.0	5.7	15.8	3.8	2.9	10.0	5.3
子どもと同居	233	58.4	28.8	32.6	3.9	19.7	13.7	41.2	6.0	10.3	3.0	4.7	12.0	0.9
親と同居	67	65.7	55.2	28.4	14.9	20.9	10.4	43.3	7.5	19.4	4.5	3.0	10.4	0.0
その他	47	61.7	38.3	25.5	12.8	34.0	12.8	59.6	8.5	6.4	4.3	4.3	12.8	4.3

問13 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「年に何度かある」が31.4%で最も高く、次いで、「月に何度かある」が25.9%、「ほとんどない」が19.2%となっている。「年に何度かある」の割合は、令和4年度の27.1%から4.3ポイント上昇している。



単位：%

	人数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	703	7.5	14.4	25.9	31.4	19.2	1.6
男性	336	8.3	11.0	21.1	31.0	26.2	2.4
女性	367	6.8	17.4	30.2	31.9	12.8	0.8
1人暮らし	140	5.0	14.3	28.6	28.6	22.9	0.7
夫婦2人暮らし	209	9.1	13.9	25.4	30.1	17.7	3.8
子どもと同居	233	9.0	14.6	28.8	30.9	16.3	0.4
親と同居	67	6.0	13.4	19.4	31.3	29.9	0.0
その他	47	4.3	12.8	17.0	48.9	14.9	2.1

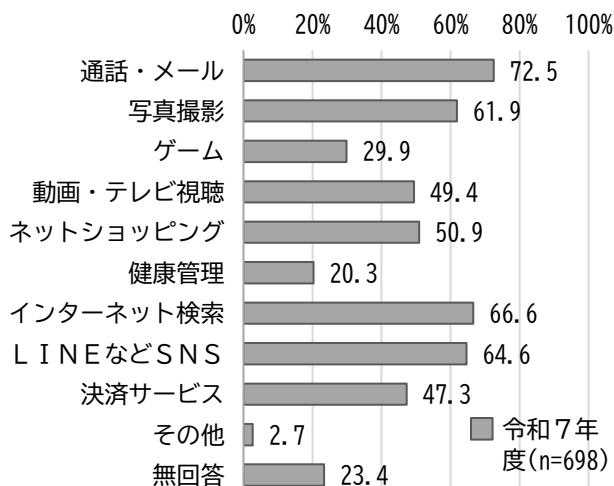
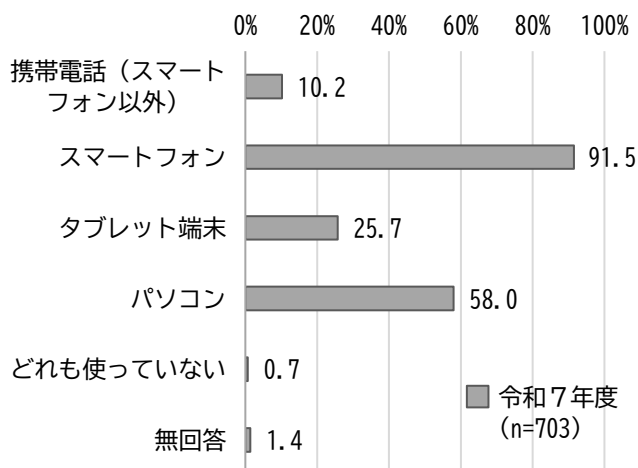
問 14 以下の通信・通話機器を使っていますか。（複数回答）

【問 14 において「どれも使っていない」以外を回答した方にうかがいます。】

問 14-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。（複数回答）

本設問(n=703)では、「スマートフォン」が91.5%で最も高く、次いで、「パソコン」が58.0%、「タブレット端末」が25.7%となっている。

本設問(n=698)では、「通話・メール」が72.5%で最も高く、次いで、「インターネット検索」が66.6%、「LINEなどSNS」が64.6%となっている。



使用している通信・通話機器

単位：%

	人数	携帯電話（スマートフォン以外）	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	どれも使っていない	無回答
全体	703	10.2	91.5	25.7	58.0	0.7	1.4
男性	336	11.6	90.5	29.2	66.7	0.9	2.4
女性	367	9.0	92.4	22.6	50.1	0.5	0.5
1人暮らし	140	10.7	92.9	20.7	47.1	1.4	0.7
夫婦2人暮らし	209	8.6	90.0	23.9	63.6	0.0	3.3
子どもと同居	233	11.2	92.7	30.0	60.9	0.0	0.4
親と同居	67	9.0	92.5	28.4	59.7	1.5	0.0
その他	47	10.6	87.2	25.5	53.2	4.3	2.1

どのようなことに使用しているか

単位：%

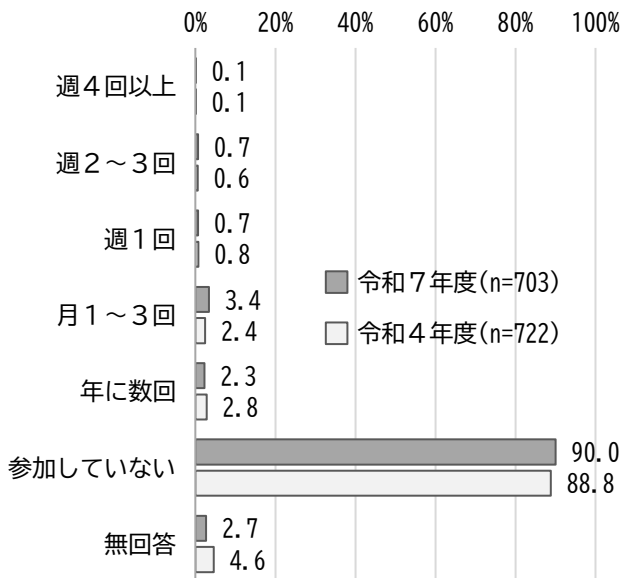
	人数	通話・メール	写真撮影	ゲーム	動画・テレビ視聴	ネットショッピング	健康管理	インターネット検索	LINEなどSNS	決済サービス	その他	無回答
全体	698	72.5	61.9	29.9	49.4	50.9	20.3	66.6	64.6	47.3	2.7	23.4
男性	333	74.2	57.7	30.0	52.3	50.2	18.6	67.9	61.9	46.8	2.4	20.7
女性	365	71.0	65.8	29.9	46.8	51.5	21.9	65.5	67.1	47.7	3.0	25.8
1人暮らし	138	80.4	61.6	34.1	58.7	55.8	21.7	74.6	67.4	47.1	2.2	13.8
夫婦2人暮らし	209	64.1	59.3	27.3	42.1	47.8	16.7	61.2	57.9	43.1	3.3	32.1
子どもと同居	233	73.8	64.4	25.3	49.8	49.4	21.9	64.8	70.0	49.4	2.6	22.3
親と同居	66	80.3	63.6	39.4	57.6	60.6	22.7	78.8	62.1	54.5	3.0	15.2
その他	45	73.3	60.0	42.2	42.2	51.1	22.2	60.0	66.7	51.1	2.2	26.7

(5) 地域の活動への参加状況やたすけあいについて

問 15 地域活動について、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(単数回答)

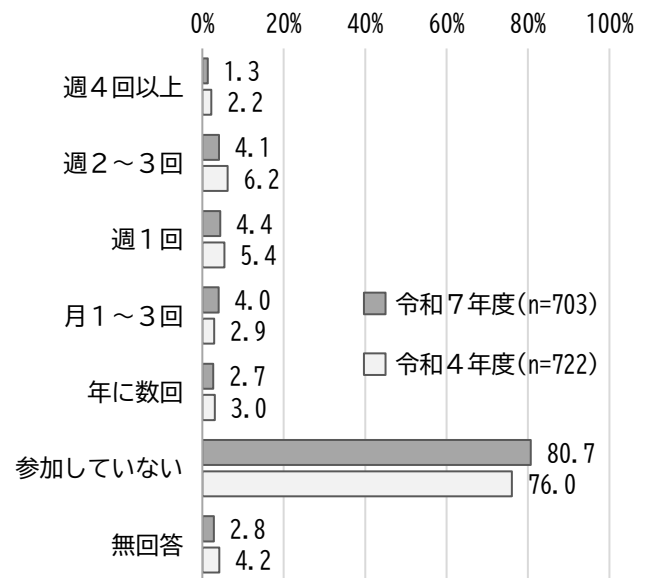
① ボランティアのグループ

令和7年度(n=703)では、「月1～3回」が3.4%、「年に数回」が2.3%、「週1回」と「週2～3回」が0.7%となっている。



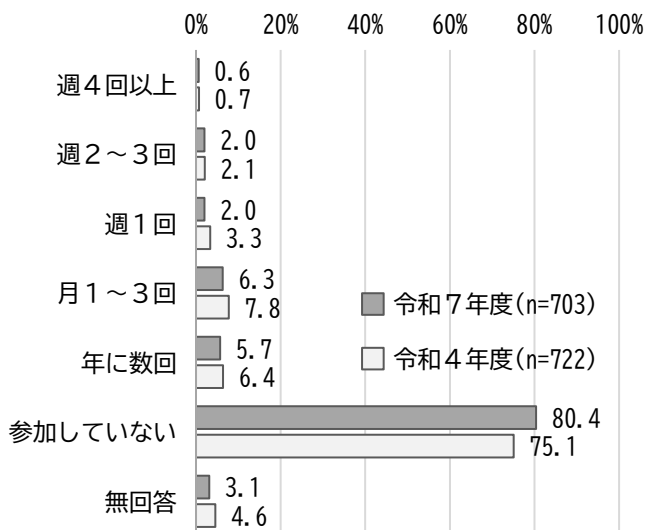
② スポーツ関係のグループやクラブ

令和7年度(n=703)では、「週1回」が4.4%、「週2～3回」が4.1%、「月1～3回」が4.0%となっている。



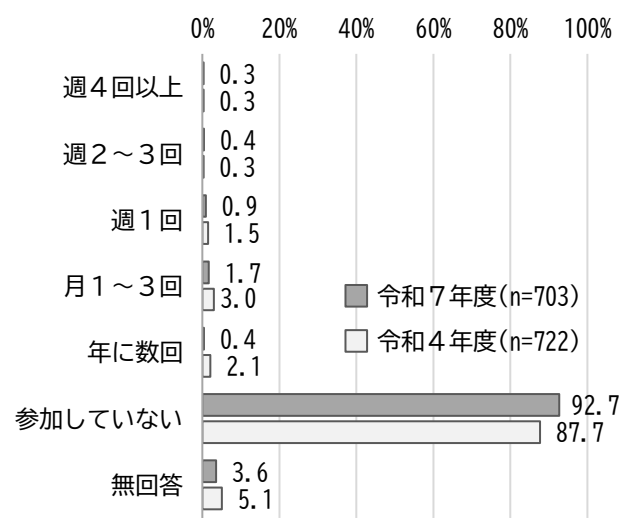
③ 趣味関係のグループ

令和7年度(n=703)では、「月1～3回」が6.3%、「年に数回」が5.7%、「週1回」と「週2～3回」が2.0%となっている。



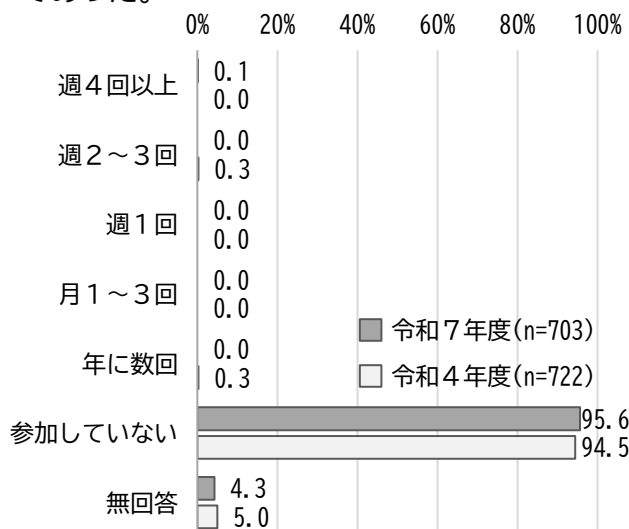
④ 学習・教養サークル

令和7年度(n=703)では、「月1～3回」が1.7%、「週1回」が0.9%、「週2～3回」と「年に数回」が0.4%となっている。



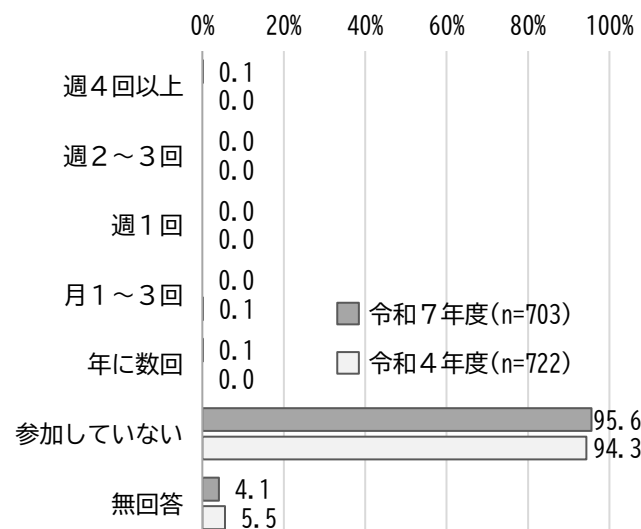
⑤ 介護予防のための通いの場

令和7年度(n=703)では「週4回以上」が0.1%であった。



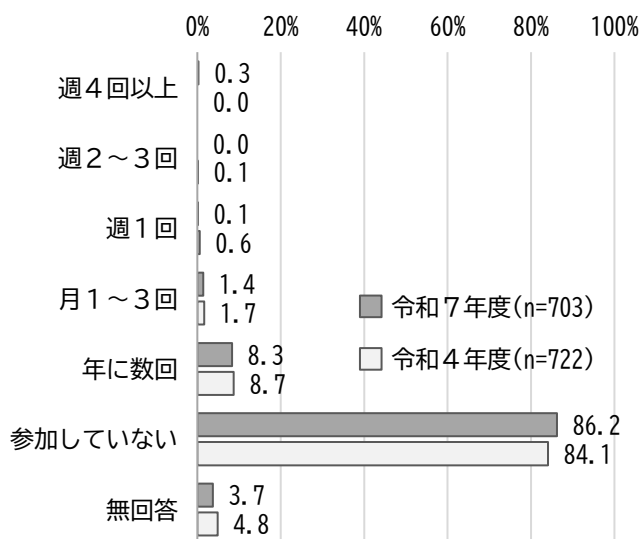
⑥ シニアクラブ

令和7年度(n=703)では、「週4回以上」と「年に数回」が0.1%であった。



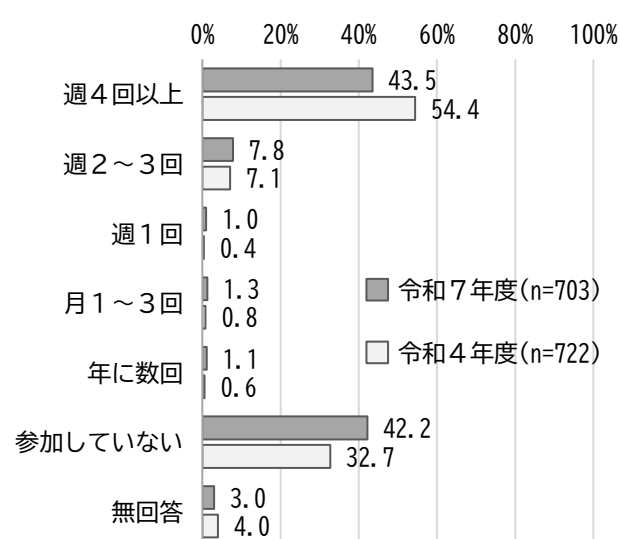
⑦ 自治会・町会

令和7年度(n=703)では、「年に数回」が8.3%、「月1～3回」が1.4%、「週4回以上」が0.3%となっている。



⑧ 収入のある仕事

令和7年度(n=703)では、「週4回以上」が43.5%、「週2～3回」が7.8%、「月1～3回」が1.3%となっている。



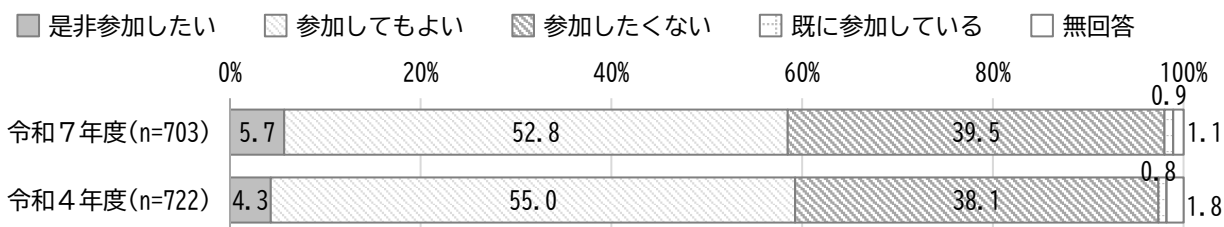
地域の活動①～⑧等への参加状況（年に数回以上参加している割合）

単位：%

	人数	ボランティア	スポーツ関係	趣味関係	学習・教養	通いの場	シニアクラブ	町内会・自治会	仕事
全体	703	7.2	16.5	16.6	3.7	0.1	0.2	10.1	54.7
男性	336	7.5	14.1	16.7	3.0	0.3	0.6	9.5	52.4
女性	367	7.0	18.7	16.3	4.3	0.0	0.0	10.7	57.0
1人暮らし	140	1.4	11.4	15.7	1.4	0.0	0.0	6.4	53.5
夫婦2人暮らし	209	7.7	21.0	17.7	5.3	0.0	0.0	7.6	51.1
子どもと同居	233	10.3	18.0	17.2	2.9	0.4	0.8	14.9	60.1
親と同居	67	7.5	10.5	10.5	4.5	0.0	0.0	11.9	52.3
その他	47	4.2	10.6	15.0	2.1	0.0	0.0	2.1	51.1

問 16 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「参加してもよい」が52.8%で最も高く、次いで、「参加したくない」が39.5%、「是非参加したい」が5.7%となっている。

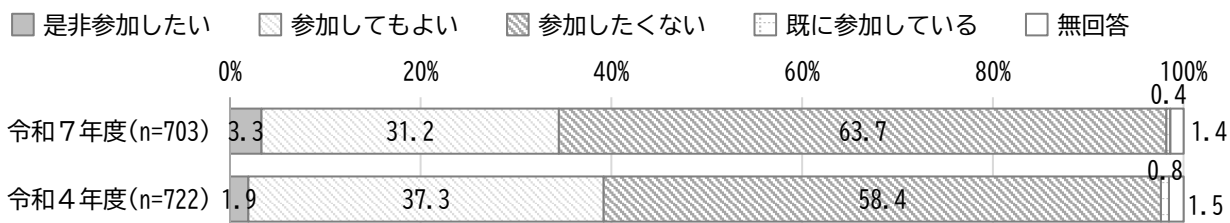


単位：%

	人数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	703	5.7	52.8	39.5	0.9	1.1
男性	336	4.5	48.5	44.6	0.9	1.5
女性	367	6.8	56.7	34.9	0.8	0.8
1人暮らし	140	7.9	42.1	49.3	0.7	0.0
夫婦2人暮らし	209	5.7	61.7	29.7	0.5	2.4
子どもと同居	233	5.6	52.8	39.5	1.3	0.9
親と同居	67	3.0	50.7	46.3	0.0	0.0
その他	47	4.3	46.8	44.7	2.1	2.1
大森	207	4.8	52.2	41.5	0.5	1.0
調布	198	8.1	54.0	35.9	0.5	1.5
蒲田	200	3.0	51.0	43.5	1.5	1.0
糀谷・羽田	98	8.2	55.1	34.7	1.0	1.0

問 17 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

令和7年度(n=703)では、「参加したくない」が63.7%で最も高く、次いで、「参加してもよい」が31.2%、「是非参加したい」が3.3%となっている。「是非参加したい/参加してもよい」の割合(34.5%)は、令和4年度の39.2%から4.7ポイント低下している。

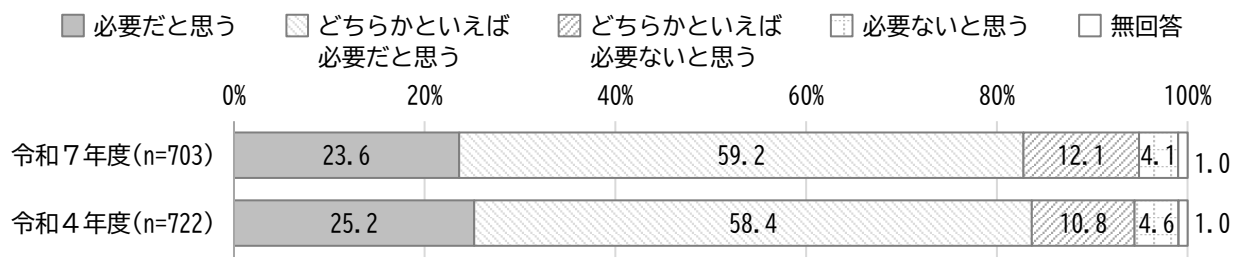


単位：%

	人数	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加して いる	無回答
全体	703	3.3	31.2	63.7	0.4	1.4
男性	336	2.7	30.1	64.9	0.9	1.5
女性	367	3.8	32.2	62.7	0.0	1.4
1人暮らし	140	0.7	21.4	76.4	0.7	0.7
夫婦2人暮らし	209	3.8	38.3	55.5	0.0	2.4
子どもと同居	233	4.3	33.5	60.5	0.4	1.3
親と同居	67	1.5	31.3	67.2	0.0	0.0
その他	47	6.4	17.0	72.3	2.1	2.1
大森	207	2.9	32.4	62.3	0.5	1.9
調布	198	4.0	32.8	61.1	0.0	2.0
蒲田	200	2.0	28.5	68.5	0.5	0.5
糀谷・羽田	98	5.1	30.6	62.2	1.0	1.0

問 18 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）の必要性についてどのように感じていますか。（単数回答）

令和7年度(n=703)では、「どちらかといえば必要だと思う」が59.2%で最も高く、次いで、「必要だと思う」が23.6%、「どちらかといえば必要ないと思う」が12.1%となっている。

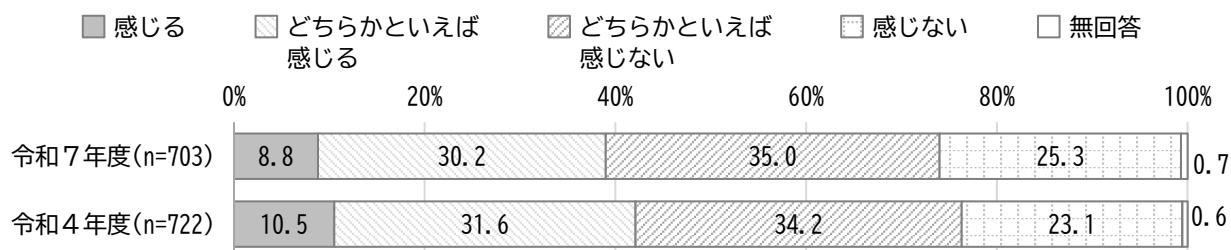


単位：%

	人数	必要だと思う	どちらかとい えば必要だと 思う	どちらかとい えば必要ない と思う	必要ないと思 う	無回答
全体	703	23.6	59.2	12.1	4.1	1.0
男性	336	19.6	59.5	12.8	6.3	1.8
女性	367	27.2	58.9	11.4	2.2	0.3
1人暮らし	140	17.1	61.4	15.0	6.4	0.0
夫婦2人暮らし	209	26.8	56.9	12.9	1.9	1.4
子どもと同居	233	22.3	61.4	11.2	4.3	0.9
親と同居	67	26.9	59.7	9.0	4.5	0.0
その他	47	25.5	55.3	10.6	4.3	4.3
大森	207	24.2	56.5	14.5	3.9	1.0
調布	198	25.3	59.1	11.1	3.5	1.0
蒲田	200	19.5	62.0	12.5	5.5	0.5
椚谷・羽田	98	27.6	59.2	8.2	3.1	2.0

問 19 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。（単数回答）

令和7年度(n=703)では、「どちらかといえば感じない」が35.0%で最も高く、次いで、「どちらかといえば感じる」が30.2%、「感じる」が25.3%となっている。「感じる/どちらかといえば感じる」の割合(39.0%)は、令和4年度の42.1%から3.1ポイント低下している。

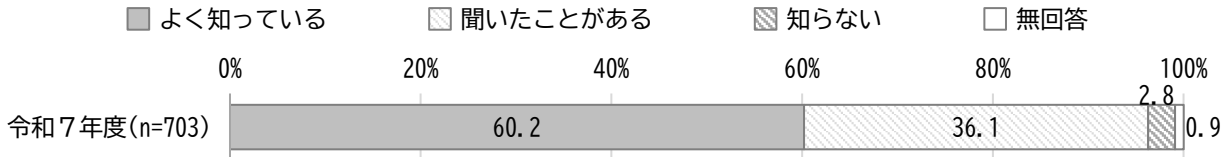


単位：%

	人数	感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	感じない	無回答
全体	703	8.8	30.2	35.0	25.3	0.7
男性	336	5.4	27.4	37.8	28.3	1.2
女性	367	12.0	32.7	32.4	22.6	0.3
1人暮らし	140	2.9	17.9	36.4	42.9	0.0
夫婦2人暮らし	209	7.7	29.2	36.4	25.4	1.4
子どもと同居	233	10.7	33.9	36.9	18.0	0.4
親と同居	67	14.9	44.8	17.9	22.4	0.0
その他	47	14.9	31.9	34.0	17.0	2.1
大森	207	5.3	32.4	33.8	27.5	1.0
調布	198	11.1	28.8	33.8	25.3	1.0
蒲田	200	7.0	30.0	38.5	24.0	0.5
糀谷・羽田	98	15.3	28.6	32.7	23.5	0.0

問 20 介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材の担い手が不足していることを知っていますか。(単数回答)

本設問(n=703)では、「よく知っている」が60.2%で最も高く、次いで、「聞いたことがある」が36.1%、「知らない」が2.8%となっている。

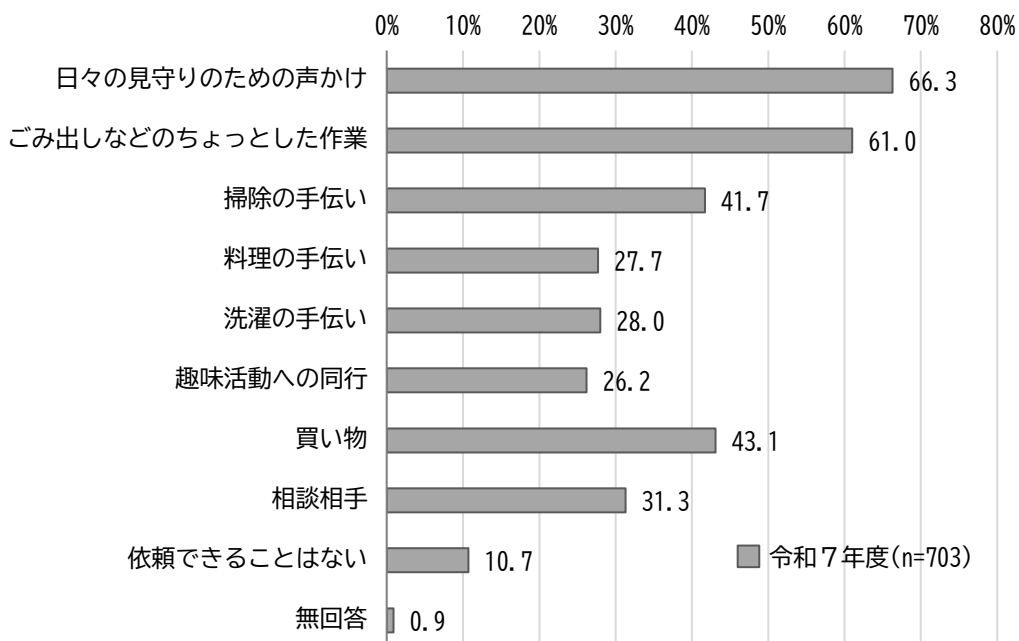


単位：%

	人数	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	703	60.2	36.1	2.8	0.9
男性	336	56.8	37.8	3.9	1.5
女性	367	63.2	34.6	1.9	0.3
1人暮らし	140	61.4	35.7	2.9	0.0
夫婦2人暮らし	209	57.9	37.8	2.4	1.9
子どもと同居	233	59.7	36.1	3.9	0.4
親と同居	67	65.7	32.8	1.5	0.0
その他	47	59.6	36.2	2.1	2.1
大森	207	60.4	35.7	2.9	1.0
調布	198	60.6	35.4	2.5	1.5
蒲田	200	57.5	37.5	4.5	0.5
糀谷・羽田	98	64.3	35.7	0.0	0.0

問 21 急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたや家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを受ける場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。（複数回答）

本設問(n=703)では、「日々の見守りのための声かけ」が66.3%で最も高く、次いで、「ごみ出しなどのちょっとした作業」が61.0%、「買い物」が43.1%となっている。

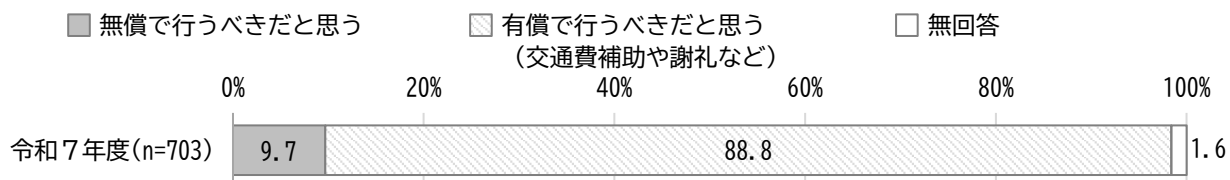


単位：%

	人数	日々の見守りのための声かけ	ごみ出しなどのちょっとした作業	掃除の手伝い	料理の手伝い	洗濯の手伝い	趣味活動への同行	買い物	相談相手	依頼できることはない	無回答
全体	703	66.3	61.0	41.7	27.7	28.0	26.2	43.1	31.3	10.7	0.9
男性	336	63.1	56.0	38.7	24.1	24.4	20.2	37.8	32.1	12.8	0.9
女性	367	69.2	65.7	44.4	31.1	31.3	31.6	48.0	30.5	8.7	0.8
1人暮らし	140	57.9	57.9	34.3	19.3	22.1	22.1	35.0	29.3	16.4	0.0
夫婦2人暮らし	209	71.8	61.7	46.4	31.6	31.1	31.6	42.6	33.0	8.1	1.0
子どもと同居	233	67.0	63.9	41.2	30.9	28.3	28.8	48.9	33.5	10.7	0.0
親と同居	67	73.1	61.2	43.3	25.4	29.9	16.4	43.3	25.4	6.0	1.5
その他	47	55.3	55.3	42.6	25.5	29.8	14.9	40.4	29.8	12.8	4.3
大森	207	63.3	60.4	41.1	29.0	29.5	25.1	45.9	33.3	12.1	0.0
調布	198	74.7	67.2	43.9	27.8	29.3	28.3	43.4	31.3	7.1	1.5
蒲田	200	61.5	62.5	47.0	29.0	27.5	25.0	44.5	29.5	9.5	1.5
梶谷・羽田	98	65.3	46.9	27.6	22.4	23.5	26.5	33.7	30.6	17.3	0.0

問 22 高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対価がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。（単数回答）

本設問(n=703)では、「有償で行うべきだと思う（交通費補助や謝礼など）」が 88.8%で、「無償で行うべきだと思う」が 9.7%であった。

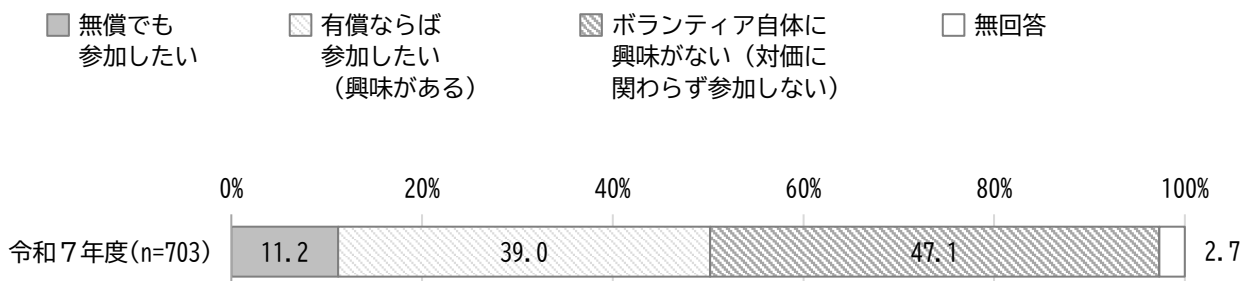


単位：%

	人数	無償で行うべきだと思う	有償で行うべきだと思う (交通費補助や謝礼など)。	無回答
全体	703	9.7	88.8	1.6
男性	336	10.7	88.7	0.6
女性	367	8.7	88.8	2.5
1人暮らし	140	12.1	87.1	0.7
夫婦2人暮らし	209	8.1	89.5	2.4
子どもと同居	233	6.4	92.3	1.3
親と同居	67	13.4	85.1	1.5
その他	47	19.1	80.9	0.0
大森	207	11.1	88.9	0.0
調布	198	5.6	91.9	2.5
蒲田	200	10.0	88.5	1.5
糀谷・羽田	98	14.3	82.7	3.1

問 23 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(単数回答)

本設問(n=703)では、「ボランティア自体に興味がない(対価に関わらず参加しない)」が47.1%で最も高く、次いで、「有償ならば参加したい(興味がある)」が39.0%、「無償でも参加したい」が11.2%となっている。

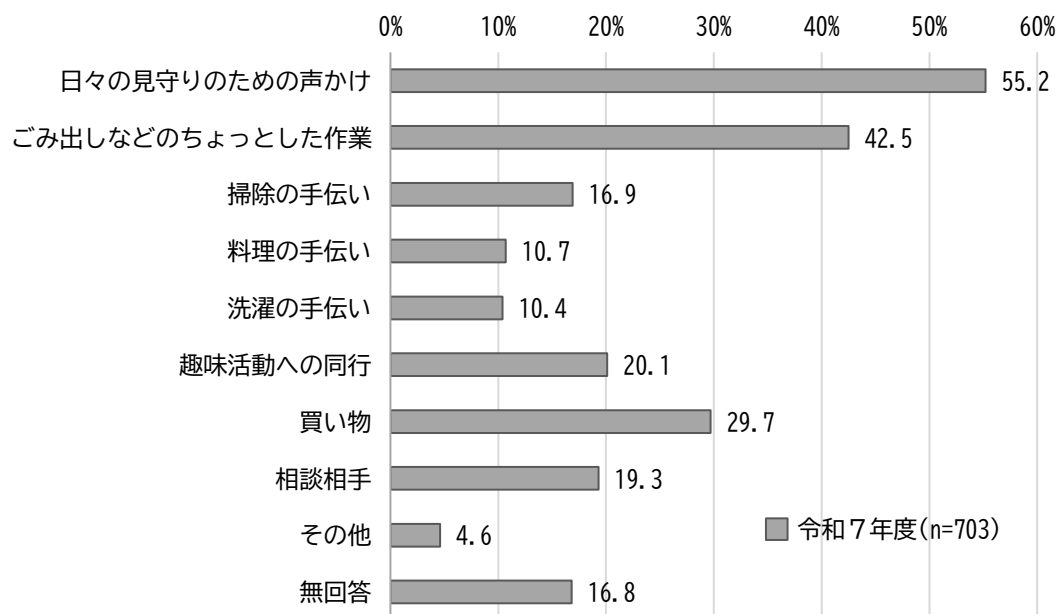


単位：%

	人数	無償でも参加したい	有償ならば参加したい (興味がある)	ボランティア自体に興味がない (対価に関わらず参加しない)	無回答
全体	703	11.2	39.0	47.1	2.7
男性	336	8.0	33.6	56.8	1.5
女性	367	14.2	43.9	38.1	3.8
1人暮らし	140	8.6	35.0	56.4	0.0
夫婦2人暮らし	209	11.5	41.6	43.1	3.8
子どもと同居	233	10.7	42.5	44.6	2.1
親と同居	67	10.4	38.8	47.8	3.0
その他	47	23.4	21.3	48.9	6.4
大森	207	11.6	40.1	45.9	2.4
調布	198	10.6	39.9	46.0	3.5
蒲田	200	9.5	40.0	48.5	2.0
糀谷・羽田	98	15.3	32.7	49.0	3.1

問 24 あなたがボランティアとして活動する場合、どのような内容であれば手伝っても良いと思いますか。（複数回答）

本設問(n=703)では、「日々の見守りのための声かけ」が55.2%で最も高く、次いで、「ごみ出しなどのちょっとした作業」が42.5%、「買い物」が29.7%となっている。



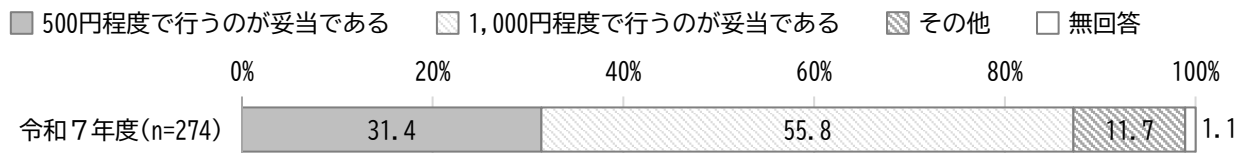
単位：%

	人数	日々の見守りのための声かけ	ごみ出しなどのちょっとした作業	掃除の手伝い	料理の手伝い	洗濯の手伝い	趣味活動への同行	買い物	相談相手	その他	無回答
全体	703	55.2	42.5	16.9	10.7	10.4	20.1	29.7	19.3	4.6	16.8
男性	336	50.6	40.8	16.7	8.3	8.3	14.6	23.8	20.5	3.9	19.6
女性	367	59.4	44.1	17.2	12.8	12.3	25.1	35.1	18.3	5.2	14.2
1人暮らし	140	52.1	41.4	18.6	11.4	14.3	15.0	25.7	15.7	2.9	17.9
夫婦2人暮らし	209	60.8	45.5	19.1	10.5	12.0	23.9	31.1	23.0	2.9	17.7
子どもと同居	233	53.6	41.6	15.5	10.3	8.6	20.2	31.8	20.2	4.7	15.5
親と同居	67	59.7	43.3	10.4	6.0	3.0	20.9	25.4	14.9	7.5	14.9
その他	47	44.7	40.4	19.1	17.0	12.8	17.0	34.0	17.0	12.8	14.9
大森	207	47.3	40.1	19.8	10.6	12.1	22.2	30.4	21.3	3.4	19.3
調布	198	63.1	42.9	15.7	10.1	8.1	20.2	29.8	19.2	4.0	14.6
蒲田	200	53.5	43.0	16.5	10.0	11.5	20.0	27.5	19.5	6.0	17.5
糀谷・羽田	98	59.2	45.9	14.3	13.3	9.2	15.3	32.7	15.3	5.1	14.3

【問 23 において「2. 有償ならば参加したい（興味がある）」と回答した方にうかがいます。】

問 25 あなたが有償ボランティアとして活動する場合、適切な対価は1時間あたりいくらだと考えますか。（単数回答）

本設問(n=274)では、「1,000円程度で行うのが妥当である。」が55.8%で最も高く、次いで、「500円程度で行うのが妥当である。」が31.4%、「その他」が11.7%となっている。「その他」では、「1,500円」との回答が多くみられた。

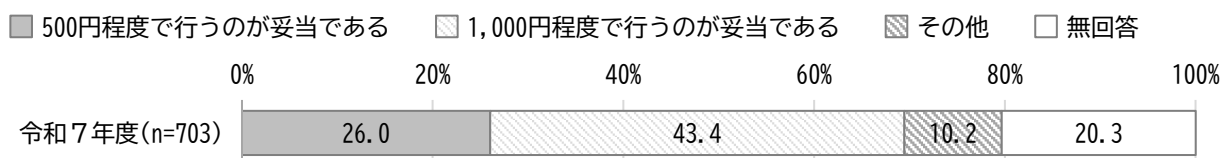


単位：%

	人数	500円程度で行うのが妥当である	1,000円程度で行うのが妥当である	その他	無回答
全体	274	31.4	55.8	11.7	1.1
男性	113	25.7	59.3	14.2	0.9
女性	161	35.4	53.4	9.9	1.2
1人暮らし	49	34.7	46.9	16.3	2.0
夫婦2人暮らし	87	29.9	57.5	11.5	1.1
子どもと同居	99	28.3	60.6	10.1	1.0
親と同居	26	30.8	57.7	11.5	0.0
その他	10	60.0	40.0	0.0	0.0
大森	83	27.7	56.6	13.3	2.4
調布	79	25.3	65.8	7.6	1.3
蒲田	80	40.0	47.5	12.5	0.0
糀谷・羽田	32	34.4	50.0	15.6	0.0

問 26 あなたが有償ボランティアを依頼する場合、報酬は1時間あたりいくらが適切だと考えますか。(単数回答)

本設問(n=703)では、「1,000円程度で行うのが妥当である。」が43.4%で最も高く、次いで、「500円程度で行うのが妥当である。」が26.0%、「その他」が10.2%となっている。「その他」では、「1,500円」との回答が多くみられた。



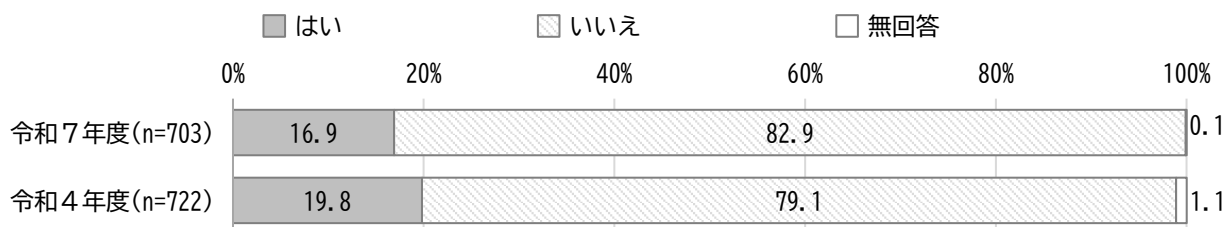
単位：%

	人数	500円程度で行うのが妥当である	1,000円程度で行うのが妥当である	その他	無回答
全体	703	26.0	43.4	10.2	20.3
男性	336	21.1	46.1	10.7	22.0
女性	367	30.5	40.9	9.8	18.8
1人暮らし	140	31.4	38.6	11.4	18.6
夫婦2人暮らし	209	25.8	43.5	10.5	20.1
子どもと同居	233	23.2	48.5	8.6	19.7
親と同居	67	22.4	47.8	10.4	19.4
その他	47	31.9	27.7	10.6	29.8
大森	207	26.1	44.0	9.7	20.3
調布	198	21.7	48.0	11.6	18.7
蒲田	200	26.5	41.5	9.5	22.5
糀谷・羽田	98	33.7	36.7	10.2	19.4

(6) 認知症に関する状況

問 27 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「はい」が16.9%、「いいえ」が82.9%であった。「いいえ」の割合は、令和4年度の79.1%から3.8ポイント上昇している。

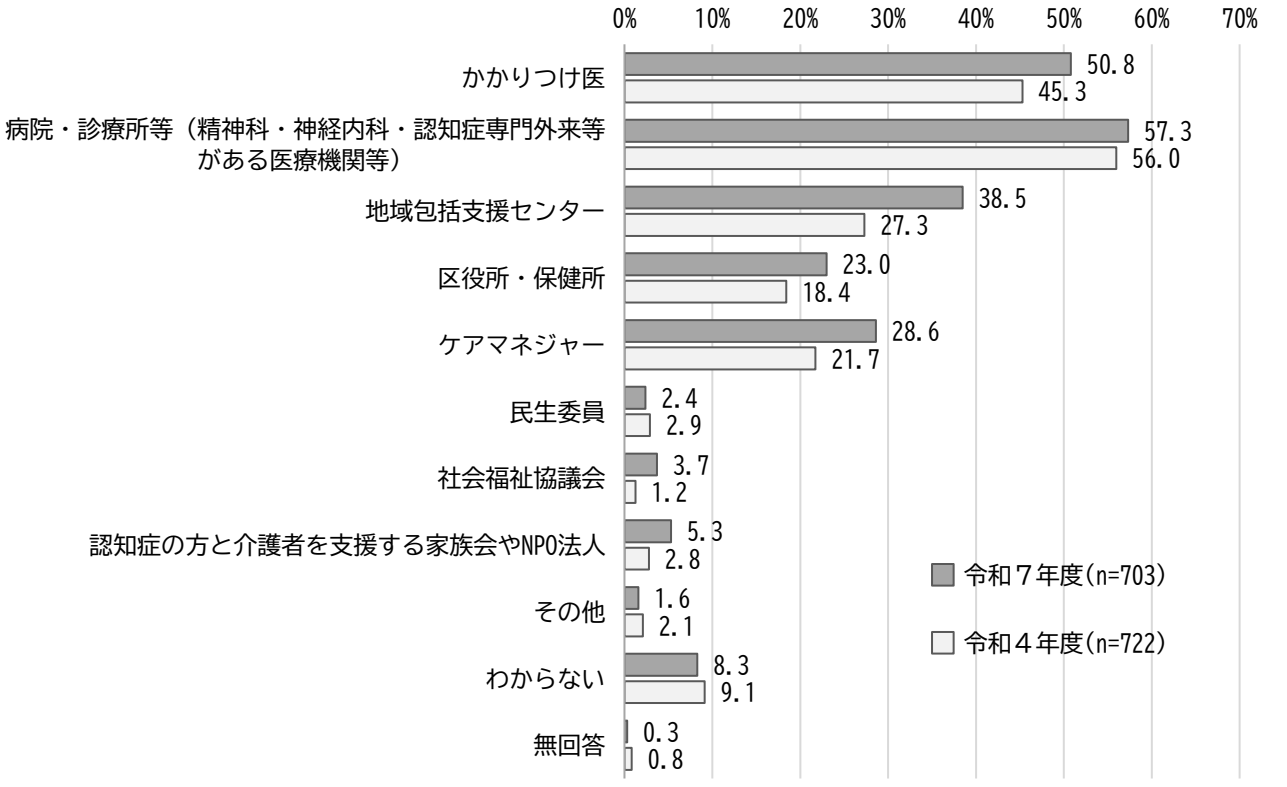


単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	703	16.9	82.9	0.1
男性	336	16.7	83.0	0.3
女性	367	17.2	82.8	0.0
1人暮らし	140	10.0	90.0	0.0
夫婦2人暮らし	209	18.2	81.8	0.0
子どもと同居	233	16.3	83.7	0.0
親と同居	67	29.9	70.1	0.0
その他	47	19.1	80.9	0.0

問 28 自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに（誰に）相談しようと思いますか。
（複数回答）

令和7年度(n=703)では、「病院・診療所等（精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等）」が 57.3%で最も高く、次いで、「かかりつけ医」が 50.8%、「地域包括支援センター」が 38.5%となっている。「地域包括支援センター」の割合は、令和4年度の 27.3%から 11.2ポイント上昇している。

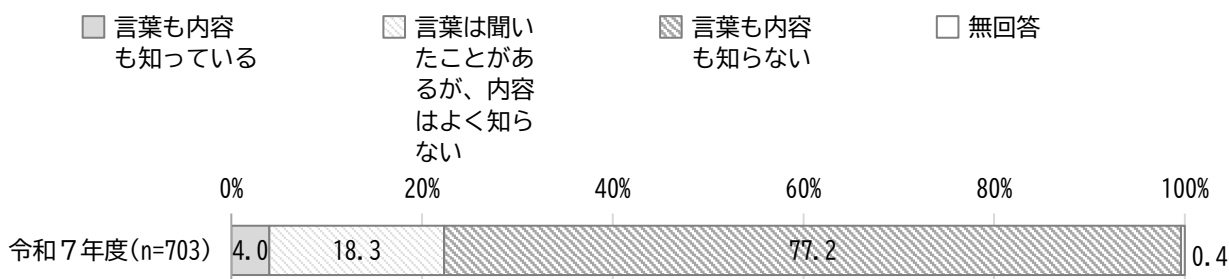


単位：%

	人数	かかりつけ医	病院・診療所等（精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等）	地域包括支援センター	区役所・保健所	ケアマネジャー	民生委員	社会福祉協議会	認知症の方と介護者を支援する家族会やNPO法人	その他	わからない	無回答
全体	703	50.8	57.3	38.5	23.0	28.6	2.4	3.7	5.3	1.6	8.3	0.3
男性	336	43.8	56.5	27.4	22.3	24.7	2.7	2.7	4.5	1.2	9.8	0.6
女性	367	57.2	58.0	48.8	23.7	32.2	2.2	4.6	6.0	1.9	6.8	0.0
1人暮らし	140	41.4	47.9	32.9	25.0	24.3	2.1	3.6	4.3	2.9	13.6	0.0
夫婦2人暮らし	209	47.4	59.3	39.7	25.4	25.4	3.3	4.8	6.7	1.4	8.6	0.5
子どもと同居	233	51.9	61.4	39.9	21.9	30.5	1.3	2.6	5.2	0.4	5.2	0.0
親と同居	67	67.2	59.7	44.8	13.4	44.8	3.0	3.0	3.0	1.5	7.5	0.0
その他	47	63.8	59.6	36.2	23.4	25.5	4.3	6.4	6.4	2.1	8.5	0.0

問 29 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。（単数回答）

本設問(n=703)では、「言葉も内容も知らない」が77.2%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が18.3%、「言葉も内容も知っている」が4.0%となっている。



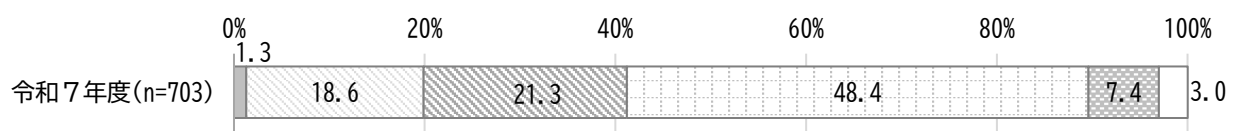
単位：%

	人数	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	言葉も内容も知らない	無回答
全体	703	4.0	18.3	77.2	0.4
男性	336	2.4	17.6	79.5	0.6
女性	367	5.4	19.1	75.2	0.3
1人暮らし	140	2.9	20.7	76.4	0.0
夫婦2人暮らし	209	4.3	20.6	74.2	1.0
子どもと同居	233	3.9	14.2	82.0	0.0
親と同居	67	4.5	16.4	79.1	0.0
その他	47	6.4	23.4	70.2	0.0

問 30 認知症になった人について、あなたがもっとも近いと感じるイメージをご回答ください。
(単数回答)

本設問(n=703)では、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」が48.4%で最も高く、次いで、「認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる」が21.3%、「認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる」が18.6%となっている。

- 認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている
- ▨ 認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる
- ▩ 認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる
- ▧ 認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる
- わからない
- 無回答

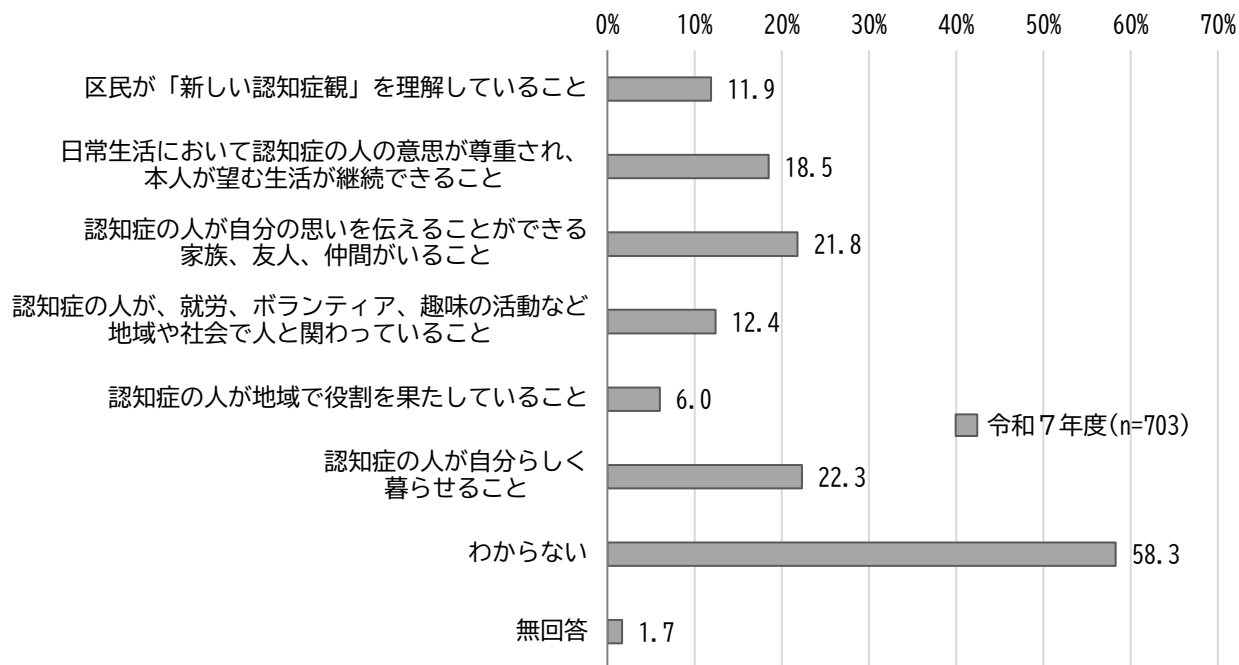


単位：%

	人数	認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている	認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる	認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる	認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる	わからない	無回答
全体	703	1.3	18.6	21.3	48.4	7.4	3.0
男性	336	1.5	16.4	23.8	49.1	7.1	2.1
女性	367	1.1	20.7	19.1	47.7	7.6	3.8
1人暮らし	140	1.4	9.3	25.7	51.4	9.3	2.9
夫婦2人暮らし	209	1.9	24.4	20.6	43.5	6.2	3.3
子どもと同居	233	0.9	17.6	20.2	50.6	8.6	2.1
親と同居	67	0.0	19.4	13.4	56.7	6.0	4.5
その他	47	2.1	27.7	27.7	36.2	4.3	2.1

問 31 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」として以下のことは実現できていると思いますか。（複数回答）

本設問(n=703)では、「わからない」が 58.3%で最も高く、次いで、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が 22.3%、「認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること」が 21.8%となっている。

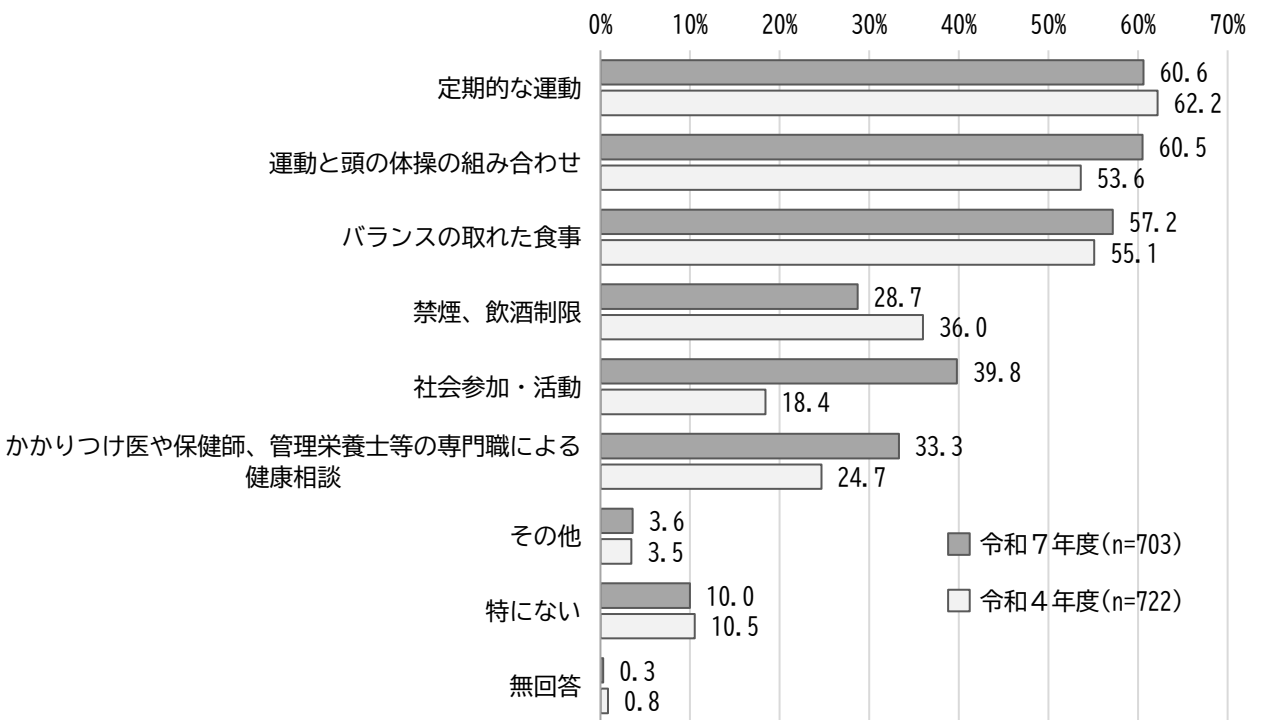


単位：%

	人数	区民が「新しい認知症観」を理解していること	日常生活において認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できること	認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること	認知症の人が、就労、ボランティア、趣味の活動など地域や社会で人と関わっていること	認知症の人が地域で役割を果たしていること	認知症の人が自分らしく暮らせること	わからない	無回答
全体	703	11.9	18.5	21.8	12.4	6.0	22.3	58.3	1.7
男性	336	10.4	16.1	21.7	10.1	6.5	18.8	60.7	1.2
女性	367	13.4	20.7	21.8	14.4	5.4	25.6	56.1	2.2
1人暮らし	140	8.6	11.4	13.6	7.1	4.3	12.9	73.6	0.7
夫婦2人暮らし	209	14.8	17.7	23.0	13.9	6.7	20.6	58.9	1.9
子どもと同居	233	12.0	23.6	24.0	15.5	6.9	26.6	51.5	1.3
親と同居	67	11.9	16.4	25.4	9.0	4.5	28.4	59.7	0.0
その他	47	10.6	23.4	25.5	10.6	6.4	27.7	46.8	2.1

問 32 認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい（現在取り組んでいるものを含む）ことはありますか。（複数回答）

令和7年度(n=703)では、「定期的な運動」が60.6%で最も高く、次いで、「運動と頭の体操の組み合わせ」が60.5%、「バランスの取れた食事」が57.2%となっている。「禁煙、飲酒制限」（28.7%）の割合は、令和4年度の18.4%から10.3ポイント上昇している。

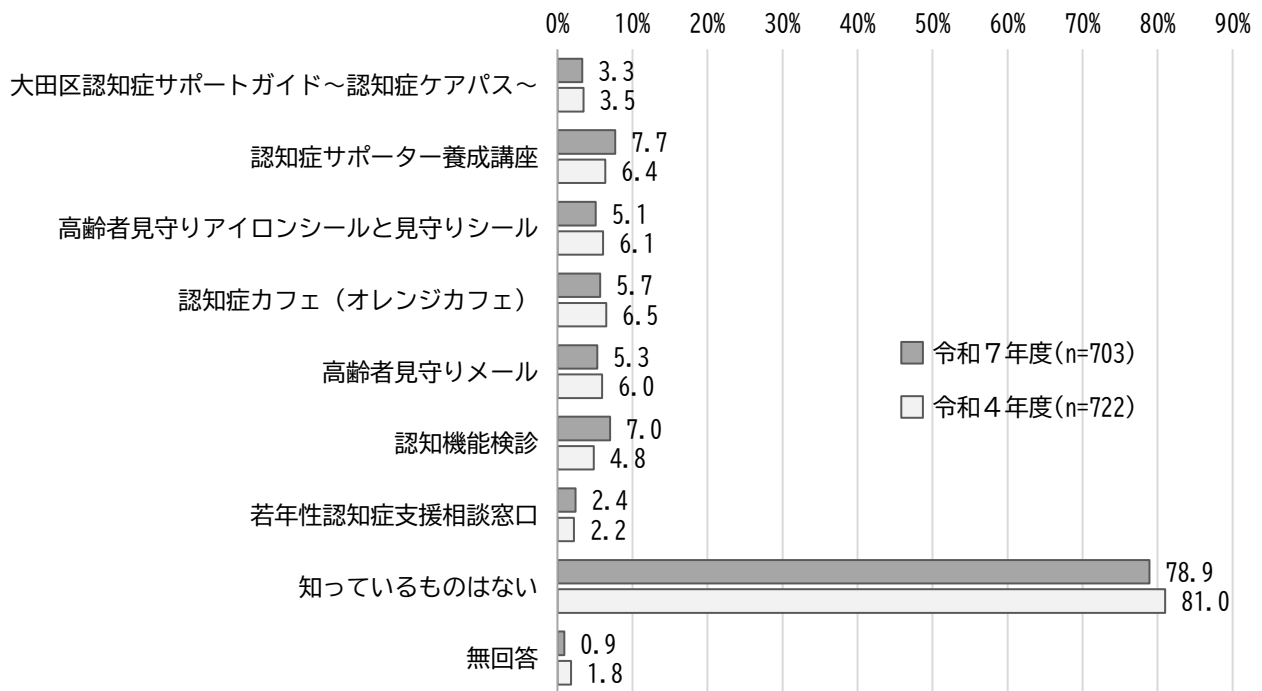


単位：%

	人数	定期的な運動	運動と頭の体操の組み合わせ	バランスの取れた食事	禁煙、飲酒制限	社会参加・活動	かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談	その他	特にない	無回答
全体	703	60.6	60.5	57.2	28.7	39.8	33.3	3.6	10.0	0.3
男性	336	58.0	57.7	51.5	27.4	33.3	32.7	3.0	11.6	0.0
女性	367	62.9	62.9	62.4	30.0	45.8	33.8	4.1	8.4	0.5
1人暮らし	140	59.3	58.6	52.1	25.0	37.1	35.7	3.6	12.1	0.0
夫婦2人暮らし	209	66.0	64.1	62.7	29.2	44.0	24.9	4.3	8.6	0.5
子どもと同居	233	61.8	61.8	55.8	30.0	41.6	34.3	3.0	9.9	0.0
親と同居	67	52.2	53.7	58.2	34.3	34.3	46.3	0.0	11.9	0.0
その他	47	53.2	55.3	55.3	25.5	34.0	44.7	6.4	8.5	0.0

問 33 区が実施している認知症施策を知っていますか。（複数回答）

令和7年度(n=703)では、「知っているものはない」が78.9%で最も高く、次いで、「認知症サポーター養成講座」が7.7%、「認知機能検診」が7.0%となっている。

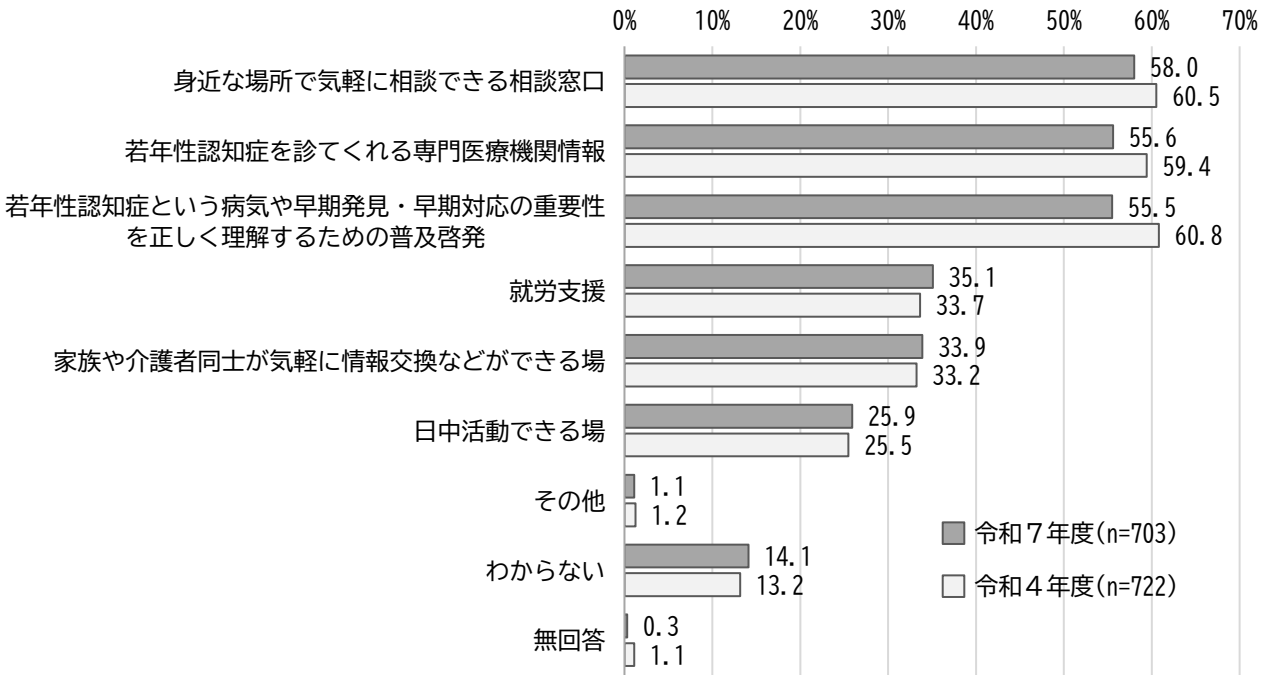


単位：％

	人数	大田区認知症サポートガイド～認知症ケアパス～	認知症サポーター養成講座	高齢者見守りアイロンシールと見守りシール	認知症カフェ（オレンジカフェ）	高齢者見守りメール	認知機能検診	若年性認知症支援相談窓口	知っているものはない	無回答
全体	703	3.3	7.7	5.1	5.7	5.3	7.0	2.4	78.9	0.9
男性	336	2.7	3.6	2.4	2.7	4.8	4.8	0.6	86.9	0.6
女性	367	3.8	11.4	7.6	8.4	5.7	9.0	4.1	71.7	1.1
1人暮らし	140	2.9	6.4	2.9	3.6	2.9	5.7	0.7	84.3	0.0
夫婦2人暮らし	209	3.3	9.6	6.2	5.7	5.3	4.3	2.9	78.9	0.0
子どもと同居	233	1.3	6.9	5.6	4.7	4.7	7.3	2.1	79.4	1.3
親と同居	67	7.5	9.0	7.5	9.0	11.9	14.9	4.5	67.2	1.5
その他	47	8.5	6.4	2.1	12.8	6.4	10.6	4.3	76.6	2.1

問 34 若年性認知症の支援には何が必要だと思いますか。（複数回答）

令和7年度(n=703)では、「身近な場所で気軽に相談できる相談窓口」が58.0%で最も高く、次いで、「若年性認知症を診てくれる専門医療機関情報」が55.6%、「若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発」が55.5%となっている。「若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発」の割合は、令和4年度の60.8%から5.3ポイント低下している。



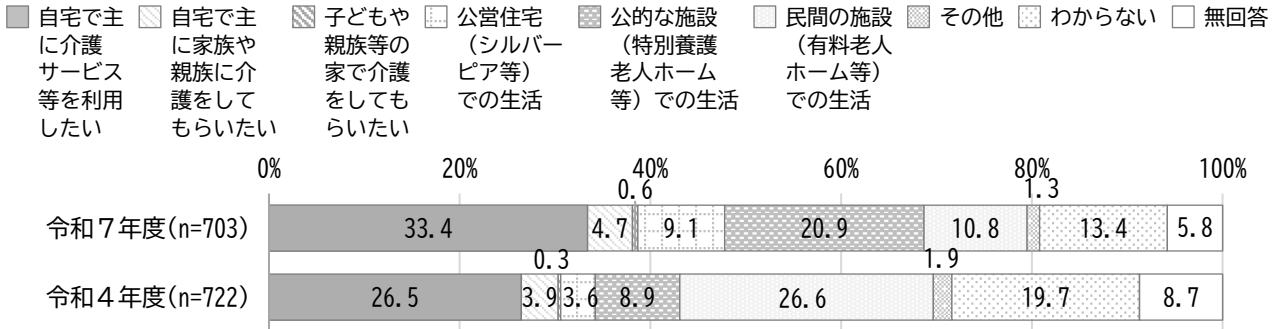
単位：%

	人数	若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発	若年性認知症を診てくれる専門医療機関情報	身近な場所で気軽に相談できる相談窓口	家族や介護者同士が気軽に情報交換などができる場	就労支援	日中活動できる場	その他	わからない	無回答
全体	703	55.5	55.6	58.0	33.9	35.1	25.9	1.1	14.1	0.3
男性	336	50.0	50.3	51.5	26.5	28.6	17.6	0.9	18.2	0.0
女性	367	60.5	60.5	64.0	40.6	41.1	33.5	1.4	10.4	0.5
1人暮らし	140	49.3	49.3	57.9	26.4	35.7	25.0	1.4	17.1	0.0
夫婦2人暮らし	209	58.4	55.0	59.3	34.4	35.9	26.3	1.0	15.3	0.0
子どもと同居	233	54.9	58.8	54.9	35.2	32.6	25.3	1.7	12.9	0.4
親と同居	67	52.2	56.7	59.7	35.8	43.3	25.4	0.0	13.4	0.0
その他	47	72.3	59.6	66.0	48.9	36.2	29.8	0.0	8.5	0.0

(7) 今後の生活に対する希望や支援ニーズ

問 35 万が一介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「自宅で主に介護サービス等を利用したい」が33.4%で最も高く、次いで、「公的な施設(特別養護老人ホーム等)での生活」が20.9%、「わからない」が13.4%となっている。「自宅で主に介護サービス等を利用したい/自宅で主に家族や親族に介護してもらいたい」の割合(38.1%)は、令和4年度の30.4%から7.7ポイント上昇している。

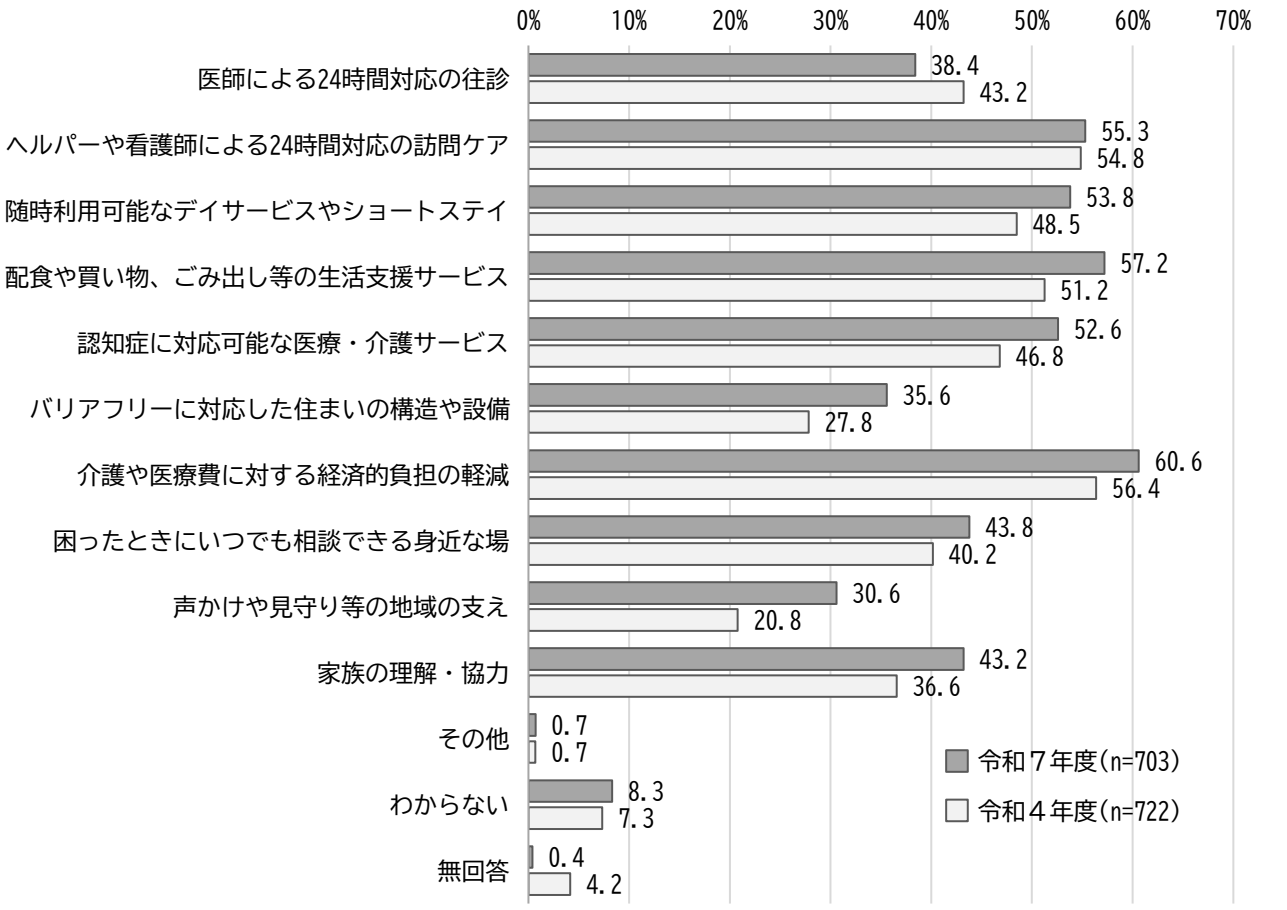


単位：%

	人数	自宅で主に介護サービス等を利用したい	自宅で主に家族や親族に介護してもらいたい	子どもや親族等の家で介護してもらいたい	公営住宅(シルバーピア等)での生活	公的な施設(特別養護老人ホーム等)での生活	民間の施設(有料老人ホーム等)での生活	その他	わからない	無回答
全体	703	33.4	4.7	0.6	9.1	20.9	10.8	1.3	13.4	5.8
男性	336	34.2	7.4	0.3	7.4	20.2	9.2	1.2	15.2	4.8
女性	367	32.7	2.2	0.8	10.6	21.5	12.3	1.4	11.7	6.8
1人暮らし	140	29.3	1.4	0.7	12.1	23.6	9.3	1.4	15.7	6.4
夫婦2人暮らし	209	34.0	7.7	0.5	6.7	17.2	11.5	1.0	14.4	7.2
子どもと同居	233	35.2	5.2	0.9	9.0	22.3	10.3	1.7	10.7	4.7
親と同居	67	28.4	1.5	0.0	9.0	26.9	16.4	1.5	14.9	1.5
その他	47	42.6	4.3	0.0	10.6	14.9	6.4	0.0	14.9	6.4

問 36 介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるために、必要と感じることを教えてください。(複数回答)

令和7年度(n=703)では、「介護や医療費に対する経済的負担の軽減」が60.6%で最も高く、次いで、「配食や買い物、ごみ出し等の生活支援サービス」が57.2%、「ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア」が55.3%となっている。「声かけや見守り等の地域の支え」(30.6%)の割合は、令和4年度の20.8%から9.8ポイント上昇している。

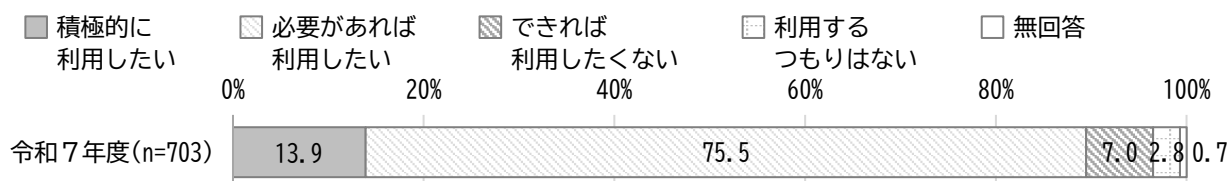


単位：%

	人数	医師による24時間対応の往診	ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア	随時利用可能なデイサービスやショートステイ	配食や買い物、ごみ出し等の生活支援サービス	認知症に対応可能な医療・介護サービス	バリアフリーに対応した住まいの構造や設備	介護や医療費に対する経済的負担の軽減	困ったときにいつでも相談できる身近な場	声かけや見守り等の地域の支え	家族の理解・協力	その他	わからない	無回答
全体	703	38.4	55.3	53.8	57.2	52.6	35.6	60.6	43.8	30.6	43.2	0.7	8.3	0.4
男性	336	33.0	46.1	45.2	49.1	48.5	25.6	53.0	35.1	24.4	37.2	0.6	12.5	0.3
女性	367	43.3	63.8	61.6	64.6	56.4	44.7	67.6	51.8	36.2	48.8	0.8	4.4	0.5
1人暮らし	140	30.0	47.1	44.3	56.4	50.0	30.0	56.4	42.9	29.3	24.3	2.1	15.0	0.0
夫婦2人暮らし	209	41.6	54.1	58.9	58.9	55.0	36.4	57.4	42.1	35.9	46.9	0.5	7.7	1.0
子どもと同居	233	36.1	58.4	58.8	54.9	54.9	37.3	60.9	44.6	27.5	51.9	0.4	6.0	0.0
親と同居	67	47.8	61.2	53.7	61.2	53.7	37.3	71.6	52.2	32.8	40.3	0.0	4.5	0.0
その他	47	44.7	66.0	36.2	61.7	42.6	40.4	70.2	40.4	23.4	48.9	0.0	8.5	0.0

問 37 在宅医療サービスに対する考えを教えてください。（単数回答）

本設問(n=703)では、「必要があれば利用したい」が75.5%で最も高く、次いで、「積極的に利用したい」が13.9%、「できれば利用したくない」が7.0%となっている。

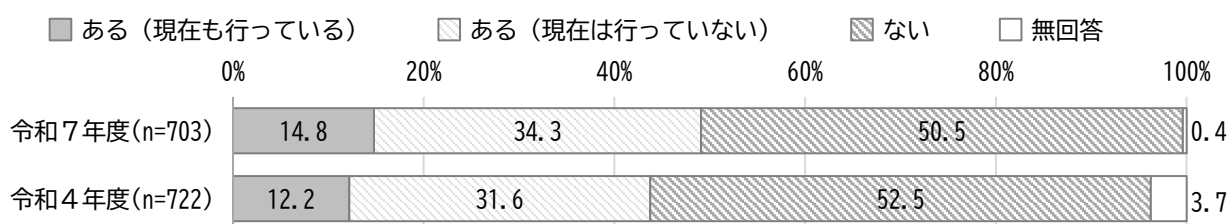


単位：%

	人数	積極的に利用したい	必要があれば利用したい	できれば利用したくない	利用するつもりはない	無回答
全体	703	13.9	75.5	7.0	2.8	0.7
男性	336	12.8	72.6	10.1	3.9	0.6
女性	367	15.0	78.2	4.1	1.9	0.8
1人暮らし	140	10.7	71.4	12.9	4.3	0.7
夫婦2人暮らし	209	12.9	80.4	5.7	0.5	0.5
子どもと同居	233	15.0	76.8	4.3	3.4	0.4
親と同居	67	14.9	74.6	3.0	6.0	1.5
その他	47	19.1	68.1	10.6	2.1	0.0

問 38 これまでにご家族や親戚の方等の介護を行った経験はありますか。（単数回答）

令和7年度(n=703)では、「ない」が50.5%で最も高く、次いで、「ある（現在は行っていない）」が34.3%、「ある（現在も行っている）」が14.8%となっている。

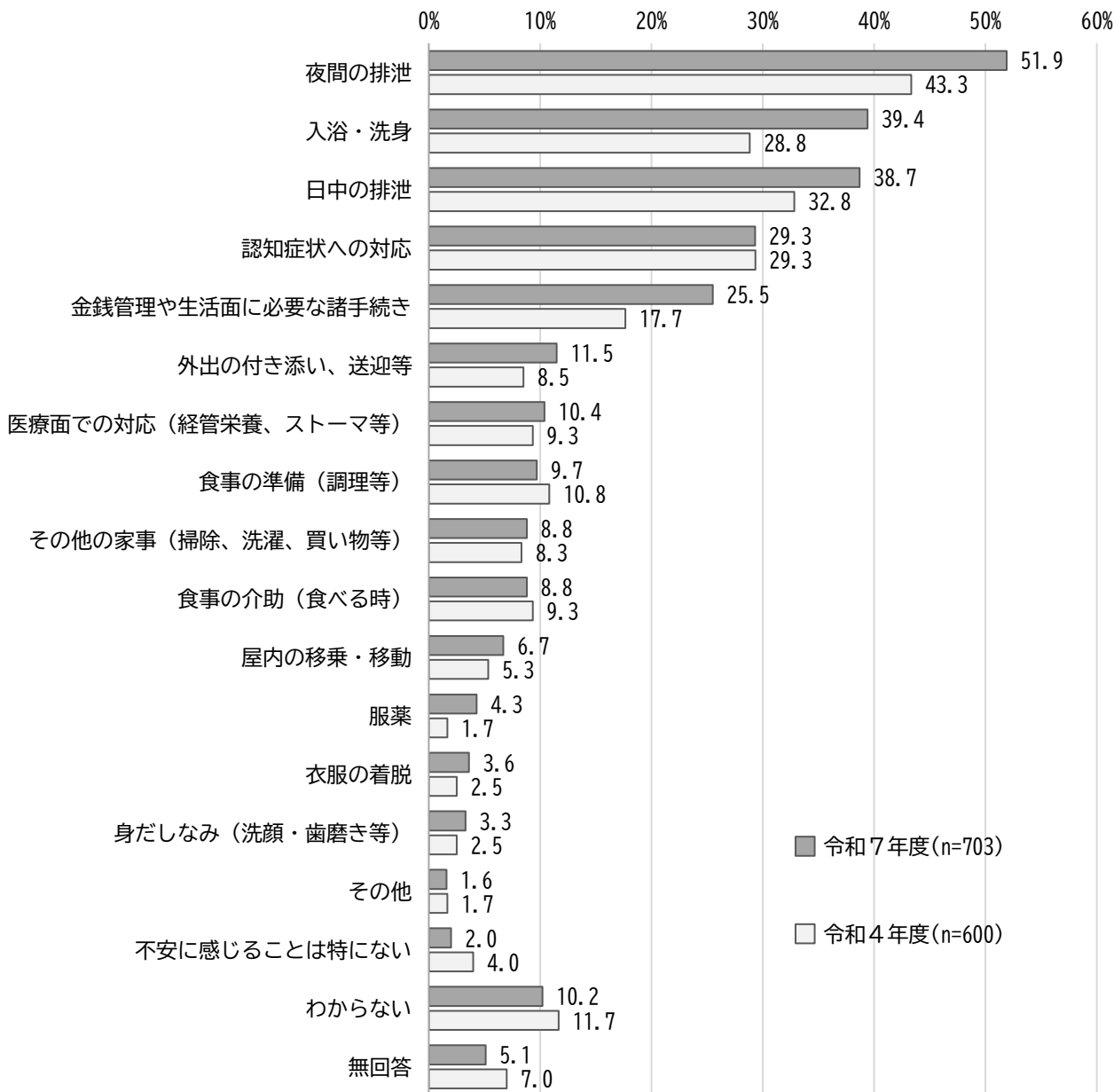


単位：%

	人数	ある（現在も行っている）	ある（現在は行っていない）	ない	無回答
全体	703	14.8	34.3	50.5	0.4
男性	336	13.4	31.0	55.1	0.6
女性	367	16.1	37.3	46.3	0.3
1人暮らし	140	4.3	40.7	55.0	0.0
夫婦2人暮らし	209	15.3	33.5	51.2	0.0
子どもと同居	233	14.6	33.9	51.1	0.4
親と同居	67	31.3	25.4	41.8	1.5
その他	47	19.1	36.2	44.7	0.0

問 39 あなたが現在行っている中で不安に思う介護の内容、あるいは今後誰かの介護をすることを想像したときに不安を感じるものを教えてください。（複数回答、3つまで選択可）

令和7年度(n=703)では、「夜間の排泄」が51.9%で最も高く、次いで、「入浴・洗身」が39.4%、「日中の排泄」が38.7%となっている。「入浴・洗身」の割合は、令和4年度の28.8%から10.6ポイント上昇している。



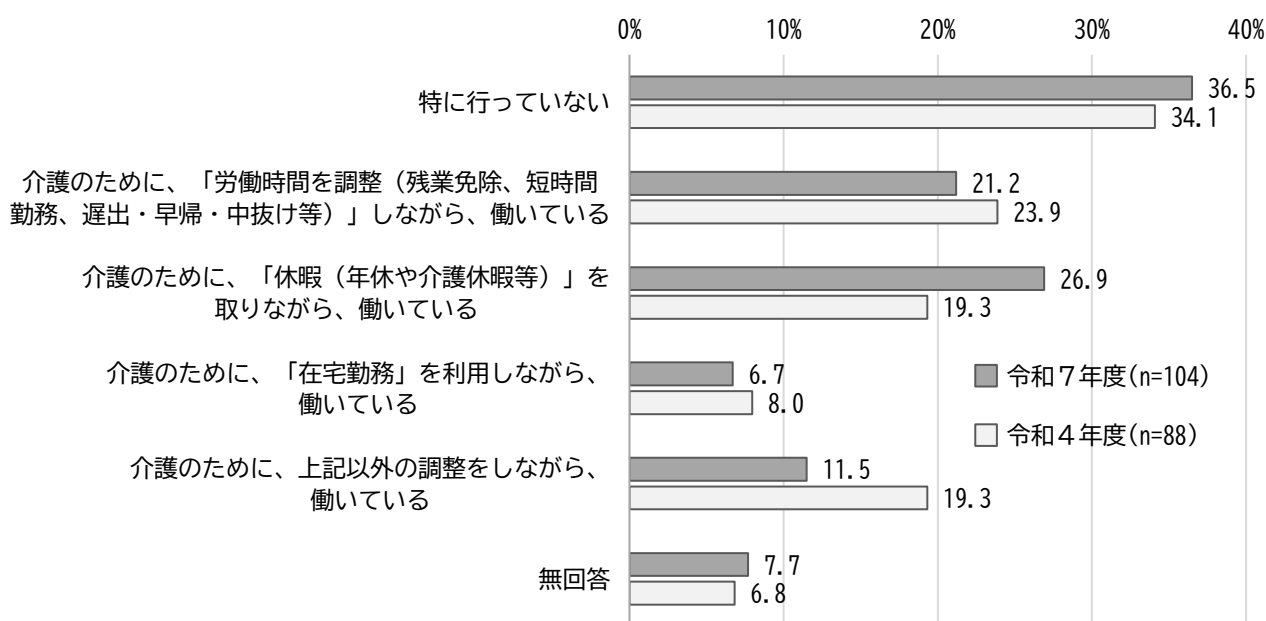
単位：％

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	（掃除、洗濯、買い物等） その他の家事	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	不安に感じることは 特になし	わからない	無回答
全体	703	38.7	51.9	8.8	39.4	3.3	3.6	6.7	11.5	4.3	29.3	10.4	9.7	8.8	25.5	1.6	2.0	10.2	5.1
男性	336	42.3	49.1	12.8	35.4	3.3	3.3	4.2	9.8	3.9	26.2	7.7	12.2	9.8	25.6	1.2	2.7	12.2	3.6
女性	367	35.4	54.5	5.2	43.1	3.3	3.8	9.0	13.1	4.6	32.2	12.8	7.4	7.9	25.3	1.9	1.4	8.4	6.5
1人暮らし	140	32.1	41.4	5.0	27.9	3.6	4.3	3.6	11.4	2.9	23.6	8.6	9.3	7.9	29.3	2.9	4.3	15.7	5.7
夫婦2人暮らし	209	34.0	54.5	8.1	40.2	2.9	3.8	8.6	11.5	4.8	34.0	12.4	10.5	8.1	21.5	1.9	2.4	9.1	4.8
子どもと同居	233	45.1	53.2	13.3	41.6	4.3	3.4	6.4	11.6	6.0	30.9	9.0	10.3	12.0	26.6	0.4	0.9	8.6	3.9
親と同居	67	46.3	56.7	7.5	47.8	1.5	1.5	9.0	11.9	3.0	22.4	11.9	7.5	3.0	25.4	3.0	0.0	10.4	4.5
その他	47	38.3	61.7	4.3	51.1	2.1	2.1	6.4	12.8	0.0	29.8	10.6	8.5	8.5	25.5	0.0	2.1	6.4	8.5

【問 38 において 1. ある（現在も行っている）と回答した方にうかがいます。】

問 40 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数回答）

令和7年度(n=104)では、「特に行っていない」が36.5%で最も高く、次いで、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が26.9%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が21.2%となっている。「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」（11.5%）の割合は、令和4年度の19.3%から7.8ポイント低下している。

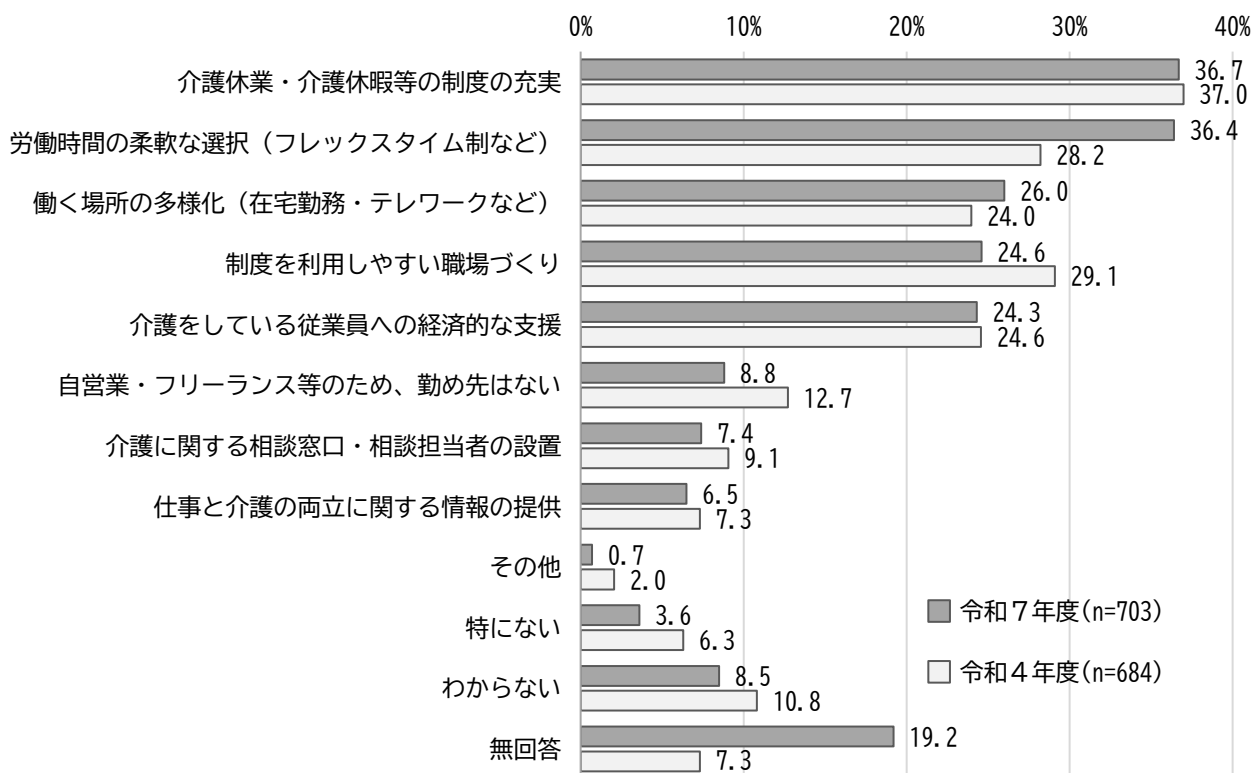


単位：%

	人数	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	無回答
全体	104	36.5	21.2	26.9	6.7	11.5	7.7
男性	45	44.4	24.4	28.9	8.9	8.9	2.2
女性	59	30.5	18.6	25.4	5.1	13.6	11.9
1人暮らし	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0
夫婦2人暮らし	32	28.1	15.6	40.6	12.5	12.5	9.4
子どもと同居	34	44.1	29.4	20.6	2.9	8.8	5.9
親と同居	21	33.3	23.8	14.3	9.5	19.0	4.8
その他	9	33.3	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2

問 41 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
(複数回答、3つまで選択可)

令和7年度(n=703)では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が36.7%で最も高く、次いで、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が36.4%、「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」が26.0%となっている。「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」の割合は、令和4年度の28.2%から8.2ポイント上昇している。

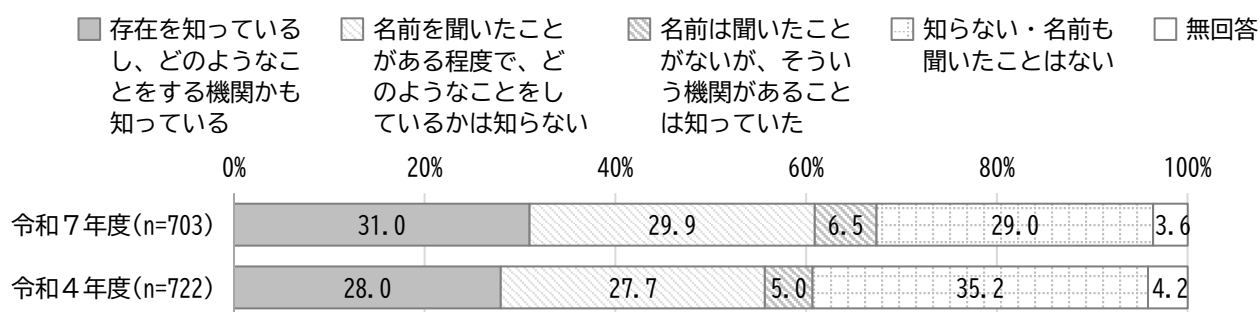


単位：%

	人数	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	わからない	無回答
全体	703	8.8	36.7	24.6	36.4	26.0	6.5	7.4	24.3	0.7	3.6	8.5	19.2
男性	336	9.8	37.2	23.5	33.9	27.1	8.0	8.3	25.0	0.3	5.4	9.2	16.4
女性	367	7.9	36.2	25.6	38.7	25.1	5.2	6.5	23.7	1.1	1.9	7.9	21.8
1人暮らし	140	7.9	32.1	22.1	37.9	29.3	5.0	7.1	25.0	0.7	4.3	10.0	18.6
夫婦2人暮らし	209	9.6	40.7	27.3	34.4	26.8	7.2	7.7	23.0	0.5	4.8	8.6	18.2
子どもと同居	233	8.2	40.8	24.0	35.2	27.0	9.0	8.2	24.5	0.4	3.0	6.9	19.7
親と同居	67	14.9	25.4	26.9	43.3	19.4	1.5	4.5	22.4	1.5	1.5	9.0	14.9
その他	47	4.3	31.9	19.1	34.0	17.0	4.3	6.4	25.5	2.1	2.1	12.8	27.7

問 42 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(単数回答)

令和7年度(n=703)では、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」が31.0%で最も高く、次いで、「名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない」が29.9%、「知らない・名前も聞いたことはない」が29.0%となっている。「知らない・名前も聞いたことはない」の割合は、令和4年度の35.2%から6.2ポイント低下している。

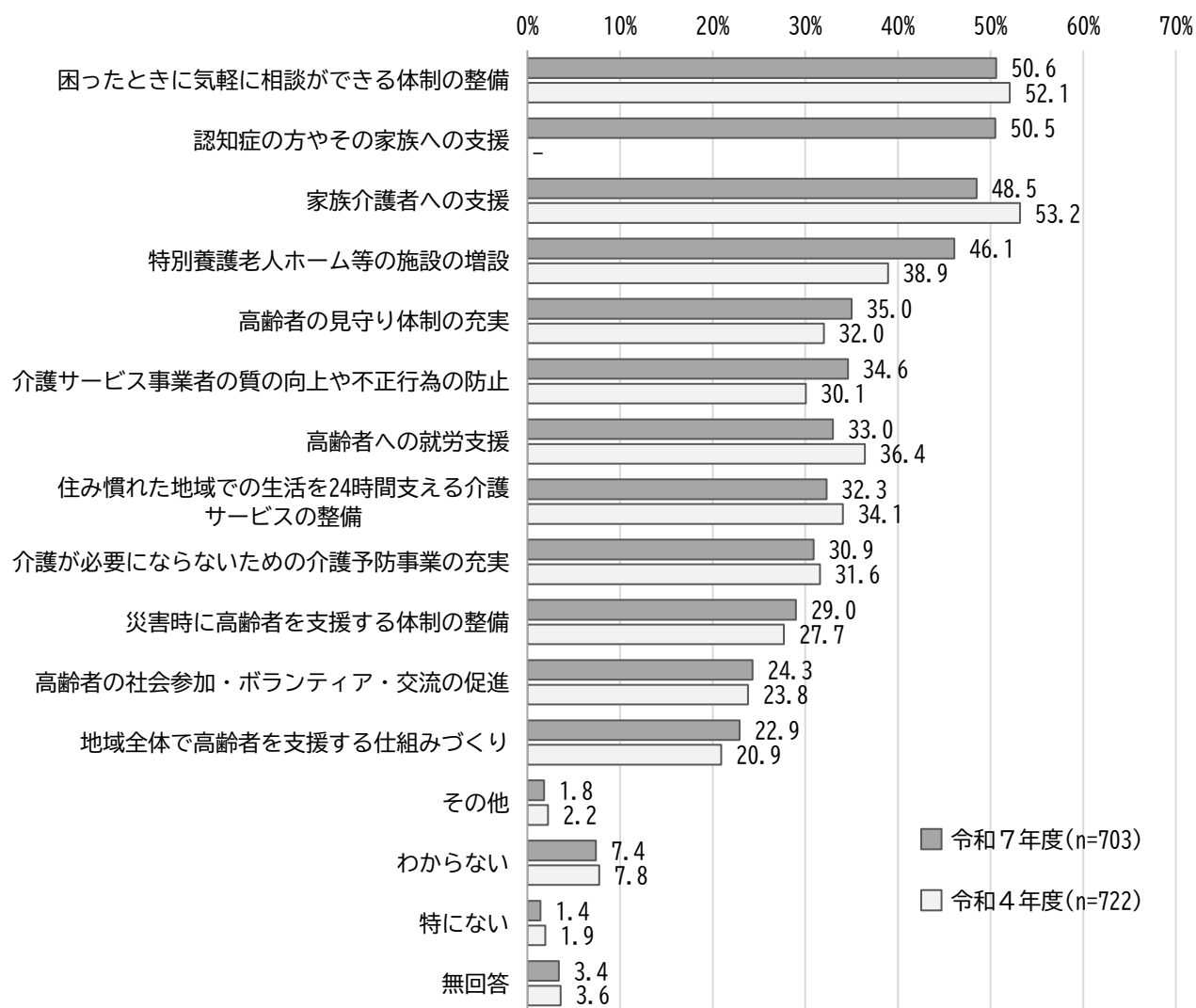


単位：%

	人数	存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている	名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない	名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた	知らない・名前も聞いたことはない	無回答
全体	703	31.0	29.9	6.5	29.0	3.6
男性	336	22.0	26.8	8.0	40.5	2.7
女性	367	39.2	32.7	5.2	18.5	4.4
1人暮らし	140	25.0	24.3	8.6	39.3	2.9
夫婦2人暮らし	209	34.0	28.7	5.7	28.2	3.3
子どもと同居	233	30.5	32.6	6.9	27.9	2.1
親と同居	67	38.8	32.8	6.0	19.4	3.0
その他	47	27.7	36.2	4.3	23.4	8.5
大森	207	30.9	28.0	9.7	29.5	1.9
調布	198	31.3	31.8	4.5	29.3	3.0
蒲田	200	30.0	30.5	3.5	31.5	4.5
糀谷・羽田	98	32.7	28.6	10.2	22.4	6.1

問 43 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考える事業・サービスを教えてください。
(複数回答)

令和7年度(n=703)では、「困ったときに気軽に相談ができる体制の整備」が50.6%で最も高く、次いで、「認知症の方やその家族への支援」が50.5%、「家族介護者への支援」が48.5%となっている。「特別養護老人ホーム等の施設の増設」(46.1%)の割合は、令和4年度の38.9%から7.2ポイント上昇している。



単位：％

	人数	高齢者への就労支援	ボランティア・交流の促進	高齢者の社会参加・介護予防事業の充実	介護が必要にならないための	高齢者の見守り体制の充実	困ったときに気軽に相談ができる体制の整備	認知症の方やその家族への支援	家族介護者への支援	介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止	24時間支える介護サービスの整備	住み慣れた地域での生活を特別養護老人ホーム等の施設を増設	地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり	災害時に高齢者を支援する体制の整備	その他	わからない	特にない	無回答
全体	703	33.0	24.3	30.9	35.0	50.6	50.5	48.5	34.6	32.3	46.1	22.9	29.0	1.8	7.4	1.4	3.4	
男性	336	36.3	22.0	31.0	35.7	48.2	51.2	45.8	29.2	28.9	44.3	22.9	27.1	2.1	9.2	2.1	2.7	
女性	367	30.0	26.4	30.8	34.3	52.9	49.9	51.0	39.5	35.4	47.7	22.9	30.8	1.6	5.7	0.8	4.1	
1人暮らし	140	40.0	24.3	30.7	35.7	53.6	41.4	36.4	35.7	28.6	38.6	24.3	28.6	3.6	10.7	2.1	2.1	
夫婦2人暮らし	209	30.6	29.2	34.9	38.8	46.4	54.5	47.4	40.2	35.9	47.8	27.8	31.1	0.5	5.3	2.4	3.3	
子どもと同居	233	31.8	22.3	28.8	32.6	52.8	54.1	52.8	30.0	32.2	49.8	21.5	26.6	2.1	6.9	0.9	2.6	
親と同居	67	31.3	17.9	29.9	34.3	53.7	49.3	59.7	35.8	34.3	46.3	19.4	32.8	0.0	9.0	0.0	3.0	
その他	47	34.0	23.4	25.5	34.0	46.8	46.8	55.3	29.8	25.5	40.4	12.8	29.8	4.3	8.5	0.0	8.5	

問 44 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。（自由記入）

※意見等の一部について要旨を記載

■必要とされている支援や介護サービスに関すること：13件

- ・坂の多い街で高齢者の外出が大変な為、巡回バスを出してくれると有難い。無料とはいわない。（100円位とかだと高齢者も利用し易いのではと・・・）
- ・情報弱者は孤立してしまう。気軽に立ち寄れて相談出来る場所が欲しい。高齢者以外でも多世代交流の場があると助かる。

■情報発信や相談窓口に関すること：11件

- ・必要な情報について、より多くの人に届き理解、利用してもらえると大変助かる。
- ・介護サービスの利用方法が分からず困り、認定後に自分で探したケアマネ事業所では希望する訪問入浴やショートステイが利用できなかった。事業所の得意分野が分かる資料がほしい。また、施設探しや相談先の支援が十分でなく、入所先探しに苦労し家族の体調も悪化した。

■介護施設や高齢者の住まいに関すること：10件

- ・安く利用できる老人ホームを増やしてほしい。
- ・特養に入居できるまでの順番待ちが長すぎる。施設を増設してほしい。自宅介護が限界の時に有料施設の入居代があまりにも高く、あきらめざるを得ない。
- ・独身の高齢者でも、入居しやすいアパート等があれば、ありがたい。公共事業も必要だと思うが、できれば福祉、医療等に予算を使ってほしい。

■高齢者施策の方針や運営に関すること：7件

- ・今後益々高齢者や介護が必要な人が増えると思う。全てを福祉で運営していくのは無理なので、地域でのボランティアを募り、一方高齢者やサポートの必要な方も負担出来る範囲で団体なりに貢献し、お互いに少々の無理をしてでも将来のために努力していくことが出来れば素晴らしいと思う。
- ・老人が、頼れるそして頼りたいと思えるサービスや人の育成をして欲しい。

■介護者の負担に関すること：5件

- ・経験上本人よりも介護にあたる家族の要望を聞いてあげてほしい。
- ・現在60歳、親の介護中だが、いざ自分が介護を必要とする時、介護保険制度は支えになるのか、介護人材（質のよいサービス提供）はいるのか、とても不安。大田区の横出しサービスや、介護事業所、人材への支援の充実を望む。

■介護認定やサービスの利用に関すること：5件

- ・退院当日は自宅で多くの支援が必要にもかかわらず介護保険が利用できず大変だったため、退院日にも病院・自宅のいずれでも介護保険サービスを使えるよう制度を改善してほしい。
- ・亡くなった認知症の母を自宅で介護した。コロナ禍に介護付有料老人ホームへ入所させ、さまざまな福祉サービスを利用した。ケアマネジャーや施設職員の支援には感謝しているが、実際に最も大変で危険だったのは、要介護2～3程度で身体は動くものの、家やトイレの場所が分からず徘徊してしまう時期だった。目を離すと外出して迷子になり、何度

も警察の世話になるなど対応に苦慮した。歩行できることで要介護度が低く判定される現行基準では実態を十分に反映できておらず、よりきめ細かな認定基準と福祉サービスの充実が必要だと感じている。

■介護の仕事の処遇改善に関すること：5件

- ・介護の仕事をして20年以上している。処遇改善や都の居住支援で、少しは給与があがったが、今のままでは生活できなくなりそうで怖い。区でも処遇改善のための方策を打ってほしい。
- ・介護士の方々への報酬のアップと職場の改善を要求する。人手不足の根本をボランティアで賄うのは、違うと思う。介護士の方々の生活の充実が利用者さんたちの充実に直結していると思う。

■介護予防に関すること：5件

- ・認知症や介護のケアことばかりに予算を使うのではなく健康維持や認知症防止活動に予算を使うべき。北欧諸国の政策を勉強して欲しい。
- ・本格的な介護を必要とする前の高齢者への支援(声掛けや見守り、趣味や交流の場の提供)、不安を抱える家族が相談できる場所、共有できる場所等、もっとあちこちにあればいいと思う。

■経済的な支援に関すること：4件

- ・認知症の介護をしている人に対する何でも対応できる介護保険適用でなくヘルパーの充実とヘルパーを依頼する経済支援を望む。
- ・認知症の母を在宅で介護していたが、自身が体調を崩して家族の支援が必要になり、デイサービスだけでは足りずヘルパーも利用した。しかし費用負担や家族の健康への不安から、母は施設に入所して介護を受けている。今後の介護にかかる費用の確保が必要であると感じている。

■就労に関すること：3件

- ・就労支援と孤立させないことが大事
- ・高齢者への就労支援について、55歳を過ぎると仕事や職種の選択肢が大きく狭まり、やりがいを感じられる仕事が少ないと感じている。体力面の制約は理解しているが、経験を活かせる職種を増やしてほしい。

■アンケート調査についての意見：4件

- ・61歳で高齢者扱いされた事にショックと反感を感じた。封筒の「大田区高齢者等実態調査」の名称は何とかならないのか。
- ・今までの質問は、介護度によって、かなり回答が変わると思う。親は要介護4なので地域での生活は無理だが、要支援1～2程度の認知症であれば、回答は変わってくる。

■その他：17件

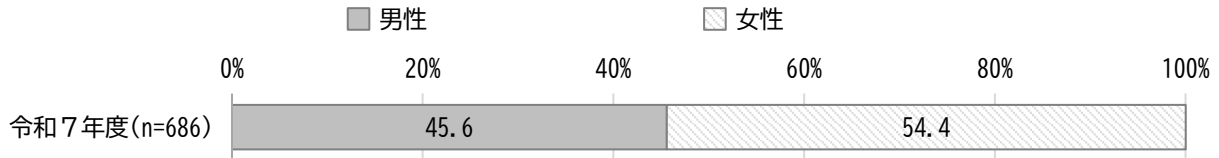
- ・4年前に軽い認知症のある95才の姑をみとった。要介護1のまま最後は病院に2年間入院し、亡くなったが、トイレや玄関の手すりの設置、ケアマネジャーさんなど、大変お世話になり、心強かった。ベッドの手すりや歩行器のレンタルもとってもありがたかった。
- ・お陰様で、今の処夫婦共々健康で過ごしているので、介護や認知症について、認識不足。今回の調査によって、いろいろと考えさせられた。地域のボランティア活動は、無理なく続けられることを一つでもやりたいと思っている。今後とも、宜しくお願いします。

4. 未把握高齢者世帯等調査

(1) 回答者の属性

① 回答者の性別

本設問(n=686)では、「男性」が45.6%、「女性」が54.4%であった。

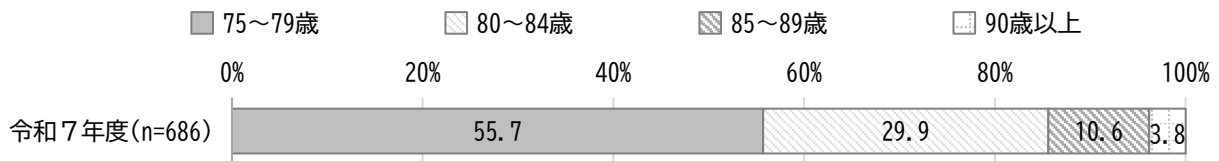


単位：%

	人数	男性	女性
全体	686	45.6	54.4
1人暮らし	211	46.9	53.1
夫婦2人暮らし	293	56.0	44.0
息子・娘との2世帯	101	22.8	77.2
その他	68	35.3	64.7

② 回答者の年齢

本設問(n=686)では、「75～79歳」が55.7%で最も高く、次いで、「80～84歳」が29.9%、「85～89歳」が10.6%、「90歳以上」が3.8%となっている。

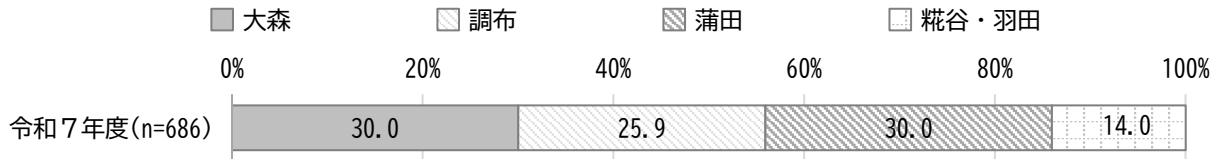


単位：%

	人数	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
全体	686	55.7	29.9	10.6	3.8
1人暮らし	211	61.6	27.5	8.1	2.8
夫婦2人暮らし	293	54.6	30.0	10.6	4.8
息子・娘との2世帯	101	51.5	25.7	17.8	5.0
その他	68	50.0	39.7	8.8	1.5

③ 回答者の在住する基本圏域

本設問(n=686)では、「大森」と「蒲田」が30.0%で最も高く、次いで、「調布」が25.9%となっている。



単位：%

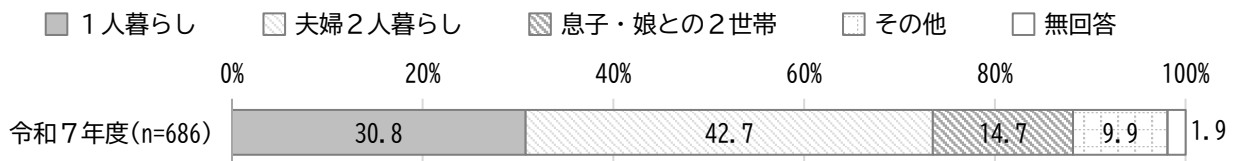
	人数	大森	調布	蒲田	糀谷・羽田
全体	686	30.0	25.9	30.0	14.0
75～84歳:男性	264	29.2	24.6	33.0	13.3
85歳以上:男性	49	34.7	24.5	28.6	12.2
75～84歳:女性	323	31.6	27.2	27.2	13.9
85歳以上:女性	50	20.0	26.0	34.0	20.0
1人暮らし	211	28.0	26.1	32.2	13.7
夫婦2人暮らし	293	33.1	25.3	30.0	11.6
息子・娘との2世帯	101	32.7	23.8	27.7	15.8
その他	68	17.6	30.9	27.9	23.5

■基本圏域ごとの有効回答率

	人数	大森	調布	蒲田	糀谷・羽田
調査件数	800	244	210	242	104
有効回答件数	686	206	178	206	96
有効回答率 (%)	85.8	84.4	84.8	85.1	92.3

問1 家族構成を教えてください。(単数回答)

本設問(n=686)では、「夫婦2人暮らし」が42.7%で最も高く、次いで、「1人暮らし」が30.8%、「息子・娘との2世帯」が14.7%となっている。



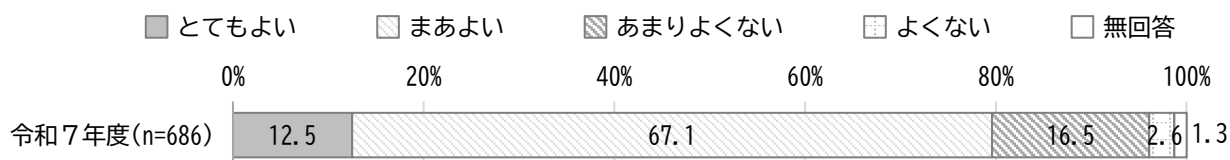
単位：%

	人数	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体	686	30.8	42.7	14.7	9.9	1.9
75～84歳:男性	264	34.8	48.1	7.2	8.7	1.1
85歳以上:男性	49	14.3	75.5	8.2	2.0	0.0
75～84歳:女性	323	29.7	37.5	18.3	11.8	2.8
85歳以上:女性	50	32.0	16.0	38.0	12.0	2.0

(2) 回答者の心身の健康状態

問2 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

本設問(n=686)では、「まあよい」が67.1%で最も高く、次いで、「あまりよくない」が16.5%、「とてもよい」が12.5%となっている。「とてもよい/まあよい」の割合は、79.6%となっている。



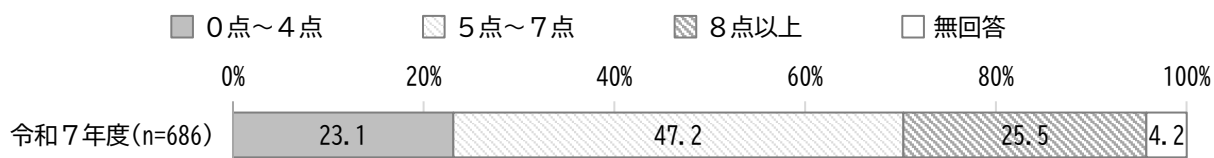
単位：%

	人数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	686	12.5	67.1	16.5	2.6	1.3
75～84歳:男性	264	12.1	67.0	16.7	3.4	0.8
85歳以上:男性	49	10.2	71.4	12.2	6.1	0.0
75～84歳:女性	323	13.0	67.5	15.8	1.9	1.9
85歳以上:女性	50	14.0	60.0	24.0	0.0	2.0
1人暮らし	211	20.4	64.9	11.4	2.4	0.9
夫婦2人暮らし	293	7.5	73.0	16.0	2.7	0.7
息子・娘との2世帯	101	10.9	61.4	25.7	1.0	1.0
その他	68	13.2	60.3	20.6	5.9	0.0

問3 あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご回答ください。

本設問(n=686)では、「5～7点」が47.2%で最も高く、次いで、「8点以上」が25.5%、「0～4点」が23.1%となっている。



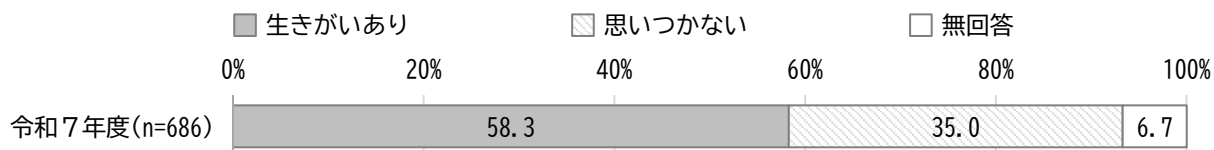
単位：%

	人数	0点～4点	5点～7点	8点以上	無回答
全体	686	23.1	47.2	25.5	4.2
75～84歳:男性	264	28.5	50.4	18.9	2.3
85歳以上:男性	49	32.6	30.6	30.6	6.1
75～84歳:女性	323	17.9	47.9	29.4	4.6
85歳以上:女性	50	18.0	42.0	30.0	10.0
1人暮らし	211	33.7	43.6	19.0	3.8
夫婦2人暮らし	293	19.4	46.4	30.4	3.8
息子・娘との2世帯	101	19.9	50.5	26.8	3.0
その他	68	4.7	58.9	23.6	2.9

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	686	0.3	0.9	1.6	2.8	17.5	10.2	13.7	23.3	11.1	14.4	0.0	4.2

問4 生きがいがありますか。(単数回答)

本設問(n=686)では、「生きがいあり」が58.3%、「思いつかない」が35.0%であった。



単位：%

■生きがいがある場合の具体的なことから

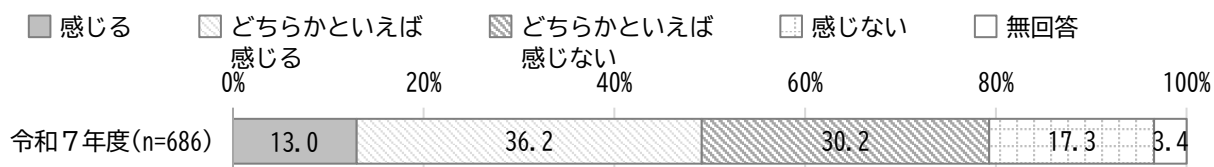
	人数	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	686	58.3	35.0	6.7
75～84歳:男性	264	53.8	40.5	5.7
85歳以上:男性	49	46.9	38.8	14.3
75～84歳:女性	323	65.0	30.3	4.6
85歳以上:女性	50	50.0	32.0	18.0
1人暮らし	211	56.4	41.2	2.4
夫婦2人暮らし	293	57.3	34.1	8.5
息子・娘との2世帯	101	62.4	30.7	6.9
その他	68	63.2	32.4	4.4

生きがい	件数
家族・子ども・孫	92
仕事・就労	55
健康・自立・生活	23
スポーツ・レジャー	20
ものづくり・手芸	13
動物・ペット	12
勉強・読書	12
趣味全般	11
外出・旅行	10
その他	64

(3) 地域とのつながりについて

問5 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。(単数回答)

本設問(n=686)では、「どちらかといえば感じる」が36.2%で最も高く、次いで、「どちらかといえば感じない」が30.2%、「感じる」が13.0%、「感じない」が17.3%となっている。「感じる/どちらかといえば感じる」の割合は、49.2%となっている。



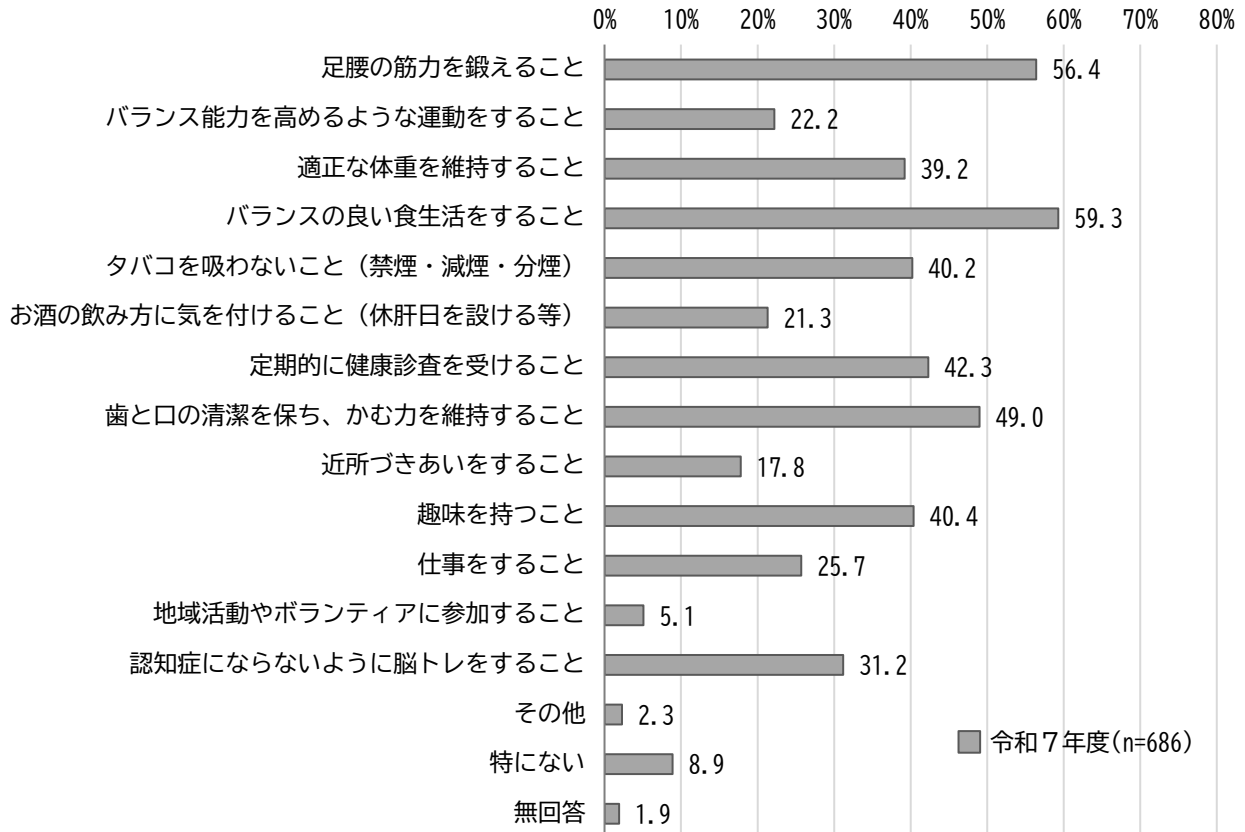
単位：%

	人数	感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	感じない	無回答
全体	686	13.0	36.2	30.2	17.3	3.4
75～84歳:男性	264	12.5	31.1	33.7	19.3	3.4
85歳以上:男性	49	2.0	49.0	26.5	14.3	8.2
75～84歳:女性	323	14.9	38.4	29.1	15.2	2.5
85歳以上:女性	50	14.0	36.0	22.0	24.0	4.0
1人暮らし	211	15.2	32.2	28.9	20.9	2.8
夫婦2人暮らし	293	11.3	35.8	33.8	15.4	3.8
息子・娘との2世帯	101	11.9	41.6	30.7	14.9	1.0
その他	68	13.2	42.6	22.1	20.6	1.5
大森	206	10.2	37.9	32.0	16.5	3.4
調布	178	14.0	31.5	31.5	20.8	2.2
蒲田	206	15.0	33.0	29.6	18.0	4.4
糀谷・羽田	96	12.5	47.9	25.0	11.5	3.1

(4) 現在の生活に関する状況

問6 いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、今実践していることはありますか。
(複数回答)

本設問(n=686)では、「バランスの良い食生活をする事」が59.3%で最も高く、次いで、「足腰の筋力を鍛えること」が56.4%、「歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること」が49.0%となっている。

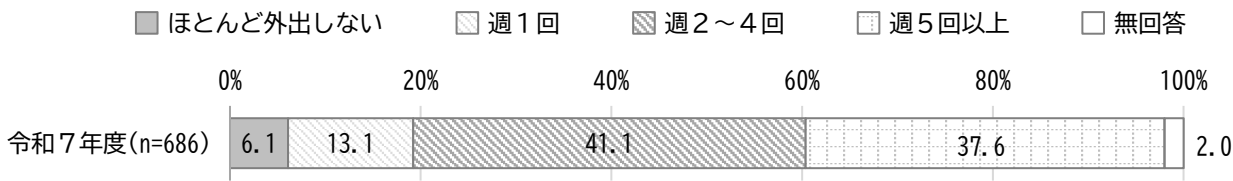


単位：%

	人数	足腰の筋力を鍛えること	バランス能力を高めるような運動をすること	適正な体重を維持すること	バランスの良い食生活をする事	タバコを吸わないこと (禁煙・減煙・分煙)	お酒の飲み方に気を付けること (休肝日を設ける等)	定期的に健康診査を受けること	歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	近所づきあいをすること	趣味を持つこと	仕事をする事	地域活動やボランティアに参加すること	認知症にならないように脳トレをすること	その他	特にない	無回答
全体	686	56.4	22.2	39.2	59.3	40.2	21.3	42.3	49.0	17.8	40.4	25.7	5.1	31.2	2.3	8.9	1.9
75～84歳:男性	264	53.4	20.5	40.5	52.3	49.2	27.3	38.3	43.6	14.4	38.3	31.8	4.5	27.7	1.9	9.8	1.5
85歳以上:男性	49	65.3	28.6	34.7	61.2	61.2	28.6	49.0	55.1	16.3	32.7	24.5	4.1	26.5	4.1	8.2	2.0
75～84歳:女性	323	58.5	24.1	40.9	63.5	31.3	16.7	44.6	49.8	20.1	44.0	22.6	6.2	35.3	2.5	8.0	2.5
85歳以上:女性	50	50.0	12.0	26.0	68.0	30.0	12.0	42.0	66.0	22.0	36.0	14.0	2.0	28.0	2.0	10.0	0.0
1人暮らし	211	56.4	23.2	37.0	54.5	43.1	20.4	36.5	49.8	17.5	44.1	31.8	4.7	29.9	3.3	7.6	1.4
夫婦2人暮らし	293	56.3	23.5	44.0	64.2	42.0	25.3	46.8	48.8	19.1	41.3	22.9	4.8	31.7	1.4	10.6	2.0
息子・娘との2世帯	101	58.4	22.8	40.6	59.4	30.7	17.8	35.6	51.5	17.8	33.7	20.8	3.0	33.7	3.0	6.9	0.0
その他	68	54.4	14.7	25.0	55.9	41.2	13.2	47.1	41.2	10.3	35.3	27.9	7.4	33.8	2.9	10.3	1.5

問7 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

本設問(n=686)では、「週2～4回」が41.1%で最も高く、次いで、「週5回以上」が37.6%、「週1回」が13.1%となっている。「ほとんど外出しない/週1回」の割合は、19.2%となっている。



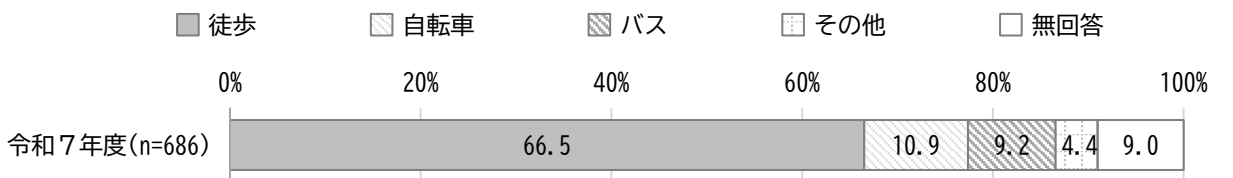
単位：%

	人数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	686	6.1	13.1	41.1	37.6	2.0
75～84歳:男性	264	6.8	10.6	40.9	40.2	1.5
85歳以上:男性	49	8.2	16.3	38.8	32.7	4.1
75～84歳:女性	323	4.6	13.6	43.3	36.2	2.2
85歳以上:女性	50	10.0	20.0	30.0	38.0	2.0
1人暮らし	211	5.2	12.3	41.2	40.8	0.5
夫婦2人暮らし	293	6.5	11.6	42.0	37.2	2.7
息子・娘との2世帯	101	7.9	21.8	34.7	33.7	2.0
その他	68	5.9	8.8	47.1	38.2	0.0

問8 最寄りの駅またはバス停までの①移動手段と②所要時間を教えてください。(単数回答)

① 移動手段

本設問(n=686)では、「徒歩」が66.5%で最も高く、次いで、「自転車」が10.9%、「バス」が9.2%となっている。

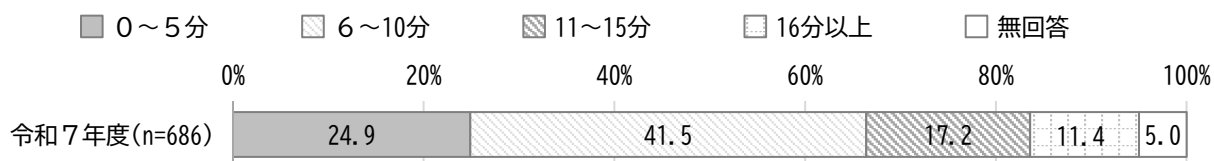


単位：%

	人数	徒歩	自転車	バス	その他	無回答
全体	686	66.5	10.9	9.2	4.4	9.0
75～84歳:男性	264	70.5	14.4	5.7	4.2	5.3
85歳以上:男性	49	61.2	10.2	8.2	4.1	16.3
75～84歳:女性	323	64.1	9.3	11.8	4.0	10.8
85歳以上:女性	50	66.0	4.0	12.0	8.0	10.0
1人暮らし	211	65.9	12.3	8.1	6.2	7.6
夫婦2人暮らし	293	67.9	10.6	9.9	2.7	8.9
息子・娘との2世帯	101	69.3	8.9	7.9	5.0	8.9
その他	68	63.2	10.3	13.2	4.4	8.8
大森	206	58.3	11.7	14.1	5.3	10.7
調布	178	77.0	5.6	7.3	3.9	6.2
蒲田	206	67.5	12.6	5.8	3.9	10.2
糞谷・羽田	96	62.5	15.6	9.4	4.2	8.3

② 所要時間

本設問(n=686)では、「6～10分」が41.5%で最も高く、次いで、「0～5分」が24.9%、「11～15分」が17.2%となっている。



単位：%

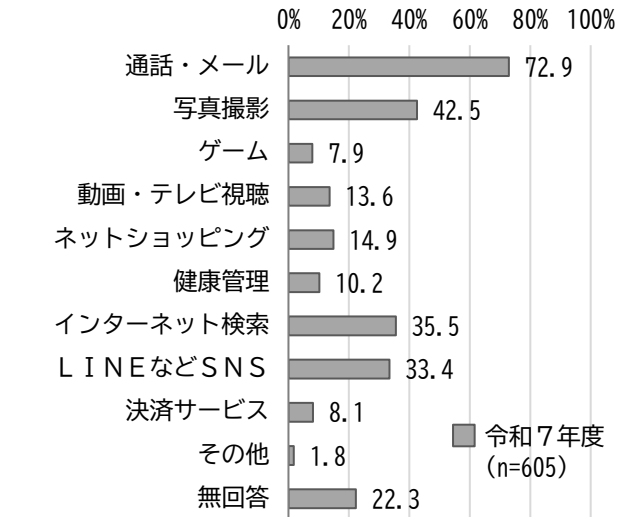
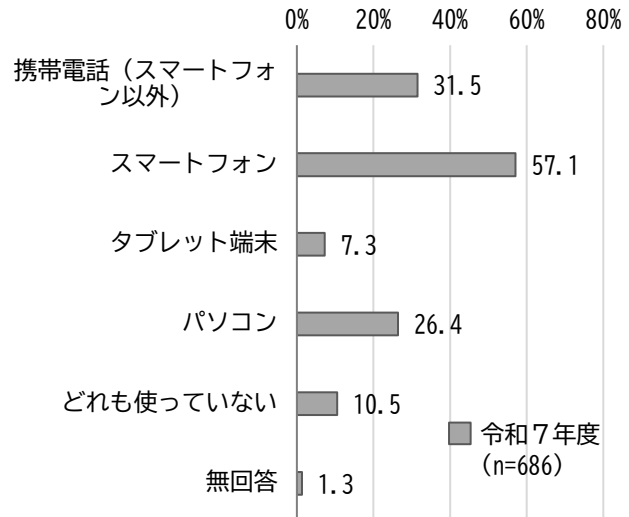
	人数	0～5分	6～10分	11～15分	16分以上	無回答
全体	686	24.9	41.5	17.2	11.4	5.0
75～84歳:男性	264	25.4	42.8	17.4	9.1	5.3
85歳以上:男性	49	26.5	51.0	8.2	10.2	4.1
75～84歳:女性	323	23.5	41.5	18.3	12.1	4.6
85歳以上:女性	50	30.0	26.0	18.0	20.0	6.0
1人暮らし	211	28.0	37.4	20.9	10.4	3.3
夫婦2人暮らし	293	22.2	47.8	17.1	8.9	4.1
息子・娘との2世帯	101	28.7	35.6	9.9	18.8	6.9
その他	68	26.5	39.7	17.6	11.8	4.4
大森	206	25.2	38.3	19.4	12.6	4.4
調布	178	27.5	44.9	10.1	12.4	5.1
蒲田	206	22.8	41.3	20.4	9.2	6.3
糀谷・羽田	96	24.0	42.7	18.8	11.5	3.1

問9 以下の通信・通話機器を使っていますか。(複数回答)

【問9において、「5. どれも使っていない」以外を回答した方にうかがいます。】
問9-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。(複数回答)

本設問(n=686)では、「スマートフォン」が57.1%で最も高く、次いで、「携帯電話(スマートフォン以外)」が31.5%、「パソコン」が26.4%となっている。

本設問(n=605)では、「通話・メール」が72.9%で最も高く、次いで、「写真撮影」が42.5%、「インターネット検索」が35.5%となっている。



使用している通信・通話機器

単位：%

	人数	携帯電話(スマートフォン以外)	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	どれも使っていない	無回答
全体	686	31.5	57.1	7.3	26.4	10.5	1.3
75～84歳:男性	264	31.1	62.1	10.2	38.6	8.3	0.0
85歳以上:男性	49	38.8	36.7	2.0	40.8	20.4	0.0
75～84歳:女性	323	29.7	60.4	6.8	16.7	7.4	2.8
85歳以上:女性	50	38.0	30.0	0.0	10.0	32.0	0.0
1人暮らし	211	37.4	54.5	4.3	22.3	8.5	0.9
夫婦2人暮らし	293	28.3	61.8	9.2	34.8	8.5	1.0
息子・娘との2世帯	101	28.7	50.5	8.9	13.9	18.8	2.0
その他	68	32.4	54.4	4.4	22.1	14.7	0.0

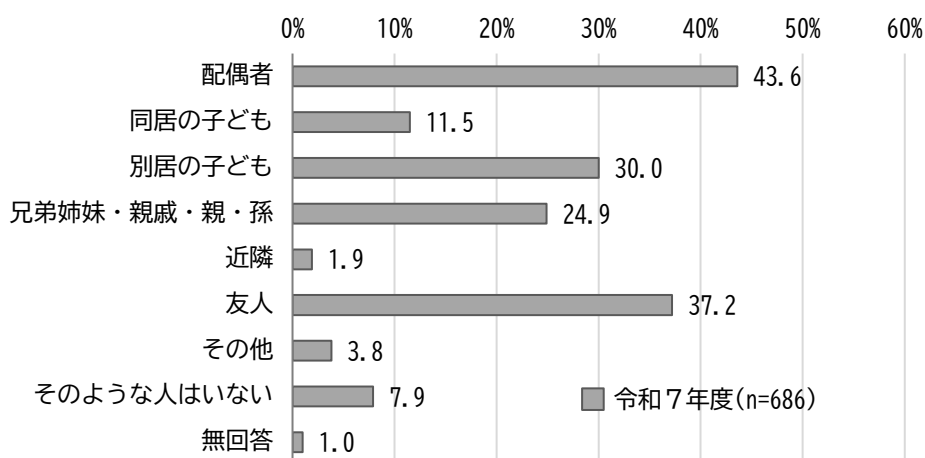
どのようなことに使用しているか

単位：%

	人数	通話・メール	写真撮影	ゲーム	テレビ視聴	動画・ネットショッピング	健康管理	ネット検索	インターネット検索	LINEなどSNS	決済サービス	その他	無回答
全体	605	72.9	42.5	7.9	13.6	14.9	10.2	35.5	33.4	8.1	1.8	22.3	
75～84歳:男性	242	71.9	33.9	7.4	12.4	21.1	7.9	43.4	25.2	10.7	2.5	23.1	
85歳以上:男性	39	71.8	28.2	5.1	10.3	10.3	10.3	33.3	17.9	7.7	0.0	23.1	
75～84歳:女性	290	73.8	54.1	9.0	15.2	11.4	12.8	32.4	45.2	6.6	1.7	21.7	
85歳以上:女性	34	73.5	20.6	5.9	11.8	5.9	5.9	8.8	8.8	2.9	0.0	20.6	
1人暮らし	191	72.8	38.7	7.3	13.6	16.2	9.4	31.9	29.8	8.9	1.6	22.5	
夫婦2人暮らし	265	74.3	45.7	8.7	12.8	16.2	12.5	40.4	35.5	9.1	1.9	20.8	
息子・娘との2世帯	80	72.5	42.5	10.0	15.0	11.3	8.8	31.3	35.0	7.5	0.0	26.3	
その他	58	63.8	34.5	3.4	13.8	6.9	6.9	27.6	32.8	1.7	5.2	25.9	

問10 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（複数回答）

本設問(n=686)では、「配偶者」が43.6%で最も高く、次いで、「友人」が37.2%、「別居の子ども」が30.0%となっている。

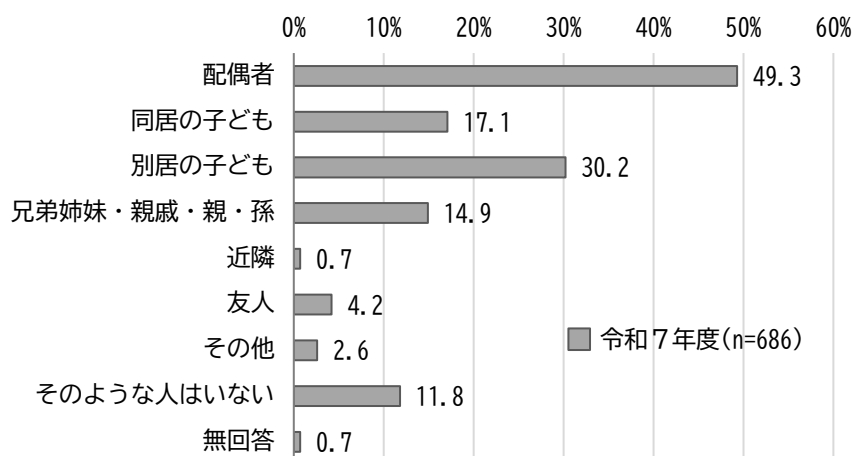


単位：%

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	686	43.6	11.5	30.0	24.9	1.9	37.2	3.8	7.9	1.0
75～84歳:男性	264	54.5	5.3	20.5	18.2	1.1	28.8	4.2	12.5	0.8
85歳以上:男性	49	73.5	4.1	26.5	12.2	0.0	16.3	0.0	10.2	0.0
75～84歳:女性	323	33.7	14.9	38.1	31.3	3.1	49.2	4.6	4.0	1.5
85歳以上:女性	50	20.0	30.0	32.0	32.0	0.0	24.0	0.0	6.0	0.0
1人暮らし	211	2.8	0.0	30.3	28.4	3.3	46.9	5.7	18.0	1.9
夫婦2人暮らし	293	83.3	0.7	35.5	19.8	0.7	34.1	1.0	3.4	0.0
息子・娘との2世帯	101	30.7	58.4	23.8	22.8	3.0	24.8	3.0	3.0	0.0
その他	68	23.5	25.0	14.7	36.8	1.5	36.8	10.3	4.4	1.5
大森	206	47.1	13.6	29.1	24.3	1.0	42.2	3.9	4.9	1.5
調布	178	42.7	8.4	29.8	24.7	2.2	37.6	5.1	8.4	1.7
蒲田	206	41.3	9.2	33.0	26.7	2.9	37.4	3.9	9.7	0.5
糀谷・羽田	96	42.7	17.7	26.0	22.9	1.0	25.0	1.0	9.4	0.0

問 11 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(複数回答)

本設問(n=686)では、「配偶者」が49.3%で最も高く、次いで、「別居の子ども」が30.2%、「同居の子ども」が17.1%となっている。

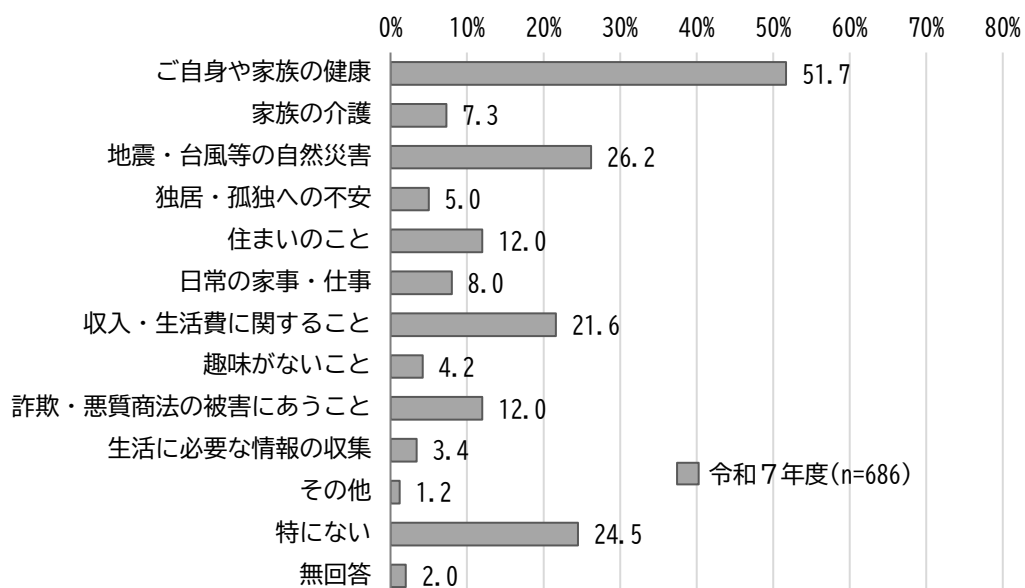


単位：%

	人数	配偶者	同居の子 ども	別居の子 ども	兄弟 姉妹・ 親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのよう な人はい ない	無回答
全体	686	49.3	17.1	30.2	14.9	0.7	4.2	2.6	11.8	0.7
75～84歳:男性	264	58.0	7.6	19.3	10.2	0.4	3.4	2.7	19.7	0.0
85歳以上:男性	49	83.7	8.2	34.7	6.1	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0
75～84歳:女性	323	41.2	22.9	38.4	19.5	1.2	5.3	3.1	6.5	1.2
85歳以上:女性	50	22.0	38.0	30.0	18.0	0.0	6.0	2.0	12.0	2.0
1人暮らし	211	2.4	0.0	36.0	22.7	1.4	9.0	4.7	33.2	0.9
夫婦2人暮らし	293	93.2	1.0	35.2	5.8	0.3	2.4	1.4	1.4	0.3
息子・娘との2世帯	101	38.6	84.2	12.9	8.9	0.0	1.0	0.0	3.0	0.0
その他	68	27.9	38.2	17.6	35.3	1.5	2.9	4.4	4.4	0.0
大森	206	52.4	19.4	29.6	13.6	1.0	4.4	1.9	10.7	0.0
調布	178	49.4	16.3	33.1	15.7	0.6	3.9	3.4	9.6	1.7
蒲田	206	47.1	15.0	27.2	14.6	1.0	5.3	3.4	14.1	1.0
糀谷・羽田	96	46.9	17.7	32.3	16.7	0.0	2.1	1.0	13.5	0.0

問 12 日常生活での心配ごとはありませんか。(複数回答)

本設問(n=686)では、「ご自身や家族の健康」が51.7%で最も高く、次いで、「地震・台風等の自然災害」が26.2%、「特にない」が24.5%となっている。



単位：%

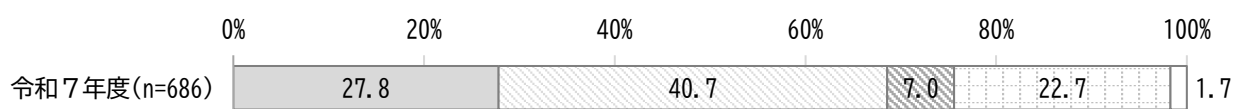
	人数	ご自身や家族の健康	家族の介護	地震・台風等の自然災害	独居・孤独への不安	住まいのこと	日常の家事・仕事	収入・生活費に関すること	趣味がないこと	詐欺・悪質商法の被害にあうこと	生活に必要な情報の収集	その他	特にない	無回答
全体	686	51.7	7.3	26.2	5.0	12.0	8.0	21.6	4.2	12.0	3.4	1.2	24.5	2.0
75～84歳:男性	264	53.4	5.7	20.5	6.8	14.0	7.2	25.4	3.4	10.6	1.5	2.3	24.2	0.8
85歳以上:男性	49	51.0	8.2	22.4	6.1	16.3	8.2	24.5	6.1	16.3	4.1	0.0	30.6	2.0
75～84歳:女性	323	52.3	8.4	31.3	4.0	10.8	8.7	19.8	4.6	13.0	5.3	0.6	22.9	3.1
85歳以上:女性	50	40.0	8.0	28.0	0.0	4.0	8.0	10.0	4.0	8.0	0.0	0.0	30.0	2.0
1人暮らし	211	36.5	1.9	23.2	10.9	17.1	6.2	28.0	4.7	10.4	2.4	1.4	26.5	2.4
夫婦2人暮らし	293	61.4	8.9	26.6	2.0	8.2	7.2	19.5	4.1	12.6	3.8	1.0	22.2	2.0
息子・娘との2世帯	101	52.5	11.9	27.7	2.0	6.9	9.9	11.9	1.0	12.9	4.0	1.0	28.7	1.0
その他	68	55.9	11.8	29.4	4.4	16.2	14.7	25.0	8.8	13.2	4.4	1.5	23.5	0.0

(5) 区への取組に対する認知度や意見

問 13 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(単数回答)

本設問(n=686)では、「名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない」が 40.7%で最も高く、次いで、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」が 27.8%、「知らない・名前も聞いたことはない」が 22.7%となっている。

- 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている
 名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない
 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた
 知らない・名前も聞いたことはない
 無回答



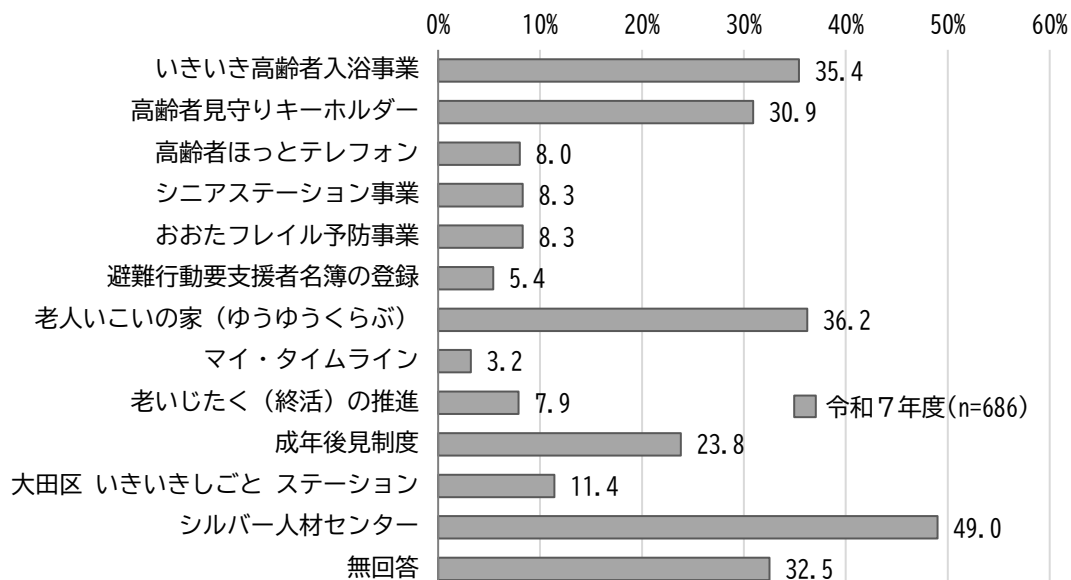
単位：%

	人数	存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている	名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない	名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた	知らない・名前も聞いたことはない	無回答
全体	686	27.8	40.7	7.0	22.7	1.7
75～84歳：男性	264	22.7	41.7	8.3	26.5	0.8
85歳以上：男性	49	16.3	42.9	10.2	26.5	4.1
75～84歳：女性	323	34.7	40.2	4.3	18.6	2.2
85歳以上：女性	50	22.0	36.0	14.0	26.0	2.0
1人暮らし	211	22.3	42.2	6.6	26.5	2.4
夫婦2人暮らし	293	27.6	44.0	6.8	20.8	0.7
息子・娘との2世帯	101	33.7	32.7	9.9	20.8	3.0
その他	68	36.8	33.8	5.9	23.5	0.0

問 14 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービス、②今後利用したいサービスを教えてください。(単数回答)

① 知っているサービス

本設問(n=686)では、「シルバー人材センター」が49.0%で最も高く、次いで、「老人いこいの家(ゆうゆうくらぶ)」が36.2%、「いきいき高齢者入浴事業」が35.4%となっている。

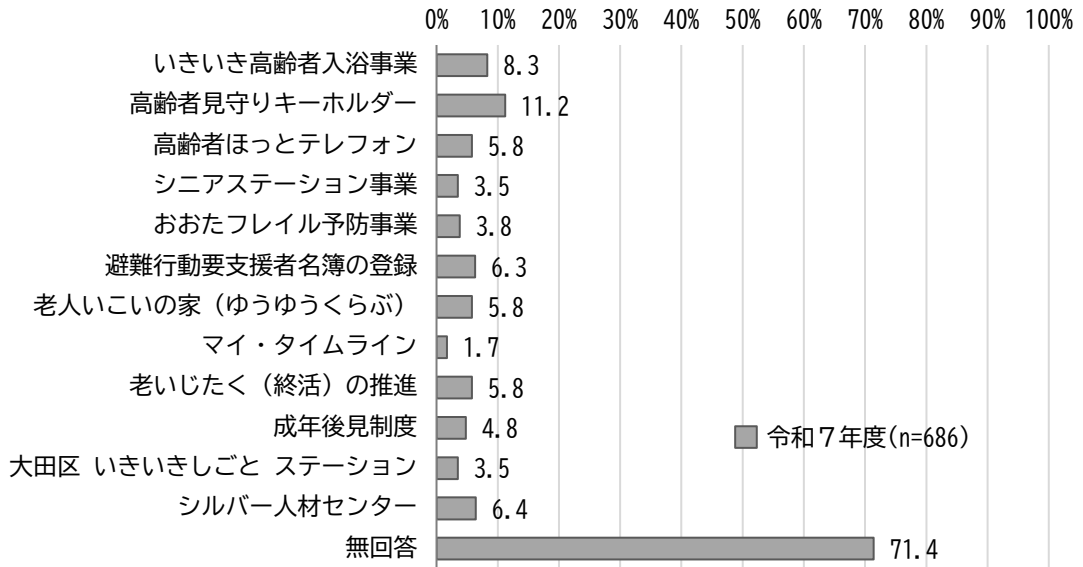


単位：%

	人数	いきいき高齢者入浴事業	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっとテレフォン	シニアステーション事業	おおたフレイル予防事業	避難行動要支援者名簿の登録	老人いこいの家(ゆうゆうくらぶ)	マイ・タイムライン	老いじたく(終活)の推進	成年後見制度	大田区 いきいきしごと ステーション	シルバー人材センター	無回答
全体	686	35.4	30.9	8.0	8.3	8.3	5.4	36.2	3.2	7.9	23.8	11.4	49.0	32.5
75～84歳:男性	264	26.1	19.7	6.1	4.9	5.3	3.8	25.0	2.3	6.1	19.7	10.6	50.0	37.5
85歳以上:男性	49	40.8	26.5	8.2	10.2	8.2	4.1	40.8	0.0	6.1	20.4	12.2	38.8	36.7
75～84歳:女性	323	43.0	40.9	9.3	11.5	10.5	6.8	44.3	4.6	10.5	29.7	12.4	52.3	27.2
85歳以上:女性	50	30.0	30.0	10.0	4.0	10.0	6.0	38.0	2.0	2.0	10.0	8.0	32.0	36.0
1人暮らし	211	37.0	33.6	10.9	9.5	8.5	6.6	33.2	4.3	10.4	24.6	11.4	48.8	36.0
夫婦2人暮らし	293	31.7	28.7	6.5	7.2	8.9	3.8	35.8	3.1	7.2	22.5	8.9	47.4	32.4
息子・娘との2世帯	101	44.6	28.7	7.9	10.9	6.9	6.9	43.6	3.0	5.0	21.8	12.9	49.5	27.7
その他	68	30.9	35.3	7.4	7.4	8.8	7.4	36.8	1.5	8.8	29.4	19.1	55.9	29.4

② 今後利用したいサービス

本設問(n=686)では、「高齢者見守りキーホルダー」が11.2%で最も高く、次いで、「いきいき高齢者入浴事業」が8.3%、「シルバー人材センター」が6.4%となっている。

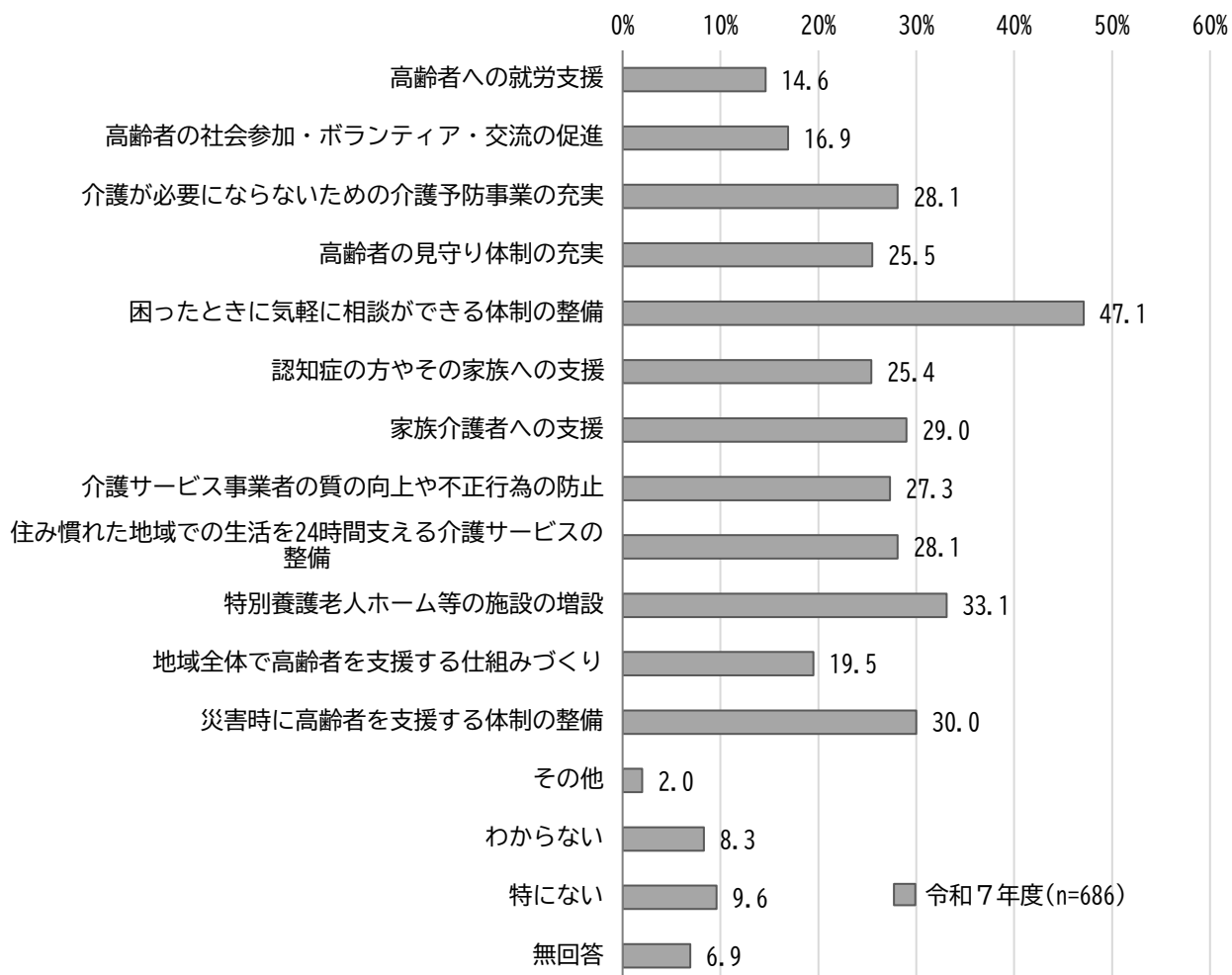


単位：%

	人数	いきいき高齢者入浴事業	高齢者見守りキーホルダー	高齢者ほっとテレフォン	シニアステーション事業	おおたフレイル予防事業	避難行動要支援者名簿の登録	老人いこいの家(ゆうゆうくらぶ)	マイ・タイムライン	老いじたく(終活)の推進	成年後見制度	大田区いきいきごとステーション	シルバー人材センター	無回答
全体	686	8.3	11.2	5.8	3.5	3.8	6.3	5.8	1.7	5.8	4.8	3.5	6.4	71.4
75～84歳:男性	264	6.4	10.2	5.7	4.2	3.8	5.3	5.7	2.3	6.4	5.7	3.0	5.3	74.2
85歳以上:男性	49	6.1	12.2	12.2	8.2	4.1	12.2	6.1	2.0	4.1	6.1	2.0	4.1	65.3
75～84歳:女性	323	8.7	11.1	5.9	2.8	4.3	6.5	5.9	1.5	5.9	4.6	4.3	8.0	70.6
85歳以上:女性	50	18.0	16.0	0.0	0.0	0.0	4.0	6.0	0.0	4.0	0.0	2.0	4.0	68.0
1人暮らし	211	10.0	11.4	7.1	4.7	4.7	6.2	5.2	1.4	7.1	5.2	3.8	7.1	69.7
夫婦2人暮らし	293	7.5	11.9	5.1	2.0	3.4	5.8	6.5	1.4	6.1	5.8	2.0	5.8	71.3
息子・娘との2世帯	101	8.9	10.9	5.9	5.9	5.9	7.9	5.0	3.0	5.9	3.0	5.9	7.9	69.3
その他	68	5.9	10.3	5.9	2.9	0.0	7.4	5.9	2.9	1.5	2.9	5.9	5.9	76.5

問 15 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考える事業・サービスを教えてください。
(複数回答)

本設問(n=686)では、「困ったときに気軽に相談ができる体制の整備」が47.1%で最も高く、次いで、「特別養護老人ホーム等の施設の増設」が33.1%、「災害時に高齢者を支援する体制の整備」が30.0%となっている。

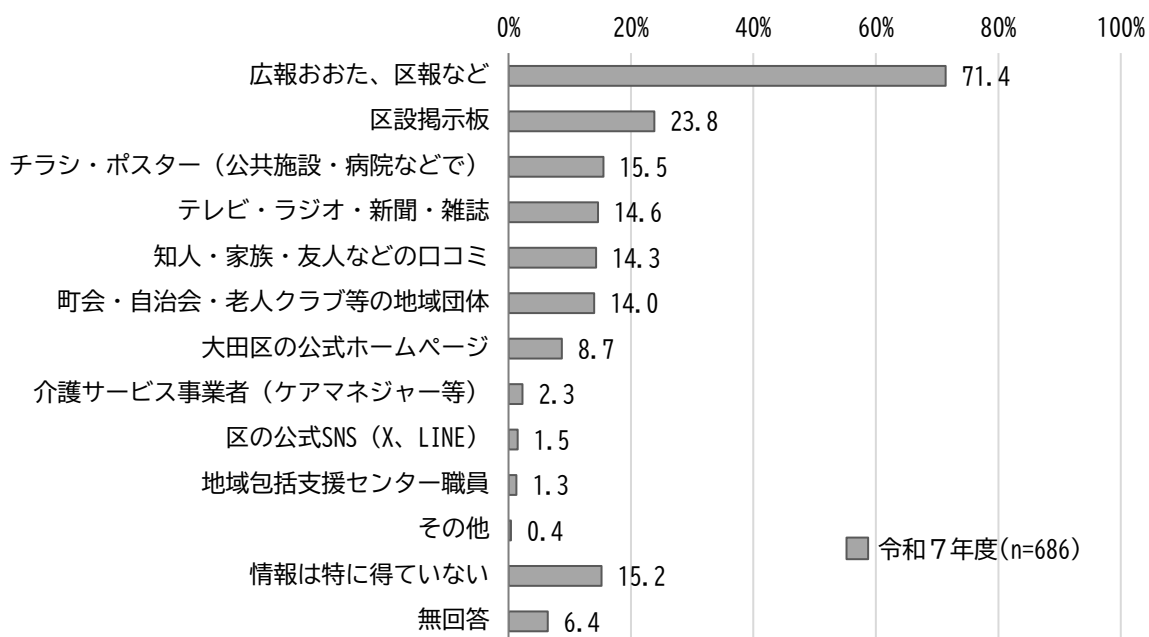


単位：％

	人数	高齢者への就労支援	ボランティア・交流の促進	高齢者の社会参加・介護予防事業の充実	介護が必要にならないための	高齢者の見守り体制の充実	困ったときに気軽に相談ができる体制の整備	認知症の方やその家族への支援	家族介護者への支援	介護サービス事業者の質の向上 や不正行為の防止	住み慣れた地域での生活を24時間支える介護サービスの整備	特別養護老人ホーム等の施設の増設	地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり	災害時に高齢者を支援する体制の整備	その他	わからない	特にない	無回答
全体	686	14.6	16.9	28.1	25.5	47.1	25.4	29.0	27.3	28.1	33.1	19.5	30.0	2.0	8.3	9.6	6.9	
75～84歳:男性	264	16.3	13.6	25.8	26.9	40.9	22.7	25.4	23.5	22.7	28.8	15.2	25.0	3.0	8.3	11.0	8.7	
85歳以上:男性	49	16.3	14.3	36.7	32.7	63.3	26.5	32.7	22.4	32.7	40.8	18.4	36.7	2.0	4.1	8.2	2.0	
75～84歳:女性	323	14.6	21.1	29.1	25.1	52.6	29.1	32.5	32.5	31.9	37.8	22.9	33.7	1.2	8.4	7.7	6.2	
85歳以上:女性	50	4.0	10.0	26.0	14.0	28.0	14.0	22.0	18.0	28.0	18.0	22.0	26.0	2.0	12.0	16.0	6.0	
1人暮らし	211	16.1	14.7	26.1	21.3	42.7	16.1	14.7	23.2	25.1	28.4	14.2	24.2	1.9	9.5	13.3	8.5	
夫婦2人暮らし	293	11.6	17.4	30.4	28.3	51.5	29.0	32.8	26.3	30.7	33.4	19.1	30.4	3.1	7.8	7.2	6.5	
息子・娘との2世帯	101	16.8	15.8	26.7	25.7	40.6	26.7	36.6	31.7	25.7	39.6	22.8	33.7	1.0	7.9	10.9	4.0	
その他	68	22.1	22.1	29.4	26.5	54.4	36.8	41.2	35.3	30.9	36.8	30.9	39.7	0.0	8.8	8.8	4.4	

問 16 区が実施するイベントや講座を知るきっかけを教えてください。(複数回答)

本設問(n=686)では、「広報おおた、区報など」が 71.4%で最も高く、次いで、「区設掲示板」が 23.8%、「チラシ・ポスター (公共施設・病院などで)」が 15.5%となっている。



単位：%

	人数	広報おおた、区報など	大田区の公式ホームページ	区の公式SNS (X、LINE)	区設掲示板	老人クラブ等の地域団体 町会・自治会・	知人・家族・友人などの口コミ	地域包括支援センター職員	介護サービス事業者 (ケアマネジャー等)	チラシ・ポスター (公共施設・病院などで)	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	その他	情報は特に得ていない	無回答
全体	686	71.4	8.7	1.5	23.8	14.0	14.3	1.3	2.3	15.5	14.6	0.4	15.2	6.4
75～84歳:男性	264	67.4	10.6	1.9	22.7	12.5	12.5	1.5	1.5	11.4	13.6	0.8	18.9	5.7
85歳以上:男性	49	81.6	10.2	2.0	20.4	8.2	16.3	0.0	0.0	16.3	10.2	0.0	14.3	0.0
75～84歳:女性	323	74.6	7.4	1.2	27.2	16.7	15.5	1.5	2.8	19.5	15.8	0.3	11.5	7.7
85歳以上:女性	50	62.0	6.0	0.0	10.0	10.0	14.0	0.0	6.0	10.0	16.0	0.0	20.0	8.0
1人暮らし	211	61.6	8.5	2.4	19.0	11.4	10.4	1.9	3.8	13.7	16.6	0.0	19.4	9.0
夫婦2人暮らし	293	79.2	9.9	1.4	26.3	14.0	17.1	0.7	1.4	15.7	13.7	0.0	12.3	4.8
息子・娘との2世帯	101	73.3	5.9	1.0	21.8	13.9	11.9	1.0	3.0	20.8	11.9	2.0	13.9	3.0
その他	68	69.1	8.8	0.0	32.4	23.5	16.2	2.9	1.5	14.7	19.1	1.5	17.6	4.4

5. 介護サービス事業者等調査

◆ 調査対象としたサービスについて

本調査は、区内の介護保険サービス事業所等を対象として実施したもののだが、サービスの種類ごとの特徴や事情が回答結果に影響すると考えられることから、集計にあたっては各サービスを以下のように6つの区分にまとめ、全体の結果に加えてサービスごとに回答の集計を行った。

■介護サービス系型別の区分

本報告書では、事業所を主な介護サービスの種類によって「介護労働実態調査」における「介護サービス系型」に則して分類した。「介護労働実態調査」とは、公益財団法人介護労働安定センターが実施する令和6年度介護労働実態調査で、本調査結果の比較対照として参照した。

サービス区分	介護保険等サービス
訪問系	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護
施設系（入所型）	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院
施設系（通所型）	通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
居住系	特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護
居宅介護支援	居宅介護支援
地域包括支援センター	包括的支援事業、介護予防支援業務

■設問の対象事業所

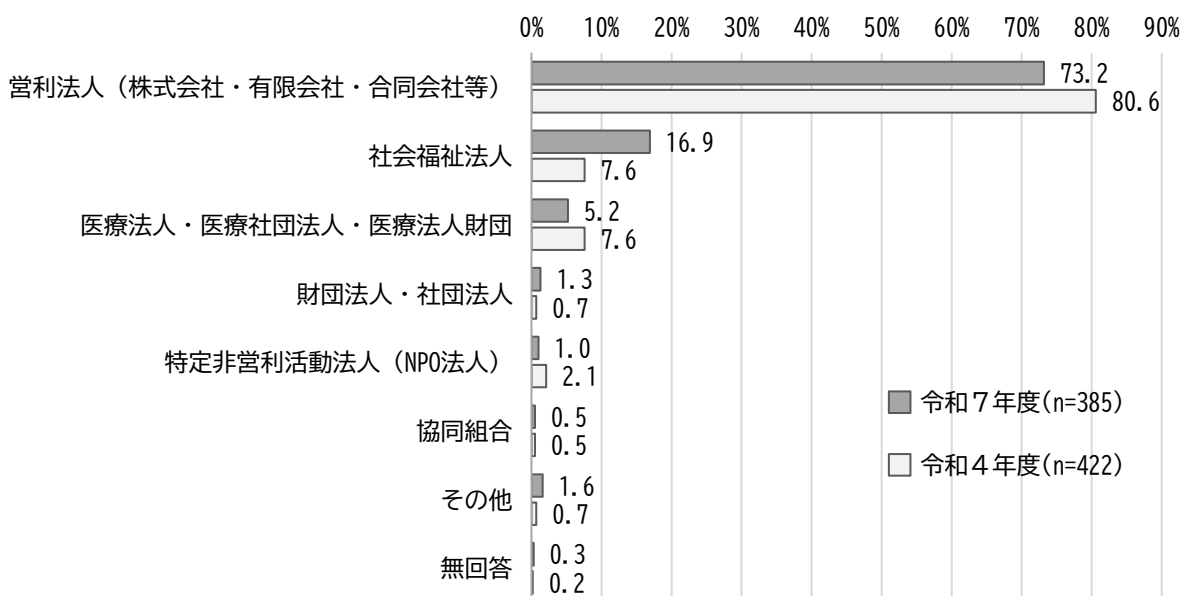
	サービス提供事業所	居宅介護支援事業所	地域包括支援センター
1. 貴事業所の属性について	対象	対象	対象
2. 貴事業所の現状について	対象	対象	—
3. 今後の事業継続に向けた考えや課題等について	対象	対象	対象
4. 人材の確保・育成・定着に関する取組状況について	対象	対象	対象
5. サービスの質の向上や業務効率化に関する取組について	対象	対象	対象
6. ハラスメントに関する取組について	対象	対象	対象
7. 認知症に関する取組等について	対象	対象	対象
8. 科学的介護や看取り等に関する取組について	対象	対象	—
9. 困難事例等について	対象	対象	対象
10. 大田区の取組について	対象	対象	対象
11. ケアマネジメントの質の向上に向けた取組について	—	対象	—
12. 地域の介護サービスの提供状況について	—	対象	—
13. 他機関との連携について	—	対象	対象
14. 認知機能の評価に関する取組の状況について	—	—	対象
15. 管轄内の高齢者の移手段について	—	—	対象

(1) 回答事業所の属性について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問1 貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください。(単数回答)

令和7年度(n=385)では、「営利法人(株式会社・有限会社・合同会社等)」が73.2%で最も高く、次いで、「社会福祉法人」が16.9%、「医療法人・医療社団法人・医療法人財団」が5.2%となっている。



単位：%

	事業所数	営利法人(株式会社・有限会社・合同会社等)	財団法人・社団法人	社会福祉法人	医療法人・医療社団法人・医療法人財団	特定非営利活動法人(NPO法人)	協同組合	その他	無回答
全体	385	73.2	1.3	16.9	5.2	1.0	0.5	1.6	0.3
訪問系	83	83.1	1.2	2.4	8.4	1.2	1.2	2.4	0.0
施設系(入所型)	18	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
施設系(通所型)	97	78.4	0.0	15.5	4.1	0.0	0.0	1.0	1.0
居住系	44	81.8	0.0	11.4	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0
居宅介護支援	120	84.2	1.7	6.7	3.3	2.5	0.0	1.7	0.0
地域包括支援センター	23	0.0	8.7	82.6	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0

問2 貴事業所で提供されている介護保険サービスをお答えください。(単数回答)

令和7年度(n=385)では、「居宅介護支援」が31.2%で最も高く、次いで、「訪問介護」が11.9%、「地域密着型通所介護」が9.9%となっている。

	事業所数	%		事業所数	%
訪問介護	46	11.9	認知症対応型通所介護	15	3.9
訪問入浴介護	2	0.5	小規模多機能型居宅介護	6	1.8
訪問看護	31	8.1	認知症対応型共同生活介護	27	7.0
訪問リハビリテーション	1	0.3	看護小規模多機能型居宅介護	1	0.3
通所介護	31	8.1	介護老人福祉施設	14	3.6
通所リハビリテーション	5	1.3	介護老人保健施設	3	0.8
特定施設入居者生活介護	17	4.4	介護医療院	1	0.3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.5	居宅介護支援	120	31.2
夜間対応型訪問介護	1	0.3	地域包括支援センター	24	6.0
地域密着型通所介護	38	9.9	無回答	0	0.0

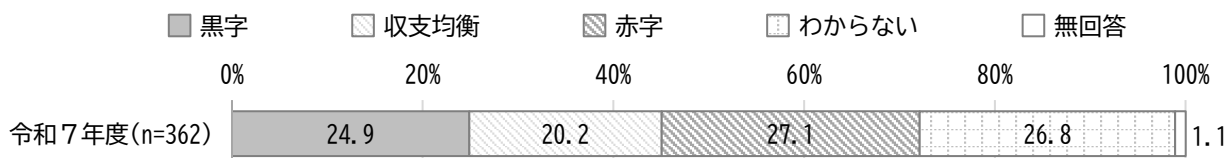
(2) 事業所の現状について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所

問3 貴事業所における、令和3（2021）年度及び令和6（2024）年度の事業収支について教えてください。（単数回答）

(1) 令和3（2021）年度の事業収支

本設問(n=362)では、「赤字」が27.1%で最も高く、次いで、「わからない」が26.8%、「黒字」が24.9%となっている。

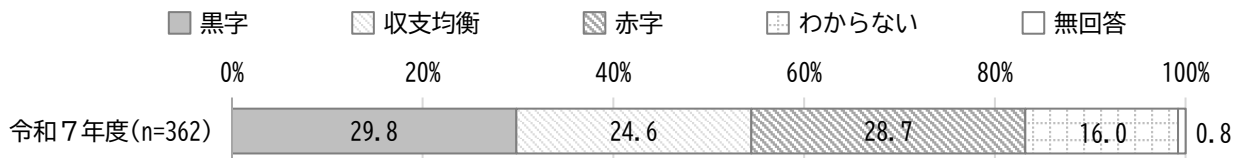


単位：%

	事業所数	黒字	収支均衡	赤字	わからない	無回答
全体	362	24.9	20.2	27.1	26.8	1.1
訪問系	83	39.8	16.9	25.3	18.1	0.0
施設系（入所型）	18	38.9	22.2	33.3	5.6	0.0
施設系（通所型）	97	21.6	18.6	33.0	25.8	1.0
居住系	44	13.6	22.7	4.5	56.8	2.3
居宅介護支援	120	19.2	22.5	30.8	25.8	1.7

(2) 令和6（2024）年度の事業収支

本設問(n=362)では、「黒字」が29.8%で最も高く、次いで、「赤字」が28.7%、「収支均衡」が24.6%となっている。

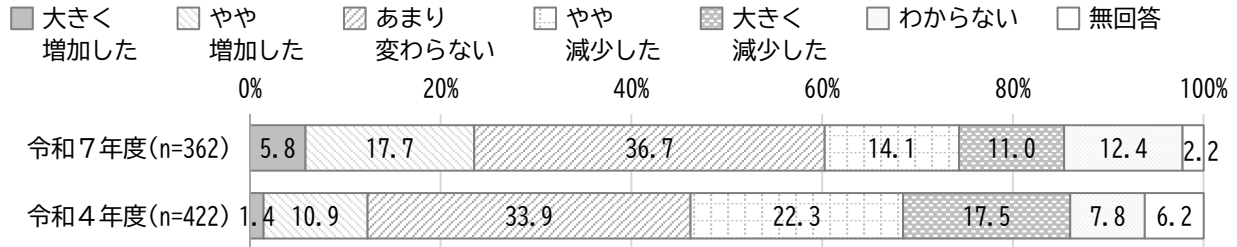


単位：%

	事業所数	黒字	収支均衡	赤字	わからない	無回答
全体	362	29.8	24.6	28.7	16.0	0.8
訪問系	83	34.9	24.1	28.9	10.8	1.2
施設系（入所型）	18	61.1	16.7	22.2	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	30.9	22.7	27.8	17.5	1.0
居住系	44	29.5	18.2	9.1	43.2	0.0
居宅介護支援	120	20.8	30.0	37.5	10.8	0.8

問4 令和6（2024）年度の実績には、新型コロナウイルス感染症が発生する前の平成30（2018）年度の実績と比較して、利用者数や利用回数の増減が見られますか。（単数回答）

令和7年度(n=362)では、「あまり変わらない」が36.7%で最も高く、次いで、「やや増加した」が17.7%、「やや減少した」が14.1%となっている。



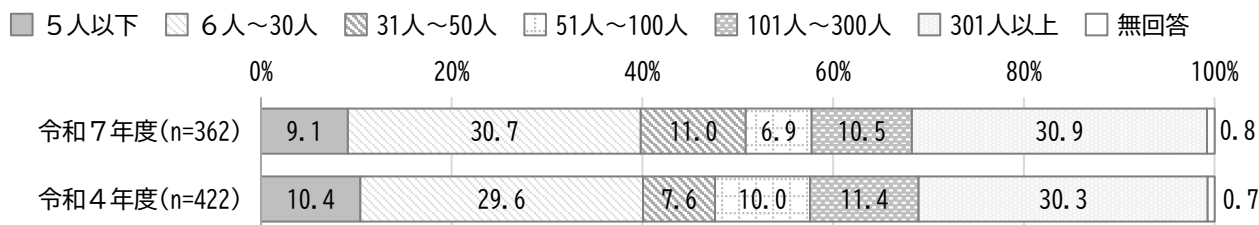
単位：%

	事業所数	大きく増加した	やや増加した	あまり変わらない	やや減少した	大きく減少した	わからない	無回答
全体	362	5.8	17.7	36.7	14.1	11.0	12.4	2.2
訪問系	83	7.2	22.9	25.3	20.5	13.3	8.4	2.4
施設系（入所型）	18	11.1	16.7	38.9	16.7	11.1	5.6	0.0
施設系（通所型）	97	5.2	20.6	26.8	15.5	16.5	14.4	1.0
居住系	44	4.5	6.8	56.8	2.3	2.3	25.0	2.3
居宅介護支援	120	5.0	15.8	45.0	12.5	8.3	10.0	3.3

問5 運営法人及び貴事業所の職員数（令和7（2025）年10月1日現在）についてうかがいます。（単数回答）

（1）法人全体の職員数

令和7年度(n=362)では、「301人以上」が30.9%で最も高く、次いで、「6人～30人」が30.7%、「31人～50人」が11.0%となっている。

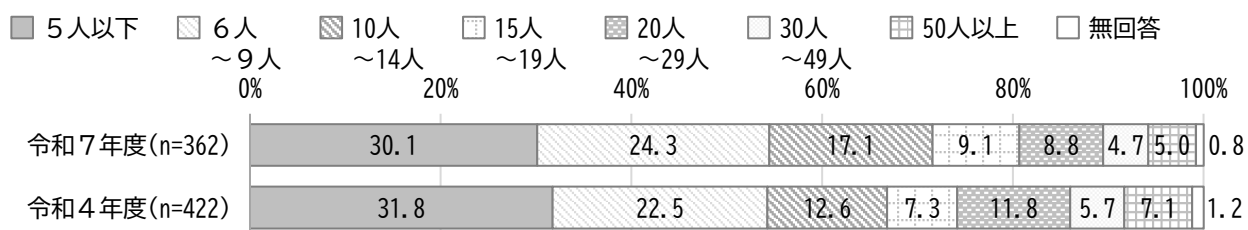


単位：%

	事業所数	5人以下	6人～30人	31人～50人	51人～100人	101人～300人	301人以上	無回答
全体	362	9.1	30.7	11.0	6.9	10.5	30.9	0.8
訪問系	83	4.8	44.6	12.0	7.2	9.6	20.5	1.2
施設系（入所型）	18	0.0	0.0	5.6	16.7	5.6	72.2	0.0
施設系（通所型）	97	4.1	29.9	17.5	4.1	14.4	27.8	2.1
居住系	44	0.0	13.6	9.1	6.8	4.5	65.9	0.0
居宅介護支援	120	20.8	32.5	6.7	7.5	10.8	21.7	0.0

（2）うち、調査対象のサービス提供に携わっている職員数

令和7年度(n=362)では、「5人以下」が30.1%で最も高く、次いで、「6人～9人」が24.3%、「10人～14人」が17.1%となっている。

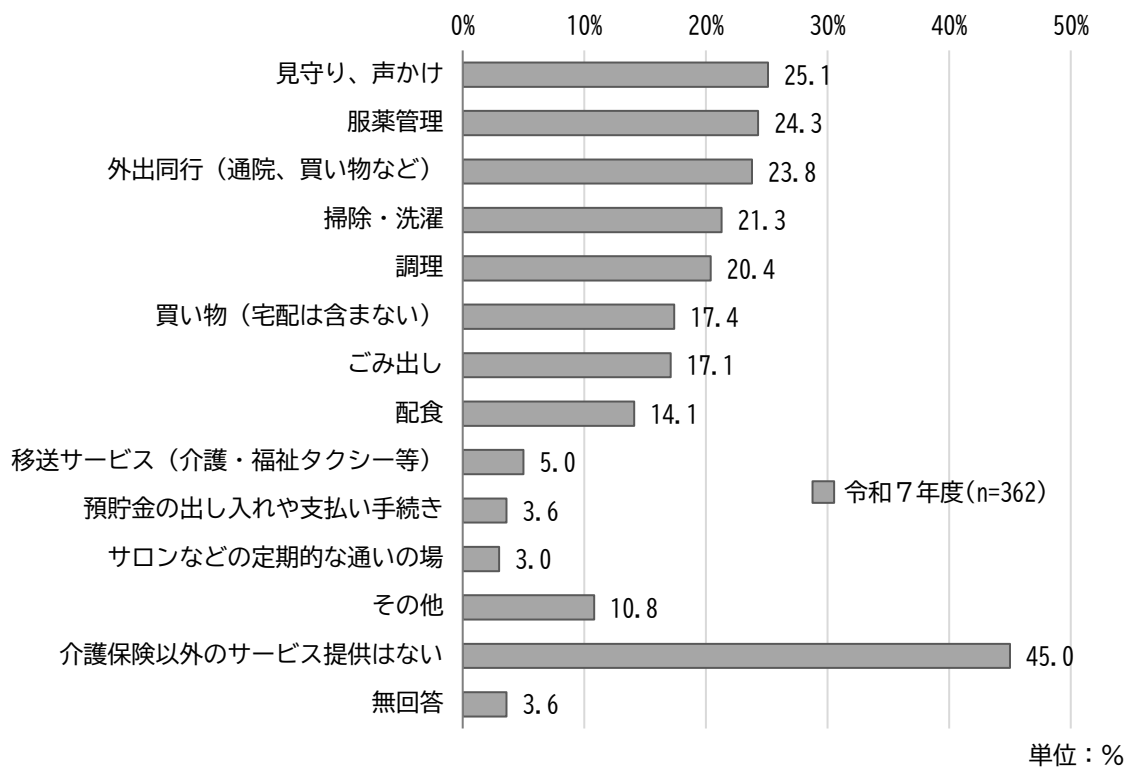


単位：%

	事業所数	5人以下	6人～9人	10人～14人	15人～19人	20人～29人	30人～49人	50人以上	無回答
全体	362	30.1	24.3	17.1	9.1	8.8	4.7	5.0	0.8
訪問系	83	15.7	30.1	24.1	12.0	6.0	7.2	2.4	2.4
施設系（入所型）	18	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	77.8	0.0
施設系（通所型）	97	12.4	30.9	33.0	9.3	11.3	1.0	1.0	1.0
居住系	44	0.0	6.8	13.6	27.3	34.1	15.9	2.3	0.0
居宅介護支援	120	70.0	25.0	3.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0

問6 貴事業所で提供されている、介護保険以外のサービス（高齢者に対するサービス）をお答えください。（複数回答）

本設問(n=362)では、「介護保険以外のサービス提供はない」が45.0%で最も高く、次いで、「見守り、声かけ」が25.1%、「服薬管理」が24.3%となっている。「その他」（10.8%）では、訪問介護・訪問看護・リハビリ等の自費サービス、理美容、送迎・時間延長など、介護保険外の多様な支援が提供されているとの回答が見られた。



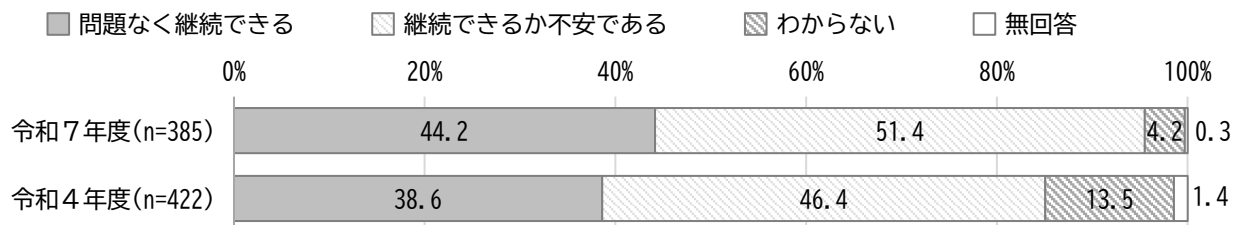
	事業所数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	預貯金の出し入れや支払い手続き	ごみ出し	服薬管理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	介護保険以外のサービス提供はない	無回答
全体	362	14.1	20.4	21.3	17.4	3.6	17.1	24.3	23.8	5.0	25.1	3.0	10.8	45.0	3.6
訪問系	83	8.4	31.3	34.9	28.9	7.2	27.7	26.5	48.2	1.2	31.3	3.6	15.7	25.3	3.6
施設系（入所型）	18	16.7	22.2	22.2	5.6	0.0	11.1	22.2	11.1	5.6	22.2	0.0	0.0	66.7	0.0
施設系（通所型）	97	21.6	17.5	10.3	6.2	1.0	3.1	29.9	5.2	2.1	19.6	0.0	14.4	39.2	3.1
居住系	44	36.4	52.3	65.9	59.1	9.1	63.6	68.2	61.4	18.2	68.2	9.1	4.5	13.6	2.3
居宅介護支援	120	3.3	3.3	4.2	5.0	1.7	5.0	2.5	10.0	5.0	10.0	3.3	8.3	71.7	5.0

(3) 今後の事業継続に向けた考えや課題等について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問7 今後のサービス提供の継続に関し、どのように感じますか。(単数回答)

令和7年度(n=385)では、「継続できるか不安である」が51.4%で最も高く、次いで、「問題なく継続できる」が44.2%、「わからない」が4.2%となっている。

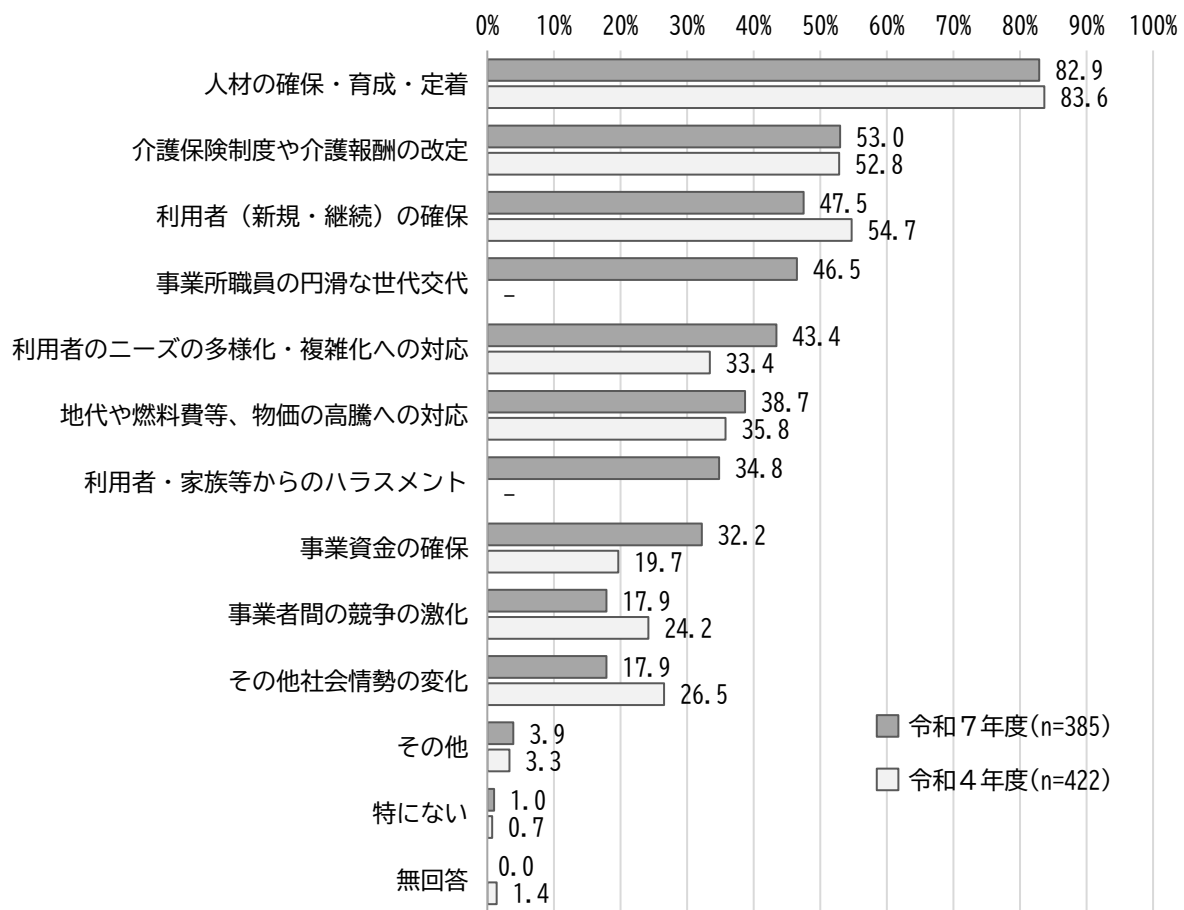


単位：%

	事業所数	問題なく継続できる	継続できるか不安である	わからない	無回答
全体	385	44.2	51.4	4.2	0.3
訪問系	83	38.6	54.2	7.2	0.0
施設系(入所型)	18	44.4	55.6	0.0	0.0
施設系(通所型)	97	41.2	56.7	2.1	0.0
居住系	44	65.9	25.0	9.1	0.0
居宅介護支援	120	35.8	60.0	3.3	0.8
地域包括支援センター	23	78.3	21.7	0.0	0.0

問8 今後の事業継続に関し、不安なことや課題と感じているのはどのようなことですか。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「人材の確保・育成・定着」が82.9%で最も高く、次いで、「介護保険制度や介護報酬の改定」が53.0%、「利用者(新規・継続)の確保」が47.5%となっている。「事業資金の確保」(32.2%)の割合は、令和4年度の19.7%から12.5ポイント上昇している。



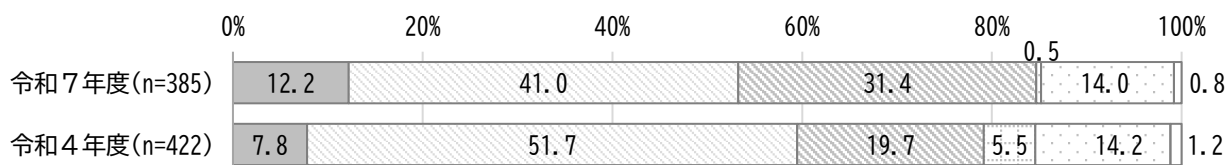
単位：%

	事業所数	人材の確保・育成・定着	事業所職員の円滑な世代交代	事業資金の確保	利用者(新規・継続)の確保	介護保険制度や介護報酬の改定	利用者のニーズの多様化・複雑化への対応	事業者間の競争の激化	地代や燃料費等、物価の高騰への対応	利用者・家族等からのハラスメント	その他社会情勢の変化	その他	特にない	無回答
全体	385	82.9	46.5	32.2	47.5	53.0	43.4	17.9	38.7	34.8	17.9	3.9	1.0	0.0
訪問系	83	83.1	42.2	32.5	53.0	54.2	30.1	21.7	28.9	27.7	16.9	2.4	1.2	0.0
施設系(入所型)	18	100.0	50.0	38.9	44.4	66.7	61.1	22.2	66.7	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0
施設系(通所型)	97	80.4	54.6	38.1	64.9	63.9	37.1	21.6	60.8	25.8	17.5	5.2	1.0	0.0
居住系	44	90.9	56.8	13.6	38.6	38.6	38.6	20.5	43.2	27.3	22.7	2.3	0.0	0.0
居宅介護支援	120	76.7	36.7	38.3	42.5	53.3	50.8	14.2	28.3	44.2	20.0	5.0	1.7	0.0
地域包括支援センター	23	95.7	56.5	4.3	0.0	17.4	73.9	0.0	4.3	60.9	13.0	4.3	0.0	0.0

問9 今後は高齢化の進展に伴い、介護サービスの需要が増加することが見込まれます。令和11(2029)年頃を見越して、貴事業所で提供している介護サービスの需要増加に対応してサービス提供を増やすことは可能だと思いますか。(単数回答)

令和7年度(n=385)では、「職員を増やす等、提供体制を強化して対応するつもりである」が41.0%で最も高く、次いで、「これ以上のサービス提供は難しい」が31.4%、「わからない」が14.0%となっている。「これ以上のサービス提供は難しい」の割合は、令和4年度の19.7%から11.7ポイント上昇している。

- 現状の体制で対応可能である
- ▨ 職員を増やす等、提供体制を強化して対応するつもりである
- ▩ これ以上のサービス提供は難しい
- ▤ その他
- わからない
- 無回答

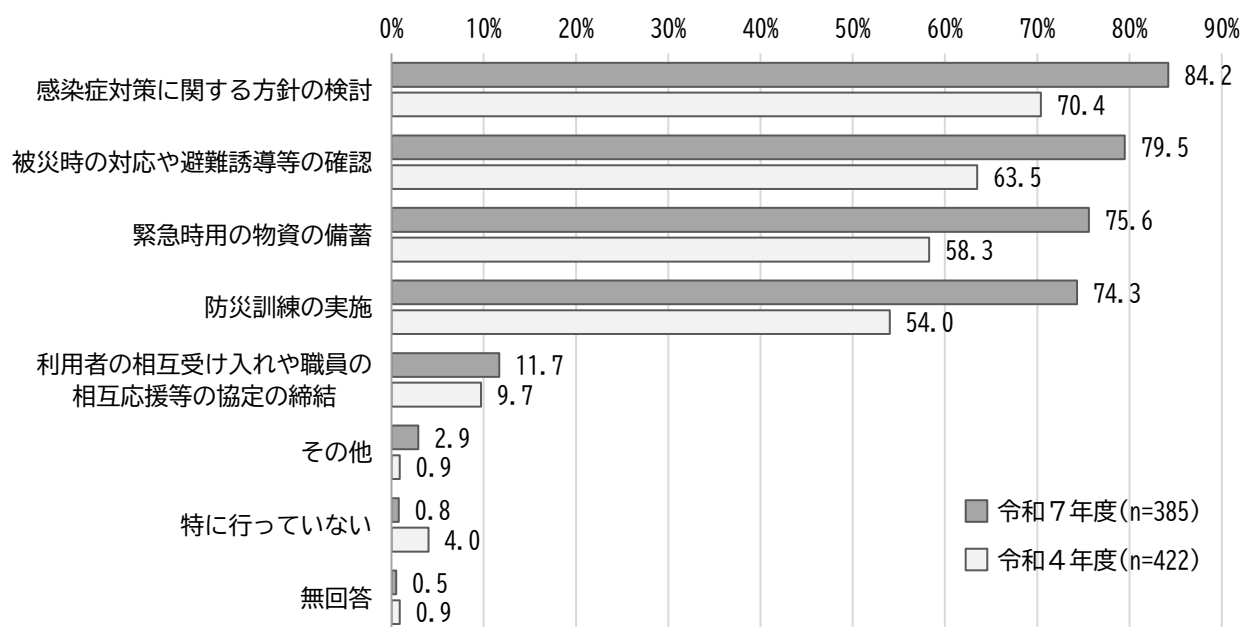


単位：％

	事業所数	現状の体制で対応可能である	職員を増やす等、提供体制を強化して対応するつもりである	これ以上のサービス提供は難しい	その他	わからない	無回答
全体	385	12.2	41.0	31.4	0.5	14.0	0.8
訪問系	83	8.4	66.3	14.5	0.0	9.6	1.2
施設系(入所型)	18	11.1	27.8	50.0	0.0	11.1	0.0
施設系(通所型)	97	13.4	40.2	29.9	1.0	15.5	0.0
居住系	44	13.6	27.3	38.6	0.0	15.9	4.5
居宅介護支援	120	12.5	37.5	35.8	0.0	14.2	0.0
地域包括支援センター	23	17.4	8.7	47.8	4.3	21.7	0.0

問 10 災害時や緊急事態等の事業継続について、貴事業所ではどのような準備を進めていますか。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「感染症対策に関する方針の検討」が84.2%で最も高く、次いで、「被災時の対応や避難誘導等の確認」が79.5%、「緊急時用の物資の備蓄」が75.6%となっている。「防災訓練の実施」(74.3%)の割合は、令和4年度の54.0%から20.3ポイント上昇している。

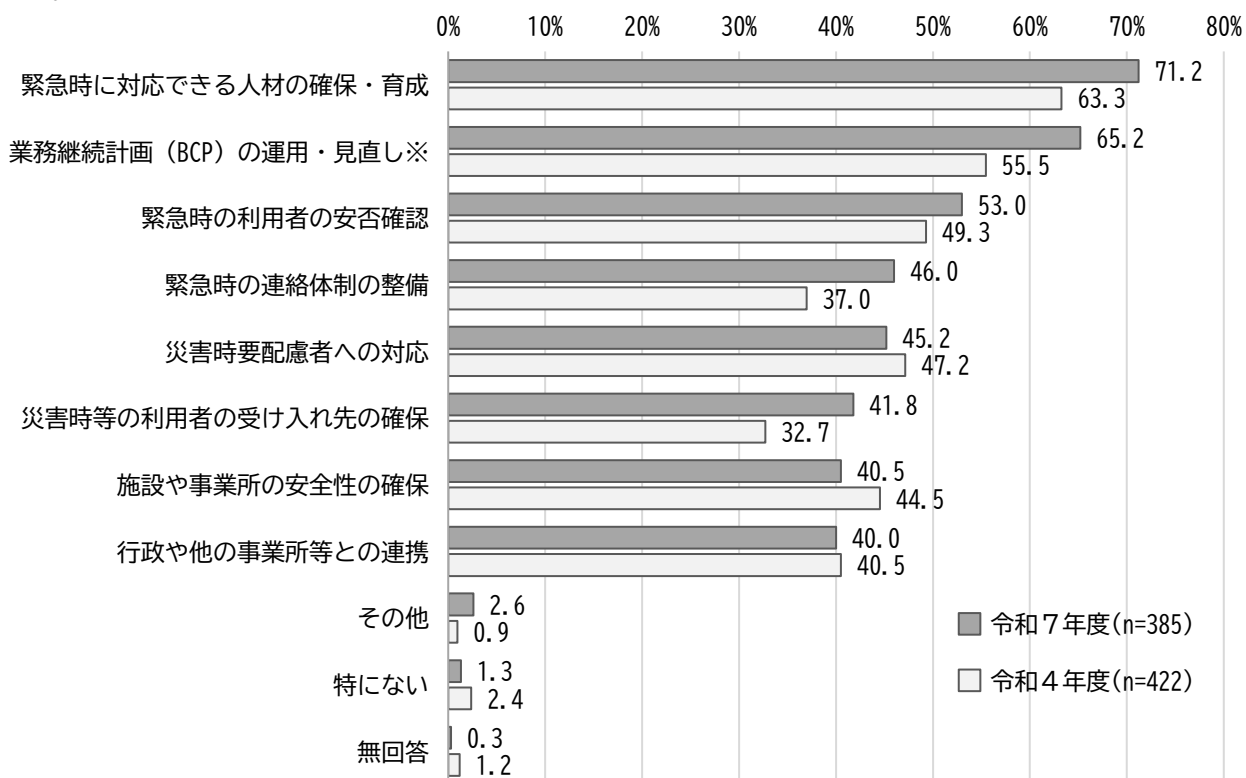


単位：%

	事業所数	被災時の対応や避難誘導等の確認	防災訓練の実施	緊急時用の物資の備蓄	感染症対策に関する方針の検討	利用者の相互受け入れや職員の相互応援等の協定の締結	その他	特に行っていない	無回答
全体	385	79.5	74.3	75.6	84.2	11.7	2.9	0.8	0.5
訪問系	83	74.7	59.0	72.3	85.5	12.0	1.2	0.0	1.2
施設系(入所型)	18	83.3	100.0	88.9	94.4	16.7	5.6	0.0	0.0
施設系(通所型)	97	91.8	96.9	79.4	87.6	14.4	2.1	0.0	0.0
居住系	44	84.1	93.2	90.9	84.1	18.2	0.0	0.0	2.3
居宅介護支援	120	71.7	58.3	67.5	80.8	5.8	3.3	2.5	0.0
地域包括支援センター	23	73.9	60.9	73.9	73.9	13.0	13.0	0.0	0.0

問 11 災害時や緊急事態等の事業継続に向けた準備について、どのようなことが課題となっていますか。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「緊急時に対応できる人材の確保・育成」が71.2%で最も高く、次いで、「業務継続計画（BCP）の運用・見直し」が65.2%、「緊急時の利用者の安否確認」が53.0%となっている。



※令和4年度調査では「業務継続計画（BCP）の策定」という選択肢だった。令和7年度調査では「業務継続計画（BCP）の運用・見直し」としている。

単位：%

事業所数	業務継続計画（BCP）の運用・見直し※	緊急時に対応できる人材の確保・育成	施設や事業所の安全性の確保	災害時等の利用者の受け入れ先の確保	災害時要配慮者への対応	緊急時の連絡体制の整備	緊急時の利用者の安否確認	行政や他の事業所等との連携	その他	特になし	無回答	
全体	385	65.2	71.2	40.5	41.8	45.2	46.0	53.0	40.0	2.6	1.3	0.3
訪問系	83	66.3	77.1	36.1	36.1	39.8	48.2	56.6	37.3	3.6	1.2	0.0
施設系（入所型）	18	72.2	77.8	44.4	38.9	33.3	33.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	62.9	67.0	48.5	46.4	41.2	45.4	48.5	36.1	2.1	3.1	0.0
居住系	44	52.3	84.1	52.3	45.5	36.4	34.1	31.8	29.5	2.3	2.3	0.0
居宅介護支援	120	64.2	62.5	32.5	41.7	48.3	50.8	61.7	43.3	0.8	0.0	0.8
地域包括支援センター	23	95.7	82.6	39.1	39.1	91.3	47.8	69.6	60.9	13.0	0.0	0.0

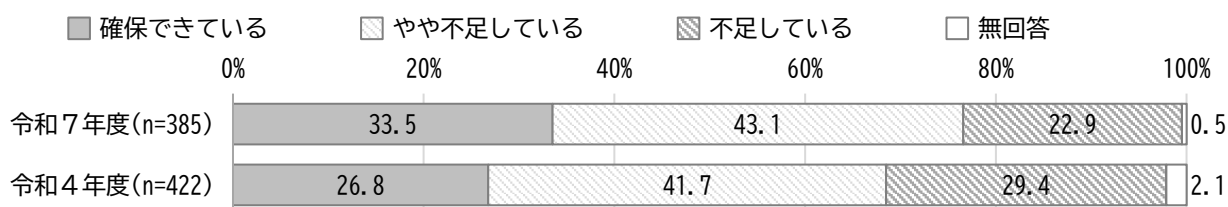
(4) 人材の確保・育成・定着に関する取組状況について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 12 現在、サービスの提供に十分な人材を確保できていますか。(単数回答)

(1) 直接的にサービス提供に携わる人材

令和7年度(n=385)では、「やや不足している」が43.1%で最も高く、次いで、「確保できている」が33.5%、「不足している」が22.9%となっている。

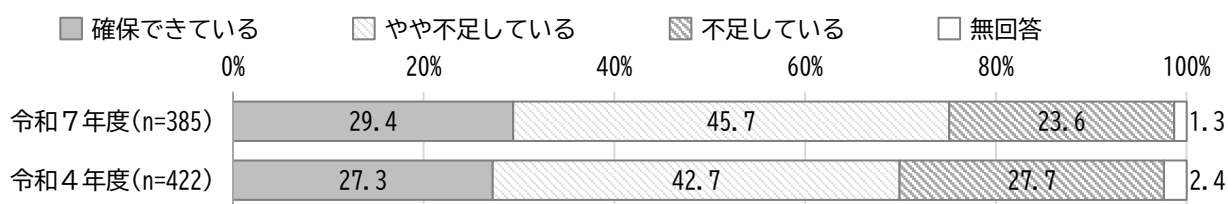


単位：%

	事業所数	確保できている	やや不足している	不足している	無回答
全体	385	33.5	43.1	22.9	0.5
訪問系	83	27.7	36.1	34.9	1.2
施設系(入所型)	18	11.1	44.4	44.4	0.0
施設系(通所型)	97	37.1	46.4	16.5	0.0
居住系	44	27.3	59.1	13.6	0.0
居宅介護支援	120	37.5	40.0	21.7	0.8
地域包括支援センター	23	47.8	39.1	13.0	0.0

(2) マネジメント人材

令和7年度(n=385)では、「やや不足している」が45.7%で最も高く、次いで、「確保できている」が29.4%、「不足している」が23.6%となっている。



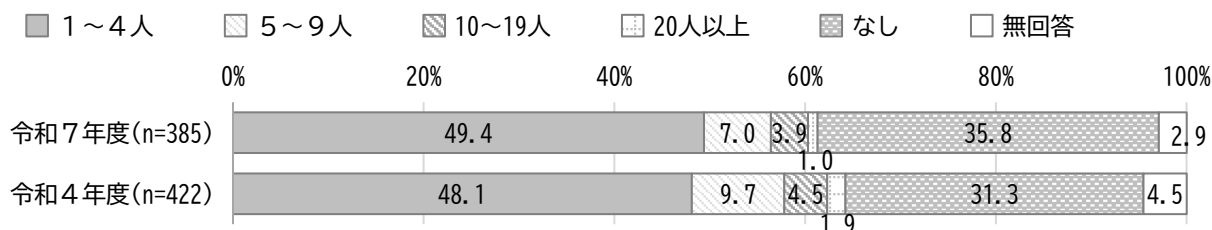
単位：%

	事業所数	確保できている	やや不足している	不足している	無回答
全体	385	29.4	45.7	23.6	1.3
訪問系	83	26.5	39.8	33.7	0.0
施設系(入所型)	18	27.8	44.4	27.8	0.0
施設系(通所型)	97	25.8	52.6	20.6	1.0
居住系	44	25.0	50.0	22.7	2.3
居宅介護支援	120	32.5	42.5	22.5	2.5
地域包括支援センター	23	47.8	47.8	4.3	0.0

問 13 貴事業所における、直近1年間の職員の採用及び離職の状況について教えてください。
(数値記入)

(1) 令和6(2024)年10月1日～令和7(2025)年9月30日に新規採用した人数

令和7年度(n=385)では、「1～4人」が49.4%で最も高く、次いで、「5～9人」が7.0%、「10～19人」が3.9%、「20人以上」が1.0%、「なし」が35.8%、「無回答」が2.9%となっている。

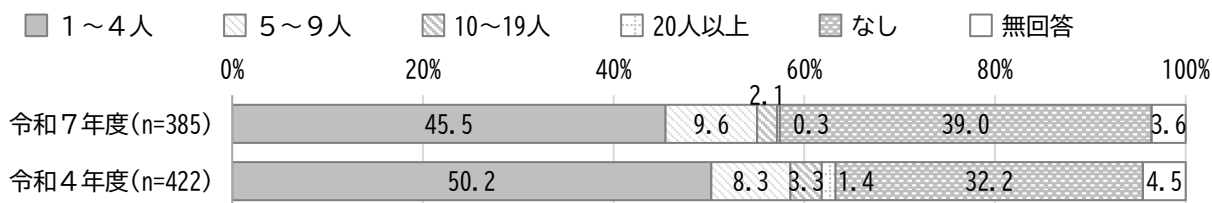


単位：%

	事業所数	1～4人	5～9人	10～19人	20人以上	なし	無回答
全体	385	49.4	7.0	3.9	1.0	35.8	2.9
訪問系	83	63.9	6.0	1.2	1.2	26.5	1.2
施設系(入所型)	18	11.1	33.3	44.4	5.6	5.6	0.0
施設系(通所型)	97	61.9	7.2	2.1	1.0	22.7	5.2
居住系	44	63.6	15.9	9.1	2.3	2.3	6.8
居宅介護支援	120	26.7	1.7	0.0	0.0	70.0	1.7
地域包括支援センター	23	65.2	0.0	0.0	0.0	34.8	0.0

(2) 令和6(2024)年10月1日～令和7(2025)年9月30日に離職した人数

令和7年度(n=385)では、「1～4人」が45.5%で最も高く、次いで、「5～9人」が9.6%、「10～19人」が2.1%となっている。

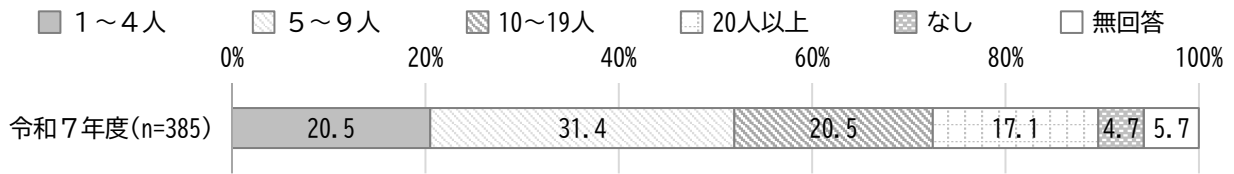


単位：%

	事業所数	1～4人	5～9人	10～19人	20人以上	なし	無回答
全体	385	45.5	9.6	2.1	0.3	39.0	3.6
訪問系	83	62.7	7.2	0.0	0.0	26.5	3.6
施設系(入所型)	18	5.6	44.4	44.4	0.0	5.6	0.0
施設系(通所型)	97	63.9	10.3	0.0	0.0	22.7	3.1
居住系	44	52.3	25.0	0.0	2.3	13.6	6.8
居宅介護支援	120	24.2	0.8	0.0	0.0	70.8	4.2
地域包括支援センター	23	34.8	4.3	0.0	0.0	60.9	0.0

(3) 令和6（2024）年10月1日時点の職員数【1年前の職員数】

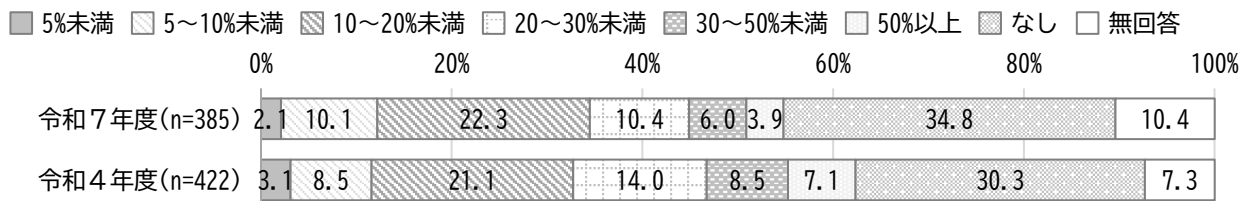
本設問(n=385)では、「5～9人」が31.4%で最も高く、次いで、「1～4人」が20.5%、「10～19人」が20.5%となっている。



単位：%

	事業所数	1～4人	5～9人	10～19人	20人以上	なし	無回答
全体	385	20.5	31.4	20.5	17.1	4.7	5.7
訪問系	83	6.0	37.3	30.1	19.3	1.2	6.0
施設系（入所型）	18	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	9.3	33.0	36.1	11.3	3.1	7.2
居住系	44	2.3	2.3	36.4	47.7	0.0	11.4
居宅介護支援	120	53.3	29.2	1.7	0.0	11.7	4.2
地域包括支援センター	23	0.0	95.7	4.3	0.0	0.0	0.0

なお、直近1年間の離職者数に基づき、同期間の離職率※を算出したところ、全体の平均値は12.7%であった（令和4年度は16.3%）。回答の分布については「10%～20%未満」が22.3%と最も多く、次いで「20%～30%未満」が10.4%となっている。



※離職率：【直近1年間の離職者数 ÷ 令和6（2024）年10月1日現在の職員数】との計算式により算出

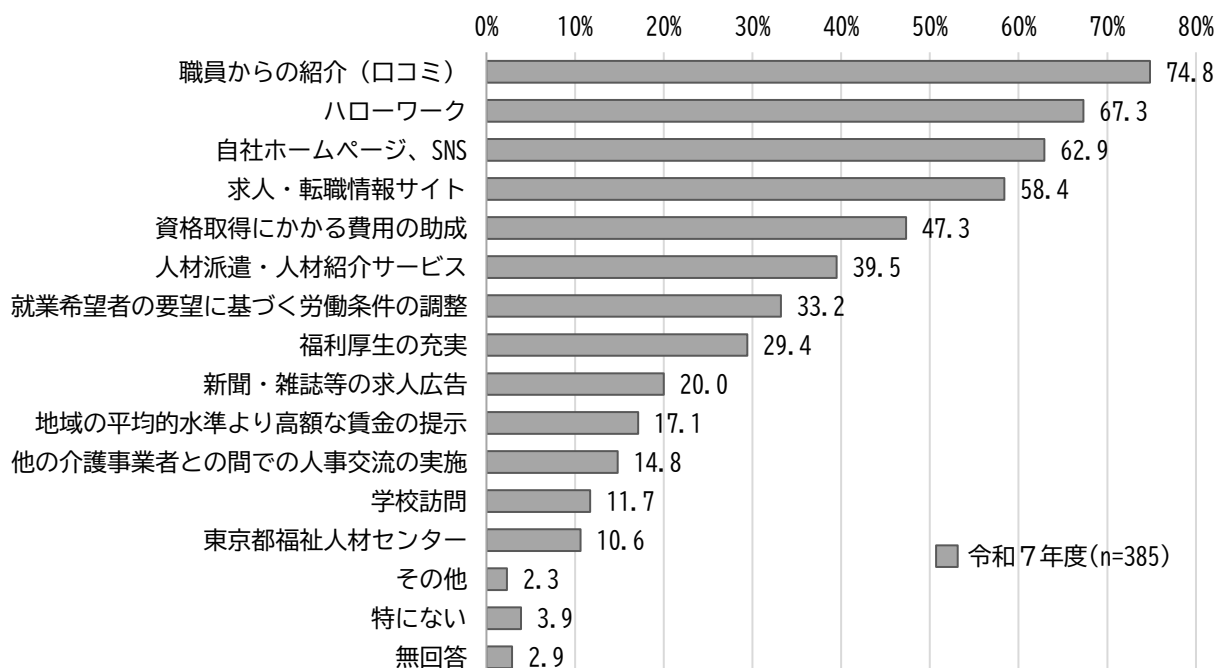
単位：%

	事業所数	5%未満	5～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～50%未満	50%以上	なし	無回答	平均値
全体	385	2.1	10.1	22.3	10.4	6.0	3.9	34.8	10.4	12.7
訪問系	83	4.8	14.5	22.9	13.3	7.2	4.8	25.3	7.2	14.9
施設系（入所型）	18	0.0	27.8	38.9	22.2	5.6	0.0	5.6	0.0	13.6
施設系（通所型）	97	1.0	15.5	33.0	9.3	6.2	5.2	19.6	10.3	15.7
居住系	44	6.8	13.6	34.1	15.9	2.3	2.3	13.6	11.4	14.4
居宅介護支援	120	0.0	0.8	5.0	7.5	6.7	3.3	60.8	15.8	8.5
地域包括支援センター	23	0.0	0.0	30.4	0.0	4.3	4.3	60.9	0.0	8.9

問 14 貴事業所における人材確保のため（１）実際に行っている取組と（２）今後必要とする取組についてうかがいます。（複数回答）

（１）実際に行っている取組

本設問(n=385)では、「職員からの紹介（口コミ）」が74.8%で最も高く、次いで、「ハローワーク」が67.3%、「自社ホームページ、SNS」が62.9%となっている。



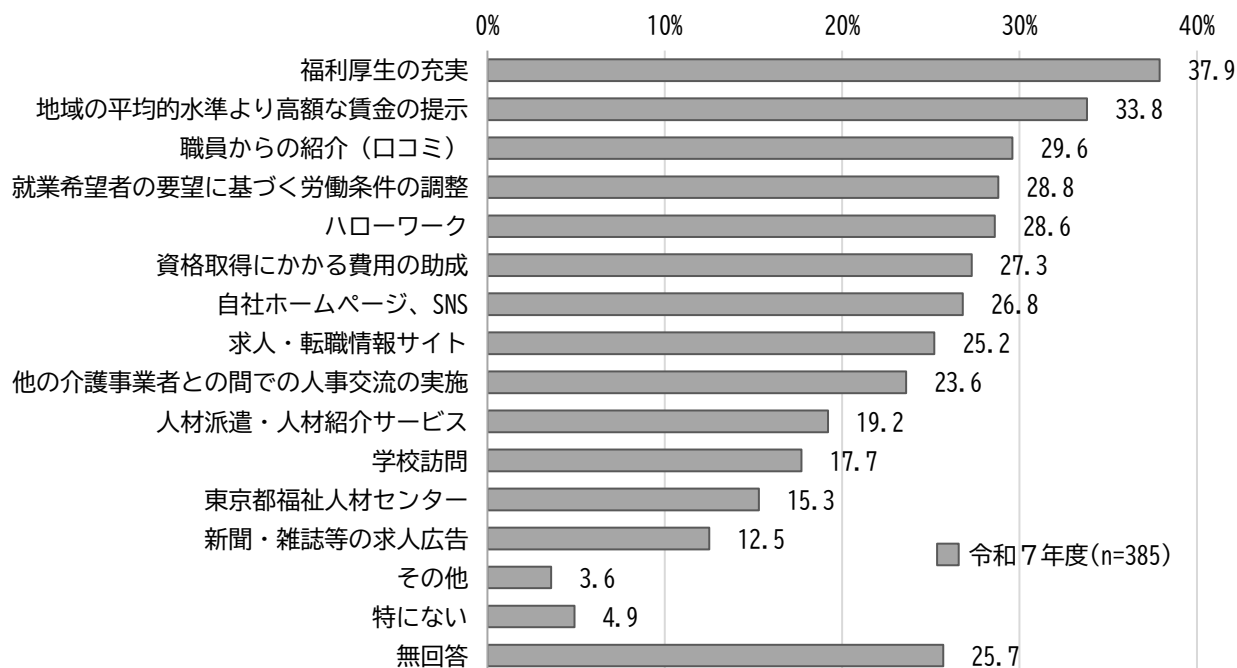
単位：%

	事業所数	職員からの紹介（口コミ）	ハローワーク	新聞・雑誌等の求人広告	求人・転職情報サイト	人材派遣・人材紹介サービス	自社ホームページ、SNS	東京都福祉人材センター	学校訪問
全体	385	74.8	67.3	20.0	58.4	39.5	62.9	10.6	11.7
訪問系	83	78.3	62.7	16.9	62.7	39.8	61.4	6.0	3.6
施設系（入所型）	18	94.4	94.4	50.0	83.3	72.2	100.0	50.0	66.7
施設系（通所型）	97	78.4	71.1	22.7	60.8	40.2	62.9	12.4	13.4
居住系	44	93.2	88.6	45.5	88.6	56.8	93.2	15.9	25.0
居宅介護支援	120	58.3	50.8	9.2	41.7	28.3	45.0	3.3	3.3
地域包括支援センター	23	82.6	91.3	4.3	43.5	34.8	73.9	17.4	8.7

	地域の平均的水準より高額な賃金の提示	資格取得にかかる費用の助成	就業希望者の要望に基づく労働条件の調整	福利厚生 の 充実	他の介護事業者との間での人事交流の実施	その他	特にない	無回答
全体	17.1	47.3	33.2	29.4	14.8	2.3	3.9	2.9
訪問系	25.3	47.0	36.1	31.3	8.4	1.2	0.0	6.0
施設系（入所型）	27.8	77.8	55.6	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	19.6	46.4	32.0	25.8	15.5	3.1	2.1	1.0
居住系	13.6	56.8	47.7	47.7	20.5	0.0	0.0	0.0
居宅介護支援	10.8	40.0	25.0	21.7	16.7	3.3	10.0	4.2
地域包括支援センター	8.7	47.8	26.1	39.1	8.7	4.3	4.3	0.0

(2) 今後必要とする取組

本設問(n=385)では、「福利厚生充実」が37.9%で最も高く、次いで、「地域の平均的水準より高額な賃金の提示」が33.8%、「職員からの紹介(口コミ)」が29.6%となっている。



単位：%

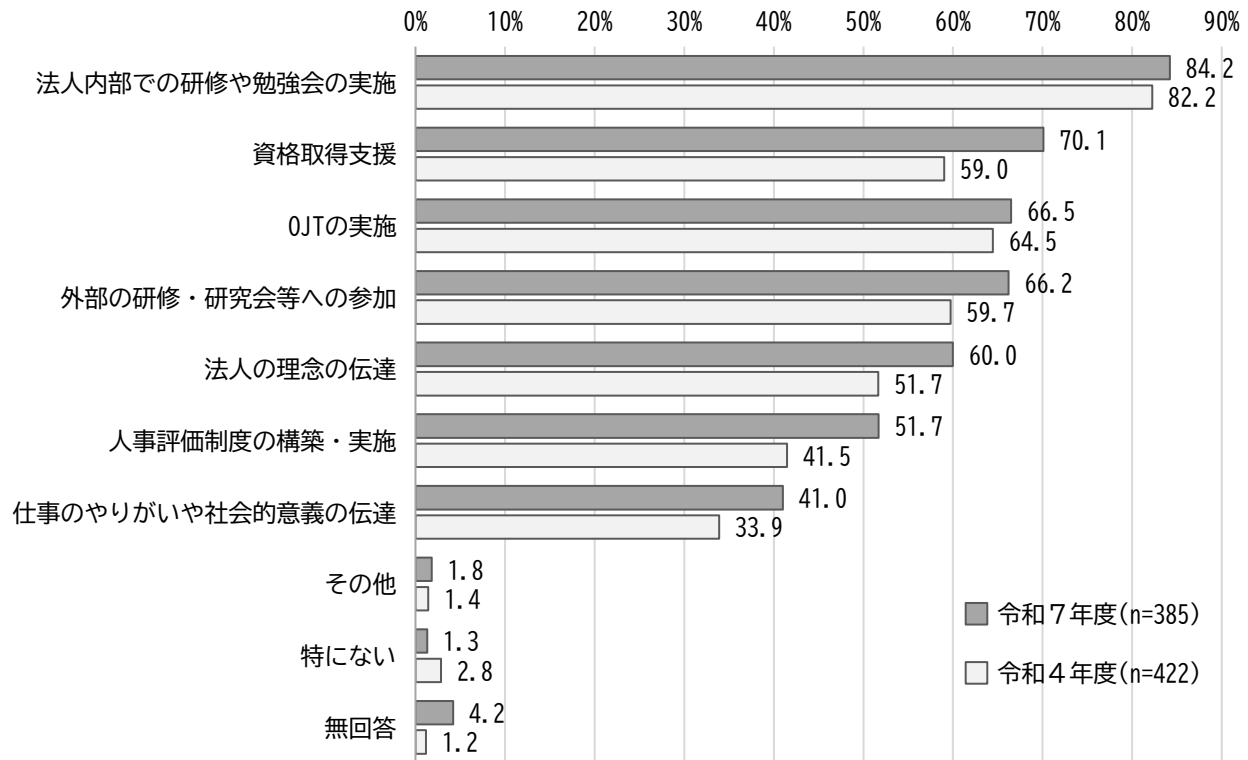
	事業所数	職員からの紹介(口コミ)	ハローワーク	新聞・雑誌等の求人広告	求人・転職情報サイト	人材派遣・人材紹介サービス	自社ホームページ、SNS	東京都福祉人材センター	学校訪問
全体	385	29.6	28.6	12.5	25.2	19.2	26.8	15.3	17.7
訪問系	83	31.3	33.7	9.6	24.1	16.9	26.5	18.1	19.3
施設系(入所型)	18	27.8	27.8	16.7	33.3	27.8	33.3	16.7	38.9
施設系(通所型)	97	22.7	26.8	16.5	26.8	19.6	29.9	16.5	23.7
居住系	44	27.3	22.7	20.5	25.0	25.0	25.0	22.7	20.5
居宅介護支援	120	31.7	25.0	6.7	21.7	14.2	20.0	7.5	7.5
地域包括支援センター	23	47.8	47.8	17.4	34.8	34.8	47.8	26.1	17.4

	地域の平均的水準より高額な賃金の提示	資格取得にかかる費用の助成	就業希望者の要望に基づく労働条件の調整	福利厚生充実	他の介護事業者との間での人事交流の実施	その他	特にない	無回答
全体	33.8	27.3	28.8	37.9	23.6	3.6	4.9	25.7
訪問系	36.1	30.1	30.1	34.9	22.9	1.2	1.2	27.7
施設系(入所型)	50.0	27.8	22.2	61.1	55.6	0.0	0.0	11.1
施設系(通所型)	41.2	25.8	28.9	44.3	21.6	4.1	3.1	25.8
居住系	34.1	31.8	25.0	34.1	27.3	2.3	6.8	31.8
居宅介護支援	20.8	20.8	25.8	28.3	19.2	5.0	10.0	26.7
地域包括支援センター	47.8	47.8	52.2	60.9	26.1	8.7	0.0	13.0

問 15 貴事業所における人材育成のため、(1) 実際に行っている取組と (2) 今後必要とする取組についてうかがいます。(複数回答)

(1) 貴事業所における人材育成のため、実際に行っている取組

令和7年度(n=385)では、「法人内部での研修や勉強会の実施」が84.2%で最も高く、次いで、「資格取得支援」が70.1%、「外部の研修・研究会等への参加」が66.5%となっている。「資格取得支援」の割合は、令和4年度の59.0%から11.1ポイント上昇している。

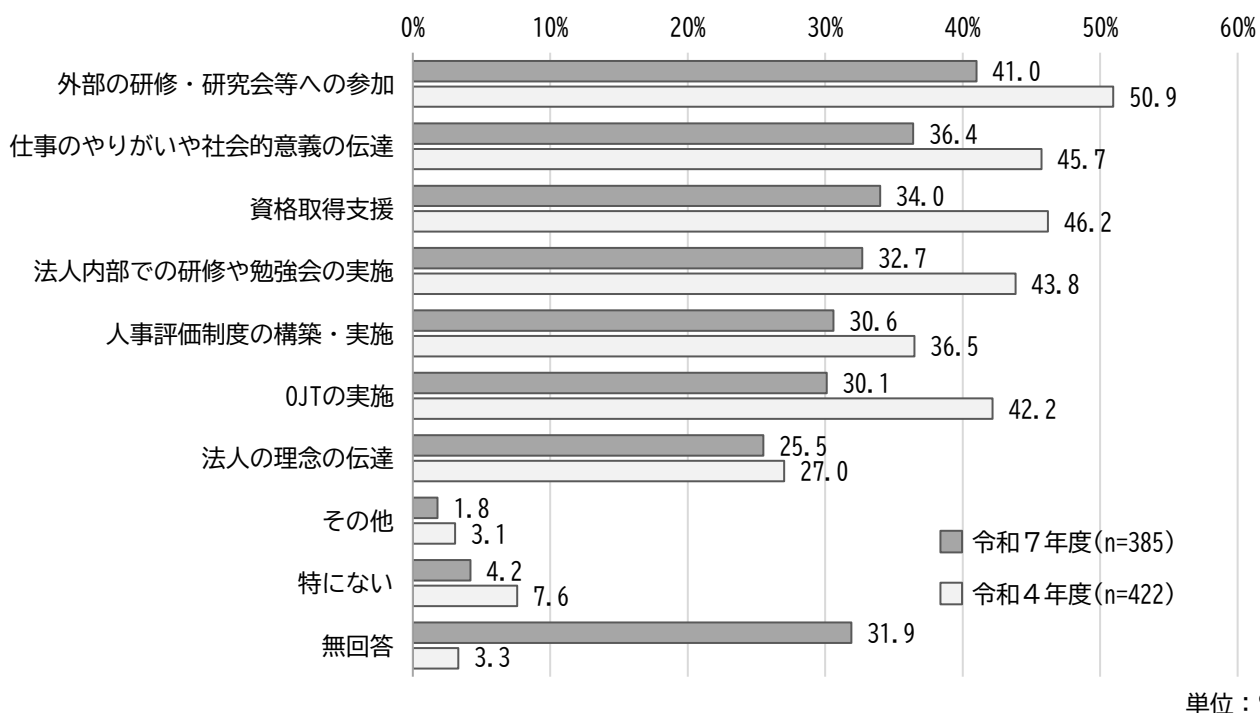


単位：%

	事業所数	OJTの実施	法人内部での研修や勉強会の実施	外部の研修・研究会等への参加	資格取得支援	人事評価制度の構築・実施	仕事のやりがいや社会的意義の伝達	法人の理念の伝達	その他	特になし	無回答
全体	385	66.2	84.2	66.5	70.1	51.7	41.0	60.0	1.8	1.3	4.2
訪問系	83	66.3	85.5	56.6	65.1	43.4	41.0	54.2	2.4	0.0	4.8
施設系(入所型)	18	88.9	100.0	94.4	88.9	83.3	50.0	88.9	0.0	0.0	0.0
施設系(通所型)	97	66.0	84.5	41.2	70.1	58.8	40.2	63.9	1.0	0.0	5.2
居住系	44	90.9	93.2	68.2	90.9	77.3	52.3	77.3	0.0	0.0	0.0
居宅介護支援	120	49.2	76.7	82.5	62.5	30.8	30.8	45.0	2.5	4.2	5.8
地域包括支援センター	23	91.3	87.0	100.0	73.9	87.0	69.6	87.0	4.3	0.0	0.0

(2) 貴事業所における人材育成のため、今後必要とする取組

令和7年度(n=385)では、「外部の研修・研究会等への参加」が41.0%で最も高く、次いで、「仕事のやりがいや社会的意義の伝達」が36.4%、「資格取得支援」が34.0%となっている。「資格取得支援」の割合は、令和4年度の46.2%から12.2ポイント低下している。

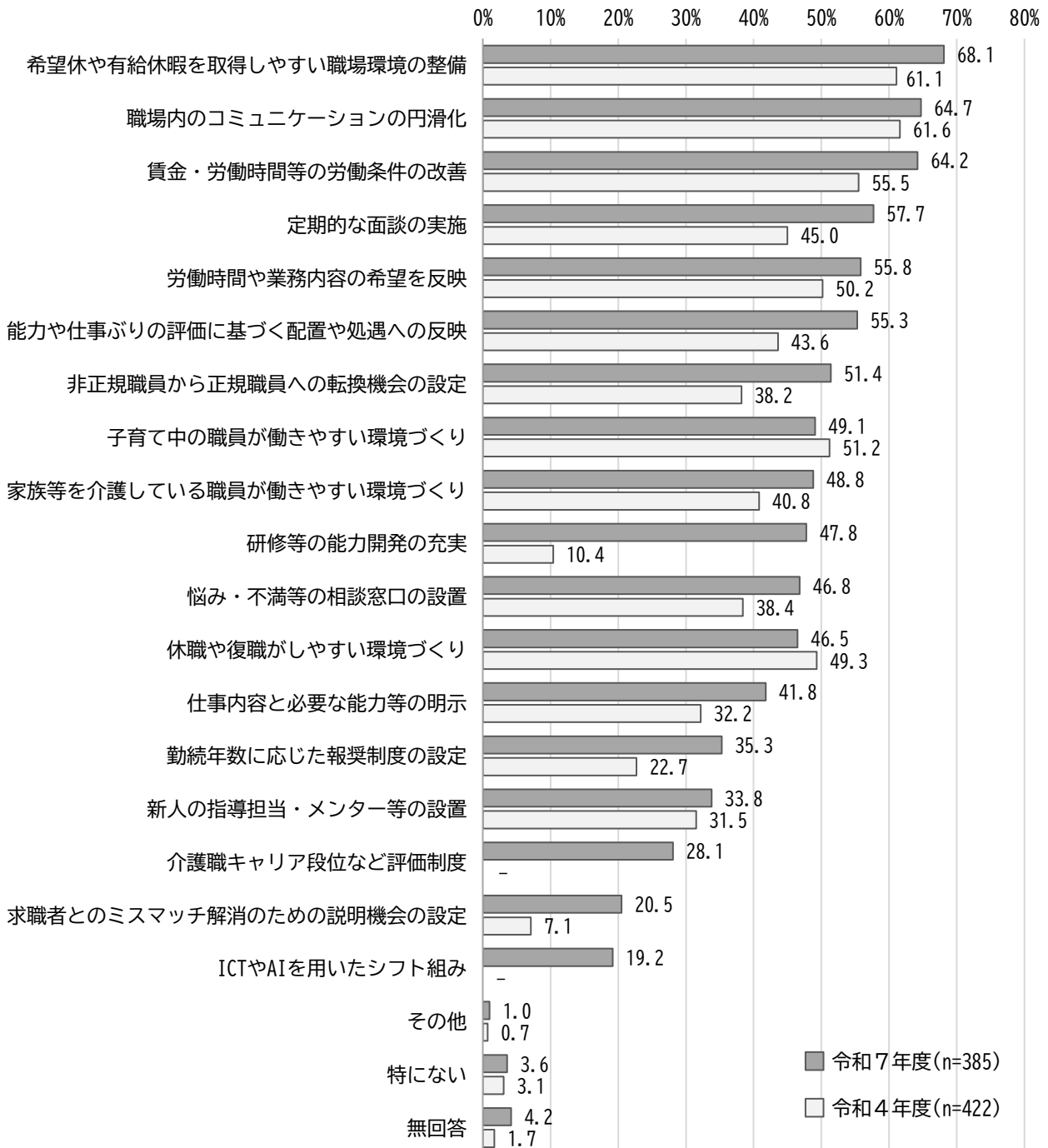


	事業所数	OJTの実施	法人内部での研修や勉強会の実施	外部の研修・研究会等への参加	資格取得支援	人事評価制度の構築・実施	仕事のやりがいや社会的意義の伝達	法人の理念の伝達	その他	特にない	無回答
全体	385	30.1	32.7	41.0	34.0	30.6	36.4	25.5	1.8	4.2	31.9
訪問系	83	30.1	28.9	42.2	37.3	33.7	28.9	24.1	1.2	2.4	32.5
施設系（入所型）	18	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	50.0	38.9	0.0	0.0	38.9
施設系（通所型）	97	29.9	27.8	41.2	30.9	27.8	32.0	21.6	4.1	5.2	30.9
居住系	44	31.8	31.8	50.0	31.8	34.1	45.5	31.8	2.3	2.3	36.4
居宅介護支援	120	24.2	36.7	37.5	32.5	27.5	35.8	20.8	0.0	6.7	30.8
地域包括支援センター	23	56.5	56.5	52.2	56.5	47.8	56.5	47.8	4.3	0.0	26.1

問 16 貴事業所における人材定着のため、(1) 実際に行っている取組と (2) 今後必要とする取組についてうかがいます。(複数回答)

(1) 実際に行っている取組

令和7年度(n=385)では、「希望休や有給休暇を取得しやすい職場環境の整備」が68.1%で最も高く、次いで、「職場内のコミュニケーションの円滑化」が64.7%、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が64.2%となっている。「研修等の能力開発の充実」(47.8%)の割合は、令和4年度の10.4%から37.4ポイント上昇している。



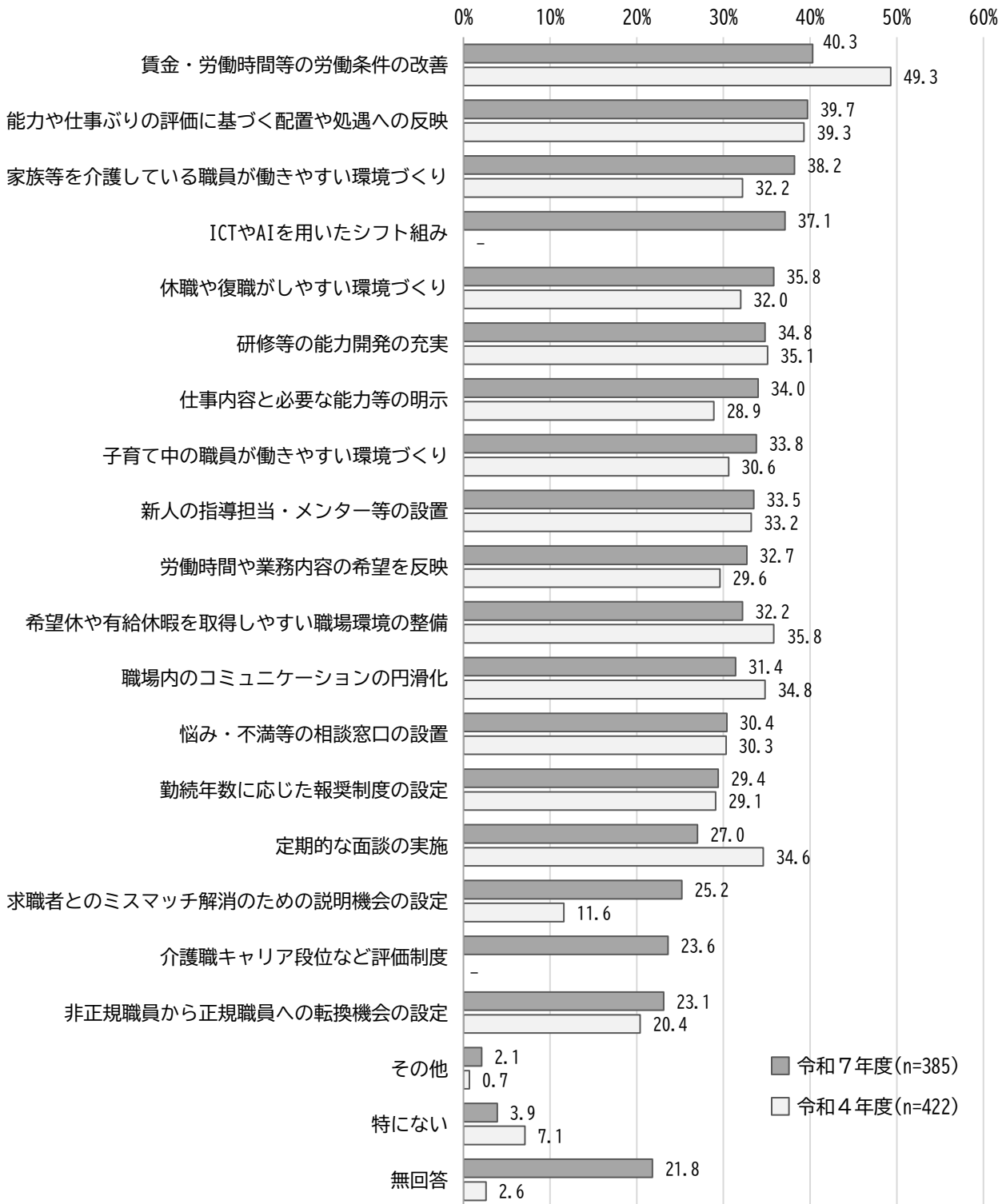
単位：％

	事業所数	賃金・労働時間等の労働条件の改善	能力や仕事ぶりの評価に基づく配置や処遇への反映	仕事内容と必要な能力等の明示	求職者とのミスマッチ解消のための説明機会の設定	新人の指導担当・メンター等の設置	研修等の能力開発の充実	労働時間や業務内容の希望を反映	希望休暇や有給休暇を取得しやすい職場環境の整備	ICTやAIを用いたシフト組み	子育て中の職員が働きやすい環境づくり
全体	385	64.2	55.3	41.8	20.5	33.8	47.8	55.8	68.1	19.2	49.1
訪問系	83	68.7	56.6	45.8	27.7	27.7	43.4	60.2	66.3	21.7	51.8
施設系（入所型）	18	77.8	83.3	61.1	50.0	72.2	72.2	61.1	66.7	33.3	72.2
施設系（通所型）	97	67.0	53.6	42.3	18.6	29.9	33.0	60.8	73.2	10.3	56.7
居住系	44	72.7	79.5	56.8	34.1	50.0	72.7	75.0	72.7	29.5	52.3
居宅介護支援	120	55.8	41.7	32.5	7.5	24.2	45.8	44.2	62.5	20.0	34.2
地域包括支援センター	23	52.2	60.9	30.4	21.7	60.9	69.6	39.1	73.9	13.0	60.9

	休職や復職がしやすい環境づくり	家族等を介護している職員が働きやすい環境づくり	悩み・不満等の相談窓口の設置	定期的な面談の実施	非正規職員から正規職員への転換機会の設定	勤続年数に応じた報奨制度の設定	介護職キャリアアセスメントなど評価制度	職場内のコミュニケーションの円滑化	その他	特になし	無回答
全体	46.5	48.8	46.8	57.7	51.4	35.3	28.1	64.7	1.0	3.6	4.2
訪問系	55.4	45.8	50.6	51.8	53.0	31.3	26.5	65.1	0.0	0.0	7.2
施設系（入所型）	72.2	66.7	61.1	88.9	88.9	44.4	44.4	77.8	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	45.4	53.6	42.3	55.7	64.9	39.2	32.0	60.8	2.1	4.1	2.1
居住系	59.1	52.3	72.7	77.3	65.9	45.5	54.5	72.7	2.3	0.0	4.5
居宅介護支援	32.5	43.3	39.2	46.7	27.5	23.3	13.3	57.5	0.8	8.3	5.0
地域包括支援センター	47.8	47.8	30.4	82.6	56.5	69.6	30.4	91.3	0.0	0.0	0.0

(2) 今後必要とする取組

令和7年度(n=385)では、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が40.3%で最も高く、次いで、「能力や仕事ぶりの評価に基づく配置や処遇への反映」が39.7%、「悩み・不満等の相談窓口の設置」が38.2%となっている。「求職者とのミスマッチ解消のための説明機会の設定」(25.2%)の割合は、令和4年度の11.6%から13.6ポイント上昇している。



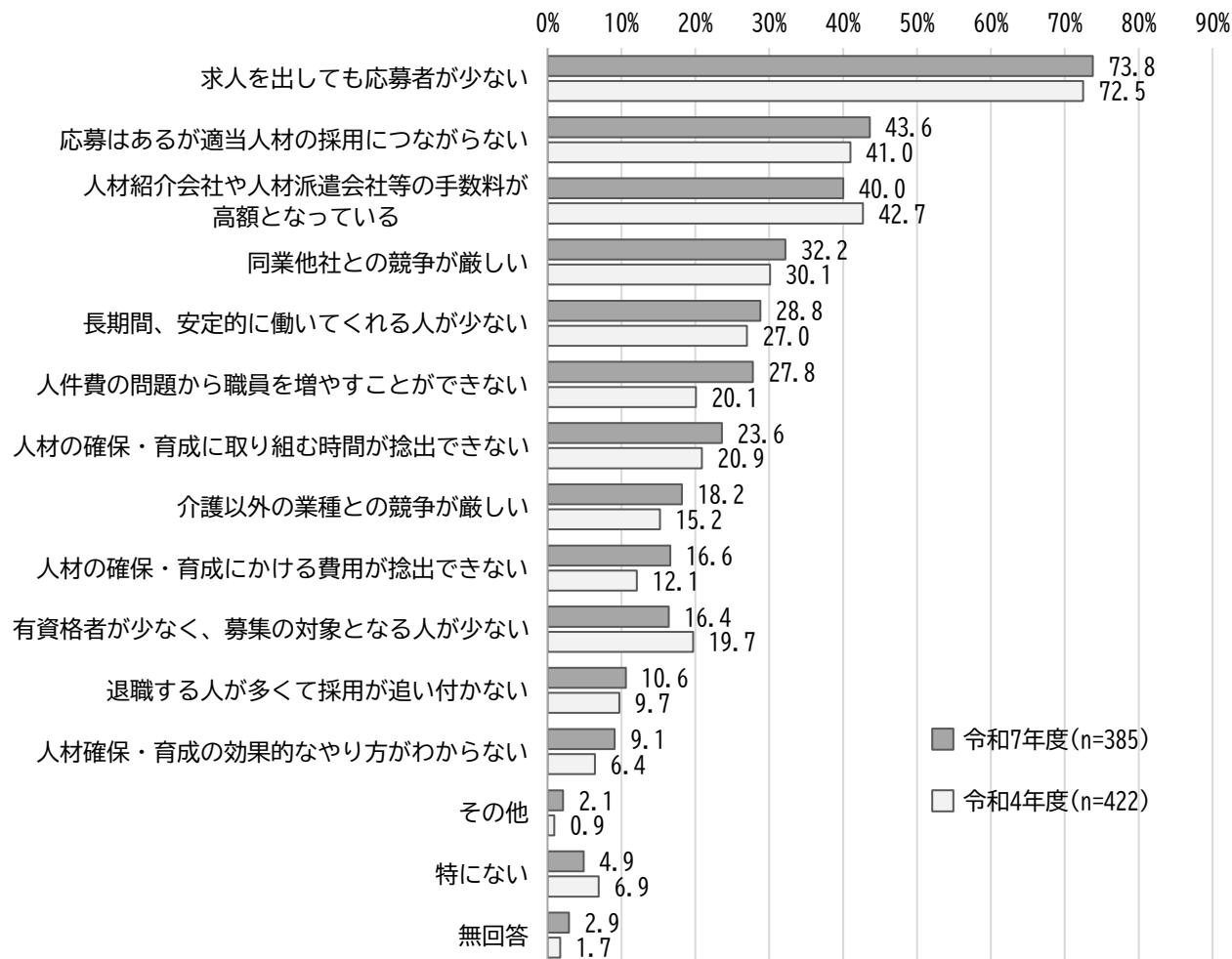
単位：％

	事業所数	賃金・労働時間等の労働条件の改善	能力や仕事ぶりの評価に基づく配置や処遇への反映	仕事内容と必要な能力等の明示	求職者とのミスマッチ解消のための説明機会の設定	新人の指導担当・メンター等の設置	研修等の能力開発の充実	労働時間や業務内容の希望を反映	希望休暇や有給休暇を取得しやすい職場環境の整備	ICTやAIを用いたソフト組み	子育て中の職員が働きやすい環境づくり
全体	385	40.3	39.7	34.0	25.2	33.5	34.8	32.7	32.2	37.1	33.8
訪問系	83	30.1	34.9	26.5	27.7	28.9	34.9	30.1	33.7	34.9	32.5
施設系（入所型）	18	22.2	16.7	38.9	27.8	27.8	44.4	27.8	44.4	50.0	33.3
施設系（通所型）	97	41.2	46.4	42.3	29.9	35.1	40.2	27.8	23.7	41.2	27.8
居住系	44	45.5	34.1	29.5	27.3	40.9	25.0	25.0	38.6	40.9	34.1
居宅介護支援	120	42.5	38.3	29.2	16.7	29.2	28.3	36.7	30.0	28.3	32.5
地域包括支援センター	23	65.2	65.2	56.5	34.8	56.5	56.5	60.9	52.2	56.5	69.6

	休職や復職がしやすい環境づくり	家族等を介護している職員が働きやすい環境づくり	悩み・不満等の相談窓口の設置	定期的な面談の実施	非正規職員から正規職員への転換機会の設定	勤続年数に応じた報奨制度の設定	介護職キャリア段位など評価制度	職場内のコミュニケーションの円滑化	その他	特にな	無回答
全体	35.8	38.2	30.4	27.0	23.1	29.4	23.6	31.4	2.1	3.9	21.8
訪問系	36.1	38.6	25.3	27.7	32.5	24.1	20.5	26.5	0.0	2.4	21.7
施設系（入所型）	38.9	38.9	38.9	11.1	16.7	38.9	33.3	38.9	0.0	0.0	16.7
施設系（通所型）	35.1	36.1	36.1	34.0	23.7	36.1	32.0	34.0	4.1	3.1	21.6
居住系	34.1	36.4	25.0	25.0	22.7	22.7	20.5	27.3	6.8	2.3	25.0
居宅介護支援	29.2	34.2	26.7	20.8	16.7	25.0	15.8	27.5	0.8	7.5	23.3
地域包括支援センター	73.9	69.6	47.8	43.5	26.1	47.8	39.1	60.9	0.0	0.0	13.0

問17 人材の確保や育成・定着に関し、課題となっているのはどのようなことですか。
(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「求人を出しても応募者が少ない」が73.8%で最も高く、次いで、「応募はあるが適当人材の採用につながらない」が43.6%、「人材紹介会社や人材派遣会社等の手数料が高額となっている」が40.0%となっている。



単位：％

	事業所数	求人を出しても応募者が少ない	応募はあるが適当人材の採用につながらない	有資格者が少なく、募集の対象となる人が少ない	長期間、安定的に働いてくれる人が少ない	同業他社との競争が厳しい	介護以外の業種との競争が厳しい	退職する人が多くて採用が追い付かない
全体	385	73.8	43.6	16.4	28.8	32.2	18.2	10.6
訪問系	83	78.3	42.2	10.8	27.7	37.3	14.5	9.6
施設系（入所型）	18	100.0	44.4	33.3	50.0	77.8	44.4	22.2
施設系（通所型）	97	70.1	49.5	20.6	35.1	28.9	27.8	11.3
居住系	44	79.5	56.8	13.6	43.2	50.0	18.2	9.1
居宅介護支援	120	65.0	30.0	10.8	15.8	19.2	7.5	7.5
地域包括支援センター	23	87.0	69.6	39.1	30.4	26.1	26.1	21.7

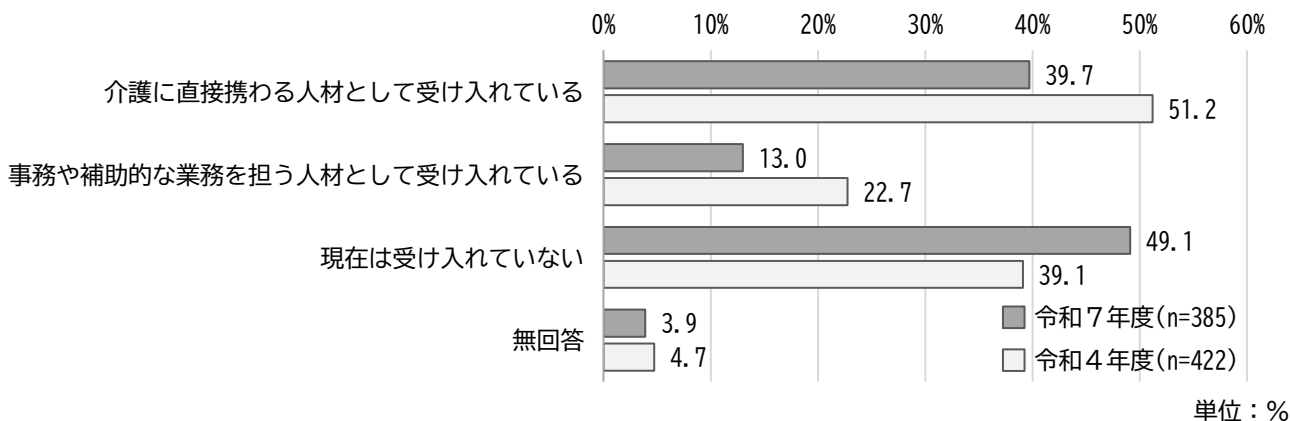
	人件費の問題から職員を増やすことができない	人材確保・育成の効果的なやり方がわからない	人材の確保・育成にかかる費用が捻出できない	人材の確保・育成に取り組む時間が捻出できない	人材紹介会社や人材派遣会社等の手数料が高額となっている	その他	特になし	無回答
全体	27.8	9.1	16.6	23.6	40.0	2.1	4.9	2.9
訪問系	16.9	7.2	15.7	21.7	41.0	2.4	2.4	4.8
施設系（入所型）	22.2	11.1	5.6	16.7	55.6	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	45.4	7.2	21.6	23.7	51.5	2.1	4.1	2.1
居住系	40.9	11.4	13.6	27.3	40.9	0.0	2.3	0.0
居宅介護支援	16.7	9.2	15.8	22.5	29.2	2.5	10.0	4.2
地域包括支援センター	30.4	17.4	17.4	34.8	30.4	4.3	0.0	0.0

問 18 貴事業所における、以下の人材の、(1) 令和7 (2025) 年 10 月 1 日現在の受入状況を教えてください。また (2) 今後の活用に関する考えを教えてください。

1. 高齢者 (65 歳以上)

(1) 現在の受入状況 (複数回答)

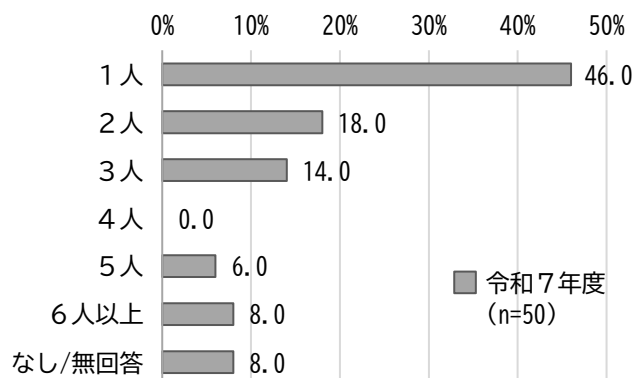
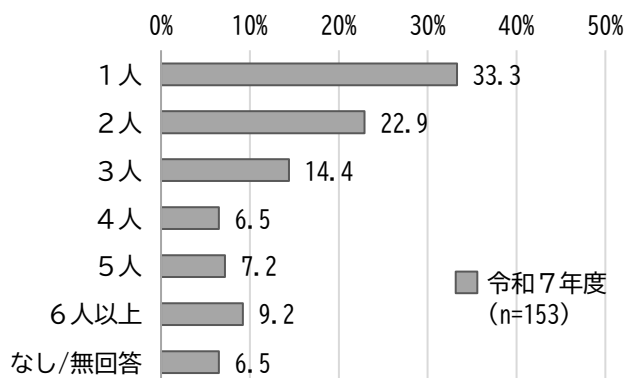
令和7年度(n=385)では、「現在は受け入れていない」が49.1%で最も高く、次いで、「介護に直接携わる人材として受け入れている」が39.7%、「事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている」が13.0%となっている。「介護に直接携わる人材として受け入れている」の割合は、令和4年度の51.2%から11.5ポイント低下している。



	事業所数	介護に直接携わる人材として受け入れている	事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている	現在は受け入れていない	無回答
全体	385	39.7	13.0	49.1	3.9
訪問系	83	38.6	2.4	54.2	6.0
施設系 (入所型)	18	61.1	61.1	11.1	0.0
施設系 (通所型)	97	50.5	22.7	30.9	3.1
居住系	44	56.8	15.9	34.1	0.0
居宅介護支援	120	26.7	6.7	65.0	5.8
地域包括支援センター	23	17.4	0.0	82.6	0.0

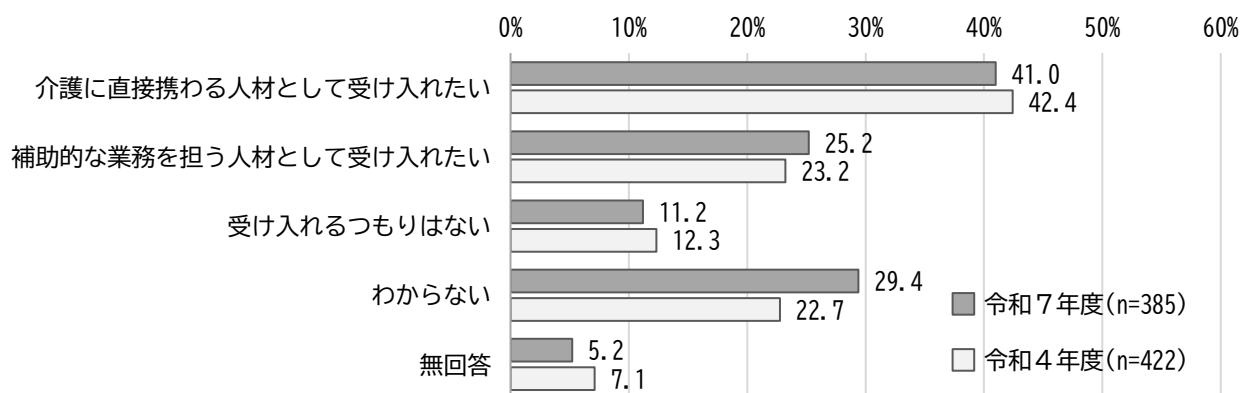
■受け入れている人数 (数値記入)

①介護に直接携わる人材	②事務や補助的な業務を担う人材
本設問(n=153)では、「1人」が33.3%で最も高く、次いで、「2人」が22.9%、「3人」が14.4%となっている。	本設問(n=50)では、「1人」が46.0%で最も高く、次いで、「2人」が18.0%、「3人」が14.0%となっている。



(2) 今後の活用に関する考え（複数回答）

令和7年度(n=385)では、「介護に直接携わる人材として受け入れたい」が41.0%で最も高く、次いで、「わからない」が29.4%、「補助的な業務を担う人材として受け入れたい」が25.2%となっている。



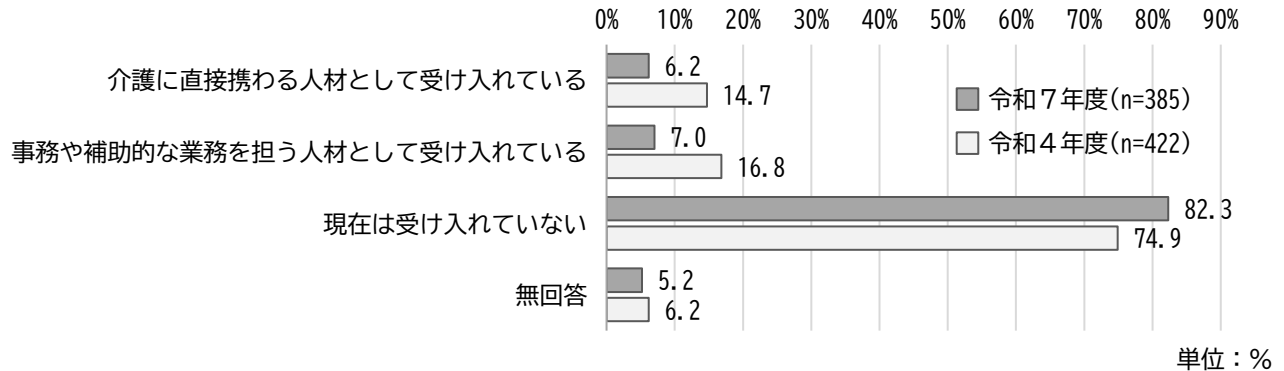
単位：%

	事業所数	介護に直接携わる人材として受け入れたい	補助的な業務を担う人材として受け入れたい	受け入れるつもりはない	わからない	無回答
全体	385	41.0	25.2	11.2	29.4	5.2
訪問系	83	43.4	12.0	15.7	31.3	6.0
施設系（入所型）	18	55.6	83.3	0.0	5.6	0.0
施設系（通所型）	97	48.5	41.2	4.1	14.4	8.2
居住系	44	50.0	38.6	2.3	25.0	0.0
居宅介護支援	120	33.3	10.8	17.5	40.0	5.0
地域包括支援センター	23	13.0	8.7	17.4	56.5	4.3

2. 障がい者

(1) 現在の受入状況（複数回答）

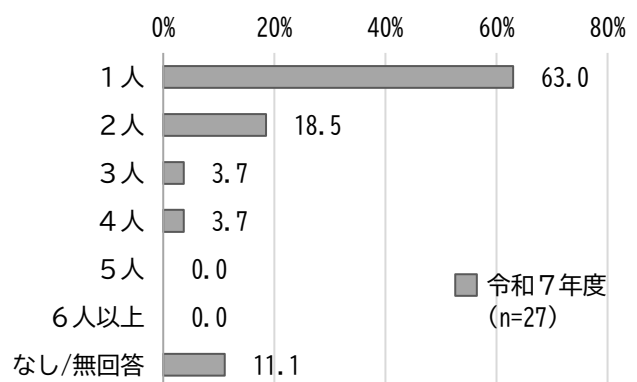
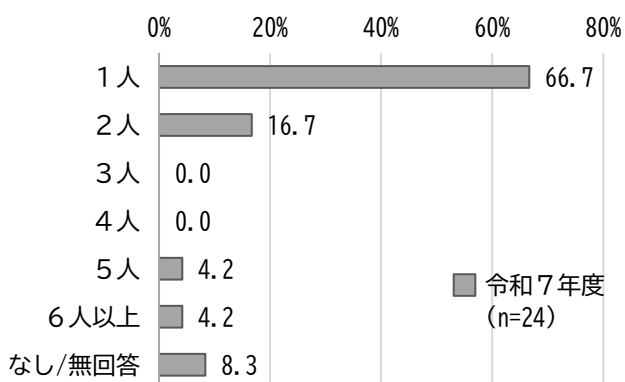
令和7年度(n=385)では、「現在は受け入れていない」が82.3%で最も高く、次いで、「事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている」が7.0%、「介護に直接携わる人材として受け入れている」が6.2%となっている。



	事業所数	介護に直接携わる人材として受け入れている	事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている	現在は受け入れていない	無回答
全体	385	6.2	7.0	82.3	5.2
訪問系	83	6.0	1.2	86.7	6.0
施設系（入所型）	18	27.8	55.6	33.3	0.0
施設系（通所型）	97	5.2	8.2	80.4	6.2
居住系	44	11.4	11.4	75.0	2.3
居宅介護支援	120	3.3	2.5	87.5	6.7
地域包括支援センター	23	0.0	0.0	100.0	0.0

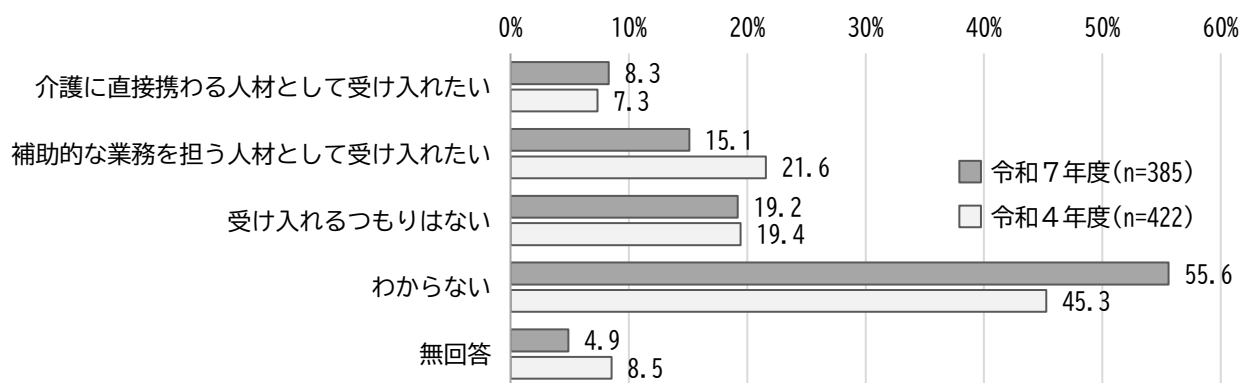
■受け入れている人数（数値記入）

①介護に直接携わる人材	②事務や補助的な業務を担う人材
本設問(n=24)では、「1人」が66.7%で最も高く、次いで、「2人」が16.7%、「5人」が4.2%、「6人以上」が4.2%となっている。	本設問(n=27)では、「1人」が63.0%で最も高く、次いで、「2人」が18.5%、「3人」が3.7%、「4人」が3.7%となっている。



(2) 今後の活用に関する考え（複数回答）

令和7年度(n=385)では、「わからない」が55.6%で最も高く、次いで、「受け入れるつもりはない」が19.2%、「補助的な業務を担う人材として受け入れたい」が15.1%となっている。「わからない」の割合は、令和4年度の45.3%から10.3ポイント上昇している。



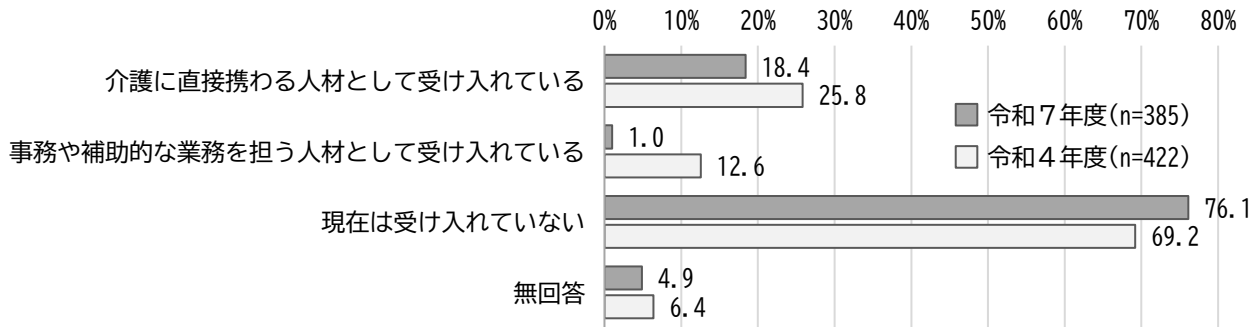
単位：%

	事業所数	介護に直接携わる人材として受け入れたい	補助的な業務を担う人材として受け入れたい	受け入れるつもりはない	わからない	無回答
全体	385	8.3	15.1	19.2	55.6	4.9
訪問系	83	7.2	4.8	19.3	61.4	8.4
施設系（入所型）	18	16.7	83.3	11.1	5.6	0.0
施設系（通所型）	97	9.3	14.4	16.5	56.7	5.2
居住系	44	18.2	27.3	6.8	54.5	0.0
居宅介護支援	120	5.0	9.2	26.7	55.8	5.8
地域包括支援センター	23	0.0	8.7	21.7	69.6	0.0

3. 外国人

(1) 現在の受入状況（複数回答）

令和7年度(n=385)では、「現在は受け入れていない」が76.1%で最も高く、次いで、「介護に直接携わる人材として受け入れている」が18.4%、「事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている」が1.0%となっている。「事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている」の割合は、令和4年度の12.6%から11.6ポイント低下している。

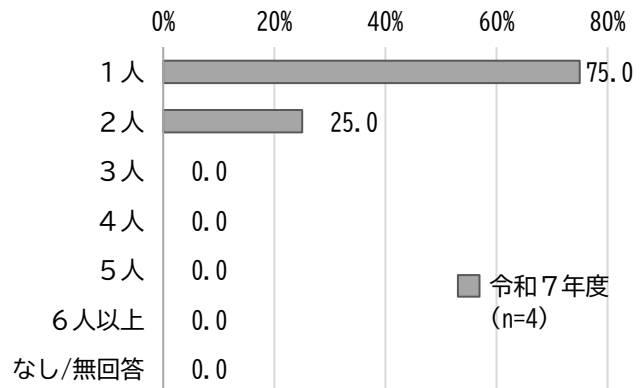
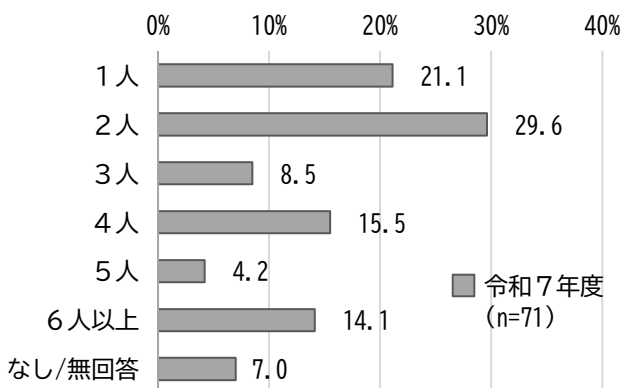


単位：%

	事業所数	介護に直接携わる人材として受け入れている	事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている	現在は受け入れていない	無回答
全体	385	18.4	1.0	76.1	4.9
訪問系	83	9.6	0.0	84.3	6.0
施設系（入所型）	18	66.7	22.2	16.7	5.6
施設系（通所型）	97	18.6	0.0	75.3	6.2
居住系	44	68.2	0.0	31.8	0.0
居宅介護支援	120	2.5	0.0	91.7	5.8
地域包括支援センター	23	0.0	0.0	100.0	0.0

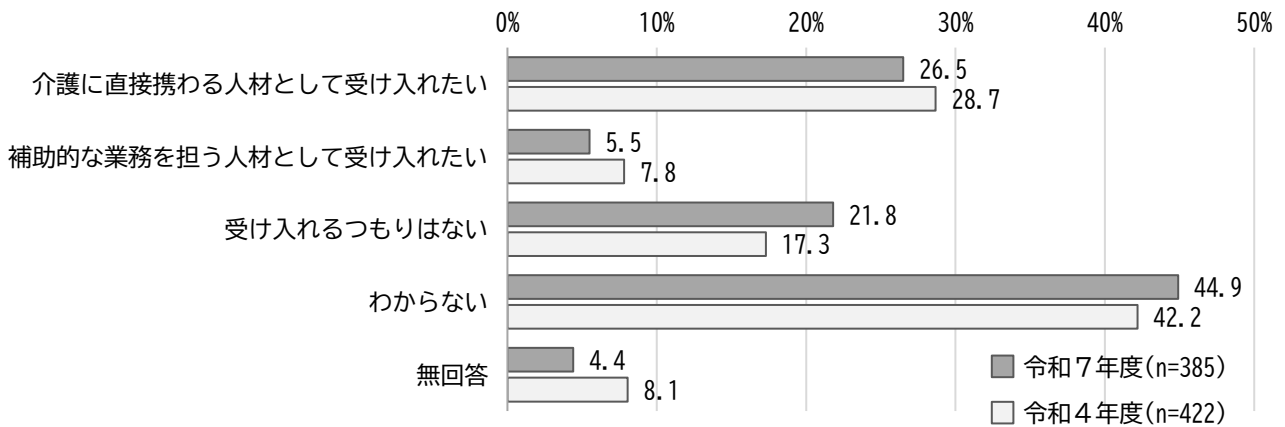
■受け入れている人数（数値記入）

①介護に直接携わる人材	②事務や補助的な業務を担う人材
本設問(n=71)では、「2人」が29.6%で最も高く、次いで、「1人」が21.1%、「4人」が15.5%となっている。	本設問(n=4)では、「1人」が75.0%、「2人」が25.0%であった。



(2) 今後の活用に関する考え（複数回答）

令和7年度(n=385)では、「わからない」が44.9%で最も高く、次いで、「介護に直接携わる人材として受け入れたい」が26.5%、「受け入れるつもりはない」が21.8%となっている。

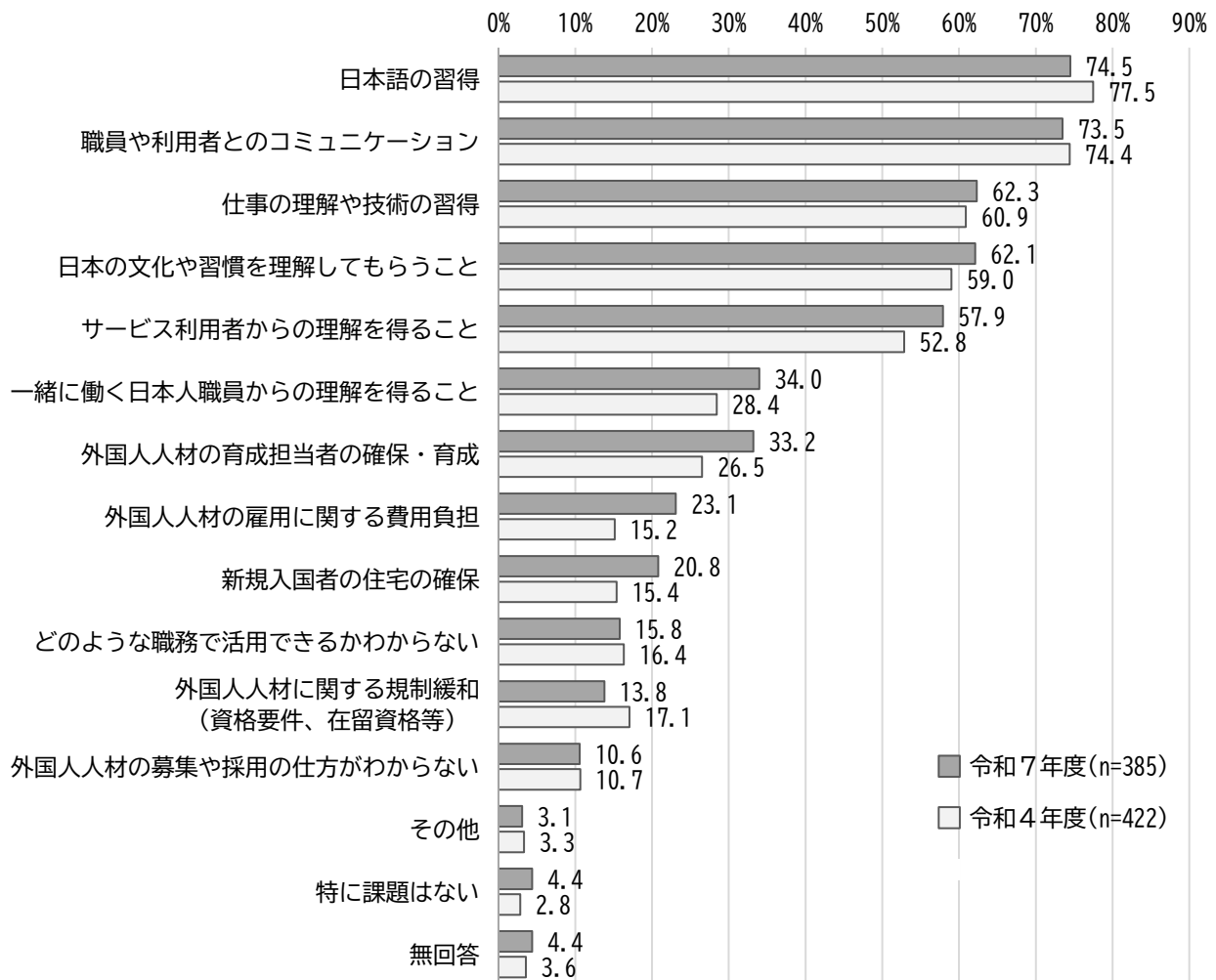


単位：%

	事業所数	介護に直接携わる人材として受け入れたい	補助的な業務を担う人材として受け入れたい	受け入れるつもりはない	わからない	無回答
全体	385	26.5	5.5	21.8	44.9	4.4
訪問系	83	19.3	2.4	25.3	47.0	7.2
施設系（入所型）	18	77.8	11.1	11.1	5.6	0.0
施設系（通所型）	97	34.0	6.2	18.6	42.3	5.2
居住系	44	72.7	6.8	2.3	22.7	0.0
居宅介護支援	120	5.0	5.8	30.8	55.0	5.0
地域包括支援センター	23	4.3	4.3	21.7	69.6	0.0

問 19 外国人人材の活用に関し、課題となるのはどのようなことですか。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「日本語の習得」が74.5%で最も高く、次いで、「職員や利用者とのコミュニケーション」が73.5%、「仕事の理解や技術の習得」が62.3%となっている。



単位：％

	事業所数	日本語の習得	職員や利用者とのコミュニケーション	仕事の理解や技術の習得	日本の文化や習慣を理解してもらうこと	サービス利用者からの理解を得ること	一緒に働く日本人職員からの理解を得ること	外国人人材の募集や採用の仕方がわからない
全体	385	74.5	73.5	62.3	62.1	57.9	34.0	10.6
訪問系	83	65.1	72.3	51.8	57.8	66.3	24.1	8.4
施設系（入所型）	18	88.9	66.7	77.8	77.8	38.9	50.0	16.7
施設系（通所型）	97	81.4	81.4	67.0	59.8	56.7	40.2	8.2
居住系	44	84.1	75.0	65.9	65.9	36.4	34.1	6.8
居宅介護支援	120	68.3	66.7	57.5	60.0	65.0	31.7	12.5
地域包括支援センター	23	82.6	82.6	87.0	78.3	52.2	43.5	21.7

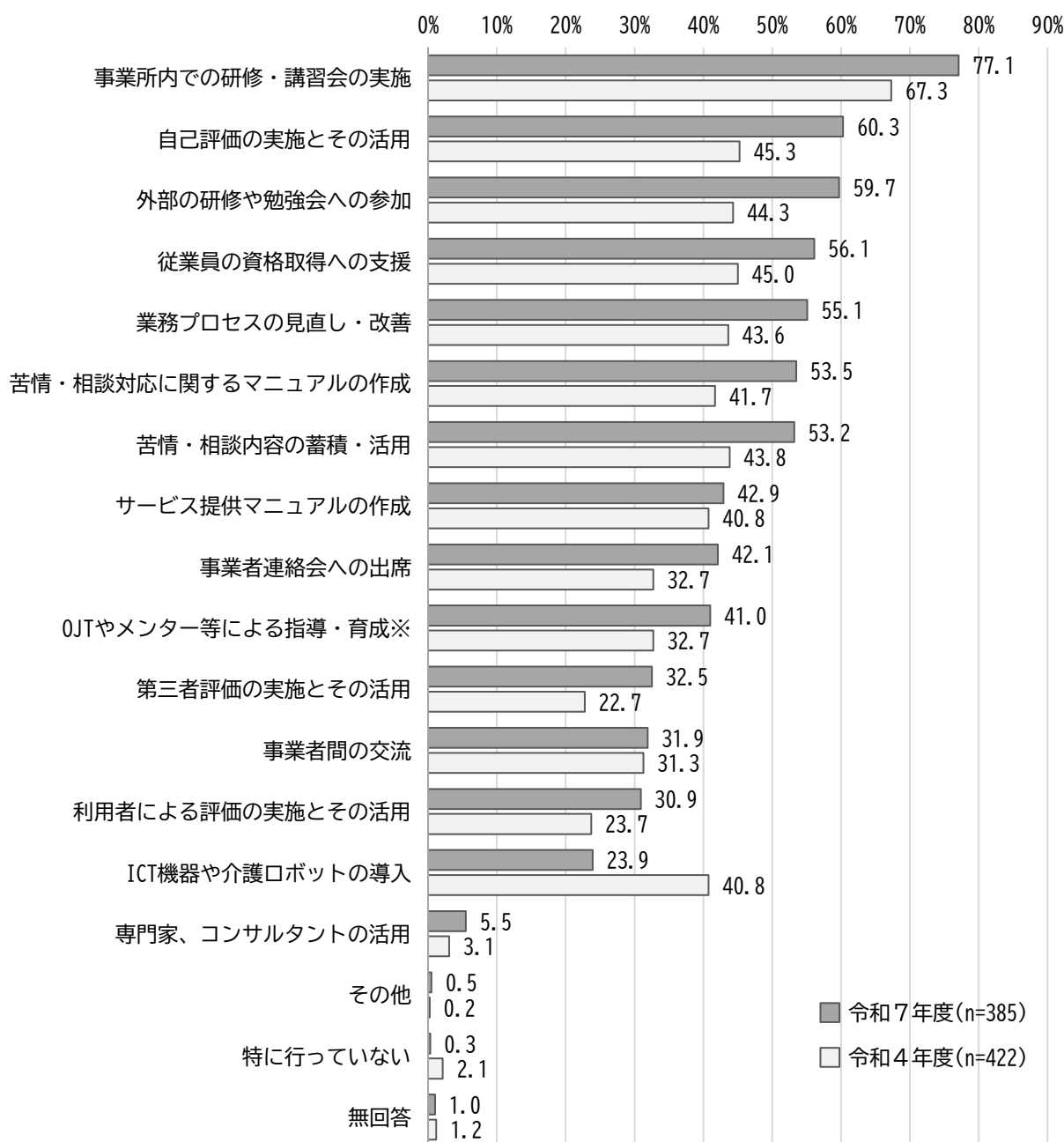
	どのような職務で活用できるかわからない	外国人人材の育成担当者の確保・育成	外国人人材の雇用に関する費用負担	新規入国者の住宅の確保	外国人人材に関する規制緩和（資格要件、在留資格等）	その他	特に課題はない	無回答
全体	15.8	33.2	23.1	20.8	13.8	3.1	4.4	4.4
訪問系	13.3	25.3	19.3	14.5	8.4	2.4	2.4	7.2
施設系（入所型）	0.0	44.4	55.6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	17.5	37.1	19.6	22.7	13.4	2.1	2.1	4.1
居住系	2.3	34.1	20.5	18.2	13.6	4.5	0.0	0.0
居宅介護支援	17.5	30.8	23.3	20.0	14.2	3.3	10.0	5.8
地域包括支援センター	47.8	47.8	30.4	34.8	30.4	8.7	4.3	0.0

(5) サービスの質の向上や業務効率化に関する取組について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 20 貴事業所では、サービスの質の向上や業務効率の改善に向けて、どのような取組を行っていますか。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「事業所内での研修・講習会の実施」が77.1%で最も高く、次いで「自己評価の実施とその活用」が60.3%、「外部の研修や勉強会への参加」が59.7%となっている。「ICT機器や介護ロボットの導入」(23.9%)の割合は、令和4年度の40.8%から16.9ポイント低下している。



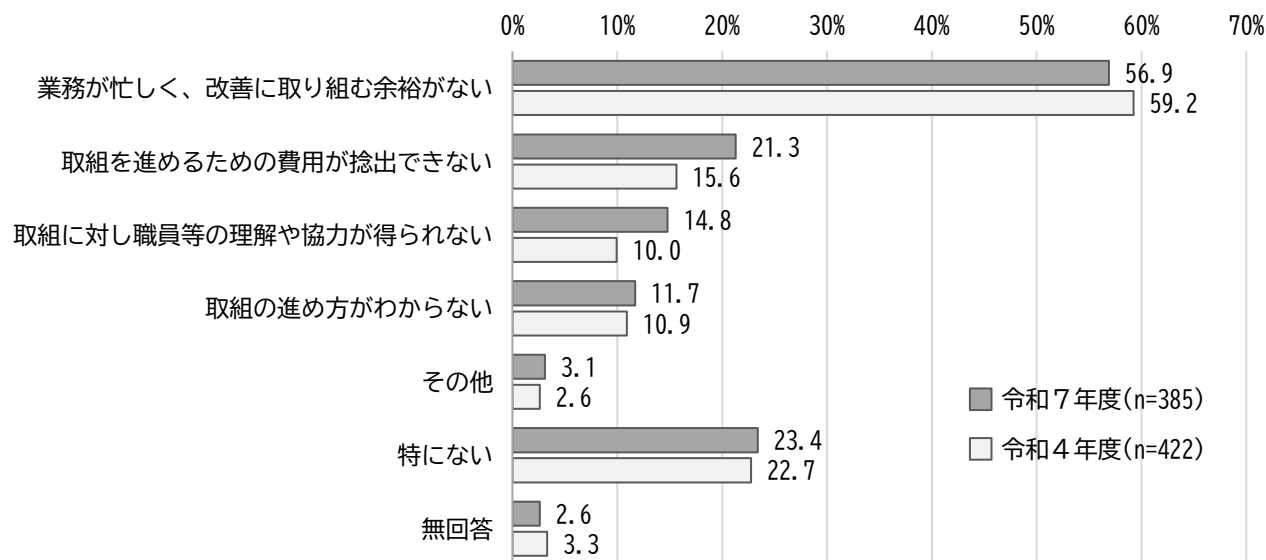
単位：％

	事業所数	自己評価の実施とその活用	利用者による評価の実施とその活用	第三者評価の実施とその活用	業務プロセスの見直し・改善	苦情・相談内容の蓄積・活用	苦情・相談対応に関するマニュアルの作成	事業所内での研修・講習会の実施	外部の研修や勉強会への参加	OJTやメンター等による指導・育成
全体	385	60.3	30.9	32.5	55.1	53.2	53.5	77.1	59.7	41.0
訪問系	83	49.4	30.1	16.9	50.6	56.6	56.6	80.7	50.6	45.8
施設系（入所型）	18	66.7	27.8	88.9	77.8	55.6	50.0	83.3	77.8	72.2
施設系（通所型）	97	58.8	35.1	29.9	56.7	57.7	62.9	72.2	37.1	39.2
居住系	44	81.8	36.4	79.5	77.3	59.1	47.7	84.1	52.3	59.1
居宅介護支援	120	55.0	20.8	18.3	41.7	44.2	50.0	73.3	76.7	22.5
地域包括支援センター	23	87.0	60.9	39.1	73.9	56.5	34.8	87.0	100.0	69.6

	サービス提供マニュアルの作成	従業員の資格取得への支援	事業者間の交流	ICT機器や介護ロボットの導入	事業者連絡会への出席	専門家、コンサルタントの活用	その他	特に行っていない	無回答
全体	42.9	56.1	31.9	23.9	42.1	5.5	0.5	0.3	1.0
訪問系	44.6	53.0	27.7	22.9	20.5	8.4	0.0	0.0	1.2
施設系（入所型）	50.0	72.2	27.8	72.2	50.0	5.6	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	52.6	62.9	22.7	20.6	24.7	4.1	2.1	0.0	2.1
居住系	50.0	59.1	31.8	20.5	36.4	4.5	0.0	0.0	0.0
居宅介護支援	30.0	47.5	38.3	24.2	64.2	3.3	0.0	0.8	0.8
地域包括支援センター	43.5	65.2	56.5	8.7	82.6	13.0	0.0	0.0	0.0

問 21 貴事業所において、働きやすい環境づくりを進める上での課題はどのようなことですか。
(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「業務が忙しく、改善に取り組む余裕がない」が56.9%で最も高く、次いで、「取組を進めるための費用が捻出できない」が21.3%、「取組に対し職員等の理解や協力が得られない」が14.8%となっている。



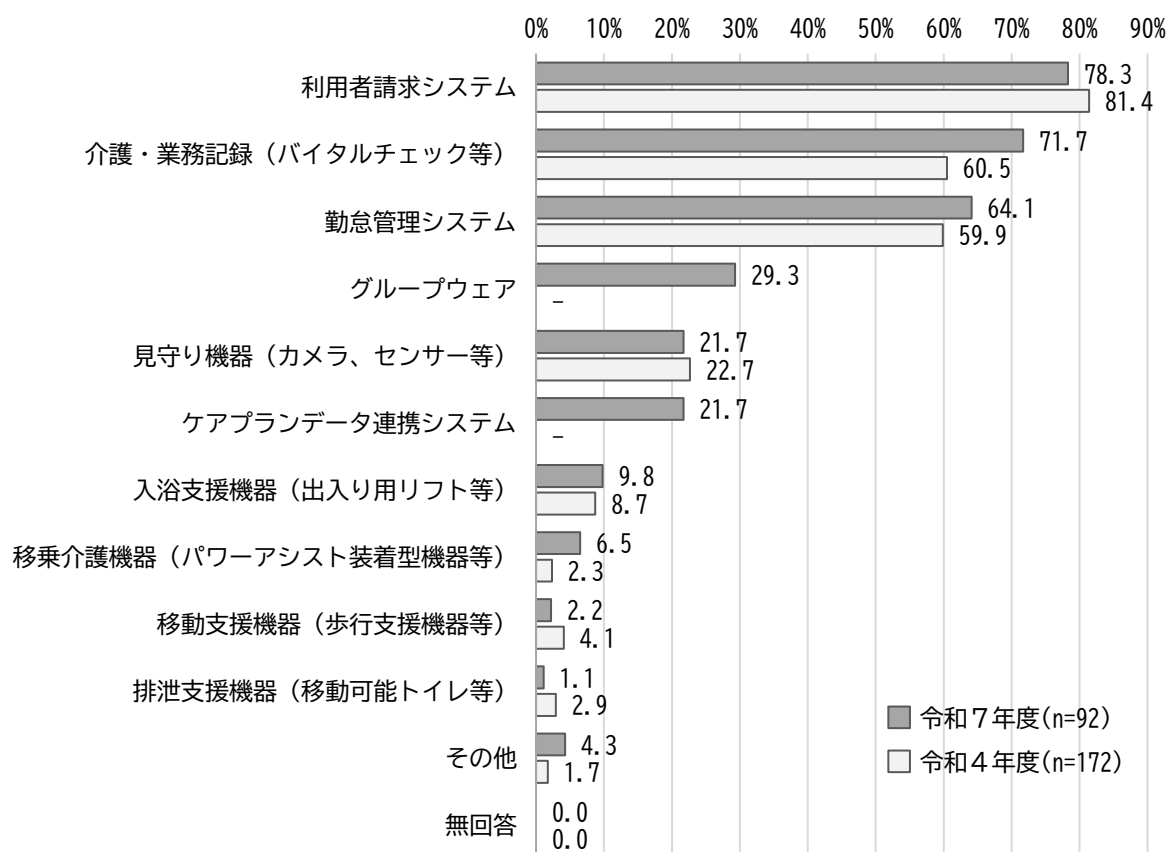
単位：%

	事業所数	取組の進め方がわからない	取組を進めるための費用が捻出できない	業務が忙しく、改善に取り組む余裕がない	取組に対し職員等の理解や協力が得られない	その他	特になし	無回答
全体	385	11.7	21.3	56.9	14.8	3.1	23.4	2.6
訪問系	83	8.4	27.7	53.0	15.7	2.4	22.9	1.2
施設系(入所型)	18	16.7	0.0	61.1	5.6	0.0	22.2	0.0
施設系(通所型)	97	11.3	22.7	55.7	16.5	4.1	22.7	2.1
居住系	44	9.1	15.9	61.4	29.5	4.5	13.6	4.5
居宅介護支援	120	12.5	22.5	55.8	6.7	0.8	29.2	4.2
地域包括支援センター	23	21.7	13.0	69.6	26.1	13.0	17.4	0.0

【問 20 で「13. ICT 機器や介護ロボットの導入」と回答した事業所にうかがいます。】

問 22 貴事業所で活用している、ICT 機器や介護ロボット等を教えてください。(複数回答)

令和7年度(n=92)では、「利用者請求システム」が78.3%で最も高く、次いで、「介護・業務記録(バイタルチェック等)」が71.7%、「勤怠管理システム」が64.1%となっている。「介護・業務記録(バイタルチェック等)」の割合は、令和4年度の60.5%から11.2ポイント上昇している。



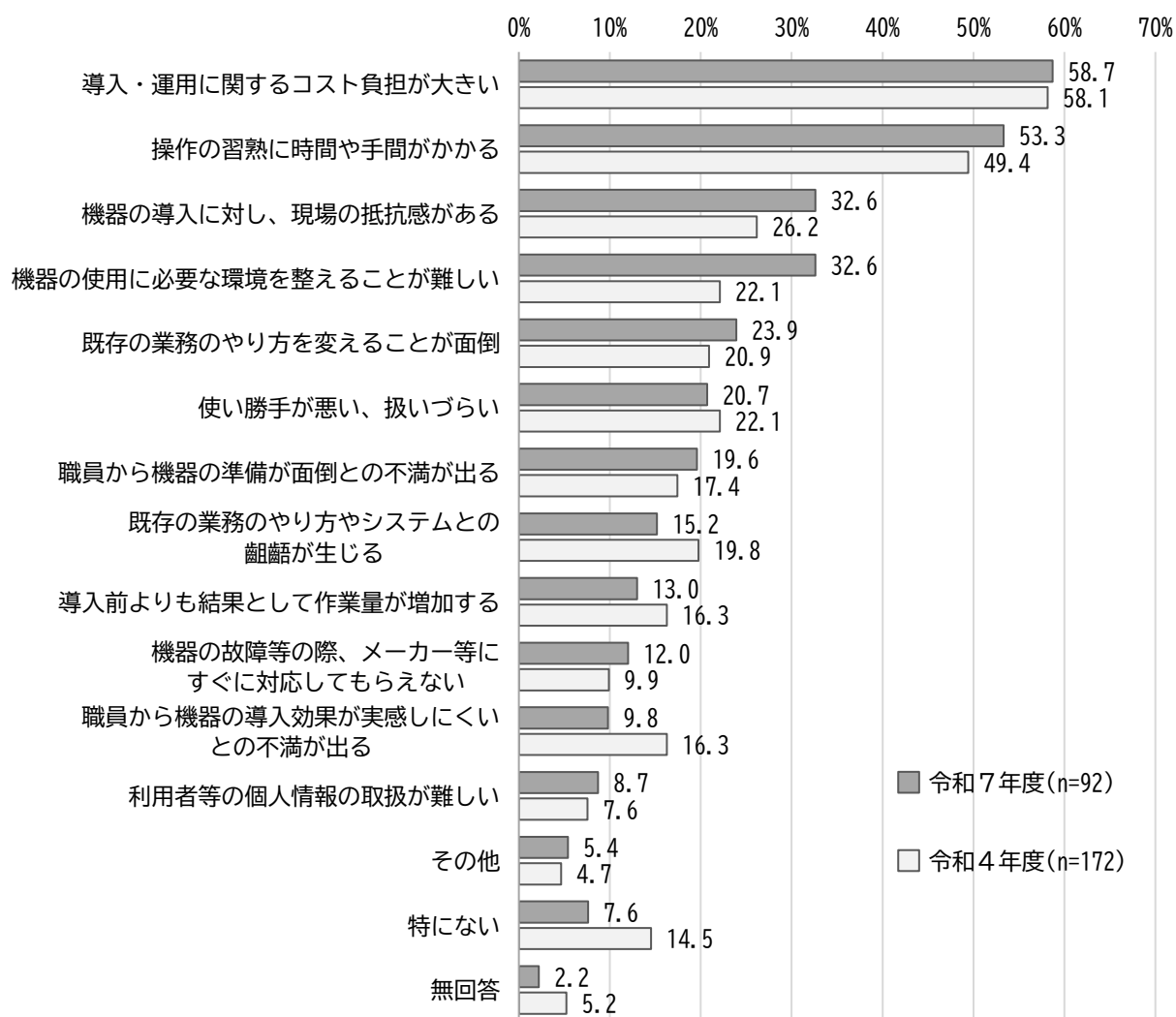
単位：%

	事業所数	利用者請求システム	介護・業務記録(バイタルチェック等)	勤怠管理システム	移乗介護機器(パワーアシスト装着型機器等)	移動支援機器(歩行支援機器等)	排泄支援機器(移動可能トイレ等)	見守り機器(カメラ、センサー等)	入浴支援機器(出入り用リフト等)	グループウェア	ケアプランデータ連携システム	その他	無回答
全体	92	78.3	71.7	64.1	6.5	2.2	1.1	21.7	9.8	29.3	21.7	4.3	0.0
訪問系	19	94.7	78.9	57.9	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	21.1	5.3	0.0
施設系(入所型)	13	92.3	84.6	92.3	23.1	7.7	7.7	76.9	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0
施設系(通所型)	20	70.0	90.0	65.0	10.0	5.0	0.0	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	0.0
居住系	9	66.7	100.0	88.9	0.0	0.0	0.0	66.7	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0
居宅介護支援	29	72.4	44.8	44.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.1	24.1	10.3	0.0
地域包括支援センター	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

【問 20 で「13. ICT 機器や介護ロボットの導入」と回答した事業所にうかがいます。】

問 23 ICT 機器や介護ロボット等の導入に関して課題となったこと、あるいは現在課題となっていることについて教えてください。(複数回答)

令和7年度(n=92)では、「導入・運用に関するコスト負担が大きい」が 58.7%で最も高く、次いで、「操作の習熟に時間や手間がかかる」が 53.3%、「機器の導入に対し、現場の抵抗感がある」「機器の使用に必要な環境を整えることが難しい」が 32.6%となっている。「機器の使用に必要な環境を整えることが難しい」の割合は、令和4年度の 22.1%から 10.5 ポイント上昇している。



単位：％

	事業所数	導入・運用に関するコスト負担が大きい	機器の使用に必要な環境を整えることが難しい	使い勝手が悪い、扱いづらい	操作の習熟に時間や手間がかかる	機器の導入に対し、現場の抵抗感がある	機器の故障等の際、メーカー等に対応してもらえない	職員から機器の準備が面倒との不満が出る
全体	92	58.7	32.6	20.7	53.3	32.6	12.0	19.6
訪問系	19	42.1	21.1	31.6	47.4	15.8	0.0	21.1
施設系（入所型）	13	92.3	46.2	15.4	61.5	46.2	15.4	15.4
施設系（通所型）	20	80.0	45.0	20.0	65.0	45.0	15.0	30.0
居住系	9	44.4	44.4	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1
居宅介護支援	29	41.4	20.7	20.7	55.2	31.0	13.8	17.2
地域包括支援センター	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

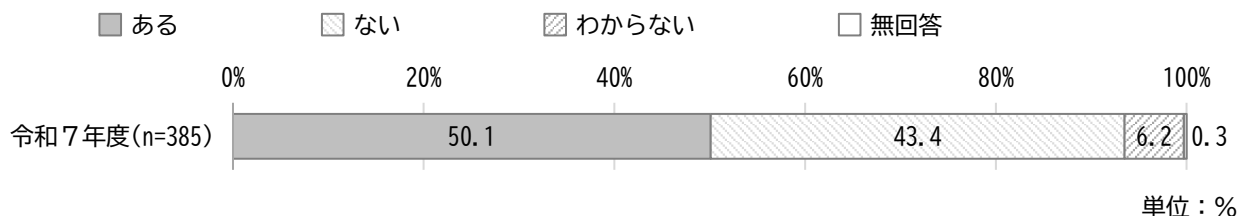
	職員から機器の導入効果が実感しにくいとの不満が出る	導入前よりも結果として作業量が増加する	既存の業務のやり方やシステムとの齟齬が生じる	既存の業務のやり方を変えることが面倒	利用者等の個人情報の取扱が難しい	その他	特になし	無回答
全体	9.8	13.0	15.2	23.9	8.7	5.4	7.6	2.2
訪問系	5.3	5.3	5.3	10.5	0.0	10.5	10.5	0.0
施設系（入所型）	23.1	15.4	23.1	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	20.0	20.0	20.0	25.0	15.0	5.0	5.0	0.0
居住系	0.0	11.1	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1
居宅介護支援	3.4	13.8	10.3	24.1	10.3	3.4	13.8	3.4
地域包括支援センター	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(6) ハラスメントに関する取組について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 24 利用者・家族等からのハラスメントの状況についてうかがいます。

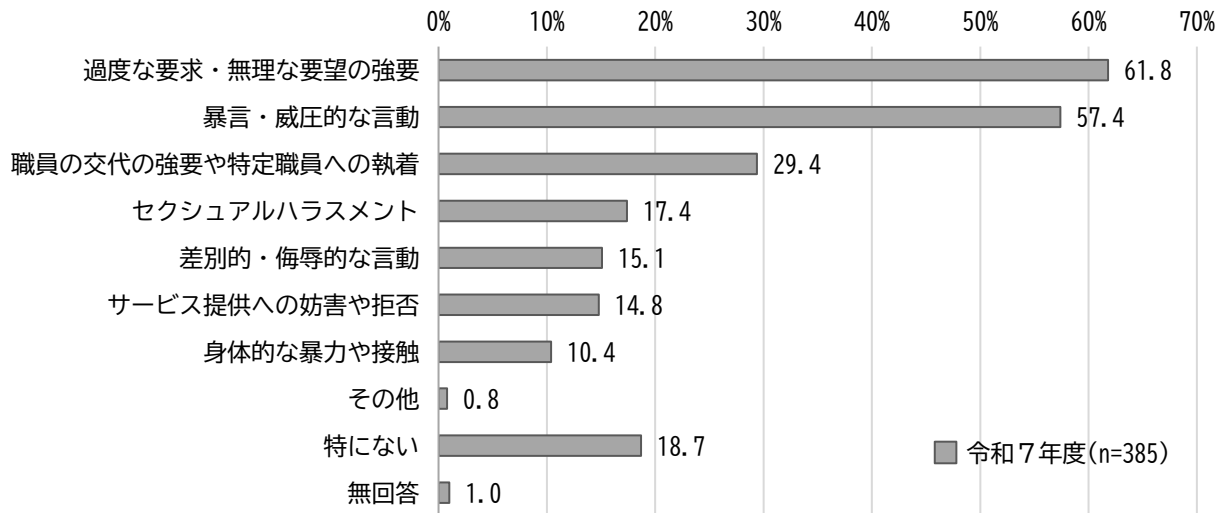
(1) 概ね1年以内に利用者・家族等からハラスメントと考えられる行為を受けたこと(単数回答)
本設問(n=385)では、「ある」が50.1%で最も高く、次いで、「ない」が43.4%、「わからない」が6.2%となっている。



	事業所数	ある	ない	わからない	無回答
全体	385	50.1	43.4	6.2	0.3
訪問系	83	45.8	49.4	4.8	0.0
施設系(入所型)	18	38.9	61.1	0.0	0.0
施設系(通所型)	97	37.1	54.6	8.2	0.0
居住系	44	45.5	45.5	9.1	0.0
居宅介護支援	120	60.8	32.5	5.8	0.8
地域包括支援センター	23	82.6	13.0	4.3	0.0

(2) 利用者・家族等からのハラスメントにおいて特に多いと感じるもの（複数回答）

本設問(n=385)では、「過度な要求・無理な要望の強要」が61.8%で最も高く、次いで、「暴言・威圧的な言動」が57.4%、「職員の交代の強要や特定職員への執着」が29.4%となっている。



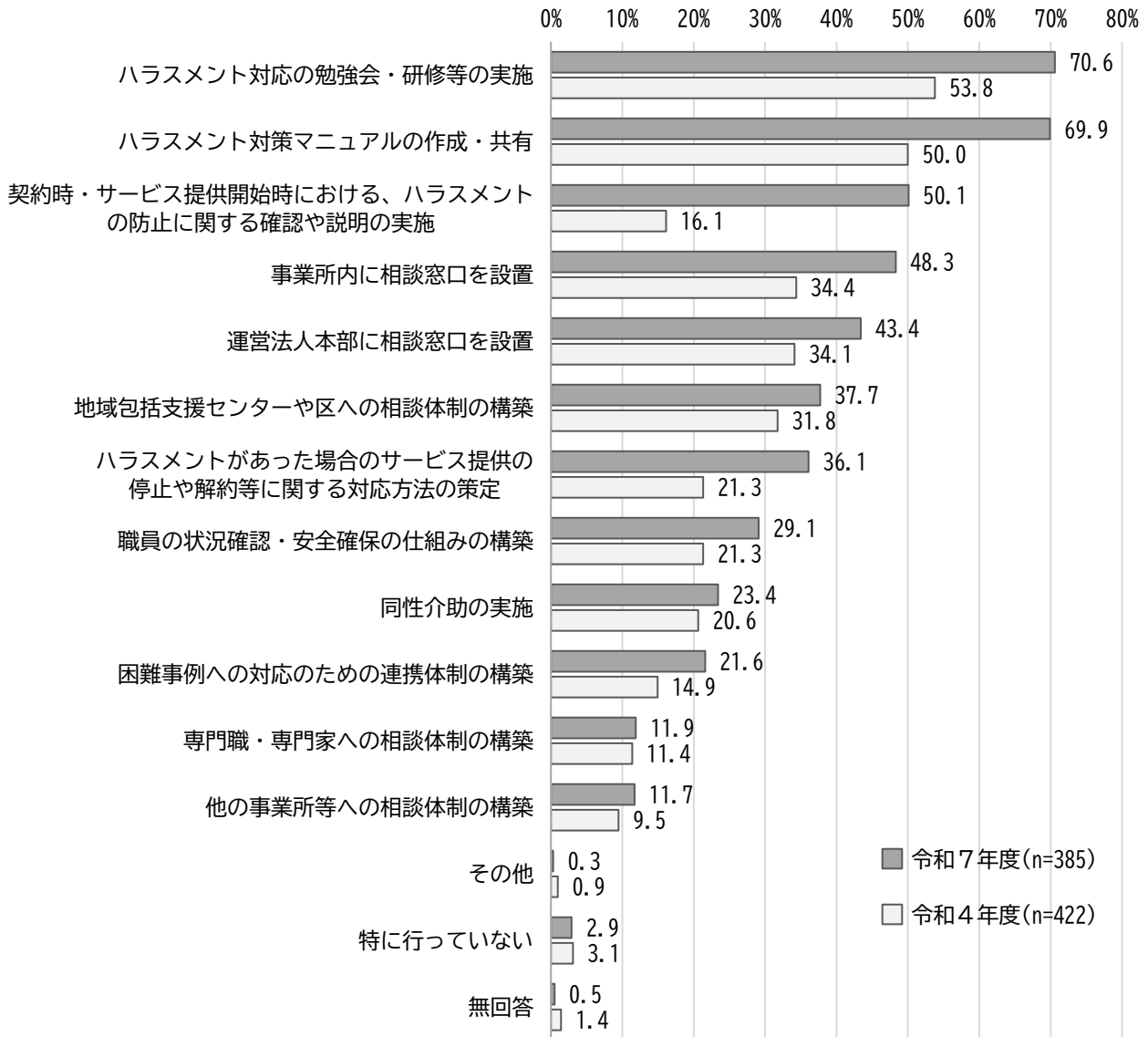
単位：%

	事業所数	暴言・威圧的な言動	過度な要求・無理な要望の強要	身体的な暴力や接触	セクシュアルハラスメント	差別的・侮辱的な言動	職員の交代の強要や特定職員への執着	サービス提供への妨害や拒否	その他	特にない	無回答
全体	385	57.4	61.8	10.4	17.4	15.1	29.4	14.8	0.8	18.7	1.0
訪問系	83	65.1	60.2	12.0	27.7	7.2	42.2	10.8	0.0	18.1	0.0
施設系（入所型）	18	61.1	66.7	27.8	33.3	16.7	38.9	0.0	0.0	11.1	0.0
施設系（通所型）	97	35.1	49.5	12.4	16.5	10.3	20.6	11.3	0.0	32.0	2.1
居住系	44	40.9	52.3	20.5	13.6	20.5	22.7	18.2	2.3	27.3	0.0
居宅介護支援	120	70.8	73.3	1.7	9.2	19.2	27.5	20.8	0.8	7.5	1.7
地域包括支援センター	23	82.6	73.9	8.7	21.7	30.4	34.8	17.4	4.3	13.0	0.0

問 25 利用者・家族等からのハラスメント対策についてうかがいます。(複数回答)

(1) 利用者・家族等からのハラスメントに対する防止対策の整備状況

令和7年度(n=385)では、「ハラスメント対応の勉強会・研修等の実施」が70.6%で最も高く、次いで、「ハラスメント対策マニュアルの作成・共有」が69.9%、「契約時・サービス提供開始時における、ハラスメントの防止に関する確認や説明の実施」が50.1%となっている。「契約時・サービス提供開始時における、ハラスメントの防止に関する確認や説明の実施」の割合は、令和4年度の16.1%から34.0ポイント上昇している。



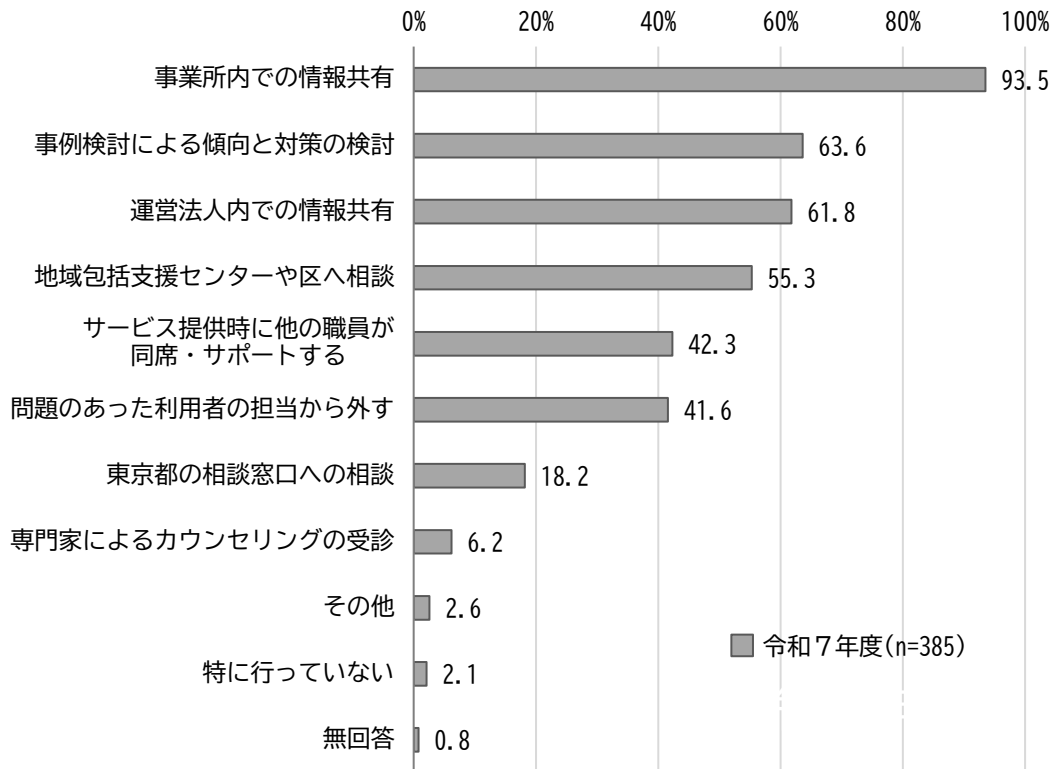
単位：％

	事業所数	ハラスメント対策マニュアルの作成・共有	ハラスメント対応の勉強会・研修等の実施	事業所内に相談窓口を設置	運営法人本部に相談窓口を設置	同性介助の実施	職員の状況確認・安全確保の仕組みの構築	契約時・サービス提供開始時における、ハラスメントの防止に関する確認や説明の実施
全体	385	69.9	70.6	48.3	43.4	23.4	29.1	50.1
訪問系	83	73.5	67.5	53.0	37.3	34.9	38.6	63.9
施設系（入所型）	18	83.3	61.1	55.6	61.1	11.1	22.2	55.6
施設系（通所型）	97	72.2	71.1	49.5	46.4	36.1	26.8	45.4
居住系	44	68.2	63.6	56.8	59.1	22.7	29.5	29.5
居宅介護支援	120	66.7	78.3	46.7	33.3	10.8	24.2	51.7
地域包括支援センター	23	56.5	60.9	13.0	60.9	4.3	34.8	47.8

	ハラスメントがあった場合のサービス提供の停止や解約等に関する対応方法の策定	専門職・専門家への相談体制の構築	地域包括支援センターや区への相談体制の構築	他の事業所等への相談体制の構築	困難事例への対応のための連携体制の構築	その他	特に行っていない	無回答
全体	36.1	11.9	37.7	11.7	21.6	0.3	2.9	0.5
訪問系	48.2	9.6	34.9	16.9	20.5	0.0	0.0	0.0
施設系（入所型）	22.2	27.8	27.8	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	30.9	5.2	20.6	7.2	10.3	1.0	2.1	1.0
居住系	29.5	15.9	25.0	13.6	13.6	0.0	9.1	0.0
居宅介護支援	37.5	11.7	56.7	11.7	26.7	0.0	3.3	0.8
地域包括支援センター	30.4	30.4	52.2	13.0	60.9	0.0	4.3	0.0

(2) 利用者・家族等からのハラスメントが発生した場合の対応

本設問(n=385)では、「事業所内での情報共有」が93.5%で最も高く、次いで、「事例検討による傾向と対策の検討」が63.6%、「運営法人内での情報共有」が61.8%となっている。



単位：%

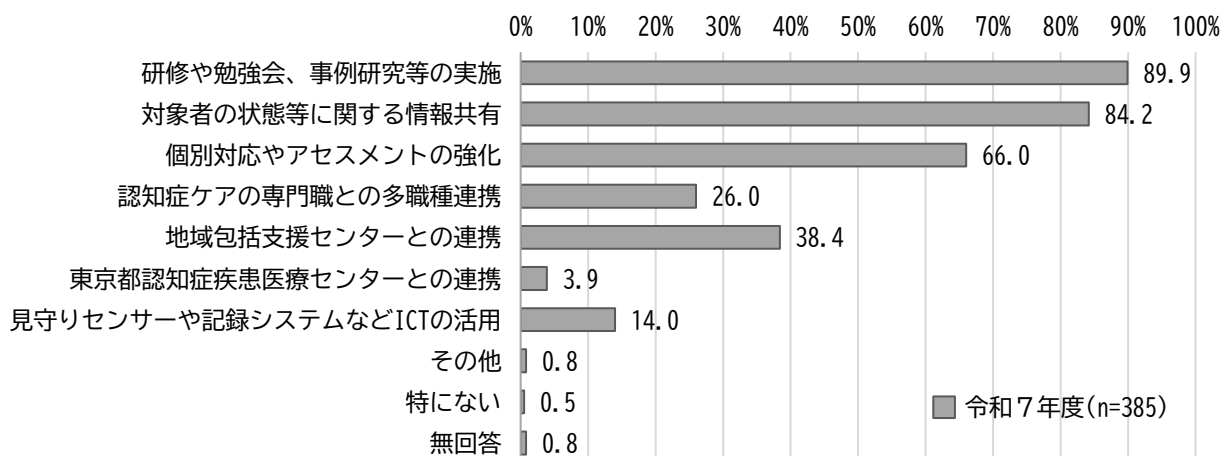
	事業所数	事業所内での情報共有	事例検討による傾向と対策の検討	運営法人内での情報共有	地域包括支援センターや区へ相談	東京都の相談窓口への相談	問題のあった利用者の担当から外す	サービス提供時に他の職員が同席・サポートする	専門家によるカウンセリングの受診	その他	特に行ってない	無回答
全体	385	93.5	63.6	61.8	55.3	18.2	41.6	42.3	6.2	2.6	2.1	0.8
訪問系	83	92.8	66.3	62.7	51.8	24.1	65.1	50.6	8.4	2.4	1.2	1.2
施設系（入所型）	18	100.0	55.6	66.7	38.9	33.3	22.2	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	96.9	66.0	61.9	39.2	16.5	28.9	44.3	4.1	5.2	0.0	1.0
居住系	44	93.2	65.9	79.5	38.6	15.9	27.3	29.5	11.4	4.5	6.8	0.0
居宅介護支援	120	89.2	60.0	50.8	76.7	12.5	40.8	37.5	4.2	0.0	3.3	0.8
地域包括支援センター	23	100.0	65.2	78.3	69.6	26.1	56.5	69.6	8.7	4.3	0.0	0.0

(7) 認知症に関する取組等について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 26 認知症の利用者への対応強化について、どのような取組を行っているか教えてください。
(複数回答)

本設問(n=385)では、「研修や勉強会、事例研究等の実施」が89.9%で最も高く、次いで、「対象者の状態等に関する情報共有」が84.2%、「個別対応やアセスメントの強化」が66.0%となっている。

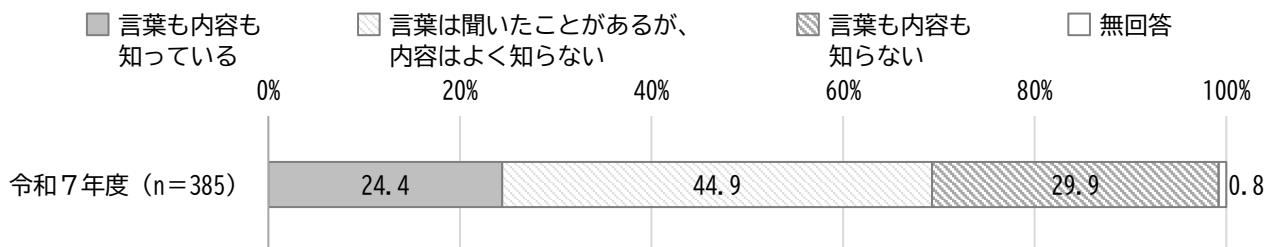


単位：%

	事業所数	研修や勉強会、事例研究等の実施	対象者の状態等に関する情報共有	個別対応やアセスメントの強化	認知症ケアの専門職との多職種連携	地域包括支援センターとの連携	東京都認知症疾患医療センターとの連携	見守りセンサーや記録システムなどICTの活用	その他	特にない	無回答
全体	385	89.9	84.2	66.0	26.0	38.4	3.9	14.0	0.8	0.5	0.8
訪問系	83	86.7	79.5	65.1	16.9	25.3	0.0	7.2	0.0	1.2	0.0
施設系（入所型）	18	100.0	77.8	88.9	22.2	5.6	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	89.7	87.6	66.0	15.5	25.8	2.1	6.2	0.0	0.0	1.0
居住系	44	90.9	88.6	81.8	43.2	22.7	0.0	27.3	0.0	0.0	2.3
居宅介護支援	120	91.7	82.5	54.2	25.8	69.2	4.2	15.0	0.0	0.8	0.8
地域包括支援センター	23	82.6	91.3	82.6	73.9	34.8	34.8	17.4	13.0	0.0	0.0

問 27 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(単数回答)

本設問(n=385)では、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が44.9%で最も高く、次いで、「言葉も内容も知らない」が29.9%、「言葉も内容も知っている」が24.4%となっている。

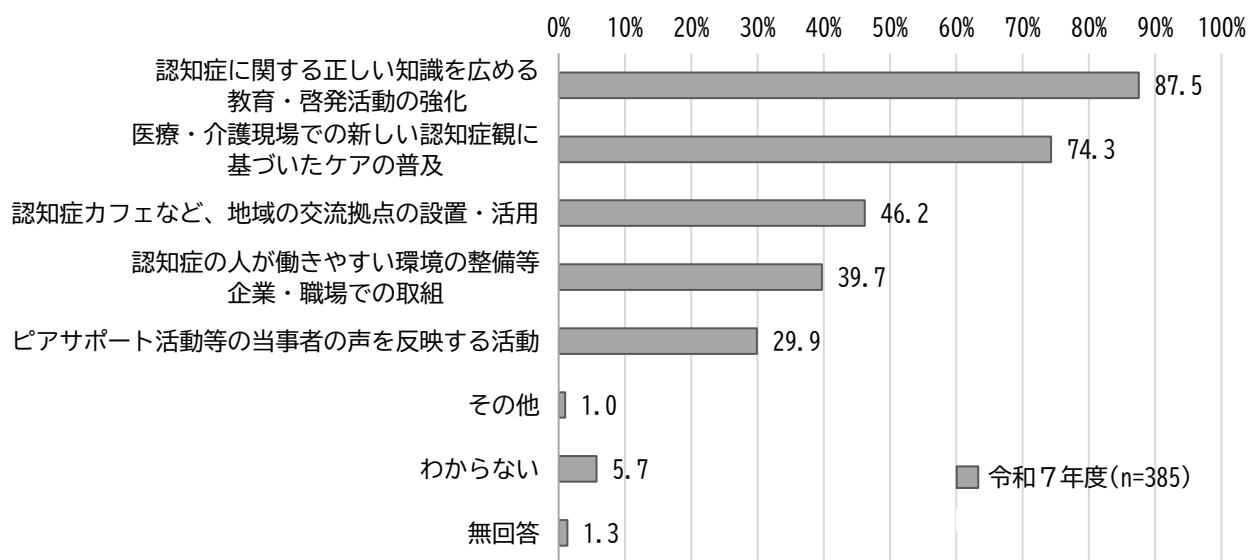


単位：%

	事業所数	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	言葉も内容も知らない	無回答
全体	385	24.4	44.9	29.9	0.8
訪問系	83	9.6	54.2	36.1	0.0
施設系（入所型）	18	5.6	50.0	44.4	0.0
施設系（通所型）	97	21.6	41.2	36.1	1.0
居住系	44	27.3	47.7	22.7	2.3
居宅介護支援	120	25.8	46.7	26.7	0.8
地域包括支援センター	23	91.3	8.7	0.0	0.0

問 28 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)

本設問(n=385)では、「認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化」が87.5%で最も高く、次いで、「医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及」が74.3%、「認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用」が46.2%となっている。



単位：%

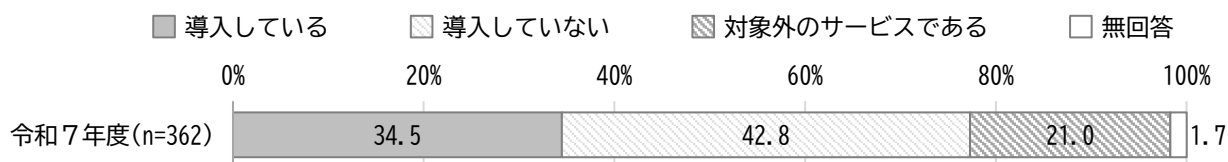
	事業所数	認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化	医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及	認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用	認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組	ピアサポート活動等の当事者の声を反映する活動	その他	わからない	無回答
全体	385	87.5	74.3	46.2	39.7	29.9	1.0	5.7	1.3
訪問系	83	89.2	72.3	31.3	30.1	20.5	0.0	3.6	0.0
施設系（入所型）	18	83.3	83.3	33.3	38.9	22.2	0.0	11.1	0.0
施設系（通所型）	97	89.7	73.2	35.1	37.1	26.8	3.1	7.2	1.0
居住系	44	84.1	68.2	50.0	40.9	22.7	0.0	6.8	4.5
居宅介護支援	120	84.2	73.3	56.7	41.7	33.3	0.0	5.8	1.7
地域包括支援センター	23	100.0	95.7	95.7	73.9	78.3	4.3	0.0	0.0

(8) 科学的介護や看取り等に関する取組について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所

問 29 国では、科学的介護のための情報システムである「LIFE」の普及や活用の促進を図っていますが、貴事業所の取組において、「LIFE」を導入していますか。(単数回答)

本設問(n=362)では、「導入していない」が42.8%で最も高く、次いで、「導入している」が34.5%、「対象外のサービスである」が21.0%となっている。

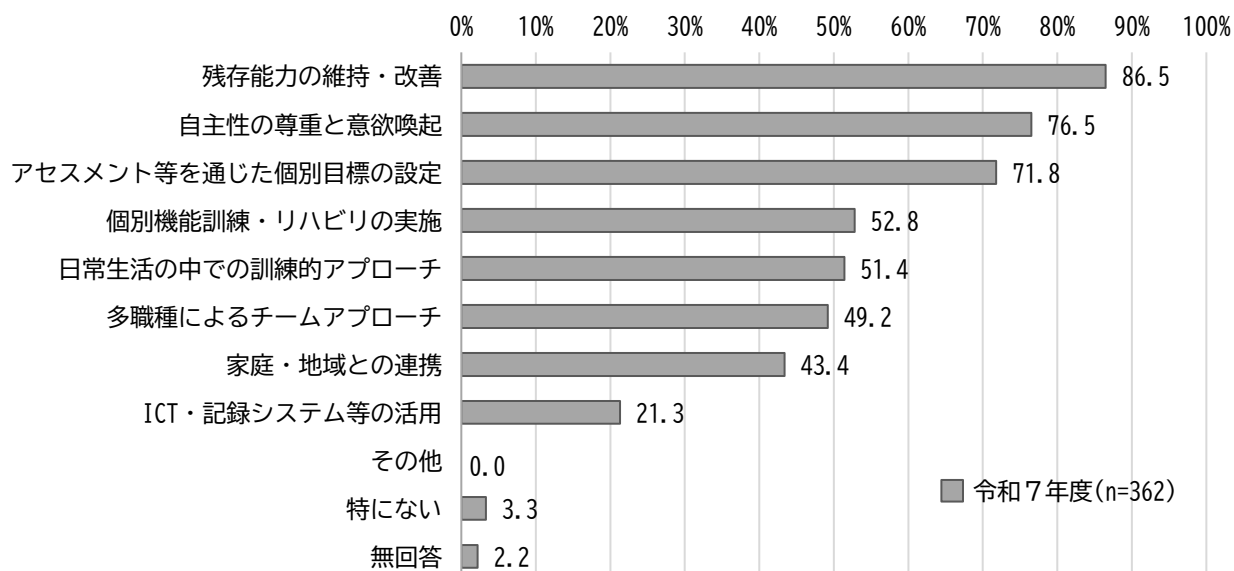


単位：%

	事業所数	導入している	導入していない	対象外のサービスである	無回答
全体	362	34.5	42.8	21.0	1.7
訪問系	83	10.8	60.2	28.9	0.0
施設系（入所型）	18	88.9	11.1	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	56.7	38.1	2.1	3.1
居住系	44	77.3	22.7	0.0	0.0
居宅介護支援	120	9.2	46.7	41.7	2.5

問 30 利用者の要介護度や ADL の改善のために、どのような取組を行っているか教えてください。(複数回答)

本設問(n=362)では、「残存能力の維持・改善」が 86.5%で最も高く、次いで、「自主性の尊重と意欲喚起」が 76.5%、「アセスメント等を通じた個別目標の設定」が 71.8%となっている。

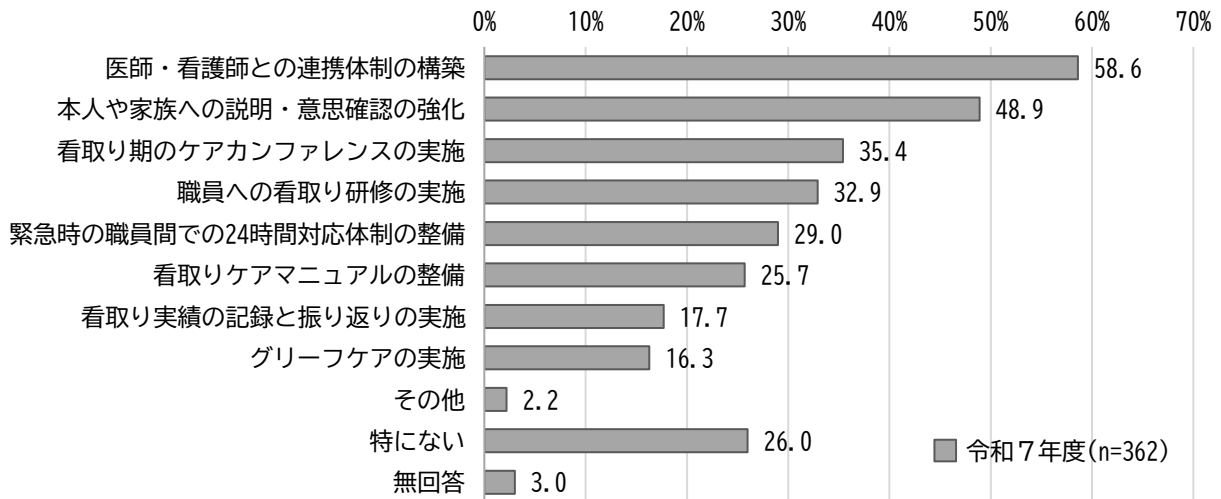


単位：%

	事業所数	残存能力の維持・改善	自主性の尊重と意欲喚起	アセスメント等を通じた個別目標の設定	個別機能訓練・リハビリの実施	日常生活の中での訓練的アプローチ	多職種によるチームアプローチ	家庭・地域との連携	ICT・記録システム等の活用	その他	特になし	無回答
全体	362	86.5	76.5	71.8	52.8	51.4	49.2	43.4	21.3	0.0	3.3	2.2
訪問系	83	90.4	83.1	75.9	37.3	44.6	44.6	48.2	27.7	0.0	2.4	0.0
施設系（入所型）	18	94.4	72.2	77.8	77.8	66.7	72.2	38.9	66.7	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	97	90.7	78.4	75.3	64.9	59.8	35.1	42.3	17.5	0.0	0.0	3.1
居住系	44	95.5	81.8	79.5	52.3	68.2	45.5	40.9	29.5	0.0	0.0	2.3
居宅介護支援	120	75.8	69.2	62.5	50.0	40.8	61.7	42.5	10.0	0.0	8.3	3.3

問 31 利用者の看取りへの対応強化について、どのような取組を行っているか教えてください。
(複数回答)

本設問(n=362)では、「医師・看護師との連携体制の構築」が58.6%で最も高く、次いで、「本人や家族への説明・意思確認の強化」が48.9%、「看取り期のケアカンファレンスの実施」が35.4%となっている。



単位：%

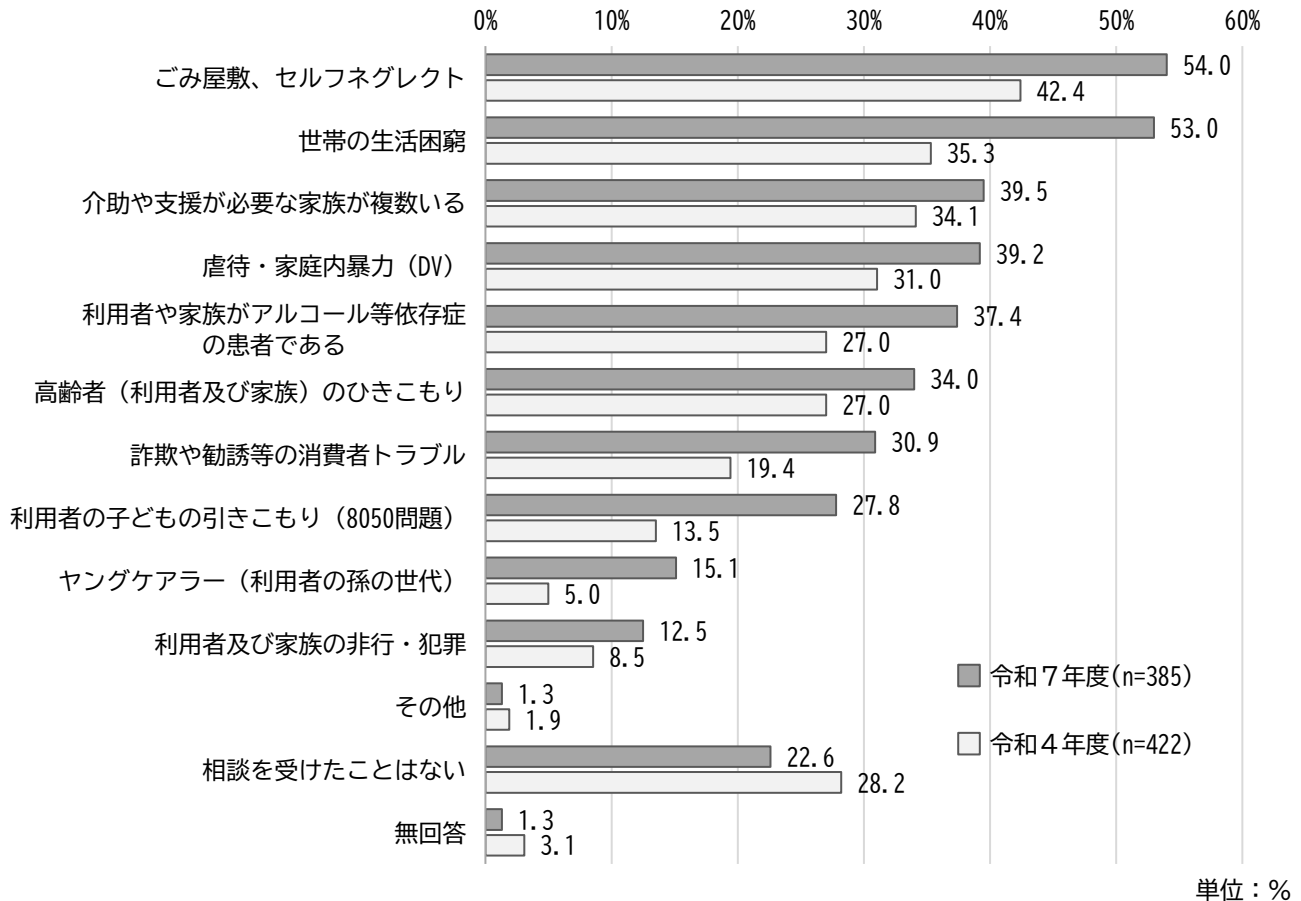
	事業所数	看取りケアマニュアルの整備	職員への看取り研修の実施	医師・看護師との連携体制の構築	看取り期のケアカンファレンスの実施	本人や家族への説明・意思確認の強化	グリーンケアの実施	看取り実績の記録と振り返りの実施	緊急時の職員間での24時間対応体制の整備	その他	特になし	無回答
全体	362	25.7	32.9	58.6	35.4	48.9	16.3	17.7	29.0	2.2	26.0	3.0
訪問系	83	37.3	47.0	68.7	38.6	51.8	20.5	24.1	36.1	0.0	14.5	0.0
施設系（入所型）	18	77.8	77.8	61.1	77.8	61.1	38.9	61.1	61.1	5.6	11.1	0.0
施設系（通所型）	97	2.1	4.1	15.5	4.1	12.4	2.1	4.1	4.1	5.2	67.0	6.2
居住系	44	70.5	75.0	81.8	63.6	84.1	29.5	34.1	54.5	2.3	2.3	2.3
居宅介護支援	120	12.5	24.2	77.5	41.7	61.7	16.7	11.7	30.0	0.8	11.7	3.3

(9) 困難事例等について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 32 貴事業所では、次に挙げるような複合的な課題を抱えた困難事例等について、利用者やその家族から相談を受けたことはありますか。相談を受けたことのある事例を教えてください。(複数回答)

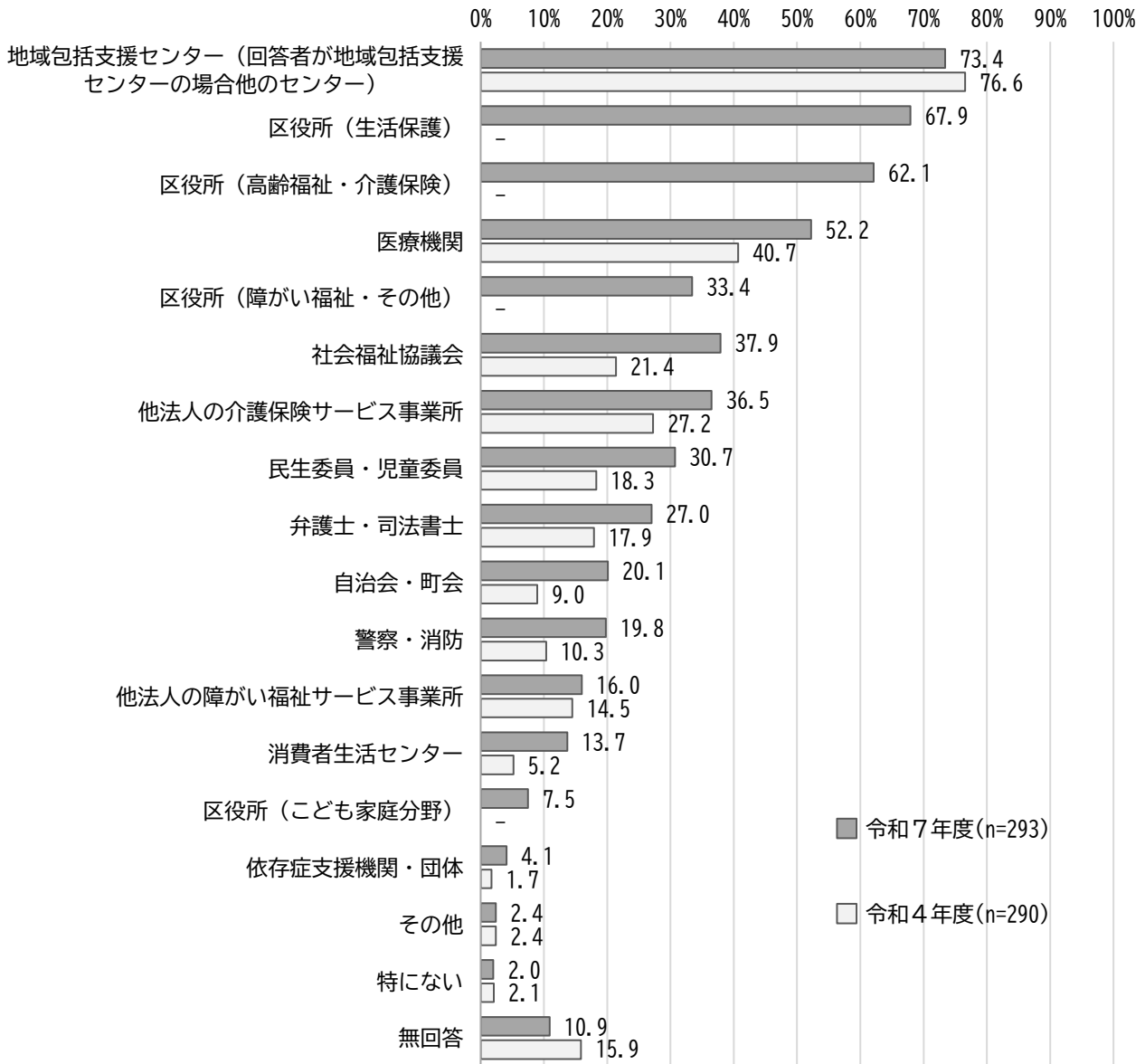
令和7年度(n=385)では、「ごみ屋敷、セルフネグレクト」が54.0%で最も高く、次いで、「世帯の生活困窮」が53.0%、「介助や支援が必要な家族が複数いる」が39.5%となっている。「世帯の生活困窮」の割合は、令和4年度の35.3%から17.7ポイント上昇している。



事業所数	高齢者(利用者及び家族)のひきこもり	利用者の子どもの引きこもり(8050問題)	世帯の生活困窮	介助や支援が必要な家族が複数いる	ヤングケアラー(利用者の孫の世代)	利用者や家族がアルコール等依存症の患者である	利用者及び家族の非行・犯罪	虐待・家庭内暴力(DV)	セルフレグレクト、ごみ屋敷	詐欺や勧誘等の消費者トラブル	その他	相談を受けたことはない	無回答
全体	34.0	27.8	53.0	39.5	15.1	37.4	12.5	39.2	54.0	30.9	1.3	22.6	1.3
訪問系	22.9	16.9	53.0	38.6	13.3	34.9	8.4	27.7	63.9	30.1	0.0	22.9	1.2
施設系(入所型)	0.0	5.6	50.0	16.7	0.0	22.2	0.0	55.6	50.0	0.0	0.0	11.1	0.0
施設系(通所型)	27.8	14.4	34.0	19.6	8.2	21.6	3.1	25.8	28.9	17.5	1.0	33.0	1.0
居住系	11.4	0.0	18.2	13.6	4.5	6.8	0.0	20.5	20.5	6.8	0.0	56.8	4.5
居宅介護支援	48.3	46.7	72.5	57.5	19.2	53.3	18.3	50.8	72.5	45.0	0.8	7.5	0.8
地域包括支援センター	95.7	95.7	100.0	100.0	60.9	100.0	69.6	100.0	95.7	87.0	13.0	0.0	0.0

(1)現在、連携している機関や団体

令和7年度(n=293)では、「地域包括支援センター（回答者が地域包括支援センターの場合他のセンター）」が73.4%で最も高く、次いで、「区役所（生活保護）」が67.9%、「区役所（高齢福祉・介護保険）」が62.1%となっている。「社会福祉協議会」（37.9%）の割合は、令和4年度の21.4%から16.5ポイント上昇している。



単位：％

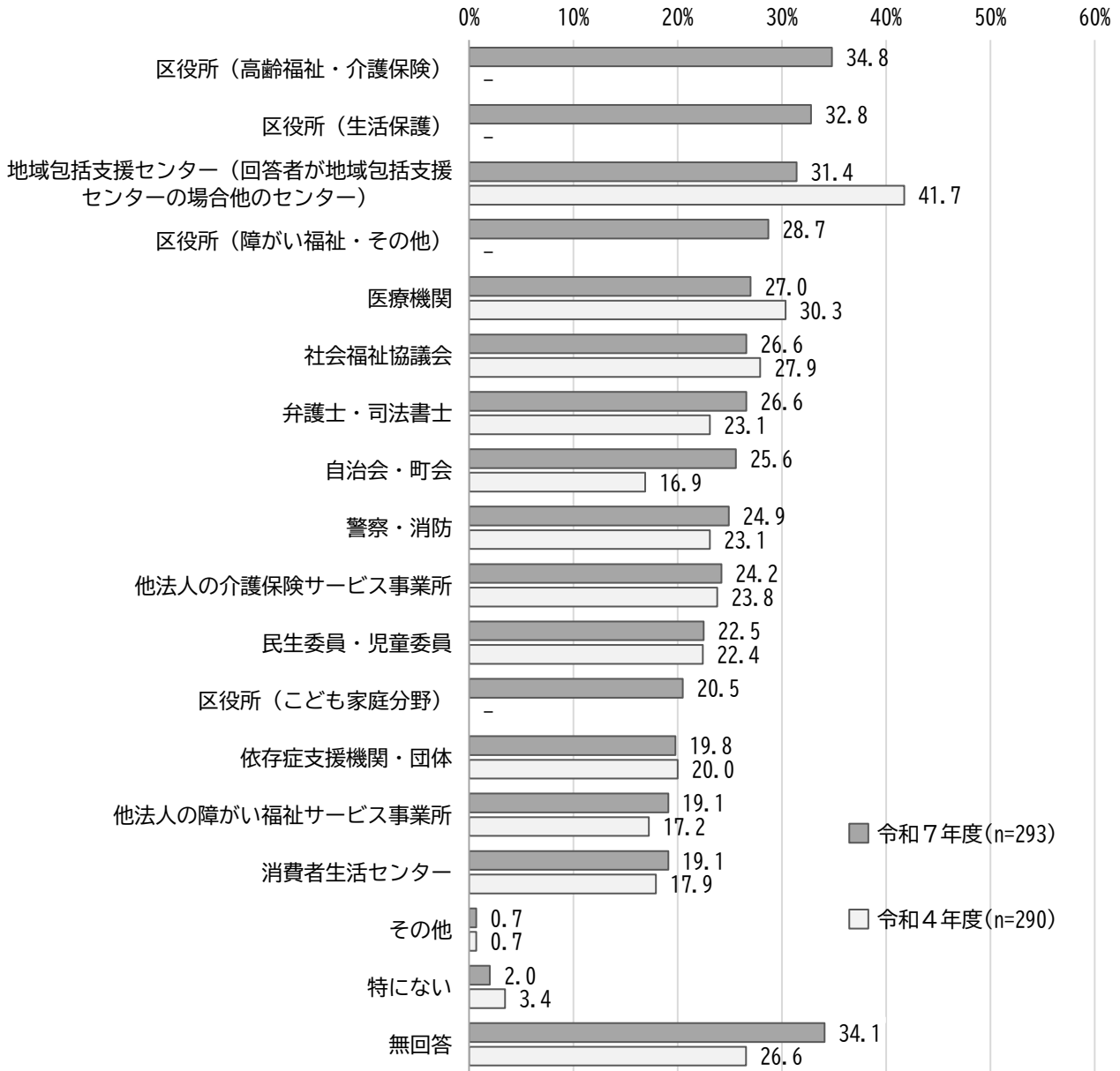
	事業所数	区役所 (生活保護)	区役所 (高齢福祉・介護保険)	区役所 (こども家庭分野)	区役所 (障がい福祉・その他)	地域包括支援センター*	社会福祉協議会	他法人の介護保険サービス事業所	他法人の障がい福祉サービス事業所	依存症支援機関・団体
全体	293	67.9	62.1	7.5	33.4	73.4	37.9	36.5	16.0	4.1
訪問系	63	68.3	58.7	7.9	34.9	69.8	15.9	34.9	17.5	1.6
施設系(入所型)	16	56.3	93.8	6.3	18.8	68.8	50.0	6.3	0.0	0.0
施設系(通所型)	64	45.3	50.0	0.0	0.0	60.9	15.6	25.0	1.6	0.0
居住系	17	47.1	41.2	0.0	5.9	58.8	47.1	11.8	0.0	0.0
居宅介護支援	110	80.9	63.6	5.5	48.2	90.0	50.0	42.7	17.3	4.5
地域包括支援センター	23	91.3	91.3	43.5	82.6	52.2	87.0	82.6	69.6	26.1

	消費者生活センター	医療機関	民生委員・児童委員	自治会・町会	警察・消防	弁護士・司法書士	その他	特にない	無回答
全体	13.7	52.2	30.7	20.1	19.8	27.0	2.4	2.0	10.9
訪問系	4.8	50.8	12.7	6.3	9.5	19.0	1.6	1.6	12.7
施設系(入所型)	0.0	37.5	6.3	31.3	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0
施設系(通所型)	0.0	26.6	21.9	15.6	7.8	9.4	4.7	6.3	15.6
居住系	17.6	35.3	41.2	35.3	17.6	29.4	0.0	5.9	23.5
居宅介護支援	14.5	64.5	35.5	15.5	20.0	32.7	1.8	0.0	7.3
地域包括支援センター	78.3	91.3	91.3	73.9	87.0	73.9	4.3	0.0	8.7

*の選択肢は一部省略があることを示している。

(2) 今後、連携したい機関や団体

令和7年度(n=293)では、「区役所（高齢福祉・介護保険）」が34.8%で最も高く、次いで、「区役所（生活保護）」が32.8%、「地域包括支援センター（回答者が地域包括支援センターの場合他のセンター）」が31.4%となっている。「地域包括支援センター（回答者が地域包括支援センターの場合他のセンター）」の割合は、令和4年度の41.7%から10.3ポイント低下している。



単位：％

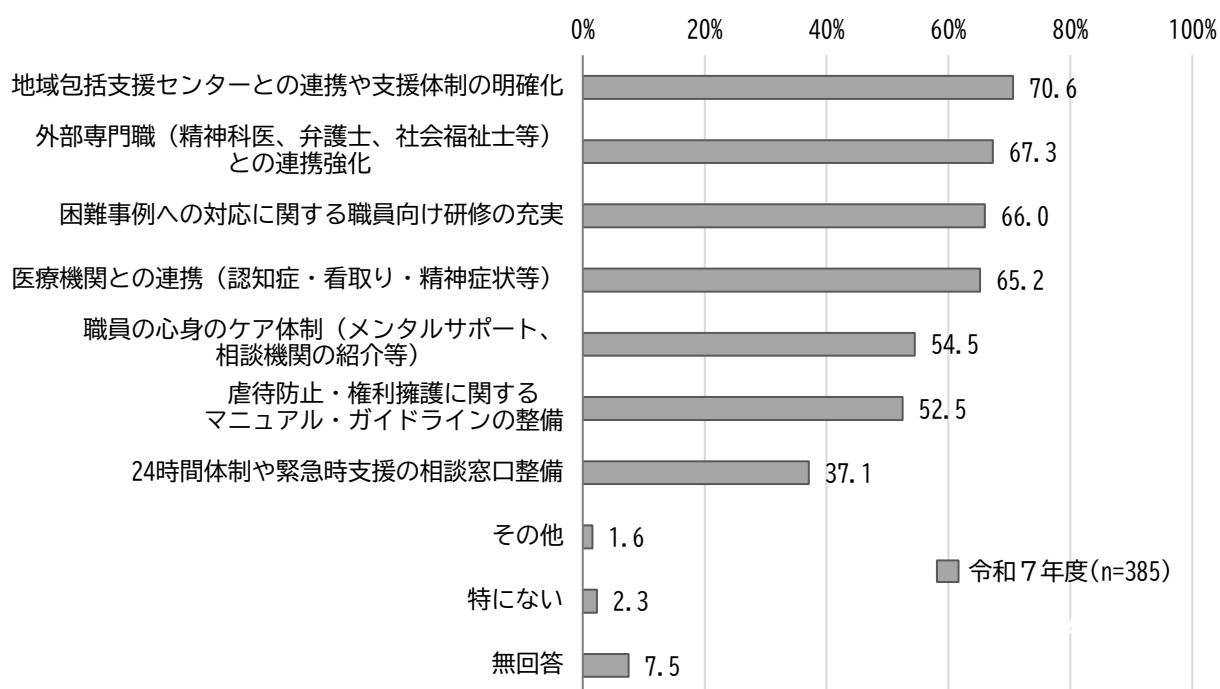
	事業所数	区役所 (生活保護)	区役所 (高齢福祉・介護保険)	区役所 (こども家庭分野)	区役所 (障がい福祉・その他)	地域包括支援センター*	社会福祉協議会	他法人の介護保険サービス事業所	他法人の障がい福祉サービス事業所	依存症支援機関・団体
全体	293	32.8	34.8	20.5	28.7	31.4	26.6	24.2	19.1	19.8
訪問系	63	30.2	27.0	14.3	22.2	27.0	23.8	15.9	12.7	14.3
施設系(入所型)	16	18.8	31.3	0.0	18.8	18.8	25.0	12.5	6.3	6.3
施設系(通所型)	64	28.1	34.4	17.2	18.8	25.0	18.8	25.0	15.6	10.9
居住系	17	17.6	35.3	5.9	11.8	29.4	23.5	17.6	11.8	5.9
居宅介護支援	110	39.1	38.2	22.7	37.3	40.9	30.9	26.4	20.9	27.3
地域包括支援センター	23	43.5	43.5	60.9	52.2	26.1	39.1	47.8	52.2	43.5

	消費者生活センター	医療機関	民生委員・児童委員	自治会・町会	警察・消防	弁護士・司法書士	その他	特にない	無回答
全体	19.1	27.0	22.5	25.6	24.9	26.6	0.7	2.0	34.1
訪問系	11.1	19.0	14.3	17.5	17.5	20.6	0.0	0.0	39.7
施設系(入所型)	0.0	25.0	12.5	25.0	12.5	18.8	0.0	0.0	43.8
施設系(通所型)	15.6	21.9	17.2	21.9	23.4	17.2	1.6	6.3	37.5
居住系	23.5	17.6	17.6	17.6	23.5	23.5	0.0	5.9	41.2
居宅介護支援	22.7	32.7	28.2	30.9	29.1	32.7	0.9	0.9	27.3
地域包括支援センター	43.5	43.5	43.5	39.1	39.1	47.8	0.0	0.0	30.4

*の選択肢は一部省略があることを示している。

問 34 困難事例等に対応していくために、必要だと考える支援を教えてください。(複数回答)

本設問(n=385)では、「地域包括支援センターとの連携や支援体制の明確化」が70.6%で最も高く、次いで、「外部専門職(精神科医、弁護士、社会福祉士等)との連携強化」が67.3%、「困難事例への対応に関する職員向け研修の充実」が66.0%となっている。



単位：%

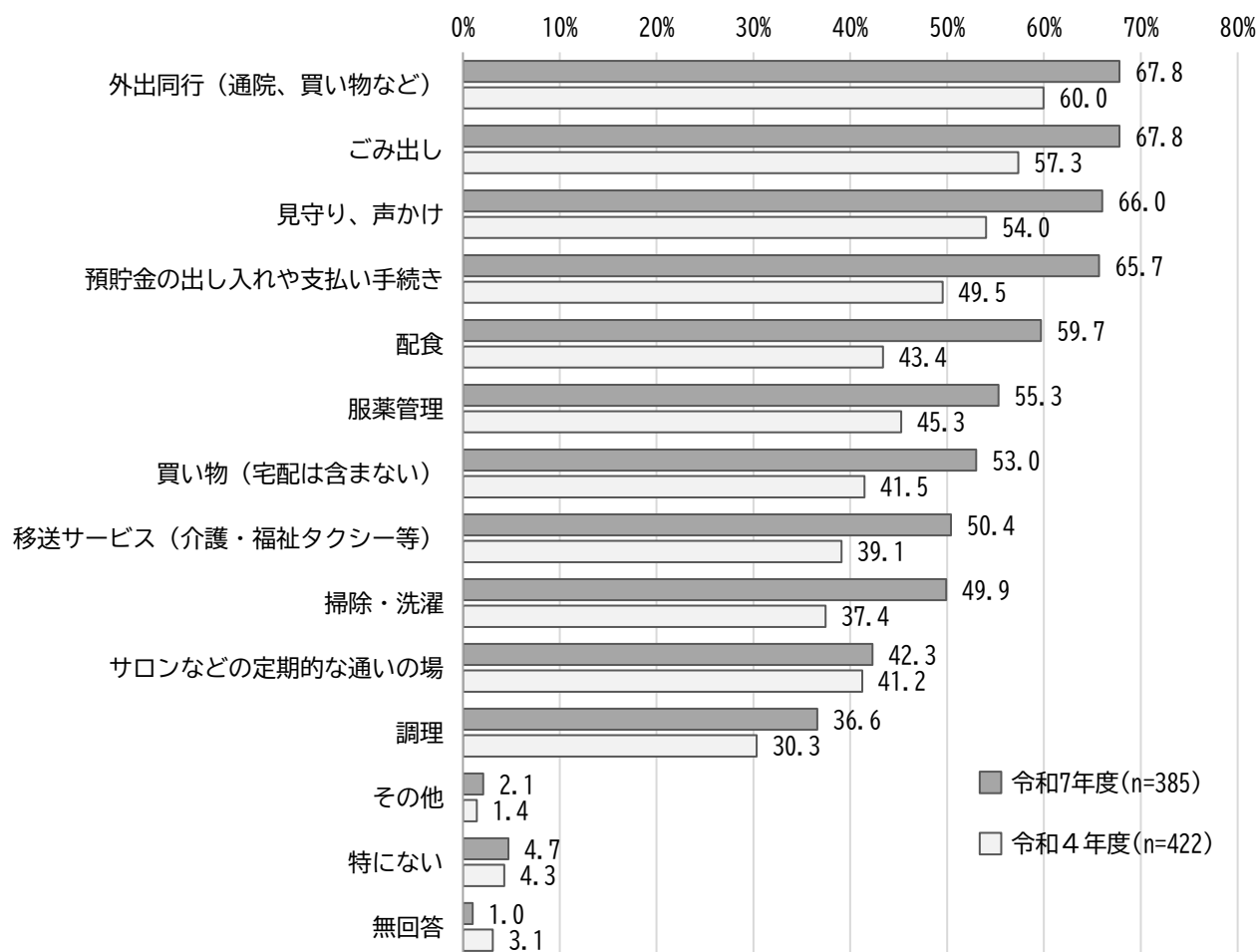
	事業所数	外部専門職(精神科医、弁護士、社会福祉士等)との連携強化	困難事例への対応に関する職員向け研修の充実	虐待防止・権利擁護に関するマニュアル・ガイドラインの整備	地域包括支援センターとの連携や支援体制の明確化	医療機関との連携(認知症・看取り・精神症状等)	24時間体制や緊急時支援の相談窓口整備	職員の心身のケア体制(メンタルサポート、相談機関の紹介等)	その他	特にない	無回答
全体	385	67.3	66.0	52.5	70.6	65.2	37.1	54.5	1.6	2.3	7.5
訪問系	83	71.1	59.0	48.2	62.7	57.8	33.7	47.0	2.4	2.4	10.8
施設系(入所型)	18	77.8	72.2	44.4	55.6	44.4	38.9	61.1	0.0	5.6	5.6
施設系(通所型)	97	55.7	55.7	44.3	61.9	49.5	20.6	43.3	1.0	4.1	9.3
居住系	44	54.5	61.4	56.8	56.8	68.2	40.9	52.3	0.0	2.3	18.2
居宅介護支援	120	70.8	73.3	55.8	91.7	78.3	47.5	62.5	0.8	0.8	1.7
地域包括支援センター	23	100.0	100.0	82.6	65.2	100.0	56.5	87.0	8.7	0.0	0.0

(10) 大田区の取組について

【調査対象】 サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 35 地域での高齢者の在宅生活継続のために、さらに充実が必要と感じる支援・サービス等についてご回答ください。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「外出同行(通院、買い物など)」、「ごみ出し」が67.8%で最も高く、次いで、「見守り、声かけ」が66.0%となっている。「配食」(59.7%)の割合は、令和4年度の43.4%から16.3ポイント上昇している。



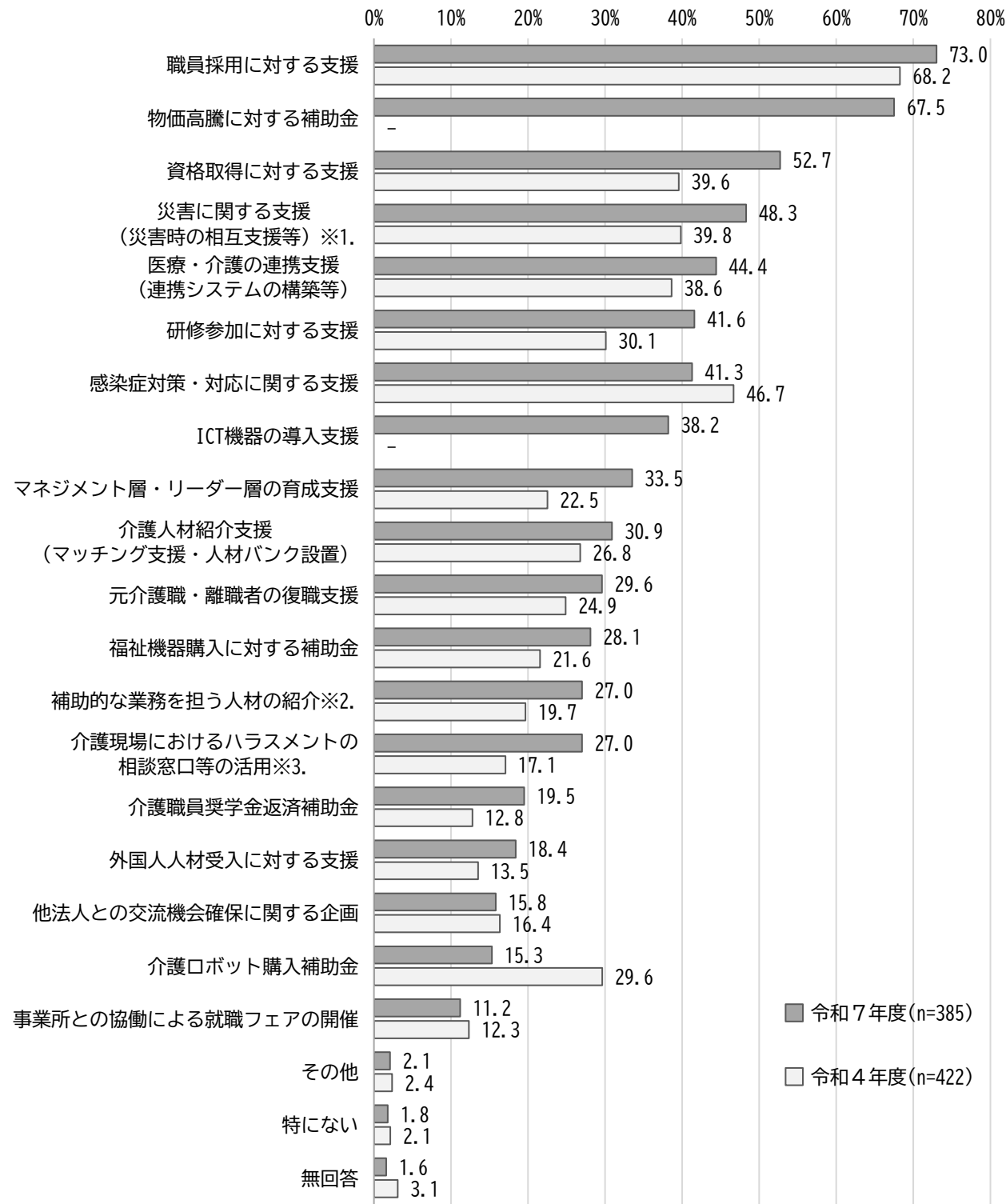
単位：％

	事業所数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は 含まない)	預貯金の 出し入れ や支払い 手続き	ごみ出し	服薬管理
全体	385	59.7	36.6	49.9	53.0	65.7	67.8	55.3
訪問系	83	61.4	36.1	47.0	48.2	68.7	68.7	45.8
施設系（入所型）	18	61.1	27.8	50.0	44.4	38.9	50.0	55.6
施設系（通所型）	97	63.9	40.2	60.8	63.9	53.6	62.9	61.9
居住系	44	56.8	27.3	45.5	40.9	43.2	43.2	56.8
居宅介護支援	120	55.8	37.5	44.2	52.5	80.8	82.5	56.7
地域包括支援センター	23	60.9	43.5	52.2	56.5	91.3	69.6	52.2

	外出同行 (通院、 買い物など)	移送サー ビス（介 護・福祉 タクシー 等）	見守り、 声かけ	サロンな どの定期 的な通い の場	その他	特にな い	無回答
全体	67.8	50.4	66.0	42.3	2.1	4.7	1.0
訪問系	61.4	38.6	57.8	34.9	0.0	3.6	0.0
施設系（入所型）	66.7	50.0	66.7	44.4	0.0	11.1	0.0
施設系（通所型）	71.1	54.6	72.2	34.0	3.1	5.2	1.0
居住系	63.6	56.8	63.6	40.9	0.0	13.6	2.3
居宅介護支援	70.8	50.8	63.3	47.5	2.5	1.7	1.7
地域包括支援センター	69.6	60.9	87.0	78.3	8.7	0.0	0.0

問 36 今後、事業者に対する支援として充実が望ましいものをご回答ください。(複数回答)

令和7年度(n=385)では、「職員採用に対する支援」が73.0%で最も高く、次いで、「物価高騰に対する補助金」が67.5%、「資格取得に対する支援」が52.7%となっている。「介護ロボット購入補助金」(15.3%)の割合は、令和4年度の29.6%から14.3ポイント低下している。



※1. 令和4年度調査では「災害に関する支援 (BCP 策定・災害時の相互支援等)」という選択肢だった。令和7年度調査では「災害に関する支援 (災害時の相互支援等)」としている。 ※2. 令和4年度調査では「介護現場におけるハラスメントの相談窓口等の活用」という選択肢だった。令和7年度調査では「介護現場におけるハラスメントの相談窓口」としている。 ※3. 令和4年度調査では「介護助手等のボランティアの紹介」という選択肢だった。令和7年度調査では「補助的な業務を担う人材の紹介」としている。

単位：％

	事業所数	職員採用に対する支援	資格取得に対する支援	研修参加に対する支援	外国人材受入に対する支援	介護職員奨学金返済補助金	福祉機器購入に対する補助金	ICT機器の導入支援	介護ロボット購入補助金	物価高騰に対する補助金	介護人材紹介支援（マッチング支援・人材バンク設置）	補助的な業務を担う人材の紹介
全体	385	73.0	52.7	41.6	18.4	19.5	28.1	38.2	15.3	67.5	30.9	27.0
訪問系	83	79.5	47.0	37.3	13.3	7.2	14.5	25.3	9.6	62.7	31.3	16.9
施設系（入所型）	18	100.0	83.3	61.1	66.7	50.0	77.8	77.8	61.1	100.0	50.0	44.4
施設系（通所型）	97	82.5	62.9	37.1	26.8	28.9	37.1	38.1	20.6	75.3	34.0	33.0
居住系	44	72.7	54.5	45.5	29.5	31.8	50.0	47.7	27.3	59.1	34.1	27.3
居宅介護支援	120	56.7	42.5	40.8	5.8	13.3	16.7	33.3	5.0	61.7	26.7	25.8
地域包括支援	23	73.9	56.5	56.5	8.7	8.7	17.4	60.9	8.7	73.9	17.4	30.4

	事業所との協働による就職フェアの開催	介護現場におけるハラスメントの相談窓口	元介護職者の復職支援	マネジメント層・リーダー層の育成支援	他法人との交流機会確保に関する企画	医療・介護の連携支援（連携システムの構築等）	感染症対策・対応に関する支援	災害に関する支援（災害時の相互支援等）	その他	特にない	無回答
全体	11.2	27.0	29.6	33.5	15.8	44.4	41.3	48.3	2.1	1.8	1.6
訪問系	7.2	25.3	27.7	22.9	9.6	39.8	42.2	42.2	3.6	1.2	0.0
施設系（入所型）	38.9	38.9	44.4	50.0	44.4	50.0	55.6	66.7	0.0	0.0	0.0
施設系（通所型）	9.3	23.7	38.1	42.3	13.4	40.2	45.4	45.4	1.0	0.0	1.0
居住系	20.5	15.9	29.5	40.9	11.4	29.5	31.8	38.6	0.0	6.8	2.3
居宅介護支援	7.5	28.3	20.8	24.2	19.2	49.2	37.5	50.0	2.5	2.5	3.3
地域包括支援	13.0	52.2	34.8	56.5	17.4	78.3	47.8	78.3	4.3	0.0	0.0

問 37 大田区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営、地域包括ケアシステムの深化・推進等についてご意見やご要望がありましたら、自由にご回答ください。(自由記入)

※意見等の一部について要旨を記載

■支援体制・連携体制に関すること：14件

【重層的支援・多機関連携に関すること：6件】

- ・制度と実際の生活ニーズとの間にギャップがあり、複合的課題を抱える高齢者や家族ほど支援につながりにくい状況がある。家族は限界に達するまで相談に至らないケースも多く、困難事例対応にはケアマネジャーの高度なアセスメント力と調整力が求められている。一方で、研修やスーパービジョン、多職種支援チームへのアクセスは十分とは言えず、CSW や精神保健、医療機関等と連携した地域単位での困難事例支援体制の強化が望まれる。(居宅介護支援)
- ・定期巡回サービスにおける看護連携への補助金のご検討をお願いしたい。新規依頼があっても看護連携が整わず、サービスを開始できないケースが多発している。(訪問系)

【地域包括支援センターに関すること：5件】

- ・地域包括ケアシステムの中核である地域包括支援センターの体制充実(人員、対応時間・日数の拡充)を求めたい。また、介護保険以外の制度についても基本的な知識を備えた対応を望む。高齢者や困難事例に関するワンストップ型の総合相談窓口を整備し、たらい回しが生じない体制づくりを求める。(居宅介護支援)
- ・困難事例への支援について、現行の相談・助言中心の対応に加え、より積極的な直接介入による問題解決型の支援体制の強化を求める。具体的には、多職種による専門チームの設置や緊急事例への迅速対応、地域包括支援センターの権限強化と関係機関との調整機能向上、問題解決まで継続的にフォローする体制の構築、専門職員の増員や予算確保などが必要である。地域包括ケアシステムの推進には「つなぐ」支援にとどまらず、「解決する」支援体制の整備が不可欠である。(訪問系)
- ・地域包括支援センターでは、相談件数の増加やケースの複雑化(認知症、孤立、虐待、生活困窮等)に加え、専門職の確保・定着の難しさや業務量の増大が課題となっている。地域包括ケアシステムの中核として機能を維持・強化するため、職員体制の拡充と専門性向上が必要である。また、業務補助員や事務職の配置による負担軽減、ICT 活用や行政報告のオンライン化、職員のメンタルヘルス支援など、安心して働ける環境整備を求めたい。(地域包括支援センター)

【相談体制に関すること：3件】

- ・どこの部署に相談して良いかわからない。(居住系)
- ・窓口時間の延長相談しやすい開けた環境。(施設系(通所型))

■制度・運営に関すること：12件

【制度・施策に関すること：9件】

- ・大田区ケア倶楽部の登録事業所が全事業所ではないことや、事業者連絡会の内容がほぼ同じであることから、区と事業所とのつながりが十分とはいえない状況がある。研修情報も提供されているが、全事業者・従事者に行き渡っていない。コロナ禍で対面機会が減少したが、区との「顔の見える関係」を構築するため、年1回でも対面での集まりや方針共有の場を設け、区と事業者の一体感を高めてほしい。(訪問系)
- ・特別養護老人ホームへの入所手続きにおけるいわゆる「大田区方式」を今後とも維持していくべきと考える。特養ホームは公的インフラである以上、入所は、公平性と困難度に基づいて行政が調査・調整すべきであり、区の入所指針に基づく運営は、不可欠。最も困難な高齢者に寄り添うことを大田区政は、掲げて行くべきと思う。(施設系(入所型))

- ・ホームヘルプサービスなど利便性の高い制度がある一方で、提出書類が煩雑であり、押印の不備等による再提出を求められるなど事務手続きが厳格で、事業所及び区職員双方の負担となっている。手続きの簡素化を求めたい。(訪問系)
- ・介護事業所と区市町村が、一緒にもっと多様性を広げられるアイデアが話し合えると良いと思う。(施設系(通所型))
- ・大田区家族介護者支援ホームヘルプサービスについて、長期間利用料が据え置かれている一方で、急な依頼や休日対応も求められている。対象が要介護3以上に拡大されたが、現行の利用料水準では担い手の確保が難しく、実際に受け入れ先が見つからないとの声もあるため、利用料引き上げの検討が必要である。(訪問系)

【要介護認定に関すること：3件】

- ・要介護認定調査や認定決定の遅れが増え、暫定ケアプランの作成が増加していることから、ケアマネジャーの負担が高まっている。暫定期間中は利用者や家族が単位数超過を懸念してサービス利用を控える場合もあり、説明や署名対応など関係者の目に見えにくい負担も生じている。保険給付が確定しなければ報酬が得られない状況もあり、利用者増加が見込まれる中で現行の仕組みでは支えきれないとの懸念がある。(居宅介護支援)
- ・要介護認定が更新日までに出るようにして欲しい。(居宅介護支援)

■人材確保・処遇改善に関すること：11件

【業務負担に関すること：5件】

- ・ケアマネジャーが本来業務以外に病院付き添いや服薬確認、ごみ出し等の対応を担う場面が多く、業務負担が過重となっている。認知症でも要介護度が低い場合は必要なサービスを導入しにくい状況もある。こうした業務をボランティア等が担える仕組みを求めたい。また、利用者がケアマネに無償対応を期待する傾向もあり負担が増している。書類の多さや事務負担の軽減、音声入力システム等のICT導入支援、医療機関との連携システムのケアマネへの導入支援も求めたい。(居宅介護支援)
- ・地域包括ケアシステム推進のため関係機関との連携は強化されているが、情報共有や会議体の運営が業務負担となっている側面がある。(地域包括支援センター)

【人材確保・処遇改善に関すること：3件】

- ・高齢化に伴うケアマネジャー不足。多岐にわたる仕事に対する報酬アップ、将来を見据えた人材確保が必要。(居宅介護支援)
- ・ケアマネジャーの応募が少なく人手不足が続いており、事業所単独での解決は困難なため行政の支援を求めたい。地域包括ケアシステム推進においても、居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーが通常業務と並行して担うことに大きな負担があるため、行政や地域包括支援センターがより主体的に関与してほしい。また、ケアマネジャーに本来業務外の対応が集中している現状があり、行政として受け皿の整備を求めたい。(居宅介護支援)
- ・介護福祉医療従事者の人材確保のための処遇改善(労働環境や人件費等)(地域包括支援センター)

【生産性向上・業務効率化に関すること：3件】

- ・区としてICT活用などDXへの取り組みに力を入れて推進してほしい。(居宅介護支援)
- ・システム入力や各種手続きが煩雑であるため、必要最低限に簡素化するとともに、介護報酬改定や加算条件等については、区のホームページ上で分かりやすい解説を一元的に提供してほしい。また、研修申込み等で複数のサイトを利用する負担が大きいため、情報や手続きを集約してほしい。(施設系(通所型))
- ・担当者が変わっても、決められたことは継続できるよう、引き継ぎをしっかりとってほしい。(地域包括支援センター)

■災害時・非常時対応に関すること：4件

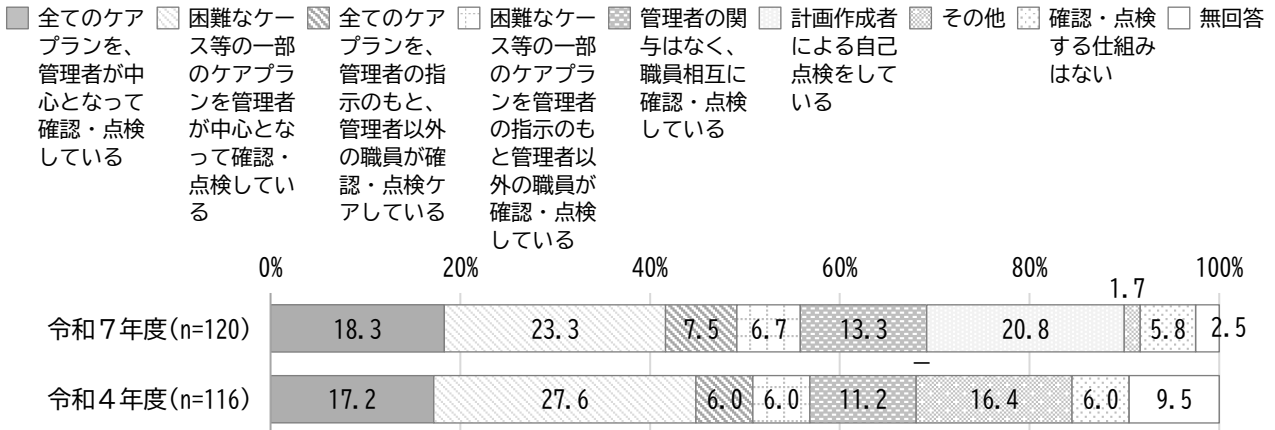
- ・災害時の福祉避難所の拡充と運営見直し、要援護者に対する現在の問題点についての把握と改善策が必要。(居宅介護支援)
- ・BCPは作成しているが、備蓄品等への財政支援がほしい。(施設系(通所型))
- ・高齢者、特に避難行動要支援者への具体的な災害時連携体制を整えてほしい。(地域包括支援センター)
- ・非常災害時の支援充実。(施設系(通所型))

(11) ケアマネジメントの質の向上に向けた取組について

【調査対象】 居宅介護支援事業所

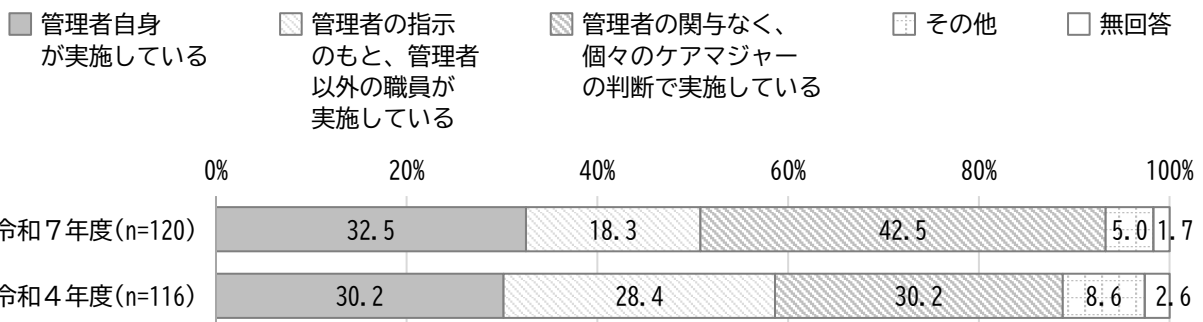
問 38 貴事業所において、個々のケアプランの内容をどのように確認・点検していますか。
(単数回答)

令和7年度(n=120)では、「困難なケース等の一部のケアプランを、管理者が中心となって確認・点検している」が23.3%で最も高く、次いで、「計画作成者による自己点検をしている」が20.8%、「全てのケアプランを、管理者が中心となって、確認・点検している」が18.3%となっている。「その他」(1.7%)の割合は、令和4年度の16.4%から14.7ポイント低下している。



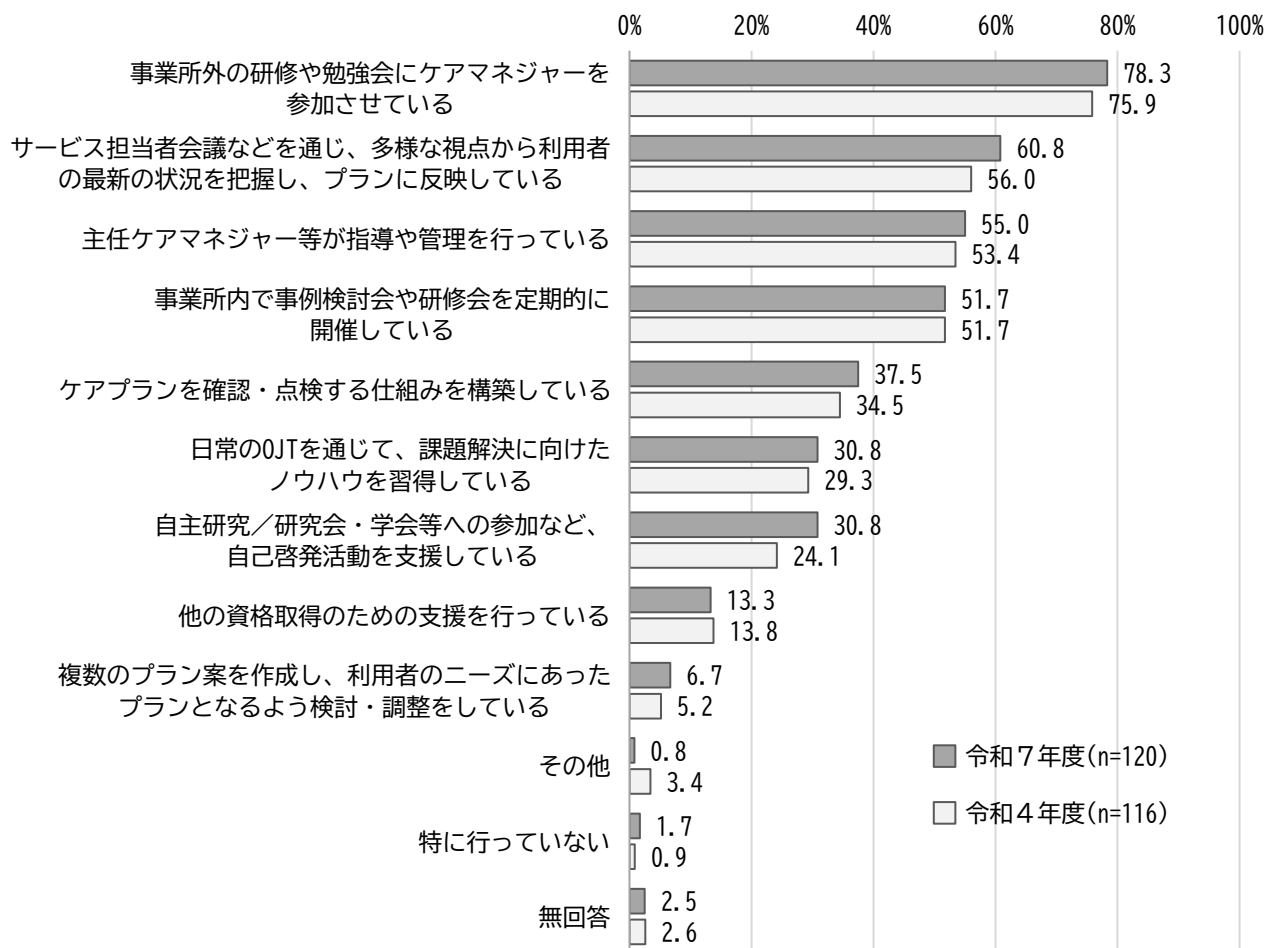
問 39 貴事業所では、新規利用者のケアマネジメントの実施状況(アセスメントから1回目のモニタリングまでのプロセス)の進捗をどのようにして確認していますか。(単数回答)

令和7年度(n=120)では、「管理者の関与なく、個々のケアマネジャーの判断で実施している」が42.5%で最も高く、次いで、「管理者自身が実施している」が32.5%、「管理者の指示のもと、管理者以外の職員が実施している」が18.3%となっている。「管理者の関与なく、個々のケアマネジャーの判断で実施している」の割合は、令和4年度の30.2%から12.3ポイント上昇している。



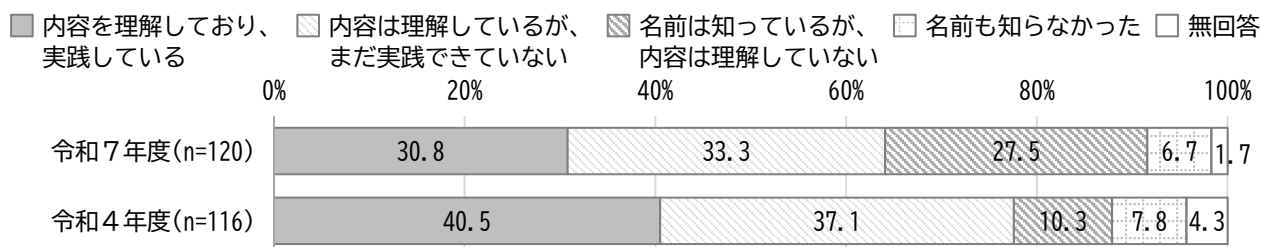
問 40 貴事業所では、ケアマネジメントの質の向上に向けて、どのような取組をしていますか。
(複数回答)

令和7年度(n=120)では、「事業所外の研修や勉強会にケアマネジャーを参加させている」が78.3%で最も高く、次いで、「サービス担当者会議などを通じ、多様な視点から利用者の最新の状況を把握し、プランに反映している」が60.8%、「主任ケアマネジャー等が指導や管理を行っている」が55.0%となっている。



問 41 大田区では、ケアマネジメントに携わる全ての者が、ケアマネジメントに関する統一・基本的な考えを共有したうえで、サービスの利用者に寄り添い、適切に働きかけていくことを目指し、「大田区のケアマネジメントに関する基本方針」を策定しています。この基本方針について、どの程度ご存じですか。(単数回答)

令和7年度(n=120)では、「内容は理解しているが、まだ実践できていない」が33.3%で最も高く、次いで、「内容を理解しており、実践している」が30.8%、「名前は知っているが、内容は理解していない」27.5%となっている。「名前は知っているが、内容は理解していない」の割合は、令和4年度の10.3%から17.2ポイント上昇している。

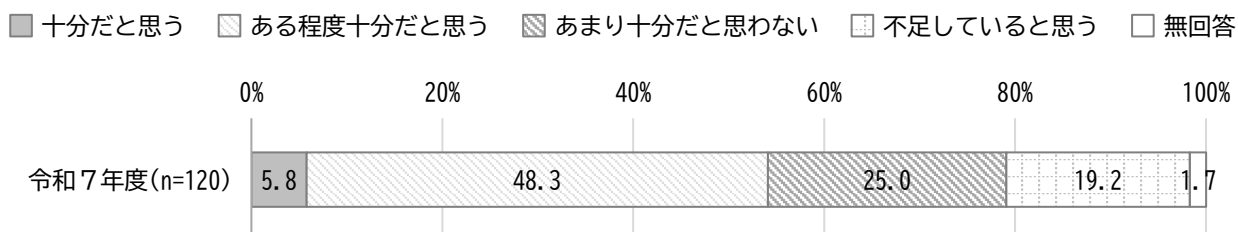


(12) 地域の介護サービスの提供状況について

【調査対象】居宅介護支援事業所

問 42 地域の介護サービス事業所数や種類について、十分だと思いますか。(単数回答)

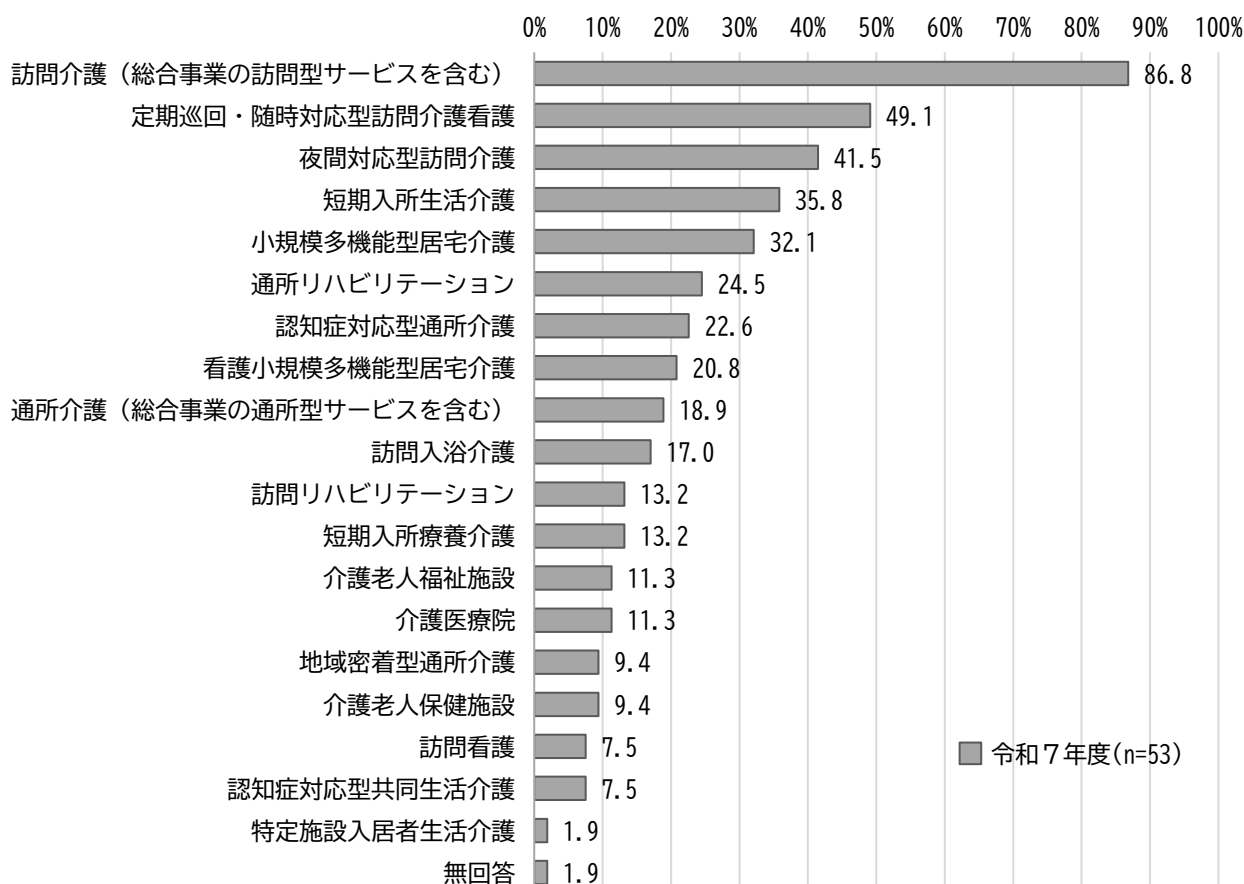
令和7年度(n=120)では、「ある程度十分だと思う」が48.3%で最も高く、次いで、「あまり十分だと思わない」が25.0%、「不足していると思う」が19.2%となっている。



【問 42 において「3. あまり十分だと思わない」、「4. 不足していると思う」と回答した事業者にうかがいます。】

問 43 不足していると思う介護サービスを教えてください。(複数回答)

本設問(n=53)では、「訪問介護（総合事業の訪問型サービスを含む）」が86.8%で最も高く、次いで、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が49.1%、「夜間対応型訪問介護」が41.5%となっている。

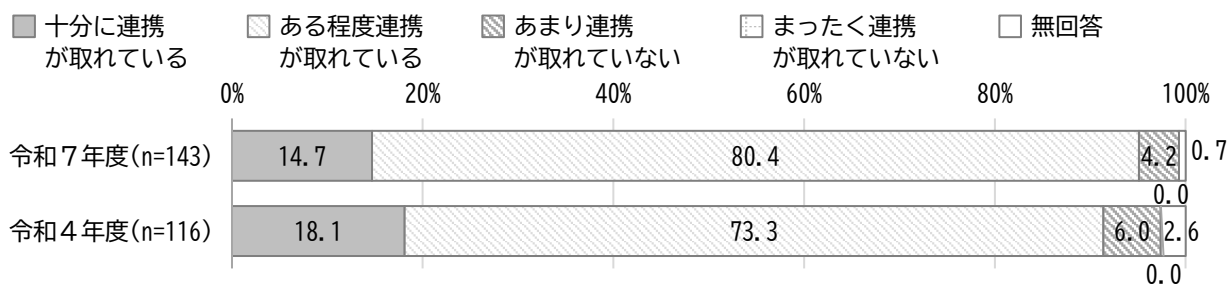


(13) 他機関との連携について

【調査対象】 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

問 44 貴事業所では、医師や医療機関との連携は十分に取れていると思いますか。(単数回答)

令和7年度(n=143)では、「ある程度連携が取れている」が80.4%で最も高く、次いで、「十分に連携が取れている」が14.7%、「あまり連携が取れていない」が4.2%となっている。

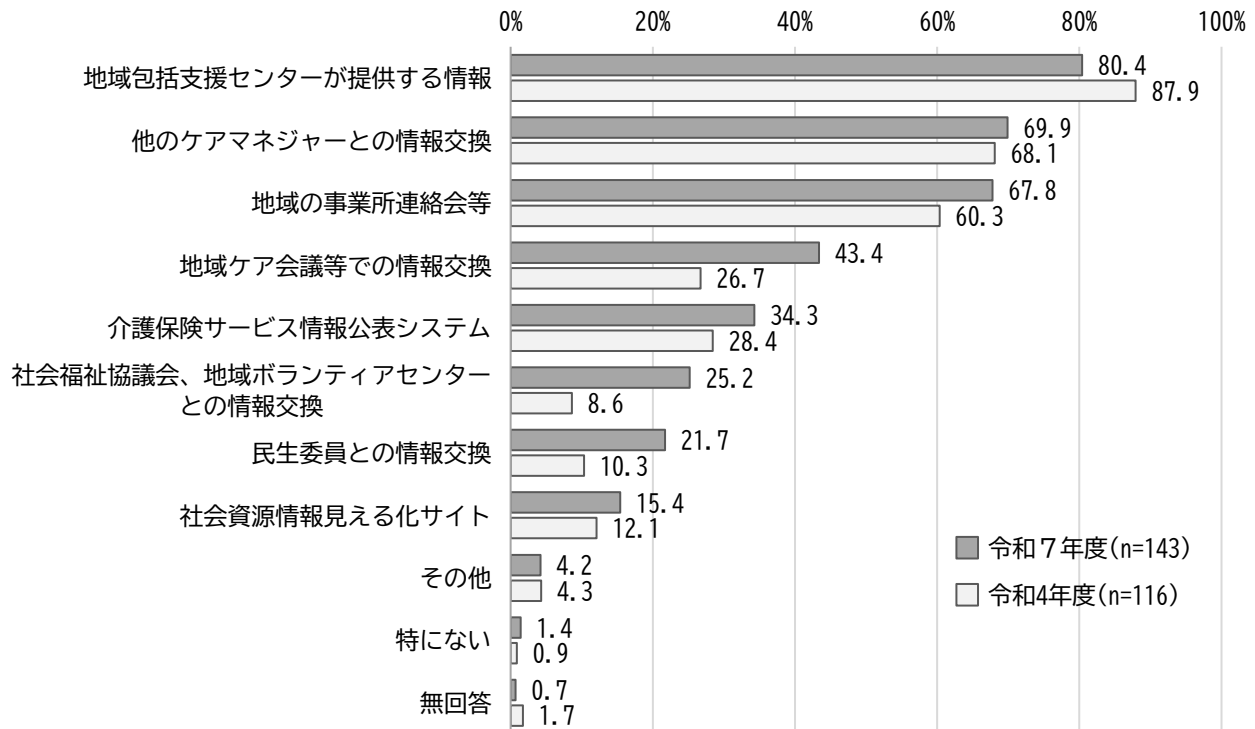


単位：%

	事業者数	十分に連携が取れている	ある程度連携が取れている	あまり連携が取れていない	まったく連携が取れていない	無回答
全体	143	14.7	80.4	4.2	0.0	0.7
居宅介護支援	120	14.2	80.8	4.2	0.0	0.8
地域包括支援センター	23	17.4	78.3	4.3	0.0	0.0

問 45 貴事業所では、地域の様々な支援・サービス等（インフォーマルサービス等）の情報をどのように収集し、事業所内で共有していますか。情報源として活用しているものを教えてください。（複数回答）

本設問(n=143)では、「地域包括支援センターが提供する情報」が80.4%で最も高く、次いで、「他のケアマネジャーとの情報交換」が69.9%、「地域の事業所連絡会等」が67.8%となっている。

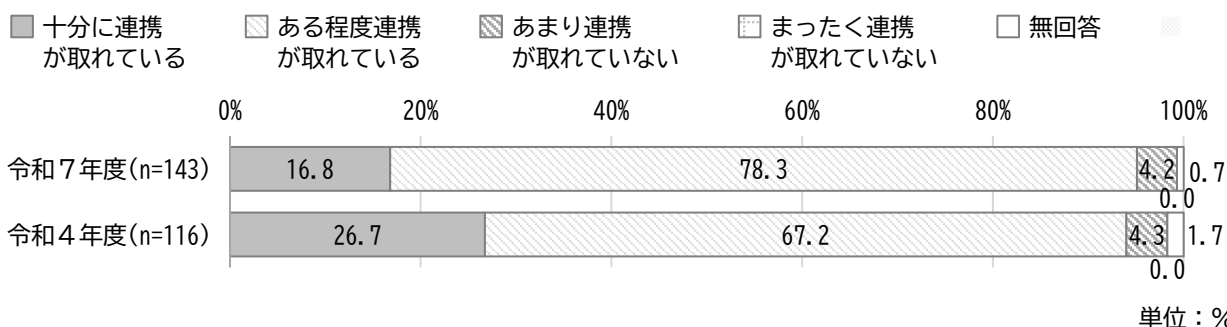


単位：％

	事業者数	地域包括支援センターが提供する情報	地域の事業所連絡会等	他のケアマネジャーとの情報交換	介護保険サービス情報公表システム	地域ケア会議等での情報交換	社会福祉協議会、地域ボランティアセンターとの情報交換	民生委員との情報交換	社会資源情報見える化サイト	その他	特にない	無回答
全体	143	80.4	67.8	69.9	34.3	43.4	25.2	21.7	15.4	4.2	1.4	0.7
居宅介護支援	120	88.3	68.3	65.0	32.5	35.8	14.2	8.3	10.0	1.7	1.7	0.8
地域包括支援センター	23	39.1	65.2	95.7	43.5	82.6	82.6	91.3	43.5	17.4	0.0	0.0

問 46 貴事業所では、他の介護サービス事業所や専門職等との連携は十分に取れていると思いますか。(単数回答)

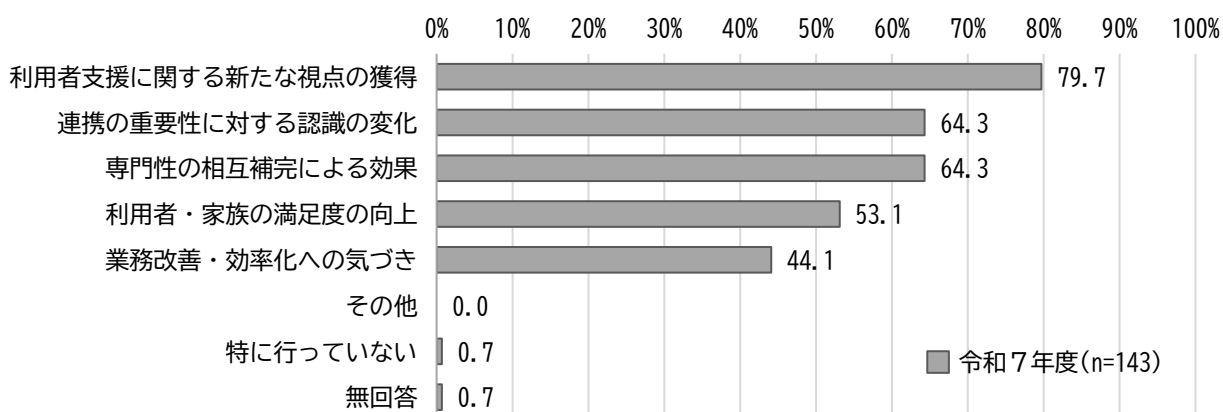
令和7年度(n=143)では、「ある程度連携が取れている」が78.3%で最も高く、次いで、「十分に連携が取れている」が16.8%、「あまり連携が取れていない」が4.2%となっている。「ある程度連携が取れている」の割合は、令和4年度の67.2%から11.1ポイント上昇している。



	事業者数	十分に連携が取れている	ある程度連携が取れている	あまり連携が取れていない	まったく連携が取れていない	無回答
全体	143	16.8	78.3	4.2	0.0	0.7
居宅介護支援	120	14.2	80.0	5.0	0.0	0.8
地域包括支援センター	23	30.4	69.6	0.0	0.0	0.0

問 47 貴事業所において、他の介護サービス事業所や専門職等との連携を通じ、利用者へのサービス提供に向けてどのような効果(気づき)が得られましたか。(複数回答)

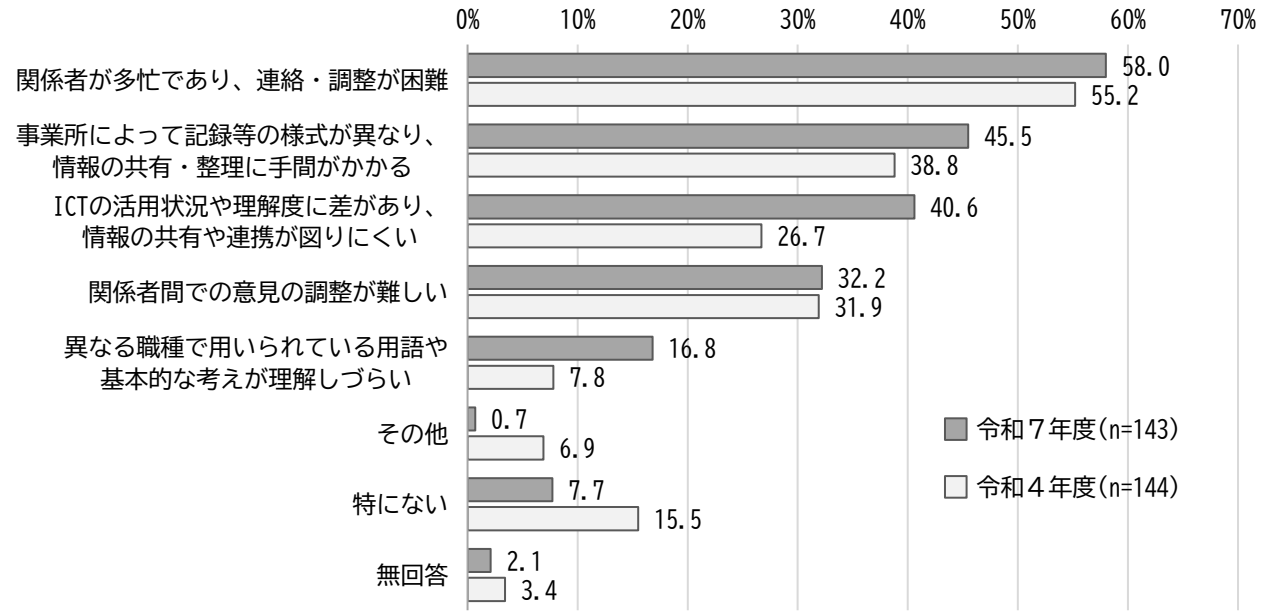
本設問(n=143)では、「利用者支援に関する新たな視点の獲得」が79.7%で最も高く、次いで、「連携の重要性に対する認識の変化」が64.3%、「専門性の相互補完による効果」が64.3%となっている。



	事業者数	利用者支援に関する新たな視点の獲得	連携の重要性に対する認識の変化	業務改善・効率化への気づき	専門性の相互補完による効果	利用者・家族の満足度の向上	その他	特に行ってない	無回答
全体	143	79.7	64.3	44.1	64.3	53.1	0.0	0.7	0.7
居宅介護支援	120	78.3	60.8	43.3	61.7	51.7	0.0	0.8	0.8
地域包括支援センター	23	87.0	82.6	47.8	78.3	60.9	0.0	0.0	0.0

問 48 他の介護サービス事業所や専門職等との連携を進める上で、課題となっているのはどのようなことですか。(複数回答)

令和7年度(n=143)では、「関係者が多忙であり、連絡・調整が困難」が58.0%で最も高く、次いで、「事業所によって記録等の様式が異なり、情報の共有・整理に手間がかかる」が45.5%、「ICTの活用状況や理解度に差があり、情報の共有や連携が図りにくい」が40.6%となっている。「ICTの活用状況や理解度に差があり、情報の共有や連携が図りにくい」の割合は、令和4年度の26.7%から13.9ポイント上昇している。



単位：%

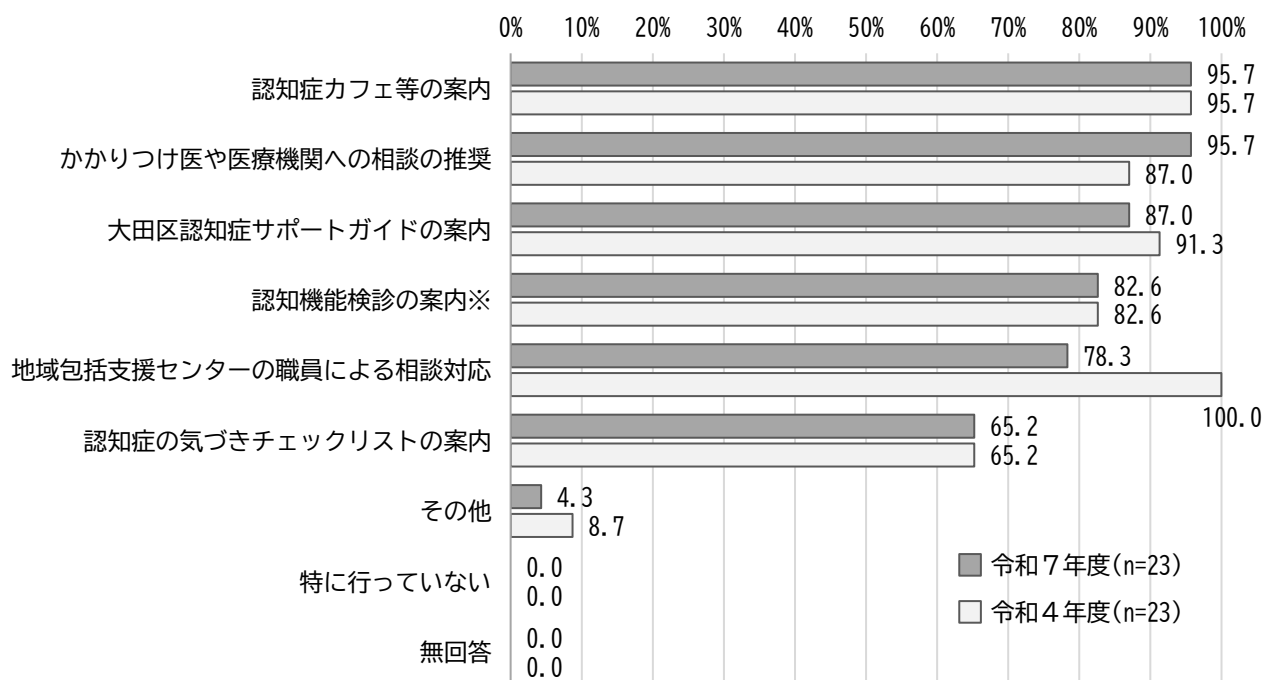
	事業者数	事業所によって記録等の様式が異なり、情報の共有・整理に手間がかかる	ICTの活用状況や理解度に差があり、情報の共有や連携が図りにくい	関係者間での意見の調整が難しい	異なる職種で用いられている用語や基本的な考えが理解しづらい	関係者が多忙であり、連絡・調整が困難	その他	特にない	無回答
全体	143	45.5	40.6	32.2	16.8	58.0	0.7	7.7	2.1
居宅介護支援	120	49.2	41.7	29.2	16.7	55.0	0.8	7.5	2.5
地域包括支援センター	23	26.1	34.8	47.8	17.4	73.9	0.0	8.7	0.0

(14) 認知機能の評価に関する取組の状況について

【調査対象】 地域包括支援センター

問 49 認知症の早期発見に向け、貴事業所を利用される高齢者に対し、以下のような取組を行っていますか。(複数回答)

令和7年度(n=23)では、「認知症カフェ等の案内」と「かかりつけ医や医療機関への相談の推奨」が95.7%で最も高く、次いで「大田区認知症サポートガイドの案内」が87.0%となっている。「地域包括支援センターの職員による相談対応」(78.3%)の割合は、令和4年度の100.0%から21.7ポイント低下している。

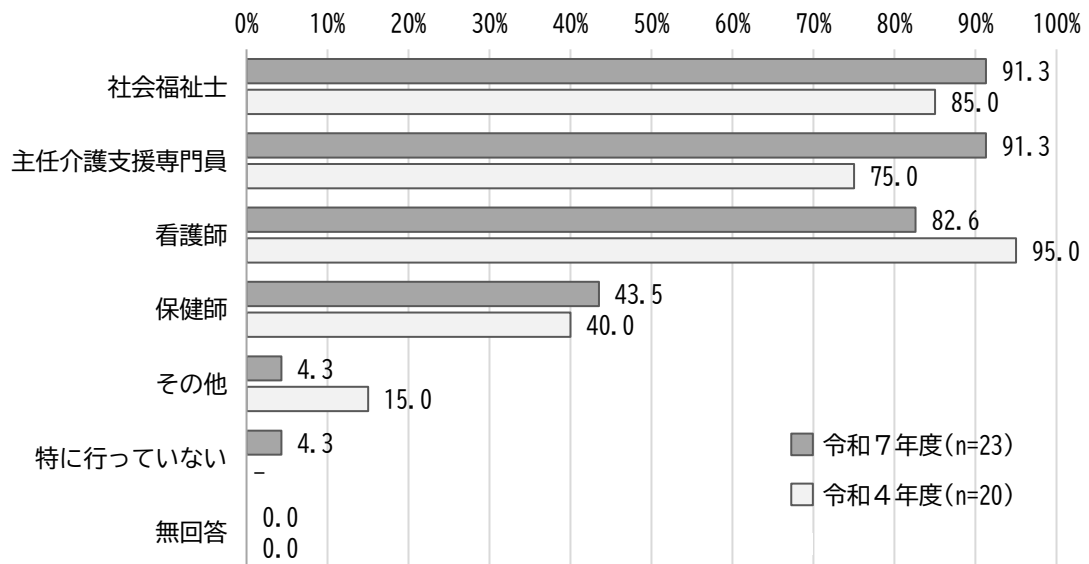


※令和4年度調査では「大田区もの忘れ検診の案内」という選択肢だった。令和7年度調査では「認知機能検診の案内」としている。

問 50 貴事業所を利用される高齢者に認知症の疑いがある場合、認知機能の評価を誰が、どのように行っていますか。(複数回答)

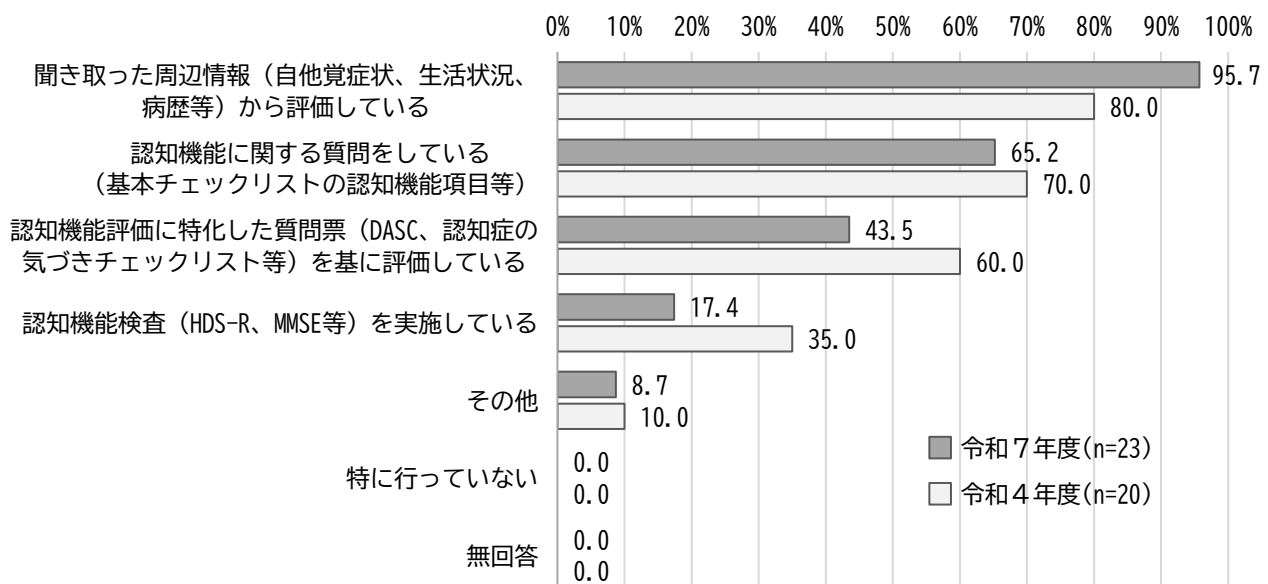
(1) 事業所の評価者

令和7年度(n=23)では、「社会福祉士」が91.3%で最も高く、次いで、「主任介護支援専門員」が91.3%、「看護師」が82.6%となっている。「主任介護支援専門員」の割合は、令和4年度の75.0%から16.3ポイント上昇している。



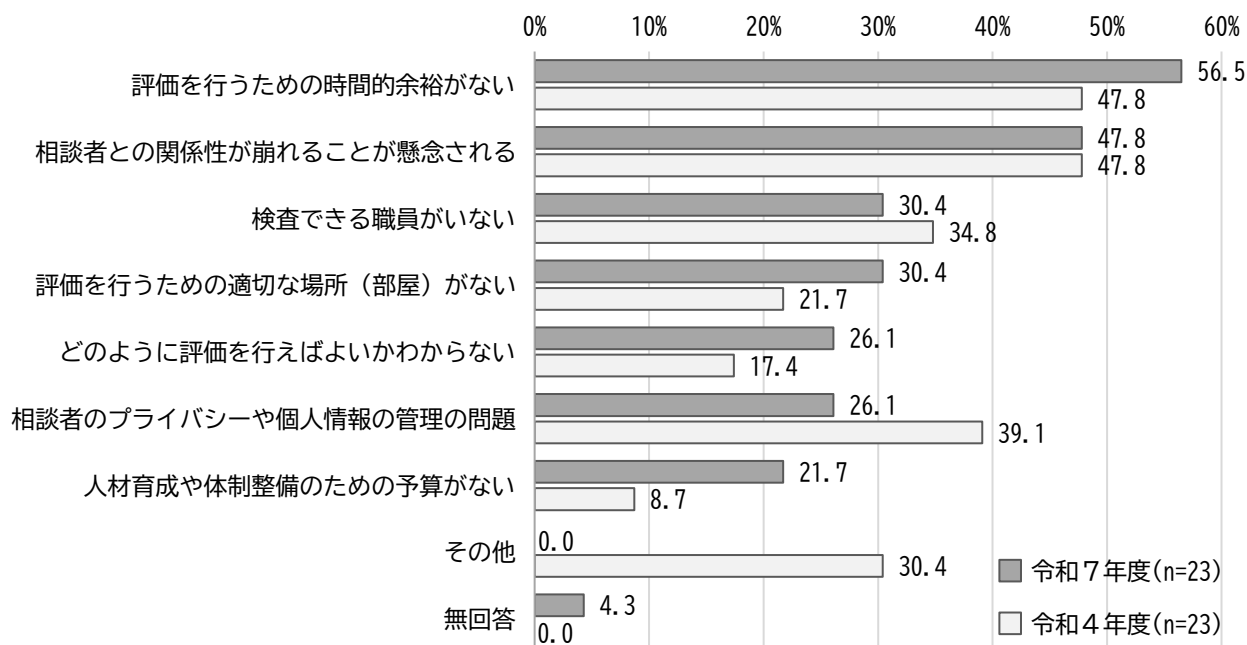
(2) 評価方法

令和7年度(n=23)では、「聞き取った周辺情報（自覚症状、生活状況、病歴等）から評価している」が95.7%で最も高く、次いで、「認知機能に関する質問をしている（基本チェックリストの認知機能項目等）」が65.2%、「認知機能評価に特化した質問票（DASC、認知症の気づきチェックリスト等）を基に評価している」が43.5%となっている。「認知機能検査（HDS-R、MMSE等）を実施している」（35.0%）の割合は、令和4年度の35.0%から17.6ポイント低下している。



問 51 貴事業所を利用される高齢者に認知機能の評価を実施する、または実施を試みるうえで、課題となることはどのようなことですか。(複数回答)

令和7年度(n=23)では、「評価を行うための時間的余裕がない」が56.5%で最も高く、次いで、「相談者との関係性が崩れることが懸念される」が47.8%、「検査できる職員がいない」が30.4%となっている。「人材育成や体制整備のための予算がない」(21.7%)の割合は、令和4年度の8.7%から13.0ポイント上昇した。

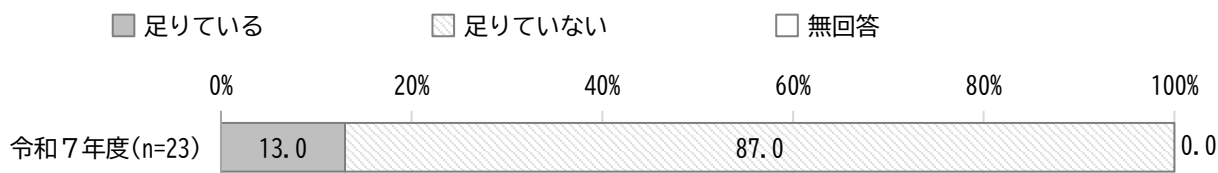


(15) 管轄内の高齢者の移動手段について

【調査対象】 地域包括支援センター

問 52 貴事業所では、管轄内の公共交通を利用することで、高齢者の移動手段は足りていると思いますか。(単数回答)

本設問(n=23)では、「足りていない」が87.0%、「足りている」が13.0%であった。



問 52 において、「2. 足りていない」と回答した事業所にうかがいます。

問 53 具体的にどのような場面で足りていないと思いますか。(自由記入)

※意見等の一部について要旨を記載

■地形条件（坂・高低差）による移動困難：6件

- ・坂道が多く住宅街にバスが通っていないため、歩行機能が低下すると一人での外出が困難になりやすい。
- ・坂が多く買い物先も少ないうえ、電車は1路線のみで、移動は主にバスに依存している。
- ・坂の多い地形のため、買い物や受診での外出が困難。

■日常生活（買い物・通院等）での移動支障：6件

- ・包括所在地の大森東一丁目団地は高齢者のみの世帯が多く、スーパーが遠く環七を越える必要もあるため、高齢者にとって買い物が困難な状況がみられる。
- ・通院や買い物などでの移動手段が少ない。
- ・バス停から遠く本数も減少しているため、買い物や通院に苦労している。さらに、スマホを持っていない、タクシー乗り場や流しのタクシーが少ない、配車手段が限られている、料金負担が大きいなどの理由で、タクシーも利用しにくい状況にある。

■身体機能・障害特性への配慮不足：3件

- ・車いす利用者やADLの低い高齢者は公共交通を利用しづらい。
- ・踏切を越えられず、行きたい場所に行けない高齢者がいる。
- ・大田区中央地域では、最寄りのバス停まで距離があるため、ADLが低下した高齢者にとって移動負担が大きく、外出が困難になりやすい状況にある。

■バスの本数・利便性の不足：4件

- ・バス路線のない地域がある。コミュニティバスがあると良い。行き先はスーパー、シニアステーションが理想的。
- ・便数が少ないため混雑し、補助具使用者が利用しづらい。

第4章 資料編

1. 高齢者一般調査 調査票

管理番号 511XXXX、パスワード：XXXX

大田区高齢者等実態調査へのご協力をお願い（高齢者一般調査）

日ごろから大田区政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたびは「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画～」の策定に向け、区民の皆様のご意見をうかがうため、「大田区高齢者等実態調査」を実施します。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の充実に向け、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月
大田区

1. 本調査の対象者について

○調査の基準日である令和7年10月1日現在、介護保険の第1号被保険者のうち、要介護認定を受けていない方の中から5,600名の方を無作為に選び、ご回答をお願いします。

2. 本調査へのご回答について

○回答にあたっては、封筒のあて名をご本人についてご記入ください。
○あて名のご本人が回答できる場合は、ご本人が回答してください。
○ご本人が回答できない場合は、ご家族等がご本人の立場で代わりにお返してください。

3. 個人情報取り扱いについて

○この調査は、効果的な高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区で適切に管理いたします。
○ただし、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されないかたちで利用することがあります。
○本調査票へのご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものといたします。

4. 回答方法について

○ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和7年12月1日(月)** までにポストに投函してください。なお、返信用封筒に切手を貼る必要はありません。

インターネットでアンケートに回答することもできます。

スマートフォン
のカメラ機能で右
の二次元コードを
読み取ります。



パソコンで大田区ホームページ
のトップ画面からページ番号
719825386で検索します。



キーボード検索 ページ番号検索

719825386

OUR Lのポップアップを押します。

ログイン画面で管理番号 511XXXX、パスワード XXXX を入力します。

お問合せ先

大田区福祉部高齢福祉課計画担当 電話：03-5744-1257
介護保険課計画担当 電話：03-5744-1732



【はじめに】この調査票を記入されたのはどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. あて名のご本人が記入
- 2. 家族が記入 (あて名のご本人からみられた経路:)
- 3. その他 (あて名のご本人との関係:)

【1. あなた(あて名のご本人)ご自身についてうかがいます】

問1 あなたの大家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
- 3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)
- 4. 息子・娘との2世帯
- 5. その他 ()

(2) 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 介護・介助は必要ない
- 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)

【2. あなたのお住まいの状況についてうかがいます】

問2 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 持家 (一戸建て)
- 2. 持家 (集合住宅)
- 3. 公営賃貸住宅
- 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
- 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- 6. 借家
- 7. その他 ()

問3 現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 住宅がバリアフリーになっていない
- 2. 居室が狭い
- 3. 空調がない、設置できない
- 4. 建物が老朽化し、耐震性に不安
- 5. ローン、家賃が高く経済面で不安
- 6. 修繕等の必要経費の確保が難しい
- 7. その他 ()
- 8. 特に心配や不安を感じることはない

【3. あなたの現在の生活についてうかがいます】

問4 趣味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 趣味あり (具体的に:)
- 2. 思いつかない

問5 生きがいがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 生きがいあり (具体的に:)
- 2. 思いつかない

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. 苦しくない
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある

問7 日常生活での心配ごとはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ご自身や家族の健康
2. 家族の介護
3. 地震・台風等の自然災害
4. 孤独・孤立への不安
5. 住まいのこと
6. 日常の家事・仕事
7. 収入・生活費に関すること
8. 趣味がないこと
9. 詐欺・悪質商法の被害にあうこと
10. 生活に必要な情報の収集
11. その他 ()
12. 特になし

問8 以下の通信・通話機器を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 携帯電話(スマートフォン以外)
2. スマートフォン
3. タブレット端末
4. パソコン
5. どれも使っていない

問8において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方にうかがいます。

問8-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通話・メール
2. 写真撮影
3. ゲーム
4. 動画・テレビ視聴
5. ネットショッピング
6. 健康管理
7. インターネット検索
8. LINEなどSNS
9. 決済サービス
10. その他 ()

問8において、「2. スマートフォン」以外を選択した方にうかがいます。

問8-2 スマートフォンを使用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の生活に必要な性を感じないから
2. どのように使えばよいかわからないから
3. 詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと心配だから
4. 購入や使用にかかる料金が高いと感じるから
5. その他 ()

問9 災害(台風の水害等含む)が起きた際に、どのような備えが必要か、また自らがどのように動くべきか(避難するべきか、自宅で待機すべきか)、避難先について理解していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 理解している
2. 大体理解している
3. 知らない、わからない

※ 大田区では災害への備えや避難先の情報提供をしています。よろしければ大田区ホームページ内の「キーワード検索」で「災害の備え」や「避難所」と検索してください。

【4. からだを動かすことについてうかがいます】

問10 以下の質問について、それぞれ、あてはまるものを教えてください。

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. できるし、している
 2. できるけどしていない
 3. できない
- (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. できるし、している
 2. できるけどしていない
 3. できない
- (3) 15分位続けて歩いていますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. できるし、している
 2. できるけどしていない
 3. できない
- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. 何度もある
 2. 1度ある
 3. ない
- (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(あてはまるもの1つに○)
 1. とても不安である
 2. やや不安である
 3. あまり不安でない
 4. 不安でない
- (6) 週に1回以上は外出していますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. ほとんど外出しない
 2. 週1回
 3. 週2~4回
 4. 週5回以上
- (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. とても減っている
 2. 減っている
 3. あまり減っていない
 4. 減っていない
- (8) 最寄りの駅またはバス停までの①移動手段と②所要時間を教えてください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

①移動手段：1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. その他 ()

②所要時間：1. 0~5分 2. 6~10分 3. 11~15分 4. 16分以上

【5. 食べることにについてうかがいます】

問11 以下の質問について、それぞれ、あてはまるもの1つに○、または数値を記入してください。

- (1) 身長・体重を教えてください。(数値を記入) ※小数点以下は四捨五入してください

身長	□□□	cm	体重	□□□	kg
----	-----	----	----	-----	----
- (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(あてはまるもの1つに○)
 1. はい
 2. いいえ
- (3) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含め32本です)(あてはまるもの1つに○)
 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- (4) どなたかと食事をもににする機会はありますか。(あてはまるもの1つに○)
 1. 毎日ある
 2. 週に何度がある
 3. 月に何度がある
 4. 年に何度がある
 5. ほとんどない

【6. あなたの毎日の生活についてうかがいます】

問12 以下の質問について、それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 物忘れが多いと感じますか。(あてはまるもの1つに○)	1. はい	2. いいえ	
(2) バスや電車を1人で外出していますか(自家用車でも可)。(あてはまるもの1つに○)	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(あてはまるもの1つに○)	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか。(あてはまるもの1つに○)	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(あてはまるもの1つに○)	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(あてはまるもの1つに○)	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問13 地域活動への参加状況についてうかがいます。

(1) 以下のような会・グループ等どのくらいの頻度で参加していますか。

(①から⑧)についてそれぞれ1つに○

	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加してない
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループやクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ シニアクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 自治会・町会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問14 現在のあなたの就業状態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職に就いていない 2. 引退した 3. 常勤(フルタイム) 4. 非常勤(パート・アルバイト等) 5. 自営業 6. 求職中 7. その他()

問15 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてうかがいます。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問16 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり(住民同士の助け合い・支え合い等)の必要性についてどのよう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 必要だと思う 2. どちらかといえば必要だと思う 3. どちらかといえば必要ないと思う 4. 必要ないと思う

問29 今後の在宅生活の継続において、必要と感じる支援・サービスを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 (後片づけ含む) |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物 (宅配は含まない) |
| 5. 預貯金の出入れや支払い手続き | 6. こみ出し |
| 7. 服薬管理 | 8. 外出同行 (通院、買い物など) |
| 9. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 10. 見守り、声かけ |
| 11. 趣味・体操・サロン等の定期的な通いの場 | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

問30 介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるために、必要と感じることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 医師による24時間対応の往診 | 2. ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア |
| 3. 随時利用可能なデイサービスやショートステイ | 4. 配食や買い物、こみ出し等の生活支援サービス |
| 5. 認知症に対応可能な医療・介護サービス | 6. バリアフリーに対応した住まいの構造や設備 |
| 7. 介護や医療費に対する経済的負担の軽減 | 8. 困ったときについても相談できる身近な場 |
| 9. 声かけや見守り等の地域の支え | 10. 家族の理解・協力 |
| 11. その他 () | 12. わからない |

問31 在宅医療サービスに対する考えを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に利用したい | 2. 必要があれば利用したい |
| 3. できれば利用したくない | 4. 利用するつもりはない |

※ 在宅医療サービスとは、通院困難な方の自宅などを訪問して医療を行うことです。

問32 これまでにご家族や親戚の方等の介護を行った経験はありますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|-------|
| (あてはまるもの1つに○) | | |
| 1. ある (現在も行っている) | 2. ある (現在は行っていない) | 3. ない |

問33 あなたが人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合いたいと思えますか。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (あてはまるもの1つに○) | |
| 1. 話し合ったことがある | 2. 話し合ったことはないが話し合いたい |
| 3. 話し合いたいけど相手がいらない | 4. 話し合いたいと思わない |

《10. 大田区の取組についてうかがいます》

問34 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている |
| 2. 名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない |
| 3. 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた |
| 4. 知らない・名前も聞いたことはない |

問35 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービス、②今後利用したいサービスを教えてください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

サービス	①知っている	②利用したい	サービス	①知っている	②利用したい
1. いきいき高齢者入浴事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 老人いこいの家 (ゆうゆうくらぶ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 高齢者見守りキーホルダー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. マイ・タイムライン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 高齢者ほっとテレフォン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 老いじたく (終活) の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. シニアステーション事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 成年後見制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. おおたフレイル予防事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 大田区いきいきしごとステーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 遊離行動要支援者名簿の登録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. シルバー人材センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※各事業、サービスの内容については、大田区ホームページ内の“キーワード検索”で上記のサービス名を入力いただくと確認することができます。

問36 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考ええる事業・サービスを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 高齢者への就労支援 | 2. 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進 |
| 3. 介護が必要にならないための介護予防事業の充実 | 4. 高齢者の見守り体制の充実 |
| 5. 困ったときに気軽に相談ができる体制の整備 | 6. 認知症の方やその家族への支援 |
| 7. 家族介護者への支援 | 8. 介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止 |
| 9. 住み慣れた地域で生活を営み続ける介護サービスの整備 | 10. 特別養護老人ホーム等の施設の増設 |
| 11. 地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり | 12. 災害時に高齢者を支援する体制の整備 |
| 13. その他 () | 15. 特になし |
| 14. わからない | |

問37 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないかご確認いただき、返信用封筒にてご返送ください。
(切手は不要です)

問7 以下の通信・通話機器を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 携帯電話 (スマートフォン以外) | 2. スマートフォン |
| 3. タブレット端末 | 4. パソコン |
| 5. どれも使っていない | |

問7において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方にかがいます。

問7-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 通話・メール | 2. 写真撮影 |
| 3. ゲーム | 4. 動画・テレビ視聴 |
| 5. ネットショッピング | 6. 健康管理 |
| 7. インターネット検索 | 8. LINEなどSNS |
| 9. 決済サービス | 10. その他 () |

問8 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

問9 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり (住民同士の助け合い・支え合い等) の必要性についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 必要だと思う | 2. どちらかといえば必要だと思う |
| 3. どちらかといえば必要ないと思う | 4. 必要ないと思う |

問10 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり (住民同士の助け合い・支え合い等) を実際に感じることはありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 感じない |

問11 災害 (台風の被害等含む) が起きた際に、どのような備えが必要か、また自らがどのように動くべきか (避難すべきか、自宅で待機すべきか)、避難先について理解していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------|---------------|
| 1. 理解している | 2. 大体理解している | 3. 知らない、わからない |
|-----------|-------------|---------------|
- ※ 大田区では災害への備えや避難先の情報提供をしています。よろしければ大田区ホームページ内の「キーワード検索」で「災害の備え」や「避難所」と検索してください。

問12 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. かつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問13 日常生活での心配ごとはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. ご自身や家族の健康 | 2. 家族の介護 |
| 3. 地震・台風等の自然災害 | 4. 孤独・孤独への不安 |
| 5. 住まいのこと | 6. 日常の家事・仕事 |
| 7. 収入・生活費に関すること | 8. 趣味がないこと |
| 9. 詐欺・悪質商法の被害にあうこと | 10. 生活に必要な情報の収集 |
| 11. その他 () | 12. 特になし |

【3. あなたの健康についてうかがいます】

問14 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問15 あなたは、現在どの程度幸せですか。(あてはまるもの1つに○)

- ※ 「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、点数に○をつけてください
(とても不幸) ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 (とても幸せ)

問16 日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問17 ご本人 (調査対象者) が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 脳血管疾患 (脳卒中) | 2. 心疾患 (心臓病) |
| 3. 悪性新生物 (がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患 (透析) | 6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病 (関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病 (パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 () |
| 15. なし | 16. わからない |

問18 要介護度の維持・改善に向けて、①取り組みむべきと考えることは何ですか。また、②今実践している内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

内容	①取り組みむべきと考えること	②今実践していること
1. 足腰の筋力を鍛えること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. バランス能力を高めるような運動をすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 適正な体重を維持すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. バランスの良い食生活をすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. お酒の飲み方に気を付けること(休肝日を設ける等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 定期的に健康診査を受けること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 近所つきあいをすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 趣味を持つこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 仕事をすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 地域活動やボランティアに参加すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 認知症にならないように脳トレをすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問19 現在の暮らしにおける、在宅医療サービス[※]の利用の有無を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療(医師の訪問)	2. 訪問看護(看護師の訪問)
3. 訪問歯科診療(歯科医師の訪問)	4. 訪問歯科衛生指導(歯科衛生士の訪問)
5. 訪問栄養指導(栄養士の訪問)	
6. 訪問リハビリテーション(理学療法士、作業療法士、言語療法士等のリハビリ専門職の訪問)	8. 利用していない
7. 訪問薬剤指導(薬剤師の訪問)	

※在宅医療サービスとは、通院困難な方の自宅などを訪問して医療を行うことです。

問20 在宅医療サービスに対する考えを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に利用したい	2. 必要があれば利用したい
3. できれば利用したくない	4. 利用するつもりはない

【4. 認知症についてうかがいます】

問21 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(あてはまるもの1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問22 自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに(誰に)相談しようと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけ医	2. 病院・診療所等(精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等)
3. 地域包括支援センター	4. 区役所・保健所
5. ケアマネジャー	6. 民生委員
7. 社会福祉協議会	8. 認知症の方と介護者を支援する家族会やNPO法人
9. その他()	
10. わからない	

問23 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持つて生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 言葉も内容も知らない
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
3. 言葉も内容も知らない

問24 認知症になった人について、あなたも近頃と感じるイメージをご回答ください。(あてはまるもの1つに○)

1. 認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができています
2. 認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる
3. 認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる
4. 認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる
5. わからない

問25 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」として以下のごことは実現できていると思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区民が「新しい認知症観」を理解していること
2. 日常生活において認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できること
3. 認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること
4. 認知症の人が就労、ボランティア、趣味の活動など地域や社会で人と関わっていること
5. 認知症の人が地域で役割を果たしていること
6. 認知症の人が自分らしく暮らせること
7. わからない

問26 認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい(現在取り組んでいるものを含む)ことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 定期的な運動	2. 運動と頭の体操の組み合わせ
3. バランスの取れた食事	4. 禁煙、飲酒制限
5. 社会参加・活動	
6. かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談	
7. その他()	8. 特にない

問27 区が実施している認知症施策を知っていますか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 大田区認知症サポートガイド～認知症ケアパス～ | 2. 認知症サポーター養成講座 |
| 3. 高齢者見守りアイコンシールと見守りシール | 4. 認知症カフェ (オレンジカフェ) |
| 5. 高齢者見守りメール | 6. 認知機能検診 |
| 7. 若年性認知症支援相談窓口 | 8. 知っているものはない |

【5. 今後の生活に関するご希望についてうかがいます】

問28 今後、どのような暮らし方を希望しますか。(もっとも近い考え1つに○)

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. 自宅で主に介護サービス等を利用したい | 8. わからない |
| 2. 自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい | |
| 3. 子どもや親族等の家で介護をしてもらいたい | |
| 4. 公営住宅 (シルバーピア等) での生活 | |
| 5. 公的な施設 (特別介護老人ホーム等) での生活 | |
| 6. 民間の施設 (有料老人ホーム等) での生活 | |
| 7. その他 () | |

【各施設等の概要】

シルバーピア	収入に応じた家賃のバリアフリー公的賃貸住宅
特別介護老人ホーム	常時介護が必要で居宅の生活が困難な要介護者に対する施設
有料老人ホーム	介護や生活支援を施設内で受けられる高齢者向け住まい

問29 現時点での、施設等[※]への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討してない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |
- ※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどを指します。

問30 今後、在宅での生活を継続するにあたり、必要と感じることを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 医師による24時間対応の往診 | 2. ヘルパーや看護師による24時間対応の訪問ケア |
| 3. 随時利用可能なデイサービスやショートステイ | 4. 配食や買い物、こみ出し等の生活支援サービス |
| 5. 認知症に対応可能な医療・介護サービス | 6. バリアフリーに対応した住まいの構造や設備 |
| 7. 介護や医療費に対する経済的負担の軽減 | 8. 困ったときいつでも相談できる身近な場 |
| 9. 声かけや見守り等の地域の支え | 10. 家族の理解・協力 |
| 11. その他 () | 12. わからない |

問31 あなたが人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合いたいと思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 話し合ったことがある | 2. 話し合ったことはないが話し合いたい |
| 3. 話し合いたいかな相手がいらない | 4. 話し合いたいと思わない |

【6. 大田区の取組についてうかがいます】

問32 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている | |
| 2. 名前を知っている程度で、どのようなことをしているかは知らない | |
| 3. 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っている | |
| 4. 知らない・名前も聞いたことはない | |

問33 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービス、②今後利用したいサービスを教えてください。(それぞれ、あてはまるものに○)

サービス	①知っている	②利用したい	サービス	①知っている	②利用したい
1. いきいき高齢者入浴事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 老人いきいきの家 (ゆうゆうくらぶ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 高齢者見守りキーホルダー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. マイ・タイムライン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 高齢者ほっとテレフォン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 老いじたく (終活) の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. シニアステーション事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 成年後見制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. おおたフレイル予防事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 大田区いきいきしごとステーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 遊業行動要支援者名簿の登録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. シルバー人材センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※各事業、サービスの内容については、大田区ホームページ内の“キーワード検索”で上記のサービス名を入力いただく確認することができます。

問34 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考ええる事業・サービスを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 高齢者への就労支援 | 2. 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進 |
| 3. 介護が必要にならないための介護予防事業の充実 | 4. 高齢者の見守り体制の充実 |
| 5. 困ったときに気軽に相談ができる体制の整備 | 6. 認知症の方やその家族への支援 |
| 7. 家族介護者への支援 | 8. 介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止 |
| 9. 住み慣れた地域で生活を継続できる介護サービスの整備 | 10. 特別介護老人ホーム等の施設の増設 |
| 11. 地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり | 12. 災害時に高齢者を支援する体制の整備 |
| 13. その他 () | 15. 特になし |
| 14. わからない | |

問35 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

--

【7. 介護保険サービス等の利用状況についてうかがいます】

問36 令和7年10月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(あてはまるもの1つを○)

1. 利用した 2. 利用していない

問36において、「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問37 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
 2. 本人にサービス利用の希望がない
 3. 家族が介護をするため必要ない
 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
 5. 利用料を支払うのが難しい
 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
 9. その他 ()

問38 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配食
 2. 調理
 3. 掃除・洗濯
 4. 買い物(宅配は含まない)
 5. 預貯金の出し入れや支払い手続き
 6. ごみ出し
 7. 服薬管理
 8. 外出同行(通院、買い物など)
 9. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
 10. 見守り、声かけ
 11. サロンなどの定期的な通いの場
 12. その他 ()
 13. 利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問39 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。

- (あてはまるものすべてに○)
1. 配食
 2. 調理
 3. 掃除・洗濯
 4. 買い物(宅配は含まない)
 5. 預貯金の出し入れや支払い手続き
 6. ごみ出し
 7. 服薬管理
 8. 外出同行(通院、買い物など)
 9. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
 10. 見守り、声かけ
 11. サロンなどの定期的な通いの場
 12. その他 ()
 13. 特にない

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問40 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(あてはまるもの1つに○)

1. ない 調査はここで終了です。ご協力ありがとうございました
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3. 週に1~2日ある 次ページ【B票】にお進みください
4. 週に3~4日ある 5. ほぼ毎日ある

【B票】

※問40で「1. ない」以外の回答をされた方は、「B票」問41~50にご回答ください。なお、これらの質問については、主な介護者の方にご回答ください。ただし、主な介護者によるご回答、ご記入が難しい場合は、ご本人(調査対象者の方)がわかる範囲でご回答・記入ください。

問41 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(あてはまるものすべてに○) ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
 3. 主な介護者が転職した
 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
 6. わからない

問42 主な介護者の方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 配偶者
 2. 子
 3. 子の配偶者
 4. 孫
 5. 兄弟・姉妹
 6. その他 ()

問43 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男性
 2. 女性

問44 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(あてはまるもの1つに○)

1. 20歳未満
 2. 20代
 3. 30代
 4. 40代
 5. 50代
 6. 60代
 7. 70代
 8. 80歳以上
 9. わからない

問45 主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
 2. 夜間の排泄
 3. 食事の介助(食べる時)
 4. 入浴・洗身
 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
 6. 衣服の着脱
 7. 屋内の移乗・移動
 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 服薬
 10. 認知症状への対応
 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 【生活援助】
12. 食事の準備(調理等)
 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他 () 16. わからない

3. 第2号被保険者調査 調査票

管理番号 533XXXX、パスワード：XXXX

大田区高齢者等実態調査へのご協力のお願い (第2号被保険者調査)

日ごろから大田区政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、区では「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画～」の策定に向け、区民の皆様のご意見をうかがうため、「大田区高齢者等実態調査」を実施します。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の充実に向け、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月
大田区

1. 本調査の対象者について

○調査の基準日である令和7年10月1日現在、介護保険の第2号被保険者のうち、要介護・要支援認定を受けていない55～64歳の方の中から1,300名の方を無作為に選び、ご回答をお願いしています。

2. 本調査へのご回答について

○回答にあたっては、封筒のあて名は、ご本人についてご記入ください。
○あて名のご本人が回答できる場合は、ご本人が回答してください。
○ご本人が回答できない場合は、ご家族等がご本人の立場で代わりにお返してください。

3. 個人情報の取り扱いについて

○この調査は、効果的な高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区で適切に管理いたします。
○本調査票へのご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものといたします。

4. 回答方法について

○ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和7年12月1日(月)**までにポストに投函してください。なお、返信用封筒に切手を貼る必要はありません。

インターネットでアンケートに回答することもできます。



スマートフォンのカメラ機能で右の二次元コードを読み取ります。



パソコンで大田区ホームページのトップ画面からページ番号338795899で検索します。

キーワード検索 ページ番号検索

338795899

URLのポップアップを押します。

ログイン画面で管理番号 533XXXX、パスワード XXXX を入力します。

お問合せ先

大田区福祉部高齢福祉課計画担当 電話：03-5744-1257
介護保険課計画担当 電話：03-5744-1732



-1-

【1. あなたの（あて名のご本人）のお住まいの状況についてうかがいます】

問1 家族構成を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし
3. 二世帯の世帯（未婚の子どもまたは子ども夫婦と同居）
4. 二世帯の同居（親と同居）
5. その他（ ）

問2 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（あてはまるもの1つに○）

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 借家
7. その他（ ）

問3 現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありませんか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住宅がバリアフリーになっていない
2. 居室が狭い
3. 空調がない、設置できない
4. 建物が老朽化し、耐震性に不安
5. ローン、家賃が高く経済面で不安
6. 修繕等の必要経費の確保が難しい
7. その他（ ）
8. 特に心配や不安を感じることはない

【2. あなたの健康についてうかがいます】

問4 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（あてはまるもの1つに○）

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問5 あなたは、現在のどの程度幸せですか。（あてはまるもの1つに○）

※ 「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、点数に○をつけてください

(とても不幸) ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 (とても幸せ)

問6 日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。（あてはまるもの1つに○）

1. いる
2. いない

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症（脂質異常）
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11. 外傷（転倒・骨折等）
12. がん（悪性新生物）
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症（アルツハイマー病等）
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他（ ）

-2-

問8 いざいざと充実した高齢期の生活を送るために、①これから取り組んだ方がよいことはなんだと思いますか。また、②今実践していることはありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

内容	①取り組んだ方がよい	②今実践している
1. 足腰の筋力を鍛えること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. バランス能力を高めるような運動をすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 適正な体重を維持すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. バランスの良い食生活をすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. お酒の飲み方に気を付けること(休肝日を設ける等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 定期的に健康診査を受けること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 近所づきあいをすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 趣味を持つこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 仕事をすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 地域活動やボランティアに参加すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 認知症にならないよう脳トレをすること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

《3. あなたの現在の生活についてうかがいます》

問9 趣味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 趣味あり(具体的に:) 2. 思いつかない

問10 生きがいがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 生きがいあり(具体的に:) 2. 思いつかない

問11 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

問12 日常生活での心配ごとはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ご自身や家族の健康 2. 家族の介護
3. 地震・台風等の自然災害 4. 孤独・孤独への不安
5. 住まいのこと 6. 日常の家事・仕事
7. 収入・生活費に関すること 8. 趣味がないこと
9. 詐欺・悪質商法の被害にあうこと 10. 生活に必要な情報の収集
11. その他() 12. 特になし

問13 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある
3. 月に何度かある 4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問14 以下の通信・通話機器を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 携帯電話(スマートフォン以外) 2. スマートフォン
3. タブレット端末 4. パソコン
5. どれも使っていない

問14において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方にかがいます。

問14-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通話・メール 2. 写真撮影
3. ゲーム 4. 動画・テレビ視聴
5. ネットショッピング 6. 健康管理
7. インターネット検索 8. LINEなどSNS
9. 決済サービス 10. その他()

【4. 地域の活動への参加状況や、地域のたすけあいに対する考えについてうかがいます】

問 15 地域活動について、以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。(①から⑧についてそれぞれ1つに☑)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループや クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ シニアクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 自治会・町会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 16 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 17 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 18 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり(住民同士の助け合い・支え合い等)の必要性についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 必要だと思う 2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要ないと思う 4. 必要ないと思う

問 19 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり(住民同士の助け合い・支え合い等)を実際に感じることはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 感じる 2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない 4. 感じない

問 20 介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材の担い手が不足していることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

問 21 急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。

これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたや家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを受ける場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日々の見守りのための声かけ 2. ごみ出しなどのちよっとした作業
3. 掃除の手伝い 4. 料理の手伝い
5. 洗濯の手伝い 6. 趣味活動への同行
7. 買い物 8. 相談相手
9. 依頼できることはない

問 22 高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対面がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 無償で行うべきだと思う (交通費補助や謝礼など)
2. 有償で行うべきだと思う

問 23 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(あてはまるもの1つに○)

1. 無償でも参加したい。
2. 有償ならば参加したい(興味がある)。
3. ボランティア自体に興味がない(対面に関わらず参加しない)。

問 24 あなたがボランティアとして活動する場合、どのような内容であれば伝っても良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日々の見守りのための声かけ 2. ごみ出しなどのちよっとした作業
3. 掃除の手伝い 4. 料理の手伝い
5. 洗濯の手伝い 6. 趣味活動への同行
7. 買い物 8. 相談相手
9. その他()

問 25 あなたが有償ボランティアとして活動する場合、適切な対面は1時間あたりいくらだと考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 500円程度で行うのが妥当である。
2. 1,000円程度で行うのが妥当である。
3. その他()円程度

問 26 あなたが有償ボランティアを依頼する場合、報酬は1時間あたりいくらが適切だと考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 500円程度で行うのが妥当である。
2. 1,000円程度で行うのが妥当である。
3. その他()円程度

【5. 認知症についてうかがいます】

問27 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問28 自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに(誰に)相談しようと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. かかりつけ医
- 2. 病院・診療所等 (精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等)
- 3. 地域包括支援センター
- 4. 区役所・保健所
- 5. ケアマネジャー
- 6. 民生委員
- 7. 社会福祉協議会
- 8. 認知症の方と介護者を支援する家族会やNPO法人
- 9. その他 ()
- 10. わからない

問29 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 言葉も内容も知っている
- 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
- 3. 言葉も内容も知らない

問30 認知症になった人について、あなたがもっとも近いと感じるイメージをご回答ください。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている
- 2. 認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる
- 3. 認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる
- 4. 認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる
- 5. わからない

問31 「認知症の人とともに生きる、優しい地域づくり」として以下のごことは実現できていると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 区民が「新しい認知症観」を理解していること
- 2. 日常生活において認知症の人の意思が尊重され、本人が望み生活が継続できること
- 3. 認知症の人が自分の思いを伝えることのできる家族、友人、仲間がいること
- 4. 認知症の人が、就労、ボランティア、趣味の活動など地域や社会で人と関わっていること
- 5. 認知症の人が地域で役割を果たしていること
- 6. 認知症の人が自分らしく暮らせること
- 7. わからない

問32 認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進捗を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい(現在取り組んでいるものを含む)ことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 定期的な運動
- 2. 運動と頭の体操の組み合わせ
- 3. バランスの取れた食事
- 4. 禁煙、飲酒制限
- 5. 社会参加・活動
- 6. かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談
- 7. その他 ()
- 8. 特にならない

問33 区が実施している認知症施策を知っていますか。(知っているものすべてに○)

- 1. 大田区認知症サポートガイド～認知症ケアパス～
- 2. 認知症サポーター養成講座
- 3. 高齢者見守りアイコンシールと見守りシール
- 4. 認知症カフェ (オレンジカフェ)
- 5. 高齢者見守りメール
- 6. 認知機能検診
- 7. 若年性認知症支援相談窓口
- 8. 知っているものはない

問34 若年性認知症の支援には何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発
- 2. 若年性認知症を診てくれる専門医療機関情報
- 3. 身近な場所や気軽に相談できる相談窓口
- 4. 家族や介護者同士が気軽に情報交換などができる場
- 5. 就労支援
- 6. 日中活動できる場
- 7. その他 ()
- 8. わからない

※若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症を指します。

【原因となる疾患】アルツハイマー病、脳血管疾患、頭部外傷後遺症、前頭側頭葉変性症等
 【症状】年齢的に若いことから、うつ病やストレス等といった他の病気を誤解され、なかなか診断がつかなかったり、働き盛りに発症するため、治療や介護の期間が長期に渡り、本人や家族の経済面や心理面等においての負担は大きいといえます。

《6. 将来の生活や高齢者の介護についてうかがいます》

問35 万が一介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。

(もっとも近い考え1つに○)

1. 自宅で主に介護サービス等を利用したい
2. 自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい
3. 子どもや親族等の家で介護をしてもらいたい
4. 公営住宅（シルバーピア等）での生活
5. 公的な施設（特別養護老人ホーム等）での生活
6. 民間の施設（有料老人ホーム等）での生活
7. その他（ ）
8. わからない

【各施設等の概要】

シルバーピア	収入に応じた家賃のバリアフリー公的賃貸住宅
特別養護老人ホーム	常時介護が必要で居宅の生活が困難な要介護者が対象の施設
有料老人ホーム	介護や生活支援を施設内で受けられる高齢者向け住まい

問36 介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるために、必要と感ずることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 医師による24時間対応の往診
2. ヘルパーや看護士による24時間対応の訪問ケア
3. 随時利用可能なデイサービスやショートステイ
4. 配食や買い物、こみ出し等の生活支援サービス
5. 認知症に対応可能な医療・介護サービス
6. バリアフリーに対応した住まいの構造や設備
7. 介護や医療費に対する経済的負担の軽減
8. 困ったときにいつでも相談できる身近な場
9. 声かけや見守り等の地域の支え
10. 家族の理解・協力
11. その他（ ）
12. わからない

問37 在宅医療サービス※に対する考えを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に利用したい
2. 必要があれば利用したい
3. できれば利用したくない
4. 利用するつもりはない

※ 在宅医療サービスとは、通院困難な方の自宅などを訪問して医療を行うことです。

問38 これまでにご家族や親戚の方等の介護を行った経験はありますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. ある（現在も行っている）
2. ある（現在は行っていない）
3. ない

問39 あなたが現在行っている中で不安に思う介護の内容、あるいは今後誰かの介護をすることを想像したときに不安を感じるものを教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
 2. 夜間の排泄
 3. 食事の介助（食べる時）
 4. 入浴・移身
 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
 6. 衣服の着脱
 7. 屋内の移乗・移動
 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 服薬
 10. 認知症への対応
 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 【生活援助】
12. 食事の準備（調理等）
 13. その他の家事（掃除、洗濯、洗濯、買い物等）
 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他（ ）
 16. 不安に感じることとは特にならない
 17. わからない

問38 において「1. ある（現在も行っている）」と回答した方にうかがいます。

問40 介護をするにあたって、何か働き方についての調整をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、短時間勤務、運出・早帰・中抜け等）」しなから、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

問41 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（ ）
10. 特にならない
11. わからない

《7. 大田区の取組についてうかがいます》

問 42 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている
2. 名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない
3. 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた
4. 知らない・名前も聞いたことはない

問 43 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考ええる事業・サービスを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者への就労支援
2. 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進
3. 介護が必要にならないための介護予防事業の充実
4. 高齢者の見守り体制の充実
5. 困ったときに気軽に相談ができる体制の整備
6. 認知症の方やその家族への支援
7. 家族介護者への支援
8. 介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止
9. 住み慣れた地域での生活を長時間支える介護サービスの整備
10. 特別養護老人ホーム等の施設の増設
11. 地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり
12. 災害時に高齢者を支援する体制の整備
13. その他()
14. わからない
15. 特がない

問 44 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないか確認いただき、返信用封筒にてご返送ください。
(切手は不要です)

4. 未把握高齢者世帯等調査 調査票

管理番号:54XXXX
大田区高齢者等実態調査へのご協力をお願い (未把握高齢者世帯等調査)

日ごろから大田区政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
 このたび、区では「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画～」の策定に向け、区民の皆様のご意見をうかがうため、「大田区高齢者等実態調査」を実施します。
 ご多忙のところ恐縮に存じますが、大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の充実に向け、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月
 大田区

1. 本調査の対象者について

▶ 調査の基準日である令和7年10月11日現在、要支援・要介護認定を受けていない等、区の事業を利用していない一人暮らしの高齢者及び高齢者のみ世帯の方の中から800名の方を無作為に選び、ご回答をお願いしています。

2. 本調査へのご回答について

○回答にあたっては、封筒のあて名のご本人についてご記入ください。
 ○あて名のご本人が回答できる場合は、ご本人が回答してください。
 ○ご本人が回答できない場合は、ご家族等がご本人の立場で代わりに回答してください。

3. 個人情報の取り扱いについて

○この調査は、効果的な高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区で適切に管理いたします。
 ○本調査票へのご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものとなります。

4. 回答方法について

▶ にご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和7年12月11日(月)** までにポストに投函してください。なお、返信用封筒に切手を貼る必要はありません。

訪問調査について

締切日の時点で未回答の世帯の方へは、地域包括支援センターの職員による訪問調査を12月5日から12月26日までの期間で実施させていただきますので、ご協力いただきたくお願い申し上げます。



〒144-8621 東京都大田区蒲田5-13-14
 大田区福祉部高齢福祉課計画担当 電話：03-5744-1257
 介護保険課計画担当 電話：03-5744-1732

お問合せ先

問1 家族構成を教えてください。(あてはまるもの1つに○)	1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし							
	3. 息子・娘との2世帯	4. その他 ()							
問2 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)	1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない					
問3 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(あてはまるもの1つに○) ※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、点数に○をつけてください (とても不幸) ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 (とても幸せ)									
問4 生きがいがありますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 生きがいあり (具体的に:)	2. 思いつかない							
問5 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり (住民同士の助け合い・支え合い等) を実際に感じることはありませんか。(あてはまるもの1つに○)	1. 感じる	2. どちらかといえば感じる							
	3. どちらかといえば感じない	4. 感じない							
問6 いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、今実践していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)	1. 足腰の筋力を鍛えること	2. バランス能力を高めるような運動をすること							
	3. 適正な体重を維持すること	4. バランスの良い食生活をする							
	5. タバコを吸わないこと (禁煙・減煙・分煙)	6. お酒の飲み方に気を付けること (休日を除く等)							
	7. 定期的に健康診査を受けること	8. 歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること							
	9. 近所づきあいをすること	10. 趣味を持つこと							
	11. 仕事をすること	12. 地域活動やボランティアに参加すること							
	13. 認知症にならないよう脳トレをすること	14. その他 ()							
	15. 特になし								
問7 週に1回以上は外出していますか。(あてはまるもの1つに○)	1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回	4. 週5回以上					
問8 最寄りの駅またはバス停までの①移動手段と②所要時間を教えてください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)	①移動手段: 1. 徒歩	2. 自転車	3. バス	4. その他 ()					
	②所要時間: 1. 0~5分	2. 6~10分	3. 11~15分	4. 16分以上					

問9 以下の通信・通信機器を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 携帯電話(スマートフォン以外)	2. スマートフォン
3. タブレット端末	4. パソコン
5. どれも使っていない	

問9において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方(うかがいます)。

問9-1 通信・通信機器をどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通話・メール	2. 写真撮影
3. ゲーム	4. 動画・テレビ視聴
5. ネットショッピング	6. 健康管理
7. インターネット検索	8. LINEなどSNS
9. 決済サービス	10. その他()

問10 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	

問11 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看護や世話をしてくれる人はいいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	

問12 日常生活での心配ごとはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ご自身や家族の健康	2. 家族の介護
3. 地震・台風等の自然災害	4. 独居・孤独への不安
5. 住まいのこと	6. 日常の家事・仕事
7. 収入・生活費に関すること	8. 趣味がないこと
9. 詐欺・悪質商法の被害にあうこと	10. 生活に必要な情報の収集
11. その他()	12. 特になし

問13 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている
2. 名前を知ったことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない
3. 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っている
4. 知らない・名前も聞いたことはない

問14 大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービス、②今後利用したいサービスを教えてください。(それぞれ、あてはまるものに○)

サービス	①知っている	②利用したい
1. いきいき高齢者入浴事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 高齢者見守りキーホルダー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 高齢者ほっとテレフォン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. シニアステーション事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. おおたフレイル予防事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 遊離行動要支援者名簿の登録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サービス	①知っている	②利用したい
7. 老人いこいの家(ゆうゆうくらぶ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. マイ・タイムライン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 孝いじたく(終活)の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 成年後見制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 大田区いきいきしごとステーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. シルバー人材センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※各事業、サービスの内容については、大田区ホームページ内の「キーワード検索」で上記のサービス名を入力いただくこと確認することができます。

問15 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考ええる事業・サービスを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 高齢者への就労支援
- 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進
- 介護が必要にならないための介護予防事業の充実
- 高齢者の見守り体制の充実
- 困ったときに気軽に相談ができる体制の整備
- 認知症の方やその家族への支援
- 家族介護者への支援
- 介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止
- 住み慣れた地域での生活を24時間支える介護サービスの整備
- 特別養護老人ホーム等の施設増設
- 地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり
- 災害時に高齢者を支援する体制の整備
- その他()
- わからない
- 特になし

問16 区が実施するイベントや講座をどれか3つを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 広報おた、区報など	2. 大田区の公式ホームページ
3. 区の公式SNS(X、LINE)	4. 区設掲示板
5. 町会・自治会・老人クラブ等の地域団体	6. 知人・家族・友人などの口コミ
7. 地域包括支援センター職員	8. 介護サービス事業者(ケアマネジャー等)
9. チャリン・ポスター(公共施設・病院などで)	10. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
11. その他()	12. 情報は特に得ていない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないかご確認いただき、返信用封筒にてご返送ください。
(切手は不要です)

5. 介護サービス事業者等調査 調査票

A. 貴事業所の属性についてうかがいます サ、居、包
問1 貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)
 1. 営利法人(株式会社・有限会社・合同会社等) 2. 財団法人・社団法人
 3. 社会福祉法人 4. 医療法人・医療社団法人・医療法人財団
 5. 特定非営利活動法人(NPO法人) 6. 協同組合
 7. その他()

問2 貴事業所で提供されている介護保険サービスをお答えください。(あてはまるもの1つを選択)
 ※はかきの宛名の下に記載されているサービスを選択してください。

1～17. サービス提供事業所

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護 |
| 3. 訪問看護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 通所介護 | 6. 通所リハビリテーション |
| 7. 特定施設入居者生活介護 | 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 9. 夜間対応型訪問介護 | 10. 地域密着型通所介護 |
| 11. 認知症対応型通所介護 | 12. 小規模多機能型居宅介護 |
| 13. 認知症対応型共同生活介護 | 14. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 15. 介護老人福祉施設 | 16. 介護老人保健施設 |
| 17. 介護医療院 | 18. 居宅介護支援 |
| 19. 地域包括支援センター | |

※これからの設問は事業所種別に応じて回答 WEB フォームが自動的に表示されます。

サービス提供事業所	提供事業所	居宅介護事業所	地域包括ケア
A. 貴事業所の属性についてうかがいます	対象	対象	対象
B. 貴事業所の現状についてうかがいます	対象	対象	対象
C. 今後の事業継続に向けた考えや課題についてうかがいます	対象	対象	対象
D. 人材の確保・育成・定着に関する取組状況についてうかがいます	対象	対象	対象
E. サービスの質の向上や業務効率化に関する取組についてうかがいます	対象	対象	対象
F. ハラスメントに関する取組についてうかがいます	対象	対象	対象
G. 認知症に関する取組等についてうかがいます	対象	対象	対象
H. 科学的介護や看取り等に関する取組についてうかがいます	対象	対象	対象
I. 困難事例等についてうかがいます	対象	対象	対象
J. 大田区の取組についてうかがいます	対象	対象	対象
K. ケアマネジメントの質の向上に向けた取組についてうかがいます	対象	対象	対象
L. 地域の介護サービスの提供状況についてうかがいます	対象	対象	対象
M. 他機関との連携についてうかがいます	対象	対象	対象
N. 認知機能の評価に関する取組状況についてうかがいます	対象	対象	対象
O. 置籍内の高齢者の移動手段についてうかがいます	対象	対象	対象

大田区高齢者等実態調査へのご協力のお願い (介護サービス事業者等調査)

日ごろから大田区政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
 このたび、区では「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画～」の策定に向け、介護サービス事業者等の皆様のご意見をうかがうため、「大田区高齢者等実態調査」を実施します。
 ご多忙のところ恐縮に存じますが、大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の充実に向け、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月
 大田区

- 本調査の対象者について
 ○調査の基準日である令和7年10月1日現在、区内で介護サービス(福祉用具貸与・販売及び住宅改修を除く)を運営する600事業所に対して、ご回答をお願いしています。
- 本調査へのご回答について
 ○同一の事業所において複数のサービスを提供している場合には、これらの質問に対し、はがきのあて名に記載されているサービスについてご回答ください。
 ○本調査は「サービス提供事業所」、「居宅介護支援事業所」、及び「地域包括支援センター」に對して調査項目ごとに対象者がお答えいただくように構成しています。一部の設問については貴事業所の事業に該当しない設問が含まれている可能性があります。ご容赦ください。
 ○この調査票は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご回答ください。なお、貴事業所単独で回答が難しい質問に関しては、運営主体の法人と調整のうえ、ご回答をお願いいたします。
- 情報の取扱いについて
 ○本調査においては、情報の取扱いには万全を期すとともに、調査結果は統計的に処理をするため、各事業所の回答内容が他に漏れることはありません。
- 回答方法について
 ○WEB アンケートフォームに入力のうえ、**令和7年12月1日(月)**までに登録を完了するようにしてください。

お問合せ先
 大田区福祉部高齢福祉課計画担当 電話：03-5744-1257
 介護保険課計画担当 電話：03-5744-1732

B. 貴事業所の現状についてうかがいます サ、居

問3 貴事業所における、令和3(2021)年度及び令和6(2024)年度の事業収支について教えてください。(それぞれ、あてはまるもの1つを選択)

令和3(2021)年度	1. 黒字	2. 収支均衡	3. 赤字	4. わからない
令和6(2024)年度	1. 黒字	2. 収支均衡	3. 赤字	4. わからない

問4 令和6(2024)年度の実績[※]には、新型コロナウイルス感染症が発生する前の平成30(2018)年度の実績と比較して、利用者数や利用回数の増減が見られますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 大きく増加した	2. やや増加した	3. あまり変わらない
4. やや減少した	5. 大きく減少した	6. わからない

※はかきの宛名の下に記載されているサービスについてご回答ください。

問5 運営法人及び貴事業所の職員数(令和7(2025)年10月1日現在)についてうかがいます。

(1) 法人全体の職員数について教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

1. 5人以下	2. 6人~30人	3. 31人~50人
4. 51人~100人	5. 101人~300人	6. 301人以上

(2) また、そのうち、貴事業所にてはかきの宛名の下に記載されたサービス[※]の提供に携わっている職員数を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

1. 5人以下	2. 6人~9人	3. 10人~14人
4. 15人~19人	5. 20人~29人	6. 30人~49人
7. 50人以上		

問6 貴事業所で提供されている、介護保険以外のサービス(高齢者に対するサービス)をお答えください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)
5. 預貯金の出し入れや支払い手続き	6. こみ出し
7. 服薬管理	8. 外出同行(通院、買い物など)
9. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	10. 見守り、声かけ
11. サロンなどの定期的な通いの場	12. その他()
13. 介護保険以外のサービス提供はない	

C. 今後の事業継続に向けた考えや課題等についてうかがいます サ、居、包

問7 今後のサービス提供の継続に関し、どのように感じますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 問題なく継続できる	2. 継続できるが不安である
3. わからない	

※はかきの宛名の下に記載されているサービスについてご回答ください。

問8 今後の事業継続に関し、不安なことや課題と感じているのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 人材の確保・育成・定着	2. 事業所職員の円滑な世代交代
3. 事業資金の確保	4. 利用者(新規・継続)の確保
5. 介護保険制度や介護報酬の改定	6. 利用者のニーズの多様化・複雑化への対応
7. 事業者間の競争の激化	8. 地代や燃料費等、物価の高騰への対応
9. 利用者・家族等からのハラスメント	10. その他社会情勢の変化
11. その他()	12. 特になし

問9 今後は高齢化の進展に伴い、介護サービスの需要が増加することが見込まれます。令和11(2029)年頃を見越して、貴事業所で提供している介護サービスの需要増加に対応してサービス提供[※]を増やすことは可能だと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 現状の体制で対応可能である	2. 職員を増やす等、異体制を強化して対応するつもりである
3. これ以上のサービス提供は難しい	4. その他()
5. わからない	

※はかきの宛名の下に記載されているサービスについてご回答ください。

問10 災害時や緊急事態等の事業継続について、貴事業所ではどのような準備を進めていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 被災時の対応や避難誘導等の確認	2. 防災訓練の実施
3. 緊急時の物資の備蓄	4. 感染症対策に関する方針の検討
5. 利用者の相互受け入れや職員の相互応援等の協定の締結	
6. その他()	7. 特に行っていない

問11 災害時や緊急事態等の事業継続に向けた準備について、どのようなことが課題となっていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 業務継続計画(BCP)の運用・見直し	2. 緊急時に対応できる人材の確保・育成
3. 施設や事業所の安全性の確保	4. 災害時等の利用者の受け入れ先の確保
5. 災害時要配慮者への対応	6. 緊急時の連絡体制の整備
7. 緊急時の利用者の安全確認	8. 行政や他の事業所等との連携
9. その他()	10. 特になし

D. 人材の確保・育成・定着に関する取組状況についてうかがいます サ、居、包

問12 現在、サービスの提供に十分な人材を確保できていますか
(それぞれ、あてはまるもの1つを選択)

直接的にサービス提供に携わる人材	1. 確保できている	2. やや不足している	3. 不足している
マネジメント人材	1. 確保できている	2. やや不足している	3. 不足している

※はかきの病名の下に記載されているサービスについてご回答ください。

問13 貴事業所における、直近1年間の職員の採用及び離職の状況について教えてください。

令和6(2024)年10月1日～令和7(2025)年9月30日に新採用した人数	令和6(2024)年10月1日～令和7(2025)年9月30日に離職した人数	令和6(2024)年10月1日時点の職員数	1年前の職員数
()人	()人	()人	()人

問14 貴事業所における人材確保のため、(1) 実際に行っている取組と(2) 今後必要とする取組についてうかがいます。(あてはまるものすべてを選択)

	(1) 実際に行っている取組	(2) 今後必要とする取組
1. 職員からの紹介(口コミ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. ハローワーク	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 新聞・雑誌等の求人広告	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 求人・転職情報サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 人材派遣・人材紹介サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 自社ホームページ、SMS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 東京都福祉人材センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 学校訪問	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 地域の平均的水準より高額な賞金の提示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 資格取得にかかる費用の助成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 就業希望者の要望に基づく労働条件の調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 福利厚生者の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 他の介護事業者との間での人事交流の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問15 貴事業所における人材育成のため、(1) 実際に行っている取組と(2) 今後必要とする取組についてうかがいます。(あてはまるものすべてを選択)

	(1) 実際に行っている取組	(2) 今後必要とする取組
1. OJTの実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 法人内部での研修や勉強会の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 外部の研修・研究会等への参加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 資格取得支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 人事評価制度の構築・実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 仕事のやりがいや社会的意義の伝達	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 法人の理念の伝達	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問16 貴事業所における人材定着のため、(1) 実際に行っている取組と(2) 今後必要とする取組についてうかがいます。(あてはまるものすべてを選択)

	(1) 実際に行っている取組	(2) 今後必要とする取組
1. 賃金・労働時間等の労働条件の改善	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 能力や仕事ぶりの評価に基づく配置や処遇への反映	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 仕事内容と必要な能力等の明示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 求職者とのミスマッチ解消のための説明機会の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 新人の指導担当・メンター等の設置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 研修等の能力開発の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 労働時間や業務内容の希望を反映	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 希望休や有給休暇を取得しやすい職場環境の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. ICTやAIを用いたシフト組み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 子育て中の職員が働きやすい環境づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 休職や復職がしやすい環境づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 家族等を介して介護している職員が働きやすい環境づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 悩み・不満等の相談窓口の設置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 定期的な面談の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 非正規職員から正規職員への転換機会の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 勤続年数に応じた報奨制度の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 介護職キャリアアップ段階など評価制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 職場内のコミュニケーションの円滑化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問17 人材の確保・育成・定着に関し、課題となっているのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 求人を出しても応募者が少ない
2. 応募はあるが適当な人材の採用につながらない
3. 有資格者が少なく、応募の対象となる人が少ない
4. 長期間、安定的に働いてくれる人が少ない
5. 同業他社との競争が激しい
6. 介護以外の業種との競争が激しい
7. 退職する人が多くて採用が追いつかない
8. 人材確保の問題から職数を増やすことができない
9. 人材確保・育成の効果がわかりにくい
10. 人材の確保・育成にかかる費用が捻出できない
11. 人材の確保・育成に取り組む時間が捻出できない
12. 人材紹介会社や人材派遣会社等の手数料が高額となっている
13. その他 ()
14. 特になし

問18 貴事業所における、以下の人材の、(1)令和7(2025)年10月1日現在の受入状況を教えてください。また(2)今後の活用に関する考えを教えてください。(それぞれ、あてはまるものすべてを選択)

人材の種類	(1) 現在の受入状況	(2) 今後の活用に関する考え
高齢者 (65歳以上)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に直接携わる人材として受け入れている () 人 2. 事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている () 人 3. 現在は受け入れていない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に直接携わる人材として受け入れたい 2. 補助的な業務を担う人材として受け入れたい 3. 受け入れるつもりはない 4. わからない
障がい者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に直接携わる人材として受け入れている () 人 2. 事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている () 人 3. 現在は受け入れていない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に直接携わる人材として受け入れたい 2. 補助的な業務を担う人材として受け入れたい 3. 受け入れるつもりはない 4. わからない
外国人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に直接携わる人材として受け入れている () 人 2. 事務や補助的な業務を担う人材として受け入れている () 人 3. 現在は受け入れていない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に直接携わる人材として受け入れたい 2. 補助的な業務を担う人材として受け入れたい 3. 受け入れるつもりはない 4. わからない

※「補助的な業務」とは、掃除や食事の配膳・片づけ、ベッドメイキング、利用者の会話の相手、移動の付き添い、レクリエーションの実施や補助、送迎等、専門的な業務(身体介護等)以外の業務を指します。

問19 外国人人材の活用に関し、課題となるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 日本語の習得
2. 職員や利用者とのコミュニケーション
3. 仕事の理解や技術の習得
4. 日本の文化や習慣を理解してもらうこと
5. サービス利用者からの理解を得ること
6. 一緒に働く日本人職員からの理解を得ること
7. 外国人材の募集や採用の仕方がわからない
8. どのような業務で活用できるかわからない
9. 外国人材の育成担当者の確保・育成
10. 外国人材の雇用に関する費用負担
11. 新規入国者の住宅の確保
12. 外国人材に関する規制緩和(資格要件、在留資格等)
13. その他 ()
14. 特になし

E. サービスの質の向上や業務効率化に関する取組についてうかがいます。サ、居、包
問20 貴事業所では、サービスの質の向上や業務効率化の改善に向けて、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 自己評価の実施とその活用
2. 利用者による評価の実施とその活用
3. 第三者評価の実施とその活用
4. 業務プロセスの見直し・改善
5. 苦情・相談対応に関するマニュアルの作成
6. 苦情・相談対応に関するマニュアルの作成
7. 事業所内での研修・講習会の実施
8. 外部の研修や勉強会への参加
9. OJTやメンター等による指導・育成
10. サービス提供マニュアルの作成
11. 従業員の資格取得への支援
12. 事業者間の交流
13. ICT機器や介護ロボットの導入
14. 事業者連絡会への出席
15. 専門家、コンサルタントの活用
16. その他 ()
17. 特に行っていない

問21 貴事業所において、働きやすい環境づくりを進める上での課題はどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 取組の進め方がわからない
2. 取組を進めるための費用が捻出できない
3. 業務が忙しく、改善に取り組む余裕がない
4. 取組に対し職員等の理解や協力が得られない
5. その他 ()
6. 特になし

問22～23は、問20において「13. ICT機器や介護ロボットの導入」と回答した事業所にかかいます。

問22 貴事業所で活用している、ICT機器や介護ロボット等を教えてください。

- (あてはまるものすべてを選択)
1. 利用者請求システム
 2. 介護・業務記録 (バイタルチェック等)
 3. 勤怠管理システム
 4. 移動介護機器 (パワーアシスト装置型機器等)
 5. 移動支援機器 (歩行支援機器等)
 6. 排泄支援機器 (移動可能トイレ等)
 7. 見守り機器 (カメラ、センサー等)
 8. 入浴支援機器 (出入り用リフト等)
 9. グループウェア
 10. ケアプランデータ連携システム
 11. その他 ()

問23 ICT機器や介護ロボット等の導入に関して課題となったこと、あるいは現在課題となっていることについて教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 導入・運用に関するコスト負担が大きい
2. 機器の使用に必要な環境を整えることが難しい
3. 使い勝手が悪い、扱いづらい
4. 操作の習熟に時間や手間がかかる
5. 機器の導入に対し、現場の抵抗感がある
6. 機器の故障等の際、メーカー等にすぐに対応してもらえない
7. 職員から機器の準備が面倒との不満が出る
8. 職員から機器の導入効果が実感しにくいとの不満が出る
9. 導入前よりも結果として作業量が増加する
10. 既存の業務のやり方やシステムとの相違が生じる
11. 既存の業務のやり方を変えることが面倒
12. 利用者等の個人情報取扱いが難しい
13. その他 ()
14. 特になし

H. 科学的介護や看取り等に関する取組についてうかがいます サ、居、包

問29 国では、科学的介護のための情報システムである「LIFE」の普及や活用の促進を図っていますが、貴事業所の取組において、「LIFE」を導入していますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 導入している 2. 導入していない 3. 対象外のサービスである

問30 利用者の要介護度やADLの改善のために、どのような取組を行っているか教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 残存能力の維持・改善
 2. 自主性の尊重と意欲喚起
 3. アセスメント等を通じた個別目標の設定
 4. 個別機能訓練・リハビリの実施
 5. 日常生活の中で訓練的アプローチ
 6. 多職種によるチームアプローチ
 7. 家庭・地域との連携
 8. ICT・記録システム等の活用
 9. その他 ()
 10. 特にない

問31 利用者の看取りへの対応強化について、どのような取組を行っているか教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 看取りケアマニュアルの整備
 2. 職員への看取り研修の実施
 3. 医師・看護師との連携体制の構築
 4. 看取り期のケアカンファレンスの実施
 5. 本人や家族への説明・意識確認の強化
 6. グリーフケアの実施
 7. 看取り実績の記録と振り返りの実施
 8. 緊急時の職員間での24時間対応体制の整備
 9. その他 ()
 10. 特にない

I. 困難事例等についてうかがいます サ、居、包

問32 貴事業所では、次に挙げるような複合的な課題を抱えた困難事例等について、利用者やその家族から相談を受けたことはありませんか。相談を受けたことのある事例を教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 高齢者（利用者及び家族）のひきこもり 2. 利用者の子どもの引きこもり（8050問題）
 3. 世帯の生活困難 4. 介助や支援が必要な家族が複数いる
 5. ヤングケアラー（利用者の孫の世代） 6. 利用者や家族がアルコール等依存症の患者である
 7. 利用者及び家族の非行・犯罪 8. 虐待・家庭内暴力（DV）
 9. ごみ屋敷、セルフネグレクト 10. 詐欺や勧誘等の消費者トラブル
 11. その他 () 12. 相談を受けたことはない

問33 複合的な課題を抱えた困難事例等の相談を受けたことにはない以外のいずれかを回答した事業所にかかいます。問32において、「12. 相談を受けたことはない」以外のいずれかを回答した事業所にかかっていますか。また(2)今後、どのような機関や団体と連携したいですか。(あてはまるものすべてを選択)

機関・団体等	(1)現在、連携している機関や団体	(2)今後、連携したい機関や団体
1. 区役所（生活保護）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 区役所（高齢福祉・介護保険）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 区役所（子ども家庭分野）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 区役所（障がい福祉・その他）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 地域包括支援センター（回着者が地域包括の場合他のセンター）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 社会福祉協議会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 他法人の介護保険サービス事業所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 他法人の障がい福祉サービス事業所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 依存症支援機関・団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 消費者生活センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 医療機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 民生委員・児童委員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 自治会・町会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 警察・消防	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 弁護士・司法書士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問34 困難事例等に対応していくために、必要だと考える支援を教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 外部専門職（精神科医、弁護士、社会福祉士等）との連携強化
 2. 困難事例への対応に関する職員向け研修の充実
 3. 虐待防止・権利擁護に関するマニュアル・ガイドラインの整備
 4. 地域包括支援センターとの連携や支援体制の明確化
 5. 医療機関との連携（認知症・看取り・精神症状等）
 6. 24時間体制や緊急時支援の相談窓口整備
 7. 職員の心身のケア体制（メンタルサポート、相談機関の紹介等）
 8. その他 ()
 9. 特にない

J. 大田区の取組についてうかがいます サ、居、包

問 35 地域での高齢者の在宅生活継続のために、さらに充実が必要と感じる支援・サービス等についてご回答ください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. 預貯金の出し入れや支払い手続き
6. ごみ出し
7. 服薬管理
8. 外出同行(通院、買い物など)
9. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
10. 見守り、声かけ
11. サロンなどの定期的な通いの場
12. その他()
13. 特になし

問 36 今後、事業者に対する支援として充実が望ましいものをご回答ください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 職員採用に対する支援
2. 資格取得に対する支援
3. 研修参加に対する支援
4. 外国人材受入に対する支援
5. 介護職員奨学金返済補助金
6. 福祉機器購入に対する補助金
7. ICT機器の導入支援
8. 介護ロボット購入補助金
9. 物産高騰に対する補助金
10. 介護人材紹介支援(マッチング支援・人材バンク設置)
11. 補助的な業務を担う人材の紹介
12. 事業所との協働による就職フェアの開催
13. 介護現場におけるハラスメントの相談窓口
14. 元介護職・離職者の復職支援
15. マネジメント層・リーダー層の育成支援
16. 他法人との交流機会確保に関する企画
17. 医療・介護の連携支援(連携システムの構築等)
18. 感染症対策・対応に関する支援
19. 災害に関する支援(災害時の相互支援等)
20. その他()
21. 特になし

問 37 大田区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営、地域包括ケアシステムの深化・推進等についてご意見やご要望がありましたら、自由にご回答ください。

K. ケアマネジメントの質の向上に向けた取組についてうかがいます 居

問 38 貴事業所において、個々のケアプランの内容をどのように確認・点検していますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 全てのケアプランを、管理者が中心となって、確認・点検している
2. 困難なケース等の一部のケアプランを、管理者が中心となって確認・点検している
3. 全てのケアプランを、管理者の指示のもと、管理者以外の職員が確認・点検している
4. 困難なケース等の一部のケアプランを、管理者の指示のもと、管理者以外の職員が確認・点検している
5. 管理者の間とはなく、職員相互に確認・点検している
6. 計画作成者による自己点検をしている
7. その他()
8. 確認・点検する仕組みはない

問 39 貴事業所では、新規利用者のケアマネジメントの実施状況(アセスメントから1回目のモニタリングまでのプロセス)の進捗をどのようにして確認していますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 管理者自身が実施している
2. 管理者の指示のもと、管理者以外の職員が実施している
3. 管理者の間とはなく、個々のケアマネジャーの判断で実施している
4. その他()

問 40 貴事業所では、ケアマネジメントの質の向上に向けて、どのような取組をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 主任ケアマネジャー等が指導や管理を行っている
2. 日常のOJTを通じて、課題解決に向けたノウハウを習得している
3. ケアプランを確認・点検する仕組みを構築している
4. 事業所外の研修や勉強会にケアマネジャーを参加させている
5. 自主研究・研究会・学会等への参加など、自己啓発活動を支援している
6. 他の資格取得のための支援を行っている
7. 事業所内で事例検討会や研修会を定期的に開催している
8. 複数のプラン案を作成し、利用者のニーズにあったプランとなるよう検討・調整をしている
9. サービス担当者会議などを通じ、多様な視点から利用者の最新の状況を把握し、プランに反映している
10. その他()
11. 特に行っていない

問 41 大田区では、ケアマネジメントに携わる全ての者が、ケアマネジメントに関する統一・基本的な考えを共有したうえで、サービスの利用者寄り添い、適切に働きかけたいことを目指し、「大田区のケアマネジメントに関する基本方針」を策定しています。この基本方針について、どの程度ご存じですか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 内容を理解しており、実践している
2. 内容は理解しているが、まだ実践できていない
3. 名前を知っているが、内容は理解していない
4. 名前も知らなかった

Ⅰ. 地域の介護サービスの提供状況についてうかがいます 居

問 42 地域の介護サービス事業所数や種類について、十分だと思えますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 十分だと思う
2. ある程度十分だと思う
3. あまり十分だと思わない
4. 不足していると思う

問 42 において、「3. あまり十分だと思わない」、「4. 不足していると思う」と回答した事業所にうかがいます。

問 43 不足していると思ふ介護サービスを教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 訪問介護 (総合事業の訪問型サービスを含む)
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護 (総合事業の通所型サービスを含む)
6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所介護
8. 短期入所療養介護
9. 特定施設入居者生活介護
10. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
11. 夜間対応型訪問介護
12. 地域密着型通所介護
13. 認知症対応型通所介護
14. 小規模多機能型居宅介護
15. 認知症対応型共同生活介護
16. 看護小規模多機能型居宅介護
17. 介護老人福祉施設
18. 介護老人保健施設
19. 介護医療院

Ⅱ. 他機関との連携についてうかがいます 居、包

問 44 貴事業所では、医師や医療機関との連携は十分に取れていると思えますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 十分に連携が取れている
2. ある程度連携が取れている
3. あまり連携が取れていない
4. まったく連携が取れていない

問 45 貴事業所では、地域の様々な支援・サービス等(インフォーマルサービス等)の情報をどのように収集し、事業所内で共有していますか。情報源として活用しているものを教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 地域包括支援センターが提供する情報
2. 地域の事業所連絡会等
3. 他のケアマネジャーとの情報交換
4. 介護保険サービス情報公表システム
5. 地域ケア会議等の情報交換
6. 社会福祉協議会、地域ボランティアセンターとの情報交換
7. 民生委員との情報交換
8. 社会資源情報見える化サイト
9. その他()
10. 特になし

問 46 貴事業所では、他の介護サービス事業所や専門職等との連携は十分に取れていると思えますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. 十分に連携が取れている
2. ある程度連携が取れている
3. あまり連携が取れていない
4. まったく連携が取れていない

問 47 貴事業所において、他の介護サービス事業所や専門職等との連携を通じ、利用者へのサービス提供に向けてどのような効果(気づき)が得られましたか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 利用者支援に関する新たな視点の獲得
2. 連携の重要性に対する認識の変化
3. 業務改善・効率化への気づき
4. 専門性の相互補完による効果
5. 利用者・家族の満足度の向上
6. その他()
7. 特に行っていない

問 48 他の介護サービス事業所や専門職等との連携を進める上で、課題となっているのはどのような点ですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 事業所によって記録等の様式が異なり、情報の共有・整理に手間がかかる
2. ICTの活用状況や理解度に差があり、情報の共有や連携が図りにくい
3. 関係者間での意思の調整が難しい
4. 異なる職種で用いられている用語や基本的な考えが理解しづらい
5. 関係者が多忙であり、連絡・調整が困難
6. その他()
7. 特になし

N. 認知機能の評価に関する取組の状況についてうかがいます 包

問 49 認知症の早期発見に向け、貴事業所を利用される高齢者に対し、以下のような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 地域包括支援センターの職員による相談対応 | |
| 2. 認知機能検診の案内 | |
| 3. 認知症の気づきチェックリストの案内 | |
| 4. 大田区認知症サポートガイドの案内 | |
| 5. 認知症カフェ等の案内 | |
| 6. かかりつけ医や医療機関への相談の推奨 | |
| 7. その他 () | |
| 8. 特に行っていない | |

問 50 貴事業所を利用される高齢者に認知症の疑いがある場合の認知機能の評価についてうかがいます。

(1) 貴事業所の誰が評価を行っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 社会福祉士 | 2. 保健師 |
| 3. 看護師 | 4. 主任介護支援専門員 |
| 5. その他 () | 6. 特に行っていない |

(2) 貴事業所ではどのように評価を行っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | |
|---|
| 1. 認知機能検査 (HDS-R, MMSE 等) を実施している |
| 2. 認知機能評価に特化した質問票 (DASC, 認知症の気づきチェックリスト等) を基に評価している |
| 3. 認知機能に関する質問をしている (基本チェックリストの認知機能項目等) |
| 4. 聞き取った周辺情報 (自覚症状、生活状況、病歴等) から評価している |
| 5. その他 () |
| 6. 特に行っていない |

問 51 貴事業所を利用される高齢者に認知機能の評価を実施する、または実施を試みるうえで、課題となることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 評価を行うための時間的余裕がない | 2. 検査できる職員が少ない |
| 3. 評価を行うための適切な場所 (部屋) がない | 4. どのように評価を行えばよいかわからない |
| 5. 人材育成や体制整備のための予算がない | 6. 相談者との関係性が崩れることが懸念される |
| 7. 相談者のプライバシーや個人情報の管理の問題 | |
| 8. その他 () | |

O. 管轄内の高齢者の移動手段についてうかがいます 包

問 52 貴事業所では、管轄内の公共交通を利用することで、高齢者の移動手段は足りていると思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 足りている | 2. 足りていない |
|----------|-----------|

問 53 具体的にとどのような場面で足りていないと思えますか。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
回答漏れがないかご確認ください。送信ボタンを押してください。

令和7年度 大田区高齢者等実態調査 報告書

発行年月：令和8年3月

発行：大田区福祉部高齢福祉課・介護保険課

電話：03-5744-1257（高齢福祉課）

03-5744-1732（介護保険課）